史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1		〔葉書〕	明治42年1月元旦	(台湾)布袋嘴専売支局　浦本継太郎	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
2		〔葉書〕	明治42年1月元旦	福岡市外柳原　緒方道平	東京芝区琴平町信濃屋支店　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
3		〔葉書〕	(明治42年)1月1日	東京市本郷区駒込動坂町二二七　田村正寛	市内芝区琴平町一三　信濃屋支店ニテ　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	年は消印
4		〔葉書〕	(明治42年1月1日)	大阪府北河内郡南郷村　西村専太郎	東京市芝区琴平町一三　信濃屋支店　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	年月日は消印
5		〔葉書〕	(明治)42年1月元旦	横浜市本町四丁目　三井物産合名会社　北村七郎	東京芝琴平町信濃屋　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
6		〔葉書〕	(明治42年)1月1日	衆議院議員　八木逸郎	芝区琴平町一三　信濃屋支店　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	年は消印
7		〔葉書〕	明治42年1月1日	福岡県柳河町　戸上駒之助	東京芝区琴平町信濃屋　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
8		〔葉書〕	明治42年1月1日	徳島県美馬郡半田村　大久保弁太郎	東京芝区金刀比羅信濃屋支店　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
9		〔葉書〕	明治42年1月元旦	茨城県水戸市藤沢小路　鐘ヶ江忠吾	東京市芝区琴平町信濃屋支店　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
10		〔葉書〕	(明治42年)1月1日	東京市芝区芝公園十号地三中山金三郎	福岡県筑後国大牟田町　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	年は消印
11		〔葉書〕	明治42年1月元旦	福岡県山門郡瀬高町字下庄宮本満吉	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
12		〔葉書〕	(明治43年)1月元旦	筑後三池郡大牟田栄町一二六八番地　松永久太郎	三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	年は消印
13		〔葉書〕	明治41年1月1日	福岡県鞍手郡笠松村満之浦坑業所　弘中安治	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
14		〔葉書〕	(明治大正期1月1日)	牛込細工町一六　樋口勇夫	芝区琴平町信濃屋支店　野田卯太郎	年賀状	葉書	1	月日は消印
15		〔葉書〕	明治41年1月1日	八女郡白木村　武藤小十郎	三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
16		〔葉書〕	明治41年1月元旦	筑後国大牟田町　津留正秀	筑後国三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
17		〔葉書〕	明治41年1月1日	遠賀郡岩崎炭坑　伊藤吉太郎	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
18		〔葉書〕	(明治41年)1月1日	三池郡三川村　柳春吉	三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	年は消印
19		〔葉書〕	明治41年1月1日	小田清八	筑後国　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
20		〔葉書〕	明治42年1月元旦	東京市赤坂区台町七十七　寺田栄	芝区琴平町信濃屋支店　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
21		〔葉書〕	(明治大正期1月3日)	佐賀　井上孝哉	福岡県三井郡渡瀬停車場附近　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
22		〔葉書〕	明治42年1月元旦	岩田村　石橋謙之	東京芝区琴平町三信濃屋方野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
23		〔葉書〕	(明治42年カ)元旦	第一高等学校朶寮五番室　立沢剛	芝区琴平町一ノ十三信濃屋野田卯太郎	年賀状	葉書	1	
24		〔葉書〕	(明治42年)1月1日	東京赤坂区福吉町壱番地　山中立木	芝区琴平町信濃屋支店　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	年は消印
25		〔葉書〕	明治42年1月1日	栃木県日光町　小林庄一郎	東京芝区琴平町一三琴平町信濃屋支店　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
26		〔葉書〕	明治42年1月1日	下関市豊前田町　三井忠蔵	東京市芝区琴平町信濃屋方野田卯太郎	年賀状	葉書	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
27		〔葉書〕	明治42年1月1日	室田義文	東京市芝区琴平町旅館信濃屋支店　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
28		〔葉書〕	(明治42年)1月1日	福岡市博多上鰯町公債株券売買業　石蔵利平	三池郡岩田村大字岩津　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	年は消印
29		〔葉書〕	己酉元旦(明治42年1月1日)	東京芝区芝公園第十四号地五番　朱牟田轍	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
30		〔葉書〕	(明治)42年正月元日	東京牛込区市ヶ谷富久町八番地　小田部栄	筑後国三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
31		〔葉書〕	明治42年1月1日	筑前嘉穂郡穂波村明神炭坑向坂由久馬	三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
32		〔葉書〕	(明治29年)8月7日	柳川　大村務	三池郡大牟田町三池紡績株式会社　野田卯太郎様	催しの日付につき照会	葉書	1	年は消印
33		〔葉書〕	(明治29年)8月10日	福岡県福岡市橋口町五番地船越鉄道株式会社創立事務	三池郡三池紡績会社　野田卯太郎様	本社仮免状下付につき通知	葉書	1	印刷。年は消印。
34		〔葉書〕	(明治)29年3月3日	船越鉄道会社創立事務所(印)	筑後三池郡大牟田町紡績会社にて　野田卯太郎様	委員例会延期につき通知	葉書	1	印刷
35		〔葉書〕	(明治29年)2月25日	江浦　永江猪十郎	三池紡績会社にて　野田卯太郎様	病気見舞いへのお礼	葉書	1	年は消印
36		〔葉書〕	(明治42年1月2日)	東京赤坂区臺町三十八番地岡本貫一	筑後国三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	年月日は消印
37		〔葉書〕	(明治41年12月31日)	仙台　菊平旅館	東京市芝区琴平町一三信濃屋支店　野田卯太郎様	年賀状	絵葉書	1	絵葉書表題「松島二タ子島、伊達政宗公」(仙台大町五丁目管野絵葉書店謹製)。年月日は消印
38		〔葉書〕	明治42年1月1日	東京市京橋区木挽町　逓信大臣官邸　男爵　後藤新平	芝琴平町一三櫛原方　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
39		〔葉書〕	己酉元旦(明治42年1月1日)	筑後国浮羽郡山春村　熊懐武男、同末人	東京市芝区琴平町信濃屋支店　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
40		〔葉書〕	明治42年1月1日	福岡県鞍手郡宮田村菅牟田坑業所　高梨東太	東京芝区琴平町信濃屋支店野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
41		〔葉書〕	明治42年1月1日	福岡県鞍手郡直方町貝島鉱業合名会社　村松千之助	東京市芝区琴平町信濃屋支店　野田卯太郎	年賀状	葉書	1	
42		〔葉書〕	明治42年1月1日	東京市神田区駿河台袋町　松田源治	芝区琴平町信濃屋支店　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
43		〔葉書〕	(明治)29年3月9日	大阪西区江戸堀北通三丁目三池紡績株式会社出張店	筑后三池郡大牟田町三池紡績株式会社　野田卯太郎様	枕屏風送付の件	葉書	1	
44		〔葉書〕	明治41年1月1日	東京市牛込区犬久保余丁町百六番地　江木千之	筑後国江ノ浦　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
45		〔葉書〕	明治41年1月1日	摂津国伊丹町二九八　上田寧	東京市芝区琴平町信濃屋支店　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
46		〔葉書〕	明治41年1月元旦	岐阜県不破郡垂井町　十時参吉郎	東京市芝区琴平町信濃屋支店　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
47		〔葉書〕	明治41年1月1日	福岡県鞍手郡新入村　森田万太郎	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
48		〔葉書〕	明治41年1月元旦	福岡県三潴郡大川町榎津　松崎次郎	三池郡三池　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
49		〔葉書〕	明治41年1月元旦	熊本市山崎町六十二番地　木村万作	福岡県三池　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
50		〔葉書〕	明治42年1月1日	浮羽郡吉井町　矢野善之	三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
51		〔葉書〕	明治42年元旦	浮羽郡吉井町　坂口峻	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
52		〔葉書〕	己酉(明治42年)元旦	韓国木浦港「カナ・生」醤油味噌醸造発売所「カネ・生」麻生作男商店	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
53		〔葉書〕	(明治期)1月元旦	岩田村岩津　原信市	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
54		〔葉書〕	(明治29年3月10日)	博多　富安保太郎	三池郡大牟田町紡績会社ニ而　野田卯太郎様	小生の意見採用の事と存ず、採用の暁には辞任のつもり、15日には必ず参上する旨	葉書	1	年月日は消印
55		〔葉書〕	(明治29年2月18日)	福岡市極楽寺町三十二番地下宿屋関武雄宅　草野主税	筑後国三池郡三池紡績会社野田卯太郎殿	長崎造船所を辞職、役場へ出務中なりしも来福して博多駅機関士見習いに入職の覚悟の事	葉書	1	年月日は消印
56		〔葉書〕	(明治29年)2月18日	福岡県福岡市東中洲弐百六番地　船越鉄道株式会社創立事務所	筑後国三池郡三池紡績会社野田卯太郎様	委員会開会につき通知	葉書	1	年は消印
57		〔葉書〕	(明治期)3月6日	大牟田町　卯太郎(野田卯太郎)	三池郡倉永村　杉野巳三郎殿	8日に岩津の拙宅へ来宅願い	葉書	1	未投函
58		〔葉書〕	(明治29年)2月26日	熊本県八代郡大田郷村字日置　清野タモ	福岡県筑後国三池紡績会社野田卯太郎殿	亡夫17回忌法要の礼	葉書	1	年は消印
59		〔葉書〕	(明治29年)2月20日	久留米紡績株式会社　榊直矢	三池紡績株式会社　野田卯太郎様、岩瀬延太郎様	昨日訪問の御礼	葉書	1	年は消印
60		〔葉書〕	(明治29年2月24日)	長崎田口紡績所(印)	福岡県三池郡　三池紡績株式会社御中	貴地にて御開設の懇親会欠席の事	葉書	1	年月日は消印
61		〔葉書〕	明治34年4月5日	男小田文行、友人大隈英麿、首藤陸三、浅香克孝	芝区琴平町信濃屋方　野田卯太郎殿	小田為綱死亡につき通知	葉書	1	
62		〔葉書〕	(明治29年2月)25日	保太郎(富安保太郎)	三池郡紡績会社　野田卯太郎様	明日までは出福できざる事、要会日程につき照会	葉書	1	年月は消印
63		〔葉書〕	明治34年4月5日	男　大島道太郎、同専次郎、親戚　及川良吾、山田直矢	芝区南佐久間町信濃屋方　野田卯太郎様	故大島高任会葬につき御礼	葉書	1	
64		〔葉書〕	明治42年9月15日	福岡県三池郡大牟田町　三池魚類売買株式会社	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	第4期払込金徴収につき通知	葉書	1	
65		〔葉書〕	(明治大正期)		東京牛込新小川町二丁目十三番地　東洋経済新報社御中	往復葉書返信用、記載なし、未投函	葉書	1	
66		〔葉書〕	(明治30年)11月19日	九州製油株式会社　社長富安保太郎	三池紡績会社　野田卯太郎殿	重役会議開会につき通知	葉書	1	年は消印
67		〔葉書〕	(明治29年)2月28日	支部会長　水野澄治	三池紡績会社　野田卯太郎殿	評議委員会開催につき通知	葉書	1	年は消印
68		〔葉書〕	(明治30年)11月19日	大牟田町ヨリ　板井真澄	三池郡岩田村　野田卯太郎様	県会議員候補者会開催につき通知	葉書	1	年は消印
69		〔葉書〕	明治30年11月30日	竹原苞、戸次登	三池紡績株式会社　野田卯太郎殿	竹原常夫養母波野死亡につき通知	葉書	1	
70		〔葉書〕	明治31年1月1日	東京市芝区西ノ久保櫻川町拾壱番地志岐組工業事務所　内山田収	福岡県筑後三池郡大牟田紡績会社　野田卯太郎様、永江純一様	年賀状	葉書	1	
71		〔葉書〕	(明治39年)1月4日	山門郡城内村　立花家家従	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状の御礼	葉書	1	年は消印
72		〔葉書〕	明治39年1月元旦	東京市赤坂区榎坂町一　岡本貫一	三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	

史料番号		表題	年月日	作 成 者	宛 先	内容	形態	数量	備考
73		〔葉書〕	明治39年1月1日	野田実夫	福岡県三池郡岩田村 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
74		〔葉書〕	(明治41年)1月1日	福岡市博多上土居町四十五番地 磯野七平	東京芝区琴平町十参番地 信濃屋ムメ子殿	年賀状	葉書	1	年は消印
75		〔葉書〕	明治41年1月1日	横浜市本町四丁目 三井物産合名会社支店 北村七郎	東京芝区琴平町信の屋 野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
76		〔葉書〕	明治41年1月元旦	東京市芝区高輪南町五十八番地 毛利五郎	芝区琴平町信濃屋商店 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
77		〔葉書〕	明治41年1月1日	藤野隆寿	三池郡岩田村 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
78		〔葉書〕	(明治41年)1月1日	筑前若松町 瓜生徳平、瓜生徳蔵	東京市芝区琴平町信濃屋方野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	年は消印
79		〔葉書〕	(明治41年)元日	韓国京城南署水漂橋下舟橋南川過甲洞 安国善【要確認】	日本東京芝区琴平町十三信濃屋支店 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	年は消印
80		〔葉書〕	(明治)41年1月1日	遠賀郡嶋門村 矢野与壮	三池郡岩田村 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
81		〔葉書〕	明治41年1月元旦	福岡県三池郡大牟田町 藤本俊策	三池郡岩田村 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
82		〔葉書〕	明治41年1月1日	山門郡山川村野町 佐藤正毅	三池郡岩田村 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
83		〔葉書〕	明治41年1月1日	遠賀郡岩崎炭坑 岩崎壽喜蔵	三池郡岩田村 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
84		〔葉書〕	明治39年元旦	東京市日本橋区南茅場町四十九番地 米沢紋三郎	福岡県三池郡岩田村大字岩津 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
85		〔葉書〕	明治39年1月5日	福岡市天神町 福岡日日新聞社(印)	三池郡岩田村 野田卯太郎殿	定期資本主総会開催につき通知	葉書	1	
86		〔葉書〕	明治39年1月元旦	摂津伊丹 小西新右衛門	三池郡岩田村大字岩津廿三番地 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
87		〔葉書〕	(明治39年)1月元旦	勝野村 原譲造	浮羽町 代議士野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	郵便局付紙1枚あり(江ノ浦へ転送につき)。年は消印
88		〔葉書〕	明治39年1月1日	久留米市京町 林田守浩	三池郡岩田村 野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
89		〔葉書〕	明治39年1月1日	筑後柳河 大村務	三池郡岩田村 野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
90		〔葉書〕	明治39年1月1日	北村次八	三池郡岩田村 野田たきの様	年賀状	葉書	1	
91		〔葉書〕	明治39年1月元旦	伊東町 省	福岡県三池郡岩田村 野田俊作兄	年賀状	葉書	1	
92		〔葉書〕	明治39年1月元旦	東京 大藤正直	福岡県三池郡岩田村 野田俊作君	年賀状	葉書	1	
93		〔葉書〕	(明治39年)1月1日	三瀦郡大莞村 徳永藤七	三池郡岩田村 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	年は消印
94		〔葉書〕	明治42年1月1日	東京市京橋区銀座一丁目廿一番地 元田肇	芝区琴平町信濃屋支店 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
95		〔葉書〕	明治42年1月1日	山口県熊毛郡周防村 三輪伝七	芝区琴平町一三信濃屋支店野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
96		〔葉書〕	明治42年元旦	東京本郷区元町二丁目四十七番地北嶋館 立花政一郎(関東都督府民政部在勤)	福岡県三池郡岩田村 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
97		〔葉書〕	明治42年1月元旦	江浦 戸嶋省三	三池郡岩田村 野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
98		〔葉書〕	明治42年元旦	三池郡江浦村 淡輪止敬	三池郡岩田村字岩津 野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
99		〔葉書〕	(明治42年)1月元旦	浮羽郡大石村高見 安達啓太郎	三池郡岩田村代議士 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	年は消印
100		〔葉書〕	(明治42年)1月1日	加藤新次郎	三池郡岩田村 野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	年は消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
101		〔葉書〕	(明治42年1月1日)	石田平吉	芝区琴平信濃屋支店 野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	年月日は消印
102		〔葉書〕	明治42年1月1日	筑前鞍手郡西川村 許斐猪太郎	筑後国浮羽郡筑后江浦局区内 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
103		〔葉書〕	(明治42年)1月1日	福岡県三潴郡大川町榎津 中島清	東京市芝区琴平町信濃屋 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	年は消印
104		〔葉書〕	明治42年1月1日	東京市麹町区幸町一ノ三 日比谷公園幸門外 成田写真館館主 成田常吉	芝区琴平町信濃屋支店方 野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
105		〔葉書〕	(明治42年)1月1日	東京市日比谷公園前 小川平吉	芝区琴平一三 信濃屋支店方 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	年は消印
106		〔葉書〕	明治39年1月元旦	清国安東県安東病院 境岬	福岡県三池郡岩田村 野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
107		〔葉書〕	明治39年1月元旦	久留米市篠山町土居丁 弁護士 佐々木高	三池郡岩田村 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
108		〔葉書〕	明治39年1月	福岡県若松町弐百拾七番地 和田喜三郎	筑后大牟田 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
109		〔葉書〕	(明治39年)1月1日	久留米市京町 弁護士 松田正定、事務員 長浜三郎	三池大牟田町 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	年は消印
110		〔葉書〕	(明治39年)1月元旦	福岡県山門郡瀬高町 阿部辰次郎	三池郡岩田村 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	年は消印
111		〔葉書〕	明治39年1月1日	福岡県八女郡福島町 高橋友吉	三池郡岩津 野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
112		〔葉書〕	明治42年1月1日	根岸峮太郎	芝区琴平町一三 信濃屋支店 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
113		〔葉書〕	明治39年1月1日	台湾守備混成第二旅団司令部 山下友吉	福岡県三池郡岩田村字岩津 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
114		〔葉書〕	(明治39年)1月元旦	城内村 立花弘樹	三池郡岩田村 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	年は消印
115		〔葉書〕	(明治39年)1月7日	長倉権平	三池郡岩田 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	年は消印
116		名刺	(明治39年1月3日)	枢密顧問官子爵 野村靖	福岡県福岡撰出衆議院議員 野田卯太郎殿		名刺	1	封筒あり。封筒付紙1枚あり(江ノ浦局へ転送につき)。年月日は封筒消印
117		〔葉書〕	明治39年1月1日	上海大東汽船会社 河野久太郎	筑後三池郡三池岩田村 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
118		〔葉書〕	明治39年1月(9日)	淡輪信一(筑後柳河)	三池郡岩田村 野田卯太郎	年賀状	葉書	1	
119		〔葉書〕	(明治39年)1月1日	浮羽郡水分村 原常蔵	三池郡岩田村 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	年は消印
120		〔葉書〕	明治36年1月元旦	警視庁官舎 安立綱之	福岡県三池郡大牟田町 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
121		〔葉書〕	(明治36年)1月1日	芝区新銭座町十二番地 田村正寛	福岡県下三池郡三池町大牟田 野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	年は消印
122		〔葉書〕	(明治36年)1月元旦	福岡県八女郡白木村 大内暢三	福岡県三池郡大牟田町 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	年は消印
123		〔葉書〕	明治39年1月1日	株式会社十七銀行	筑後三池郡岩田代 野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
124		〔名刺〕	(明治39年1月1日)	三井守之助	福岡県筑後国三池郡大牟田町 野田卯太郎殿	年頭挨拶	葉書	1	封筒あり。年月日は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
125		〔名刺〕	(明治39年1月1日)	製鉄所長官　中村雄次郎	福岡県衆議院議員　野田卯太郎殿	年頭挨拶	葉書	1	封筒あり。年月日は封筒消印
126		〔封筒〕	(明治39年1月1日)	久留米市三本松町　塩屋旅館	三池郡岩田村　野田卯太郎	封筒のみ、同表に「塩屋旅館」(久留米市三本松)印	封筒	1	年月日は消印
127		〔葉書〕	明治39年1月1日	北海道空知支庁内　立花政一郎	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
128		〔葉書〕	明治39年1月1日	熊本市船場一丁目山城屋旅館本店　徳富恵能、仝長範	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
129		〔葉書〕	明治39年1月1日	東京淀橋町字柏木三〇九　卜部五郎	筑後岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
130		〔葉書〕	明治39年1月1日	長崎県南高来郡島原町　中山文樹	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎	年賀状	葉書	1	
131		〔葉書〕	明治39年1月1日	東京芝新シ橋　写真師　丸木利陽	三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
132		〔葉書〕	明治39年1月1日	福岡県三池郡大牟田町　森時三郎	岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
133		〔葉書〕	明治39年1月1日	東京赤坂区丹後町十七番地　団琢磨	筑後三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
134		〔葉書〕	明治39年1月元旦	福岡市博多蔵本町　太田清蔵	三池郡岩瀬　野田卯太郎度小野	年賀状	葉書	1	
135		〔葉書〕	明治39年1月1日	福岡市東通町　星野生駒	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
136		〔葉書〕	明治39年1月1日	福岡市極楽寺町二十七番地　小林重威	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
137		〔葉書〕	明治39年1月1日	福岡市外西中洲　平井金次郎	三池郡岩田町　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
138		〔葉書〕	(明治39年カ)元旦	博多上土居町四拾五番地　磯野七平	筑後国三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
139		〔葉書〕	明治39年1月1日	山口県阿武郡萩町　片山元造	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
140		〔葉書〕	明治39年1月1日	筑前鞍手郡植木町　多賀正村	三池郡岩田村岩津　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
141		〔葉書〕	(明治39年)1月1日	津山町大字二階町　矢吹恕吉	築後国三池郡岩津　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
142		〔葉書〕	(明治39年)1月1日	東京　野田卯太郎	浮羽郡水縄村　横溝野次	年賀状	葉書	1	付紙4枚あり(宛名不在、回送につき)。年は消印
143		〔葉書〕	(明治39年)1月1日	韓国仁川港三井物産合名会社　藤木秀次郎	筑後三池大牟田町　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	年は消印
144		〔葉書〕	明治39年1月元旦	三潴郡大川町若津五ノ割石井方　稗田一松	三池郡岩田村岩津　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
145		〔葉書〕	明治39年1月1日	福岡県筑後国柳河町　三ヶ尻忠吾	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
146		〔葉書〕	明治39年1月元旦	福岡県三潴郡大野島村　蒲池正規	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
147		〔葉書〕	(明治期)1月元旦	藤木亀次郎	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
148		〔葉書〕	明治39年1月元旦	江崎宗信	三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
149		〔葉書〕	明治39年1月元旦	三池郡大牟田町　石川幹	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
150		〔葉書〕	明治39年元旦	浮羽郡吉井小学校　坂口峻	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
151		〔葉書〕	明治39年1月元旦	立花鎮毓	三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
152		〔葉書〕	(明治)39年1月1日	鞍手郡新入村　青柳修一	三池郡　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
153		〔葉書〕	明治39年1月1日	東京神田　田中秀	福岡県三池郡岩田村　野田俊作君	年賀状	葉書	1	
154		〔葉書〕	(明治39年1月8日)	豊前築上郡友松村字東下　宮崎孝子	筑後三池郡岩田村　野田梅乃様	年賀状	葉書	1	年月日は消印
155		〔葉書〕	明治39年1月元旦	江浦村　吉永政太郎	岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
156		〔葉書〕	丙午元旦(明治39年1月1日)	東京市麻布区山元町五十八番地　根津嘉一郎	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
157		〔葉書〕	明治39年1月元旦	東京市芝区新浜町壱番地　旅館御料理竹芝舘主人	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
158		〔葉書〕	(明治39年)1月1日	熊本市洗馬町壱丁目研屋本店　岡本次八郎、熊本市手取本町研屋支店　岡本次七郎	大牟田町　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	年は消印
159		〔葉書〕	明治39年1月1日	朝倉郡大庭村　調円三郎	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
160		〔葉書〕	明治39年1月1日	岡山県岡山市大字石関町亜公園内警察官舎　泉研介	筑後国三池郡大牟田町　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
161		〔葉書〕	(明治)39年1月1日	駿東郡　江原秀作	福岡県筑後国三池郡岩田村野田宇太郎様　野田俊作殿	年賀状	葉書	1	
162		〔葉書〕	明治42年1月元旦	東京市四谷区右京町十一番地　小久保喜七	芝区琴平町信濃や支店方　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
163		〔葉書〕	己酉元旦(明治42年1月1日)	東京市神田区新石町五番地千葉事務所千葉県庁前　板倉中	芝区琴平町十三信濃屋支店野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
164		〔葉書〕	明治42年1月1日	東京市芝区今入町(虎ノ門東壕端)　歯科医　榎本積一	芝区琴平町一三信濃屋方　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
165		〔葉書〕	明治42年1月1日	牛込区納戸町十三府入方　樋口悌次郎	市内芝区琴平町信濃屋支店野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
166		〔葉書〕	明治42年1月元旦	東京市芝区芝口川岸拾六号佐々木法律事務所　衆議院議員　佐々木文一	芝琴平町信濃屋支店　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
167		〔葉書〕	明治42年1月8日	福岡県福岡市福岡須崎土手町五番地　福岡日日新聞社	三池郡岩田村　野田卯太郎様	本社資本主定期総会開催につき通知	葉書	1	
168		〔葉書〕	(明治42年1月)4日	研屋支店　野田俊作	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎様	友人2、3名同道にて明後日帰宅の事	葉書	1	年月は消印
169		〔葉書〕	明治41年1月元旦	東京荏原郡南品川浅間台　寺島昇	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
170		〔葉書〕	明治41年1月1日	東京市神田区駿河台北甲賀町八番地　田邨利七	福岡県三池岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
171		〔葉書〕	明治41年1月1日	福岡県八女郡大渕村　岸川理一	東京市芝区南佐久間町信濃屋旅舘　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
172		〔葉書〕	(明治大正期)	東京小石川区駕籠町四十九番地　　菅原通敬	芝区琴平町一三信濃屋支店野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
173		〔葉書〕	(明治39年)1月1日	永江真郷	福岡県三池郡岩田村　野田俊作君	年賀状	葉書	1	年は消印
174		〔葉書〕	元旦(明治39年1月1日)	麻布　三郎	福岡県三池郡岩田村　野田俊作	年賀状	葉書	1	
175		〔葉書〕	明治39年1月吉旦	福岡県筑紫郡堅粕村　大熊浅次郎	三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
176		〔葉書〕	(明治42年)11月29日	福岡市因幡町三七　竹内彦太外二名	県下三池郡岩田村　野田卯太郎殿	委任状落手、債権の件につき伺い	葉書	1	年は消印
177		〔葉書〕	(明治29年)11月12日	山門郡城内村新外町壱番地　淡輪信一	三池郡大牟田町三池紡績会社　野田卯太郎殿	当御邸園の橘送付につき1万ほど1個3厘にて引請願い	葉書	1	年は消印
178		〔葉書〕	明治39年1月元旦	浮羽郡柴川村　本荘権之丞	三池郡江ノ浦村　野田卯太郎	年賀状	葉書	1	
179		〔葉書〕	明治39年1月元旦	東京市麻布区我善坊町　原田十衛	福岡県三池郡大牟田　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
180		〔葉書〕	明治39年1月1日	鹿港専売支局官舎　浦本継太郎	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
181		〔葉書〕	(大正期)6月17日	門司市久保町大阪新報記者　押村海月	朝鮮京城　東洋拓殖会社副総裁　野田卯太郎様	錦地出張の際世話への御礼	絵葉書	1	裏にポートレート写真あり
182		〔葉書〕	明治39年1月元旦	三池郡大牟田東新町　内田言主	三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
183		〔葉書〕	明治39年1月1日	福岡県八女郡八幡村　平米作	筑後三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
184		〔葉書〕	大正3年7月22日	星架坡　稲葉	福岡県三池郡大牟田　野田卯太郎様	暑中見舞い、近況報告	絵葉書	1	裏に集合写真あり
185		〔葉書〕	明治39年1月1日	大牟田町　南雅香	岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
186		〔葉書〕	(明治39年)1月1日	久留米市通町二丁目　水野義雄	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	年は消印
187		〔葉書〕	明治39年1月1日	水上村坂田　林立雄(印)	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	年賀状	葉書	1	
188		〔葉書〕	明治39年1月元旦	福岡県三潴郡木室村　熊本寿人	三池郡岩田村　野田卯太郎様	年賀状	葉書	1	
189		〔書簡〕	(大正2年)11月15日	吉永為巳(熊本市塩屋町裏三番丁)	松野鶴平殿(筑後三池郡岩田村)	取引所定時株主総会の開催の件、相談のため来熊願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。189～204紙紐一括
190	1	財産目録・貸借対照表、損益計算書、利益金分配按	大正2年6月30日	株式会社肥後農工銀行	菊池郡城北村　松野鶴平殿		切紙	1	印刷。190-1～5封筒一括
190	2	〔通知〕	大正2年8月	株式会社肥後農工銀行　頭取内藤正義		新株応募につき	切紙	1	募集要項1枚同折
190	3	新株式募集規定	(大正2年)	(肥後農工銀行)			紙	1	印刷
190	4	増資方法	(大正2年)	(肥後農工銀行)		新株募集につき	切紙	1	印刷
190	5	新株式引受申込証	大正2年8月	株主	株式会社肥後農工銀行　取締役頭取　内藤正義殿		切紙	2	印刷。未記入
191		〔書簡〕	(大正2年)10月4日	東京麹町区有楽町一丁目一番地八千代生命保険　小原達	松野老兄(三池郡岩田村　野田卯太郎宅　松野鶴平)	熊本米穀取引所理事就任の件	紙(3枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
192		〔電報〕	大正2年10月11日	ヲムタ局　三ケギンコウ(大牟田局三池銀行)	コメヤマチ九シウショウギョウギンコウニテ　ナカシマショウカン(米屋町九州商業銀行にて)	不動産の件につき照会(キカメイギフドウサンヲヨソシラセ)	電報	1	封筒あり(山田元一より竹崎方松野鶴平宛)
193		〔書簡〕	(大正2年)11月19日	星子八九郎(鹿本郡稲田村)	松野鶴平(熊本市立憲政友会熊本支部内ニテ)	送金依頼、清浦氏より本県穢多党につき講釈あり、小山三郎を排斥すべき事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
194		〔書簡〕	(大正2年)10月27日	藤九郎(大坂市外柴嶋　曽根藤九郎)	松野□兄(福岡県三池郡岩田村　松野鶴平)	博多石川種次郎氏宛に金800円送金願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
195		〔書簡〕	(大正2年)10月12日	東京赤坂区仲ノ町二七　星子勇	松野鶴平殿(福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎方)	海外練習生採用内定につき礼状	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
196		〔書簡〕	(大正2年)9月29日	江藤(東京府豊多摩郡千駄ヶ谷町穏田八十七番地　江藤哲	松野大兄(熊本市米屋町九州商業銀行気付　松野鶴平)	取引所改善に関する件	紙(2枚)	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
197		東肥鋲道自動車経営ニ関スル件	大正2年11月11日	友常穀三郎(神戸市山本通三丁目壱番邸)	松野鶴平様(福岡県三池郡岩田村野田卯太郎様方)		綴	1	紙3枚ステープラー綴。封筒2点あり、外封筒(大正2年11月14日消印・九州商業銀行山田元一より松野
198		〔葉書〕	(大正2年)10月24日	熊本　原山直	福岡県三池郡岩田村　松野鶴平様	男子出産につき通知	葉書	1	年は消印
199	1	〔書簡〕	(大正2年)10月9日	耕三(東京大正博覧会事務局総務課　富田耕三)	富田英雄(福岡県山門郡瀬高町字下庄　東肥鉄道株式会社矢部川出張所内)	東京府知事宗像氏の世話にて東京大正博覧会事務局の事務員に就職の事ほか	罫紙	1	199-1～2封筒一括
199	2	〔名刺〕	(大正2年)10年14日	百瀬国三郎	松野仁兄(松野鶴平)	手紙の御礼、本日は他行の約束ある事	名刺	1	
200		〔俳句〕	(大正期頃)			「筑紫男の心見よとや山紅葉」ほか1	継紙	1	
201		〔通知〕	大正2年11月6日	福岡県大牟田町　株式会社三池銀行(印)	野田卯太郎殿	当座借越金利息変更につき	紙	1	
202		〔書簡〕	(大正2年)9月27日	井上(山門郡瀬高町字下庄東肥鉄道株式会社矢部川派出所内　井上茂作)	松野兄(三池郡岩田村　野田卯太郎氏邸　松野鶴平)	重役会にて社員賞与金支給の件につき発言依頼ほか	紙	1	封筒あり
203		〔葉書〕	(大正2年10月26日)	京城羽衣町四〇　喜雄、寿	福岡県三池郡岩田村　松野鶴平様、瀧の様	次男成生誕生、母子共に健在の事	絵葉書	1	絵葉書表題「京城中学校落成式記念」
204		〔葉書〕	(大正2年10月30日)	熊本米屋町　竹崎	三池郡岩田村野田様方　松野鶴平様	長崎より帰着の知らせ、馬関まで出張につき門司迄出向願い	葉書	1	年月日は消印
205		〔書簡〕	(大正期頃)4月21日	高野守蔵(印)	松野鶴平殿	平井伊平金策一件につき金7000円融通願い	継紙	1	
206		〔算用書上〕	(大正期頃)	(東肥鉄道株式会社)		測量費ほか100万円経費計算	罫紙	1	東肥鉄道株式会社の罫紙使用
207		〔名刺〕	(大正期頃)	熊本市迎町　田村久八			名刺	1	
208		〔名刺〕	(大正期頃)	福岡市博多中土居町十七番地　有価証券現物売買　馬杉		支店名・社長・常務・支配人名など覚書あり	名刺	1	
209		〔名刺〕	(大正期頃)	松野鶴平		山鹿行き運賃などにつき覚書あり	名刺	1	
210		〔名刺〕	(大正期頃)	鉄道院書記　福井三綱			名刺	1	
211		〔名刺〕	(大正期頃)	松野鶴平			名刺	1	
212		〔名刺〕	(大正期頃)	松野鶴平			名刺	1	
213		〔名刺〕	(大正期頃)	九州鉄道管理局熊本運輸事務所　鉄道院書記　大町豊次		裏に力士名の覚書あり	名刺	1	
214		〔名刺〕	(大正期頃)	三池郡岩田村　松野鶴平			名刺	1	
215		〔名刺〕	(大正期頃)	熊本県菊池郡城北村　松野鶴平		地名と数字の覚書あり	名刺	1	
216		〔名刺〕	(大正期頃)	熊本県菊池郡城北村　松野鶴平		祖母・母旅程などにつき覚書あり	名刺	1	
217		〔名刺〕	(大正期頃)	熊本市迎町廿四番地　玉城常八			名刺	1	
218		〔封筒〕	大正2年4月	福岡県山門郡瀬高町　馬場義勝宅　田崎強造	松野鶴平様		封筒	1	封筒上書「四月一日大牟田署に出頭要
219		〔書簡〕	(大正2年)4月20日	宗像景雄(熊本市立憲政友会熊本県支部)	松野鶴平殿(鹿本郡来民町堀幸平氏宅)	選挙対策に対する意見	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
220		〔葉書〕	(大正2年4月24日)	岩田村　原信市	鹿本郡来民町　堀幸平様方　松野鶴平様	昌太郎入院につき通知	葉書	1	年月日は消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
221		〔電報〕	(大正2年4月21日)	ワイフ局 タカノムトウ	イワタムラノダウチ マツノツルヘ(岩田村野田宅 松野鶴平)	検査の件つき依頼ほか(ヒライノケンサキタノムイサイタケサキニフミ)	電報	1	封筒あり(大正2年4月21日消印、菊池郡隈府町高野守蔵より熊本市米屋町九州商業銀行竹崎早雄様方松野鶴平宛)
222		〔葉書〕	(大正2年)4月25日	在江浦 原信市	熊本県鹿本郡来民町堀幸平様方 松野鶴平様	福岡県庁保安課よりの出頭通知伝達	葉書	1	年は消印
223		四十三年売買契約	(大正期頃)			反別49町代金10万円の取引に反別小作米高など書上	継紙	1	
224		〔電報〕	(大正)2年4月23日	アサブロクホンギ局タキノ(麻布六本木瀧の)	キノ マツノツルヘイ(松野鶴平)	ショウタロウ病状につき(シヨウタロウハイエンニテニウイン、イマダキケンノヲソレナシ)	電報	1	
225		〔電報〕	(大正)2年4月23日	チクゴエノウラ局ハラ(筑後江ノ浦局原)	クタミマチホリコウヘイカタ マツノツルヘイ(来民町堀幸平方松野鶴平)	ショウタロウ入院通知の事(シヨウタロウヤマイニウインデンキタ)	電報	1	
226	1	履歴書	大正2年3月20日	熊本県鹿本郡来民町千六百三十五番地平民 堀再平(印)			切紙(2枚)	1	226-1～2封筒一括。封筒上書「堀再平 山中兵吾履歴書 大正弐年五月五日」。封筒裏上書「松野鶴
226	2	履歴書	大正2年3月26日	熊本市安巳橋通弐拾壱番地 山中兵吾			書綴(罫紙)	1	
227		〔書簡〕	(大正期頃)4月24日	堀幸平宅 松野鶴平	城北村役場御中(東甚作・坂本政二)	現区長の議員資格につき問合せ	罫紙	1	封筒あり
228		〔書簡〕	(大正期頃)4月24日	堀幸平宅 松野鶴平	父上様(松野長八)	平井伊平の金策について	罫紙	1	封筒あり。205と関連あり
229		〔書簡〕	(大正期頃)	しすか	御兄上様	結婚許可の書類送付の通知	継紙	1	
230		東京帝国劇場俳優一座	(大正期頃)	福岡市 九州劇場、版元(日本一)井上仲蔵		歌舞伎興行演目、刷り物	切紙	1	
231		〔書簡〕	(大正2年)4月18日	馬場宅執事 田崎強造(山門郡瀬高町馬場義勝代人)	松野鶴平(三池郡岩田村野田卯太郎様方)	別紙2通調印につき返送	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
232	1	〔書簡〕	(大正2年)2月23日	庄八(菊池郡城北村 富田庄八)	松野鶴平(三池郡岩田村)	野田様へ息子茂の就職につき斡旋依頼	継紙	1	232-1～2封筒一括
232	2	〔記〕	(大正期頃)			日本郵船株式会社と日清汽船株式会社への便宜を計る事	切紙	1	
233		〔書簡〕	(大正2年)4月8日	江藤(東京府豊多摩郡千駄ヶ谷町穏田八十七番地 江藤哲	松野大兄(三池郡岩田村野田氏方 松野鶴平)	熊本青年の活動良好につき御礼、12日頃出発・渡鮮の事	継紙	1	封筒あり
234	1	〔書簡〕	(大正3年)12月25日	隈徳三(陸軍省)	野田卯太郎様(東京市麻布区材木町二九)	別紙御申越しの件は再詮議の余地なき事	切紙	1	234-1～2封筒一括
234	2-1	〔書簡〕	(大正3年)11月30日	杉乙四郎(福岡県浮羽郡大石村)	野田様	日独戦争の経過の件、別紙の通り陸軍省に覚書・副書を提出せしにつき承認・御尽力願い	切紙	1	234-2-1～4封筒一括
234	2-2	〔葉書〕	(大正3年12月14日)	福岡県浮羽郡大石村 杉乙四郎	東京市麻布区材木町拾九番地 代議士 野田卯太郎殿	先般の覚書・副書を請願書に訂正の上、其筋へ提出せし事ほか	葉書	1	年は消印
234	2-3	覚書	大正3年8月14日	後備役陸軍輜重兵特務曹長勲七等 杉乙四郎	第十八師団長 神尾光臣	日露戦役時の小官の勲功につき再調査願い、戦役履歴書付	書綴	1	写し

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
234	2-4	副書	大正3年11月15日	後備役陸軍輜重兵特務曹長勲七等　杉乙四郎	第十八師団長　神尾光臣殿	日露戦役時の夜勤につき再調査願い	書綴	1	写し
235		〔書簡〕	大正3年12月21日	松延新三郎(印)(八女郡黒木町)	桝永弥三郎(山門郡大和村島)	ミツヨへ注意してくださるよう依頼、ミツヨ親戚の詐欺行為の件	継紙	1	封筒あり
236		〔書簡〕	(大正3年)5月5日	嶺八郎(東京府下代々木山谷三一二)	野田卯太郎(市内麻布材木町八九)	東拓会社辞職につき御配慮の御礼ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
237		〔葉書〕	大正4年6月10日	星製薬株式会社社長　星一	麻布区材木町二九　野田卯太郎殿	星製薬第7回定時株主総会の案内	葉書	1	印刷。付紙1枚あり(京城拓殖会社へ転送につき)
238		第三十二回帝国議会衆議院議員一覧表	大正3年5月5日調			衆議院公報附録	紙	1	印刷
239	1	〔書簡〕	(大正2年)11月6日	国民新聞社(東京京橋区日吉町二十番地)	野田卯太郎様(福岡市橋口町栄屋)	三井銀行約手裏書の依頼	継紙	1	239-1～2封筒一括
239	2	〔書簡〕	(大正2年)8月8日	国民新聞社　鈴木寿雄	野田俊作様	三井銀行約手裏書の依頼	継紙	1	
240	1	〔資金収支予算書〕	大正3年度	(東洋拓殖株式会社)		大正3～同6年度まで	書綴(罫紙)	1	東洋拓殖株式会社罫紙使用。ステープラー綴。240-1～7封筒一括。封筒上書「国民新聞手形ニ関スル書類入」
240	2	大正参年度予算月割表	大正3年8月13日調	(印・「谷野」)(東洋拓殖株式会社)			罫紙	1	
240	3	大正参年度貸付金利廻表	(大正3年)10月27日調	貸付課、(印・「笹岡」)			罫紙	1	
240	4	〔他社利廻り表〕	(大正3年頃)	(東洋拓殖株式会社)		日本勧業銀行、台湾銀行、満鉄、東洋拓殖会社ほかにつき	罫紙	1	
240	5	朝鮮米輸移出数量及価額	(大正3年頃)	(東洋拓殖株式会社)		玄米・中白米及び精米・籾に付いて大正元年と2年度	罫紙	1	
240	6	各年度末現在貸付金年利ニ拠ル利廻表	(大正3年)10月19日調	貸付課、(印・「笹岡」)、(印・「山置」)、(印・「田淵」)		明治41年度～大正3年度10月分	罫紙	1	
240	7	〔第七期(大正三年度)損益計算予想表・総損金比較表・総益金比較表・利益金分配比較表〕	大正3年10月16日				綴	1	罫紙4枚書類留(クリップ・除去済)綴
241		〔旅費日当支給封筒〕	(大正期頃)	熊本県玉名郡南関町千百四十三番地　東肥鉄道株式会社	取締役　松野鶴平殿	旅費日当11円20銭につき	封筒	1	
242		〔書簡〕	大正4年9月30日	国民新聞社(東京市京橋区日吉町二十番地)	野田卯太郎様(朝鮮京城東洋拓植株式会社副総裁社宅)	別紙委任状など送付につき調印願い	継紙	1	封筒あり
243		〔葉書〕	大正4年11月10日	京城寿松洞八〇　渕沢純恵	福岡県三池郡岩田村　野田宇太郎様	聖寿の万歳を奉祝、病気の見舞い	絵葉書	1	絵葉書表題「大礼紀念　太平楽之図」
244	1	小為替金受領証書	(大正)4年6月18日	(京城大平通り郵便局)		小為替金92銭受領	紙	1	244-1～20封筒一括。封筒上書「受取
244	2	領収証	大正4年6月14日	京城黄金町一丁目　京城自動車商会(印)	京城日報社　隈部殿	春川行雄夏特別賃金30円領収	紙	1	
244	3	〔通知〕	大正4年6月19日	南満洲鉄道株式会社	株主　殿	第14回定時株主総会での決定事項につき	紙	1	印刷
244	4	郵便物受領証	(大正)4年6月18日	(京城大平通り郵便局)	西小門町七十五　野田卯太郎	福岡県山門郡城内村渡辺村男宛郵便物受領	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
244	5	当座勘定入金通知書	大正4年7月5日	株式会社三井銀行福岡支店(印)	野田卯太郎殿	南満配当金107円余につき	紙	1	
244	6	記	(大正4年頃)6月12日	木下修竹堂(印)	野田様	一行書具2幅仕立代7円書上	継紙	1	
244	7	請求及領収証	大正4年6月7日	朝鮮総督府鉄道局　京城朝鮮ホテル主任　猪原貞雄(印)、代人福島篤	野田様	午餐5人前料金9円余につき	綴	1	紙2枚書類留(針)綴
244	8	領収証	大正4年6月28日	京城黄金町一丁目　京城自動車商会(印)	野田殿	往復乗車賃30円領収	紙	1	
244	9	請求書	大正4年4月29日	朝鮮京城旭町二丁目　朝鮮雑誌社　朝鮮古書刊行会(印)	野田宇太郎殿	燃藜室記述6冊代金18円請求	紙	1	
244	10	領収証	大正4年6月25日	京城大平通り一丁目　三井洋服店　店主三井松次郎(印)	野田様	ダック服上下代金12円受取	紙	1	
244	11	〔通知〕	大正4年6月1日	株式会社三池銀行(印)	野田卯太郎殿	貸越利息193円余払込期日につき	切紙	1	印刷
244	12	請求及領収証	大正4年6月23日	朝鮮総督府鉄道局　京城朝鮮ホテル主任代、福島篤(印)	野田様	昼食代ほか10円余につき	紙	1	
244	13	御受領証	大正4年6月7日	鈴木鼓村(印)	野田卯太郎様	半切2葉代金10円受領	紙	1	
244	14	領収証書	大正4年7月2日	京城本金庫	野田卯太郎納	5月分計量給水料3円余領収	紙	1	
244	15	領収証書	大正4年7月8日	朝鮮総督府収入官吏　吉田弥五右衛門(印)	前田みつよ納	手術料5円領収	紙	1	
244	16	領収証書	大正4年7月2日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	5月分水器使用料80銭領収	紙	1	
244	17	記	大正4年5月16日	巴城舘(印・「京城本町二丁目巴城舘ホテル」)	野田様	1月重詰代15円領収	紙	1	
244	18	請求及領収証	大正4年4月15日	朝鮮総督府鉄道局　京城朝鮮ホテル主任(印・「福島」)	東拓　野田様	昼食5人前ほか代金12円余につき	罫紙	1	
244	19	領収証書	大正4年7月8日	朝鮮総督府収入官吏　吉田弥五右衛門(印)	前田みつよ納	乙等入院料12円余につき	紙	1	
244	20	証	大正4年7月8日	朝鮮総督府医院炊事場　祖父江政太郎(印)	前田殿	食料5円余領収	紙	1	
245		〔書簡〕	(大正4年)1月21日	国民新聞社会計部(東京市京橋区日吉町二十番地)	野田大人(福岡市栄屋旅舘方野田卯太郎)	三井銀行約束手形の書換につき裏書願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
246		領収証	大正4年9月1日	始政五年記念朝鮮物産共進会　京城協賛会長正四位勲二等　吉原三郎(印)	野田卯太郎殿	京城協賛会醵金250円領収	紙	1	
247		〔葉書〕	大正4年7月12日	福岡市須崎土手町二十七番地　株式会社福岡県農工銀行取締役頭取　緒方道平	三池郡岩田村大字岩津二三野田卯太郎殿	定時総会開催につき通知	葉書	1	印刷
248		〔葉書〕	(大正4年)10月15日	東京　加藤留	朝鮮京城西小門　野田卯太郎様	病気見舞い、箕面有馬分・満鉄新株18株分払込済の事	葉書	1	年は消印
249		〔葉書〕	大正4年9月23日	乃木会長法学博士男爵　阪谷芳郎(東京市役所内乃木会)	朝鮮京城西小門町七五　野田卯太郎殿	乃木会入会、金5円寄贈の礼状	葉書	1	印刷
250		〔葉書〕	大正4年12月9日	星製薬株式会社社長　星一	東京市麻布区材木町二九　野田卯太郎殿	第8回定時株主総会開催につき通知	葉書	1	印刷
251		〔葉書〕	大正4年7月13日	九州製油株式会社社長　村上義太郎(印)	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	株主通常総会開催につき通知	葉書	1	印刷
252		大正四年六月計算書	大正4年6月			電灯代12円余ほか6月分支出合計110円余書上	紙	1	封筒あり。封筒上書「大正四年六月分計算書入」

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
253		議会解散ニ就テ原総裁ノ演説	大正3年12月	立憲政友会本部			書冊	1	印刷
254	1～3	〔書簡〕	(大正4年)7月2日	咸北清津港　松下栄	東京赤坂区霊南坂町6　頭山満	就職の依頼「履歴書」「土木局長ヨリノ手紙写」同封			
254	1	〔書簡〕	(大正4年)6月24日	六三郎	松下栄殿(咸北清津港)	就職の件につき土木局長よりの手紙写し	罫紙	1	254-1～3封筒一括。年は封筒消印
254	2	〔書簡〕	(大正4年)7月2日	松下栄(咸北清津港)	叔父上様(東京赤坂区霊南坂町六　頭山満)	小生就職につき推薦願い、野田氏へ別紙履歴書送付願いほか	継紙	1	年は封筒消印
254	3	履歴書	大正4年6月	松下栄(印)		土木局長よりの手紙写、当方採用技師について	書冊	1	
255		〔書簡〕	大正4年2月25日	森一太(於全南木浦)	野田卯太郎様	前田の件につき謝罪、大連遼東新報社にて募集の露国義勇軍に志願する事	継紙	1	封筒あり
256	1	〔書簡〕	(大正4年)3月3日	木浦　森荒涛	京城旭町壱丁目朝日屋　古田こまどのへ	金子用立ての件につき催促、前田の詫状などの件	継紙	1	封筒あり。256-1～2封筒一括
256	2	〔書簡〕	(大正4年)3月13日	古田駒	野田様	先日木浦にて種々事情を説明せし事、前田様詫状の件ほか	切紙	1	
257		〔書簡〕	(大正4年)3月15日	古田駒	野田様	木浦行の旅費は不要につき返上、帰省前の面会日時につき伺い、面会できざる時は服部様へ依頼の件につき援助願い	継紙	1	封筒あり
258		〔書簡〕	大正4年11月1日	潮恵之輔	野田卯太郎	内務省拓殖課長拝命につき挨拶	切紙	1	封筒あり。258～266包紙一括。包紙上書「書翰大正四年度」。包紙には258を使用
259		〔書簡〕	大正4年11月9日	猪(京都三条小路万屋　蘇峰)	大塊仁兄(熊本県日奈久金波楼　野田卯太郎)	昨朝入京の事、野田の東上を促すほか	継紙	1	封筒あり
260	1	〔書簡〕	(大正4年)10月28日	硯海(東京々橋山城町　大岡育造)	大塊老台(福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎)	病気見舞い	継紙	1	260-1～2封筒一括。年は封筒消印
260	2	〔俳句〕	(大正4年10月28日)			「大和尚大食のはてや蜆汁」	切紙	1	
261		〔書簡〕	(大正4年)10月15日	育造(東京京橋山城町　大岡育造)	野田老兄(朝鮮京城東拓舎宅野田卯太郎)	平田東助への工作の報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
262		〔検査表〕	(大正期頃)			尿便の検査表	綴	1	謄写刷り8枚紙縒綴
263		〔書簡〕	大正4(年)10月25日	猪(東京市青山南町六之三十徳富猪一郎)	大塊仁兄(福岡市栄屋旅館野田卯太郎)	病気見舞い	継紙	1	封筒あり
264		〔書簡〕	(大正3年)12月6日	嶺八郎(代々木字山谷)	野田卯太郎様(市内麻布区材木町　)	拓殖会社退職につき山県閣下・宇佐川男爵を介し金2500円恵贈の御	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
265	1	〔書簡〕	大正4年10月23日	涵一郎(岡山市西中山下四拾七番地石黒法律事務所　石黒涵一郎)	野田老兄(福岡市栄屋旅館野田卯太郎)	当地病院長へヂストマ治療法問合せたるにつき別紙回答送付	切紙	1	265-1～3封筒一括
265	2	〔書簡〕	大正4年10月23日	筒井八百珠	石黒学兄	内科医長からのヂストマ治療法回答を送付	継紙	1	
265	3	〔書簡〕	(大正4年10月)	(岡山医学専門学校内科医長)		肝臓ヂストマの治療に関する回答	書綴	1	岡山医学専門学校罫紙使用
266		〔書簡〕	(大正4年)7月11日	幻庵(市外下渋谷羽沢　野崎広太)	大塊翁(京城西小門　野田卯太郎)	元老対現内閣についての新聞の説は想像説、大浦子爵を介し猶予を請求するが元老が破解せんとす	継紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
267		〔書簡〕	大正4(年)4月14日	猪(東京市青山南町六之三十徳富猪一郎)	大塊翁(京城西小門内　野田卯太郎)	「何事も芝繭幽繭和漢繭」ほか2首書上	継紙	1	封筒あり。267～282紙縒一括
268		〔書簡〕	大正4年3月26日	猪(東京市赤坂区青山南町六丁目三十番地　徳富猪一郎)	大塊大人(京城西小門内　野田卯太郎)	拙句評判について、俊作坊兄弟の件ほか	継紙	1	封筒あり
269		〔通知〕	大正4年3月15日	東京市日本橋区駿河町一番地　株式会社三井銀行(印)	野田卯太郎殿(麻布区材木町二九)	当座勘定決算につき	紙	1	印刷。封筒あり
270		〔書簡〕	(大正4年)3月18日	岡田治衛武(東京市麹町八重洲町壱丁目壱番地武蔵電気鉄道株式会社)	野田老台(朝鮮京城西小門野田卯太郎)	欧州大乱により資金繰り困難のため払込遅延の事	継紙	1	封筒あり。年は消印
271		〔封筒〕	(大正4年頃)	麹町区永田町大蔵大臣官邸内　故桂公爵記念事業会常務委員長　男爵渋沢栄一	麻布区材木町二九　野田卯太郎		封筒	1	
272		〔通知〕	大正4年3月15日	株式会社三井銀行福岡支店(福岡市博多中土居町拾番地	野田卯太郎殿(東京市麻布区材木町)	当座勘定決算につき	紙	1	印刷。封筒あり
273		〔書簡〕	(大正4年頃)2月3日午後	俊作(野田俊作)	御親父様(野田卯太郎)	長春付近の土地購入について	罫紙(5枚)	1	封筒あり。封筒上書「長春土地調査書入」。東洋拓殖会社罫紙使用
274		〔封筒〕	(大正4年7月2日)	大阪市西区江戸堀南通一丁目五十番地　朝鮮棉業株式会	朝鮮京城西小門　東拓社宅野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印
275	1	〔封筒〕	(大正4年)3月16日	東京麻布区材木町二九　加藤虎之助	朝鮮京城西小門　野田卯太郎様		封筒	1	年は消印。275-1～4封筒一括。封筒上書「加藤龍太郎出生ニ関スル書類入」
275	2	〔書簡〕	(大正4年)3月16日	(加藤)虎之助	父上様	男子無事出産の通知、命名の依頼	継紙	1	封筒あり
275	3	〔電報〕	(大正4年3月16日)	アサブロクホンギ局カト(麻布六本木局加藤)	セイシヨウモン　ノダウタロウ(野田卯太郎)	男子無事出産の通知、命名の依頼(イマヲトコアンザンシタゴアンシンメイメイタノム)	電報	1	
275	4	〔電報〕	(大正4年3月21日)	ギンザ局カト(銀座局加藤)	セイシヨウモン　ノダウタロウ(野田卯太郎)	男子命名の件(リユウ(タツ)タロウトノメイメイイカガ　ヘン)	電報	1	
276		大正参年度中籾売却高及価格一覧表	大正4年3月31日調	(東洋拓殖株式会社)			罫紙	1	封筒あり。封筒上書「籾売却単価調」
277		〔書簡〕	(大正4年)4月11日	たきの(福岡県三池郡岩田村松野たきの)	おば様(朝鮮京城西小門野田方　野口おみと)	贈答品の礼、みつ代結婚につき御世話の御礼ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
278		〔書簡〕	(大正4年頃)9月23日	斎藤二郎(芝区愛宕町二ノ十四　弁護士)	野田老台(朝鮮京城　野田卯太郎)	貴地での土木・物品販売などにつき尾崎商会尾崎惣吉の紹介	継紙	1	封筒あり
279		〔書簡〕	(大正4年)4月7日	秀助(東京麻布区材木町二拾九　野田秀助)	父上様(朝鮮京城西小門七五野田卯太郎)	第4年生に進学の事ほか近況報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
280		〔書簡〕	(大正4年)3月5日	島徳蔵(大阪市東区高麗橋五丁目九番屋敷)	野田尊台(朝鮮京城西小門町野田卯太郎)	出馬見合わせにつき御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
281		〔封筒〕	(大正4年4月18日)	京城桜井町弐丁目百九拾番地　朝鮮婦人界主幹　金井寛	市内西小門　野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印
282		〔書簡〕	(大正4年)4月3日	若軒(筑前直方町　峠延吉)	大塊老台(朝鮮京城東洋拓殖株式会社　野田卯太郎)	井上馨侯からの野田の東拓専任激励の伝言、貝島太助も喜んでいる旨	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
283		〔大正4年5月計算書〕	(大正4年5月)			生活雑費計算書	綴	1	京城日報社原稿用紙5枚書類留(針)綴。封筒あり。封筒上書「大正四年五月之計算書入」。283～314
284		〔書簡〕	大正4年7月9日	伊地知健、長瀬信(鹿児島市外中郡宇村六三六)	野田閣下(朝鮮京城西北門町野田邸ニテ　野田卯太郎)	伊地知種雄に対する世話の礼状	継紙	1	封筒あり
285		〔書簡〕	(大正4年)6月29日	石龍子(東京芝三島町)	大塊翁(朝鮮京城東拓会社内野田卯太郎)	行徳元の東拓会社就職につき援助願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
286		〔通知〕	大正4年6月28日	三井銀行福岡支店(印・「中橋」)	野田卯太郎殿	満鉄配給金領収証の計算違いにつき	紙	1	
287		〔書簡〕	(大正4年)7月16日	留子(東京　加藤留子)	御父上様(朝鮮京城西小門野田卯太郎)	京城紙上にて病気の由拝見につき見舞い、四郎太ほか近況報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
288		〔書簡〕	(大正4年)6月21日	信之(田川郡後藤寺町三井田川炭礦製作工場　野田信之)	伯父上様(朝鮮京城西小門町七五　野田卯太郎)	専門学校卒業の事、大学入学につき援助願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
289	1	証	大正4年6月20日	朝鮮総督府医院炊事場　祖父江政太郎(印)	前田ミツヨ殿	6月18日・19日の食料金1円40銭領収	紙	1	289-1～6封筒一括。封筒上書「光代病院費入(目録)」
289	2	証	大正4年6月26日	朝鮮総督府医院炊事場　祖父江政太郎(印)	前田殿	6月22～26日の食料代・付添料代3円領収	紙	1	
289	3	証	大正4年6月30日	朝鮮総督府医院炊事場　祖父江政太郎(印)	前田ミツヨ殿	6月20～30日の食料代6円66銭領収	紙	1	
289	4	領収証書	大正4年7月1日	朝鮮総督府医院収入官吏　吉田弥五右衛門(印)	前田ミツヨ納	6月18～20日の3日間乙等入院料4円50銭領収	紙	1	
289	5	領収證書	大正4年7月1日	朝鮮総督府医院収入官吏　吉田弥五右衛門(印)	前田ミツヨ納	6月21～30日の10日間乙等入院料15円領収	紙	1	
289	6	〔入院費算用書上〕	(大正4年)			付添料3円ほかにつき	切紙	1	
290		〔書簡〕	(大正4年頃)7月12日	野田	石黒老台	石黒氏息子への弔詞	切紙	1	
291		〔書簡〕	(大正4年)7月12日	たきの(福岡県三池郡岩田村松野たきの)	父上様(京城西北門七五　野田卯太郎)	四郎太の近況報告、徳永又市氏死去の件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
292		〔俳句〕	(明治大正期)			「苔の花古へ語る古刹哉」ほか3句書上	継紙	1	
293		錦江水力電気事業出願書並に設計書	(明治43年7月21日)				紙	1	印刷。端裏書「水力電気之調書」。2ヶ所
294		〔故桂侯爵記念事業会冊子〕	大正4年3月	東京市麹町区永田町大蔵大臣官邸内　故桂公爵記念事業		故桂侯爵記念事業への寄付要請	書綴	1	印刷
295		〔葉書〕	大正4年6月6日	東京麹町区五番町三番地　弁護士　松田源治	麻布区材木町二九　野田卯太郎殿	移転通知	葉書	1	印刷
296		〔葉書〕	大正4年6月(14日)	三池土木株式会社	三池郡岩田村　野田卯太郎	株券受渡しにつき通知	葉書	1	印刷。日は消印
297		学校予算	(大正4年頃)			収支計算・不足補助額ほかにつき誤刷訂正、校舎増築予算中建築用土地買収金額書上	罫紙	1	東洋協会専門学校罫紙使用
298		〔書簡〕	(大正4年)7月4日	とめ子(東京野田宅内　加藤留)	御父上(京城西小門　野田卯太郎)	本年家計簿送付の事、秀助ほか近況報告	継紙	1	封筒あり。年は消印
299		大正四年二月廿二日開会臨時株主総会決議事項報	大正4年3月5日	武蔵電気鉄道株式会社社長岡田治衛武	株主各位		紙	1	印刷

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
300	1	〔書簡〕	(大正4年)7月7日	大塊(京城野田卯太郎)	野崎老台(市外下渋谷羽沢野崎廣太)	流罪も1年半につき召還の恩典につき老侯へ斡旋願いほか	継紙	1	300-1～2封筒一括(野崎廣太より野田卯太郎宛)
300	2	〔書簡〕		(野田卯太郎)		300-1の案文	継紙	1	後欠
301		〔葉書〕	大正4年3月25日	東京府豊多摩郡渋谷町中渋谷三百八番地　渡辺勘十郎	麻布区材木町二十九　野田卯太郎様	転居通知	葉書	1	
302		衆議院議員一覧表	大正元年12月26日調			「野田」の署名あり、一部欠損	切紙	1	印刷
303		郵便物配達証明書	大正4年4月18日	筑前国木屋瀬町郵便局	京城西小門　野田卯太郎殿	鞍手郡木屋瀬町高倉三吾宛郵便物につき	紙	1	
304		交詢社カード	(大正4年頃)			玉突会など各種会日、本社理事・常議員など書上、委員名追記あり	紙	1	印刷
305		覚	(大正4年頃)			五倍子につき韓語・日本語などの比較ほか	切紙	1	
306		〔葉書〕	大正4年4月17日	小金井ヨリ　蘇峯	京城西小門　野田卯太郎	牛耳洞の如く桜満開の事	絵葉書	1	絵葉書表題「小金井の桜　喜平橋」
307		〔通知〕	大正4年6月14日	株式会社三井銀行福岡支店	野田卯太郎	当座勘定決算につき	紙	1	印刷。封筒あり。封筒上書「三井銀行本支店ニ関ル書類入」
308		〔書簡〕	大正4年6月21日	猪(東京青山南町六ノ三十徳富猪一郎)	大塊大人(京城西小門外　野田卯太郎)	来月京城訪問につき通知	継紙	1	封筒あり
309		〔俳句〕	(大正4年頃)			「一走り夏の往来や六十里」ほか4句書上	切紙	1	
310	1	履歴書	(大正4年)	福岡県山門郡城内村大字本町二十九番地　大堤祐吉			切紙	1	310-1～4封筒一括。封筒上書「履歴書数通入　大正四、七月」
310	2	履歴書	(大正4年)	東京市本郷区弥生町三番地太田政夫(印)			罫紙	1	
310	3	履歴書	大正4年4月	東京市麹町区飯田町四丁目四番地高田桐方　松尾文夫			罫紙	1	
310	4-1	履歴書	(大正4年)	福岡県久留米市洗町十五番地　大庭米三郎(印)			罫紙	1	310-4-1～5封筒一括。封筒上書「大正四、七月　大庭米三郎履歴書　行政官希望　貝嶋六三郎紹
310	4-2	〔書簡〕	(大正4年)4月27日	熊川三吉(鞍手郡菅牟田第三坑社宅)	野田様(京城明治町東拓社宅野田卯太郎)	大庭米三郎の行政官転任につき斡旋願い	継紙	1	封筒あり
310	4-3	〔書簡〕	(大正4年)4月27日	貝嶋六太郎	野田卯太郎殿	大庭米三郎の行政官転任につき斡旋願い	継紙	1	封筒あり
310	4-4	履歴書	(大正4年7月)	鹿児島県薩摩郡東水引村字宮内二百四番戸士族　山崎良邦(印)			切紙	1	封筒あり。封筒上書「山崎良邦履歴書入」
310	4-5	履歴書	大正4年2月	福岡県八女郡光友村大字山崎中島　甲木檀(印)			罫紙	1	
311		〔書簡〕	(大正4年)3月21日	虎之助(東京麻布区材木町二九　加藤虎之助)	父上様(朝鮮京城西小門　野田卯太郎様)	とめ子出産後の経過順調の事、光代婚約の件ほか	継紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
312	1	〔書簡〕	(大正4年)3月20日	出川久吉、坂口きわ(馬山京町二丁目)	野田卯太郎殿	礼状	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。312-1～2封筒一括。封筒上書「枡永の電報入」
312	2	〔電報〕	大正4年3月20日	チクゴエノウラ局　マス(筑後江浦局)	ケイシヨウウニシコモン　ノダウタロウ(京城西小門野田卯太	万事御意に任す(バンジギヨイニマカス)	電報	1	
313		鮮南水産株式会社目論見及定款	(大正期)				書冊(罫紙)	1	封筒あり。封筒上書「南鮮水産会社目論見定款入、梅津ヨリ送付来たるもの」
314	1	大正参年中合計	(大正3年頃)	(東京市麻布区材木町野田卯太郎内　加藤とめ子)	(朝鮮京城西小門七十五　野田卯太郎)	賄費・居住費・被服費につき	罫紙	1	314-1～6封筒一括
314	2	税金一年分	(大正3年頃)	(加藤とめ子)		大正2年第2期分宅地租29円余ほか	罫紙	1	
314	3	〔俊作分ほか合計表〕	(大正3年頃)	(加藤とめ子)		俊作分193円余ほか	書綴(罫紙)	1	
314	4	〔大正4年1月分家計収支表〕	(大正4年1月)	(加藤とめ子)			書綴(罫紙)	1	
314	5	大正四年弐月分家計表	(大正4年2月)	(加藤とめ子)			書綴(罫紙)	1	
314	6	〔1ヶ月生活費予算〕	(大正前期)	(加藤とめ子)		賄費、教育・小遣いほか	罫紙	1	
315		〔書簡〕	(大正5年10月)29日	のぼる(東京巣鴨宮仲一九七九駒井氏・高木徳)	四郎太様(福岡県三池郡岩田野田四郎太郎)	近況報告	原稿用紙(23枚)	1	封筒あり。年月は封筒消印。315～350紐一括
316		〔書簡〕	(大正5年)9月28日夜	のぼる(東京四谷にて高木徳)	四郎太様(福岡県三池郡岩田村　野田四郎太)	病気見舞い、近況報告	原稿用紙(3枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
317		〔書簡〕	(大正5年12月)18日	のぼる(東京糀町三番町四九白木方　高木生)	四郎太様(鹿児島市長田町染河方　野田四郎太)	露国行きにつき内田氏への取り次ぎを井上氏に依頼中の事、小村よりの援助の事ほか	原稿用紙(7枚)	1	封筒あり。年月は封筒消印
318		〔書簡〕	(大正5年)12月10日	東京糀町区三番町九白木方高木生	鹿児島市長田町染川氏方　野田四郎太様	四郎太の病気見舞い、高木も健康状態がすぐれぬ事。小村の援助を受け、高木の露国行きにつき内田への取り次ぎを井上敬二郎に頼むが色よい返事ではない事、月謝工面につき借金申し入れほか	原稿用紙(12枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
319	1	〔書簡〕	(大正6年)4月23日	のぼる(熊本本荘　高木生)	四郎兄(福岡県三池郡岩田村野田四郎太)	野田卯太郎当選祝い、福岡・熊本の選挙結果についてほか	原稿用紙(23枚)	1	319-1～3封筒一括
319	2	〔葉書〕	(大正6年)4月21日	国府台にて　同人四年	熊本市外本荘　高木徳様	国府台美人小屋にて酒を飲み居る事ほか	葉書	1	
319	3	〔書簡〕	(大正期)	吃生(中国鎮江)	高木大兄	平川氏・高木・自分の人物評、上海読書会の模様ほか	罫紙(5枚)	1	
320		〔書簡〕	(大正6年)4月30日	のぼる(熊本本庄　□生)	四郎様(福岡県三池郡岩田村野田四郎太)	熊本の選挙結果について、選挙違反の件につき父親が裁判所に召喚された事ほか	原稿用紙(11枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
321		〔書簡〕	(大正3年)4月29日	のぼる(熊本市外本庄村　高木徳)	三池なる野田さん(福岡県三池郡岩田村　野田四郎太)	高等学校受験のため熊本で勉強中につき近況報告	罫紙(7枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
322		〔書簡〕	(大正3年6月)13日	徳(肥后　高木生)	野田様(福岡県三池郡岩田村　野田四郎太)	入学試験直前の近況報告	罫紙(3枚)	1	封筒あり。年月は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
323	1	〔書簡〕	(大正4年5月)17日	徳(群馬大町)	四郎太様(鹿児島市長田町一二〇染川氏方　野田四郎太)	東京より群馬赤城の中島君宅を訪問中の事ほか近況報告	原稿用紙(2枚)	1	323-1～2封筒一括
323	2	〔書簡〕	(大正4年5月17日)	E(中島)	野田	高木君との会話などにつき	原稿用紙(2枚)	1	
324		〔書簡〕	(大正5年)9月10日	のぼる(東京市外巣鴨村字宮仲一九七九駒井氏方　高木徳)	四郎太様(福岡県三池郡岩田村　野田四郎太)	大隈・寺内内閣などこの度の政変の論評、内田康哉が露大使に就任する噂の件ほか	原稿用紙(8枚)	1	封筒あり
325		〔書簡〕	(大正6年7月)19日	徳(熊本　高木徳)	四郎太様(相州鎌倉七里浜鈴木医院にて　野田四郎太)	天草行きの報告、裁判にて父3ケ月禁固の判決となる事ほか	罫紙(2枚)	1	封筒あり。年月は封筒消印
326		〔書簡〕	(大正6年)8月3日	無蓋(熊本　高木生)	四郎兄(相州鎌倉七里浜鈴木医院　野田四郎太)	近況報告、病気見舞いほか	原稿用紙(15枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
327		〔書簡〕	(大正6年)5月16日	徳生(熊本市外本荘　高木徳)	四郎兄(東京市麻布区材木町二九　野田四郎太)	近況報告、親父が熊本監獄より八代へ移送され、予審が開始された事ほ	原稿用紙(9枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
328		〔書簡〕	(大正6年)9月10日	のぼる(高木徳)	四郎兄(相州鎌倉七里浜鈴木医院　野田四郎太)	上京の途中鎌倉に立ち寄る事	原稿用紙(2枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
329		〔書簡〕	(大正6年)7月15日	徳(熊本　高木生)	四郎兄(相州鎌倉七里浜鈴木医院　野田四郎太)	無沙汰の御詫び、病気見舞い	罫紙(7枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
330		〔書簡〕	(大正6年)8月20日	徳(熊本本荘　高木生)	四郎様(相州鎌倉七里浜鈴木医院　野田四郎太)	病気見舞い、近況報告	罫紙(10枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
331		〔書簡〕	(大正6年2月)11日	のぼる(熊本市外本荘　高木徳)	四郎様(鹿児島県揖宿郡指宿村字潟口浜田温泉　野田四郎	先日訪問の件、カステラ送付の事ほか	罫紙(4枚)	1	封筒あり。年月は封筒消印
332		〔書簡〕	(大正6年3月)11日	のぼる(熊本市外本荘村　高木生)	四郎様(鹿児島県揖宿郡指宿村字潟口浜田温泉　野田四郎	日曜会出席の事、熊本などでの選挙の模様ほか近況報告	原稿用紙(7枚)	1	封筒あり。年月は封筒消印
333		〔書簡〕	(大正6年)2月28日	のぼる(熊本市外本荘村　高木徳)	野田四郎太様(鹿児島県揖宿郡指宿村字潟口浜田温泉)	日曜会演説の感想ほか近況報告	原稿用紙(14枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
334		〔書簡〕	(大正6年1月)20日	のぼる(熊本本荘　高木徳)	四郎太様(鹿児島県揖宿郡指宿村潟口浜田氏方　野田四郎	ロシア行きの計画失敗の事、内田氏との面会の模様ほか	原稿用紙(12枚)	1	封筒あり。年月は封筒消印
335	1	〔書簡〕	(大正6年2月9日)	徳(熊本市外本荘村　高木徳)	四郎太様(鹿児島市下龍尾町九二村尾氏方　野田四郎太)	龍南会雑誌の上田不泯を紹介したい事、将来新聞記者になりたい事ほ	原稿用紙(8枚)	1	335-1～2封筒一括
335	2	〔書簡〕	(大正5年)2月7日	徳	四郎太様	返信遅延の詫び	原稿用紙	1	年は封筒消印
336		〔葉書〕	(大正5年3月)27日	のぼる	四郎太様(鹿児島市下龍尾町九二村尾様方　野田)	試験後に面会致し度事	葉書	1	年月は消印
337		〔書簡〕	(大正5年4月)25日	のぼる(東京本郷六丁目三一揚名館　高木生)	四郎太様(鹿児島市下龍尾町九二村尾様方　野田四郎太)	早稲田の入学手続きを済ませし事ほか	原稿用紙(12枚)	1	封筒あり
338		〔葉書〕	(大正5年3月3日)	熊本　高	鹿児島市下龍尾町九二村尾様方　野田四郎太様	高等学校の選択について	葉書	1	年月日は消印
339		〔封筒〕	(大正4年9月)4日	熊本本庄村　高木徳	福岡三池郡岩田　野田四郎太様		封筒	1	年月は消印
340		〔書簡〕	(大正4年2月)11日	徳(東京本郷区台町六〇朝盛館　高木徳)	四郎太様(鹿児島市七高造士館寄宿舎　野田四郎太)	明治の予科に在籍する事ほか	原稿用紙(2枚)	1	年月は消印
341		〔葉書〕	(大正3年6月16日)	熊本　高木生	フクオカ県三池郡岩田　野田四郎太様	高校志願者数の状況について	葉書	1	年月日は消印
342		〔葉書〕	(大正3年6月)	高木生	福岡県三池郡岩田村　野四郎太様	勉強の質問の件について	葉書	1	年月は消印
343		〔葉書〕	(大正3年6月2日)	高木生	福岡県三池郡岩田村　野田四郎太様	勉強の進捗状況について	葉書	1	年月日は消印
344		〔葉書〕	(大正4年1月27日)	名古屋ニテ　加藤健吉、高木徳	鹿児島七高造士館寄宿舎　野田四郎太様	名古屋にて須磨子の復活を観賞した事ほか	葉書	1	年月日は消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
345		〔書簡〕	(大正5年9月)4日	徳生(熊本市外本庄村　高木徳)	四郎太兄(福岡県三池郡岩田村　野田四郎太)	天草旅行の模様ほか	原稿用紙(14枚)	1	年月は消印
346	1	〔書簡〕	(大正4年6月)15日	のぼる(熊本市外本庄村　高木徳)	野田様(鹿児島長田町一二一染川氏方　野田四郎太)	高等学校受験の件ほか	原稿用紙(4枚)	1	346-1～2封筒一括。年月は封筒消印
346	2	〔書簡〕	(大正4年6月)16日	(高木徳)	(野田四郎太)	手紙受取りの事ほか	原稿用紙(6枚)	1	
347		〔葉書〕	(大正5年1月25日)	於東京　吉田節太郎	朝鮮京城　野田卯太郎様	年頭挨拶、政界も動揺の兆しあり、御自重を希望仕る事	絵葉書	1	絵葉書表題「富士山」
348		〔葉書〕	(大正期頃)			未使用	絵葉書	1	絵葉書表題「全南光州地方法院」
349		〔葉書〕	(大正期頃)			未使用	絵葉書	1	絵葉書表題「朝鮮全羅南道庁」
350		〔葉書〕	(大正期頃)			未使用	絵葉書	1	絵葉書表題「全南光州邑門及南門外入口ノ景」
351		〔書簡〕	(大正期頃)1月22日	吉原三郎	野田副総裁殿　野田卯太郎	野田の衆議院議員兼務のため東拓社務の処理について	継紙	1	351～364紙縒一括。351～380紐一括
352		〔封筒〕	(大正4年1月22日)	京城東洋拓殖株式会社　吉原三郎	福岡県三池郡岩田村岩津　野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印
353		〔書簡〕	(大正5年)11月27日	原田金之祐(東京市麻布区飯倉町五ノ五六)	野田老台(福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎)	野田京城在住中の御懇情への礼状	切紙	1	年は封筒消印
354	1	〔電報〕	(大正5年11月27日)	タムラ	センバトギヤ　ノダウタロウ	事迫るにつきムラタ氏に許可依頼(コトセマルムラタシイニセヒキヨウカヲヨトデンネゴウ)	電報	1	354-1～7封筒一括(三池郡岩田村三池町野田卯太郎宛)
354	2	〔電報〕	(大正5年11月27日)	アソ	センバトギヤ　ノダウタロウ	ハヤカワ氏来訪につき明日昼訪問依頼(ハヤカワシミエタアスヒルハンダスオイデコウ)	電報	1	
354	3	〔名刺〕	(大正5年11月)	福岡日日新聞社記者大牟田支局不知火町　加藤一枝			名刺	1	
354	4	〔名刺〕	(大正5年11月)	九州耐火煉瓦株式会社庶務主任　福岡県八幡町大字枝光納富由三			名刺	1	
354	5	〔名刺〕	(大正5年11月)	福岡市博多上東町十五番　福岡商会九州支店　宮井章景			名刺	1	
354	6	〔名刺〕	(大正5年11月)	熊本市段山町五四　安野三郎			名刺	1	
354	7	〔名刺〕	(大正5年11月)	熊本市新町壱丁目百四番地弁護士・法学士　古閑又五郎			名刺	1	
355	1	〔案内状〕	大正5年11月(19日)	東京市本郷区湯島新花町九十三番地　沢来太郎	麻布区材木町　野田卯太郎殿	『帝国々有財産総覧』発行につき購入願い	紙	1	355-1～2封筒一括。日は封筒消印
355	2	申込書	大正5年11月		東京市本郷区湯島新花町九三　沢政務調査所出版部御中	『帝国々有財産総覧』購入につき、未使用	葉書	1	
356		〔書簡〕	大正5年11月12日	徳浪猪重(長崎市稲佐町二ノ六八)	野田卯太郎様(東京市麻布区材木町)	野田東拓副総裁辞任に対し挨拶	継紙	1	封筒あり
357		〔書簡〕	(大正5年)11月22日	暢(京城南米倉町6号官舎　渡辺暢)	野田賢台(東京麻布材木町野田卯太郎)	野田副総裁在任中の礼状	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
358		〔書簡〕	(大正5年)11月22日	金子圭介(山口県豊浦郡長府町)	野田卯太郎様(東京麻布材木町二九)	野田東拓副総裁辞任に対し挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
359		〔書簡〕	(大正5年)11月28日	熊川(小倉市鋳物師町　熊川三吉)	野田様(三池郡岩田村岩津　野田卯太郎)	釜山丸電へ就職のため紹介状送付願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
360		〔書簡〕	(大正5年)11月22日	朝鮮晋州　佐々木藤太郎	野田卯太郎殿(京城西小門内京城社宅気付)	野田東拓副総裁辞任に対し挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
361		〔書簡〕	(大正5年)11月25日	天野喜之助(群山府官舎)	野田卯太郎殿(京城東洋拓殖株式会社気付)	野田東拓辞任に対し挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
362		〔書簡〕	(大正5年11月)27日	虎二(京城明治町三関庵主人)	大塊翁(福岡県三池郡岩田村野田大塊)	仙崖師へ拙画紹介の御礼ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
363		〔書簡〕	大正5年11月25日	沢来太郎(東京市本郷区湯島新花町九三)	野田卯太郎様(朝鮮京城昭義門通)	拙著『帝国々有財産総覧』など公刊につき支援願い	継紙	1	封筒あり
364		〔書簡〕	大正5年11月23日	木原正義(全南栄山浦)	野田大人閣下(京城西小門町野田卯太郎)	野田東拓退社に対し挨拶	継紙	1	封筒あり
365		〔書簡〕	(大正5年)11月27日	稲垣甚(朝鮮龍山鉄道官舎六四号二)	野田卯太郎様(福岡県三池郡岩田村字岩津)	野田東拓退社に対し挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。365～374紙縒一括
366		〔書簡〕	(大正5年)11月24日	黒川穣(朝鮮大邱)	野田卯太郎殿(京城西小門通)	東洋拓殖会社副総裁勇退に対し挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
367	1	〔書簡〕	(大正5年)11月25日	森勝次(京城府南山町一ノ六)	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村)	東拓退任に対し挨拶、揮毫料立替分送付の依頼	継紙	1	367-1～2封筒一括
367	2	〔領収書〕	大正5年11月25日	小山雪耕　大日本千名所画会(印)	野田殿	尺八絹本金剛山九龍淵揮毫料40円領収	紙	1	
368		〔書簡〕	(大正5年)11月26日	富家正義(朝鮮開城)	野田卯太郎様(福岡県三池郡岩田村)	東拓副総裁辞任に対し挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
369		〔書簡〕	(大正5年)11月24日	小原新三(京城)	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村)	東拓副総裁辞任に対し挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
370		〔書簡〕	(大正5年)11月22日	大邱覆審法院　中山勝之助	野田卯太郎殿(京城西小門通)	東拓辞任に対する挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒より。封筒に付紙あり(三池郡岩田村へ転送につき)
371		〔書簡〕	(大正5年)11月25日	山崎梧(京城清雲洞)	松野老台(福岡県三池郡岩田村　松野鶴平)	大塊翁へ句讃依頼のため西小門舎宅から持帰りの書画送付願い	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
372		〔書簡〕	(大正5年11月)25日	虎二生(京城明治町三関庵主人　江口虎二)	大塊翁(福岡県三池郡岩田村野田大塊)	亡父ほか法事につき俳句2首書上	継紙	1	封筒あり。年月は封筒消印
373		〔書簡〕	(大正5年)11月25日	井上孝哉(東京本郷区西片町十番地ほ三〇号)	野田老台(福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎)	吉原氏法要につき御礼、総会無事終了の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
374		〔書簡〕	(大正5年)11月20日	柳赫魯(忠清北道清州官舎)	野田卯太郎(福岡県三池郡)	東拓副総裁辞任挨拶状受取につき答礼	切紙	1	封筒あり。年は封筒より
375		〔封筒〕	大正5年8月14日	大阪市北区北野角田町参百弐拾五番地　箕面有馬電気軌道株式会社	東京麻布区材木町廿九番地野田卯太郎殿	封筒付紙あり(京城東洋拓殖株式会社宅へ転送依頼につき)	封筒	1	375～380封筒一括
376		〔書簡〕	(大正5年)8月13日	一藤益太郎(青嶋市松根町)	野田卯太郎殿(朝鮮京城)	暑中見舞い	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
377	1	〔書簡〕	(大正5年)8月15日	野田俊作	御父上様(京城西小門七五 野田卯太郎)	鄭家屯事件の報告	罫紙(4枚)	1	封筒あり。年は封筒消印。377-1～2封筒一括。封筒上書「西小門　野田卯太郎様手紙二通在中」。封筒裏上書「朝鮮京城大平通一丁目神崎合資会社京城日報
377	2	〔書簡〕	(大正5年)8月16日	野田俊作	御父上様(京城西小門七五 野田卯太郎)	鄭家屯事件の報告	罫紙(5枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
378		〔書簡〕	(大正5年)8月18日	河井朝雄(大邱)	野田様(京城東拓舎宅　野田卯太郎)	先日面会の御礼、田村氏を介して懇願の件につき依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
379		〔書簡〕	(大正5年8月)12日	野井猪太郎(日向宮崎)	野田大人様(東京麻布材木町二九　野田卯太郎)	先般依頼の件につき御礼、書面返信の件につき伺い	罫紙	1	封筒あり。宮崎県日州新聞部用箋使用。年月は封筒消印
380	1	〔通知〕	大正5年8月14日	箕面有馬電気軌道株式会社取締役社長　平賀敏	株主殿	臨時株主総会開催につき案内、軌道財団を抵当として金185万円借入の件につき総会議案書上	紙	1	380-1～4封筒一括。封筒上書「朝鮮京城明治町　野田卯太郎殿」。封筒裏上書「遠賀郡底井野村　岡部雅実」
380	2	〔委任状〕	大正5年8月	株主	大阪市北区角田町(梅田)　箕面有馬電気軌道株式会社御	臨時株主総会の代理人につき、未使用	葉書	1	
380	3	〔電報〕	(大正5年8月20日)	アサブカスミテウ局　マツノ	ケイセウセイシヨモン七五　ノダウタロ	勲三等拝受の事(クン三トハイジユセラレマシタ)	電報	1	
380	4	〔電報〕	(大正5年8月20日)	ユクハシ局　カシワギ	ケイジョウニシコモントヲリ ノダウタロ	御名誉を祝す(ゴメイヨヲシユクス)	電報	1	
381		〔書簡〕	(大正5年)7月10日	東京麻布　加藤とめ子	京城西小門　野田卯太郎	書留			
381	1	大正五年上半期収入表・収支表	(大正5年)			家計分	罫紙	1	381-1～4封筒一括。381～405紙綴一括
381	2	大正五年第七月分家計表・大正五年第八月支出表	(大正5年)			家計分	罫紙	1	
381	3	〔書簡〕	大正5年7月3日	茂郎	西川様	団琢磨令嬢壽枝子の紹介	罫紙(2枚)	1	写真添付(雑誌切抜2枚)
381	4	〔書簡〕	(大正5年)7月10日	加藤留(東京市麻布材木町二九)	御父上様(京城西小門　野田卯太郎)	満鉄株は別便にて廻送の事、当宅上半期家計表の事、団家との見合いの件、秀助手術の件ほか	継紙	1	年は封筒消印
382		〔葉書〕	(大正5年)11月18日	博多にて　松野鶴平	大分県別府温泉若松屋旅舘 野田卯太郎様	送別会の計画、朝鮮金山の状況報告について	葉書	1	年は消印
383		〔書簡〕	(大正5年)9月14日	四郎太(三池郡岩田　野田四郎太)	父上様(京城西小門　野ダウ太郎　野田四郎太)	病状報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
384		〔書簡〕	(大正5年)9月12日	田村権蔵(大邱)	野田尊台(京城西小町　野田卯太郎)	甥共の件につき公然裁判は避けがたい事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
385	1	〔電報〕	(大正5年10月3日)	テク局　シユン	ケイゼウセイショウモン七五　ノダウタロウ	「デミイツデモメイニヨリユキマス」	電報	1	385-1～6封筒一括。封筒上書「中村友次郎君持参」

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
385	2	〔電報〕	(大正5年10月2日)	タイキウ局 タムラ	ケイゼウニシコモン ノダウメタロウ	検査済む、今夜1時報告に参ります(ケンサスムコンヤージホウコクニマイリマス)	電報	1	
385	3〜4	〔電報〕	(大正5年9月30日)	ナゴヤ局 マツノ	セイシヨモン七五 ノダウタロウ	明日朝下関発、釜山に寄り三日朝着く(アスアサシモノセキハツフサンニヨリ三ヒアサツク)、山県万難廃し寺内を推す覚悟、3、4日内政変あらん(ヤマガタバンナンヲハイシテラウチヲオスカクゴ 三四ヒノウチセイヘン	電報	1	
385	5	〔電報〕	(大正5年10月1日)	テウシユン局 シユン	ケイセウセイシヨウモン七五 ノダウタロウ	「七ヒアサゴリユウハイニツケル」とあり	電報	1	
385	6	〔電報〕	(大正5年10月3日)	トウシウエキナイ局 ヤマモト	ケイゼウ ノダウメタロウ	2・3日内返事する(二三ヒウチヘンジスル)	電報	1	
386		覚	(大正5年頃)			中村再造など13名分人名書上	継紙	1	
387		〔書簡〕	(大正5年)9月24日	邦彦(福岡市東小性町 福岡県水産試験場長 樋口邦彦)	野田尊台(朝鮮京城西小門通り 野田卯太郎)	県会予算問題、博多冷蔵庫附属魚市場を巡る政友会県議の工作	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
388	1	〔書簡〕	(大正5年)10月5日	田村直巳(江原道揚口)	野田卯太郎(京城西小門町)	金融組合の理事を辞したき事、履歴書送付につき朝鮮郵船会社などへ推薦願いほか	継紙	1	388-1〜2封筒一括。年は封筒消印
388	2	履歴書	大正5年10月	田村直巳(印)			書綴(罫紙)	1	
389		〔人名書上〕	(大正5年頃)			「大和町官舎 桜崖 中村彦」など16名分につき	切紙	1	
390		〔書簡〕	(大正5年)10月6日	たきの(福岡県三池郡岩田松野たきの)	父上様(京城西小門 野田卯太郎)	此度送付の石碑建立の件、車新調のため長太郎金員借用の件につき伺いほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
391		〔書簡〕	大正5年10月2日	十時英三郎(忠南瑞山邑)	野田卯太郎様(京城西小門七五)	光井香氏・吉田林太郎氏の就職斡旋願い	切紙	1	封筒あり
392		〔書簡〕	(大正5年)10月7日	半莫生(福岡県遠賀郡戸畑町字中原 安川敬一郎)	大塊和尚(朝鮮京城西大門町七五番地 野田卯太郎)	政界近況への感想ほか	継紙(2枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
393	1	〔書簡〕	(大正5年)11月12日	□(東京市芝区芝公園第十一号 小松緑)	大塊志兄(福岡市栄屋 野田卯太郎)	俳句書上ほか	継紙	1	393-1〜7封筒一括
393	2	〔書簡〕	(大正5年)11月13日	琢磨(東京市外原宿三四四団琢磨)	野田大塊翁殿(福岡県三池郡岩田村 野田卯太郎)	東拓辞任は朝鮮の為には残念なれども、本国の為には尽力自由となり賀すべき事	継紙	1	封筒あり。封筒付紙あり(別府若松屋へ転送につき)。年は封筒
393	3	〔書簡〕	(大正5年)11月4日	孝(東京品川御殿山 益田孝)	野田大塊様(朝鮮京城 野田卯太郎)	御辞任の件、御上京を待つ事、島老を失いし事哀悼に堪えざる事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
393	4	〔俳句〕	(大正5年頃)			俳句2句書上	継紙	1	後欠
393	5	〔俳句〕	(大正5年頃)			俳句2句書上	切紙	1	後欠
393	6	〔書簡〕	(大正5年)11月8日	大久保到(全北全州)	野田老台(京城西小門 野田卯太郎)	野田退職に対し挨拶	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
393	7	〔書簡〕	(大正5年11月)16日	倉田敏助(京城本町二丁目)	大塊翁(福岡市栄屋旅館 野田卯太郎)	山口氏入京遅延の件、東拓内部についての風聞、三井との応酬、大倉による経営の状況など	継紙	1	封筒あり。年月は封筒消印
394		〔葉書〕	(大正5年□月15日カ)	人吉林温泉 川野庵	朝鮮京城西小門通 野田大塊先生	俳句1句書上	絵葉書	1	絵葉書表題「人吉林温泉旅館翠嵐楼全
395		〔書簡〕	大正5年11月15日	飛梅(全南栄山浦東拓出張所飛田清一郎)	大塊翁(京城西小門町 野田卯太郎)	川柳4句書上、野田の東拓辞任につき	継紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
396		〔書簡〕	(大正5年11月18日)	熊川三吉(小倉市鋳物師町一〇四番地)	野田卯太郎様(大分県別府若松屋)	釜山丸電会社へ就職のため紹介状作成願い	罫紙(3枚)	1	封筒あり。ただし398の封筒と混在か。日付・宛名・差出の情報は398の封筒から採
397		〔電報〕	(大正5年11月18日)	アカサカナカノテフ局 ゴンドウ	イワタムラ ノタウタロウ	無罪判決、兄(ムザイハンケツアニ)	電報	1	
398		〔書簡〕	(大正5年11月)19日	鶴平(松野鶴平)	父上様(大分県別府若松屋旅館 野田卯太郎)	権藤より無罪の旨の電報あり、権藤赤坂へ転居の事	継紙	1	封筒あり。ただし396の封筒と混在か。日付・宛名・差出の情報は396の封筒から採
399		大陸青年団団規	大正5年11月3日	団長 金子平吉(大連市奥町二丁目五拾番地 大陸青年団本部) 朝鮮京城西小門通 野田卯太郎			紙	2	封筒あり
400		〔断簡〕	(大正5年頃)			「乞御叱正」以下欠	切紙	1	後欠
401		〔書簡〕	(大正5年)11月19日	井上孝哉(東京日本橋区数寄屋町二番地平野いと方)	野田尊台(大分県別府若松屋 野田卯太郎)	吉原氏の葬式相済、生前の厚情・死去後の配慮に感謝	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
402		〔封筒〕	(大正5年11月21日)	大分市荷揚町豊州新報社 長野松太郎	速見郡別府町若松屋旅館 野田卯太郎様		封筒	1	年月日は消印
403		〔封筒〕	(大正5年11月21日)	大分市荷揚町 豊州新報社	速見郡別府若松屋旅館 野田卯太郎様		封筒	1	年月日は消印
404		〔書簡〕	(大正5年)11月20日	長野松太郎、同潔(大分市荷揚町豊州新報社)	野田先生(速見郡別府町若松屋旅館 野田卯太郎)	昨日御談話の御礼、吉原氏仏事豊州新報へ揚書の分送呈の事ほか	継紙	1	封筒あり
405	1	電報料金受領證書	(大正5年11月16日)	(別府郵便局)	ノダウメタロウ	発信人クラタの電報受領につき	電報	1	405-1～3同折。405-1～18同折
405	2	電報料金受領證書	(大正5年11月16日)	(別府郵便局)	ノダウメタロウ	発信人ハヤシの電報受領につき	電報	1	
405	3	電報料金受領證書	(大正5年11月16日)	(別府郵便局)	ノダウメタロウ	発信人ヤマサキの電報受領につき	電報	1	
405	4	〔電報〕	(大正5年11月21日)	シモノセキ局 ワカマツ	ベップワカマツヤ ノタウタロ	滞在日限につき質問、紡績の件で示教を得たきため訪問の旨の通知	電報	1	
405	5	〔電報〕	(大正5年11月21日)	(下関局ワカマツ)	(別府若松屋野田卯太郎)	都合変更の事	電報	1	
405	6	〔電報〕	(大正5年11月21日)	トウケイ局 サカイ	ベップマチワカマツヤ ノダウタロウ	訪問催促	電報	1	
405	7	〔電報〕	(大正5年11月16日)	ケイゼウ局 ヤマサキ	ベップワカマツヤリヨカン ノダウタロウ	女子安産、御安心願う	電報	1	
405	8	〔電報〕	(大正5年11月16日)	コウジマチ局 ハヤシ	ベップワカマツヤリヨカン ノダウタロヲ	吉原氏危篤	電報	1	
405	9	〔電報〕	(大正5年11月14日)	チクゴワタセ局 ヨシワラ	サンヨホテル ノダウタロウ	昨夜無事到着、明日出発予定	電報	1	
405	10	〔電報〕	(大正5年11月14日)	トウケイエキナイ局 ヨシワラ	イワタムラ ノダウタロウ	無事到着、御安心願う	電報	1	
405	11	〔電報〕	(大正5年11月18日)	アサ□ロシクホンギ局 カト	ベップワカマツヤリヨカン ノダウタロウ	吉原氏贈物の取扱いにつき伺い	電報	1	
405	12	〔電報〕	(大正5年11月18日)	チクゼンハカタ局 マツノ(松野鶴平)	ベップヲンセンワカマツヤリヨカン ノダウタロヲ	帰着につき訪問通知	電報	1	
405	13	〔電報〕	(大正5年11月17日)	ギンザ局 カトウ	ヲイタケンベップワカマツヤリヨカン ノダウタロウ	葬式の日程、明日通夜に出席の事	電報	1	
405	14	〔電報〕	(大正5年11月17日)	コウジマチサンバシテウ局 ヨシワラセイ一	ベップヲンセンリヨカン ノダウタロ	父三郎死去	電報	1	
405	15	〔電報〕	(大正5年11月16日)	ホンマチニチウメ局 クラタ	ワカマツヤリヨカン ノダウタロ	山口氏出発日程につき伺い	電報	1	
405	16	〔電報〕	(大正5年11月9日)	ケイセウ局 ハヤシ	フクオカサカエヤ ノダウタウ	出発日程などにつき通知	電報	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
405	17	〔電報〕	(大正5年11月9日)	ケイセウ局 イシヅカ	サカエヤリヨカン ノダウタロウ	手紙拝見、社宅の件心配なし、17日頃出発し上京する事	電報	1	
405	18	〔電報〕	(大正5年11月18日)	コウジマチサンバシテフ局 ハヤシイノウエ	ベップケイサツショキツケ ノダウタロ	承知の事	電報	1	
406		〔会葬御礼〕	大正3年4月10日	太田広太郎		故・峰三郎葬儀へ会葬御礼	紙	1	
407		〔書簡〕	(大正3年)8月10日	敬(盛岡市古川端 原敬)	野田大人殿(朝鮮京城西小門 野田卯太郎)	第一次大戦にともなう政局の見込み、必要の場合には上京を乞う	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
408		〔書簡〕	(大正4年)3月14日	敬(東京芝公園 原敬)	野田老台(朝鮮京城西小門 野田卯太郎)	選挙の状況について、立候補辞退について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
409		〔書簡〕	(大正4年)2月10日	敬(東京芝公園 原敬)	野田老兄(朝鮮京城小西門 野田卯太郎)	西園寺に対する非難、選挙立候補の要請	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
410		〔書簡〕	(大正4年)1月20日	敬(東京芝公園 原敬)	野田老台(福岡県筑後国三池郡岩田村 野田卯太郎)	都筑に面会し興津行の約諾を得る、例の件は内話通りに結了の事、我が党の情況は不良にあらず	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
411		〔書簡〕	(大正3年)10月24日	敬(盛岡市古川端 原敬)	野田老台(朝鮮京城西小門町七五 野田卯太郎)	照井採用の件につき依頼、鶴原病気宜しからざる事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
412		〔書簡〕	(大正3年)5月6日	山座円次郎(北京)	野田老台(東京東洋拓殖会社 野田副総裁)	海軍収賄問題など政界現況の感想、従弟大神壮介の世話につき依	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
413		〔俳句〕	(大正期頃)			俳句5句	切紙	1	
414		〔俳句〕	(大正期頃)			俳句6句	継紙	1	
415		〔俳句〕	(大正期頃)			俳句3句	切紙	1	前後欠
416		〔俳句〕	(大正期頃)			俳句3句	継紙	1	
417		〔俳句〕	(大正期頃)			俳句3句	切紙	1	
418		〔俳句〕	(大正期頃)			俳句6句	継紙	1	
419		〔俳句〕	(大正期頃)			俳句5句	継紙	1	
420	1-1	〔俳句〕	(大正3年8月)	(野田大塊)		「紅葉散る此処そ名残の高麗の蹟」ほか4句書上	継紙	1	420-1～19封筒一括。封筒上書「俳句入 大塊 大正三中
420	1-2	〔俳句〕	甲寅天長節(大正3年8月31日)	(関城 野田大塊)		「栗拾ふ人や白衣のヨボか妻」ほか3句書上	継紙	1	
420	1-3	〔俳句〕	(大正3年)	(野田大塊)		「時雨るゝや送らるゝ人送る人」ほか3句書上	切紙	1	
420	1-4	大正三年夏南韓視察の作句	(大正3年夏)	(野田大塊)		「馬山浦ニ於テ 重るや嶺夏の潮の睡る如」ほか9句書上	罫紙	1	
420	1-5	〔俳句〕	(大正3年)	(野田大塊)		「奇岩清流添へたる紅葉の天下一」ほか1句書上	切紙	1	
420	1-6	〔俳句〕	(大正3年)	(野田大塊)		「三防は天下一其紅葉哉」ほか5句書上	継紙	1	
420	1-7	〔俳句〕	大正3年7月	(野田大塊)		「二日市温泉ニ於テ 夕霧峰覆ふ頃よ風涼し」ほか6句書上	罫紙(2枚)	1	
420	1-8	〔俳句〕	(大正3年)	(野田大塊)		「稲妻や其閃くの果ては何処」ほか1句書上	切紙	1	
420	1-9	〔俳句〕	大正3年中秋	(野田大塊)		「膠洲湾の戦争中 名月や戦ひつ見む敵味方」ほか3句書上	継紙	1	
420	1-10	〔俳句〕	大正3年10月14日	(野田大塊)		「倉洞ニ演習を参観して 秋清き高麗や山河に兵営陣馬」ほか4句書上	継紙	1	
420	1-11	〔俳句〕	(大正3年)	(野田大塊)		「青柳や上る舟下る舟」ほか6句書上	継紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
420	1-12	〔俳句〕	(大正3年)	(野田大塊)		「北嶺や漢江緩る々々夏の水」ほか3句書上	継紙	1	
420	1-13	〔俳句〕	(大正3年)	(野田大塊)		「馬山浦の景　重るや嶺夏の潮の眠る如」ほか10句書上	継紙	1	
420	1-14	〔俳句〕	(大正3年)	(野田大塊)		「畑打興安嶺裾の哉」ほか7句書上	継紙	1	
420	1-15	〔俳句〕	(大正3年晩秋)	(野田大塊)		「水の音松間々々の紅葉哉」ほか3句書上	切紙	1	
420	1-16	〔俳句〕	(大正3年)	(野田大塊)		「秋風に実りつ稲のそよ々々と」ほか5句書上	切紙	2	
420	1-17	〔俳句〕	(大正3年)	(野田大塊)		「吾人此処に狗も隣に月見かな」ほか4句書上	継紙	1	
420	1-18	観月句会出席者	(大正3年)			烏鬼小原新三など7名人名・俳号書	切紙	1	
420	1-19	関城行の作	(大正3年)	大塊		「紅葉散る此処そ名残の高麗の蹟」ほか4句書上	継紙	1	
421	1	〔俳句〕	(大正期)	(野田大塊)		「床石の出てし寂ひたり秋の川」ほか8句書上	継紙	1	421-1～3封筒一括。包紙上書「日奈久温泉ニ於而　句作入」
421	2	〔俳句〕	(大正期)	(野田大塊)		「小春日の晴に遙に畏みて」ほか3句書上	継紙	1	
421	3	〔俳句〕	(大正期)	(野田大塊)		「馬肥る頃吾れや痩たり秋の暮」ほか15句書上	継紙(2枚)	1	
422	1	〔俳句〕	(大正期)	(朝鮮京城西小門町七十五番地　野田卯太郎)		「身は無量寿姿は夏のふじの如」ほか3句書上	継紙	1	422-1～12封筒一括。封筒上書「俳句
422	2	〔俳句〕	(大正期)	(野田大塊)		「盆月夜棚引く山の雲白し」ほか7句書上	継紙	1	
422	3	〔俳句〕	(大正期)	(野田大塊)		「自動車の病むや春野の医者騒き」ほか5句書上	切紙	1	
422	4	〔俳句〕	(大正期)	(野田大塊)		「夜さくらや身は編笠の葉陰より」ほか1句書上	切紙	1	
422	5	〔俳句〕	(大正期)	(野田大塊)		「高麗の田植神の姿の白衣哉」ほか3句書上	切紙	1	
422	6	〔俳句〕	(大正期)	(野田大塊)		「編笠の身は謹慎の御閉門」ほか7句書上	継紙	1	
422	7	〔俳句〕	(大正期)	(野田大塊)		「呼へは答ふ浦港に通ふ涼み船」ほか2句書上	継紙	1	
422	8	〔俳句〕	(大正期)	(野田大塊)		「飛ふ梅や殊更匂ふ高麗の山」ほか6句書上	切紙	1	
422	9	〔俳句〕	(大正期)	(野田大塊)		「晋洲路や引かぬ小松の茂りつゝ」ほか4句書上	切紙	1	
422	10	〔俳句〕	(大正期)	(野田大塊)		「無言無説一輪の花真般若」ほか9句書上	継紙	1	
422	11	〔俳句〕	(大正期)	(野田大塊)		「雪解けり山路緩るゝ々狸哉」ほか4句書上	切紙	1	
422	12	〔俳句〕	(大正期)	(野田大塊)		「柳々白帆は沖に西東」ほか3句書	切紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
423	1	〔俳句〕	(大正5年1月)	(野田大塊)		「三百年経ても尚咲く桜かな」ほか2句書上	継紙	1	423-1～7封筒一括。封筒上書「大正五年一月十四日　俳句会名簿入并ニ作句　其種々」
423	2	〔俳句〕	(大正5年1月)	(野田大塊)		「ほろ酔ひの屠蘇の手に描く言葉哉」ほか5句書上	切紙	1	
423	3	〔俳句〕	(大正5年1月)	(野田大塊)		「菊咲くや病痾の吾れを笑ふ如」ほか2句書上	継紙	1	
423	4	〔俳句会名簿〕	(大正5年1月)	(野田大塊)		崔城森安連吉ほか俳号・人名15名分書上	継紙	1	
423	5	〔俳句〕	大正5年1月12日	(野田大塊)		「冷気来て嘸そ袁翁も寒むかろう」ほか4句書上、京城日報に投書とあり	継紙	1	
423	6	〔俳句〕	大正5年1月31日	(野田大塊)		「日露親善支那の騒擾　其往くや還るも高麗路和気の春」ほか4句書上	継紙	1	
423	7	〔覚書〕	(大正5年1月)3日	(野田大塊)		アメリカ1900屯・日本200屯ほか国名・数字書上	切紙	1	切紙2枚紙縒綴
424		〔包紙〕				上書「大正五年八月調　諸来状入」	包紙	1	425～446の包紙
425	1	〔書簡〕	(大正4年)8月23日	白仁武(新旅順)	野田老台(□城　野田卯太郎)	満蒙問題の件について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
425	2	〔書簡〕	(大正4年8月24日)	満州五龍背温泉　八幡多満	京城東拓会社々宅　野田卯太郎様	内地新聞記事切抜き送付の御礼、京城日報広告年極60円にて御約束の御礼	切紙	1	封筒あり。年月日は封筒消印。425-1に封入
426		〔書簡〕	(大正4年)8月20日	井上家　本田実清(静岡県興津町)	野田卯太郎様(朝鮮京城西小門町十五番地)	林檎送付の御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
427		〔書簡〕	(大正4年)8月12日	熊本県玉名郡有明村　藤岡良辰(熊本市京町二丁目一三一)	野田様(朝鮮京城・東洋拓殖会社々宅　野田卯太郎)	野田の満蒙視察の件について、将来のため当地へ転任するも中央に戻る運動中の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
428		〔書簡〕	(大正4年)8月10日	村田俊彦(東京市青山南町六ノ一〇二)	野田大人(朝鮮京城西小門　野田卯太郎)	当地の問題は予想外に手間取り焦慮致し居る事、御依頼の子息の件は探索中の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
429		〔書簡〕	大正4年8月18日	株式会社三井銀行福岡支店(印)(福岡市中土居町拾番地ノ壱)	野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門町)	当座勘定貸越金利率改定につき通知	紙	1	封筒あり
430		〔書簡〕	(大正4年)8月18日	柴田(大連相生由太郎氏方南満州鉄道株式会社　柴田徳次	野田様(朝鮮京城　野田卯太郎様)	明石先生の就職につき斡旋依頼	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
431		当座勘定入金通知書	大正4年8月13日	株式会社三井銀行(印)(福岡県三池郡大牟田町)	野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門)	農工銀行配当金53円入金につき	紙	1	封筒あり
432		〔書簡〕	大正4年7月27日	釈宗演(相州鎌倉山之内松ヶ岡東慶寺)	野田大塊老居士(朝鮮京城東洋拓植会社)	京城の水害見舞	継紙	1	封筒あり
433		〔通知〕	大正4年8月16日	東京市日本橋区駿河町壱番地　株式会社三井銀行	野田卯太郎殿(東京市麻布区材木町二十九番地)	当座勘定貸越金利息変更につき	紙	1	封筒あり
434		〔通知〕	大正4年7月21日	国光生命保険相互会社　取締役社長　男爵島津健之助		第8回定時評議員会開会につき議案・定款変更案などについて	綴	1	紙3枚書類留(針)綴。435と関連あり
435		〔葉書〕	(大正4年7月)		東京市京橋区銀座尾張町　国光生命保険相互会社御中	評議員会出欠の返信用葉書、未記入	葉書	1	434と関連あり
436		〔書簡〕	(大正4年)5月1日	奥田義人	野田大人(野田拓植副総裁)	同郷人沢氏の就職斡旋依頼	継紙	1	封筒あり
437		〔俳句〕	(大正4年頃)			俳句6句	罫紙	1	奉天藩陽館用箋使用

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
438	1	〔書簡〕	(大正4年)8月15日	硯海(東京京橋山城町　大岡育蔵)	大塊老台(朝鮮京城東拓舎宅野田卯太郎)	野田の満蒙視察、居座り内閣の高評につき見解伺い、政局評につい	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
438	2	〔書簡案文〕	(大正4年)8月26日	大塊	硯海老(大岡育造)	頃日の信念は挙国一致内閣・日露同盟による満蒙問題解決の事ほか	継紙	1	封筒あり
439		〔書簡〕	(大正4年)8月27日	是清(東京市赤坂表二ノ十高橋是清)	大塊先生(朝鮮京城東拓会社野田卯太郎)	満蒙及び支那金融機関に関する愚見に御同感の由は欣喜の至りの事、同封の御意見書拝見の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
440		〔書簡〕	大正4年8月26日	益田孝(相州小田原板橋)	野田卯太郎様(朝鮮京城東洋拓殖株式会社)	貴社より不動産銀行に関する社長名義の書簡拝受の事、興津へも相通し置きし事、永江氏病状について	罫紙(2枚)	1	封筒あり
441		〔書簡〕	(大正4年)8月22日	跡部三郎(朝鮮郵船株式会社釜山支店待命生)	野田卯太郎様(朝鮮京城西小門)	郵船就職につき御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
442	1	〔通知〕	大正4年8月9日	株式会社三井銀行本店営業部(印・「三木」)(東京市日本橋区駿河町壱番地)	野田卯太郎殿(京城西小門)	台湾製糖配当金891円を当座勘定へ入金につき	罫紙	1	442-1～2書類留(針)・封筒一括
442	2	当座入金受取証	大正4年8月9日	東京市日本橋区駿河町一番地　株式会社三井銀行(印)	野田卯太郎殿	当座勘定入金891円受取	紙	1	
443	1	〔書簡〕	(大正4年)8月28日	鉄嶺領事館　酒匂秀一	野田副総裁殿(朝鮮京城東洋拓殖会社　野田卯太郎)	篠崎軍吉の新事業の資本金小洋銀1,000円調達につき斡旋願い	継紙	1	443-1～3封筒一括
443	2	入蒙経歴	(大正3年9月頃)	鹿児島県人　篠崎軍吉			書綴(罫紙)	1	写。在鉄嶺日本帝国領事館罫紙使用
443	3	〔目論見書〕	(大正3年9月頃)	(篠崎軍吉)		博王旗下九官における商品売買事業調査	書綴(罫紙)	1	写。在鉄嶺日本帝国領事館罫紙使用
444		〔書簡〕	(大正4年)10月16日	元二郎(熊本市手取町研屋支店　明石元二郎)	大塊老兄(朝鮮京城西大門野田卯太郎)	満蒙鮮一手統一の件は山県・大隈に話し同感を得たる事ほか	継紙	1	封筒あり
445	1	〔書簡〕	(大正4年)8月22日	小四郎(東京市深川区門前山本町十一番地梅沢忠吉方　古賀小四郎)	野田卯太郎様(朝鮮東洋拓殖会社副総裁)	貴社へ就職採用願い	継紙	1	445-1～2封筒一括。年は封筒消印
445	2	履歴書	(大正4年8月)	古賀小四郎(印)			一紙	1	
446		〔書簡〕	大正4年8月23日	京都郡　安田雲斎	野田総裁閣下	息子等願出の件につき依頼	継紙	1	封筒あり
447		〔書簡〕	(大正5年)11月20日	平田泰介(佐賀関東町鴛海徹氏方)	野田卯太郎様(別府町若松屋旅館)	別府谷嘉一郎氏別荘の買取依頼	切紙	1	封筒あり
448		〔書簡〕	大正5年11月17日	三井物産株式会社京城支店(印・「小沢」)(朝鮮京城黄金町壱丁目」	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿	高麗人参発送通知および使用法	綴	1	罫紙1枚・紙1枚書類留(針)綴。封筒あり
449		〔書簡〕	(大正5年)11月16日	龍江義信(沙里院)	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村)	野田東拓退社に対する挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
450		〔書簡〕	(大正5年)11月16日	東拓殖産課　蘆沢安平(京城)	野田様(福岡県福岡市　野田卯太郎)	野田東拓退職に対する挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
451		〔書簡〕	大正5年2月1日	故片岡健吉氏銅像建設事務所　富田幸次郎、中野寅次郎、今幡西衛(東京府渋谷町広尾八十七)	野田卯太郎様(朝鮮京城西小門町)	片岡健吉の銅像寄付金20円送付願い	継紙	1	封筒あり
452	1	〔書簡〕	(大正5年)11月21日	平田泰助(佐賀関東町鴛海徹氏方)	野田卯太郎様(別府町若松屋旅館)	麻生太吉への鉱区売込の口添を依頼	切紙	1	452-1～2封筒一括
452	2	〔鉱区図および鉱区来歴〕	(大正5年11月頃)	(平田泰助)			綴	1	紙1枚・罫紙2枚紙縒
453		〔葉書〕	(大正5年10月23日)	阿部兵(カ)助	三池郡岩田　野田大塊殿	「談敵を失ふて秋の夜長かな」ほか2句	絵葉書	1	京城日報社の絵葉書使用

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
454		〔葉書〕	9月27日	露都　大西義夫	朝鮮京城東洋拓殖会社　野田卯太郎様	閑院宮露都到着の事	絵葉書	1	ロシア製鎌倉の絵葉書使用
455	1	〔書簡〕	(大正5年)1月27日	津田寿(福岡県鞍手郡勝野村大字勝野)	野田卯太郎様(朝鮮京城西小門通り)	就職周旋願い	継紙	1	455-1～2封筒一括
455	2	履歴書	大正5年1月27日	津田寿(印)			罫紙	1	
456		〔診断書〕	大正5年6月10日	高坂	野田様	大便・尿検査結果書上、腎臓病は軽微の事ほか	罫紙(3枚)	1	封筒あり。封筒上書「高阪診断書入」。三池鉱山株式会社三池炭砿事務所罫紙使用
457		〔封筒〕	(大正4年)7月2日	株式会社三池銀行	三池郡岩田村　野田卯太郎				
457	1	〔通知〕	大正4年7月2日	株式会社三池銀行取締役頭取　永江純一(福岡県三池郡大牟田町)	株主殿(三池郡岩田村野田卯太郎)	定時株主総会開催につき	切紙	1	457-1～2封筒一括
457	2	第五十八期計算書	大正4年6月30日現在			貸借対照表・損益計算書ほか	切紙	1	
458		〔葉書〕	(大正5年6月)28日	柏蔭(明石元次郎)	京城東拓総裁社宅　野田卯太郎殿	熊本より薩田方面旅行中につき挨拶	絵葉書	1	熊本城と球磨川の絵葉書使用
459		〔書簡〕	大正5年3月20日	猪(東京日吉町国民新聞社徳富猪一郎)	大塊仁兄大人(京城西小門内野田卯太郎)	来月は東京にて拝願の事、「大梅夜話」拝呈の事	継紙	1	封筒あり
460		〔書簡〕	大正5年1月29日	猪(東京市青山南町六之三〇徳富猪一郎)	大塊大人(京城西小門　野田卯太郎)	物品送付の事	切紙	1	封筒あり
461		〔書簡〕	大正5年5月25日	蘇峰生(東京市青山南町六之三〇　徳富猪一郎)	大塊老(京城西小門内　野田卯太郎)	別紙珍聞貴覧に呈す、5月25日時事新報の切抜き添付、野田が相撲見物にきたという誤報	継紙	1	封筒あり
462		〔履歴書〕	大正5年5月27日	河谷静夫(印)(旭町二丁目四十弐番地加藤文次郎方)	京城西小門　野田卯太郎殿		書綴(罫紙)	1	封筒あり
463		〔書簡〕	(大正5年)5月16日	□山和尚(京都□園寺)	大塊野田老居士(朝鮮京城西小門町七十五番地)	物品拝領の御礼	書綴	1	封筒あり。年は封筒消印
464		〔書簡〕	(大正5年)11月15日	松平直平(東京市牛込区市谷加賀町二ノ廿一)	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村大字岩津)	野田退職につき挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
465		〔通知〕	大正4年11月1日	株式会社三井銀行福岡支店(福岡市中土居町拾番地ノ壱)	野田卯太郎殿(三池郡岩田村)	公債証書利金427円当座勘定へ入金につき	紙	1	封筒あり
466		総裁殿下随従員通報ノ件	大正4年9月20日	日本赤十字社朝鮮本部、愛国婦人会朝鮮本部(朝鮮京城南山町)	西小門町　野田卯太郎殿	総裁宮両殿下入京につき随従者書上	切紙	1	封筒あり
467		〔書簡〕	(大正5年4月9日)	大和町　山県伊三郎	府内西小門東拓社宅　野田卯太郎	俳句入			
467	1	〔書簡〕	(大正5年4月)9日	素吉(大和町　山県伊三郎)	大塊翁(府内、西小門通り東拓舎宅　野田卯太郎)	「春雨や諸川漲る高麗の国」ほか1句修正願い	継紙	1	467-1～3不当一括。年月は封筒消印
467	2	〔葉書〕	(大正5年)4月30日	春川　義朗	京城西小門　野田大塊翁	義朗ほか俳句5句書上	葉書	1	年は消印
467	3	〔葉書〕	(大正5年)5月1日	総督府　杉原太之助	京城西小門内　野田大塊殿	パゴダ第二俳座招待の御礼ほか	葉書	1	年は消印
468	1	〔書簡〕	(大正5年)11月8日	山本条太郎(東京市赤坂区新坂町四十三番地)	野田大塊翁(福岡県三池郡岩田村)	朝鮮紡績の計画につき印刷物など送付の事、貝島翁死去について	継紙	1	468-1～5封筒一括。年は封筒消印
468	2	資本勘定予算表	(大正5年頃)	(朝鮮紡織株式会社)		紡機2万錘、織機1000台、資本金200万円ほか	紙	1	
468	3	雨量及温度表(大正四年度)	(大正5年頃)	(朝鮮紡織株式会社)		釜山、木浦、仁川、京城、平壌、元山、城津、龍岩津、神戸分につき	紙	1	
468	4	収支予算表(一年計算)	(大正5年頃)	(朝鮮紡織株式会社)		合計金400万500円につき内訳書上	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
468	5	朝鮮紡織株式会社設立趣意書	(大正5年頃)	(朝鮮紡織株式会社)			書冊	1	
469		〔封書〕	(大正4年11月23日)	東京麻布材木町　加藤留子	三池郡岩田村　野田卯太郎				
469	1	覚	(大正4年11月23日)	東京麻布材木町　加藤留子	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎様	「十六　大吉、十七　吉」ほか吉凶書上	切紙	1	469-1～3封筒一括。年月日は封筒消印
469	2	〔女子生年書上〕	(大正4年11月23日)			床次、団、添田、奥田ほか3家につ	罫紙	1	年月日は封筒消印
469	3	〔女子家族取調書〕	(大正4年11月23日)			床次家ほかにつき	罫紙(5枚)	1	御木本真珠店の罫紙使用。年月日は封筒消印
470	1	〔電報〕	大正5年7月(4日)	サンゼウヲヲハシ局テラウチ	ノダウタロウ	試食会成功につき祝電(シシヨクカイノゴセイコウオシクシハツテンオイノル)	電報	1	封筒あり。封筒上書「世界的食物共通会ニ対シ寺内総督之祝電入　大正五年七
471		〔書簡〕	(大正4年)12月24日	明石元二郎(熊本城内第六師団司令部)	野田老兄大人(朝鮮京城東拓社社宅)	鹿児島・宮崎地方巡回中の事、人吉にて貴兄の足迹を認めし事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
472		〔葉書〕	(大正5年10月21日)	釈洪岳、硯海ほか8名	京城西小門内　野田大塊君	署名寄書き	絵葉書	1	島崎柳塢筆「月と花」絵葉書使用。年月日は消印
473		御勘定書	大正4年10月13日	京城本町二丁目　海市商会本店	上様	石鍋40個代金14円領収	紙	1	
474		〔名刺〕	(大正5年11月22日)	平壌覆審法院検事長　従四位勲三等　向井巌	京城拓殖会社　野田卯太郎殿	野田勇退につき挨拶	名詞	1	封筒あり。封筒付紙あり(三池郡岩田村へ転送につき)。474～483紙縒一括
475		〔葉書〕	(大正5年)11月22日	福岡県浮羽郡吉井町　鳥越密三郎	大分県別府町日奈子旅館内野田卯太郎殿	肥後阿蘇郡栃木温泉にて湯治中の事、漢詩4首書上ほか	葉書	1	年は封筒消印。付紙3枚あり(三池郡岩田村へ転送につき)
476		〔葉書〕	(大正5年)11月24日	福岡市警固神社　熊懐義男	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	福岡にて面会できず残念の事ほか	絵葉書	1	「福岡警固神社」絵葉書使用
477		〔書簡〕	(大正5年)11月23日	日高作太(佐伯町)	野田様(速見郡別府町若松	寄附金の御礼	罫紙	1	封筒あり
478		〔書簡〕	(大正5年)11月23日	真継雲山(釜山日報社方　義太郎)	野田先生(九州別府温泉若松屋方)	東拓辞任につき挨拶、小生中央を離れ雌伏中なるも遠からず中央に戻る機会ある事	継紙	1	封筒あり。封筒付紙1枚あり(転送につき)。年は封筒消印
479		〔書簡〕	(大正5年)11月22日	李軫鎬、全潤晶、大久保到、松井房次郎、井上主計、立花通年(全州)	野田卯太郎殿(京城東洋拓殖会社気付)	東拓副総裁辞任につき挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
480	1	〔書簡〕	(大正5年)11月20日	奈良県宇陀松山町　細川信太郎、内　伊都子	野田様(朝鮮国京城東洋拓殖株式会社内　副総裁野田卯太	親族久保田光男との面談の有無につき伺い	継紙	1	480-1～2封筒一括。年は封筒消印
480	2	〔郵便切手〕	(大正5年11月)				切手	1	封筒あり。封筒上書「御返信用郵券一」
481		〔書簡〕	(大正5年)11月22日	佐藤政次郎(平安北道庁)	野田卯太郎殿(京城東洋拓殖会社気付)	東拓辞任につき挨拶、在鮮中御高配の御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
482		〔書簡〕	(大正5年)11月22日	伴(朝鮮京城　小宮三伴松)	大塊先生(大分県別府若松屋野田卯太郎)	小生も東帰問題につき目下運動中の事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
483		〔書簡〕	大正5年11月21日	加藤豊三郎(歩兵七十四連隊)	野田卯太郎閣下(京城東洋拓殖株式会社総裁)	東拓在任中御厚情の御礼	切紙	1	封筒あり
484		〔書簡〕	(大正4年1月21日)	千葉県山武郡瑞穂村前田竹治郎方　前田幸作、石川三郎	東京市麻布区材木町二九　野田卯太郎殿	大半紙2枚入り	切紙(2枚)	1	封筒あり。年月日は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
485		〔書簡〕	大正5年10月5日	猪(東京赤坂区青山南町六丁目三十番地　徳富猪一郎)	大塊大兄(京城西小門内　野田卯太郎)	第二次大隈内閣倒閣に際し、至急東上を待つ事	継紙	1	封筒あり
486		〔書簡〕	(大正5年カ)10月5日	光代(北門　山崎光代)	野田卯太郎様(西小門)	国元より祖母渡鮮につき宿所など援助願い	継紙	1	封筒あり
487	1	〔書簡〕	(大正5年)10月3日	中島子正(全北井邑郡古阜)	野田東拓副総裁閣下(京城小門町　野田卯太郎)	就職斡旋の御礼、履歴書3通送付の事	継紙	1	427-1～4封筒一括。年は封筒消印
487	2～4	〔履歴書〕	大正5年10月	中島子正			書綴	1	3通とも同文
488	1	〔書簡〕	大正5年9月	京城電気株式会社営業課(印)(朝鮮京城)	各位(西小門通り東拓社宅　野田邸)	瓦斯ストーブ取付につき広告	紙	1	488-1～3封筒一括
488	2	瓦斯暖炉定価表	大正5年9月	京城電気株式会社営業課	各位		紙	1	
488	3	瓦斯引用申込書	(大正5年)		京城電気株式会社御中	未記入	紙	1	
489		〔書簡〕	(大正5年)9月28日	虎之助(東京市麻布区材木町二九　加藤虎之助)	父上様(朝鮮京城西小門七五　野田卯太郎)	秀助君ほか近況報告、東京染色会社株売却につき委任状送付願い	罫紙(3枚)	1	御木本真珠店の罫紙使用。封筒あり。年は封筒消印
490		〔書簡〕	(大正5年)10月3日	四郎(慶南居昌　青柳四郎)	野田大兄(京城西小門　野田卯太郎)	返詞に対する御礼、成否は別段の事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
491		〔書簡〕	大正5年10月3日	品川信健(筑前直方町)	野田先生(朝鮮京城拓殖会社　野田卯太郎)	資金20円寄付依頼	紙	1	九州時報新聞社の罫紙使用。封筒あり
492		〔書簡〕	(大正5年)10月5日	川野廉(肥後人吉村温泉)	野田先生(朝鮮京城西小門通　野田卯太郎)	寺内新内閣樹立につき祝い、先生の挙国一致の御卓論実現致し驚嘆に絶えざる事	継紙	1	封筒あり
493		〔書簡〕	(大正5年)10月2日夜	とめ子(東京麻布材木町野田内　加藤留子)	御兄上様(京城西小門野田邸内　松野鶴平)	為替金送付の事、鶴見の地所購入のための同地見物の報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
494		〔書簡〕	大正3年9月21日	宮古啓三郎	野田卯太郎殿	裁判1審・2審とも無罪判決となる事、裁判中御見舞いの御礼	紙	1	白紙1枚付
495		〔通知〕	大正3年10月7日	男　松田四郎、親戚総代　斎藤徳明、山本正次郎、辻秀春、大村五左衛門		浅草曹源寺にて母登美の遺骨埋葬式執行につき	紙	1	
496		〔書簡〕	大正5年3月22日	田村権蔵	野田尊大人様(京城西小門町　野田卯太郎)	種々歎願の件につき依頼、鉱区図面送付の事、今回は御子息様と連記・調製の事	罫紙	1	封筒あり
497	1	〔鉱区競願者名書上〕	(大正5年頃)			慶尚北道1件、忠尚北道2件分につき	書綴(罫紙)	1	綴跡・書類留(針・クリップ)の錆跡あり。497-1～2封筒一括。封筒上書「鉱区出願人名」
497	2	〔出願鉱区名書上〕	(大正5年頃)			高田商会、大倉喜八郎、浅野総一郎、藤田組の出願鉱区につき	書綴(罫紙)	1	綴跡・書類留(針・クリップ)の錆跡あり
498	1～5	〔封筒〕	4月19日	京城朝鮮ホテル　猪原貞雄	京城府西小門　野田卯太郎	封筒に切手消印なし			
498	1	〔書簡〕	大正5年4月19日	京城朝鮮ホテル　猪原貞雄(印)	野田卯太郎殿(京城府西小門)	小切手受領につき別紙領収書送付の事	罫紙	1	498-1～5封筒一括、書類留(針)の錆跡あ
498	2	〔領収書〕	1916年4月19日	S. Inohara(京城朝鮮ホテル　猪原貞雄)	東拓野田様	10名分昼食代65円につき、英文	紙	1	
498	3	〔領収書〕	1916年4月16日	S. Inohara(京城朝鮮ホテル　猪原貞雄)	東拓野田様	10名分午餐代48円45銭につき、英文	紙	1	
498	4	請求書	大正5年4月18日	朝鮮府鉄道局　京城朝鮮ホテル主任	野田様	10名分午餐代48円45銭につき、和文	罫紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
498	5	請求書	大正5年4月12日	朝鮮府鉄道局　京城朝鮮ホテル主任	野田様	10名分昼食代65円につき、和文	罫紙	1	
499	1	〔書簡〕	大正4年8月16日	鉄嶺　佐々江嘉吉(印)	野田副総裁殿(朝鮮京城西小門町七十五番地　野田卯太郎)	病気見舞い、拙案事業につき麻生氏・貝島氏などへ連絡の御礼ほか	罫紙(2枚)	1	三井物産株式会社出張所の罫紙使用。書類留(針)の錆跡あり。499-1～4封筒一
499	2	〔書簡〕	大正4年8月16日	鉄嶺　佐々江嘉吉(印)	東京ニテ　山本条太郎	野田氏へ小生に関し紹介の御礼、東蒙古農業経営案につき援助依頼	紙(2枚)	1	写。書類留(針)の錆跡あり
499	3	〔新聞切抜〕	(大正4年8月19日)	満鉄　上田恭輔	京城東洋拓殖会社　野田副総裁殿	北京京報「日人統一朝鮮満洲之狂論」の切抜、野田の朝鮮・満洲統治案について	新聞切抜	1	封筒あり。年月日は封筒消印
499	4	〔書簡〕	(大正4年)8月6日	上田恭輔(満鉄会社)	野田副総裁閣下(京城東洋拓殖会社)	野田の満州視察に対する北京政府の様子について	紙	1	封筒あり。年は封筒消印
500		〔東京留守宅大正四年度総計算書〕	(大正5年)			同年度収入表、同支出額、同払込金及び利息金、同決算	綴	1	罫紙3枚書類留(針)綴。封筒あり
501		臨時株主総会通知書	大正5年1月23日	三池郡大牟田町大字横須千三百八番地　株式会社三池銀行　取締役頭取　永江純一(三池土木株式会社)	株主殿(朝鮮京城　野田卯太郎)		切紙(2枚)	1	封筒あり
502	1	〔書簡〕	(大正5年)4月2日	とめ子	御父上様	兄の縁談候補の件	継紙	1	502-1～3封筒一括。封筒上書「留子報告入」。年は封筒消印
502	2	〔三月分収支表〕	(大正5年4月)			家賃・学資小遣いなど	綴	1	罫紙3枚書類留(針)
502	3	〔覚書〕	(大正5年4月)			李王職次官小宮三保松の家族生年など書上	罫紙	1	
503	1	〔書簡〕	(大正5年)5月15日	とめ子(東京麻布材木町廿九加藤留子)	御父上様(朝鮮京城西小門七十五　野田卯太郎)	兄の縁談の件、箕面有馬の配当金額修正の件	継紙	1	503-1～3封筒一括。年は封筒消印
503	2	〔書簡〕	(大正5年)5月23日	留子(加藤留子)	御父上様(野田卯太郎)	日本製械の株式売却見合せの事、縁談候補の件ほか	紙(4枚)	1	年は封筒消印
503	3	〔書簡〕	(大正5年5月頃)	(加藤留子)		阿部泰三家の家族生年など書上、阿部家令嬢ならば不釣合が少なき縁談と存ずる事	綴	1	罫紙3枚書類留(針)綴
504		領収証	大正3年7月29日	三井物産株式会社　京城支店(印)	東洋拓殖株式会社　野田卯太郎殿	朝鮮紅参5斤代金500円につき	紙	1	封筒あり。封筒上書「三井物産受領書入要用入」
505		〔葉書〕	(大正3年)7月10日	北海道札幌区中島公園女子職業学校正門前　吉田秀雄	朝鮮東洋拓殖株式会社　野田卯太郎様	転居通知	葉書	1	年は消印
506		〔領主書綴〕	大正3年5月13～20日	馬山本町二丁目　御旅舘　望月支店ほか	(野田卯太郎)	朝鮮内視察旅行中の宿料・飲食料などにつき	綴	1	精算書1通・領収書など18通紙縒綴
507		〔書簡〕	(大正5年)10月24日	貝島太助(鞍手郡直方町外百合野)	野田卯太郎(三池郡岩田村)	亡令閨様七周忌につき香典送付の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。507～515紙縒一括
508		〔書簡〕	(大正5年)10月23日	市蔵(京城西小門　林市蔵)	野田様(福岡県三池郡岩田村)	石塚氏任命発表、林ら3人辞表提出の件、野田の辞表の件	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
509		〔書簡〕	(大正5年10月28日)	箴(大牟田町　藤村箴)	大塊詞伯(本郡岩田村　野田卯太郎)	画幅・果物送与の御礼	切紙(2枚)	1	封筒あり。年月日は封筒消印
510		〔書簡〕	(大正5年)10月23日	井上孝哉(京城井学洞)	野田尊大人(福岡県三池郡岩田村)	総裁更迭発表・石塚氏新総裁就任時の東拓の様子	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
511		〔書簡〕	(大正5年10月)26日	市蔵(京城東洋拓殖会社 林市蔵)	野田様(福岡県三池郡岩田村野田卯太郎)	俸給送付の件、石塚氏総裁就任後の林・野田らの進退の件、荷物送り	継紙	1	封筒あり。年月は封筒消印
512		〔書簡〕	(大正5年)10月19日	中野雄吉(市内義州通り一ノ一七六)	野田様(市内小西門町)	元田氏の添書により御周旋のため訪問致す事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
513	1	〔書簡〕	(大正5年)10月8日	中島子正(全北古阜)	野田東拓副総裁閣下(京城西小門町 野田卯太郎)	総督府などへ就職周旋依頼	継紙	1	513-1～2封筒一括。年は封筒消印
513	2	履歴書	大正5年10月	中島子正(印)			書綴	1	
514		〔覚書〕	(大正4年)1月21日	政務総監	総裁宛	衆議院議員兼職を許可せざる方針内定の事	罫紙	1	朝鮮総督府の罫紙使用
515		〔書簡〕	(大正5年)9月17日	加藤留(東京麻布材木町 加藤留子)	御父上様(朝鮮京城西小門七十五 野田卯太郎)	近況報告、日本製械株配当金入帳の事、日本電報通信株名義替えにつき伺いほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
516	1	〔書簡〕	大正5年4月27日	株式会社百三十銀行京城支店(朝鮮京城府本町一丁目)	野田卯太郎殿(西小門通り)	八幡支店へ支店長中村良弼転任につき挨拶	紙	1	516-1～2封筒一括
516	2	〔書簡〕	大正4年4月27日	百三十銀行京城支店 中村良弼	野田卯太郎殿	八幡支店へ転任につき挨拶	紙	1	
517		〔書簡〕	(大正5年)9月11日	五龍背温泉 八幡多満(安奉線)	野田様(朝鮮京城東拓官舎 野田卯太郎)	電報受取、牧山様来訪の件ほか	継紙	1	封筒あり。年は消印
518		〔書簡〕	(大正5年)9月18日	たきの(福岡県三池郡岩田村松野瀧の)	御尊父様(京城西小門七十五 野田卯太郎)	印鑑証明送付の件、四郎太の病状報告	継紙	1	封筒あり。年は消印
519		領収証	大正5年8月18日	慶応義塾会計部(印)(東京市芝区三田二丁目二番地)	野田卯太郎様(京城西小門町)	寄付金50円領収	紙	1	封筒あり
520		第弐拾期定時株主総会ノ目的事項	(大正5年8月11日)	東京市浅草区橋場町二百六拾八番地 日本染絨株式会社	三池郡岩田村大字岩津廿三番地 野田卯太郎殿	第20期貸借対照表、損益計算	切紙	1	封筒あり。年月日は封筒消印
521	1～12	〔領収証〕				「旅行中の目六入」と封筒に記載、大正5年9月17日から21日までの領			
521	1	〔領収証〕	大正5年9月17日	加藤自動車部(印)	上	光松間往復自動車賃11円領収	罫紙	1	521-1～12封筒一括。封筒上書「旅行中の目六入」
521	2	キ	(大正5年)9月17日	朝鮮全南光州西門通り 諸官庁指定 薩摩旅館	上様	宿泊料ほか17円余領収	切紙	1	
521	3	証	大正5年9月19日	全南羅州 藤屋旅舘(印)	上様	茶料10円ほか受取	紙	1	
521	4	記	大正5年9月19日	全南羅州錦城町 藤屋旅館(印)	上様	宿泊料ほか2円余領収	紙	1	
521	5	記	大正5年9月19日	全南羅州錦城町 藤屋旅館(印)	上様	宿泊料ほか1円余領収	紙	1	
521	6	記	(大正5年9月)21日	錦江旅館(印)	野田様	宿泊料ほか3円余書上	継紙	1	
521	7	証	大正5年9月17日	朝鮮全南光州西門通 万屋旅舘(印)	上様	御茶代10円受取	紙	1	
521	8	証	大正5年9月17日	朝鮮全南光州西門通 万屋旅舘	上様	御茶代5円受取	紙	1	
521	9	記	(大正5年)9月20日	朝鮮全州 平野屋旅舘	阿部様	宿泊料ほか6円余受取	紙	1	
521	10	記	(大正5年)9月20日	朝鮮全州 平野屋旅舘	上様	御茶料13円余受取	紙	1	
521	11	記	(大正5年)9月20日	朝鮮全州 平野屋旅舘	野田様	宿泊料ほか6円余受取	紙	1	
521	12	証	大正5年9月21日	朝鮮江景 錦江旅舘	上様	御茶代ほか14円受取	紙	1	
522		〔葉書〕	(大正5年)9月16日	元	京城東拓社宅 野田卯太郎賢兄	尊翰拝受の事、俳句1句書上	絵葉書	1	絵葉書表題「日向高千穂霧島山御地」

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
523		〔葉書〕	(大正5年)	古閑義明　石坂□□しんち	京城　野田卯太郎	俳句1句ほか書上	絵葉書	1	絵葉書表題「肥後日奈久　温泉旅館金波楼　農園」
524		〔書簡〕	(大正5年4月1日)	多羅尾淑(朝鮮湖南線井邑)	大塊尊台(京城　野田卯太郎)	昨日面会の御礼、俳句1句書上	切紙	1	封筒あり
525	1	〔書簡〕	(大正5年)6月5日	俊作(長春駅　野田俊作)	御親父様(福岡市橋口町栄屋野田卯太郎)	貝嶋老危篤の件、改野理事宛・西村営業課長宛の書面同封につき一読願い	罫紙(2枚)	1	525-1～3封筒一括。年は封筒消印
525	2	〔書簡〕	(大正5年)6月5日	俊作(野田俊作)	改野老台	西村営業課長宛に別紙書面送付の	罫紙	1	年は封筒消印
525	3	〔書簡〕	(大正5年)6月3日	(野田俊作)	西村信敦様	俸給昇給額などにつき伺い	罫紙(4枚)	1	書類留(針)の跡あり。封筒あり。年は封筒消印
526		〔書簡〕	(大正5年)2月3日	俊作(野田俊作)	御親父様(京城西小門七五野田卯太郎)	盤石県・吉林省など支那土地制度の調査報告、鉄道沿線より遠隔の土地は投資に向かざる事ほか	罫紙(6枚)	1	書類留(針)の跡あり。封筒あり。年は封筒消印
527		〔書簡〕	大正5年8月23日	箕面有馬電気軌道株式会社取締役社長　平賀敏(大阪市北区北野角田町参百弐拾五	株主殿(東京市麻布区材木町廿九番地　野田卯太郎)	灘循環特許線譲受の件に関する株主総会決議無効確認の訴訟につき原因及び内情報告	紙	1	封筒あり
528		印鑑証明願	大正5年9月18日	福岡県三池郡岩田村大字岩津弐拾参番地ノ壱　野田俊作	岩田村長　馬場駿殿	奥書あり(印鑑証明済みにつき)	罫紙	1	封筒あり。封筒上書「印鑑証明書入」
529		〔電報〕	(大正5年)8月19日	アヲイテウ局シウギイン(衆議院)	ケイセウ トウヨウタクシヨクカイシヤ ノダウタロウ(野田卯太郎)	勲章下賜の通知	電報	1	封筒あり。封筒上書「勲章御下賜シ電報入(衆議院議員ヨリの分)」
530		〔書簡〕	大正5年9月25日	株式会社百三十銀行京城支店(朝鮮京城府本町一丁目)	野田卯太郎殿(西小門町)	当座勘定差引の通知	紙	1	封筒あり
531	1	〔書簡〕	大正5年8月12日	福岡市須崎土手町弐拾七番地　株式会社福岡県農工銀行頭取　緒方道平	株主殿(三池郡岩田村大字岩津二十三番地　野田卯太郎)	新株発行につき引受依頼	切紙	1	531-1～3封筒一括
531	2	〔書簡〕	大正5年8月12日	株式会社福岡県農工銀行	株主殿	新株引受申込書送付につき返送依	切紙	1	
531	3	〔郵便振替貯金用紙〕	(大正5年8月)		福岡市須崎土手町二十七番地　株式会社福岡県農工銀行	払込通知票、受領票など、未使用	紙	1	
532		〔書簡〕	(大正5年)9月25日	素六(東京麻布本村町五一江原素六)	野田卯太郎様(朝鮮京城)	御馳走の御礼	切紙	1	封筒あり
533		〔葉書〕	(大正5年2月)27日	公州　鳥鬼	京城西小門通　野田卯太郎様	来訪中御世話の御礼、俳句1句書上	絵葉書	1	絵葉書表題「清州石橋」。年月は消印
534		〔葉書〕	(大正5年)2月10日	福岡市外千代町一丁目東公園大池ノ辺り　河野修造	朝鮮京城西小門町　野田大塊大人	魯庵寺内閣下の書につき依頼	絵葉書	1	絵葉書表題「福岡百景　官幣大社箱崎八幡宮一ノ宮御鳥居」。年は消印
535		〔葉書〕	(大正5年9月)15日	哈爾賓　大西義夫	朝鮮京城　東洋拓殖株式会社副総裁　野田卯太郎殿	露都旅行の途中報告	絵葉書	1	絵葉書表題「Имп ер. Русск. Генерлън. Консульство. Харбинь (ハルピン外交公
536		〔通知〕	大正5年1月	福岡市須崎土手町廿七番地株式会社福岡県農工銀行	株主殿	大正4年後半期利益金分配につき	切紙	1	
537		〔覚書〕				弾琴台名作詩ほか書上	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
538		〔書簡〕	(大正5年)8月3日	仁川土木局出張所　小柳厚	野田様(京城西小門東拓舎宅野田卯太郎)	転勤挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。538～554紙縒一括
539	1	六月分計算書	(大正5年)			女中2人分ほか99円余書上	罫紙	1	539-1～3封筒一括。封筒上書「六月分経費勘定書入」
539	2	〔領収証綴〕	大正5年6月27～同年7月3日			郵便物受領など	綴	1	領収書など6通書類留(クリップ・ステンプラー)綴
539	3	〔領収証綴〕	大正5年7月5日・6日			扇代98銭領収ほか	綴	1	領収書3通・書上1通書類留(針)綴
540		〔書簡〕	(大正5年)8月2日	一止居士(福岡市外谷　森田正路)	大塊老兄(朝鮮京城西小門内野田卯太郎)	健康状態などにつき	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
541		〔通知〕	大正5年7月19日	株式会社三井銀行福岡支店(印・「中橋」)(福岡市博多中土居町拾番地ノ壱)	野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門)	当座勘定貸越利息変更につき	紙	1	封筒あり
542		委任状	大正5年	野田卯太郎(印)		中央新聞社臨時社員総会の決議権につき、代理人名記入なし	切紙	1	
543	1	〔書簡〕	(大正5年)7月20日	条太郎(東京市赤坂区新坂町四十三番地　山本条太郎)	大塊翁(朝鮮京城西小門　野田卯太郎)	御依頼の住ノ江出張所の件、小林氏に面談致し別紙の通り好都合の様子の事	切紙	1	543-1～2封筒一括
543	2	〔書簡〕	(大正5年)7月14日	小林正直(印)		住ノ江事務所移転問題の件、山本達雄・南里琢次・森永政憲氏などと会見致し円滑に解決の事	継紙	1	年は封筒消印
544		〔通知〕	大正5年7月10日	台湾製糖株式会社　取締役会長　藤田四郎	株主　野田卯太郎殿	株主総会開催につき	紙	1	封筒あり。東京麻布材木町・野田留主宅より京城野田宛へ転
545		〔通知〕	大正5年7月28日	台湾製糖株式会社	株主各位(麻布区狸穴町五九野田卯太郎)	利益配当金払渡しにつき	紙	1	封筒あり
546		〔書簡〕	(大正5年)8月2日	山本条太郎(赤坂新坂町四十三番地)	野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門)	長女・次女・三女の縁談・結婚の件ほか	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
547		〔書簡〕	(大正5年)8月6日	小田部栄(東京府新宿町番衆町十五)	野田卯太郎様(朝鮮京城南大門)	息子三井物産本社員採用につき身元引請書などへ署名依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
548		〔書簡〕	大正5年7月(31日)	志岐信太郎(京城日之出町)	野田卯太郎(市内小門町七五)	暑中見舞い	紙	1	封筒あり。日は封筒消印
549	1	〔書簡〕	大正5年8月5日	株式会社福岡県農工銀行(福岡市須崎土手町弐拾七番地)	野田卯太郎殿(朝鮮京城府黄金町東洋拓殖株式会社)	新株募集期限の件につき回答	罫紙	1	549-1～2封筒一括。封筒上書に「重要書入」とあり
549	2	定款変更按	(大正5年8月)	(福岡県農工銀行)		増資新株募集規定を含む	書綴	1	
550		〔書簡〕	(大正5年)6月27日	俊作(東京市麻布区材木町二九　野田俊作)	御親父様(京城西小門七五野田卯太郎)	一昨日入京の事、まだ松岡博士・団氏に面会してない事	罫紙(2枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
551		〔書簡〕	大正5年8月8日	山本利雄(黄海道沙里院東拓社宅)　山元利雄	野田卯太郎様(京城府)	在京中御厚意の御礼	継紙	1	封筒あり
552		〔書簡〕	(大正5年)8月2日	古賀(江原道麟蹄郡蒼村里憲兵派遣所　古賀定次郎)	野田殿(京城西小門　野田卯太郎)	京城憲兵隊などへ転隊につき斡旋願い	罫紙(2枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
553		〔通知〕	大正5年7月29日	三井銀行福岡支店(印・「中橋」)(福岡市博多中土居町拾番地ノ壱)	野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門)	満鉄配当金122円余当座口座へ入金につき、福支第1070号	罫紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
554		〔書簡〕	(大正5年)8月7日	野田俊作	御親父様(京城西小門七五 野田卯太郎)	宗社党の挙兵企図につき長春不穏の情勢の事ほか	罫紙(4枚)	1	封筒あり
555		〔書簡〕	(大正5年)8月21日	野田四郎太(福岡県三池郡)	父上様(朝鮮京城西小門内 野田卯太郎)	種雄の紹介状送付の御礼、土木会社欠員判明まで待機中の事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。555～565紙縒一括
556		〔電報〕	(大正5年8月22日)	タム	ニシイコモンノダウタロウ	今夕宮崎訪問の事ほか	電報	1	
557		〔電報〕	(大正5年8月22日)	(野田氏)	(野田卯太郎)	557の続き	電報	1	557・558は同一電報
558		〔電報〕	(大正5年8月14日)	テツテウシユン ノダシ(鉄長春局野田氏)	セイセウモン ノダウタロウ(西小門 野田卯太郎)	鄭家屯で日支兵衝突、日本側死傷約50名、応援隊出動中	電報	1	557・558は同一電報
559		〔書簡〕	(大正5年)8月25日	宮崎六次(大邱府八雲町二九)	野田先生(京城府西小門町 野田卯太郎)	急遽帰邱のため銅山の件大塚氏に依頼せし事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
560	1	〔書簡〕	(大正5年)8月22日	高橋光威(東京市京橋区新肴町拾番地 蓬莱生命保険相互会社 専務取締役)	野田卯太郎様(朝鮮京城東洋拓殖会社)	欠損金填補方法につき重役寄付による補填案に賛成願い	継紙	1	560-1～3封筒一括
560	2	承諾書	(大正5年)	基金醵出者	蓬莱生命保険相互会社 社長殿	欠損補填のため定款変更につき、未記入	切紙	1	
560	3	〔定款抜書〕	(大正5年)	(蓬莱生命保険相互会社)		定款第20、57、58条写、「参考」と朱書あり	切紙	1	
561		〔書簡〕	(大正5年)8月28日	権(京釜線黄洞駅前舟橋旅館方第二事ム所 田村権蔵)	御尊大人様(京城西小門町 野田卯太郎)	鉱山(金山)出資依頼	継紙	1	封筒あり
562		〔書簡〕	(大正5年)8月24日	たきの(福岡県三池郡岩田村松野瀧乃)	御尊父様(京城西小門七十五 野田卯太郎)	秀助・四郎太ほか家族近況書上	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
563		〔書簡〕	(大正5年)8月25日	権蔵(大邱府八雲町 田村権蔵)	御尊大人様(京城西小門町 野田卯太郎)	鉱山(金山)出資依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
564		〔書簡〕	(大正5年)8月24日	権蔵(忠清山道上村面勿閑里仙亭村 第弐報告鉱山事務所、大邱府八雲町 田村権	御尊大人様(京城西小門町 野田卯太郎)	鉱山(金山)出資依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
565		〔書簡〕	(大正5年)8月23日	権蔵(大邱府八雲町 田村権蔵)	御尊大人様(京城西小門町 野田卯太郎)	鉱山(金山)出資依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
566	1	〔書簡〕	(大正4年)3月20日	前田ナカ、同孝次郎(福岡県八女郡福島町)	野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門七五)	光代の件につき御配慮の御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。566-1～16封筒一括。封筒上書「光代婚礼ニ関ル書
566	2	〔書簡〕	(大正4年)3月21日	松延新三郎(福岡県八女郡黒木町)	野田卯太郎様(朝鮮京城西小門)	光代結婚につき親族意見に関し異論なき事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
566	3	〔書簡〕	(大正4年)3月25日	瀬高町 本田安太郎(山門郡瀬高町字上庄釜屋)	野田様(朝鮮京城西小門ニ於テ 野田卯太郎)	前田光代の縁談の件につき御礼	罫紙	1	封筒あり。年は封筒消印
566	4	〔書簡〕	(大正4年)3月26日	前田内(福岡県八女郡福島町前田ナカ)	野田様(朝鮮京城西小門 野田卯太郎)	光代縁談の件につき御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
566	5	〔書簡〕	大正4年3月26日	松延新三郎(福岡県八女郡黒木町)	野田卯太郎様(朝鮮京城西小門)	光代結婚の電報受取、縁談の御配慮につき御礼	継紙	1	封筒あり
566	6	〔書簡〕	(大正4年)3月28日	北川久吉(馬山京町二丁目茶商)	野田卯太郎殿(京城西小門)	結婚式挙行につき御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
566	7	〔書簡〕	大正4年3月31日	筑後福島西宮野町 「マル・平」麻苧縄糸類一式並網岩製造販売商 馬場平吉(印)	野田卯太郎様(朝鮮京城七拾五番地)	光代縁談の件につき御礼	罫紙	1	封筒あり
566	8	〔書簡〕	(大正4年)3月31日	坂口きわ(馬山京町2丁め北川方)	野田御主人様(京城西小門 野田卯太郎)	娘の縁談の件につき御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
566	9	〔書簡〕	(大正4年)4月6日	山崎俊彦(東京市外淀橋町柏木九八)	野田老台(朝鮮京城東洋拓殖会社)	弟と光代殿結婚につき挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
566	10	〔書簡〕	(大正4年)4月5日	松野多きの(福岡県三池郡岩田村　松野鶴平)	御父上様(朝鮮京城西小門　野田卯太郎)	家族の近況、違犯事件はその後下火の事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
566	11	〔書簡〕	(大正4年)4月7日	桝永弥三郎(福岡県山門郡大和村大字鷹ノ尾)	野田卯太郎様(朝鮮京城西小門)	光代殿結婚式欠席の詫び、祝電の御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
566	12	〔書簡〕	(大正4年)4月12日	北川久吉(馬山京町二丁目茶商)	野田卯太郎(京城西小門)	娘佐江義、長らく世話の御礼、光代の祝儀につき御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
566	13	覚	(大正4年)			車夫・女中ほか祝儀など37円書上	切紙	1	
566	14	記	大正4年3月27日	京城本町弐、八七　千代本	野田様	御祝儀5円受取	罫紙	1	
566	15	記	大正4年3月27日	京城本町弐、八七　千代本	野田様	金2円受取	罫紙	1	
566	16	記	(大正4年)	京城本町弐、八七　千代本	野田様	本膳御料理8人前代金48円領収	切紙	1	
567		〔書簡〕	大正3年10月11日	猪(東京市青山南町六之三十徳富猪一郎)	大塊老僕(京城西大門内　野田卯太郎)	13日に出発の旨通知	継紙	1	封筒あり
568		〔書簡〕	(大正5年)11月1日	中島司(京城日報社)	野田大人(福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎)	野田辞職につき挨拶、巨星を朝鮮半島より失うを遺憾とする事	継紙	1	封筒あり。年は封筒より
569		〔葉書〕	(大正5年)10月30日	賞勲局(印)	東京麻布材木町二九　野田卯太郎	賞品授与式日時などにつき	葉書	1	年は消印
570	1	〔書簡〕	(大正5年)11月3日	虎之助(東京麻布材木町二九加藤虎之助)	父上様(三池郡池田村)	箕面有馬株式売却のため委任状記載依頼、賞勲局より葉書到来の事ほ	継紙	1	570-1～2封筒一括。年は封筒消印
570	2	郵便物受領証	(大正5年11月8日)			加藤虎之助宛書留受領につき	紙	1	
571		〔封筒〕	(大正5年)11月4日	朝鮮水原　吉植庄三	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿		封筒	1	年は消印
572		〔書簡〕	(大正5年)11月5日	堀江(京城通義洞東拓　堀江吉之助)	野田閣下(福岡市橋口町栄屋野田卯太郎)	野田退職につき在職中の御懇情への御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
573		〔書簡〕	(大正5年)11月1日	井上孝哉(京城中学洞)	野田老台(福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎)	阿部君より渡鮮見合わせ旨伝聞の事、小生らも退却準備中、明日には事務引継が整う事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
574		〔封筒〕	(大正5年)11月4日	熊本市七軒町二　原田十郎	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎様		封筒	1	年は消印
575		〔書簡〕	(大正5年)11月5日	程三郎(黄金町　肥田程三郎)	野田卯太郎様(市内西小門町)	小生病気に関し御高配の御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
576		〔書簡〕	(大正5年11月4日)	繁三郎(印)(朝鮮大邱府錦町一丁目　三友館内)	野田閣下(福岡県三池郡岩田村)	養子に出した子供の戸籍取り戻しのため300円送金依頼	書綴	1	封筒あり。年月日は封筒消印
577		〔書簡〕	(大正5年)10月31日	西村丹治郎(岡山市)	野田老台(朝鮮京城東拓会社)	同郷人片岡静太郎の東拓就職につき斡旋依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
578	1	〔書簡〕	(大正5年)11月4日	井上孝哉(京城)	野田老台(三池郡岩田村　野田卯太郎)	本日引継の終了予定の事、東洋拓殖会社損益計算予定表送付の事、松平子・徳富君・貝嶋翁の近況ほか	継紙	1	578-1～2封筒一括。年は封筒消印
578	2	大正5年度損益計算予想表	大正5年10月21日現在調	(東洋拓殖会社)			書冊	1	
579	1	〔電報〕	(大正5年11月6日)	ケイゼウメイジマチ局 ニノミヤ(京城明治町局)	ナヲカタカイシマカタ ノダウタロウ(直方貝島方　野田卯太郎)	吉原前総裁ら10日当地出発予定	電報	1	579-1～5封筒一括。封筒上書「野田卯太郎殿　電報在中」。封筒裏上書「福岡県鞍手郡直方町外百合野貝島宗家」

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
579	2	〔電報〕	(大正5年11月6日)	オムタ局 ニノミヤ(大牟田局)	ナヲカタカイシマカタ ノタウタロウ(直方貝島方 野田卯太郎)	野田辞任につき挨拶	電報	1	
579	3-1～2	〔電報〕	(大正5年11月6日)	ケイセウメイジマチ局 イシヅカ	ナヲカタカイシマカタ ノタウタロウ(直方貝島方 野田卯太郎)	野田辞任につき挨拶	電報	1	
579	4	〔電報〕	(大正5年11月6日)	オムタ局 ニミヤ(大牟田局)	ナヲカタカイシマカタ ノタウタロウ(直方貝島方 野田卯太郎)	朝鮮内の挨拶状は手配済の事	電報	1	
579	5	〔電報〕	(大正5年11月6日)	ケイゼウ局 ハヤシ(京城局)	ナヲカタカイシマカタ ノダウタロウ(直方貝島方 野田卯太	電報拝見、万事手配致す事	電報	1	
580	1	履歴書	大正3年3月	伊地知徳之助(印)		「山ノ内一次紹介」と墨書あり	書綴(罫紙)	1	580-1～14封筒一括。封筒上書「諸履歴書入」
580	2	履歴書	(〔大正3年)	加田益実(印)		「首藤紹介」と墨書あり	罫紙	1	
580	3	履歴書	大正	豊沢寿雄(印)			切紙	1	
580	4	履歴書	大正3年9月	遠藤宗治(印)			罫紙(2枚)	1	書類留(クリップ)の跡あり
580	5	履歴書	大正3年7月	堤熊治郎			書綴(罫紙)	1	
580	6	履歴書	(大正3年以降)	首藤真太郎(印)			書綴(罫紙)	1	
580	7	履歴書	(大正3年以降)	松田久麻呂		「青柳四郎紹介」と墨書あり	書綴(罫紙)	1	
580	8	履歴書	大正3年1月29日	桶口文夫(印)(予備陸軍歩兵大尉)		「佐藤準蔵紹介」と墨書あり	書綴	1	
580	9	履歴書	大正3年5月9日	丸太直一(印)		「丸山大嶺紹介」と墨書あり	切紙	1	
580	10	履歴書	大正3年9月	増田廉吉(印)		「三ヶ尻紹介」と墨書あり	罫紙	1	
580	11	履歴書	大正3年7月30日	野本徳次郎(印)		「小久保喜七紹介」と墨書あり	書綴(罫紙)	1	
580	12	履歴書	大正3年5月	伊藤勘治(印)			書綴(罫紙)	1	
580	13	履歴書	大正3年7月	加田益実			罫紙	2	
580	14	履歴書	大正3年7月	鈴木丑松		「坂田持参」と墨書あり	罫紙	1	
581		履歴書	大正2年10月30日	尾泉良太郎(印)(北海道庁平民)			書綴	1	封筒あり(大正5年4月18日消印)。封筒上書「朝鮮東洋拓殖会社 野田卯太郎殿親展」。封筒裏上書「(前略)山江谷栄作」
582		〔書簡〕	(大正5年)4月18日	小野隆助(筑前太宰府)	朝鮮京城東洋拓殖会社 野田副総裁殿(野田卯太郎)	長生浦埋築地3341坪抵当にて金1万円御貸下げの御礼、借用申込書送付の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
583		〔書簡〕	(大正4年)9月27日	島(大阪市東区高麗橋五丁目島徳蔵)	野田尊台(朝鮮京城東洋拓殖会社 野田副総裁)	渡鮮時に拝眉を得ず残念、総裁より伝聞の法案改正につき御尽力願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
584		〔銀行・会社別投資利益一覧表〕	(大正3年)			勧銀など5銀行、満鉄・東拓など9社の総利益・総費・純費の一覧	罫紙	1	
585	1～5	移住規則	大正4年4月2日改正認可	東洋拓殖株式会社		内地・朝鮮移住民の募集分配につき	紙	5	585-1～5同一印刷物。585-2～5には野田の朱印あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
586		第六回朝鮮農業移住民移住地及募集戸数	(大正4年4月カ)				紙	1	虫損あり
587		〔書簡〕	(大正5年)9月6日	孝(小田原　益田孝)	野田老兄(朝鮮京城　野田卯太郎)	御地名産・袋入米拝受につき御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
588		〔書簡〕	大正5年8月6日	中村和三郎(福岡県三潴郡三又村)	野田卯太郎殿(三池郡渡瀬町)	暑中見舞い	切紙	1	封筒あり
589		〔書簡〕	(大正5年)8月11日	たきの(福岡県三池郡岩田村松野たきの)	御尊父様(京城西小門七十五野田卯太郎)	柿原の件につき御礼、造築の件、秀助ほか近況報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
590		〔書簡〕	(大正5年)8月10日	栄山浦　本倉文雄	野田卯太郎閣下(京城西小門内)	暑中見舞い	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
591	1	〔書簡〕	(大正5年)8月10日	四郎太(福岡県三池郡　野田四郎太)	父上様(朝鮮京城西小門内野田卯太郎)	秀助の健康状況、長崎旅行の予定ほか近況報告	継紙	1	591-1～2封筒一括。年は封筒消印
591	2	〔書簡〕	(大正5年)8月10日	四郎太(福岡県三池郡　野田四郎太)	父上様(朝鮮京城西小門内野田卯太郎)	友人柿原種雄の三池土木会社就職につき斡旋願い	継紙	1	年は封筒消印
592		〔書簡〕	(大正5年)8月15日	とめ子(東京麻布材木町　加藤とめ)	御父上様(朝鮮京城西小門野田卯太郎)	朝鮮人形の御礼、成田山参詣など近況報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
593		〔書簡〕	(大正5年)8月11日	藤井俊平(鎮海□□□□ヨリ)	野田卯太郎殿(京城西小門町)	土石採取許可に関する援助願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
594		〔書簡〕	(大正5年)8月15日	柴田国彦(京義線沙里院東拓出張所)	野田先生(府内西小門東拓社宅　野田卯太郎)	暑中見舞い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
595		〔書簡〕	(大正5年)8月15日	大屋権平(南大門外)	野田尊台(府内西小門内東洋拓殖会社々宅)	書状の御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
596		〔書簡〕	(大正5年)8月5日	野田能任(熊本市外古町村一七一ノ一)	野田卯太郎様(東京市麻布区材木町二九)	暑中見舞い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
597		〔書簡〕	(大正5年)9月8日	平壌居士	大塊翁(京城昭義門通り　野田大塊)	後学のため俳句集発表願い	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
598	1	株主総会招集通知書	大正5年7月6日	朝鮮綿業株式会社　取締役社長谷口房蔵(大阪市西区江戸堀南通一丁目五十番地)	株主　野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門社宅)	貸借対照表・損益計算書など付属	紙(2枚)	1	書類留(針)綴。598-1～2封筒一括
598	2	株主総会決議要領	大正5年7月21日	朝鮮綿業株式会社　取締役社長谷口房蔵	株主各位御中		紙	1	
599		〔人名書上〕	(大正5年)			ミネ、昌太郎ほか	継紙	1	封筒あり。封筒上書「大正五、大石峰子の筆蹟」
600	1	〔通知〕	大正5年6月1日	株式会社三井銀行(印・「山東」)	野田卯太郎殿	公債利札代り金565円余入金につき	罫紙	1	600-1～3封筒一括。封筒上書「大正五年五月　三井銀行本支両方之公債利子受入書及三池銀行之書面
600	2	〔通知〕	大正5年6月5日	株式会社三池銀行	野田卯太郎殿	貸越利息108円余払込請求	切紙	1	
600	3	〔通知〕	(大正5年6月)	株式会社三井銀行福岡支店(印)	野田卯太郎殿	公債利札420円余入金につき	紙	1	
601		〔書簡〕	大正5年6月29日	福岡日日新聞社(福岡市須崎土手町)	野田卯太郎様(朝鮮京城東拓社宅)	本年上半期功労金・旅費金3300円送付につき通知	継紙	1	破れあり。封筒あり
602		〔通知〕	大正5年3月21日	株式会社百三十銀行京城支店(印)(朝鮮京城府本町一丁	野田卯太郎殿(永楽町)	当座勘定差引につき預り金高など書上	紙	1	封筒あり
603		記	大正5年6月17日	福岡市橋口町十四・十五番地栄屋旅館	野田様(朝鮮京城西小門町七十五番地　野田卯太郎)	宿料ほか55円請取	紙(5枚)	1	書類留(針)の跡あり。封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
604		〔通知〕	大正5年2月29日	日本染絨株式会社　取締役会長　大井卜新(東京浅草区橋場町二百六拾八番地)	株主各位(福岡県三池郡岩田村大字岩津廿三　野田卯太郎)	総会決議事項につき	切紙	1	封筒あり
605	1	〔書簡〕	(大正5年)3月5日	虎之助(東京市銀座四丁目御木本真珠店　加藤虎之助)	父上様(朝鮮京城西小門　野田卯太郎)	秀助ほか近況報告、国民新聞の債務の委任状原稿送付の事、武蔵電鉄・帝国生命会社の株式払込みの件、松野が上京、仏国政府の傭船の事にて何やら画策中の事	継紙	1	605-1～2封筒一括。年は封筒消印
605	2	〔委任状〕	(大正5年3月頃)	(国民新聞社)		野田所有株式を担保とする事、債務は徳富・野田の連帯とする事ほか債務返済契約につき	罫紙	1	国民新聞社用箋使用
606	1	〔通知〕	大正5年3月20日	東京市日本橋区駿河町一番地　株式会社三井銀行(印)	野田卯太郎殿	当座勘定決算につき貸金高など書上	切紙	1	
606	2	〔身上書〕	(大正5年頃)			国松参太郎家につき	罫紙	1	
607		〔通知〕	大正5年6月18日	株式会社百三十銀行京城支店(朝鮮京城府本町一丁目)	野田卯太郎様(西小門)	当座勘定差引につき預り金高など書上	紙	1	封筒あり
608	1	〔書簡〕	大正5年7月22日	三井銀行福岡支店(印・「下田」)(福岡市博多中土居町拾番地ノ壱)	野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門)	南満鉄配当金につき届出印鑑に訂正の上、再度請求依頼	罫紙	1	608-1～2封筒一括
608	2	〔書簡〕	大正5年7月20日	入沢京太郎(福岡市薬院原町大正時報社)	野田大塊翁(朝鮮京城西小門)	某貴族院議員の時事所見に対する意見、拓殖銀行の某氏に対する意見具申、福岡市の政友会の動きが憤慨に値するなどにつき御意見伺	罫紙(2枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
609	1	株主総会通知書	大正5年7月2日	株式会社三池銀行　取締役頭取　永江純一	株主殿	定時・臨時株主総会開催につき	切紙	1	609-1～3一纏り
609	2	臨時株主総会議案	(大正5年7月2日)	(三池銀行)		支店設置に関する定款変更につき	切紙	1	609-1の付属資料か
609	3	第六十期自大正五年一月一日至大正五年六月三十日計算書	(大正5年7月)	(三池銀行)			切紙	1	
610		当座勘定入金案内状	大正5年7月3日	東京市日本橋区駿河町一番地　株式会社三井銀行(印・「外山」)	野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門)		葉書	1	
611		〔葉書〕	(大正5年3月14日)	元二郎(明石元二郎)	朝鮮京城西小門内東拓社宅野田卯太郎殿	御機嫌伺い	絵葉書	1	絵葉書表題「人吉林温泉旅舘翠嵐楼真
612		当座勘定入金案内状	大正5年5月25日	東京市日本橋区駿河町一番地　株式会社三井銀行(印・「外山」)	野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門)		葉書	1	
613		〔書簡〕	(大正5年)2月5日	伊藤保之(熊本市新馬借町四十三番地)	野田卯太郎様(朝鮮京城東洋拓殖株式会社)	救助金10円の御礼、更に金5円御救助願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
614		〔書簡〕	(大正5年)1月元日	東拓元山東出張所在勤技手野村清助	東洋拓殖株式会社　副総裁野田卯太郎閣下	年頭挨拶	折紙	1	封筒あり。年は封筒消印。614～644封筒一括
615		〔書簡〕	大正5年1月2日	福岡県浮羽郡福富村　林和三郎	野田卯太郎様(朝鮮東洋拓殖会社内)	面談のため福岡地方など来訪予定につき伺い	切紙	1	封筒あり
616		〔書簡〕	大正5年1月元旦	岡崎庸平(東京大森不入斗四四六)	野田卯太郎(朝鮮京城東洋拓殖会社)	年頭挨拶	折紙	1	封筒あり
617		〔書簡〕	大正5年1月元旦	今村喜代治(北海道倶知安後志支庁)	野田卯太郎様(朝鮮京城東洋拓殖会社)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
618		〔書簡〕	大正5年1月元旦	川野如矢(熊本市外本山村)	野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門通)	年頭挨拶	罫紙	1	封筒あり
619		〔書簡〕	大正5年1月1日	望月見吉(筑前黒崎町)	野田卯太郎殿(東京麻布材木町二九)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
620		〔書簡〕	(大正5年)1月1日	福岡県三池郡大牟田公会堂前　肥前屋　小林新一	野田卯太郎様(東京麻布材木町二九)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
621		〔書簡〕	(大正5年)1月元旦	鹿毛省吾(福岡県三井郡草野町)	野田総裁閣下(朝鮮京城拓殖総裁　野田卯太郎)	年頭挨拶、転職斡旋につき願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
622		〔書簡〕	大正5年1月元旦	福島県石城郡内郷村　中島章雄	野田卯太郎殿(東京麻布材木町二九)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
623		〔書簡〕	(大正)5年1月5日	筑前三池郡銀水村　樺島与三郎	野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門通)	山門郡棚町中村信雄への韓国教員就職斡旋の件につき伺い	罫紙	1	封筒あり
624		〔書簡〕	(大正5年)1月元旦	平井寿吉(三井三池炭礦製作工場　鍛冶場)	野田卯太郎殿(三池郡岩田村岩津)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり
625		〔書簡〕	大正5年1月1日	安田雲斎(京都郡椿市町)	野田大人(筑後三池郡　野田卯太郎)	年頭挨拶	切紙など(2枚)	1	切紙1枚・継紙1枚。封筒あり
626		〔書簡〕	大正5年1月1日	安元治次郎(東京小石川区竹早町六五佐々木方)	野田総裁殿(福岡県三池郡三池　野田卯太郎)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
627		〔書簡〕	大正5年1月1日	宮崎庄太郎(福島県庁)	野田卯太郎様(三池郡岩田	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
628		〔書簡〕	(大正5年)1月3日	大邱出張所　書記補　松永文治郎(東拓出張所)	野田副総裁閣下(京城西小門町七五)	昇給につき御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
629		〔書簡〕	大正5年1月元旦	支那山東省山東鉄道管理部溜川炭坑医院　井上竹四郎	野田卯太郎様(朝鮮京城東洋拓殖株式会社)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり
630		〔書簡〕	大正5年1月1日	沢村徳治(沙里院)	野田卯太郎様(京城)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
631		〔書簡〕	大正5年1月元旦	西海(栄山浦東拓出張所)	野田卯太郎様(京城西小門	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
632		〔書簡〕	大正5年1月元旦	加藤俊平(平壌山手町廿三)	野田卯太郎殿(京城西小門	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
633		〔書簡〕	(大正5年)1月元旦	松下栄(慶南亀浦駅大渚水利組合事務所)	野田卯太郎閣下(京城西小門内)	年頭挨拶、大渚水利組合事務所に就職につき挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
634		〔書簡〕	大正5年1月1日	松本梅三郎	野田卯太郎様(朝鮮京城拓殖会社)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
635		〔書簡〕	(大正5年)1月元旦	岡山亮吉(福岡県久留米歩兵第五十六聯隊第九中隊一年志願兵)	野田卯太郎様(朝鮮京城東洋拓殖株式会社)	年頭挨拶、入営挨拶、令甥大堤祐吉様も同大隊に所属の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
636		〔書簡〕	(大正5年1月)3日	日野(鹿児島県加治木　日野信次)	野田様(朝鮮京城西小門通野田卯太郎)	柚木氏病気の現状、後任議員の件につき心配の事	継紙	1	封筒あり。年月は封筒消印
637	1	〔書簡〕	大正5年元旦	虎之助、留子(東京麻布材木町　加藤虎之助)	父上様(朝鮮京城西小門　野田卯太郎)	年頭挨拶	継紙	1	637-1～2封筒一括
637	2	〔書簡〕	大正5年1月元旦	秀助	父上様(朝鮮京城西小門　野田卯太郎)	年頭挨拶	継紙	1	
638		〔書簡〕	大正5年1月1日	菊池郡記	野田卯太郎殿(市内西小門	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
639		〔書簡〕	大正5年1月1日	井口左太郎(慶尚北道添谷郡南呂鉱山)	野田卯太郎殿(京城西小門)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
640		〔書簡〕	大正5年1月元旦	石川栄(旅順月見町六十二号官舎)	野田閣下(京城東洋拓殖会社野田卯太郎)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
641		〔書簡〕	大正5年1月1日	阿部長太郎(京義線沙里院東拓)	野口卯太郎殿(京城西小門町七五)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり
642		〔書簡〕	丙辰元旦(大正5年1月1日)	中園今日太郎(福岡県朝倉郡甘木町上新町)	野田賢台(朝鮮京城東拓社宅)	年頭挨拶、朝倉郡役所庶務課長就任につき挨拶	切紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
643		〔書簡〕	大正5年1月元旦	井上清助(福岡市橋口町博多人形)	野田卯太郎殿(朝鮮殖拓会社)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり
644		〔書簡〕	大正5年1月元旦	興津東海ホテル館主(静岡県下興津清見寺前)	野田卯太郎様(福岡県三池郡岩田村二三)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり。封筒付紙あり(京城へ転送につ
645		〔書簡〕	(大正5年)1月4日	堀江吉之助(東京日本橋区数寄屋町島屋)	野田副総裁閣下(朝鮮京城西小門)	増俸の件につき御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
646		〔書簡〕	大正5年1月元日	株式会社光州農工銀行　支配人　森悟一	東洋拓殖株式会社　副総裁野田卯太郎殿(京城西小門通東洋拓殖会社々宅)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり
647		〔書簡〕	大正5年1月1日	朴箕錫(平安南道大同郡庁内)	野田副総裁閣下(京城東拓会社内)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
648		〔書簡〕	大正5年1月元日	大内丑之助(大連市土佐町官舎)	野田卯太郎殿(京城東洋拓殖株式会社)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
649		〔書簡〕	(大正5年)1月1日	森御蔭(大連)	野田卯太郎殿(朝鮮京城東拓植会社)	年頭挨拶	切紙	1	虫損あり。封筒あり。年は封筒消印
650		〔書簡〕	大正5年1月1日	石川琢次	朝鮮京城　東洋拓殖株式会社副総裁　野田卯太郎閣下	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
651		〔書簡〕	(大正5年1月3日)	震(東京赤坂氷川町廿八　権藤震二)	野田先生(京城東拓社宅　野田卯太郎)	昨年来の事件により未だ閉居中の事ほか	継紙	1	封筒あり。年月日は封筒消印
652		〔書簡〕	大正5年1月元旦	安東慧(慶北聞慶郡)	野田卯太郎尊台閣下(京城東洋拓殖会社)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
653		〔書簡〕	大正5年1月1日	佐藤(カ)英世(三池郡岩田	野田卯太郎様(朝鮮)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり
654		〔書簡〕	大正5年元旦	古賀謙二(飛騨国吉城郡船津町　三井神岡鑛山)	野田卯太郎殿(朝鮮京城東洋拓殖株式会社)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
655		〔書簡〕	大正5年1月1日	大道一太郎(田川郡糸田豊国炭礦)	野田卯太郎殿(朝鮮京城拓殖会社　副総裁)	年頭挨拶	折紙	1	封筒あり
656		〔書簡〕	(大正5年)1月元旦	熊川三吉(鞍手郡菅牟田第三坑社宅)	野田様(朝鮮京城明治町　野田卯太郎)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
657		〔書簡〕	大正5年1月1日	大内隆(蠻島出張所)	野田卯太郎殿(京城西小門	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
658		〔書簡〕	(大正5年)1月1日	高木徳(熊本市外本庄村)	野田先生(京城西小門　野田卯太郎)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
659		〔書簡〕	大正5年1月1日	慶南河東　津田源吉	野田卯太郎閣下(京城東拓社宅)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
660		〔書簡〕	大正5年1月元旦	阿部源三郎(福岡県北方工兵第十二大隊第一中隊一年志	野田卯太郎殿(朝鮮京城東洋拓殖会社)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
661		〔書簡〕	大正5年1月1日	沢村重雄(兵庫県武庫郡西宮町)	野田卯太郎様(京城東拓会社々宅)	年頭挨拶、地方巡回時の高話・御馳走などへの御礼	継紙	1	封筒あり
662		〔書簡〕	(大正5年1月1日)	池田信太郎(全羅北道重堤出張所)	野田卯太郎殿(京城西小門町)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり
663		〔書簡〕	大正5年1月元旦	讃井鉄蔵(福岡市外住吉町三二六)	野田卯太郎様(朝鮮京城)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
664		〔包紙〕				包紙上書「東洋拓殖株式会社　□総裁野田卯太郎殿」。包紙裏上書「朝鮮総督府逓信局」			665～718包紙・紐一括

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
665	1	満州視察ノ際ニ於ケル面会人名	(大正3～5年)			表書「満州視察歓迎者名簿入」	書綴	1	封筒あり。封筒上書「満洲視察歓迎者名簿入」。665-1～4封筒一括。封筒上書「野田卯太郎殿」
665	2	〔俳句〕	(大正3～5年)			「墨染の身にも涼しひ三味の声」など4句書上	継紙	1	
665	3	〔俳句〕	(大正3～5年)			「湯にひるね夢に満蒙を袖にして」など10句書上、665-4参照	切紙	1	
665	4	〔俳句〕	(大正3～5年)			665-3と同一の俳句9句書上	切紙	1	
666		光州公立農業学校一覧	大正4年度			在校生・卒業生一覧など付属	書綴	1	書類留(ステンプラー・除去済)綴
667		〔書簡〕	(大正5年)2月22日	文治(福岡県三池郡三川町字川尻小字宝ヶ坂　濱武文治)	野田様(朝鮮京城西小門町七十五　野田卯太郎)	二間道路建設につき貴君所有地収用のため別紙書類へ調印依頼	継紙	1	封筒あり
668		〔地図〕	(大正期頃)			咸鏡南道内社有地の所在、面積など書上	切紙	1	
669	1～2	第六回会費徴収報告(十一廿四日迄徴収ノ分掲載)	(大正期頃)			会員別徴収金高書上	紙	2	
670		〔大正五年一月二月支収表〕	(大正5年)			小遣い・学費などにつき	綴(罫紙)	1	書類留(針・除去済)綴
671		〔葉書〕	(大正5年2月23日)	東京市小石川区高田豊川町三七　極東公論社　極東公論社長　志鶴作兵衛	朝鮮　東洋拓植会社副総裁　野田卯太郎閣下	雑誌発刊につき原稿依頼	葉書	1	
672	1	〔通知〕	大正4年6月19日	南満洲鉄道株式会社　総裁　男爵中村雄次郎	株主殿	株式分割の件、第2回募集株式払込みの件ほか	切紙	1	672-1～2同折
672	2	〔第17回定時株主総会資料〕	(大正4年)			第17期(大正4年1月末現在)貸借対照表ほか	切紙	1	
673		〔通知〕	(大正5年7月6日)	東京市日本橋区駿河町壱番地　株式会社三井銀行(印)	野田卯太郎殿(麻布区材木町二九)	当座勘定貸越金利息割合改定につき	切紙	1	封筒あり
674		〔通知〕	大正4年12月	福岡市土手町三　竹内彦太、同市天神町二〇　山下格次郎、同市天神町　宮崎徳太郎	野田卯太郎殿	九州生命保険会社破産につき第2回配当金分1円余送付	切紙	1	
675		〔書簡〕	(大正5年)1月28日	長春駅　野田俊作	御親父様(京城西小門七五　野田卯太郎)	妻帯の事、松野俊良の件など近況報告	罫紙(4枚)	1	書類留(針)の跡あり。封筒あり。年は封筒消印
676		主ナル京城入京者(二十九日現在)	(大正期)			閑院宮殿下ほか	書綴(罫紙)	1	書類留(針)綴。「東洋拓殖株式会社」の罫紙使用
677		〔新聞切抜〕	(大正5年11月頃)			「拡張的改革と国論統一　野田大塊翁の気炎」記事	新聞切抜	1	紙面裏に貝嶋太助葬儀関連の記事あり
678		〔葉書〕	(大正3年11月16日)	本日発燕京　松野和康	朝鮮京城東洋拓植　野田大塊先生	立太子冊式の奉祝につき	絵葉書	1	678～699紐一括
679		〔葉書〕	(大正期)			未使用、家庭博覧会25周年記念の印あり	絵葉書	1	徳川斉昭・徳川斉彬書の絵葉書使用
680		〔葉書〕	大正5年元旦	福岡市天神町八十二番地　岩尾英甫	東京麻布材木町　野田卯太郎殿	年頭挨拶	葉書	1	
681		〔葉書〕	(大正4年12月31日)	時事新報社　荒木貞雄	朝鮮京城西小門内　野田卯太郎殿	年頭挨拶	葉書	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
682		〔葉書〕	(大正5年)1月元旦	東京市日本橋区佐内町　岡崎久次郎	(東京)市内麻布区材木町二九　野田卯太郎様	年頭挨拶	葉書	1	年は消印
683		〔葉書〕	(大正5年)1月1日	福岡市地行西町廿一番地ノ一　古井由之	朝鮮京城東洋拓植株式会社　野田卯太郎殿	年頭挨拶	葉書	1	年は消印
684		〔葉書〕	大正5年1月1日	東京府千駄ヶ谷町四二五　立花貞	朝鮮京城東洋拓殖会社　野田卯太郎殿	年頭挨拶	葉書	1	
685		〔葉書〕	大正5年1月1日	福岡市地行六番丁　成瀬鳳吉	朝鮮京城東洋拓殖株式会社　野田卯太郎様	年頭挨拶	葉書	1	
686		〔葉書〕	大正5年元旦	東京府下大森町不入斗八九二　佐藤慶吉	京城拓殖会社　野田卯太郎様	年頭挨拶	葉書	1	
687		〔葉書〕	(大正5年)1月1日	大森義太郎(高松)	朝鮮京城　野田卯太郎殿	年頭挨拶	絵葉書	1	絵葉書表題「主基斎田御田植式八乙女舞」(香川新報社発
688		〔葉書〕	(大正5年)1月1日	東京市牛込区新小川町一丁目十三番地　小倉敬止	(東京)麻布区材木町二九　野田卯太郎殿	年頭挨拶	絵葉書	1	年は消印
689		〔葉書〕	大正5年1月元旦	小倉市室町参拾六番地　飯森辰次郎	県下三池郡大牟田町　野田卯太郎殿	年頭挨拶	葉書	1	
690		〔葉書〕	(大正5年1月1日)	兵庫県豊岡警察署　岡部政久	朝鮮京城東洋拓殖株式会社　野田卯太郎殿	年頭挨拶	葉書	1	
691		〔葉書〕	大正5年1月元旦	福岡市警固神社　熊懐武男	朝鮮拓殖会社副総裁　野田卯太郎殿	年頭挨拶	絵葉書	1	絵葉書表題「福岡警固神社」
692		〔葉書〕	(大正5年)1月元旦	下関市園田町二百十九番地　森祐三郎	東京市麻布区材木町二九　野田卯太郎殿	年頭挨拶	葉書	1	年は消印
693		〔葉書〕	(大正5年)1月元旦	福岡市地行西町　松永安左衛門	朝鮮京城東洋殖拓(ママ)株式会社　野田卯太郎殿	年頭挨拶	葉書	1	年は消印
694		〔葉書〕	大正5年1月元旦	東京市麻布区富士見町廿一番地　仙石貢	(東京)麻布区材木町二九　野田卯太郎殿	年頭挨拶	葉書	1	
695		〔葉書〕	大正丙辰(5年)元旦	東京市外下渋谷九百四十九　樋口典常	朝鮮京城　野田卯太郎殿	年頭挨拶	葉書	1	絵葉書表題「勅題寄国祝」
696		〔葉書〕	大正5年元旦	東京牛込区早稲田下戸塚六六　猪口豊喜	朝鮮京城拓殖会社　野田卯太郎様	年頭挨拶	葉書	1	
697		〔葉書〕	(大正5年11月4日)	藤峯生、中島司、藤野正助、林市三、(井上)孝哉	福岡市橋口町栄屋　野田卯太郎殿	野田の留守中に京城に会した事ほか	絵葉書	1	絵葉書表題「朝鮮京城ホテル」。年月日は消印
698		〔書簡〕	(大正5年)10月	永田秀次郎	朝鮮京城西小門町七五　野田卯太郎様	内務省警保局長へ転任の際の祝辞に対する御礼	紙	1	封筒あり。年は封筒消印
699		〔書簡〕	(大正5年)6月14日	高坂知道(大牟田町)	野田卯太郎様(福岡市橋口町栄屋旅館)	減量すべき事など養生法について	継紙	1	前欠。上部虫損あり。封筒あり。年は封筒消印
700		〔通知〕	4月2日	森安連吉(総督府医院)	野田閣下(東拓会社　野田卯太郎)	総督府医院にて会合開催につき案内	切紙	1	封筒あり
701	1	〔電報〕	(大正5年10月28日)	ケイセウ局イシヅカ	イワタムライワツ三二　ノダウタロウ(三池郡岩田村岩津32　野田卯太郎)	野田の身上については一切を寺内首相の考えに任せし事	電報	1	701-1～7封筒一括
701	2	〔電報〕	(大正5年10月28日)	(京城局イツヅカ)	(野田卯太郎)	701-1の続き	電報	1	
701	3	〔葉書〕	(大正5年11月4日)	公州　小原新三	福岡県三池郡岩田村　野田大塊様	礼状、俳句1句書上	絵葉書	1	絵葉書表題「皇太神宮」ほか

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
701	4	〔葉書〕	(大正5年)11月3日	京城三関庵主人　虎平	福岡市栄屋　野田大塊翁	俳句1句書上	絵葉書	1	絵葉書表題「(日本百傑之内)井伊直弼」
701	5	〔書簡〕	大正5年10月	松室致		司法大臣拝命の際の祝辞に対する御礼	紙	1	
701	6	〔書簡〕	大正5年10月	神田純一		朝鮮総督秘書官拝命につき挨拶	紙	1	
701	7	〔葉書〕	(大正5年11月3日)	公州出張先　静邦	福岡県三池郡岩田村　野田大塊翁	鳥鬼大人の迎えのため公州に到着の事、俳句1句書上	絵葉書	1	絵葉書表題「朝鮮公州市街全景(其三)」
702	1	〔覚〕	(大正期頃)			慶尚北道栄州郡のタングステン・シーライト鉱につき出願人名義野田俊作ほか書上	罫紙	1	701-1～5封筒一括。封筒上書「要書入」
702	2	重石及水鉛出願	(大正期頃)			忠清北道堤川郡3ヵ所の出願	罫紙	1	
702	3	第八期(大正四年度)決算利益金処分ニ関スル件	(大正期頃)			今日の経営難を打開するため整理を行い、前期繰越金を侵食せず前期同様6分5厘の配当とする事ほか	罫紙(3枚)	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用。書類留(ステンプラー)の綴跡あ
702	4	明治四十四年六月大蔵省ニ於テ大蔵当局者、鈴木司税局長、本社総裁会合ノ際決定シタル事項	(大正期頃)			東拓会社の土地買収費は会社の貸借対照表資産の部に計上し、25年以内の年賦を以て利益金より償却する事	罫紙	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用。書類留(ステンプラー)の綴跡あり
702	5	〔通知〕	明治44年10月11日	朝鮮総督伯爵　寺内正毅	東洋拓殖株式会社	勘定科目中の地所及び地所費に買収付帯費用を算入するのは穏当ではないため更正整理すべき事、度	罫紙	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用。書類留(ステンプラー)の綴跡あ
703		朝鮮官界好男子番附	大正4年11月1日発行	朝鮮公論社		『朝鮮公論』第3巻第11号付録	紙	1	
704	1	〔通知〕	大正5年2月10日	日本染絨株式会社　取締役会長　大井卜新	株主各位	第19期定時・臨時株主総会開催につき	切紙	1	704-1～2一纏り
704	2	第拾九期貸借対照表	大正5年1月31日現在			損益計算付	切紙	1	
705		〔書簡〕	(大正期)1月12日	平林与三郎(竜山元町二丁目二十七)	野田副総裁殿(京城府西小門通)	先日会談の御礼	切紙	1	封筒あり
706		〔書簡〕	(大正期)10月6日	河野広中(沢田清之助持参)	野田老台(野田卯太郎)	福岡県人沢田清之助の就職斡旋につき依頼	継紙	1	封筒あり
707		〔書簡〕	(大正5年)5月20日	雄太郎(静岡県志太郡青島村青地雄太郎)	野田様(東京市麻布区材木町二九　野田卯太郎)	身上の件につき御高配の御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
708	1	〔名刺〕	(大正5年1月17日)	特派大使随員・農商部工商司司長　陳介			名刺	1	708-1～6封筒一括。封筒上書「支那使節の前駆陳介外五名之名刺入　大正五年壱月十七日」
708	2	〔名刺〕	(大正5年1月17日)	特派大使随員　京師商務総会代・表農商部顧問　呉鼎昌			名刺	1	
708	3	〔名刺〕	(大正5年1月17日)	農商部鉱政司司長・兼任地質調査局局長　張軼欧			名刺	1	
708	4	〔名刺〕	(大正5年1月17日)	農商部参事　張新吾			名刺	1	
708	5	〔名刺〕	(大正5年1月17日)	農商部技正　施弼			名刺	1	
708	6	〔名刺〕	(大正5年1月17日)	李景鈺			名刺	1	
709		〔書簡〕	大正5年1月12日	高野省三(朝鮮京城黄金町壱丁目三井物産株式会社京城支店)	野田副総裁殿(西小門内)	注文の人参内用エキス・紅蔘粉末送付の事	罫紙(2枚)	1	三井物産株式会社の罫紙使用。書類留(針)の跡あり。封筒あ
710		〔封筒〕		京城　野田卯太郎		表書「井上理事殿」を消して「台糖会社払込通知書入」			

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
710	1	〔通知〕	大正5年3月25日	台湾製糖株式会社	株主各位	定款改正、新株式払込金額などにつき	紙	1	710-1～3封筒一括。封筒上書「台糖会社払込通知書入」
710	2	大正五年参月廿五日改正台湾製糖株式会社定款	大正5年3月25日	(台湾製糖株式会社)			書冊	1	
710	3	〔通知〕	大正5年3月25日	台湾製糖株式会社	株主各位	台湾勧業共進会開会中の当社工場見学の件について	紙	1	
711		九月分算書	(大正期)			一進組ほか代金126円余書上	罫紙(2枚)	1	
712		第三十五回帝国議会衆議院議員及政府委員一覧表	大正3年12月9日調			衆議院公報附録	紙	1	
713		東洋拓殖株式会社法・東洋拓殖株式会社定款	(明治末～大正初年)				紙	1	
714		〔書簡〕	(大正期)12月24日	渡辺	村田様	皮膚病につき薬剤処方の事	罫紙	1	総督府医院の罫紙使用
715		〔新聞切抜〕	(大正4・5年頃)		村田	中国・列強の情勢などにつき	新聞切抜	1	「福日十二月二十五日」と墨書あり
716	1	〔書簡〕	1月11日	野田	北川様	養子推薦状	継紙	1	716-1～2封筒一括。封筒上書「北川養子之件」
716	2	〔履歴書〕				養子推薦につき中谷虎三の略歴書	継紙	1	
717	1	〔覚書〕	(大正5年)			雇用者・臨時傭ほか本社・出張所人員書上	罫紙	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用。717-1～10封筒一括。封筒上書「丙辰初夏　調査要書入」
717	2	〔覚書〕	(大正5年)			今年度分貸付金利息収入高見積について	罫紙(2枚)	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用
717	3	移住地面積表	大正5年3月末現在			第1回～第6回合計5251町歩余につき、「移住民へ渡居候地所反別調」と墨書あり	罫紙	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用
717	4	小作料増徴余裕額調査表	(大正5年)			畓之分、平壌ほか出張所9ヶ所分につき	罫紙	1	
717	5	本社職員調	大正5年5月10日現在			人員数・俸給額など書上	書綴(罫紙)	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用
717	6-1	籾	(大正4年度末)			出張所別作付面積・小作料など書	罫紙	1	717-6-1～2一纏り
717	6-2	大正四年度小作料反当表	大正5年3月末日現在			畓之部・田之部につき作付面積・調定高など書上	切紙	1	
717	7	各出張所員調	大正5年5月25日現在			定員数・不足人員など書上	罫紙	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用
717	8	〔覚書〕	(大正5年)			土地改良を目的とする移民政策に関して	罫紙(4枚)	1	書類留(クリップ)の跡あり
717	9	殖民事務一覧表	大正5年3月末日現在	殖民課		戸数・移住地ほか	罫紙	1	
717	10	戸数調	(大正5年)	殖民課		移住民契約解除表・移住民戸数表ほか	罫紙	1	
718		〔句会参加者書上〕	(大正期)	野田卯太郎		松永武吉・古海嶺湖ほか26名書上	継紙	1	封筒あり。封筒上書「来ル二十九日俳莚案内扣」

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
719		〔書簡〕	大正4年1月1日	田村菊十	野田副総裁殿(京城西小門町野田卯太郎)	年頭挨拶	折紙	1	封筒あり
720		〔書簡〕	(大正4年)1月1日	柳屋旅館(平壌山手町)	野田卯太郎様(京城東洋拓殖会社)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
721		〔書簡〕	大正3年歳末	臨益水利組合　組合長　藤井寛太郎、　理事　川崎藤太郎(全羅北道益山郡宝山里)	野田卯太郎殿(京城東洋拓殖会社)	諒闇中に年賀欠礼	切紙	1	封筒あり
722		〔書簡〕	大正4年1月元旦	健次(福岡市雁林町　脇坂健次)	野田卯太郎様(朝鮮京城東洋拓殖会社)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり
723		〔書簡〕	(大正4年)1月1日	荒木良晴、松木保喜(慶北大邱東拓出張所内)	野田尊大人様(京城府西小門通　野田卯太郎)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
724		〔書簡〕	大正4年1月1日	安部長太郎(東拓沙里院出張所)	野田卯太郎殿(京城照義門通)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり
725		〔書簡〕		栄山浦東拓出張所　大塚市郎	野田副総裁閣下(京城東拓社宅　野田卯太郎)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
726		〔書簡〕	大正4年1月元旦	水原出張所　三浦万吉	野田副総裁閣下(京城東拓社宅　野田卯太郎)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり。封筒付紙あり(転送につき)
727		〔書簡〕	大正4年1月7日	鈴木(大和町一丁目十九番地佐藤方　鈴木高治)	野田様(西小門七十五番地東拓会社々宅　野田卯太郎)	昨年大学法科終了し実業界に身を投ずる覚悟につき東拓に採用依頼	継紙	1	封筒あり
728		〔書簡〕	大正4年1月1日	沙里院　綿谷政次	野田卯太郎様(京城西小門	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
729		〔書簡〕	大正4年元旦	沙里院出張所　坂本宮次	野田副総裁殿(京城西小門野田卯太郎)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
730		〔書簡〕	(大正4年)正月元旦	賜晦帰省中東拓技師　上村為人	副総裁野田卯太郎殿(朝鮮国京城西小門通り)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
731		〔書簡〕	大正4年1月1日	元山東拓出張所　代表者　吉植庄三	野田副総裁閣下(京城西小門東拓舎宅　野田卯太郎)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
732		〔書簡〕	大正4年1月1日	荻原信雄(金堤東拓出張所)	京城西小門町七十五番地　野田卯太郎殿	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
733		〔書簡〕	大正4年1月1日	池田信太郎(全北金堤出張	野田卯太郎殿(京城西小門	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
734		〔書簡〕	大正4年1月1日	全羅北道　井上主計、平井三男、立花通年、大久保到、金潤晶、李斗璜	野田卯太郎様(東洋拓殖会社)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
735		〔書簡〕	大正4年1月	若槻礼次郎	野田卯太郎殿(朝鮮京城)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり。封筒付紙2枚あり(三池郡岩田村へ転送につき)
736		〔書簡〕	大正4年1月元旦	朝鮮馬山京町弐丁目　北川久吉	野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門七十五番地)	諒闇中につき年賀欠礼	切紙	1	封筒あり
737		〔書簡〕	乙卯(大正4年)元旦	平南大同郡庁内　朴箕錫	野田副総裁(京城西小門通東拓舎宅　野田卯太郎)	諒闇中につき年賀欠礼	切紙	1	封筒あり
738		〔書簡〕	大正4年1月1日	西田友信(全北金堤東拓舎宅)	野田副総裁閣下(京城西小門通　野田卯太郎)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり
739		〔通知〕	大正4年1月7日	始政五年記念朝鮮物産共進会協賛会仮会長　吉原三郎	野田卯太郎殿	共進会協賛会発起人総会開会につき案内	切紙	1	封筒あり
740		〔書簡〕	大正3年12月31日	大牟田商工談話会会長　野口忠太郎	名誉会員　野田卯太郎殿(三池郡岩田村)	優良店員表彰式挙行につき案内	切紙	1	封筒あり
741		〔書簡〕	大正3年1月1日	蓮尾時造(大牟田本町)	野田卯太郎殿(三池郡岩田村)	年頭挨拶	折紙	1	封筒あり。封筒消印は大正4年1月2日付

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
742		〔書簡〕	大正4年1月元旦	吉植庄三(朝鮮元山東拓出張所)	野田卯太郎殿(福岡県福岡)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり。封筒表鉛筆書「三池郡渡瀬村」
743		〔書簡〕	大正3年12月27日	中村和三郎(福岡県三潴郡三叉村)	野田卯太郎殿(渡瀬町)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり。上部虫損。743～753封筒一括
744		〔書簡〕	大正4年1月1日	日本セメント株式会社　八代支店(熊本県八代郡八代町字建馬)	野田卯太郎殿(朝鮮京城東洋拓殖株式会社)	諒闇中につき年賀欠礼	切紙	1	封筒あり
745		〔書簡〕	大正4年1月元旦	安部松太郎(大邱)	副総裁野田卯太郎閣下(京城照義門通)	諒闇中につき年賀欠礼	切紙	1	封筒あり
746		〔書簡〕	大正4年元旦	小山光利(栄山浦)	野田卯太郎殿(京城西小門	年頭挨拶	折紙	1	封筒あり
747		〔書簡〕	大正4年1月1日	沙里院　沢村徳治	野田卯太郎様(京城)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
748		〔書簡〕	大正4年1月1日	大邱東拓出張所　臨時傭　北沢浩	副総裁野田卯太郎閣下(京城西小門通)	諒闇中につき年賀欠礼	切紙	1	封筒あり
749		〔書簡〕	大正4年1月元旦	蠶島出張所　永井熊太郎	野田副総裁閣下(京城小西門町(ママ)　野田卯太郎)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
750		〔書簡〕	大正4年1月1日	東洋拓殖株式会社元山出張所在勤　技手野村清助(鹿児島県出水郡下出水村江田)	副総裁野田卯太郎閣下(京城西小門町)	諒闇中につき年賀欠礼	切紙	1	封筒あり
751		〔書簡〕	大正4年1月1日	国武喜次郎(久留米市国武町)	野田卯太郎閣下(朝鮮国京城東拓会社)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
752		〔書簡〕	大正4年1月元旦	野村幸盛(京義線馬洞駅鉄道官舎)	野田卯太郎閣下(京城太平通)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり
753		〔書簡〕	(大正3年)12月28日	岡江秀明(慶南統営郡山陽面南修洞太閤堀宝坮寓)	野田副総裁殿(京城西小門町東洋拓植株式会社)	模範農村経営のため統営郡に5戸収容斡旋の御礼	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
754		〔書簡〕	(大正4年)10月6日	朝吹英二(東京市京橋区木挽町九丁目三十三番地)	大塊先生(朝鮮京城東洋拓殖株式会社)	病気のため出発遅延の詫び	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
755		〔書簡〕	(大正4年)12月28日	大垣丈夫(京城府大平通二丁目一〇二　京城通信社)	野田副総裁閣下(西小門内東拓舎宅)	借金返済延期依頼	罫紙(2枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
756	1	〔書簡〕	(大正5年)1月10日	藤金作(福岡県篠栗)	野田大兄(京城西小門七五野田卯太郎)	先日尋問の件は郡会議員長仁六へ問合せ別紙通り返答到来の事	罫紙	1	756-1～3封筒一括。年は封筒消印
756	2	〔書簡〕	(大正5年1月)	長仁六	藤金作殿	藤ときの身上などにつき回答	継紙	1	
756	3	〔書簡〕	(大正4年)11月11日	藤とき(印)(福岡県粕屋郡大川村大字内橋)	野田卯太郎様(東京麻布区材木町二九　衆議院議員)	東京女医学校入学準備のため下女として雇用願い	継紙	1	封筒あり。封筒付紙あり(三池郡岩田村へ転送につき)。年は封筒消印
757		〔書簡〕	大正5年2月14日	辰二郎(満州長春　曲尾辰二郎)	野田大塊翁(朝鮮京城西小門町七十五番地　野田卯太郎)	吉会線に関し別紙意見送付の事	継紙	1	封筒あり。別紙なし
758	1	〔書簡〕	(大正5年2月24日)	東京市麹町区紀尾井町六番地　日本の貴族社	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿	『国民彰善録』出版案内	紙	1	758-1～2封筒一括
758	2	申込書	大正5年		東京市麹町区紀尾井町六番地　日本の貴族者御中	『国民彰善録』予約申込みにつき	葉書	1	未記入
759		〔書簡〕	(大正5年)3月1日	無仏(東京麻布桜田町　阿部充家)	大塊居士(京城西小門内　野田卯太郎)	山崎など留守中の軽挙により苦心も水泡となるにつき同人等へ御説諭	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
760		〔書簡〕	(大正5年)3月2日	田中半二郎(忠清北道清州)	野田卯太郎様(京城西小門街東拓社宅)	本道御視察の際、当俳莚へ来訪の御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
761		〔書簡〕	(大正5年)2月28日	無仏(東京麻布桜田町　阿部充家)	大塊老居士(京城西小門内野田卯太郎殿)	徳富氏とは十分話出来かねた事、児玉伯の同意は得た事、政界の近況につき感想	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
762		〔書簡〕	大正5年3月2日	長春駅　野田俊作	御父上様(京城西小門七五　野田卯太郎)	東拓改正案握り潰した後の野田の進退について、信託会社第1回払込につき1687円余送付願い、近況報	罫紙(3枚)	1	書類留(針)の跡あり。封筒あり
763		〔書簡〕	(大正5年)2月3日	都筑(興津水口屋方　都筑馨六)	野田太兄(朝鮮京城拓殖会社ニテ　野田卯太郎)	興津にて避暑中の事、俳句1句書上	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
764		〔書簡〕	(大正5年)2月7日	佐藤隼蔵(福岡県浮羽郡千年村)	野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門町七五)	副枝寛三の職業・財産などにつき回答	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
765		〔書簡〕	(大正5年頃)	宋秉畯(南山町三丁目)	野田副総裁殿(西小門町)	朝鮮梨送付の事	継紙	1	封筒あり
766		〔書簡〕	(大正5年)2月8日	田村権蔵(大邱府)	野田大先生(京城西小門町)	重石山採掘につき資本金などについて	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
767		〔書簡〕	(大正5年)2月8日	宋秉畯(南山町三丁目)	野田副総裁殿(京城西小門町)	贈物の御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
768	1	〔書簡〕	大正5年2月6日	俊作(南満洲鉄道株式会社長春駅　野田俊作)	御親父様(京城西小門七五　野田卯太郎)	信託会社株式300株引受願い、大豆ほか出荷量減少により鉄道の仕事量も割合に少なき事ほか	罫紙(3枚)	1	768-1～2封筒一括
768	2	長春取引所信託株式会社定款	(大正5年)	(長春取引所信託株式会社)		定款原稿	切紙(5枚)	1	書類留(ステンプラー)の跡あり
769		〔封筒〕	(大正5年頃)	朝鮮京城西小門町七十五番地　野田卯太郎	三井物産支店　高野支店長殿		封筒	1	
770		〔通知〕	大正5年5月12日	台湾製糖株式会社　取締役会長　藤田四郎(本社　台湾台南庁打狗、東京事務所　東京市日本橋区本石町一丁目廿	株主　野田卯太郎殿(麻布区狸穴町五九)	臨時株主総会開催につき案内、台北製糖株式会社との合併仮契約書など付属	紙	1	封筒あり
771		〔書簡〕	大正5年5月19日	浜武文治(福岡県三池郡三川町字川尻)	野田様(朝鮮京城西門町　野田卯太郎)	3月中に地所道路敷地料受取り三池銀行に入金の事、登記など未済につき確認願い	継紙	1	封筒あり
772	1	〔馬山・晋州間図面〕	(大正5年頃)			移民入植区域など	切紙	1	封筒あり。封筒上書「馬山、晋州間図面」。封筒裏上書「東洋拓殖株式会社」。772-1～8封筒一括
772	2	〔封筒〕	(大正5年頃〕			上書「雑書入」	封筒	1	東洋拓殖株式会社封筒
772	3	〔書簡〕	大正5年4月17日	明治絵画会副会頭　高橋琢也(東京市麹町区中六番町四番地)	野田卯太郎殿(東洋拓植会社)	明治絵画会幹事小山雪耕画道研究のため渡鮮致すにつき引立て願い	継紙	1	封筒あり
772	4	〔書簡〕	(大正5年)2月20日	武内美代吉(台湾宜蘭東門街警察官派出所東隣寓)	野田尊老大人(朝鮮京城東洋拓殖会社副総裁　野田卯太	就職斡旋につき依頼	原稿用紙(3枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
772	5-1	〔書類〕	大正5年4月13日	忠清南道　忠清南道第一部長(印)	東洋拓殖株式会社　野田副総裁殿	錦江細砂の件につき扶余郡各所にて採取の砂送付の事、忠南勧第	罫紙	1	772-5-1～2封筒一括
772	5-2	送状	大正5年4月13日	朝鮮忠清南道公州　杉岡商店運送部	京城東洋拓殖会社　野田卯太郎殿	忠清南道庁より砂箱入1個送付	紙	1	
772	6	〔通知〕	大正5年4月11日	箕面有馬電気軌道株式会社取締役社長　平賀敏(大阪市北区北野角田町参百弐拾五	株主殿(東京市麻布区材木町二九　野田卯太郎)	定時・臨時株主総会開催につき通知、損益計算書・貸借対照表など総会資料付	紙	1	封筒あり。封筒付紙(京城東拓社宅へ転送につき)
772	7	〔郵便振替貯金用紙〕	(大正5年頃)	下関市東南部町王司　日本之関門発行所　瞬報社出版部社主　藤田光之進		払込通知票ほか、雑誌『日本之関門』送金用、未使用	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
772	8	春川郡一作面水利事業	〔大正4年頃〕			東京府荻野芳蔵外3名の起業による水利事業計画	切紙	1	
773	1	文禄役ニ於ケル碧蹄舘ノ戦闘	明治44年6月11日	陸軍工兵大尉　中村良雄		将校遠乗会の際の碧蹄舘古戦場における講話の筆記録	書綴	1	773-1～3封筒一括。封筒上書「阿部充家氏ニ碧蹄舘ノ図　之ニ図ヲ添付ノ事」
773	2	文禄役平壌ノ戦前ニ於ケル日明両軍位置ノ略図(文禄二年一月六日ニ於ケル)	(明治44年頃)	(高陽青葉会)			紙	1	
773	3	文禄役碧蹄舘附近日明軍戦闘略図(文禄二年二月二十六日)	(明治44年頃)	(高陽青葉会)			紙	1	
774		〔辞令〕	明治41年9月16日	内閣	勲四等　野田卯太郎	東洋拓殖会社設立委員に仰付け	切紙	1	封筒あり。封筒上書「東洋拓殖会社設委員辞令入　内閣」
775		臨時株主総会招集通知書	大正4年11月5日	朝鮮棉業株式会社　取締役社長　谷口房蔵(大阪市西区江戸堀南通一丁目五十番地)	株主殿(京城東洋拓植(ママ)会社　野田卯太郎)		切紙	1	封筒あり
776		請求及領収証	大正4年8月21日	朝鮮総督府鉄道局京城朝鮮ホテル主任　猪原貞雄(印)	野田様	午餐11人前代金29円余ほか8月9～16日の食事代などにつき	罫紙(2枚)・紙(3枚)	1	書類留(針)の跡あり。封筒あり
777	1	貸出受払残高表	大正5年2月22日	株式会社漢湖農工銀行忠州支店(印)			紙	1	777-1～4一纏り
777	2	総勘定元帳差引残高表	大正5年2月22日	漢湖農工銀行忠州支店　支店長　河野□□(印)			紙	1	
777	3	〔詩歌書上〕	大正5年如月下旬	忠州　酒井漢石		野田卯太郎歓迎・歓送の辞、俳句1句書上	切紙	1	
777	4	〔俳句〕	大正5年如月下浣	於忠北忠州　河野南涯(カ)		俳句1句書上	切紙	1	
778	1	〔書簡〕	(大正期)4月30日	大塊(野田卯太郎)	魯庵伯閣下(寺内正毅)	返信遅延の詫び、「申候朝鮮既に桜かな」ほか1句書上	切紙	1	778-1～3封筒一括
778	2	〔書簡〕	(大正期4月30日頃)	(野田卯太郎)		「二ツ三ツ四ツ頬張る草の餅」ほか4句書上	継紙	1	
778	3	〔書簡〕	(大正期4月)29日	三防生	大塊翁(野田卯太郎)	詩歌添削願い	継紙	1	
779	1	〔書簡〕	(大正5年)11月6日	河谷静夫(金北金堤東拓出張所)	野田先生(京城西小門内　野田卯太郎)	野田の東拓退職につき挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
779	2	〔書簡〕	大正5年11月6日	湯浅秀雷外所員一同(全羅北道金堤)	野田卯太郎殿(京城西小門内)	野田の東拓退職につき挨拶	切紙	1	封筒あり
780		〔書簡〕	(大正5年)11月6日	西海、田中菊造、鶴岡仁勇、中井雅人、谷川恣、木村雄太郎、一条克郎、小山光利(元山東拓)	京城西小門町　野田卯太郎	野田の東拓退職につき挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
781		〔書簡〕	(大正5年11月7日)	中院富寿	野田閣下(京城　野田卯太郎)	野田の東拓退職につき挨拶	切紙	1	封筒あり。年月日は封筒消印
782		〔書簡〕	(大正5年)11月7日	遷(朝鮮海州　田中遷)	野田高台(福岡市栄屋旅館気付　野田卯太郎)	野田の東拓退職の件、先月22日よりの道内巡回の途中京城で林、井上、村田理事に面会した事、平井君の就職の件	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
783		〔書簡〕	(大正5年)11月10日	矢野友吉(浮羽郡吉井町)	野田老台貴下(福岡市橋口町栄屋旅館　野田卯太郎)	野田の東拓退職につき見舞い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
784	1	〔書簡〕	大正5年10月	渋沢栄一、早川千吉郎	野田卯太郎(朝鮮京城黄金町東洋拓殖会社)	西内青藍の著書の推薦	切紙	1	784-1～3封筒一括
784	2	〔広告〕	(大正5年10月)	発行所　東京市麹町区有楽町匿名組合　実業通信社		西内青藍著『帝国経済総覧』販布の案内	切紙	1	虫損あり
784	3	〔葉書〕	大正5年		東京市麹町区有楽町一ノ三実業通信社行	『帝国経済総覧』購入申込み用、未使用	葉書	1	
785		〔書簡〕	(大正5年)11月20日	武藤文吾(春川)	野田卯太郎殿(京城西小門町七五)	野田の東拓辞職挨拶状への御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
786		〔書簡〕	(大正5年)11月20日	李圭□(春川)	野田卯太郎様(京城西小門町七五)	東拓副総裁辞任の挨拶状への御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
787		〔書簡〕	(大正5年)11月20日	宮崎又治郎(春川)	野田卯太郎殿(京城西小門町七五)	東拓副総裁辞任の挨拶状への御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
788	1	〔印影〕	(大正期頃)	(遂軒刀)	(野田大塊)	「閃電光撃石火」	切紙	1	788-1～2封筒一括。封筒上書「贈大塊老台　石章之影　遂軒
788	2	〔印影〕	(大正期頃)	(遂軒刀)	(野田大塊)	「野田卯印」・「大塊」	切紙	1	
789		〔書簡〕	(大正5年11月21日)	服部米次郎(慶尚北道大邱)	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村)	東拓副総裁辞任の挨拶への御礼	継紙	1	継紙
790	1	記	(大正期頃)	東洋拓殖株式会社　神長		11月分報酬総額とその内訳書上	罫紙	1	790-1～2一纏り
790	2	拾壱月分諸支払内訳	(大正期頃)	東洋拓殖株式会社　神長		前田魚店ほか代金87円余	罫紙	1	
791	1	〔金堤出張所所員名簿〕	(大正3年頃)	金堤出張所			書冊	1	付紙あり。付紙上書「金堤出張所ノ分」。791-1～11書類留(クリップなど、除去済)一括
791	2	金堤出張所貸付金年別表	(大正3年頃)	金堤出張所			切紙	2	切紙2枚書類留綴(針、除去済)
791	3	金堤出張所移民調	(大正3年頃)	金堤出張所			罫紙	1	
791	4	移民県別調	(大正3年頃)	金堤出張所			罫紙	1	
791	5	移民分布調	(大正3年頃)	金堤出張所			罫紙	1	
791	6	現在移民府県別表	(大正3年頃)	金堤出張所			綴(罫紙)	1	罫紙2枚書類留綴(針、除去済)
791	7	殖産係施設概要	(大正3年頃)	金堤出張所			罫紙(2枚)	1	
791	8	土木係施設概要	大正3年4月末日現在	金堤出張所			罫紙	1	
791	9	大正弐年度上下半期移民納入義務金	(大正3年頃)			総計1万27円余につき内訳など書上	罫紙	1	
791	10	〔出資地・買収地調査表綴〕	(大正3年頃)				綴(罫紙)	1	罫紙3枚書類留綴(針、除去済)
791	11	〔年度別調定高ほか調査資料綴〕	(大正3年頃)			調定高に対する収納歩合、現物処分情況ほか	綴(罫紙)	1	罫紙4枚書類留綴(針、除去済)
792		東洋拓殖株式会社栄山浦出張所一覧	〔大正3年5月〕				書冊(罫紙)	1	罫紙13枚書類留綴(ステープラー、除去済)。東洋拓殖会社罫紙使用

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
793		馬山出張所現在員調	大正3年5月12日現在				書綴(罫紙)	1	東洋拓殖株式会社罫紙使用
794	1	馬山出張所現在員調	大正3年5月12日現在			馬山出張所現在員調べ、馬山出張所の沿革、馬山出張所管理地調べ、その他	書綴(罫紙)	1	付紙あり。付紙上書「馬山出張所ノ分」。東洋拓殖株式会社罫紙使用。794-1～2同
794	2	〔馬山出張所沿革〕	〔大正3年5月〕			管理地・小作料実収額など調査を含む	書綴(罫紙)	1	罫紙5枚書類留綴(針、除去済)。東洋拓殖株式会社罫紙使
795	1	〔江景移民状況調〕	大正3年5月現在	(東拓江景出張所)		移民状況一覧表、移民地方別戸数人口表	書綴(罫紙)	1	付紙あり。付紙上書「江景出張所ノ分」。東洋拓殖株式会社罫紙使用。795-1～5一
795	2-1	改良稲穂普及面積及立替種子量調査表	大正3年度	(東拓江景出張所)			罫紙	1	東洋拓殖株式会社罫紙使用。2-1～2合綴。795-2～3書類留綴(針、除去済)
795	2-2	採種小作田面積等調査表	大正3年度	(東拓江景出張所)		過去3ヶ年間稲作期間雨量表を含む	罫紙(2枚)	1	
795	3	明治四拾四年度以降収支累年調	(大正3年度)	(東拓江景出張所)			罫紙(2枚)	1	
795	4	管理地状況一覧表	大正3年5月現在	江景出張所、(印・「柳直次			罫紙	1	
796		〔葉書〕	(大正5年6月)25日	台水	京城東拓社宅　野田大塊様	俳句1句書上	絵葉書	1	絵葉書表題「Camp Very, Marine Barracks, Honolulu」。年月は消印。796～814紐一括
797		〔葉書〕	(大正5年)3月11日	素雲	京城西小門東拓舎宅　野田卯太郎殿	近況報告(風邪快方に向う)	葉書	1	年は消印
798		〔葉書〕	(大正5年3月)23日	公州　愚太守	京城西小門町七五　野田卯太郎様	旅行先より帰宅の事ほか、俳句1句書上	絵葉書	1	絵葉書表題「宇治扇之芝」。年月は消
799		〔通知〕	大正5年7月14日	九州製油株式会社　社長村上義太郎	三池郡岩田村岩津　野田卯太郎殿	株主総会開催につき案内	葉書	1	
800		〔葉書〕	(大正5年3月)25日	月池	市内西小門内野田副総裁邸俳諧道場両詞宗	俳句受取の御礼	葉書	1	年月は消印
801		〔書簡〕	(大正5年)8月29日	立花家家扶(福岡県筑後柳河城内村)	野田卯太郎殿(京城西小門東拓社宅)	開城産甜瓜の礼、邸内採収の蜂蜜贈る、貴地産苹果送付依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印あり
802		〔書簡〕	(大正5年)8月28日	権蔵(大邱府八雲町　田村権蔵)	御尊大人様(京城西小門町野田卯太郎殿)	銅山実地調査のため本月より山入りの事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
803		〔書簡〕	(大正5年頃)8月22日	立花小一郎、古海巌潮	野田卯太郎殿(東拓)	井出台水東京へ移転につき送別会案内	切紙	1	封筒あり
804		〔書簡〕	大正5年8月19日	野田俊作(長春駅)	御父上様(京城西小門七五野田卯太郎)	蒙古パフチャップ軍の郭家店来襲の実見報告	罫紙	1	罫紙8枚。封筒あり
805	1	〔書簡〕	大正5年8月23日	広田忍堂(朝鮮元山幸町　元山毎日新聞社)	野田大塊大人(京城東洋拓殖会社)	先日の御芳志を基金に新しい句会(北魚会)を組織した事、同句会の俳句添削願い	罫紙	1	罫紙3枚。805-1～2封筒一括
805	2	〔俳句添削〕	(大正5年8月23日)	広田忍堂	(野田卯太郎)	朱書にて添削あり	綴	1	罫紙8枚書類留綴(針、除去済)

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
806		〔電報〕	(大正5年8月25日)	タイキウ局タ	ケイゼウニシシケンマチ　ノダウタロウ(京城西四軒町　野田卯太郎)(野田卯太郎)ノダウタ	「ナンブンノヘン□□ウ」とあり	電報	1	付紙あり(宛先住所不明につき)
807		〔書簡〕	大正5年7月10日	大阪市東区今橋弐丁目拾六番地　公債株式現物問屋 「チガイヤマ・ト」都商会	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎		封筒	1	
808		〔書簡〕	(大正5年)8月24日			すでに出発の旨、悪天候より不思議に想像致せし事、野田の東拓辞職の件か	継紙	1	
809		〔書簡〕	大正5年9月1日	慶応義塾長　鎌田栄吉、慶応義塾社頭　福澤一太郎(東京市芝区三田) 慶應義塾長　福沢一太郎	野田卯太郎様(朝鮮京城)	慶応医科・化学科設立のため寄附金50円申込みの御礼	切紙	1	封筒あり
810		〔封筒〕	(大正5年8月28日)	福岡市外谷　森田正路	朝鮮京城西小門　野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印
811		〔書簡〕	(大正5年)8月20日	鎌倉村木座　勝田主計	野田老台(京城東洋拓殖会社　野田卯太郎)	当地にて静養中の事、俳句1句書上	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
812		〔書簡〕	(大正5年頃)9月1日	野田	安東所長	立花伯へ苹果送付につき処置依頼	継紙	1	
813		〔書簡〕	(大正5年)8月30日	義喬(大邱東門町　安東義喬)	野田老台(京城西小門通)	帰邱報告、秋収に好成績をあげるよう努力している事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
814		〔書簡〕	(大正5年)5月21日	浅井益三(仁川本町四丁目)	大塊大人(京城小西門東拓社宅　野田卯太郎)	愚老の宿願につき賛同の御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。封筒消印は大正5年8月21日付
815		〔電報〕	(大正4年2月21日)	マサン局ミツヨ(馬山局光代)	ケイジヨウ　サイシヨモン　ノダウタロウ(京城西小門　野田卯太郎)	今夜発ってまだ見ぬ(コンヤタツテマダミヌ)	電報	1	封筒あり。封筒上書「西小門臨時事　書類入」。封筒裏上書「東京市麻布区材木町二十九番地　野田卯太郎」
816		〔書簡〕	(大正4年)2月20日	とめ子(麻布材木町野田宅加藤とめ)	御父上様(朝鮮京城西小門野田卯太郎)	女中の不祥事への処置につき御礼、加藤の母の病状の事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
817		〔書簡〕	(大正4年)2月21日	前田光代(馬山京町二丁め北川久吉方)	野田卯太郎様(京城西小門七十五)	度々の不都合の件につき詫び	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
818		〔書簡〕	(大正4年)2月20日朝	前田光代(馬山京町二丁め北川久吉方	野田卯太郎様(京城西小門七十五)	京城より馬山への旅程、無事到着の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
819		〔書簡〕	(大正5年8月22日)	大牟田毎日新聞社　社長　平山喜録	野田卯太郎殿(朝鮮京城)	飛行大会開催につき案内	切紙	1	謄写刷り。封筒あり。年は封筒消印
820	1	東洋拓殖株式会社法、東洋拓殖株式会社定款	(明治末年～大正初年)	(東洋拓殖株式会社)		明治43年4月6日改正版	切紙	1	820-1～3封筒一括。封筒上書「東洋拓殖会社特別改正案入」。封筒虫損あり
820	2	会社法改正案	(明治末年～大正初年)	(東洋拓殖株式会社)			書冊	1	東洋拓殖会社罫紙使用
820	3	改正案ニ対スル会社提出意見	(明治末年～大正初年)	(東洋拓殖株式会社)		(書冊、東洋拓殖罫紙)	書冊	1	東洋拓殖会社罫紙使用
821		〔辞令〕	大正5年11月4日	内閣(封筒差出人　東洋拓殖株式会社　総裁石塚英蔵)	野田卯太郎(福岡県三池郡岩田村岩津三三)	東洋拓殖会社副総裁依願免職の事	切紙	1	封筒あり。821～830紐一括

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
822		〔書簡〕	(大正5年)11月8日	義喬(朝鮮大邱　安東義喬)	野田老台(福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎)	野田副総裁退職につき御礼・挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
823		〔書簡〕	(大正5年頃)11月20日	眞郷	野田尊大人	訪問予定などにつき	継紙	1	封筒あり
824	1	〔通知〕	大正5年11月7日	東洋拓殖会社　総裁　石塚英蔵(朝鮮京城府黄金町二丁	株主各位(三池郡岩田村岩津野田卯太郎)	臨時株主総会開催につき案内	紙	1	824-1～2封筒一括
824	2	委任状	大正5年11月			株主総会の議決権につき	葉書	1	未記入
825		〔書簡〕	(大正5年)11月6日	神長均(京城東洋拓殖会社)	野田卯太郎殿(福岡三池郡岩田村岩津)	副総裁退任につき御礼・挨拶	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
826		〔書簡〕	(大正5年)11月6日	吉植庄三(朝鮮水原東拓)	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村)	副総裁退任につき所員を代表し御礼・挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
827		〔書簡〕	(大正5年)11月6日	殖民課長　村上秀一、秘書役二宮徳、出納課長　石上達平、庶務計算課長　堀江吉之助、貸付検査課長　笹岡一実、土木課長　関屋忠正、東拓殖産課長　足立文次郎	野田卯太郎殿(三池郡岩田村岩津三三)	副総裁退任につき課員を代表し御礼・挨拶	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
828		〔書簡〕	(大正5年)11月6日	斎藤音作(朝鮮新義州営林廠)	野田卯太郎殿(京城東洋拓殖会社気付)	副総裁退任につき挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
829		〔書簡〕	(大正5年)11月8日	矢野要吉(朝鮮水原)	野田先生(福岡県三池郡岩田村)	副総裁退任につき挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
830		〔書簡〕	大正5年11月7日	京城　韓相龍	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村岩津三三)	副総裁在任中恩顧の御礼、漢城銀行多忙のため東拓理事を辞職致すにつき挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
831		〔書簡〕	(大正5年)11月6日	島徳蔵(大阪市東区高麗橋五丁目)	野田尊台(京城東洋拓殖会社野田卯太郎)	副総裁退任につき挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
832	1	〔書簡〕	明治41年2月	第七高等学校造士館生徒監永山時英(印)	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村)	生徒指導・学資納入などにつき連絡	紙	1	832-1～2封筒一括。832～846紐一括
832	2	第七高等学校造士館生徒学資預金方法	(明治41年2月)				紙	1	
833		〔通知〕	明治40年4月12日	税法整理案審査会長　大蔵大臣法学博士　阪谷芳	税法整理案審査委員　野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田	会議開催につき	紙	1	封筒あり
834		株金領収証	明治40年6月1日	九州倉庫株式会社(福岡県門司港桟橋通壱番地)	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村)	3株分払込金15円領収	紙	1	封筒あり
835		衆議院議員当選証書	明治41年5月25日	福岡県知事　寺原長輝(印)	福岡県三池郡岩田村大字岩津二拾三番地ノ一　勲四等　野田卯太郎		紙	1	封筒あり。封筒上書「衆議院議員当選証入　四十一年五月(印・「野田蔵書」)」
836		〔感謝状〕	明治41年2月1日	宮城県知事従四位勲二等　亀井英三郎(印)、福島県知事正五位勲四等　平岡定太郎(印)、岩手県知事正五位勲四等　笠井信一(印)	野田卯太郎(東京市芝区琴平町四十三番地　信濃屋支店方)	明治38年県下凶作時に窮民救助のため金3円寄附につき	紙	1	封筒あり。封筒上書「宮城・巖手・福島之三県凶作救恤金之謝状入　四十一年」
837		〔通知〕	明治41年12月1日	日本染絨株式会社専務取締役　山崎和七(東京市浅草区橋場町)	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村大字岩津二三)	株主協議会開催につき案内	紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
838		〔推選状〕	明治41年6月4日	東亜同文会会長　侯爵　鍋島直大(印)	野田卯太郎殿(東京市芝区琴平町信濃屋支店)		紙	1	封筒あり。封筒上書「(印・「野田蔵書」)東亜同文会評議員推選状入　四十一年六
839	1	〔書簡〕	明治41年12月20日	福岡市橋口町二十六番地　株式会社博多冷蔵庫(印)	野田卯太郎殿(東京芝区琴平町〔信〕濃屋支店)	佐藤実仮名義株券30株の払込金送金願い	罫紙	1	839-1～2封筒一括
839	2	株式会社博多冷蔵庫株式第一回払込金領収証	明治41年11月11日	株式会社博多冷蔵庫株金払込取扱銀行　創立委員長　山口恒太郎(印)	佐藤実殿	株式30株分375円領収	紙	1	
840		九州倉庫株式会社臨時総会通知書	明治41年11月22日	福岡県遠賀郡若松町字本町九州倉庫株式会社　専務精算人　塚本兎三郎(印)	株主　野田卯太郎殿(三池郡岩田村)		切紙	1	封筒あり
841		貸借対照表	明治42年2月28日	大阪市北区堂島浜通弐丁目弐番地　箕面有馬電気軌道株式会社出張所	福岡県三池郡岩田村大字岩津　野田卯太郎殿		罫紙	1	封筒あり
842		〔書簡〕	(明治42年)2月18日	一正(韓国京城　宇佐川一正)	野田大兄(東京芝区琴平町十三、信濃屋支店)	拓殖会社設立事務所は憲兵隊事務所を譲り受け、韓国政府提供の土地受領につき準備中の事、予算補助金衆議院通過の連絡の件につき御	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
843		〔通知〕	明治42年1月18日	日本染絨株式会社　専務取締役　山崎和七(東京市浅草区橋場町)	株主各位(福岡県三池郡岩田村大字岩津廿三　野田卯太郎)	臨時株主総会での取締役ほか選挙結果につき	紙	1	封筒あり
844	1	〔通知〕	明治41年6月10日	南満州鉄道株式会社　総裁男爵　後藤新平(東京麻布飯倉狸穴町四番地)	福岡県三池郡岩田村岩津二三　野田卯太郎殿	定時総会及臨時総会開催につき案内	切紙	1	844-1～2封筒一括
844	2	委任状	明治41年6月			総会議決権につき	切紙	1	未記入
845		領収証	明治36年9月5日	地主代理　浜武文治	島崎吉次郎	大牟田町内地賃12円領収	罫紙	1	845、846紐一括
846		明細書	明治36年9月7日	大牟田町停車場前浜武薬舘浜武文治	野田俊作殿	大牟田町内地賃23円相渡し	罫紙	1	
847	1	明治三拾六年十二月三十一日貸借対照表	(明治37年1月頃)	(三池魚類売買株式会社)			切紙	1	847-1～4封筒一括。847～872ビニール紐一括
847	2	明治三拾六年十二月三十一日損益表	(明治37年1月頃)	(三池魚類売買株式会社)			切紙	1	
847	3	利益金配当案	(明治37年1月頃)	(三池魚類売買株式会社)			切紙	1	
847	4	〔通知〕	明治37年1月8日	三池魚類売買株式会社　専務取締役　正木彦右衛門(印)	三池郡岩田村大字岩津　野田卯太郎殿	定時株主総会開催につき案内	切紙	1	
848	1	〔通知〕	明治37年1月13日	九州倉庫株式会社　社長　渡辺至(福岡県門司港桟橋通壱番地)	三池郡大牟田町　野田卯太郎	第15回定時株主総会・臨時総会開催の通知	切紙	1	848-1～2封筒一括
848	2	委任状	明治37年1月29日	九州倉庫株式会社　株主		定時株主総会ほか議決権につき	切紙	1	未記入
849		〔通知〕	明治35年12月11日	九州倉庫株式会社	野田卯太郎殿	新株券6株の送付につき、別紙領収証返送依頼	切紙	1	封筒あり。封筒上書「九倉会社の書類入」
850		〔書簡〕	(明治)36年5月31日	浜武文治(三池郡大牟田町停車場前　薬種商及諸品仲買商主信堂)	野田卯太郎殿(東京芝区琴平町13番地　信濃屋支店)	梅乃の件は拙者より断りし事、松尾菊乃を甲木開の沖野恵文の長男魁夫の妻に相談中の件、魚市場浦地所貸与の件につき委任状送付願い	継紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
851	1	〔通知〕	明治36年6月3日	九州倉庫株式会社 社長 渡辺至(福岡県門司港桟橋通壱番地)	野田卯太郎殿(福岡県三池郡大牟田町)	株主臨時総会開催につき案内、委任状付	切紙	1	851-1～2封筒一括
851	2	株主臨時総会議案	(明治36年6月)	(九州倉庫株式会社)		地所建物価格低落並に未収入勘定欠損填補の件につき	切紙	1	
852	1	〔通知〕	明治36年7月14日	九州倉庫株式会社社長 渡辺至		定時株主総会・臨時総会開催につき案内、委任状付	切紙	1	852-1～5封筒一括
852	2	議案	(明治36年7月頃)	(九州倉庫株式会社)		明治36年上半期営業報告書	切紙	1	
852	3	財産目録	明治36年6月30日調	(九州倉庫株式会社)		貸借対照表付	切紙	1	
852	4	損益勘定	(明治36年7月頃)	(九州倉庫株式会社)			切紙	1	
852	5	利益分配案	(明治36年7月頃)	(九州倉庫株式会社)			切紙	1	
853	1	第五回定時株主総会及臨時株主総会通知書	明治43年4月9日	箕面有馬電気軌道株式会社社長 岩下清周(大阪市北区北野角田町参百弐拾五番地)	株主 野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村大字岩津二三)		切紙	1	853-1～2封筒一括
853	2	〔株主総会資料〕	(明治43年4月頃)	(箕面有馬電気軌道株式会		財産目録・貸借対照表ほか	切紙	1	
854		〔通知〕	明治42年4月7日	大阪市北区北野角田町(梅田) 箕面有馬電気軌道株式会社出張所	取締役野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩津村大字岩津)	重役会開催につき案内	罫紙	1	封筒あり
855		〔通知〕	明治43年4月7日	大阪市北区北野角田町(梅田) 箕面有馬電気軌道株式会社出張所	監査役野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村大字岩津)	重役会開催につき案内	罫紙	1	封筒あり
856		〔書簡〕	明治43年4月7日	武蔵電気鉄道株式会社創立委員長 岡田治衛武(東京市京橋三十間堀三丁目十五番	発起人 野田卯太郎様(福岡県三池郡岩田村)	鉄道延長認可に際する委任状への記名調印依頼	切紙	1	封筒あり
857	1	〔通知〕	明治41年10月	九州鉄道株式会社清算事務所	株主殿	政府より下附された鉄道買収代価への利子金分配につき	切紙	1	857-1～2一纏り
857	2	自明治四拾一年四月一日至仝年拾月拾六日利子分配金計算書	明治41年10月16日	専務清算人 仙石貢、清算人安川敬一郎ほか7名、監査役伊丹弥太郎ほか2名			切紙	1	
858		〔株金払込依頼通知〕	明治43年1月28日	箕面有馬電気軌道株式会社社長 岩下清周	株主 野田卯太郎殿		切紙	1	
859		〔書簡〕	(明治末年頃)18日	薮内春雄	野田老兄(野田卯太郎)	野田の所有地租税、古賀君代納の所、同君物入につき払戻依頼の件について	継紙	1	封筒あり
860	1	〔通知〕	明治41年7月30日	京橋区加賀町十七番地 京釜鉄道株式会社清算事務所	三池郡岩田村岩津二三 野田卯太郎殿	株主総会での決議事項につき	切紙	1	860-1～4封筒一括
860	2	残余財産分配通知書	明治41年7月30日	京橋区加賀町十七番地 京釜鉄道株式会社清算事務所			切紙	1	
860	3	第十一回自明治三十九年七月一日至同四十一年六月三十日報告書	明治41年7月30日	京釜鉄道株式会社清算事務所			書冊	1	
860	4	京釜鉄道株式会社残余財産分配の為め公債を甲種登録国債に依り各株主に分配するに附ての説明	(明治41年7月頃)	(京釜鉄道株式会社清算事務所)			書冊	1	
861	1	〔通知〕	明治42年6月15日	九州鉄道株式会社 専務精算人 仙石貢	株主殿(福岡県三池郡岩田村二三 野田卯太郎)	臨時株主総会開催につき案内	切紙	1	861-1～3封筒一括

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
861	2	明治四拾二年六月三十日九州鉄道株式会社臨時株主総会議案	(明治42年6月)	(九州鉄道株式会社)			切紙	1	
861	3	残余財産第壱次分配計算	(明治42年6月)			貸借対照表付	切紙	1	
862	1	〔書簡〕	明治40年8月9日	九州倉庫株式会社　取締役社長　塚本兎三郎(福岡県門司港桟橋通壱番地)	県下三池郡岩田村　野田卯太郎様	株主総会での議決事項につき	切紙	1	862-1～2封筒一括
862	2	領収証	(明治40年8月)		九州倉庫株式会社御中	第22回決算利益配当金受取用	切紙	1	未記入
863		〔封筒〕	(明治36年10月)			封筒上書「要用書類入　卅六年十	封筒	1	
864	1	受取	(明治36年)12月26日	福岡市福岡橋口町四十六番地　立憲政友会福岡県支部		封物1ツ受取	罫紙	1	864-1～4封筒一括。封筒上書「卅六十二月廿五日帰県　諸請取書入」
864	2	受取証	(明治)36年12月28日	福岡市紺屋町郵便受取所　半田次吉(印)	山口様	葉書60枚代金90円受取	罫紙	1	
864	3	書留郵便物受領証	明治36年12月28日	(福岡郵便局)	福岡市栄や　野田卯太郎	小倉市青柳四郎宛郵便物につき	紙	1	
864	4	書留郵便物受領証	明治36年12月28日	(福岡郵便局)	福岡市栄や　野田卯太郎	山門郡城内村由布惟義宛郵便物につき	紙	1	
865		領収証	明治37年3月28日	立憲政友会本部(印)	野田卯太郎殿	会費25円領収	紙	1	
866		明治開工事費収支明細書	(明治後期)5月14日	明治開委員　黒田純蔵外四人	野田卯太郎様		罫紙	1	
867		〔通知〕	明治37年3月10日	九州倉庫株式会社　常務取締役　長谷川専太郎	野田卯太郎殿	臨時株主総会開催につき案内	切紙	1	
868		〔通知〕	明治37年3月8日	九州倉庫株式会社	株主御中	定時株主総会ほか開催につき案内	切紙	1	
869		〔通知〕	明治37年3月10日	九州倉庫株式会社　常務取締役　長谷川専太郎	株主殿	臨時株主総会開催につき案内、委任状付	切紙	1	
870	1	明治三十六年上半期利子配当金通知書	明治36年8月25日	東京市京橋区山城町九番地　京釜鉄道株式会社	福岡県三池郡岩田村岩津二三　野田卯太郎殿		切紙	1	870-1～3封筒一括
870	2	決議録	明治36年8月25日	京釜鉄道株式会社		株主総会決定事項など書上	切紙	1	
870	3	第四回自明治三十六年一月一日至同年六月三十日事業報告書	明治36年8月25日	京釜鉄道株式会社			書冊	1	
871	1	〔代金書上〕	明治36年4月6日	浜武文治	野田様	魚市場より請取分より金8円余相渡しほか	切紙	1	871-1～2封筒一括。封筒上書「浜武文治ニ関スル書類入　之レハ金拾五円の内ヨリ浜武払タル書類　四月六日卅六年」
871	2	〔領収証綴〕	(明治35年度)	駛馬村収入役　吉田国五郎	駛馬村　野田卯太郎	35年度村税・県税ほか領収、上書「四枚合計金六円三十銭　魚市場金ヨリ支払」	綴	1	領収証4枚・付紙1枚紙縒綴
872	1	〔覚〕	(明治36年頃)			魚市場浦正木氏貸付地賃9円余ほか請取	罫紙	1	872-1～2封筒一括
872	2	〔図面〕	(明治36年頃)			大牟田野田卯太郎地所、及び魚市場付近、各1枚、地権関係記入	切紙	2	
873	1	〔電報〕	(大正2年11月10日)	キタカワチ局　キノシタ	イワタ　ノダウタロ(岩田　野田卯太郎)	在宅確認	電報	1	873-1～12同折。873～955紐一括

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
873	2	〔電報〕	(大正2年10月9日)	クマモト テトリ局 トギヤシテンタカノ	イワタムラ ノダウタロウカタ マツノツルヘイ(三池郡岩田村野田卯太郎方 松野鶴平)	明日朝訪問に付き在宅依頼	電報	1	
873	3	〔電報〕	(大正2年11月10日)	クマモト局 タカキ	イワタムラ マツノツルヘ(岩田村 松野鶴平)	至急来宅依頼	電報	1	
873	4	〔電報〕	(大正2年11月3日)	チクゴヤナカワ局 トモヤス(筑後柳川)	イワタムラ ノダウタロ(岩田村野田卯太郎)	5日8時にて行く(五ヒ八ジニテユク)	電報	1	
873	5	〔電報〕	(大正2年11月3日)	チクゴヤナカワ局 トカワ(筑後柳川)	イワタムラ ノダウタロウ(岩田村 野田卯太郎)	トモヤスと共に訪問、在宅依頼	電報	1	
873	6	〔電報〕	(大正2年11月8日)	イイツカ局 トミヤマヨネキチ(飯塚)	イワタムラ ノダウタロウ(岩田村 野田卯太郎)	明日の在宅時間につき問合せ	電報	1	
873	7	〔電報〕	(大正2年11月6日)	フクオカダイクマチ局 アソ(福岡市大工町)	ユワタムラ ノダウタロウ(岩田村 野田卯太郎)	急用にて上京につき、お出で見合わせ依頼	電報	1	
873	8	〔電報〕	(大正2年11月5日)	テツイイツカ局 アソウ(飯塚)	イワタムラ ノダウタロ(岩田村野田卯太郎)	福岡にてお出で待つ	電報	1	
873	9	〔電報〕	(大正2年11月9日)	テツヌマタ局 ナガエ	イワタムラ ノダウタロ(岩田村野田卯太郎)	今日出発、11日到着	電報	1	
873	10	〔電報〕	(大正2年11月6日)	アザブ ロクホンギ局 シユン(麻布六本木)	イワタムラ ノダウタロウ(岩田村 野田卯太郎)	文官試験の件	電報	1	
873	11	〔電報〕	(大正2年11月11日)	イイツカ局 ノミヤマ(飯塚)	イワタムラ ノダウタロ(岩田村野田卯太郎)	今夜夜行でたつ、明朝面会依頼	電報	1	
873	12	〔電報〕	(大正2年10月31日)	アザブ ロクホンギ局 ノダ(麻布六本木 野田)	イワタムラ マツノ マキノ(岩田村 松野たきの)	明日出発、3日到着	電報	1	
874		〔封筒〕	(明治43年)10月30日	東京帝国大学法科大学同窓経済科生一同	福岡県三池郡岩井村 野田俊作様		封筒	1	年は消印
875		〔書簡〕	大正2年10月25日	水戸市上市南三の丸 常総新聞社社長 渡辺広治	野田卯太郎殿	4000号記念号への寄稿依頼	切紙	1	
876		第六回報告書	(大正2年10月27日)	国光生命保険相互会社(東京市京橋区尾張町)	福岡県三池郡岩田村 野田卯太郎様	明治45年7月1日～大正2年6月30日までの事業報告書	書冊	1	封筒あり。年月日は封筒消印
877		〔通知〕	大正2年11月10日	三池郡教育支会	三池郡岩田村 野田卯太郎殿	総会提出問題など協定のため評議会開催につき案内	葉書	1	
878		〔書簡〕	(大正2年)11月3日	福岡市天神町 南弘	大塊詞宝(三池郡岩田村 野田卯太郎)	閑院宮帰京の際大牟田にて面会依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
879	1	〔封筒〕	(大正2年10月14日)	京城総督府地方局第一課 山名書記	三池郡大牟田町下里 山川蛟殿		封筒	1	879-1～2封筒一括
879	2	郵便物配達証明書	(大正2年10月14日)	京城郵便局		総督府地方局飯田長十郎宛書留配達済につき通知、通信事務欄に「三池郡大牟田町大字下里山川蛟殿」	紙	1	
880		〔書簡〕	(明治43年)11月17日	たまの(三潴郡大川町 吉原たまの)	とめ子様(三池郡岩田村岩津野田とめ子)	とめ子母死去につき御悔み	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
881	1	〔包紙〕	(明治末～大正初年				包紙	1	881-1～2紙縒一括
881	2	〔俳句〕	(明治末～大正初年	花栖		俳題「野田君御病気を祝す」	切紙	1	
882		〔葉書〕	明治43年11月11日	東京麹町区内山下町壱丁目壱番地 東洋協会	福岡県三池郡岩田村 野田卯太郎殿	明治43年1～11月までの11ヶ月分会費5円請求	葉書	1	
883		〔書簡〕	(明治43年)11月2日	敏治(東京小石川区林町四〇 高瀬敏治)	梅野子様(筑後三池郡岩田村野田梅野子)	梅野子の母死去につき弔詞	罫紙(3枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
884		〔書簡〕	(大正2年11月7日)	水戸市 常総新聞社 渡辺広治	東京市麻布区材木町二九 野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
885		〔書簡〕	(明治36年)3月3日	堀内賢郎(東京麹町区五番町)	野田卯太郎殿(福岡県代議士)	第八回臨時総選挙当選の祝辞	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
886		〔書簡〕	(明治33年10月11日)	従東京　野田卯太郎	福岡県三池郡岩田村　野田俊作殿		封筒	1	年月日は消印
887		〔書簡〕	(明治大正期)10月25	石橋宇十郎	野田俊作様	結婚式執行につき祝宴の案内	継紙	1	封筒あり
888		〔書簡〕	(明治大正期)7月27日	野田	徳永様　外親族御中	徳永又市への家賃分配、家名維持の配慮につき依頼	継紙	1	封筒あり。封筒上書「徳永ニ送りし紙状
889		〔葉書〕	(大正2年)11月26日	福岡栄屋ヨリ　坂井真澄	三池郡岩田村　松野鶴平	書簡の趣承知の事ほか	葉書	1	年は封筒より
890		〔通知〕	明治36年7月21日	九州鉄道株式会社	福岡県三池郡岩田村二三　野田卯太郎殿	配当金・社債利子など住友銀行支店取扱い変更願い、発第九四〇号	葉書	1	
891		〔葉書〕	(大正2年9月13日)	(東京麻布)	福岡県三池郡岩田村大字岩津　松野たきの様	当地秋の模様ほか近況報告	絵葉書	1	絵葉書表題「都名所浅草公園」
892		〔葉書〕	(大正2年□月23日)	平野	福岡県三池郡岩田村岩津　松野鶴平様	熊本綿屋旅館での懇親会の後、24日帰福の事	絵葉書	1	絵葉書表題「熊本洗馬　錦屋旅舘」。年月日は消印
893		〔葉書〕	(大正2年9月12日)	材木町二九　野田	福岡県三池郡岩田村大字岩津　松野鶴平様	文官高等試験終了の事、帰郷・再上京の予定などについて	絵葉書	1	絵葉書表題「都名所銀座尾張町十字街」。年月日は消印
894		〔書簡〕	(明治42年)5月4日	松方正義(東京芝三田)	野田卯太郎殿(福岡県三池)	先日訪問時の案内の御礼、貴地産紅茶受取の御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
895		通信簿心得、生徒心得	(明治大正期)				切紙	1	
896		〔葉書〕	明治43年天長節之朝(11月3日)	高砂島にて　浦口たつ	熊本県菊地町城北村　松野たきの様	伴二と千代を訪問させる予定の事ほか	絵葉書	1	菊の絵葉書使用。付紙あり(三池郡岩田村野田宅へ転送につ
897		〔書簡〕	(大正2年)10月25日	富田耕三(東京大正博覧会事務局)	松野鶴平殿(福岡県三池郡岩田村)	弟英雄の帰国事の世話につき協力依頼	罫紙(2枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
898		〔葉書〕	(明治43年)11月2日	長田町百六　陽坊	福岡県三池郡岩田村　野田俊作君	俊作の書面への御礼ほか	絵葉書	1	「(鹿児島市)士学校跡(現今県立鹿児島病院)」の絵葉書使用。年は封筒消印
899		〔書簡〕	(明治43年)10月27日	十時参吉郎(肥後国阿蘇郡宮地町)	野田賢台(筑後国三池郡岩田村)	令室様死去につき御悔み、小為替にて香奠送付の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
900		〔書簡〕	(明治43年)11月14日	東京牛込区市ヶ谷冨久町十六番地　田中十三男	野田俊作兄(福岡県三池郡岩田村)	母逝去につき悔状	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
901		〔封筒〕	(明治43年)10月25日	東京本郷区方町壱丁目十一番地　南極探検後援会事務所伯爵　大隈重信	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿		封筒	1	年は封筒消印
902		〔書簡〕	(明治43年)	野田卯太郎、男　同俊作		妻死去への弔意の御礼	紙	1	封筒あり
903		〔葉書〕	(明治43年)11月1日	熊本市霧島旅館　枡見良作	福岡県三池郡岩屋村　野田俊作様	聯合軍対本校の仕合の事、熊本遠征の件ほか	葉書	1	年は消印
904		電報頼信紙	(明治大正期)			未使用	電報	2	
905		〔書簡〕	(明治43年)10月30日	根岸定治(東京市本郷森川町一)	野田兄(九州福岡県三池郡岩田村　野田俊作)	弔文	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
906		〔封筒〕	(明治43年)10月30日	東京下谷区上野桜木町一九□□金次郎	福岡県三池郡岩田村　野田俊作様	封筒上書に「御悼状」とあり	封筒	1	年は消印
907		〔書簡〕	(明治43年)	野田卯太郎、男　同俊作		妻死去への弔意の御礼、未発送	紙	1	封筒あり
908		〔書簡〕	(明治43年)	野田卯太郎、男　同俊作		妻死去への弔意の御礼、未発送	紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
909		〔通知〕	(明治43年)10月31日	立憲政友会本部	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿	伊藤公墓前への献灯奉納式挙行につき案内	葉書	1	年は消印
910		〔書簡〕	(明治43年11月2日)	神田台所町二　大熊方　千田千代吉(印)	野田之若様(麻布狸穴町五拾九　野田俊作カ)	妹ヨシへの御厚意感謝、借金依頼	継紙	1	封筒あり。年月日は封筒消印
911		〔書簡〕	(明治43年11月23日)	東京ヨリ　卯太郎	福岡県三池郡岩田村　野田俊作殿		封筒	1	年月日は消印
912		〔通知〕	明治43年11月15日	台湾製糖株式会社　取締役社長　藤田四郎(東京市日本橋区上槙町壱番地)	株主　野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村大字岩津二三)	株主総会開催につき案内	紙	1	封筒あり
913		〔書簡〕	(明治43年)11月15日	豊州新報主筆　前田多三郎(大分町下市)	野田代議士殿(筑後三池野田卯太郎)	福岡日日新聞支社員へ採用されたきため斡旋依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
914	1	第一回報告書	(明治43年11月)	武蔵電気鉄道株式会社		明治43年6月22日～同年10月31日の事業報告書	書冊	1	914-1～2同折
914	2	第一回定時総会決議事項報告	明治43年11月29日	武蔵電気鉄道株式会社　社長　岡田治衛武	株主各位		切紙	1	914-2に折込
915		〔書簡〕	(大正2年)11月23日	上塚(熊本市立憲政友会支部)	松野大兄(福岡県三池郡岩田村　松野鶴平)	川野氏の件につき懸念出来につき明日熊本へ来訪願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
916		〔書簡〕	(大正2年)11月23日	原山(熊本市外春竹村一七〇七　原山政記)	鶴平兄(福岡県三池郡岩田村岩津野田様方　松野鶴平)	隈府での面会の件につき御礼、先日勘定支払いの件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
917		帝国起業協会創立趣旨書	明治45年6月	帝国起業協会		規則一覧ほか付	書綴	1	
918		〔新聞切抜〕	(明治末～大正初年)			「伊藤公書柬(其一)」ほか	新聞切抜	1	
919		〔覚〕	(大正初年)			大正元年9月16日出願の会社設立案、発起人高橋新吉ほか6名、後援者清浦奎吾ほか	切紙	1	
920		〔封筒〕	(明治33年9月26日)	東京　卯太郎	福岡県三池郡岩田村　野田俊作殿		封筒	1	年月日は消印
921		〔嘱託状〕	明治30年6月26日	豊国会会長侯爵黒田長成	野田卯太郎君	豊国会委員を嘱託す	紙	1	
922		〔封筒〕	(明治大正期)	野田卯太郎		上書「俊作賞状入」	封筒	1	
923		〔電報〕	(明治36年)3月5日	ヲヲムタ局　イタ井	フクオカハシグチマチ　サカエヤ　ノダウタロウ(福岡市橋口町栄屋　野田卯太郎)	卯太郎帰宅の迎えにつき問合せ	電報	1	
924		〔封筒〕	(明治34年4月17日)	従東京　野田卯太郎	筑后山門郡城田村大堤専太殿方ニ而　野田俊作殿		封筒	1	年月日は消印
925	1	〔電報〕	(明治36年カ)3月28日	フクオカ局　シボ	ミイケグンイワタムラアザイワツノダウタロ(三池郡岩田村　野田卯太郎)	町田氏との面会今日都合よし	電報	1	925-1～19同折
925	2	〔電報〕	(明治36年)3月4日	ワカツ局　タケウチ	ミイケクンイワタムラ　ノダウタロウ(三池郡岩田村　野田卯太	当選祝辞	電報	1	
925	3	〔電報〕	(明治36年)3月4日	アシヤ局　アリヨシライサク	イワタムラ　ノダウタロ(岩田村野田卯太郎)	当選祝辞	電報	1	
925	4	〔電報〕	(明治36年)3月3日	トウケイ局　ホンブ	イワタムラ　ノダウタロ(岩田村野田卯太郎)	当選祝辞	電報	1	
925	5	〔電報〕	(明治36年)3月4日	イイツカ局　アソウ(飯塚)	ミイケクンイワタムラ　ノダウタロ(三池郡岩田村　野田卯太郎)	当選祝辞	電報	1	
925	6	〔電報〕	(明治36年)3月3日	ニシクホ局　ナガヱ	チクゴミイケクンイワタムラ　ノダウタロ(筑後三池郡岩田村　野田卯太郎)	当選祝辞	電報	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
925	7	〔電報〕	(明治36年)3月4日	アヲイテウ局 シナノヤ	ミイケクンユワタムラ ノダウタロ(三池郡岩田村 野田卯太郎)	当選祝辞	電報	1	
925	8	〔電報〕	(明治36年)3月4日	チクゴフクシマ局 マツノフ	ミイケグンイワタムラ ノダウタロ(三池郡岩田村 野田卯太郎)	当選祝辞	電報	1	
925	9	〔電報〕	(明治36年)3月3日	ジヨジマ局 サケクミアイ(城島酒組合)	イワタムラ ノダウタロウ(岩田村 野田卯太郎)	当選祝辞	電報	1	
925	10	〔電報〕	(明治36年)2月27日	ヲムタ局 ヤマタ	フクオカシサカイヤ ノタウタロ(福岡市栄屋 野田卯太郎)	明日一番で発つ(アスーバンニテタツ)	電報	1	
925	11	〔電報〕	(明治36年)2月27日	チクゴヨシイ局 コガ	フクオカシハシグチマチサカイヤカタ ノダウタロウ(福岡市橋口町栄屋方 野田卯太郎)	電報拝見、心配無用の事	電報	1	
925	12	〔電報〕	(明治36年)2月27日	ヲリヲ局 アサヒヤホウカネコ(折尾)	フクオカシハシグチマチ サカエヤ(福岡市橋口町栄屋)	オカモトカンイチ氏行くにつき返事願い(ヲカモトカンイチシイイツタタレタカスグヘン)	電報	1	
925	13	〔電報〕	(明治36年)2月27日	ナヲカタ局 カ(直方)	ハシクチマチサカイヤニテ ノダウタロウ(橋口町栄屋ニテ野田卯太郎)	「レイジヨリヨクソニテ六ヒヤクノミコミ」とあり	電報	1	
925	14	〔電報〕	(明治36年)3月4日	タジロ局 ヲゴリ	ミイケグンヲオムタミイケクラクブ ノダウタロウ(三池郡大牟田三池クラブ 野田卯太郎)	当選祝辞	電報	1	
925	15	〔電報〕	(明治36年)3月3日	ナヲカタ局 クリタ(直方)	ミイケクラブ ノダウタロウ(三池クラブ 野田卯太郎)	当選祝辞	電報	1	
925	16	〔電報〕	(明治36年)3月4日	スルガテウ局 マスダ	ミイケ ノダウタロウ(三池 野田卯太郎)	当選祝辞	電報	1	
925	17	〔電報〕	(明治36年)3月3日	イツカ局 ナカノ	ミイケクラブ ノダウタロ(三池クラブ 野田卯太郎)	当選祝辞	電報	1	
925	18	〔電報〕	(明治36年)3月6日	アワジフクラ局 カイヤツルジ	ミイケグンイワタムラ ノダウタロ(三池郡岩田村 野田卯太郎)	当選祝辞	電報	1	
925	19	〔電報〕	(明治3□年)2月28日	トウケイ局 ホンブ	ミイケクウンイワタムラ ノタウタロウ(三池郡岩田村 野田卯太	福岡県下の情勢につき問合せ	電報	1	
926		〔感謝状〕	明治25年7月25日	福岡県知事 正六位勲六等山田為暄(印)	野田卯太郎	昨年7月県下水害の際に金1円寄附につき	紙	1	
927		謝状	明治35年1月23日	菅公会会長 侯爵黒田長成(印)	野田卯太郎殿	太宰府一千年祭に50円寄付につき	紙	1	
928		〔書簡〕	(明治43年)10月27日	川崎市次郎(鹿児島川辺郡西南方村坊)	野田俊作様(東京市麻布区狸穴)	貴家寄寓中の息子千尋の件につき御礼、当地産鰹せんじほか送付の	罫紙(3枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
929		〔書簡〕	(明治43年)10月28日	山内未三次(東京市小石川区音羽町五ノ十七)	野田俊作様(福岡県三池郡岩田村)	母堂逝去につき弔辞	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
930		〔書簡〕	(明治43年)10月30日	菊子(東京本郷菊坂町二十四関谷忠平)	野田俊作さま(福岡県三池郡岩田村)	母上逝去につき御悔み、上京を待ち居る事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
931		〔書簡〕	(明治43年)10月28日	増田幸雄(東京麻布区本村町二一九加藤方)	野田俊作様(福岡県三池郡岩田村)	母上逝去につき御悔み	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
932		畝火教会々員之證	明治35年2月入会	(畝火教会)	福岡県三池郡岩田村 名誉会員 野田卯太郎殿		紙	1	
933		〔感謝状〕	明治30年5月26日	福岡県知事 従三位勲三等男爵岩村高俊(印)	三池郡岩田村 野田卯太郎	岩田尋常小学校及び避病院建築に人夫7人供出につき	紙	1	
934		会員章贈与証状	明治28年7月10日	大日本私立衛生会々頭 子爵土方久之(印)	野田卯太郎君		紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
935		〔葉書〕	(明治36年)2月13日	立憲政友会々報局	福岡市橋口町堺屋旅館　野田卯太郎殿	報告書代金及び送料32円余請求	葉書	1	年は消印
936		衆議院議員之證	明治31年4月5日	福岡県知事　男爵岩村高俊(印)	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎		紙	1	封筒あり。封筒上書「衆議院議員当選状入」
937		〔書簡〕	明治36年3月17日	福岡県(印)	野田卯太郎殿(三池郡岩田村)	衆議院事務局からの履歴事項記載依頼の転送	紙(2枚)	1	封筒あり
938	1	〔書簡〕	(大正2年)11月24日	野田(東京　大塊)	俊作殿(福岡県三池郡岩田村野田俊作)	留子婚姻につき帰京願い	切紙	1	938-1～4封筒一括。年は封筒消印
938	2	〔人名書上〕	(大正2年11月)			浜武久治ほか11名書上、「第一日光徳寺、第二日請台寺」とあり	切紙	1	
938	3	〔代金書上〕	(大正2年11月)			香典・布施など合計20円書上	切紙	1	
938	4	〔俳句〕	(大正2年11月)			「身に入や尊き森の秋の声」ほか2句書上	切紙	1	
939		〔書付〕	明治32年4月15日	岩田高等小学校　校長　戸次純一(印)	第二学年生　野田俊作	第2学年級長を命ず	切紙	1	
940		〔書簡〕	(明治43年)11月26日	山下光次(久留米野砲第二十四聯隊第四中隊)	野田俊作(三池郡岩田村大字岩津)	母上逝去につき弔辞	切紙(2枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
941		〔書簡〕	(明治34年1月)19日	卯太郎(従東京　野田卯太郎)	しけどの(筑後三池郡岩田村野田俊作)	東側地所につき巳之助へ相談の件ほか	切紙	1	封筒あり。年月は封筒消印
942		郡会議員之証	明治29年7月25日	福岡県三池郡長　宮本五三郎(印)	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎		切紙	1	
943		〔神璽授与証〕	明治29年12月	英彦山神社宮司　正五位男爵高千穂宣麿(印)	三池郡岩田村　野田俊作殿	英彦山神社保存会に2円奉納につき	紙	1	
944		大牟田孤児院賛助員之章	(明治大正期)		三池郡岩田村大字岩津　野田卯太郎		紙	1	
945		〔葉書〕	(明治43年11月26日)	山門郡中学伝習館寄宿舎　坂口一太郎	三池郡岩田村岩津　野田四郎太殿	母上逝去につき弔辞	葉書	1	年月日は消印
946		〔書簡〕	(明治43年)10月30日	てい子(大牟田町　森てい子)	俊作様(野田俊作)	母上逝去につき弔辞、近況報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
947		〔葉書〕	(明治43年)10月30日	東京麻布区狸穴町　卯一郎	福岡県三池郡岩田村字岩津野田俊作様	御申し越しの品送付の事	葉書	1	年は消印
948		〔書簡〕	(明治43年)10月28日	上阪真次(東京本郷)	野田俊作様(福岡県三池郡岩田村)	母上逝去につき弔辞	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
949		大日本水産会会員章贈与之証	明治29年5月28日	大日本水産会幹事長　正四位勲二等　田中芳男	野田卯太郎君		紙	1	
950		〔書簡〕	明治43年10月30日	木浦　麻生作男(韓国木浦港醤油味噌醸造販売元　「カネ・生」麻生商店	野田俊作様(三池郡岩田村大字岩津)	母上逝去につき弔辞	継紙	1	封筒あり
951		〔短歌〕	(明治大正期)			1首書上、事書「大日本水産会の福岡県会員に彰に」	紙	1	
952		〔書簡〕	(明治43年)10月28日	立沢剛(東京市小石川区十日向台町三ノ六四　野々宮方)	野田俊作様(福岡県三池郡岩田村)	母上逝去につき弔辞	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
953		〔短歌〕	明治34年1月1日			東京日日新聞第8771号付録、1首書上、事書「庭上鶴馴」	紙	1	
954		家庭週報第二百二十三号	大正2年5月16日			3～6頁分	紙	1	
955		家庭週報第二百二十三号	大正2年5月16日			1・2、7・8頁分	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
956		〔封筒〕	(明治39年9月29日)	東京芝区琴平町 信濃や 野田卯太郎(印)	鹿児島造士館 野田俊作殿		封筒	1	年月日は消印
957		〔書簡〕	(明治41年)10月8日	東京市外豊多摩郡戸塚村字諏訪 穴山石郎方 石橋謙之	鹿児島県鹿児島市第七高等学校造士館第一部第二学生野田俊作兄		封筒	1	年は消印
958		〔書簡〕	(明治37年)9月16日	母より(野田四郎太)	東京麻布鳥居坂町英和学校寄宿舎内 野田俊作殿	鳥栖乗換にて金入れ盗難の件、父上上京の件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
959		〔書簡〕	(明治38年)3月31日	姉より(三池 野田瀧乃子)	俊ちゃん(東京麻布鳥居坂町東京英和学校寄宿舎内 野田俊作)	父母ほか風邪に罹りし事ほか近況報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
960		〔書簡〕	(明治40年)6月15日	高梨博司(東京本郷台町四三福栄館方)	俊作兄(福岡県三池郡岩田村野田俊作)	御出京ならば面会希望の事、徴兵検査を受けし事ほか	切紙(2枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
961	1	〔書簡〕	(明治39年)8月31日	母より(三池岩田村 野田四郎太)	俊作殿へ(鹿児島市仲町吉田屋内 野田俊作)	開校前に出鹿してよろしき由、父上より申来りし事、別紙2通送付	切紙	1	961-1～3封筒一括。年は封筒消印
961	2	〔書簡〕	(明治39年)8月28日	邦助	野田俊作様	本月上京の事、写真送付依頼	継紙	1	
961	3	〔葉書〕	(明治39年8月27日)	修善寺にて 隆太郎	福岡県三池郡岩田村 野田俊作様	手紙拝見、面会できず残念の事	葉書	1	年月日は消印
962	1	〔書簡〕	(明治41年10月)21日	柳河元町西光寺内 森純三	鹿児島市冷水町古森方 野田俊作様	野球大会の報告	継紙	1	962-1～2封筒一括。年月は封筒消印
962	2	〔葉書〕	(明治41年)10月21日	熊本 信之	鹿児島市第七高等学校第一部第三年 野田俊作君	龍南会球技大会の報告	葉書	1	年は消印
963		〔書簡〕	(明治後期)6月13日	白葩生	本市清水町十四 野田俊作様	俊作上京につき感想	紙(2枚)	1	封筒あり
964		〔書簡〕	(明治38年)4月4日	姉より(三池 野田瀧乃)	愛する弟君へ(東京麻布鳥居坂町英和学校寄宿舎 野田俊	17才誕生日の祝辞、短慮を慎み節制すべき事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。月日は旧暦
965		〔書簡〕	(明治41年)4月24日	大石繁雄(福岡県三池郡銀水村)	野田俊作様(鹿児島市池上町五九 森氏方)	当地にて天然痘流行の事、大牟田にて三井家の私立工業学校開設の事ほか近況報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
966		〔書簡〕	(明治40年)11月23日	野田(東京芝区琴平町信濃屋野田卯太郎)	俊作殿(鹿児島市第七高等学校法科弐年生 野田俊作)	電信為替詐欺の注意	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
967		〔書簡〕	(明治40年)3月5日	病院床上にて 高梨博司(千葉県立病院上等第一号室)	俊作兄(鹿児島県鹿児島市造士館第七高等学校寄宿舎 野田俊作)	頬部腫瘍手術の経過報告、衆議院通過の商科大学設置の件についてほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
968		〔書簡〕	(明治40年)2月7日	邦助(東京牛込区下戸塚町五番地林出方にて 田村邦助)	俊作様(鹿児島市第七高等学校寄宿舎第九号にて 野田俊	高等学校入学試験の件、鹿児島での生活もあと2年の辛抱の事ほか	罫紙	1	封筒あり。年は封筒消印
969		〔書簡〕	(明治40年)4月30日	梅野(三池郡岩田村 大石梅の)	愛弟の御許に(鹿児島市第七高等学校寄宿舎内 野田俊	夏休みの予定の件ほか近況報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
970		〔書簡〕	(明治40年頃)1月6日	松永俊成(佐賀県唐津町共立病院)	俊作兄(佐賀県三池郡岩田村野田俊作)	写真拝受、入院生活の模様ほか	継紙	1	封筒あり
971		〔書簡〕	(明治40年)4月22日	東洋英和学校男子新寄宿舎弥六(東京麻布中学校寄宿舎小笠原弥六)	野田大人(鹿児島市第七高等学校寄宿舎第十号 野田俊作)	テニスマッチの件、徳川君ほか近況報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
972		〔書簡〕	(明治37年)8月25日	政彦(東京市芝区三田一丁目二十八番地 川上政彦)	俊作君(福岡県三池郡岩田村野田俊作)	病状回復の事、旅順口落城後の東京を見に上京依頼ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
973		〔書簡〕	(明治41年)10月1日	三郎(東京市駿河町三井物産会社 稲葉三郎)	俊作どん(鹿児島市第七高等学校第三年生 野田俊作)	本年入社以来の模様について	紙(3枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
974		〔書簡〕	(明治42年)3月15日	純三(三池郡大牟田町 森純三)	俊ちゃん(鹿児島市清水町十四 野田俊作兄)	試験終了の件ほか	切紙(2枚)	1	封筒あり。年は消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
975		〔書簡〕	(明治40年)6月5日	姉より(福岡県三池郡岩田　野田四郎太)	俊作殿(鹿児島市第七高等学校寄宿舎内　野田俊作)	信之不合格につき進路につき意見伺い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
976		〔書簡〕	(明治42年)2月5日	純三(山門郡柳河　森純三)	俊作様(鹿児島市冷水町森方　野田俊作)	試験勉強の模様、福岡県下の野球大会の結果について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
977		〔書簡〕	(明治38年)□月15日	柳河南長柄町清水ユキ方　石橋謙之	東京麻布区鳥居坂町　東洋英和学校寄宿舎内　野田俊作君	野球部の模様、転居通知	罫紙	1	封筒あり。年は封筒消印
978		〔書簡〕	(明治41年)12月26日	敬(筑後吉井　萩尾敬太郎)	野田、山本君(鹿児島市清水町一四　野田俊作)	散髪・庭球の件など近況報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
979		〔書簡〕	(明治41年)12月23日	隆太郎(相州浦ニテ　三次隆太郎)	俊作君(福岡県三池郡岩田村野田俊作)	米艦来訪にて連日祭礼と野球競技が行われた事、来年東京ティームが設立の事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
980		〔書簡〕	(明治後期)	陽古カ(寄宿舎)	俊作兄(清水町十四　野田俊作)	東京大学入学祝い、1円借用願い	罫紙	1	封筒あり
981		〔書簡〕	(明治40年)1月17日	和歌山市岡山町九番地田口方にて　与田喜知蔵	野田俊作殿(鹿児島第七高等学校法科生)	五高工学部卒業後、和歌山県庁土木課在勤、箕面有馬鉄道に就職希望につき、父上へ紹介依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
982		〔書簡〕	(明治40年)6月10日	西村泰胤(周防国熊毛郡平生町)	野田尊台(鹿児島市第七高等学校内)	中嶋忠利病気の際、御懇情の御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
983		〔書簡〕	(明治後期)11月13日	柳川　とめ子(三田郡岩田村野田澄子)	兄君様(東京麻布区鳥居坂町東京英和学校寄宿舎内　野田俊作)	弟妹の学校生活の模様など近況報告	切紙(3枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
984		〔書簡〕	(明治40年)3月11日	池田喜雄、同寿(京都市外府立第二中学校)	野田俊作君(鹿児島市第七高等学校(造士舘)第壱部第一	姉瀧乃の縁談について、父・母の反対の説得依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
985		〔書簡〕	(明治41年)1月22日	本郷ニテ　波光(東京本郷区台町四三　高梨博司)	野田俊作兄(鹿児島市池の上町家鴨馬場七〇　柏木氏方)	庭球の試合など冬季休暇中の報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
986	1	〔書簡〕	(明治38年)7月9日	野田(東京芝区南佐久間町信濃屋　野田卯太郎)	俊作殿	清水由松よりの別紙物品納品書・領収書など到来につき通知ほか	切紙	1	986-1～8封筒一括(清水由松より野田卯太郎宛)。年は封筒消印
986	2	記	(明治38年)6月25日	越後屋(印)(麻布区宮下町)	野田様	草履・インキ・鉛筆代など83銭余請	切紙	1	
986	3	記	(明治38年)6月切	西村定次郎(印)	野田様	ハンカチ・靴下代など1円余書上	継紙	1	
986	4	六月分請算書	(明治38年6月)	清水由松(印)(東京麻布永坂池十六番地)		小遣・月謝など諸経費書上	罫紙	1	
986	5	受取証	明治38年2月	赤坂新町二丁目十九番地字左横町　書籍行商社(印)	英和学校　野田様	東京朝日新聞代金14銭領収	紙	1	
986	6	〔受取書〕	(明治38年)6月25日	桑名(印)	野田俊作様	2日分代金18銭受取	紙	1	
986	7	〔受取書〕	(明治38年)6月	中嶋(印・「伴光」)	野田様	シイツほか代金12銭受取	切紙	1	
986	8	〔受取書〕	(明治38年)6月30日	麻布区　七星舎	野田様	4～6月分牛乳代2円余請取	継紙	1	
987		〔書簡〕	(明治後期)10月21日	森純三	野田俊作様	野球大会試合の報告	継紙	1	
988		国債額明細表	明治41年12月末現在	臨時国債整理局			書冊	1	
989	1	〔書簡〕	(明治40年)5月2日	姉より(岩田村　野田四郎太、秀助)	俊作様(鹿児島市第七高等寄宿舎　野田俊作)	福岡大学病院にて鼻の診察を受けし事ほか近況報告	継紙	1	989-1～3封筒一括。年は封筒消印。989～1020紐一括
989	2	〔書簡〕	(明治40年)4月30日	四郎太(野田四郎太)	兄様(野田俊作)	岩田尋常小学校を卒業し高等小学校へ入学することなど近況報告	切紙	1	
989	3	〔書簡〕	(明治40年)4月30日	野田秀助	オニイサマ(野田俊作)	学校の教員が変わった事など近況報告	切紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
990		〔書簡〕	(明治41年)10月19日	こう子(長崎県西彼杵郡上長崎村片淵郷六百五十番地 森幸子)	鹿児島市冷水町十九森方 野田俊作様	在鹿中の厚情に対する御礼、諏訪神社の祭礼など転居後の近況報告ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
991		〔書簡〕	(明治36年)9月27日	野田(従筑後三池郡岩田村野田卯太郎)	俊作殿(東京麻布区鳥居坂町東洋英和学校寄宿舎 野田俊	瀧子離縁の事など近況報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
992		〔書簡〕	(明治37年8月17日)	くろんぼ(静岡県沼津町港橋東側大橋旅館ニテ 衣川義	俊作君(福岡県三池郡岩田村野田俊作)	鎌倉・沼津滞在中の近況報告	切紙(3枚)	1	封筒あり
993	1	〔書簡〕	(明治36年10月30日)	福岡県山門郡柳河 熱球子	東京麻布区鳥居坂町東京英和学校寄宿舎内 野田俊作君	伝習館野球場にて佐賀中学との野球試合に勝利した事など近況報告	継紙	1	993-1～3封筒一括
993	2	〔書簡〕	(明治36年10月30日)	(山門郡柳河 熱球子)	(東京麻布 野田俊作)	俊作が教えた打込み法が当地でも流行してきた事ほか	継紙	1	
993	3	〔書簡〕	(明治36年)10月20日	石橋	野田大兄	俊作が教えた打込み法が当地でも流行してきた事ほか	切紙	1	
994		〔書簡〕	(明治40年)6月17日	佐賀県唐津町共立病院 T. Matsunaga(松永俊成)	鹿児島市第七高等学校寄宿舎内 野田俊作様	俊作の上京・博覧会見物の件、三ぶちゃんと来唐・見舞い願いほか	切紙(3枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
995		〔書簡〕	(明治41年)5月17日	純三(柳河元町西光寺 J. M)	俊作さん(鹿児島市池上町五七森方 野田俊作)	柳川の蚊の多さについて、15日の運動会の様子など近況報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
996		〔書簡〕	(明治40年)1月11日	高梨清司(東京麹町区富士見町二丁目七番地 長浜格也	俊作兄(鹿児島県鹿児島市造士館寄宿舎 野田俊作)	12月上旬に山田省三を訪問した事ほか近況報告	切紙(2枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
997		〔書簡〕	(明治39年カ)9月2日	邦助(神奈川県藤沢)	俊作君(鹿児島市中町吉田屋内 野田俊作)	鹿児島での高等学校の生活について、鹿児島の住所など伺い	継紙	1	封筒あり
998		〔書簡〕	(明治36年)9月30日	姉より(福岡県三池郡岩田郵野田卯太郎)	愛弟のもとへ(東京市麻布区鳥居坂町東京英和学校寄宿舎内 野田俊作)	雑誌など送付の御礼、申し越しの分送金の事	継紙	1	封筒あり
999	1	〔書簡〕	(明治37年2月)	柳河 石橋	東京麻布区鳥居坂町東京英和学校寄宿舎内 野田俊作君	伝習館での野球の試合模様、不知火倶楽部開会式の模様	切紙	1	999-1～4封筒一括。年月は封筒消印
999	2	〔スコア表〕	(明治37年2月)			野球の試合のもの	紙	1	
999	3	〔スコア表〕	(明治37年2月)			野球の試合のもの	紙	1	
999	4	不知火倶楽部会則	(明治37年2月)			伝習館野球部員中熱心者及び当野球部関係者によって組織する事ほか全13ヶ条	切紙	1	
1000		〔書簡〕	(明治42年)6月8日	金沢市上柿木畠五十一番地 松本栄方 田村邦助(金沢四高)	俊作賢兄(鹿児島第七高等学校一部三年 野田俊作)	大学進学の件、麻布中学同窓の近況報告など	罫紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1001		〔書簡〕	(明治40年)6月24日	忠(周防平生 中島忠利)	野田俊作君(鹿児島七高寄宿舎)	7月には上京の予定の事、朝鮮行きを止め、共に上京すべき事、平生へ立ち寄り願い	継紙	1	封筒あり
1002		〔書簡〕	(明治37年)11月11日	瀧乃(野田瀧乃)	俊作様(東京麻布区鳥居坂町東京英和学校寄宿舎内 野田俊作)	注文の柿・栗送付の件、父上上京の事、井上伯へ進上の柿の件ほか	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1003		〔書簡〕	(明治37年)2月2日	野田(三池郡岩田村 野田卯太郎)	俊作殿(東京麻布区鳥居坂町東京英和学校寄宿舎 野田俊	別紙名刺送付につき信濃屋より金8円受取るべき事	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1004		〔書簡〕	(明治41年)1月20日	隆太郎(東京麻布区鳥居坂寄宿舎 三次隆太郎)	俊作(鹿児島市長田町百十五吉村様方)	三次ほか在京友人の近況報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1005		〔書簡〕	(明治40年)5月21日	母より(福岡県三池郡岩田 野田四郎太)	俊作殿(鹿児島市第七高等学校寄宿舎内 野田俊作)	金15円送付の事、父の手紙には返信すべき事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1006		〔書簡〕	(明治36年)10月2日	野田(従福岡県三池郡岩田村野田卯太郎)	俊作殿(東京麻布区鳥居坂町東洋英和学校寄宿舎 野田俊	江原先生の訓育に従い日々修養すべき事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1007		〔書簡〕	(明治37年)6月28日	姉より(岩田村　野田瀧乃)	愛弟之御許へ(東京麻布区鳥居坂町東京英和学校寄宿舎内　野田俊作)	父君は今日より日奈久へ入湯の事、初学者向けの英学書買入れ願いほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1008		〔書簡〕	(明治39年)10月18日	隆太郎(東京麻布区鳥居坂麻布中学校寄宿舎　三次隆太	俊さん(鹿児島市第七高等学校寄宿舎)	高尾山への修学旅行、早稲田・慶応などテニスの対抗試合について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1009		〔書簡〕	(明治36年)4月28日	直義(中学伝習館寄宿舎　早川直義)	野田俊作尊兄(筑後三池郡岩田村)	伝習館中学の運動会の模様、三池同志会の図書館などの件について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1010		〔書簡〕	(明治42年)2月28日	四郎太(福岡県三池郡岩田村野田四郎太)	御兄上様(鹿児島市清水町十四ノ三　野田俊作様)	菊地の瀧など家族の病気、四郡品評会の模様、伝習館入学の件などについて	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1011		〔書簡〕	(明治37年11月19日)	塚本堯(久留米市日吉町　吉和方)	野田兄(東京麻布鳥居坂町東洋英和学校内　野田俊郎)	学費支弁のため書生受入先の紹介願い	切紙(3枚)	1	封筒あり。年月日は封筒消印
1012		〔書簡〕	(明治41年3月)26日	謙之(東京府下豊多摩郡戸塚村雲井館内字諏訪三十二　空井館内　石橋謙之)	俊作殿(鹿児島市池ノ上町森方　野田俊作)	永江・町野氏の受験の件、一高での府下聯合マッチの模様ほか	継紙	1	封筒あり。年月は封筒消印
1013		〔書簡〕	(明治42年)3月10日	瀧乃代筆(福岡県三池郡岩田村　野田四郎太)	俊作様(鹿児島市清水町十三ノ四　野田俊作)	徴兵猶予願いの手続きを至急する事、病気全快の事ほか	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1014		〔書簡〕	(明治39年)12月2日	野田(野田卯太郎)	俊作殿(鹿児島市造士館寄宿舎　野田俊作)	近況報告の催促	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1015		〔書簡〕	(明治42年)1月22日	熊谷一弥(宮崎県立宮崎中学校寄宿舎内)	野田様(鹿児島県鹿児島市清水町十四番地　野田俊作)	ラケット購入依頼、金3円余送付の事	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1016		〔書簡〕	(明治40年)12月14日	野田(東京芝区琴平町信濃や方　野田卯太郎)	俊作殿(鹿児島市長田町百十五、吉村方　野田俊作)	生命保険加入につき身体検査を受けるべき事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1017		〔書簡〕	(明治40年)3月16日	倭太郎ヨリ(田辺町栄町　金谷倭太郎)	萩尾敬太郎君、野田俊作君(鹿児島第七高等学校寄宿	兄への弔辞の御礼	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1018		〔書簡〕	(明治42年)4月1日	東京市本郷区森川町神戸方　根岸完治	野田兄(鹿児島市第七高等学校内　野田俊作)	学校試験の件ほか近況報告	切紙(4枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
1019		〔書簡〕	(明治38年)4月27日	野田(福岡県三池郡岩田村野田卯太郎)	俊作殿(東京麻布区鳥居坂町東洋英学校寄宿舎　野田俊	試験表を至急送付すべき事、勉学の件につき注意	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1020		〔書簡〕	(明治41年10月)26日	よる坊(東京市芝区　衣川儀三郎)	俊作兄(鹿児島市冷水町十九番地森様方　野田俊作)	米艦隊選抜野球チームとの試合について	継紙	1	封筒あり。年月は封筒消印
1021		〔書簡〕	(明治大正期)8月14日	柚木	野田老兄(野田卯太郎)	政界の状況は平穏の事、西園寺公の健康を祈り居る事ほか	継紙	1	封筒あり(明治39年8月28日付、田村邦彦より野田俊作宛)。本紙とは別の封筒か。
1022		〔書簡〕	(明治41年2月12日)	義三郎(東京　衣川義三郎)	俊作兄(鹿児島市池ノ上町七〇　第七高等学校生徒　野田	野球の試合、寄宿舎の新年会など近況報告	罫紙(2枚)	1	封筒あり
1023		〔書簡〕	(明治36年)9月19日	日本のはて二川の里　なまけもの	俊作兄(東京市麻布区鳥居坂町東洋英和学校寄宿舎　野田俊作)	書物注文の件、伝習館運動会の件ほか	罫紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1024		〔封筒〕	(明治40年2月15日)	三池郡岩田村　野田卯太郎	鹿児島第七高等学校寄宿舎内　野田俊作殿		封筒	1	年月日は消印
1025		〔書簡〕	(明治39年)9月16日	たきの(三池郡岩田村　野田たきの)	俊作との(鹿児島市仲町吉田屋止宿　野田俊作)	父上本日より上京の事、電信為替にて15円送付、入用のあらましを送付するよう父上より伝言の事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1026		〔書簡〕	(明治42年)2月21日	純ちゃん(柳川　多忘生)	俊作さん(鹿児島市冷水町森方　野田俊作)	熊本での試合の件、高等学校での専攻科についてほか	切紙(2枚)	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1027		〔書簡〕	(明治後期)6月21日	野田(従筑後三池郡岩田村野田卯太郎)	俊作殿(東京麻布鳥居坂町東洋英和学校寄宿舎 野田俊	宗教は儀式に拘泥し宣礼などに急ぐ必要は無き事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1028		〔書簡〕	(明治40年)6月15日	野田(東京 野田卯太郎)	俊作殿(鹿児島市第七高等学校寄宿舎ニテ 野田俊作)	信之受験失敗につき、熊本工業学校を受験させる事、税法審査会未了につき滞京中の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1029		〔書簡〕	(明治40年)5月24日	隆太郎(鳥居寮汝の欠ける室にて)	俊さん(鹿児島市第七高等学校寄宿舎)	商工中学との野球の試合について、選手名書上ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1030	1	〔書簡〕	(明治39年)9月24日	三郎(東京麻布区鳥居坂拾三番地寄宿舎内 稲葉三郎)	俊作君(鹿児島市第七高等学校寄宿舎)	本村中学の遠足問題の件、高師とのテニス試合、野球のメンバーなどについて	継紙	1	1030-1～2封筒一括
1030	2	〔書付〕	(明治39年9月)			英文、舎長室から廻された英語問題	切紙	1	
1031		〔書簡〕	(明治40年)4月1日	妹より(芝区琴平町信濃屋支店 野田とめ子)	兄君様(鹿児島市第七高等学校寄宿舎 野田俊作)	学科入学など東京の生活について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1032		〔書簡〕	(明治36年)5月9日	瀧乃子(野田瀧乃子)	俊作殿へ(東京芝区琴平町十三 信のや支店 野田俊作)	退学届を坂田氏に問合せの事、転校先へ成績表を通知する事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1033		〔書簡〕	(明治37年)8月6日	陽吉(広島市上柳町八十九番地 Y. S.)	野田俊作兄(福岡県三池郡小岩村)	学校の成績低下の事、依田・衣川君の番地につき問合せ	継紙	1	前欠。封筒あり。年は封筒あり
1034		〔書簡〕	(明治後期3月)17日	三(東京麻布区東鳥居坂江原素六方 稲葉)	俊兄(九州鹿児島市第七高等学校寄宿舎 野田俊作君)	ミルとスペンサーの講読、経済思想の必要性などについて	継紙	1	封筒あり。月は封筒消印
1035		〔書簡〕	(明治39年)9月7日	たきの(三池郡岩田 野田四郎太)	俊作様(鹿児島市仲町吉田屋止宿 野田俊作)	金20円送付の事、父の様子、卒業証書の件、母の病気の件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1036		〔書簡〕	(明治39年)9月21日	永江眞郷(東京市芝区西久保葺手町十七)	野田俊作兄(鹿児島市第七高等学校寄宿舎)	野田が東京を離れて以後の近況報告、早稲田との庭球試合など	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1037		〔書簡〕	(明治39年)9月19日	邦助(麻布中学寄宿舎にて田村邦助)	野田俊作様(鹿児島市第七高等学校寄宿舎)	寄宿舎入舎の手紙受取、小石川へ転居の事、早稲田高等予備校に入校の事ほか	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1038	1	〔書簡〕	(明治後期)4月8日	隆太郎(三次隆太郎)	俊作様(鹿児島市第七高等学校寄宿舎 野田俊作)	学年試験の結果、三高対慶応の庭球の試合などについて	継紙	1	1038-1～2封筒一括
1038	2	〔書簡〕	(明治40年)1月23日	隆太郎(鳥居寮 三次隆太郎)	西の方なる 俊さん(鹿児島市第七高等学校寄宿舎)	高木技師が欧州より帰朝し、神学博士の号を受け鼻高々の有様の事ほ	継紙	1	年は封筒消印
1039		〔葉書〕	(明治39年8月)12日	信州小諸 三郎	福岡県三池郡岩田村 野田俊作、永江直郷兄	信州など旅行の模様、永江の住所失念により野田宛に送付の事	葉書	1	年月は消印
1040		〔書簡〕	(明治42年)4月3日	とめ子(小石川区日本女子大学校 野田とめ)	兄上様(鹿児島市清水町松本小路 野田俊作)	四郎太・母など家族の近況、鼻の手術の経過などについて	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1041		〔書簡〕	(明治40年)4月29日	妹より(小石川区日本女子大晩香寮 野田とめ子)	兄様(鹿児島第七高等学校寄宿舎 野田俊作)	学校に入学の事、生徒・校舎・運動場など学校の様子について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1042		〔書簡〕	(明治41年)12月21日	野田(東京市芝区琴平町十三番地 信濃屋支店 野田卯太	俊作殿(鹿児島市第七高等学校ニ而法科生 野田俊作)	学業・品行上に欠点・不評判あり、人格第一との文部省の方針服用すべ	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1043		〔書簡〕	(明治41年)2月26日	野田(東京市芝区琴平町信濃屋支店方 野田卯太郎)	俊作殿(鹿児島市池ノ上町五九森様方 野田俊作)	従前の遠賀・鞍手・浮羽より出馬の予定、50年史は学業の妨げを気遣い送付せざる事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1044		〔書簡〕	(明治41年)9月8日	野田(静岡県興津東海ホテルヨリ 野田卯太郎)	俊作殿(福岡県三池郡岩田村野田俊作)	釈宗演禅師の掛物与えるにつき、雑念雑情などを戒め勉強すべき事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1045		〔書簡〕	(明治40年)6月6日	守(麻布区鳥居坂十三寄宿舎徳川守)	俊作君(鹿児島第七高寄宿舎ニテ 野田俊作)	テニスの集合写真送付の事	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1046	1	〔書簡〕	(明治42年)3月15日	三池郡岩田村 野田たきの	鹿児島市清水町 野田俊作	別紙猶予願送付につき在学証書を添え至急返送願い	切紙	1	1046-1～3封筒一括。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1046	2	徴集猶予願	明治42年3月	野田俊作	久留米聯隊徴兵官御中	第七高等学校在学中につき徴兵猶予願い	罫紙	1	
1046	3	〔書付〕	(三池郡岩田村役場)			徴兵猶予願は4月15日限りにつき至急提出されたき事	罫紙	1	
1047		〔書簡〕	(明治41年)11月9日	高梨博司(本郷区台町四三福栄館方)	俊作兄(鹿児島市冷水町十九森方　野田俊作)	休暇中宮城旅行、七高農科に入学の加納久憲についてほか	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1048		〔書簡〕	(明治42年)3月14日	梅の(福岡県三池郡岩田村大石梅の)	愛弟様(鹿児島市清水町一四野田俊作)	風邪などに注意すべき事、家族の近況報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1049		〔書簡〕	(明治40年)2月20日	陽吉より(東京市本郷　杉白陽三)	野田俊作君(鹿児島市第七高等学校寄宿舎)	手紙・写真受取の事、学校・勉強などの模様について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1050		〔書簡〕	(明治42年)3月5日	姉より(三池郡岩田村　松野たきの)	俊さん(鹿児島市清水町十四ノ三　野田俊作)	大牟田での四郡品評会の様子、菓子の御礼ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1051		〔書簡〕	(明治42年)2月10日	野田(東京市芝区琴平町信濃屋支店　野田卯太郎)	俊作殿(鹿児島市第七高等学校法科生)	音信なきため学業・品行につき懸念致し居る事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1052		〔書簡〕	(明治39年頃)9月4日	隆太郎(神奈川県三浦郡浦賀にて　三次隆太郎)	俊さん(鹿児島七高寄宿舎第一部英法一年　野田俊作)	鹿児島からの手紙の御礼、京都・神戸など旅行の模様ほか	継紙	1	封筒あり
1053	1	〔書簡〕	(明治37年)9月27日	鉄男(寄宿舎内　川島鉄男)	野田君(東京麻布区鳥井坂町東洋英和寄宿舎内　野田俊	熊本中学などとの野球・庭球試合の模様	切紙	1	1053-1～2封筒一括
1053	2	不知火倶楽部の歌	(明治37年9月)				切紙	1	
1054		〔書簡〕	(明治後期)3月21日	とめ	兄上様(野田俊作)	学校試験終了の事、流行の天然痘には誰も罹患せざる事ほか	継紙	1	
1055		〔書簡〕	(明治41年1月)13日	三郎(東京市麻布区鳥居坂町十三番地江原方　稲葉三郎)	俊作君(鹿児島市永田町百十五吉村様方　野田俊作)	農商務省実業練習生志望につき御尊父に紹介依頼	継紙	1	封筒あり。年月は封筒消印
1056	1	〔書簡〕	(明治後期)5月29日	姉より	愛弟之もとへ(野田俊作)	入校・東京での生活開始につき祝い、母病状など家族の近況について	継紙	1	1056-1～2封筒一括(明治37年4月5日付、岩田村信之より東京野田俊作宛)。本紙とは別封筒か
1056	2	〔書簡〕	(明治後期)7月14日	姉より	愛弟之御許へ(野田俊作)	避暑帰郷を待ち居る事、四郎太・秀助などへの土産の件ほか	継紙	1	
1057		〔書簡〕	(明治42年)3月13日	野田(東京市芝区琴平町十三番地　信濃屋支店　野田卯太	俊作殿(鹿児島市第七高等学校法科生　野田俊作)	徴兵猶予に関する手続きの件について、本期試験の成功を祈って居る	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1058		〔書簡〕	(明治42年)4月29日	信之(熊本高等工業学校　野田信之)	俊作兄(鹿児島市清水町十四番地内　野田俊作)	春休み中の阿蘇への旅行の模様、俊作鹿児島七高卒業につき祝いほ	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1059		〔書簡〕	(明治41年)10月18日	三田　省三	鹿児島市冷水町十九　森様方野田俊作君	10月18日に米国艦隊入港の事など	絵葉書	1	イリノイスほか軍艦の絵葉書使用。年は消
1060		〔葉書〕	(明治40年3月1日)	東京本郷西ノ九　小川定克	鹿児島市第七高等学校寄宿舎内　野田俊作君		絵葉書	1	7周年記念の絵葉書使用。年月日は消印
1061		〔葉書〕	(明治41年10月9日)	山田	鹿児島市第七高等学校一部甲　野田俊作君	塾の寄宿一号室への入居など近況報告	絵葉書	1	絵葉書表題「慶応遠征軍対ダイヤモンドヘヅド野球戦大紀念」。年月日は消印
1062		〔葉書〕	(明治40年)4月28日	東京市芝区西久保葺手町十七　永江眞郷	鹿児島市第七高等学校寄宿舎(一部一年)　野田俊作様	一部勝利の祝い、参列紀念の葉書送付の事	絵葉書	1	絵葉書表題「慶応義塾創立五十年祭参列紀念」。年は消印
1063		〔葉書〕	(明治40年)1月17日	田中秀	鹿児島第七高等学校寄宿舎内　野田俊作君	手紙の御礼、写真送付の事	絵葉書	1	絵葉書表題「甲斐猿橋」

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1064		〔葉書〕	(明治40年4月19日)	塵乃郡にて みのる	鹿児島市第七高等学校寄宿舎内 野田俊作様	8月に京都で試験の事、第二志望は七高とする事ほか	絵葉書	1	絵葉書表題「信濃諏訪湖結氷上ノ(スケー
1065		〔葉書〕	申(明治41年)1月	野田	鹿児島市長田町一一五 吉村方 野田俊作君	年頭挨拶	絵葉書	1	絵葉書表題「衆議院戦時議会紀念」。紀念スタンプあり
1066		〔葉書〕	(明治41年10月31日)	東京芝慶応寄宿 山田省三	鹿児島市冷水町十三森様方 野田俊作様	経済の本の送付の件	絵葉書	1	絵葉書表題「慶応遠征軍布哇カメハメハ野球戦大紀念」。年月日は消印
1067		〔書簡〕	(明治42年)4月28日	四郎太(伝習館 野田四郎太)	御兄上様(鹿児島市清水町十四ノ三)	伝習館入学後の寄宿舎生活・入学式の模様などについて	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1068		〔書簡〕	(明治)41年11月10日	秀(東京赤坂区青山南町六丁目四十七番地波田野館内 田中秀)	野田俊作君(鹿児島市冷水町十九 森氏方)	東京寄宿舎内の模様、人生観などについて	継紙	1	封筒あり
1069		〔葉書〕	(明治39年9月1日)	京都にて 隆太郎	福岡県三池郡岩田村 野田俊作様	近況報告	絵葉書	1	明石柳田発行の絵葉書使用。年月日は封筒消印
1070		〔葉書〕	(明治39年9月)	熊取村 中左近	福岡県三池郡岩田村 野田俊作様	先日の御礼ほか	絵葉書	1	絵葉書表題「Raphael Tuck & Sons' "Oilette"」。年月は消印
1071		〔葉書〕	(明治41年10月3日)	S. Yamada(山田省三)	鹿児島市第七高等学校第一部 野田俊作君	高師との庭球試合、慶応対ワシントン大学の野球試合の模様について	絵葉書	1	絵葉書表題「慶応対ワシントン大学野球戦(第二回)」。年月日は消印
1072		〔葉書〕	1907年(明治40)4月	中島富太郎	野田俊作様	「棒机辺為紀念」とあり	絵葉書	1	絵葉書表題「青年者」
1073		〔葉書〕	(明治40年2月5日)	謙之	鹿児島県第七高等学校寄宿舎内 野田俊作学兄	礼状	絵葉書	1	「中学世界 絵葉書博文館」を使用。年月日は消印
1074		〔葉書〕	(明治39年11月19日)	横須賀より 野田	鹿児島市第七高等学校寄宿舎 野田俊作殿	俳句1句書上(「秋高し満潮に進む薩摩鑑」)	絵葉書	1	三笠・薩摩などの絵葉書使用。軍艦薩摩進水式横須賀海軍工廠のスタンプあり
1075		〔葉書〕	(明治41年10月15日)	省(山田省三)	鹿児島市第七高等学校(一部内) 野田俊作君	慶応義塾と高師との試合結果についてほか	絵葉書	1	絵葉書表題「慶応義塾運動場」。年月日は消印
1076		学校通知簿	(明治期)		西五年 野田とめ	父・野田卯太郎、保証人・徳富猪一郎ほか	書冊	1	
1077	1	〔書簡〕	明治27年12月	大日本綿糸紡績同業聯合会委員長大阪紡績会社代 佐伯勢一郎	三池紡績株式会社代 野田卯太郎殿	綿糸輸出税免除実施に対する御礼として粗品進呈の事	継紙	1	1077-1～2封筒一括。1077～1093紙縒一括
1077	2	〔目録〕	明治27年12月	(大日本綿糸紡績同業連合会佐伯勢一郎)	(三池紡績 野田卯太郎)	金盃1組(此料金1,000円)書上	折紙	1	
1078		〔書簡〕	(明治大正期)3月17日	孝(益田孝)	野田卯太郎様(南佐久間町信濃屋方)	末広重恭より委員会終了の件など承りの事ほか	継紙	1	封筒あり
1079		〔書簡〕	(明治大正期)5月17日	孝(益田孝)	野田卯太郎様	田中君より申越しの件、来年分の材木の件ほか	継紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1080		〔書簡〕	(明治24年)11月23日	三井物産会社　益田孝、木村正幹	三池紡績会社　野田卯太郎様(芝区佐久間町弐町目信濃屋方)	全国紡績業者懇親のため晩餐会開催につき案内	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1081		〔書簡〕	(明治大正期)11月14日	田中賢道(熊本市新屋敷町百九十八番地)	永江純一殿、野田卯太郎殿(三池郡大牟田町)	紡績糸売揃のため古荘鶴蔵君御社訪問につき紹介状	継紙	1	封筒あり
1082		〔書簡〕	(明治大正期)3月23日	谷川達海	野田卯太郎	関税免除などにつき政府代議士へ運動の件はか	継紙	1	
1083		〔書簡〕	(明治26年)7月13日	豊永長吉(長門国豊浦郡長府邨)	野田卯太郎様(福岡県三池郡大牟田町)	野村子爵への伝言の件、立花伯閣下の都合の件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1084		〔書簡〕	(明治24年)7月15日	小松原慶太郎(倉敷紡績所)	野田卯太郎様(筑後国三池郡大牟田町　三池紡績会社)	先日の会議の件につき御礼	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1085		〔書簡〕	(明治28年)3月7日	務(筑後三池郡大牟田町　三池紡績株式会社　大村務)	野田卯太郎様(東京府芝区南佐久間町信濃屋)	立伯藍綬褒章授章につき祝い、森時子来訪につき案内の事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1086		〔書簡〕	明治27年11月18日	政経(大阪市東区伏見町弐丁目二拾番屋敷　大日本綿糸紡績同業連合会　菅沼政経)	野田卯太郎様(福岡県筑後国三池郡大牟田町三池紡績会社)	朝鮮派遣の件につき日程伺い、請願委員と上京の事ほか	罫紙	1	封筒あり
1087		〔書簡〕	(明治)28年9月7日	東京　益田孝(三井物産合名会社)	三池紡績会社　社長、取締役御中	火災保険会社との交渉の件、紡績業上の対清国策につき諸官庁へ運動の件、綿花輸入税廃止などの件につき野田君派遣願いほか	罫紙(2枚)	1	封筒あり
1088		〔書簡〕	(明治期)11月15日	古荘幹実(熊本県)	永江仁兄、野田仁兄(大牟田野田卯太郎、永江純一)	貴社製糸売却の件につき次男訪問につき宜しく取計い願い	継紙	1	封筒あり
1089		〔書簡〕	(明治期)3月3日	大津卯吉(三池郡大牟田町)	永江様	綿糸50個出荷願い	継紙	1	封筒あり
1090	1	〔書簡〕	(明治24年)12月14日	在京　委員一同	野田卯太郎君	両院へ請願書提出につき各党別紹介議員書上ほか	継紙	1	1090-1～2封筒一括。封筒上書「綿花綿糸税廃止ニ係ル書類其他書類入」
1090	2	〔書簡〕	(明治24年)9月27日	自由党幹事(印)	野田卯太郎殿	品川弥二郎の選挙干渉に関する演説についての調査依頼	罫紙(2枚)	1	
1091	1	〔書簡〕	明治28年12月27日	大日本綿糸紡績同業連合会理事　菅沼政経(大阪市東区伏見町弐丁目二拾番屋敷)	野田委員殿(筑後国三池郡三池紡績会社)	第9議会開設につき請願運動のため上京依頼、東京出張所開設の見込み	罫紙	1	1091-1～2封筒一括
1091	2	〔書簡〕	(明治28年)12月27日	政経(菅沼政経)	野田卯太郎様	免税問題につき書面提出の件、鉄道株申受けの件ほか	切紙	1	
1092		〔書簡〕	(明治23年)7月6日	津村鉄太郎(大阪府下北区堀川寺町橋西詰北へ入ル一三六伊東伊三郎方)	野田卯太郎様(福岡県筑後国三池郡大牟田町三池銀行出張所ニテ)	紡績業界の景況などについて	罫紙(3枚)	1	封筒あり
1093	1	〔書簡〕	(明治期)5月8日	吉原(筑後三池炭礦社　吉原政造)	野田賢台(三池土木会社　野田宇太郎)	紡績株申込みの件につき依頼	継紙	1	1093-1～2封筒一括
1093	2	〔書簡〕	4月16日	吉原政蔵	野田卯太郎殿、波部福次郎殿、森時三郎殿、山本繁太郎殿、外世話人御中	三池諸山建築委員退任願い	継紙	1	
1094		〔書簡〕	(明治29年)1月17日	横田安止(東京麹町隼町七藤井方)	野田卯太郎殿(福岡県三池郡大牟田町)	当地議会の様子、採用依頼ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。1094～1097紙縒一括

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1095	1	〔書簡〕	(明治29年)1月24日	卯太郎(野田卯太郎)	近藤賢兄	鎮西協会への寄付金額決定の事、案文	継紙	1	1095-1～6封筒一括(長崎市磨屋町薬師寺熊太郎より三池紡績株式会社宛)。年は封筒消印
1095	2	〔書簡〕	(明治29年)1月24日	卯太郎(野田卯太郎)	近藤賢兄	鎮西協会への寄付金額決定の事、案文	継紙	1	
1095	3	〔書簡〕	(明治29年1月)	(野田卯太郎)		鎮西協会への寄付金の件、案文	継紙	1	
1095	4	〔書簡〕	(明治29年頃)	(野田卯太郎)		暗号帳・電信符号の事、案文	継紙	1	
1095	5	〔書簡〕	(明治29年頃)	(野田卯太郎)		暗号帳の事、案文	切紙	1	
1095	6	〔書簡〕	(明治29年頃)1月8日	卯太郎(野田卯太郎)	藤木様	年頭挨拶、案文	継紙	1	
1096		〔封筒〕	(明治期)	永江純一	立花弘樹殿		封筒	1	
1097		〔書簡〕	(明治期)1月18日	弥永功	野田卯太郎殿	炭坑社運輸科へ就職斡旋願い	罫紙	1	封筒あり
1098		〔封筒〕	(明治期)	於大牟田線　野田卯太郎	山門郡城内村　大村務殿		封筒	1	1098～1131紙縒一括
1099	1	〔封筒〕	(明治期)			上書「益田ニ送ルヘキ書類入」	封筒	1	1099-1～3一纏り
1099	2	〔封筒〕	(明治期)			未記入	封筒	1	
1099	3	〔封筒〕	(明治期)			上書「台湾　江□」	封筒	1	
1100		〔書簡〕	(明治)29年1月28日	加藤新次郎(福岡日日新聞社)	野田卯太郎様	日田地方の川筋取調べの件	罫紙(2枚)	1	府宇津あり
1101		〔封筒〕	(明治期)			上書「金九拾参円五拾銭四厘　野田氏分」	封筒	1	
1102		〔書簡〕	(明治期)2月3日	野田卯太郎	磯野七平殿	小野氏へ相談の件を申し入れの事ほか	継紙	1	
1103		〔書簡〕	(明治期)2月3日	下村春雄	野田卯太郎様	兼ねて願出の件につき御配慮の御礼ほか	継紙	1	封筒あり
1104		〔電報〕	(明治29年)2月4日	ヤナガワ　タケハラシゲル	ミイケクンオオクマ　ミイケボウセキ　カイシマトリシマリヤク(三池郡大牟田三池ボウキ会	明日二番で来る	電報	1	
1105		〔書簡〕	(明治29年)1月24日	飯田健太郎(上妻郡福島町)	野田尊台(三池郡大牟田横洲野田卯太郎)	益田来県の際御配慮につき御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1106		〔書簡〕	(明治29年)1月26日	加藤新次郎(福岡県薬院町湯浅方ヨリ)	野田卯太郎様(三池郡大牟田町)	筑後川筋調査の件、二日市より日田までの鉄道敷設計画につき賛助願	継紙	1	封筒あり
1107		〔書簡〕	2月4日	重美(石丸重美)	野田老台、永江老台(三池紡績会社　野田卯太郎、永江純	秋葉秀直に三池炭坑につき依頼	継紙	1	封筒あり
1108		〔書簡〕	(明治29年)5月5日	保太郎(冨安保太郎)	永江老兄、野田老兄(三池郡大牟田町)	台湾視察員内命あり、了承の旨返答の事	継紙	1	封筒あり。年は葉書消印
1109		〔書簡〕	(明治)29年1月1日	岡田孤鹿(北海道胆振国勇払郡厚真村字老軽舞)	野田卯太郎様(福岡県三池郡大牟田町)	年頭挨拶、品物恵贈の御礼、開墾事業の状況について	継紙	1	
1110		〔書簡〕	(明治)29年1月20日	保太郎(冨安保太郎)	野田老兄(三池郡大牟田町野田卯太郎)	当選祝い	継紙	1	封筒あり
1111		〔書簡〕	(明治29年)1月1日	中村祐興(東京王子村印刷局官舎)	野田卯太郎様(福岡県筑後国三池郡大牟田町)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1112		〔書簡〕	(明治29)年1月1日	小山政蔵(筑前国若松港筑豊鉄道株式会社)	野田卯太郎様(三池郡大牟田町)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり
1113		〔書簡〕	(明治28年)12月28日	菊地(東京神田錦町三丁目五番地西川方　菊地顕直)	野田様(筑後三池郡大牟田町三池紡績株式会社　野田卯太	就職斡旋の御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1114		〔書簡〕	(明治)29年1月1日	長崎市江戸町六十二番戸　松本作太郎、松本梅三郎	埜田卯太郎様(三池大牟田町)	年頭挨拶	切紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1115		〔書簡〕	(明治29年)1月1日	岡部新太郎(熊本県春日九鉄建築派出処)	野田卯太郎様(福岡県筑後三池郡大牟田町)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり。年月日は封筒消印
1116		〔書簡〕	(明治28年)12月27日	北沢虎造(東京赤坂区表三丁目廿四番地)	野田賢台(福岡県三池炭礦社ニテ　野田宇太郎)	贈答品の御礼ほか	継紙	1	封筒あり。年月日は封筒消印
1117		〔電報〕	(明治29年)1月5日	ハカタヒカシナカズ フナコシテツドウジムシヨ　オゴウキユジロオ(博多東中洲船越鉄道事務	オオムタミイケボオセキカイシヤ　ノタウタロオ(大牟田三池紡績会社　野田卯太郎)	緊急評議につき出席依頼	電報	1	
1118		〔書簡〕	明治28年12月23日	三池郡水産講習所主任　三池郡書記近藤秀次郎	県会議員　野田卯太郎殿	水産講習所生徒習得証授与式挙行につき案内	切紙	1	
1119		〔書簡〕	(明治29年)1月11日	古賀巳之吉	三池紡績株式会社　野田卯太郎殿	酒税案内清酒法案につき論評	罫紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1120		〔書簡〕	(明治29年)1月11日	竹原(筑後柳河　竹原苞)	野田様(三池郡大牟田町三池紡績会社　野田卯太郎)	立花伯の日程について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1121		〔書簡〕	明治28年12月20日	三池郵便局(印)	野田俊作殿(三池郡岩田村岩津)	東京芝口郵便局振出為替金の受取催促	罫紙	1	封筒あり
1122		〔書簡〕	(明治28年)12月19日	横田安止(東京麹町区隼町七藤井方)	野田卯太郎殿(福岡県三池郡大牟田町)	採用の件につき依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1123		〔書簡〕	(明治29年)1月1日	円次(神戸停泊彦山丸船中荒木円次)	埜田卯太郎様(福岡県三池郡大牟田町)	年頭挨拶、支那・台湾などへの航海にて体調悪化の事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1124		〔書簡〕	(明治28年)12月24日	青柳(博多　青柳四郎)	野田兄(三池郡大牟田町　野田卯太郎)	門司港特別輸入港出願につき同港輸入品目などの調査依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1125		〔葉書〕	(明治28年12月21日)	豊前小倉町　綾部繁	筑前国三池郡大牟田町　野田卯太郎殿	病気見舞い	葉書	1	年月日は消印
1126		〔書簡〕	(明治28年)12月27日	保太郎(山門郡川北村　冨安保太郎)	野田雅兄(三池郡大牟田町野田卯太郎)	病気平癒祝い、時計恵贈の御礼ほか	継紙	1	封筒あり。年月日は封筒消印
1127		〔書簡〕	(明治28年)12月19日	黒田峯松(大阪西区江戸堀北通三丁目　三池紡績株式会社大阪出張店)	卯太郎(筑后三池郡大牟田町三池紡績株式会社　野田卯太郎)	汽車にて紛失の鍵を捜索の件、病後見舞い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1128	1	記	(明治中後期)			汽車賃ほか代金1円余書上	切紙	1	1128-1～2同折
1128	2	記	(明治中後期)12月31	児島商店		上々座フトン10枚代金4円受取	切紙	1	
1129		〔書簡〕	(明治28年)12月26日	藤金作(芝区烏森町吾妻屋ヨリ)	野田卯太郎殿(筑后三池郡大牟田町)	議会の状況、船越鉄道許可の件、博多鉄道との合併の件	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1130		〔書簡〕	(明治中後期)12月28	宮本五三郎	野田卯太郎	調査委員辞任の件、病気見舞い	継紙	1	封筒あり
1131		〔書簡〕	(明治中後期)12月28日	小野(小野隆基)	野田老台(野田卯太郎)	大谷の件につき協議のため山川屋へ来訪願い	継紙	1	封筒あり
1132	1	〔書簡〕	(明治35年8月)25日	黒田弟(福岡県三池郡大牟田町株式会社三池銀行　黒田純	野田老台	明治開引受代金受取証送付の事	切紙	1	1132-1～2封筒一括。1132～1165紐一
1132	2	受取證	明治35年8月25日	明治開委員総代　黒田純蔵(印)	野田卯太郎殿	明治開1町5反歩の引受代金525円受取	罫紙	1	三池銀行便箋使用
1133		〔領収証送り状〕	明治37年1月20日	住友銀行博多支店(印・「佐藤」)(福岡市博多下対馬小路参番地)	野田卯太郎殿(筑後三池郡岩田村)	九鉄払込金領収証につき	切紙	1	封筒あり
1134		受取書	(明治30)年8月28日	小柳宇十郎(印)	野田卯太郎殿	品代60円受取	切紙	1	封筒あり。封筒上書「小柳卯十郎受取証入」
1135		小柳手作ノ分	(明治中後期)			大字過古町田5筆2反余書上	切紙	1	封筒あり。封筒上書「八女提案　駅馬地所書付入」

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1136	1	〔駛馬村地所買受証〕	(明治中後期)	(三池紡績株式会社)	(野田卯太郎)	駛馬村西米生字黒尾畑4畝ほか2筆書上	罫紙	1	1136-1～2封筒一括。封筒上書「駛馬村地所買受証書入并
1136	2	運炭鉄道及坑場用地	(明治中後期)	(三池紡績株式会社)	(野田卯太郎)	畑3筆買入代金326円余書上、野田卯太郎分	罫紙	1	三井三池炭礦事務所罫紙使用
1137		〔封筒〕	(明治中後期)			上書「銀行へ書入たる駛馬村分地所之坪付扣書入」	封筒	1	
1138	1	確受証	明治24年7月6日	三池銀行(印)	野田卯太郎殿外三名	貸金利子19円余につき	紙	1	1138-1～5紙縒綴、封筒一括。封筒上書「笹井地所代借入金払渡元金及利息請取証書入」
1138	2	確受証	明治24年7月4日	三池銀行(印)	野田卯太郎殿外三名	貸付元金の内500円につき	紙	1	
1138	3	確受証	明治24年7月11日	三池銀行(印)	野田卯太郎殿外三名	貸付金の残金100円につき	紙	1	
1138	4	受取証	明治24年6月26日	柳河第九十六国立銀行(印)	永江純一殿	野田卯太郎宛電信送金分40円受取	紙	1	
1138	5	〔電報〕	明治24年6月26日	柳川第九十六国立銀行　永江純一	東京日本橋区兜町三井物産会社ニテ　三池紡績会社出張員　野田卯太郎	第三銀行より40円受け取れ(ダイサンギンコウヨリ四〇エンウケトレ)	紙	1	
1139	1	キ	(明治中後期)3月21日	福井	野田様	反別5反余賠償金1458円余につき残金銀行手形にて差上	切紙	1	1139-1～4封筒一括。封筒上書「炭礦社ニ関係アル地所の調入　大牟田変換地反別及補償金調書
1139	2	〔地所書上〕	(明治中後期)			田3筆(下里字中牟田など)計1反余代金468円余書上	罫紙	1	
1139	3	〔書上〕	(明治中後期)			田2筆の畑地への変換について	罫紙	1	三池礦山合名会社三池炭礦事務所の罫紙使用
1139	4	〔地所書上〕	(明治中後期)			大字川尻字笹尾4畝余ほか3筆書上	罫紙	1	三池礦山合名会社三池炭礦事務所の罫紙使用
1140		金借用証書	明治22年7月12日	東京京橋区十郎兵衛町　明保野ニ於テ　西山直内(印)	野田卯太郎殿	金6円借用、返済は兄原尻与作より致す事	切紙	1	1140～1144紙縒一括
1141		〔書簡〕	(明治18年)9月15日	松尾喜久蔵	福岡日日新聞社御中	新聞代料3ヶ分2円余為換にて送金のため請求依頼	切紙	1	前欠
1142		〔書簡〕	(明治中後期)			地所の買入依頼の件、下山氏地所買入の進捗状況など	切紙	1	後欠
1143		〔初等幾何問題〕	(明治中後期)			渦線を画く法ほか全52題書上	紙(3枚)	1	
1144		〔田畑書上〕	(明治中後期)			畠面積、地価、小作米など	継紙	1	
1145		〔封筒〕	(明治27年)4月19日	熊本市古川町　中村福次郎	三池紡績株式会社　永江純一殿		封筒	1	年は消印。1145～1153紙縒一括
1146		受領証	明治26年3月4日	熊本市洗馬壱丁目研屋事　岡本武平	永江様	御茶代50銭受領	紙	1	封筒あり(玉名郡高瀬町吉田寅雄より大牟田町永江純一宛)
1147		〔書簡〕	(明治26･27年頃)3月14日	森勝二郎	野田、永江様(三池郡大牟田町)	東亜学館生徒貴地訪問につき1泊宿泊願い	継紙	1	封筒あり。尚々書1枚同封。封筒裏に「托学校生徒諸君」とあり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1148	1	記	(明治26･27年頃)2月2日	熊本市上鍛冶屋町　柏屋呉服商店	永江様	羽織地1反ほか代金7円余請取	切紙	1	1148-1～3封筒一括
1148	2	記	(明治26･27年頃)4月10日	熊本市上鍛冶屋町　柏屋呉服商店	永江様	更サ形2尺ほか代金3円余請取	切紙	1	
1148	3	〔書簡〕	(明治26･27年頃)1月10日	高田(小源町西福寺　高田露円)	永江老台(洗馬町とぎや　永江純一)	正午頃より参上の事	切紙	1	
1149		〔封筒〕	(明治26･27年頃)	江浦尋常小学校	□浦村議員　永江純一殿		封筒	1	
1150		〔封筒〕	(明治27年)1月22日	熊本増田□治郎　外六名(熊本市米屋町一丁目廿一番地福永支店)	筑后大牟田町　□池紡績株式会社　永江純一様		封筒	1	
1151		〔封筒〕	(明治26･27年頃)	松永	永江様		封筒	1	
1152		〔封筒〕	(明治26･27年頃)	熊本市古川町　中村福次郎(中村商店)	三池紡績会社ニテ　永江純一様		封筒	1	
1153		〔封筒〕	(明治26･27年頃)	松永久吾	永江様	封筒裏上書「堀口」	封筒	1	
1154		〔書簡〕	(明治26年頃)5月11日	家永豊吉	永江純一様	負傷見舞い、野田君に托し粗品進呈の事ほか	継紙	1	封筒あり。1154～1165紙縒一括
1155	1	〔書簡〕	(明治26年頃7月)22日	富安保太郎	永江純一様、野田卯太郎様	病気中につき来訪願い	罫紙	1	1155-1～3封筒一括
1155	2	〔書簡〕	(明治26年頃7月)22日			他の集会のため今夜参上できざる事ほか	切紙	1	
1155	3	〔書簡〕	(明治26年頃)7月22日	十時、吉田(十時一郎、吉田孫三郎)	水江様、野田様(柳河中町大和屋ニ而　永江純一)	今晩集会開催につき案内、明朝御来臨願う	継紙	1	
1156		〔書簡〕	(明治26年)7月14日	古閑義明(熊本市麹屋町三丁め十三番地)	永江監府(福岡県三池郡大牟田町　永江純一)	紡績業発起人の内幕について	罫紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1157		〔書簡〕	(明治26年)6月25日	田中賢造(熊本市新屋敷町□八番地)	永江純一殿(福岡県三池郡大牟田町)	城野氏の一件につき工業銀行の目論見など取調べの事ほか	切紙	1	封筒あり
1158		〔葉書〕	(明治26年)6月29日	卯太郎(野田卯太郎)	筑後三池紡績会社　永江純一殿	馬関阿弥陀寺町常六方に滞在中の事	葉書	1	年は消印
1159		〔葉書〕	(明治26年)5月27日	福岡　征矢野半弥	三池郡大牟田町　永江純一様	28日の議員人事につき野田氏と相談の件について	葉書	1	年は消印
1160		〔書簡〕	(明治26年)6月8日	冨安保太郎(山門郡川北村)	永江純一殿(三池郡大牟田町)	老祖母の世話に長門武三推薦の事	罫紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1161		〔証書〕	(明治期)7月24日	中島岩次郎(印)	永江純一様	交換金銅金10円受取	切紙	1	封筒あり。封筒差出人は三池郡江浦町井上収蔵
1162		〔書簡〕	(明治26年頃)5月23日	岩井芳三郎(三池郡手鎌村)	永江、野田両先覚御中(半田町ニ而永江純一、野田卯太	当地収入役小山田正室更迭につき同人の就職周旋依頼	罫紙	1	封筒あり
1163		〔書簡〕	(明治26年頃)5月2日	杉本敬之	純一(三池郡大牟田町　永江純一)	村内正源寺寺堂再建に賛助願い	継紙	1	封筒あり
1164		〔通知〕	明治26年7月8日	福岡日日新聞社(印)	三池郡大牟田町　永江純一殿	株主総会開催につき案内	葉書	1	
1165		〔葉書〕	(明治26年)7月15日	大阪靱北通壱丁め　鈴木伝次郎方　城崎新太郎	筑後大牟田町　永江純一様	住所変更の告知	葉書	1	年月日は消印
1166 (閲覧不可)		〔書簡〕	(明治25年)3月12日	銀水村　□□惟允	野田賢兄(三池郡大牟田町紡績会社ニ而　野田卯太郎)	総選挙意外の激勢を発し言語同断の事、永江も段々明快の由にて欣喜の事ほか	継紙	1	虫損甚し。封筒あり。年は封筒消印。1166～1181紙縒一括
1167		〔書簡〕	(明治28年)7月18日	松尾(京都博覧会場前鎮西館松尾寛三)	野田様(福岡県三池郡三池野田卯太郎)	福岡滞在中の世話感謝、寄付金の儀一層御尽力願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1168		〔書簡〕	(明治20年代頃)	冨安保太郎	野田卯太郎様	田中儀三氏承諾につき通知、給料金額につき依頼	罫紙	1	銀水高等小学校の罫紙使用

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1169		〔書簡〕	(明治28年)1月10日	福岡警察署長 警部 宮本専一郎	野田卯太郎殿(三池郡岩田村)	当署上棟式挙行につき案内	紙	1	封筒あり
1170		〔封筒〕	(明治20年代頃)	野口忠太郎	三池銀行ニテ 野田卯太郎殿		封筒	1	
1171		〔書簡〕	明治23年4月12日	井(カ)馬	野田様	「フランクリン自叙伝」・「ユニテリアン」進呈	罫紙	1	封筒あり
1172	1	〔封筒〕	(明治20年代頃)	大サカ 森シノブ	ボウセキ 大村、ノダ、下山	封筒朱印「電報」	封筒	1	1172-1～2一纏り
1172	2	〔封筒〕	(明治20年代頃)	東京 マスダ	ボウセキ ヲヲムラ、ノダ	封筒朱印「電報」	封筒	1	
1173		〔封筒〕	(明治20年代頃)		山門郡沖之端村大字山々		封筒	1	
1174		〔書簡〕	(明治20年代頃)1月元旦	幹枝(浦和市裁判所検事局古森幹枝)	野田様(東京芝区琴平町信濃屋)	年頭挨拶、学資返済猶予願い	切紙	1	封筒あり
1175		〔書簡〕	(明治20年代頃)14日	橋本ニ而 嘉村三蔵	野口忠太郎様	鉄道工事一件の模様につき報知願	切紙	1	
1176		〔名刺〕	(明治20年代頃)	医科大学助手 医学士 岡田和一郎			名刺	1	
1177		〔請求〕	(明治28年)6月14日	福岡日日新聞社(印)	野田卯太郎殿(筑後三池郡大牟田)	新年広告掲載料不足分40銭につき	罫紙	1	封筒あり
1178		〔書簡〕	(明治28年)6月10日	豊吉(東京芝白金三光町 家永豊吉)	野田愛兄(福岡県筑後国三池郡大牟田 野田卯太郎)	先日帰郷の際に通知せざる件について	罫紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1179		〔電報〕	(明治28年)5月9日	クマモト局 タナカケンドウ(熊本局 田中賢道)	チウゴオオムタ ノダウタロヲ(筑後大牟田 野田卯太郎)	二番にて発ち行く(二バンニテタチユク)	電報	1	
1180		〔電報〕	(明治28年)7月1日	ヲサカナカノシマ ニホンサインカイシャ(大阪中之島)	ミイケホウセキカイシヤ ノダウタロウ(三池紡績会社 野田卯太郎)	松方そちらにいる、不日行くはず(マツカタキチホウニイルフジツユクハヅ)	電報	1	
1181		〔書簡〕	(明治20年代頃)7月24日	向坂黙甫	野田卯太郎殿(大牟田町)	白金所有地の隣地に醤油製造場煙突設立の件について	切紙	1	封筒あり
1182		〔書簡〕	(明治20年代頃)27日	河野(河野修造)	野田君(野田卯太郎)	藤金作氏所有の飽田郡楠本に関する照会は、該所買い戻しの話もあるため暫時見合わせ願い	継紙	1	1182～1189紙縒一括
1183		〔書簡〕	(明治25年10月20日)	久留米市米屋町 山下教介	県下三池郡大牟田町ニテ 野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印
1184		〔書簡〕	(明治20年代頃)7日	種次郎	野田尊兄	過日の不在詫び、小野翁長崎へ呼び寄せの件ほか	継紙	1	
1185		〔書簡〕	(明治25年)10月19日	東京芝区南佐久間町二丁目拾五番地佐宗方 古賀巳之吉	野田卯太郎殿(福岡県三池郡大牟田町)	万一の場合は帰県の際に面目を失するおそれあるため、先日打電の件につき報知依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1186		〔書簡〕	(明治20年代)4月13日	嘉一郎(野口嘉一郎)	野田卯太郎様	御尋ねの件は当方でも問合せ可能につき質問事項伺い	切紙	1	封筒あり
1187 (閲覧不可)		〔書簡〕	(明治24年)7月21日	宗像政(熊本県球磨郡神殿原開墾地)	野田卯太郎老台(福岡県三池郡大牟田町)	球磨人となり、山人の為奔走中の事、出熊出来ぬが御用あらば御伝え願いほか	継紙	1	虫損甚し。封筒あり
1188		〔書簡〕	(明治24年)8月13日	吉田(那珂郡住吉村 吉田鞆二郎)	永江君、野田君(三池郡三池大牟田町三池紡績会社ニ而永江純一、野田卯太郎)	新開社の一件も征矢野氏帰県につき変わりなき事、熊本よりは山田武甫を以て報知参りし事、托子佐賀行きの件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1189		〔書簡〕	(明治24年)5月26日	南彦七郎(口ノ津港)	野田様(福岡県三池郡大牟田町 野田卯太郎)	紹介の件を当地問屋などに問合せし処、茂木・嶋原西港往復の人員は14,5人程との事ほか	継紙	1	虫損甚し。封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1190		〔書簡〕	(明治26年)7月20日	四郎(東京農商務省　藤田四郎)	野田卯太郎殿(福岡県三池)	書面中記載の書籍未だ到着せざるにつき、発送方法・日付などにつき問合せ	継紙	1	封筒あり。1190～1194紙縒一括
1191		〔書簡〕	(明治20年代頃)4月12日	板井真澄	野田卯太郎様	常設委員会開催につき案内、海西残務の件につき協議の事	継紙	1	封筒あり
1192		歯科開業	(明治20年代頃)	佐賀県佐賀市与賀町　歯科門専　中島		大牟田町福島屋滞在につき診察案内	切紙	1	
1193		〔書簡〕	(明治24年)8月13日	棹田一兄(熊本市長六橋北甲州屋)	野田賢台(阿蘇郡栃木温泉小山勇太□殿方ニ而　野田卯太郎)	熊本県官山民収木売買などの件につき協議願い、熊本に立ち寄りの節は連絡願い	継紙	1	封筒あり
1194		〔書簡〕	(明治20年代頃)7月25日	奈須義□	野田卯太郎大兄(山川屋)	御滞留なら今日面会依頼	継紙	1	
1195	1-1	履歴書	大正4年11月13日	賀久利助(印)(東京府荏原郡品川町南品川字浅間台　毛織物商)		原籍熊本市新町2丁目	切紙	1	1195-1-1～2同折。1195-1～封筒一括。封筒上書「下田耕三之紹介　其他履歴書入」。1195～1208紙縒一括
1195	1-2	〔名刺〕	(大正4年)	北日本汽船株式会社　社長　末永一三			名刺	1	1195-1-1に折込れていた
1195	2	履歴書	(大正4年)	原信市(印)(三池郡岩田村)			罫紙(2枚)	1	
1195	3	履歴書	大正4年7月20日	熊本県天草郡志岐村　江上成義			罫紙	1	欄外墨書「飯塚紹介」
1195	4-1	履歴書	大正4年11月25日	浦上福吉(印)(企救郡枚櫃			書綴	1	1195-4-1～2同折
1195	4-2	数字筆蹟	(大正4年11月)	浦上福吉(印)		アラビア数字書上	罫紙	1	
1195	5	履歴書	大正4年12月	安川和三郎(印)(千葉県長生郡茂原町)			切紙	1	
1195	6	履歴書	大正4年11月	鹿野三郎(印)(東京府豊多摩郡代々木山谷)		本籍久留米市京町	書綴(罫紙)	1	
1195	7-1	身分証明書	大正4年10月25日	竹野郡深田村長　近藤長兵衛(印)		平林与三郎(京都府竹野郡深田村)の兵役・戸主納税額など書上	罫紙	1	1195-1～2同折
1195	7-2	履歴書	大正4年12月	平林与三郎(印)(京都府高野郡深田村)			書綴(罫紙)	1	
1196	1	〔書簡〕	(明治20年代頃)4月11日	三川村大字川尻字スハ　由布惟通	土(カ)橋銀行ニ而　野田卯太郎様	本日午後訪問出来ず、明朝訪問の事	切紙	1	封筒あり。1196-1～2封筒一括
1196	2	〔書簡〕	(明治20年代頃)4月23日	三川村　由布惟通	野田先生(大牟田町銀行　野田卯太郎)	永江君帰省の件、及び拝借金の一件につき問合せ	切紙	1	封筒あり。包紙1枚・切紙1枚同封
1197		〔封筒〕	(明治27年3月6日)	山口県長門国厚狭郡小野田小野田セメント製造株式会社	福岡県三池郡大牟田町　三池紡績株式会社御中		封筒	1	年月日は消印
1198		〔書簡〕	(明治28年)5月8日	的野半介(博多下対馬小路　平岡清太郎方)	野田卯太郎大兄(筑後大牟田線三池紡績会社にて)	商船学校設立の件、新聞社とも打ち合せしており熱心に取り組んで居る事ほか	罫紙(5枚)	1	封筒あり
1199		〔書簡〕	(明治20年代頃)11月5日	忠吾	野田様	御愛子死去につき弔辞	継紙	1	
1200		〔書簡〕	(明治20年代)3月21日	野田卯太郎	戸島省三殿	養父・村方の者も貴兄の帰郷を熱望し居る事ほか	継紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1201		〔封筒〕	(明治27年)11月11日	山門郡柳河町　三ヶ尻忠吾	三池郡大牟田町　野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印
1202		〔書簡〕	(明治20年代頃)5月19日	立花(印)	野田様	至急相談したき事件あれども、病気のにつき代理を差し出す事	罫紙	1	封筒あり。白紙1枚同封
1203		〔書簡〕	(明治22年)4月5日	阿部(熊本　阿部充家)	野田先生(三池大牟田ニ而野田卯太郎)	徳富は今夕までに到着の筈、滞在日数はおよそ2・3日間の事	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1204 (閲覧不可)		〔書簡〕	(明治22年)5月15日	十時一良(山門郡城内村)	野田卯太郎殿(三池郡大牟田町三池銀行出張所)	築港に関する貴説に賛成の事、面会日時変更の件ほか	切紙	1	上部・下部虫損欠。封筒あり
1205		〔書簡〕	(明治21年)9月14日	田中賢道(熊本県熊本区東外坪井町六番地)	永江純一様、野田卯太郎様(福岡県筑後国三池郡大牟田)	立花君と面談できず遺憾の事、今回の動議には同意出来かねる事、女学校寄附金の模様につき伺いほ	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1206		〔書簡〕	(明治20年代頃)11月16日	石川(石川一郎)	野田閣下(野田卯太郎)	別封到着の事、準備を要するにつき指示願い	継紙	1	封筒あり
1207		〔書簡〕	(明治20年代頃)11月11日	惟義(由布惟義)	両大兄(永江純一、野田卯太郎)	児玉氏一件は御芳書の趣により15円だけ贈り申す事、残金は大村氏に託し送付の事	継紙	1	封筒あり
1208		〔書簡〕	(明治27年)11月17日	池田(東京麻布我善坊町三十九家永様内　池田子之吉)	野田様(福岡県三池郡大牟田銀行　野田卯太郎)	推挙状の御礼、家永先生益田孝氏へ面会下さるにつき、同社に就職出来申す事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1209		〔書簡〕	(明治22年)5月1日	岡田孤鹿(博多下土居町廿三番地)	永江純一様、野田卯太郎様(大牟田駅)	平岡則孝県庁へ出頭し、三池郡海岸干拓地に関し伺いたる事、大村・森氏などより出願の件につき御尽力	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1210		〔書簡〕	(明治28年)8月10日	保太郎(瀬高駅　冨安保太郎)	野田賢台(三池郡大牟田町紡績会社ニ而　野田卯太郎)	田中氏へも面会のため出発の日時御一報願い、眼病の病状により同行致す事	罫紙	1	株式会社瀬高銀行の罫紙使用。封筒あり
1211		〔書簡〕	(明治32年)5月8日	武内美代吉(東京芝区琴平町信濃屋支店)	野田老台(福岡県三池郡大牟田町三池紡績会社　野田卯太郎)	御在京中御尽力の件は深野氏新任の上運動を続け大臣の賛成を得てひとまず一段落の事	継紙	1	封筒あり。年は消印
1212		〔封筒〕	(明治22年5月22日)	福岡市船町三十番地　神吉秀成	筑後三池郡大牟田町　三池紡績会社御中		封筒	1	1212-1～6入り
1212	1	〔封筒〕	(明治22年5月22日)	久留米市　三谷有信(印)	三池郡大牟田町　三池紡績会社御中		封筒	1	年月日は消印。1212-1～6封筒一括
1212	2	〔封筒〕	(明治22年5月23日)	三潴郡鳥飼村大字白山　吉武歴蔵(印)	福岡県三池郡大牟田町　三池紡績会社御中		封筒	1	年月日は消印
1212	3	〔封筒〕	(明治22年5月24日)	山門郡城内村大字新外町　大村務	三池郡大牟田町三池銀行支店支店　永江純一殿、野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印
1212	4	〔封筒〕	(明治20年代頃)	大牟田町大字稲荷　東原直内	大牟田町　三池紡績会社御中		封筒	1	
1212	5	〔封筒〕	(明治20年代頃)	永松孫一郎	野田様		封筒	1	
1212	6	〔封筒〕	(明治20年代頃)	岩田村　松尾喜久蔵(印)	三池紡績会社御中		封筒	1	
1213		〔封筒〕	(明治20年代頃)	柳川渡瀬町、二川村　山口文太郎	大牟田町ニテ　三池紡績会社御中		封筒	1	
1214		〔封筒〕	(明治24年11月23日)	大牟田町三池紡績会社　大村務	東京芝区南佐久間町信濃屋ニテ　野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印
1215		〔書簡〕	(明治28年)7月17日	家永豊吉(東京芝白金三光町)	大村務殿、野田卯太郎殿(福岡県筑後国三池郡大牟田)	8日柳川出発、11日無事帰京の事、滞在中の馳走への御礼、近日中に臨時議会開会の風聞もある事ほか	封筒	1	年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1216	1	〔書簡〕	(明治26年)5月31日	野忠(長崎県南高来郡島原町都筑方　野口忠太郎)	野田、永江様(福岡県三池郡大牟田町三池紡績会社ニテ永江純一殿、野田卯太郎殿)	別紙の通り略報につき、御熟考の上、団氏へ面会の通知依頼	継紙	1	1216-1～2封筒一括。年は封筒消印
1216	2	〔書簡〕	(明治26年)5月31日	団様	島原ヨリ　野口忠太郎	南高来郡神代の鍋島家所有の山林調査につき結果略報	継紙	1	
1217		〔書簡〕	(明治20年代頃)11月22日	大村務(印)	野田卯太郎殿	延期証書送付の事、借用のため三井へ支払い分の約束手形1万7800円送付につき、期限・仕出しの日付書き込みの上、履行し報知されたき	継紙	1	
1218		〔書簡〕	(明治20年代頃)8月12日	永江純一	野田卯太郎殿	柳川橘蔭学館会議にて会員資格・授業料など決議の事、大井に対することは十時などと相談の結果、吉田に一任の事、小作地主同盟の件	継紙	1	
1219		〔書簡〕	(明治20年代頃)5月13日	板井真澄	野田大兄(野田卯太郎)	御預けの公債証書、号番とも此者へ御渡し願い	継紙	1	
1220		〔書簡〕	(明治27年)1月20日	棹田宗定(熊本古大工町山田利三郎方ヨリ)	野田卯太郎様(福岡県三池郡大牟田町三池紡績株式会社)	社用の杉材類入用の件は、愚弟神戸地方へ出張中につき、同人帰熊まで御待ち願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1221		〔書簡〕	(明治)24年7月20日	山門郡鷹尾村　武藤不逸(印)	野田卯太郎閣下(三池紡績会社ニ在ル)	一度御面謁の上所望を述べたく先月来近傍に参るも御帰宅なく遺憾の事ほか	罫紙	1	封筒あり
1222		〔株主総会決議通知〕	明治32年7月	三池紡績株式会社	株主	久留米・熊本両紡績会社を本社へ合併の件につき合併規定・貸借対照表通知	切紙(7枚)	1	封筒あり
1223		〔電報〕	(明治28年)12月1日	ハカタハシグチチヨ　イシタヤワタナベ　ユンイチトミヤマヤスタロ(博多橋口町石田屋渡辺□□、冨安保太郎カ)	シハ　ミナミサクマテウ二　シナノヤカタ　ノダウタロウ(芝南佐久間町2信濃屋方　野田卯太郎)	退院を祝す(タイインヲシクス)	電報	1	
1224		〔電報〕	(明治28年)12月1日	ヤナカワ　ヨシタマコイチロウ(柳川　吉田孫一郎)	ミナミサクマテウ　シナノヤ　ノダウタロウ(南佐久間町信濃屋野田卯太郎)	御全癒を祝す(ゴゼンユヲシクス)	電報	1	
1225		〔電報〕	(明治28年)12月1日	ミイケグンミイケ丁　ヲノカタモト(三池郡三池町　小野隆基カ)	サクマ丁　シナノヤ　ノタウタロウ(佐久間町信濃屋　野田卯太郎)	快気を祝す(クワイキヲシユクス)	電報	1	
1226		〔書簡〕	(明治28年)11月29日	保太郎(博多橋口町石田屋冨安保太郎)	野田雅兄(東京芝区南佐久間町二丁め信濃屋　野田卯太郎)	病気見舞い、中学補助学資金の件、架橋の件可決の事、上妻の一件は三郡にて知事に申入れの事ほ	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1227		〔書簡〕	(明治28年12月)27日	瀧乃(筑後国三池郡岩田村野田俊作)	御尊父様(東京芝区佐久間町二丁目信濃屋　野田卯太郎)	病気見舞い	切紙	1	封筒あり。年月は封筒消印
1228		〔書簡〕	(明治28年)11月27日	福岡県三池郡駛馬村大字西米生　住吉猪三郎)	野田君閣下(東京市芝区南佐久間町信濃屋　野田卯太郎)	病気見舞い	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1229	1	〔堤防設計図〕	(明治20年代頃)			粘土・石積など寸法につき	切紙	1	1129-1～2封筒一括。封筒上書「吉田直太郎設計書」
1229	2	新開築堤入費調	(明治20年代頃)			新開反別約30町歩入費1万7498円余につき内訳など書上	書綴(罫紙)	1	
1230		〔書簡〕	(明治)28年11月23日	水野澄治(印)	野田卯太郎様	病気見舞い	罫紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1231	1	〔堤防設計図〕	(明治20年代頃)			粘土・石積など寸法につき	切紙(6枚)	1	1231-1～2封筒一括。封筒上書「冨川凛壮設計書」
1231	2	新開築堤入費調	(明治20年代頃)			新開反別約30町歩入費1万7865円余につき内訳など書上	書綴(罫紙)	1	
1232	1	〔書簡〕	(明治28年)3月12日	俊作(福岡県三池郡岩田村野田俊作)	父上さま(東京芝区南佐久間町信濃屋　野田卯太郎)	葉書の御礼ほか	継紙	1	1232-1～2封筒一括。年は封筒消印。1232～1241紙縒一括
1232	2	〔書簡〕	(明治28年3月12日)	志げ	卯太郎様(野田卯太郎)	今村壮太郎氏死去の事、俊作の手紙同封の事	切紙	1	
1233(閲覧不可)		〔書簡〕	(明治20年代頃)	野口忠太郎	野田卯太郎様	工事掛・物品掛の件ほか	切紙(カ)	1	虫損につき開封不可。封筒あり
1234		〔書簡〕	(明治20年代頃)8月10日	惟允	野田様	本日帰郡につき面会依頼	切紙	1	
1235		〔書簡〕	(明治20年代頃)7月15日	山門郡柳河町大字長柄町　北島恒次郎(印)	三池郡大牟田町　野田卯太郎殿	附木軸の直径・材料の件、箱作・箱張りの賃銭の件ほか	継紙	1	
1236		〔書簡〕	(明治20年代頃)1月30日	小野(小野隆基)	野田君(野田卯太郎)	先日来臨の御礼、当用日記は送付済の事	継紙	1	封筒あり
1237	1	〔覚書〕	(明治20年代頃)			輪転印刷器械の名称・性能など	継紙	1	1237-1～2封筒一括。封筒上書「新聞器械ニ関スル目六
1237	2	〔覚書〕	(明治20年代頃)			印刷機械価格ほか	切紙	1	
1238	1	電報受取証	明治26年1月24日	(印・「東京郵便電信局」)	東京　ノダウタロ(野田卯太郎)	大牟田町海面埋立事務所永江純一・板井真澄宛電報につき	紙	1	1238-1～10封筒一括。封筒上書「三池銀行其他　請取書入廿六年四月」。封筒虫損甚し
1238	2	電報受取証	明治26年4月17日	(印・「大阪郵便電信局□□□□」)	大阪　ノタウタロ(野田卯太郎)	大牟田永江純一宛電報につき	紙	1	
1238	3	確受証	明治25年10月31日	三池銀行(印)	野田卯太郎殿	貸金利子475円余受取	紙	1	
1238	4	受取証	(明治26年頃)8月8日	有明館　西村(印)	野田様	御料理10人分金5円受取	切紙	1	
1238	5	仮受取証	(明治)26年3月21日	浦家淑代　久保田直次郎(印)	野田卯太郎殿	金400円受取	切紙	1	
1238	6	領収証	明治25年9月14日	駛馬村収入役　辻嘉七(印)	野田卯太郎納	町村税ほか3円余分、4通あり	切紙(4枚)	1	封筒あり。封筒上書「領収書など、表書「駛馬村役場納分金四円廿四銭弐厘
1238	7	領収証	明治26年4月10日	三池郡大牟田町　塚本房次郎(印)	野田卯太郎殿	登記書類代書料37銭領収	紙	1	
1238	8	領収証	明治26年1月5日	大牟田町収入役　下村春雄(印)	三池郡大牟田町　野田卯太郎納	明治25年度第3期地租89銭余領収	切紙	1	
1238	9	〔書簡〕	(明治24年)11月17日	宮本(筑後三池町　宮本五三郎)	野田君(東京芝区南佐久間町信濃や信助方　野田卯太郎)	山門郡・三池郡の出金にて海面埋立の調査開始の事、同事業の資本金調達のため渋沢・益田などに相談下されたき事ほか	継紙	1	封筒あり
1238	10	〔書簡〕	(明治26年頃)7月20日	教介(通町　山下教介)	野田様(大牟田ニテ　野田卯太郎)	賄料不足金の件につき依頼	罫紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1239	1	証	明治26年2月19日	東京九段坂　鈴木真一(印)	野田様	写真代金60銭ほか請取	紙	2	1239-1～14封筒一括。封筒上書「廿六年受取書入」
1239	2	〔領収証〕	明治2(6)年1月6日	門司港　石田組本店止宿係(印)	上様	御賄料94銭ほか受取	紙	1	
1239	3	小包受取証	(明治)26年2月16日	(東京木挽町郵便受取所)	芝区南佐久間町信濃屋方　野田卯太郎	大牟田町三池紡績会社・堤藤蔵宛小包受取	紙	1	
1239	4	書留郵便物受取証	(明治26年)	(桜田本郷町郵便受取所)	東京市芝区南佐久間町　しなのや方　野田卯太郎	福岡日日新聞社・征矢野半弥宛書留受取	紙	1	
1239	5	書留郵便物受取証	(明治26年)	(東京桜田久保町郵便受取所)	南佐久間町弐丁目　信のや方　野田卯太郎	大牟田町三池紡績会社重役書留受取	紙	1	
1239	6	書留郵便物受取証	(明治26年)	(桜田本郷町郵便受取所)	東京芝区南佐久間町信濃や方　野田卯太郎	三潴郡大川町・三ヶ尻忠吉宛書留受取	紙	1	
1239	7	〔領収証〕	明治26年1月17日	京橋区銀座一丁目廿二番地　東京府下官報販売取次所　大日本図書株式会社　専務取締役　佐久間良一(印)	野田卯太郎殿	官報代金50銭領収	紙	1	
1239	8	電報受取証	明治26年1月30日	(東京郵便電信局葵町)	東京ヨリ　ノダ(野田卯太郎)	福岡日日新聞社宮城坎一・征矢野半弥宛電報につき	紙	1	
1239	9	電報受取証	明治26年2月1日	(東京郵便電信局)	東京　野田卯太郎	福岡日日新聞社宛電報につき	紙	1	
1239	10	電報受取証	明治26年2月14日	(東京郵便電信局)	東京　ノダウタロ(野田卯太郎)	福岡日日新聞社・征矢野半弥宛電報につき	紙	1	
1239	11	電報受取証	明治26年3月8日	(大阪郵便電信局)	大坂　ノタウタロ(野田卯太郎)	東京益田孝宛電報につき	紙	1	
1239	12	電報受取証	明治26年1月29日	(東京郵便電信局葵町)	東京芝南佐久間町信濃屋方ノダウタロウ(野田卯太郎)	大坂三井物産会社・益田孝宛電報につき	紙	1	
1239	13	電報受取証	明治26年1月22日	(東京郵便電信局葵町)	東京　ノダウタロウ(野田卯太郎)	大牟田町団琢磨方・益田孝宛電報につき	紙	1	
1239	14	電報受取証	明治26年1月19日	東京郵便電信局葵町	野田卯太郎	熊本県託麻郡春竹・池松豊記宛電報につき	紙	1	
1240	1	記	(明治26年)4月30日	しなのや(印)(信濃屋)	野田様	電信1便ほか代金64銭請取	切紙	1	1240-1～9封筒一括。封筒上書「廿六年分　請取書入」
1240	2	記	明治26年4月20日	京都寺町□堂前　金時店　呉服太物類　金時支店	野田様	銘仙袷仕立て1枚ほか代金1円余書上	継紙	1	
1240	3	記	(明治26年)4月30日	しなのや(印)(信濃屋)	野田様	あんまほか代金4円余請取	継紙	1	
1240	4	電報受取証	明治26年4月25日	(大阪郵便電信局)	大阪　ノダウタロ(野田卯太郎)	東京信濃屋新助宛電報につき	紙	1	
1240	5	記	(明治26年)4月25日	後藤(印・「大阪中之島五丁目・環龍館・後藤」)	野田様	宿泊料ほか代金5円余請取	継紙	1	
1240	6	記	明治26年4月25日	大阪市北区中之島五丁目六拾六番屋敷　後藤　環竜館	野田様	御茶料1円余ほか受取	紙	1	
1240	7	記	明治26年5月5日	芝区西久保櫻川町　牧薬室会計(印)	野田殿	薬代28銭領収	切紙	1	
1240	8	記	明治26年5月17日	博多橋口町　石田店(印・「石田組回漕部」)	御客様	御賄料ほか20銭領収	紙	1	
1240	9	証	明治26年5月14日	伝染病研究所(印)	野田卯太郎殿	診察料2円領収	紙	1	
1241		〔封筒〕	明治27年9月			上書「郵便為換請取書及書留郵便局請取書纏め」	封筒	1	
1242		〔封筒〕	(明治27年)			封筒上書「野田卯太郎分預り」ほか	封筒	2	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1243	1	〔書簡〕	(明治25年)12月10日	志げる(三池郡岩田村　野田しける)	卯太郎(東京芝区佐久間町二丁目信濃屋ニ於テ　野田卯太	近況報告	切紙	1	1243-1～2封筒一括。年は封筒消印
1243	2	〔書簡〕	(明治25年)12月10日	たきの	御父上様	近況報告	切紙	1	
1244		〔書簡〕	(明治中後期)5月4日	森信夫	野田卯太郎愛兄	電報の御礼	切紙	1	
1245		〔請願書案文〕	(明治中後期)			大牟田町への電信局設置の件	継紙	1	
1246		〔封筒〕	(明治中後期)4月21日	江上巖	野田卯太郎殿	訓戒の御礼ほか	継紙	1	封筒あり
1247		〔葉書〕	(明治28年～8月16日	永井峰松	筑後三池郡岩田村　野田卯太郎様	暑中見舞いほか	葉書	1	年は消印
1248		〔葉書〕	(明治32年)5月2日	緒方道平	三池郡大牟田町　三池紡績会社　野田卯太郎殿	入佐前書記官慰労会開催につき案内	葉書	1	
1249		〔広告〕	(明治中後期)	広栄堂		吉備団子の広告	紙	1	
1250		〔封筒〕	(明治27年1月11日)	門司港石田方　田中賢道	筑後国三池郡大牟田町　永江純一殿		封筒	1	年月日は消印
1251		〔封筒〕	(明治32年7月8日)		福岡県三池郡石田方　野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印。断簡3点付
1252		〔書簡〕	(明治中後期)5月3日	たきの	御尊父様(野田卯太郎)	地所変更届などの件ほか	継紙	1	
1253		〔書簡〕	(明治中後期)8月14日	安門(原安門)	野田御大老閣下(野田卯太郎)	武夫の山口県私立学校辞職の件につき依頼ほか	継紙	1	
1254	1	〔書簡〕	(明治39年)10月18日	矢野友吉(浮羽郡吉井町)	野田老台閣下(三池郡岩田村野田卯太郎)	福岡新聞本郡配達委員の件につき依頼ほか	継紙	1	1254-1～2封筒一括。年は封筒消印
1254	2	〔書簡〕	(明治39年)10月18日	友吉(浮羽郡吉井町　矢野友吉)	野田御大人(野田卯太郎)	古賀氏の件について	切紙	1	
1255		〔書簡〕	(明治39年)10月16日	正(筑後城島町　宇都宮正)	野田老台(三池郡岩田村　野田卯太郎)	立花伯の件など相談のため面会依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1256		〔書簡〕	(明治)39年10月7日	浜武文治(福岡県三池郡大牟田町停車場前　薬種商及諸品仲買商　主信堂)	野田卯太郎殿(東京芝区琴平町三丁目　信濃屋支店)	古賀作氏の採用依頼、大牟田町稲荷寺ノ下地所売買の件につき返信依頼	継紙	1	封筒あり
1257		〔書簡〕	(明治)38年11月10日	小野彦次郎(三潴郡城島町)	野田賢台(三池郡岩田村　野田卯太郎)	面会のため出郷日時につき問合せほか	継紙	1	封筒あり
1258		書留郵便物受領証	(明治38年11月22日)	(筑後江ノ浦郵便局)	三池郡　野田卯太郎	京城日本公使館・都筑枢府翰長宛書留につき	紙	1	
1259		記	(明治中後期頃)			土地売買につき代書料など書上	罫紙	1	
1260		〔書簡〕	(明治)41年1月30日	小林安太郎(埼玉県飯能町)	野田大塊老先生(東京市芝区琴平町信濃屋支店方)	書画恵贈願い	綴(罫紙3枚)	1	封筒あり
1261		〔住所書上〕	(明治中後期頃)	鞍手郡直方多賀町十一番地貝嶋太助内　立石光次	野田閣下		継紙	1	封筒あり
1262	1	受取証	明治41年4月	東京市京橋区銀座四丁目通角　高等洋服裁縫師　山崎末吉商店　会計主任　時田林蔵	野田様	代金50円領収	紙	1	1262-1～2同折
1262	2	郵便物受領証	(明治41年3月20日)	(東京芝琴平町郵便局)	信濃屋支店　野田卯太郎	福岡市博多十七銀行辻支配人宛郵便物受領	紙	1	
1263		〔書簡〕	(明治中後期頃)2月9日	内山(内山吉太)	野田貴台(野田卯太郎)	重要問題解決に関し人違いの有無につき伺い	継紙	1	封筒あり
1264		〔書簡〕	(明治41年カ)3月25日	越後国古志郡六日市村字蛇山　細貝勝逸	野田大塊殿閣下(東京芝区琴平町三丁目　野田卯太郎)	大家の短冊帖作成につき一筆依頼	罫紙	1	封筒あり
1265		〔書簡〕	(明治41年)2月27日	池田喜雄(京都市外第二中学校)	野田卯太郎様(東京市芝区琴平町信濃屋)	高木保の就職・学資につき斡旋依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1266		〔書簡〕	(明治41年)3月30日	熊懐武男(筑前国太宰府町内野彦二郎方)	野田老大人(東京芝区琴平町信濃屋支店 代議士野田卯太	神職辞職につき理由書上	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1267		〔封筒〕	(明治中後期頃)3月3日	赤坂権町十番地 達寿	芝区琴平町一三 信濃屋支店野田卯太郎殿		封筒	1	
1268		〔書簡〕	明治41年2月20日	韓国農商工部農務局 安河内武十郎(京城旭町壱町目松井方)	野田先生(東京芝区琴平町信濃屋支店 野田卯太郎)	気候・物価・職制ほか韓国の状況につき報告	切紙	1	封筒あり
1269	1	記	(明治36年)12月3日	東京市京橋区銀座四丁目二番地 教文館(印)	野田卯太郎様	『月々之力』3冊ほか代金1円余受取	切紙	1	1269-1～28封筒一括。封筒上書「卅六年十二月東京中 受取書入」
1269	2	記	(明治36年)11月30日	信濃屋支店(印・「芝区琴平町十三番地・信梅」)	野田様	足袋ほか代金76円余受取	継紙	1	
1269	3	鉄道作業局小荷物保管料切符	明治36年11月21日	新橋駅	野田殿	博多駅より小荷物2個代金6銭書上	紙	1	
1269	4	証	明治36年9月21日	東京市銀座四丁目九番地 中央新聞社(印)	福岡 野田卯太郎様、芝琴平町 信濃屋御中	2ヶ月分新聞代金86銭領収	紙	1	
1269	5	〔葉書〕	(明治36年)7月29日	筑後三池郡岩田村 野田卯太郎	東京銀座通り 中央新聞社御中	新聞受取の件につき	葉書	1	年は消印
1269	6	証	明治36年12月17日	東京市京橋区銀座弐丁目壱番地 英章堂 山下清三郎	上様	墨1丁代金2円領収	罫紙	1	
1269	7	記	明治36年12月16日	佐野屋 仁兵衛(東京市芝区櫻田本郷町)	野田様	御誂目倉嶋法被2枚ほか代金10円請取	紙	1	
1269	8	記	(明治36年)12月23日	信乃や	野田様	麻布鳥居坂町送りほか代金36円余書上	継紙	1	
1269	9	〔領収書〕	明治36年12月	京橋区南佐柄木町二番地 日本切抜通信社(印)	野田卯太郎殿	通信料3円領収	紙	1	
1269	10	書留郵便物受領証	(明治36年11月19日)	(東京芝琴平町郵便局)	芝区琴平町信濃屋方 野田卯太郎	大牟田町三池銀行・黒田純蔵宛書留につき	紙	1	
1269	11	記	明治36年12月8日	東京芝区露月町十八番地 仏教書肆 鴻盟社 今村金次郎	上様	心経4冊ほか代金2円余請取	切紙	1	
1269	12	記	(明治36年)12月20日	梅沢洋服店(印・「和泉町□番地・梅澤」)	野田様	ズボン1本代金9円請取	継紙	1	
1269	13	記	(明治36年)12月23日	信乃や支店(印・「芝区琴平町十三番地・信梅」)	野田様	夕賄い1人ほか諸雑費182円余請取	書綴	1	
1269	14	記	(明治36年)12月22日	三井呉服店三番□□ 代木村(印)	野田様	友染縮緬中巾1疋ほか代金40円余請取	紙	1	
1269	15	受領証	(明治36年11月25日)	(東京[ ]郵便局)	野田卯太郎	郵便切手代50銭受領	紙	1	
1269	16	証	明治36年7月27日	立憲政友会会報局(印)	野田卯太郎殿	報告書代15円余領収	紙	1	
1269	17	記	(明治)36年8月	京都河原町四条北 呉服悉皆所 斎藤商店、代日光や	野田卯太郎様	門付染代3枚分ほか代金15円余請取	切紙	1	
1269	18	記	(明治36年)11月21日	京都市三条小橋東詰 旅館日光屋	野田御旦那様	宿泊料ほか代金8円余請取	継紙	1	
1269	19	証	明治36年12月15日	東京市京橋区日吉町 九州倶楽部(印)	野田卯太郎殿	明治36年度下半期分会費3円領収	紙	1	
1269	20	記	明治36年12月15日	吉田(印)	野田卯太郎君	12月分酒場代金5銭受取	紙	1	
1269	21	普通小包郵便物受領証	明治36年8月8日	東京芝琴平町郵便受取所	芝琴平町 信濃屋支店	野田卯太郎宛小包につき	紙	1	
1269	22	〔通知〕	明治36年12月	九州倶楽部(印)	野田卯太郎殿	会費3円請求	切紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1269	23	記	(明治36年)11月30日	信濃屋支店	野田様	新橋荷物車代ほか代金14円余書上	継紙	1	
1269	24	証	明治36年12月11日	内田靴店(印・「東京市芝区櫻田伏見町二番地・内田靴鞄	野田様	靴直し1足ほか代金9円受取	罫紙	1	
1269	25	〔請求書綴〕	明治36年12月5～11日	鶴鳴軒	野田卯太郎殿	食事代2円余ほか書上	綴	1	記1通・衆議院御賄之証4通紙縒綴
1269	26	記	(明治36年)12月22日	東京芝区琴平町二番地　各国煙草販売店　商号山雲屋　中村惣太郎	野田様	タバコ100本代金5円受取	紙	1	
1269	27	記	(明治36年)12月22日	東京芝区琴平町二番地　各国煙草販売店　商号山雲屋　中村惣太郎	野田様	ロングライフ100本代金4円余受取	紙	1	
1269	28	国民新聞代価領収証	明治36年12月21日	東京京橋区日吉町四番地　国民新聞社(印)	野田卯太郎殿	1ヶ年分5円余領収	紙	1	
1270	1	〔書簡〕	(明治34年)11月4日	藤田四郎、野田卯太郎	在東京日本郵船会社　近藤廉平殿、小川＝【金偏＋冉】吉殿	本日清国視察より長崎へ帰着の事ほか	継紙	1	案文。1270-1～3封筒一括。封筒上書「清国漫遊之際礼状ヲ贈リタル人名簿入」。1270～1276紙
1270	2	〔書簡〕	(明治34年)11月4日	藤田四郎、野田卯太郎、青柳四郎、山口恒太郎	在神戸日本郵船会社支店気付　長門丸船長　布目鄰太郎	渡清の節の御礼、本日長崎市中に帰着の事	継紙	1	案文
1270	3	〔人名書上〕	(明治34年)			清国視察の礼状差出先書上	継紙	1	
1271	1	記	(明治34年)11月23日	谷達海	野田老台	病中につき本日不参の事、矢吹共へは書翰遣わせし事ほか	継紙	1	1271-1～2封筒一括。封筒上書「谷川受取書入」
1271	2	〔書簡〕	(明治34年)12月29日	岡山紡績支社(印・「大阪市西区江戸堀南通壱丁目・株式会社岡山紡績大阪支店」)	野田卯太郎様	谷川達海宛の送金20円受取	切紙	1	
1272	1	証	(明治34年)12月21日	信のや	上	本郷へ御使ほか代金50円余請取	切紙	1	1272-1～11封筒一括。封筒上書「信のや目六入　卅四年十二月分」
1272	2	明治卅四年十一十二月分野田様(請求書)	(明治34年)12月28日	信濃屋支店	(野田卯太郎)	タンゼン襟代ほか代金271円余請取	長帳	1	
1272	3	記	(明治35年頃)1月14日	信濃屋支店(印・「芝区琴平町十三番地・信梅」)	野田様	切手代ほか127円余請取	継紙	1	
1272	4	記	(明治34年)12月	信の屋支店	野田様	絹裏地2反ほか代金26円余書上	継紙	1	
1272	5	記	(明治34年)12月	佐野屋　仁兵衛	野田様	御誂月倉嶋法被2枚ほか代金10円余書上	継紙	1	
1272	6	領収証書	(明治34年頃)	東京府本金庫芝支金庫、芝区市税金取扱所	琴平町十三番地　櫛原うめ納	明治34年度後半期分市税ほか領収	紙	1	
1272	7	記	(明治34年12月12日)	佐藤(印)(傘製造)	野田様	車提灯1張代金75銭請取	継紙	1	
1272	8	記	(明治34年)12月20日	岡本時計店(印・「櫻川町壱番地・時計商・岡本菊三郎」)	上	銀側米和時計唐干直し代金1円余請取	罫紙	1	
1272	9	仮領収証	明治34年12月6日	東京市京橋区日吉町四番地国民新聞社	野田卯太郎殿	金26円余領収	紙	1	
1272	10	記	(明治34年頃)	本木洋服店(印)	野田様	品代2円余請取	切紙	1	
1272	11	〔請取状〕	明治34年12月4日	大和歌集事務所(印)	野田代議士殿	大和歌集1部頭金1円領収	切紙	1	
1273		〔封筒〕				表書「道中諸払控書」			

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1273	1	〔算用書上〕	(明治35年1月)			京都宿屋代ほか合計367円分書上	切紙	1	1273-1～2封筒一括。封筒上書「道中諸費扣書入　卅五年
1273	2	〔算用書上〕	(明治35年1月)			渡瀬・久留米間汽車賃ほか合計337円書上	切紙	1	
1274	1	記	明治34年12月10日	武技講習舘(印)		金50銭受取	紙	1	1274-1～9封筒一括。封筒上書「受取書入　卅四年十二月
1274	2	証	明治34年11月27日	立憲政友会会報局(印)	野田卯太郎殿	政友1～18号代金2円余領収	紙	1	
1274	3	記	(明治34年)12月1日	林彦一(印)	野田卯太郎様	金19円受取	継紙	1	
1274	4	記	(明治34年)	後藤(印・「大阪土佐堀三丁目・後藤・環龍舘」)	野田様	車代賃ほか代金11円余請取	折紙	1	
1274	5	領収証	明治34年12月21日	設立者　江原素六、村松一(麻布中学校)	野田卯太郎殿	麻生中学校設立寄付金10円領収	紙	1	
1274	6	領収証	明治35年12月24日	立憲政友会本部	野田卯太郎殿	35年度分会費50円領収	紙	1	
1274	7	証	明治34年12月20日	立憲政友会会報局(印)	三谷有信殿	政友10～15号代金82銭領収	紙	1	
1274	8	〔葉書〕	明治34年11月7日	東京市京橋区日吉町四番地国民新聞社	筑後久留米市荘嶋町　三谷有信様	新聞発送停止の事	葉書	1	
1274	9	〔請求書〕	明治34年12月3日	国民新聞社(印)(東京京橋区日吉町四番地)	野田卯太郎様	武内美代吉・溝田精一・松延忠次・菊竹博光各氏分講読料26円余書上	罫紙	1	封筒あり
1275	1	証	明治36年10月17日	筑前若松本町通　櫻屋旅舘	上様	茶料7円受取	紙	1	1275-1～6封筒一括。封筒上書「遠鞍報道会諸目録入　卅六年十月」
1275	2	記	(明治36年)10月15日	糀や　彦次郎(印・「筑前芦屋中小路町・梶山彦治郎」)	上様	酒代ほか代金26円余受取	継紙	1	
1275	3	キ	(明治36年)			芦屋梶や払ほか84円余分につき算用書上	継紙	1	
1275	4	記	(明治36年)10月7日	櫻や(印・「筑前若松港本町通□□・旅舘櫻屋」)	上	6人宿泊料ほか代金36円余受取	書綴(罫紙)	1	
1275	5	領収証	明治36年	福岡県遠賀郡洞南村大字折尾　森兄弟合名会社業務担当社員　森寿之吉(印)	望月蔵平殿、柴田直敏殿	野田報道会報告ハガキ2000枚代金37円領収	切紙	1	
1275	6	〔領収書綴〕	明治36年10月16日	八幡町大字枝光製鉄所　本門前橋本屋事　川口旅舘(印)	上様	御茶料1円余領収ほか	綴	1	算用書上1通・記2通紙縒綴
1276		〔通知〕	大正2年8月25日	国光生命保険相互会社　取締役社長　子爵　佐竹義理(東京市京橋区尾張町新地拾八	評議員　野田卯太郎殿	定時評議員会開催につき決議事項通知	切紙	1	封筒あり
1277		〔通知〕	(明治後期頃)5月16日	分区委員古賀次三郎(印)	各社員御中	大牟田町藤丸一派による赤十字社関係物品の押売販売について	切紙	1	
1278		〔封筒〕	(明治37年)5月11日	中学伝習舘寄宿舎第五舎第一号室ニ而　野田信之	三池郡岩田村字岩津　野田卯太郎様		封筒	1	年は消印
1279		〔通知〕	明治36年11月11日	嗣子　片岡啓太郎、男　片岡恒次郎、男　片岡蔵三郎、男　片岡熊五郎	福島(ママ)県三池郡岩田村　野田卯太郎殿	片岡健吉死亡につき通知	紙	1	封筒あり
1280		〔書簡〕	明治36年9月10日	兼道(京都烏丸通り七条上ル大谷派本願寺　安楽兼道)	野田賢契(筑後国岩田村　野田卯太郎)	欠員なきにつき貴台斡旋による就職希望者の任用断りの事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1281	1	〔領収書〕	(明治36年頃)	栄や	野田様	昼賄代ほか代金12円余受取	罫紙	1	1281-1～2封筒一括。封筒上書「郵便切手并ニ目録入」
1281	2	〔領収書綴〕	明治36年11月14日	福岡県三池郡大牟田町　常盤旅舘(印)	野田様	宿料ほか代金16円余受取	綴	1	記1通・罫紙6枚書類留(針・除去済)綴
1282		〔封筒〕	(明治36年6月24日)	筑前鞍手郡頓野村　水田□	東京芝区琴平町信濃屋支店野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は封筒消印
1283		領収証	明治36年6月25日	筑前国太宰府町　菅公会事務所	筑後国三池郡岩田村　野田卯太郎殿	十七銀行宛当座小切手1枚領収	葉書	1	
1284		〔名刺〕	(明治後期頃)9月8日	東京赤坂台町　森田茂吉	福岡県三池　野田卯太郎殿		名刺	1	封筒あり
1285		〔封筒〕	(明治後期頃)8月21日	大阪市西区南堀江壱丁目　入江本店	福岡県筑後国三池郡大牟田町三池銀行　野田卯太郎殿		封筒	1	
1286		〔封筒〕	(明治35年12月31日)		福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印
1287		証	明治33年6月30日	首藤文雄(印)	野田卯太郎殿	金20円借用	切紙	1	封筒あり。封筒上書「首藤借金証文」
1288		〔書簡〕	(明治41)年7月20日	福岡県三池郡岩田村　松尾喜久蔵(印)	野田卯太郎殿	孫女出生につき祝い、別紙追認書へ押印願い	罫紙	1	封筒あり
1289		委任状	明治37年8月	三池郡岩田村　野田卯太郎		三池郡駛馬村地所貸付に関する一切の件につき	綴	1	案文。切紙2枚紙縒綴
1290		〔葉書〕	(明治36年)11月7日	中村宗雄	筑後国三池郡岩田村　野田卯太郎様	弔辞返礼	葉書	1	年は消印
1291		〔葉書〕	(明治36年)11月6日	明治開委員　黒田純蔵、外四	三池郡岩田村　野田卯太郎様	明治開工事費送付願い	葉書	1	年は消印
1292		〔封筒〕	(明治27年12月15日)	福岡県浮羽郡千年村　国武源平	東京芝区琴平町信濃屋支店野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印。1292～1300紙縒一括
1293		〔書簡〕	明治38年1月	発起人総代　佐藤真一、佐藤昌蔵、山口熊野、鵜飼節郎、井上敬次郎(東京市赤坂区青山北町四丁目六番地)	野田卯太郎様(芝区琴平町信濃屋支店)	横川省三氏墓碑落成及び一周年祭典挙行につき通知、捐金1円領収書添付	紙	1	封筒あり
1294		〔書簡〕	明治38年1月1日	伊藤吉太郎(福岡県遠賀郡岩崎炭坑)	野田卯太郎殿(東京芝区信濃屋)	年頭挨拶	切紙	1	
1295		〔書簡〕	(明治38年)1月20日	浪雄(栃木県下都賀郡間々田村間々田駅前扇屋　永江浪雄)	野田様(東京市芝琴平町信濃屋支店　野田卯太郎)	複線用地買収のため当地滞留中につき品物受取の件は家内へ申遣せし事ほか	罫紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1296		〔書簡〕	(明治)37年11月29日	浜武(福岡県三池郡大牟田町薬種商及諸品仲買商　主信堂浜武文治)	野田様(東京芝区琴平町信濃屋方　野田卯太郎)	駛馬地所取調べの件、海面の件は肥前山崎忠之進へ請求したれども至急には運ばざる事ほか	継紙	1	封筒あり
1297		〔書簡〕	(明治)38年元旦	若杉昇(出征後備歩第六旅団備歩兵第拾三聯隊第三中隊)	野田卯太郎様(大日本帝国福岡三池郡岩田村)	年賀状、賽馬集近郊にて露営中の事ほか	継紙	1	封筒あり
1298	1～3	履歴書	明治38年1月27日	東京市牛込区新小川町一丁目十三番地　光行民雄(印)	東京芝区琴平町信濃屋支店野田卯太郎殿		切紙	3	同文
1299		〔封筒〕	(明治31年)10月23日	熊本市五本松町　塩屋茂平	芝区琴平町信濃屋支店ニテ野田卯太郎殿		封筒	1	年は消印
1300		〔書簡〕	(明治38年)1月25日	栄屋旅舘(福岡市橋口町)	野田御旦那様(東京芝区琴平町信濃屋支店ニテ　野田卯太	上京の際に依頼の福太郎の荷物到来の事、依頼の博多織送付の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1301		〔書簡〕	(大正3年)7月31日	鳴雷(緑泉亭)	大塊、蘇麓両先生(京城旭町二丁目一一　市原盛宏)	俳句・付句書上	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1302	1	〔書簡〕	(大正3年)10月29日	国民新聞社会計部(東京市京橋区日吉町二十番地)	野田様(朝鮮京城西小門七五野田卯太郎)	旧約手返送通知、約束手形同封	切紙	1	1301-1～2封筒一括
1302	2	約束手形	大正3年8月1日	徳富猪一郎	野田卯太郎殿	金2,000円につき	紙	1	
1303		〔書簡〕	(大正3年)11月3日	朴守鉉(開城北本町)	野田副総裁閣下(京城西小門通　野田東拓副総裁)	彩霞洞来訪と詩歌寄贈の御礼	継紙	1	封筒あり
1304		〔手習い〕	(大正4年12月)			峰子手習い、題字「アノ山コノ川」	切紙	1	封筒あり。封筒上書「峯子の清書初学可年十二月　大正四」
1305		〔書簡〕	(大正4年)1月19日	都筑(東京　都筑馨六)	野田先生(朝鮮京城朝鮮銀行ニテ　野田卯太郎)	原氏来訪、3時間程談論続発し意見交換せし事、老侯の政友会攻撃には頗る困り居る事、政友会弁護に関する原氏の意見など	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1306	1	〔俳句六題〕	(大正初年)			「釜山ニ於而　禿山の雪は殊更景色哉」など6句書上	継紙	1	1306-1～4封筒一括。封筒上書「雑書
1306	2	〔葉書〕	大正2年8月	男中林袈裟吉(印)、外親戚一同	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎様	亡父逝去の際の弔辞への御礼	葉書	1	
1306	3	〔通知〕	大正元年9月19日	柳河区裁判所三池出張所	三池郡岩田村岩津　野田卯太郎様	大牟田字笹林畑3畝余登記につき	葉書	1	
1306	4	記	大正2年8月11日	三池銀行(印)	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	農工銀行配当金53円入帳につき通	葉書	1	
1307	1	〔書簡〕	(大正初年)5月21日	近藤秀次郎	野田卯太郎様	第三土木管区より書類差し戻しにつき訂正部分捺印の上返送願い	罫紙	1	1307-1～3包紙一括。包紙上書「近藤代弁人の書類并ニ名
1307	2-1～17	〔名刺〕	(大正初年)	福井博ほか			名刺	17	
1307	3	郵便物受領証	(大正2年5月31日)	(小倉郵便局)	大牟田本町登記代弁事ム所近藤秀次郎		紙	1	
1308		〔書簡〕	(大正2年)6月17日	杉(門司市錦町花屋旅館内杉乙四郎)	野田様(東京市麻布区材木町弐拾弐番地　野田卯太郎)	復職運動につき平尾九州鉄道管理局長へ斡旋願い	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1309	1	〔電報〕	(大正4年1月19日)	ケイゼウ局ハヤシリジ(京城局林理事)	イワタムライワツ　ノダウタロウ(岩田村岩津　野田卯太郎)	イワタ和解契約履行済(イワタワカイケイヤクリコウスミ)	電報	1	1309-1～8封筒一括。封筒上書「電信
1309	2	〔電報〕	(大正4年1月22日)	チクゴワタセ局マキヤマ(筑後渡瀬局林理事)	ベツプ　ナカヤマリヨカンカタノダウタロウ(別府中山旅館方野田卯太郎)	明日寄る、タツキチにてお目にかかりたし、御都合返(アスヨル タツキチニテオメニカカリタシゴツコウヘン)	電報	1	
1309	3	〔電報〕	(大正4年1月18日)	ナンタイモン局マキヤマ(南大門局牧山)	サイモクテウ二九　ノダウタロウ(東京麻布区材木町29　野田卯太郎)	長崎へ手配依頼	電報	1	
1309	4	〔電報〕	(大正4年1月18日)	チクゴエノウラ局コタマ(筑後江ノ浦局)	ザイモクテウ二九　ノダウタロウ(東京麻布区材木町29　野田卯太郎)	政府にては東拓副総裁と衆議員兼任を許可せざる方針の旨の内調ある事	電報	1	
1309	5	〔電報〕	(大正4年1月18日)	(筑後江ノ浦局コタマ)	(野田卯太郎)	1309-4の続き	電報	1	
1309	6	〔電報〕	(大正4年1月18日)	ケイゼウ局ヨシワラ(京城局吉原)	ザイモクテウ二九　ノダウタロウ(東京麻布区材木町29　野田卯太郎)	兼職不認可と決定	電報	1	
1309	7	〔電報〕	(大正4年1月17日)	ケイセウ局コタマ(京城局)	ミイケクンユワタムラ　ノダウタロ(三池郡岩田村　野田卯太郎)	政府にては東拓副総裁と衆議員兼任を許可せざる方針の旨の内調あ	電報	1	
1309	8	〔電報〕	(大正4年1月17日)	(京城局コタマ)	(野田卯太郎)	1309-7の続き	電報	1	
1310		〔収支報告書〕	大正4年1月	たきの	御父上様(野田卯太郎)	俊作送金など大正3年度家計収支につき	継紙	1	封筒あり。封筒上書「岩田の歳計書入」

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1311		証人呼出状	大正2年4月12日	東京区裁判所裁判書記　長坂善尉(印)	野田卯太郎殿	利得金返還事件に関する証人訊問のため、尋問事項の説明書添付	綴	1	切紙1枚・罫紙2枚糊付け綴。封筒あり。封筒上書「裁判所呼出書入　野田」
1312		〔書簡〕	大正2年9月4日	近藤秀次郎(三池郡大牟田本町一丁目)	野田卯太郎閣下(三池郡岩田村)	輝雄の保線区事務所転任につき斡旋願い	継紙	1	封筒あり
1313		当座勘定入金案内状	大正5年8月14日	東京市日本橋区駿河町井一番地　株式会社三井銀行(印)	野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門町七五)	金2,000円入金につき	葉書	1	封筒あり。封筒差出人は三井合名会社団琢磨
1314	1	〔書簡〕	(大正4年)7月16日	吉原(東京麻布区市兵衛町二ノ六一　吉原正隆)	野田老台(朝鮮京城西小門内野田卯様太郎)	浮羽郡の県会議員選挙候補者の人選、党勢不利につき県の首領として御活動願い、遊説隊を組織せし事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。1314-1～8封筒一括
1314	2	〔書簡〕	(大正4年)7月17日	由布惟義(福岡県柳河)	野田雅兄(京城西小門　野田卯太郎)	御送付の蘭竹画の件、江口虎次郎ほか希望につき雇額三面送付の件	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1314	3	〔書簡〕	大正4年7月18日	権蔵(大邱　第弐報国鉱山事務所　田村権蔵)	野田尊台(京城西小門　野田卯太郎)	御報知の御礼、金山の件につき御配慮願い	罫紙(2枚)	1	封筒あり
1314	4-1	〔書簡〕	(大正4年)7月17日	野田増一郎(福岡県三池郡大牟田町三池銀行)	野田卯太郎様(朝鮮京城西小門)	銀行総会決議事項、配当金振込みにつき通知	継紙	1	1314-4-1～2封筒一括
1314	4-2	当座勘定入金通知書	大正4年7月17日	株式会社三池銀行(印)	野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門)	三池銀行配当金80円振込	紙	1	
1314	5	〔書簡〕	(大正4年)7月17日	釜山宝水町二丁目　多賀谷秀平方　林清三郎	野田卯太郎様　執事(京城西小門町)	就職口依頼の件につき配慮願い	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1314	6	〔書簡〕	(大正4年)7月16日	林田守隆(福岡県浮羽郡田主丸町)	野田卯太郎(朝鮮京城西小門町)	人参エキス1瓶の御礼、天候の件	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1314	7	〔書簡〕	(大正4年)7月16日	水野澄治(福岡県山門郡山川村)	野田卯太郎様(朝鮮京城西小門町七拾五番地)	薬品恵贈、墨蘭揮亳の御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1314	8	〔書簡〕	(大正期)7月18日	小一郎(立花小一郎)	大塊先生(西小門内　野田卯太郎)	見舞いの御礼、転地に出発、この品御賞味下されたき事	継紙	1	封筒あり
1315	1	〔吉会線物資調査書〕	(明治大正期)			吉会線速成の必要性を沿線となる地方の物資産出状況などより説いたもの	書綴(罫紙)	1	1315-1～2封筒一括。封筒上書「吉会線物資調査書入」。1315-1～4紙縒一括
1315	2	〔吉会線物資調査書写〕	(明治大正期)			1315-1の写	紙	1	
1315	3	〔銀行・会社名書上〕	(明治大正期)			三池銀行・三池紡績会社ほか	切紙	1	
1315	4	第三十七回帝国議会衆議院東洋拓殖株式会社法中改正法律案委員会議録第1回～第5回	大正5年2月14～24日				一纏り(切紙1・書綴4)	1	封筒あり(麻布区市兵衛町二ノ六一吉原正隆より朝鮮京城西小門町野田卯太郎宛)
1316		〔書簡〕	(大正4年)1月26日	島徳蔵(大阪市東区高麗橋五丁目九番屋敷)	野田尊台(福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎)	特殊会社重役と衆議院議員兼職の禁止により現職留任願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1317		委任状	明治34年6月23日	三池郡岩田村大字岩津廿三番地　野田卯太郎		大牟田町地賃請求裁判の件につき、委任状雛形	罫紙	1	1317～1337紙縒一括
1318		証	明治32年12月15日	大日本水産会(印)	野田卯太郎殿	明治30年9月～32年12月までの会費4円領収	切紙	1	
1319		〔書簡〕	(明治大正期)3月27日	三池銀行(印)	野田卯太郎様	九州紡績会社新旧株式の引替につき200円入金願い	罫紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1320	1	証	明治33年12月4日	谷川達海(印)	野田卯太郎殿	備中高山鉄山試掘出願費に金50円受取	切紙	1	1320-1～2封筒一括。封筒上書「谷川氏受取書　福岡支部
1320	2	受取	明治33年11月30日	福岡市福岡橋口町四十六番地　立憲政友会福岡県支部	野田卯太郎殿	政友会支部費70円受取	罫紙	1	
1321		領収証	明治29年3月31日	株式会社三池銀行　大牟田支店(印)	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿	西海鉄道発起株に対する証拠金40円領収	紙	1	封筒あり。封筒上書「西海鉄道払込　収領収書入」
1322		勘定書	明治32年12月12日	株式会社三池銀行株式会社(印)	野田卯太郎殿	利息100円余書上	紙	1	封筒あり。封筒上書「三池銀行勘定書入」
1323	1	領収証	明治30年3月5日	三池肥料株式会社創立事務所　常務委員　坂井真澄(印)	野田卯太郎殿	発起株30株の証拠金15円領収	紙	1	1323-1～3封筒一括。封筒上書「三池肥料会社　証拠金受
1323	2	領収証	明治30年3月27日	三池肥料株式会社創立事務所　常務委員　坂井真澄(印)	山嵜断殿	発起株20株の証拠金10円領収	紙	1	
1323	3	領収証	明治30年8月11日	九州肥料株式会社　株式会社三池銀行(印)	野田卯太郎殿	50株分払込金600円領収	紙	1	
1324	1	受取証	明治31年4月27日	三池土木株式会社(印)	野田卯太郎殿	当社株式会社第1回払込金延滞料11銭余受取	切紙	1	1324-1～5封筒一括。封筒上書「三池土木会社　株金受取
1324	2	領収証	明治28年8月6日	三池土木合資会社　会計掛(印)	野田卯太郎殿	出資金の入金延滞料1円余領収	罫紙	1	
1324	3	払込金勘定書	(明治中後期)	(印・「三池土木合資会社印」)	野田卯太郎殿	株式払込高500円ほかにつき	罫紙	1	
1324	4	領収証	明治28年8月6日	三池土木合資会社　野口忠太郎(印)	野田卯太郎殿	当社出資金入金分50円領収	罫紙	1	
1324	5	領収証	明治28年4月30日	三池土木合資会社　野口忠太郎(印)	野田卯太郎殿	当社出資金入金分50円領収	罫紙	1	
1325	1～8	領収證	明治28年6月20日	三池海面開築合資会社専務取締役　板井真澄	野田卯太郎	払込金、他に金員渡の通知書及び委任状あり			
1325	1	領収証	明治28年6月20日	三池海面開築合資会社専務取締役　坂井真澄(印)	野田卯太郎殿	出資金分7円余領収	紙	1	1325-1～8封筒一括。封筒上書「卅四年六月　海西海面埋立会社払入受取書
1325	2	領収証	明治30年10月9日	三池海面埋築株式会社　株式会社三池銀行(印)	野田卯太郎殿	出資金分67円余領収	紙	1	
1325	3	領収証	明治32年9月20日	三池海面埋築株式会社　株式会社三池銀行(印)	野田卯太郎殿	6株分第2回払込金75円領収	紙	1	
1325	4	領収証	明治33年5月9日	三池海面埋築株式会社　株式会社三池銀行(印)	野田卯太郎殿	6株分第3回払込金75円領収	紙	1	
1325	5	領収証	明治34年3月11日	三池海面埋築株式会社　株式会社三池銀行(印)	野田卯太郎殿	6株分第4回払込金75円領収	紙	1	
1325	6	受取証	明治35年10月24日	明治開委員惣代　黒田純蔵(印)	野田卯太郎殿	明治開工事費67円余受取	罫紙	1	
1325	7	〔通知〕	明治35年5月19日	取締役惣代　坂井真澄		金員引渡しのため株式ほか持参願	切紙	1	
1325	8	委任状	明治35年5月26日	野田卯太郎(印)		三池海面埋築株式会社総会につき	切紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1326		証	明治32年9月15日	岩田村大字岩津　野田卯太郎(印)	三池銀行御中	金250円借用	罫紙	1	封筒あり。封筒上書「卅二年九月二十日海面埋立会社其他受取書入」
1327	1～6	借用金證書	明治33年8月31日	三池郡岩田村　野田卯太郎	三池銀行	他、委任状・承諾証書・利息通知書あり			
1327	1	借用金証書	明治33年8月31日	筑後国三池郡岩田村岩津廿三番地　野田卯太郎(印)	株式会社三池銀行御中	九州紡績会社株式75株抵当にて金1970円借用	切紙	1	1327-1～6封筒一括。封筒上書「三池銀行十二月払込勘定書入　旧証書入」
1327	2	委任状	(明治30年頃)	福岡県三池郡岩田村大字岩津弐拾参番地　野田卯太郎		九州紡績株式会社59株名義書換につき	切紙	1	
1327	3	承諾証書	(明治30年頃)	福岡県三池郡岩田村大字岩津弐拾参番地　野田卯太郎		九州紡績株式会社株59株貸渡しにつき	切紙	1	
1327	4	通知書	明治34年12月25日	株式会社三池銀行(印)	野田卯太郎殿	利息113円余入帳	紙	1	
1327	5	通知書	明治34年12月25日	株式会社三池銀行(印)	野田卯太郎殿	利息67銭余入帳	紙	1	
1327	6	通知書	明治35年12月30日	株式会社三池銀行	野田卯太郎殿	利息123円余入帳	紙	1	
1328		領収証	明治34年11月11日	三池魚類株式会社(印)	野田卯太郎殿	第5回払込金2株分40円領収	罫紙	1	封筒あり。封筒上書「魚市場五回払込証入　三十四年十一月十一日」
1329		通知書	明治34年6月27日	三池銀行株式会社(印)	野田卯太郎殿	利息118円余入帳	紙	1	封筒あり。封筒上書「三池銀行利子受取入」
1330		通知書	明治38年12月19日	株式会社三池銀行	野田卯太郎殿	当座預金貸越利息67円余入帳	紙	1	封筒あり。封筒上書「借越利子払込受取証入　三十八年十二月十九日」
1331	1	証	(明治)36年1月	塚本房二郎(印)	野田卯太郎殿	字中牟田用水路新設費92銭領収	紙	1	1331-1～2封筒一括。封筒上書「大牟田地所ニ関スル分」
1331	2	〔地所書上〕	(明治36年1月)			地主野田卯太郎分畑1畝余ほか5筆書上	切紙	1	
1332	1	借用証	(明治)24年3月31日	新村佐一郎(印)(大牟田町)	野田卯太郎殿	金30円借用ほか	書綴(罫紙)	1	
1332	2	〔領収書綴〕	(明治23年3月25日)	野田卯太郎	山下次平様	郵便為換料6銭ほか書上	綴	1	記・書留郵便物請取証・受領証書(為替金ほか)各1通紙縒綴
1332	3	〔会合領収書綴〕	明治20年9月13～15日	三池郡大牟田村　北村又助(印)ほか	永松様ほか	御料理31人前分代金10円余請取、戸長16人ほか人名書上	綴	1	記4枚・書上2枚紙縒綴
1332	4	証	(明治大正期)旧7月9月26日	玉川亭(印)	御上様	御料理12人前分2円余請取	切紙	1	
1332	5	証	(明治大正期)第7月31日	若松屋(印)	野田様	金巾シヤツ2枚ほか代金2円余請取	罫紙	1	
1333	1	領収証	明治31年4月5日	株式会社福岡県農工銀行株金取扱所　株式会社三池銀行	野田卯太郎殿	株式53株第1回払込金15円領収	紙	1	封筒あり。封筒上書「農工銀行株券預り書入并ニ株金払込受取書入」

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1333	2	領収証	明治32年3月14日	福岡県農工銀行証拠金取扱所　株式会社三池銀行	野田卯太郎殿	株式53株第2回株金払込265円領収	紙	1	
1333	3	領収証	明治32年9月15日	福岡県農工銀行株金取扱所　株式会社三池銀行	野田卯太郎殿	株式53株第3回払込金265円領収	紙	1	
1333	4	領収証	明治33年5月2日	株式会社三池銀行	野田卯太郎殿	株式53株第4回払込金265円領収	紙	1	
1334	1～3	領収証	明治40年1月14日	九州肥料株式会社清算人　福井福太郎	野田卯太郎	債務弁償金について、株金払い込みについて、責任解除証			
1334	1	責任解除証	明治40年1月14日	九州肥料株式会社　清算人　福井福太郎(印)、余田末人	野田卯太郎殿	未払株金35円分につき	紙	1	
1334	2	株金領収証	明治40年1月14日	九州肥料株式会社　清算人　福井福太郎(印)、余田末人	野田卯太郎殿	株式60株分150円領収	紙	1	
1334	3	領収証	明治40年1月14日	九州肥料株式会社清算人　福井福太郎(印)、余田末人(印)	野田卯太郎殿	九州肥料株式会社債務弁済金250円書上	罫紙	1	
1335	1	〔星野鉱区図〕	(明治大正期)				切紙	1	1335-1～2封筒一括。封筒上書「星野鉱区図及書類入」
1335	2	〔星野鉱区名書上〕	(明治大正期)			計6鉱分坪数11万9637坪につき	罫紙	1	
1336	1～4	領収証	明治37年5月6日	九州製油株式会社取扱所	野田卯太郎	払込金について、他に貸金利子勘定書、領収証、辞任届			
1336	1	領収証	明治37年5月6日	九州製油株式会社取扱所(印)	野田卯太郎殿	第8回払込100株分延滞料700円領収	紙	1	1336-1～4封筒一括。封筒上書「九油会社取締辞任書及瀬高銀行受取入」
1336	2	貸金利子勘定書	明治37年5月6日	福岡県山門郡瀬高町上庄百八拾弐番地　株式会社瀬高銀行(印)	野田卯太郎殿	明治37年貸金分の利子7円余受取	紙	1	
1336	3	□□用紙	(明治37年頃)			受取人瀬高銀行、金400円ほか	紙	1	
1336	4	辞任届	明治33年6月	野田卯太郎(印)	九州製油株式会社重役御中	取締役辞任申し込み	罫紙	1	
1337	1	預り証	明治29年9月24日	株式会社三池銀行(印)	野田卯太郎殿	九州製油株式会社払込金250円預り	罫紙	1	1337-1～10封筒一括。封筒上書「三十一年五月　製油会社第四回払込収領証
1337	2	証	明治29年7月4日	九州製油株式会社創立事務所、株式会社筑紫銀行	野田卯太郎殿	発起株100株分証拠金50円領収	紙	1	
1337	3	領収証	明治29年8月21日	九州製油株式会社　創立事務所、第九十六国立銀行	野田卯太郎殿	九州製油株式会社発起株100株分証拠金50円領収	紙	1	
1337	4	領収証	明治29年11月21日	九州製油株式会社、三池銀行(印)	野田卯太郎殿	九州製油株式会社発起株払込残金50円領収	紙	1	
1337	5	領収証	明治30年3月25日	九州製油株式会社、株式会社三池銀行	野田卯太郎殿	九州製油株式会社株式100株分第1回払込金850円領収	紙	1	
1337	6	領収証	明治30年8月25日	九州製油株式会社、三池銀行(印)	野田卯太郎殿	九州製油株式会社株100株分第3回払込金200円領収	紙	1	
1337	7	領収証	明治31年5月28日	九州製油株式会社、三池銀行(印)	野田卯太郎殿	九州製油株式会社株100株分第4回払込金500円領収	紙	1	
1337	8	領収証	明治33年2月28日	九州製油株式会社、株式会社三池銀行	野田卯太郎殿	九州製油株式会社株100株分第5回払込金500円領収	株	1	
1337	9	領収証	明治33年10月24日	九州製油株式会社、株式会社三池銀行(印)	野田卯太郎殿	九州製油株式会社株100株分第6回払込金300円領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1337	10	領収証	明治36年4月30日	九州製油株式会社　取扱所株式会社三池銀行(印)	野田卯太郎殿	九州製油株式会社株100株第7回払込金300円領収	紙	1	
1338		〔書簡〕	(明治29年)2月3日	正久(東京芝区神谷町十八番地　松田正久)	純一様、卯太郎様(福岡県三池郡大牟田町　紡績会社ニ而野田卯太郎、永江純一)	佐賀より三池に達する鉄道付設の計画についてなど	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1339		〔書簡〕	(明治大正期)4月27日	林英吉	紡績会社重役中	野田君発病につき容体伺い	切紙	1	封筒あり
1340	1	〔書簡〕	(明治大正期)8月31日	在葱秀駅　小児		在韓近況の報告	書綴(罫紙)	1	1340-1～2封筒一括。封筒上書「在韓小児報知」
1340	2	〔書簡〕	明治27年1月31日	葱秀駅ニて		平壌などでの戦闘状況について	継紙	1	
1341	1	記	(明治)27年1月12日	三池銀行(印)	野田卯太郎殿	預り金80円相渡し	継紙	1	1341-1～3封筒一括。封筒上書「三池銀行金百円請取証入并ニ小柳の請取証入明治廿七年十一月」
1341	2	確受証	明治27年1月12日	三池銀行(印)	野田卯太郎殿	丙第6号貸付金の内450円受取	紙	1	
1341	3	確受証	明治27年11月22日	株式会社　三池銀行　大牟田支店(印)	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	丙第17号貸金の内100円受取	紙	1	
1342	1	請取証	明治32年1月18日	株式会社三池銀行　支配人黒田純蔵(印)	野田卯太郎殿	利子107円余請取	紙	1	1342-1～2封筒一括。封筒上書「三池銀行受取書并ニ目六
1342	2	〔書簡〕	1月19日	黒田(純蔵)	野田老台(野田卯太郎)	借入金130円の繰り入れにつき、元金・利子の計算書上	継紙	1	
1343	1	魚市場新築目論見	明治24年10月17日	三池土木会社(印)	野田卯太郎殿		書綴(罫紙)	1	1343-1～7封筒一括。封筒上書「卅年一月卅日　三池土木会社仕払目六入　魚市場新築費等」
1343	2	大牟田魚市場図面	(明治24年)	(三池土木会社)			切紙	1	
1343	3	三池郡三川村漁獲高	明治24年末			三池郡・山門郡漁獲高、水産製品書上等あり	書綴	1	
1343	4	記	(明治)27年7月5日	三池土木合資会社(印)	野田卯太郎殿	魚市場新築費233円余につき差引書上	罫紙	1	
1343	5	記	明治30年1月19日	三池土木合資会社(印)	野田卯太郎殿	杉長7尺ほか代金9円請求	罫紙	1	
1343	6	記	明治30年1月30日	三池土木合資会社(印)	野田卯太郎殿	魚市場新築請負残額47円余書上	罫紙	1	
1343	7	受取証	明治30年1月30日	三池土木合資会社会計	野田卯太郎殿	魚市場新築請負残りほか56円余受	罫紙	1	
1344		明治生命会社保険申込証書・向坂氏ヨリ買入タル地所証書入		三池紡績株式会社					
1344	1	地所売渡証	明治22年	三池郡大牟田村売渡人　向坂黙甫(印)、三池郡大牟田村保証人　向坂由久馬(印)	野田卯太郎殿、永江純一殿	三池郡下里村字西屋敷宅地9畝余代金170円にて売渡	罫紙	1	1344-1～5封筒一括。封筒上書「明治生命会社保険申込証書　向坂氏ヨリ買入タル地所証書入」
1344	2	記	(明治)28年1月	向坂黙甫(印)	野田卯太郎様	家賃・宅地料22円余書上	罫紙	1	
1344	3	証	(明治中後期)	大工　文造(印)	向坂様	板代・大工手間代50銭余受取	切紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1344	4	借地ニ付定約証	(明治)29年2月	三池郡大牟田町借主　新村佐一郎(印)、同町百四拾弐番地保証人　蓮尾彦次郎(印)	野田卯太郎殿	大牟田町大字下里宅地2畝余につき	罫紙	1	封筒あり。封筒上書「新村佐一郎居宅敷地料定約証書書入　廿九年二月封入」
1344	5-1	証	(明治中後期)7月	森田半次郎	向坂黙甫殿	小麦から60包ほか代金1円余受取	切紙	1	1344-5-1～3封筒一括。封筒上書「要用目六入　野田卯太郎様　貴酬」
1344	5-2	記	(明治中後期)9月30日	向坂黙甫(印)	野田卯太郎殿	家賃ほか12円余送付	切紙	1	
1344	5-3	〔書簡〕	(明治中後期)9月14日	向坂	野田様	下里家賃支払い願い	継紙	1	
1345		紡績会社ノ証書入		三池紡績株式会社					
1345	1	借用証	明治31年8月11日	三池紡績株式会社(印)	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	1,000円借用	罫紙	1	1345-1～4封筒一括。封筒上書「紡績会社ノ証書入」
1345	2	借用証	明治30年12月8日	三池紡績株式会社(印)	野田卯太郎殿	3,000円借用	罫紙	1	
1345	3	証	明治31年1月21日	福岡県三池郡大牟田町　三池紡績株式会社(印)	野田卯太郎殿	株式8株分第6回払込金48円領収	紙	1	
1345	4	証	明治31年1月21日	福岡県三池郡大牟田町　三池紡績株式会社(印)	野田卯太郎殿	株式41株分第5回払込金225円余領収	紙	1	
1346	1-1	借用金証書	明治30年5月22日	三池郡岩田村借用人　野田卯太郎(印)、三池郡大牟田町証人　鳥巣憲治(印)	合名会社　三井銀行　三井出張店御中		切紙	1	1346-1～2糊付一括。1346-1～2封筒一括。封筒上書「潰シ　三井銀行借金証書并ニ利息受取書入　三井銀行利息受取書入　卅年十二月廿
1346	1-2	証	明治30年9月6日	合名会社三井銀行　赤間関支店　三池出張所(印)	野田卯太郎殿		切紙	1	
1346	2-1	〔元利計算書上〕	(明治30年頃)			利息34円余分につき	切紙	1	1346-2-1～6書類留(針)一括
1346	2-2	委任状	明治(30年頃)	野田卯太郎(印)		未使用	切紙	1	
1346	2-3	追約証	明治30年12月	借主　野田卯太郎(印)、証人鳥巣憲治(印)	合名会社三井銀行御中	金470円返済延期につき	切紙	1	
1346	2-4	担保品交換書	明治30年11月16日	三池郡岩田村　野田卯太郎(印)	合名会社　三井銀行　三井出張所御中	金970円借用につき三池新債第1新株20株ほか受取	罫紙	1	
1346	2-5	借用金証書	明治30年9月6日	三池郡岩田村借人 野田卯太郎(印)、保証人　鳥巣憲治	合名会社　三井銀行御中	金970円借用	切紙	1	
1346	2-6	請取証	明治30年12月20日	三池銀行株式会社支配人　黒田純蔵	野田卯太郎殿	利子107円余請取	紙	1	
1347		〔郵便払込用紙〕	(明治中後期)			三越呉服店大阪支店用、未使用	紙	1	1347～1361紙縒一括
1348		〔電報〕	(明治43年)10月13日	フツカイチ局　ノタ(二日市局野田)	イワタムラ　ノタシユスケ(岩田村野田俊介)	本日大牟田にいく、晩九時帰る(ケフオホムタニユク　バン九ジカイル)	電報	1	
1349		〔電報〕	(明治43年)12月7日	アサブ局　ノダ(麻布　野田)	イワタムラ　ノダウタロウカタ　オホイシ(岩田村野田卯太郎方)	無事今着いた(ブジイマツイタ)	電報	1	
1350		〔電報〕	(明治43年)12月10日	アサブ局　ノダ(麻布局　野田)	イワタムラ　ノダウタロウ　ルスタク(岩田村　野田卯太郎　留主	今日本願寺で法事せり(ケフホンガンジニテホウジセリ)	電報	1	
1351		〔葉書〕	(明治43年)9月15日	麻布狸穴町　野田留	福岡県三池郡岩田村　野田梅乃様	病状伺い	葉書	1	年は消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1352		〔葉書〕	(明治40年2月26日)	柳河　信之(野田信之)	鹿児島七高寄宿舎　野田俊作兄	御尊父様より高等工業学校進学の助言を受けたるにつき東京高工などの件ほか	絵葉書	1	年月日は消印。絵葉書表題「柳川中学伝習館　(弥吉文具店発行)」
1353		〔葉書〕	(明治43年)11月11日	本郷区台町十五金水録　千郎	福岡県三池郡岩田村　野田俊作兄	友人の事ほか近況報告	絵葉書	1	年は消印。絵葉書表題「甲州白糸の瀧」
1354		〔葉書〕	(明治43年)9月24日	狸穴ニテ　とめ子(東京麻布)	福岡県三池郡岩田村　野田梅乃様	試験終了の事ほか近況報告	絵葉書	1	年は消印。絵葉書表題「船橋名所　袖ヶ浦(其一)(大野屋書店発行)」
1355		〔葉書〕	明治43年12月1日	下ノ関重砲兵第五聯隊第三中隊　一年志願兵　野田信之	福岡県三池郡岩田村岩津　野田俊作様	入営挨拶	葉書	1	
1356		〔葉書〕	(明治43年11月28日)	在京　卯太郎(野田卯太郎)	福岡県三池郡岩田村　野田俊作殿	法要も済み家内無事の件	絵葉書	1	年月日は消印
1357		〔葉書〕	(明治43年)12月7日	麻布区狸穴町　野田秀助	福岡県三池郡岩田村大字岩津野田卯太郎方ニテ　大石梅	京都より東京に無事到着につき報告	葉書	1	年は消印
1358		〔葉書〕	明治43年12月1日	下ノ関重砲兵第五聯隊第三中隊　一年志願兵　野田信之	福岡県三池郡岩田村　大石繁雄様	入営挨拶	葉書	1	
1359		〔書簡〕	(明治43年)11月9日	たつヨリ(台湾台北龍口街六ノ二　浦口たつ)	たきの愛姉へ(肥後国菊池郡城北村　松野瀧乃)	母の命日に台湾特産ウーロン茶送付の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1360		〔領収証〕	明治41年12月27日	福岡県三池郡岩田村　契約人野田卯太郎(印)	九州生命保険株式会社御中	保険料割戻金21円余領収	切紙	1	封筒あり。封筒上書「中洲九州生命保険会社事務所領収証
1361		〔書簡〕	(明治中後期)4月12日	川尻スハヨリ　由布惟通(三川村)	大牟田銀行　野田卯太郎様	前日話に出た小作人2名名前と訪問延期の通知	切紙	1	封筒あり
1362	1	御勘定書	大正4年4月2日	京城本町一丁目　三越呉服店出張所	西小門　野田卯太郎様	半袖ほか代金13円余書上	紙	1	1362-1～28封筒一括。封筒上書「領収証　大正四年五月
1362	2	領収証書	(大正4年4月15日)	京城明治町郵便所出納員　朝鮮総督府郵便所長柴田亀次	東洋拓殖株式会社納	3月分市外通話料1円余領収	紙	1	
1362	3	証	大正4年4月24日	龍山駅前　大売捌所　山田新聞部	野田卯太郎殿	新聞代1ヶ月分50銭領収	紙	1	
1362	4	記	(大正4年)4月末	畳表卸小売　京城南山町四鷹取畳店	西小門町　野田邸御中(京城)	春季大掃除畳職工1人分1円余受取	切紙	1	
1362	5	記	大正4年4月30日	京城旭町壱丁目　小林医院会計(印)	浜武誠次殿	薬代14円余領収	切紙	1	
1363	6	記	大正4年4月30日	京城旭町壱丁目　「カネ・イ」前田商店	野田様	小海老ほか代金1円余受取	紙	1	
1362	7	記	大正4年5月25日	村田安兵衛	上様	ヘブリン丸ほか薬代2円余相済	紙	1	
1362	8	記	大正4年5月30日	京城旭町壱丁目　「カネ・イ」前田商店	野田様	海老ほか代金68銭請取	紙	1	
1362	9	記	大正4年5月30日	京城西小門通　石炭各種・平壌無烟炭・平壌無烟煉炭・撫順炭　直輸入貿易商　西崎商	野田総裁邸様	石炭2俵代金1円余受取	紙	1	
1362	10	記	大正4年5月31日	京城太平町壱丁目　元祖食パン「イリヤマ・ア」相川兄弟	野田	食パン17斤ほか代金2円余書上	紙	1	
1362	11	〔領収書〕	大正4年5月21日	青木堂　鈴木(印)(京城南大門通三丁目)		ミルク・バター代	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1362	12	証	大正4年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	時事新報代5月分代金50銭領収	紙	1	1364-12～19同折
1362	13	領収証	大正4年	大阪朝日特約販売店 町田新聞部(印)	野田殿	大阪朝日5月分代金50銭領収	紙	1	
1362	14	領収証	大正4年	大阪毎日専売店 町田新聞部(印)	野田殿	大阪毎日5月分代金55銭領収	紙	1	
1362	15	領収証	大正4年	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	新聞代5月分代金40銭領収	紙	1	
1362	16	領収証	大正4年	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	新聞代5月分代金45銭領収	紙	1	
1362	17	領収証	大正4年	万朝報特約販売店 町田新聞部(印)	野田殿	萬朝報8月分代金30銭領収	紙	1	
1365	18	領収証	大正4年	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	国民新聞5月分代金33銭領収	紙	1	
1362	19	領収証	大正4年	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	京城日報5月分代金50銭領収	紙	1	
1362	20	記	大正4年	京城永楽町二丁目 平山牧場牛乳販売部、京城東小門外 平山牧場第一畜牛部、京城出宗仁面加五里村 平山牧場第二畜牛部	西小門町 野田殿	2月分受取	紙	1	
1362	21	〔領収書〕	大正4年6月1日	朝鮮京城太平町壱丁目 元祖食パン 「イリヤマ・ア」相川兄弟商会	野田様	パン代5月分2円余領収	紙	1	
1362	22	記	大正4年6月1日	京城明治町 唐川呉服店(印)	野田様	晒し1反ほか代金2円余書上	紙	1	
1362	23	記	(大正4年頃)6月3日	巴城舘(京城平町二丁目 巴城舘ホテル)	野田様	会席4人前代金7円余領収	切紙	1	
1362	24-1	郵便物受領証	(大正4年6月6日)	(京城大平通郵便局)	野田卯太郎	大邱三ヶ尻忠吾宛郵便物につき	紙	1	1362-24-1～2一括
1362	24-2	郵便物受領証	(大正4年6月6日)	(京城大平通郵便局)	野田卯太郎	福岡県三池郡岩田村役場馬場村長宛郵便物につき	紙	1	
1362	25	郵便物受領証	(大正4年6月8日)	(京城大平通郵便局)	野田卯太郎	福岡県鞍手郡直方町貝嶋太助宛郵便物につき	紙	1	
1362	26	郵便物受領証	(大正4年6月9日)	(京城大平通郵便局)	西小門町 野田卯太郎	福岡県遠賀郡長津村岩崎寿喜蔵宛郵便物につき	紙	1	
1362	27	受取証	大正4年6月	京城旭町二丁目 朝鮮雑誌社(印)	野田卯太郎殿	雑誌『朝鮮及満州』4月～6月分代金75銭受取	紙	1	
1362	28	領収証	大正4年6月	漢城衛生社(印)	野田殿	煙突掃除料5月分代金40銭領収	紙	1	
1363		〔書簡〕	明治27年6月17日	福永支店綿糸方(熊本市米屋町一丁目廿一番地)	永江様	撚糸関係の契約について	罫紙	1	封筒あり。封筒上書「永江様 所得税調」
1364	1	〔領収書〕	大正3年9月11日	故松田正久翁銅像建設委員(印)	野田卯太郎殿	故松田正久翁銅像建設費として寄附金200円領収	紙	1	1364-1～24封筒一括。封筒上書「諸受取書入 大正四年六月ヨリ十二月ニ至ル」
1364	2	領収証	大正4年3月23日	朝鮮ホテル 平春吉(印)	東洋拓殖株式会社 野田様	昼食料・ボーイ心付代金20円領収	切紙	1	
1364	3	記	大正4年3月	医局	野田副総裁殿	3月分代金2円余領収	切紙	1	
1364	4	請求及領収証	大正4年3月	朝鮮総督府鉄道局 京城朝鮮ホテル主任(印)	東拓 野田様	3月17日昼食6人前飲料代金17円余請求	罫紙	1	
1364	5	証	大正4年4月14日	京城図書館内 朝鮮書画会	野田副総裁殿	絵画1枚代金3円領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1364	6	〔領収証〕	大正4年4月	医局	野田副総裁殿	4月分代金1円余受領	紙	1	
1364	7	〔封筒〕				上書「大正四年四月受取証入」	封筒	1	
1364	8	証	大正4年5月3日	京城明治町三丁目　江頭眼科医院　会計係	野田殿	金3円領収	紙	1	
1364	9-1	〔書簡〕	(大正4年)5月19日	楠貫一(全南木浦府務安通田辺嘉之助様方)	野田様宅　留守居様(京城西小門　野田卯太郎)	当地にて為替金の換金出来ざるにつき、換金して三潴郡城島町中村トキ又は小野菅雄へ送付依頼	罫紙	1	1364-1～3封筒一括。年は消印
1364	9-2	通常為替金受領証書	(大正4年5月21日)	朝鮮総督府		通常為替金29円余領収	紙	1	
1364	9-3	郵便物受領証	(大正4年5月21日)	(京城郵便局)	東拓会長　野田卯太郎	木浦務安浦楠貫一宛書留郵便物につき	紙	1	
1364	10	記	大正4年5月20日	京城明治町弐丁目九十三番地　帳簿製造活版印刷　大海	野田様	名刺300枚代金1円余領収	紙	1	
1364	11	醸金仮領収証	大正4年6月1日	始政五年記念朝鮮物産共進会京城協賛会(印)	野田卯太郎殿	京城協賛会醸金250円領収	紙	1	
1364	12	〔領収書〕	大正4年6月14日	拓殖新報支社　高倉寛	野田副総裁殿	5周年記念写真帖1冊代金10円領収	切紙	1	
1364	13	〔領収書〕	大正4年6月26日	京城　銀行集会所(印)	野田卯太郎殿	6月分会費3円受領	紙	1	
1364	14	〔領収書〕	大正4年7月24日	京城　銀行集会所(印)	野田卯太郎殿	7月分会費3円受領	紙	1	
1364	15	〔領収書〕	大正4年8月12日	京城永楽町乃木会地方委員小林盛衛(印)	野田卯太郎殿	金5円領収	紙	1	
1364	16	郵便物受領証	(大正4年)8月26日	(京城明治町郵便局)	東拓　野田卯太郎	大牟田町三池銀行支配人宛書留につき	紙	1	
1364	17	〔領収書〕	大正4年8月26日	京城　銀行集会所(印)	野田卯太郎殿	8月分会費3円受領	紙	1	
1364	18-1	記	(大正4年5月)			京釜線汽車昼食代ほか5月2日分経費12円受取	継紙	1	18-1～3書類留(針)綴
1364	18-2	朝鮮総督府鉄道局食堂車及喫茶店領収証	大正4年5月2日	朝鮮総督府鉄道局		昼食4人・スピリット代4円余書上	紙	1	
1364	18-3	記	(大正4年)5月2日	釜山駅前　鉄道旅館　鳴戸支	野田様	酒代ほか3円余請取	紙	1	
1364	19	記	(大正期)8月10日	木村(印・「京城明治町一丁目表具師　木村修竹堂」)		表具1幅仕立代3円領収	切紙	1	
1364	20-1	〔領収証〕	大正4年5月1日	朝鮮京城旭町二丁目　朝鮮雑誌社　朝鮮古書刊行会(印)	野田宇(ママ)太郎殿	燃藜室記述6冊代金18円領収	罫紙	1	1364-20-1～4封筒一括。封筒上書「朝鮮研究会領収証入」
1364	20-2	〔領収証〕	大正4年6月	京城黄金町三丁目　朝鮮研究会　主幹　青柳綱太郎(印)	野田卯太郎殿	第12輯～第17輯代金12円領収	罫紙	1	
1364	20-3	〔通知〕	大正4年12月18日	東京市京橋区山城町十番地合資会社　中央新聞社業務執行委員	野田卯太郎殿	定時社員総会開催につき通知	紙	1	
1364	20-4	領収証	大正4年12月25日	京城黄金町三丁目　朝鮮研究会々計部(印)	野田卯太郎殿	第18輯～第23輯分代金12円領収	罫紙	1	
1364	21	〔領収証〕	(明治大正期)4月29日	波多野耕司	野田閣下	硯1個代60円請取	継紙	1	封筒あり。村田俊彦の封筒上書あり(受取書封入につき)
1364	22	〔書簡〕	(明治大正期)25日	大久保	野田副総裁殿	後援会費5円の御礼	切紙	1	
1364	23	〔名刺〕	(明治大正期)	早良郡鳥飼村　森田正路	野田卯太郎殿	友人大塚多熊氏紹介とあり	名刺	1	
1364	24	〔領収証〕	大正4年5月26日	京城　銀行集会所(印)	野田卯太郎	5月分会費3円受領	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1365	1	遺産及ヒ負債譲受証書	明治22年9月	譲受人三池郡岩田村　野田卯太郎、亡森養父山門郡　山下平作(印)、親族同郡同村　徳永又市(印)		亡山下森の遺産・負債を野田卯太郎が譲受につき	罫紙	1	1365-1～8封筒一括。封筒上書「亡森ニ関スル立山ニ係ル書類入」
1365	2	死跡相続届	明治22年9月31日	冨原村大字立山　山下平作(印)、仝村仝大字　親族　阿部源八(印)	村長鬼又彦殿	養子山下森死去につき死跡相続の事	罫紙	1	
1365	3	証明書	明治22年10月1日	村長鬼又彦代理　助役　檀観蔵(印)	山門郡冨原村大字立山八百三十弐番地　山下森相続　山下平作	山下森死去につき家督再相続の事	罫紙	1	
1365	4	委任状	(明治22年9月)	山門郡冨原村大字立山　山下平作親族　阿部源八(印)		未使用	罫紙	1	1365-4～6同折
1365	5	委任状	(明治22年9月)	山門郡冨原村　山下平作(印)		未使用	罫紙	1	
1365	6	委任状	明治22年9月30日	山門郡冨原村大字立山山下平作親族　樺島金次郎(印)		未使用	罫紙	1	
1365	7	記	(明治22年)	利光氏	山下森殿	元利58円余算用書上	切紙	1	1365-1～2封筒一括。封筒上書「亡山下森ニ係ル書類」
1365	8	〔施主人名書上〕	(明治22年)			古賀次太郎ほか22名書上	折紙	1	
1366	1	証	明治25年11月21日	東京銀座三丁目十六番地　桜組出張店(印)	野田様	ゴム入半□1足代3円余受取	紙	1	端裏書「信濃屋方」。1366-1～14封筒・紐一括。封筒上書「在東京　受取書入　野
1366	2	時計保険之証	明治22年3月13日	芝区愛宕下通桜川町一番地時計商　岡本菊三郎	上	修繕代金請取	紙	1	
1366	3	記	(明治中後期)11月30	信のや(印)	野田様	電報料・新聞代ほか10円余請取	継紙	1	
1366	4	記	(明治中後期)11月30	信のや(印)	野田様	電信御使いほか代金9円余請取	継紙	1	
1366	5	記	(明治中後期)12月2日	豊田屋弥一郎(印)	上	羽織ほか代金6円余請取	切紙	1	
1366	6	記	(明治中後期)12月11	□□ふ所丹羽(印)	野田様	寿司ほか代金1円余請取	継紙	1	
1366	7	記	(明治中後期)12月14	信のや(印)	野田様	宿泊料ほか代金24円余請取	切紙	1	
1366	8	記	(明治中後期)12月19	信のや(印)	野田様	電報御使いほか代金2円余請取	切紙	1	
1366	9	記	(明治中後期)12月19	信のや(印)	野田様	巻紙・新聞ほか代金4円如請取	継紙	1	
1366	10	記	(明治中後期)12月19	信のや(印)	野田様	代金7円請取	継紙	1	
1366	11	記	(明治中後期)12月21	浜吉支店(印)	六号　上様	宿泊料ほか9円余領収	切紙	1	
1366	12	家庭雑誌代価領収証	明治25年12月6日	東京京橋区日吉町四番地　民友社内　家庭雑誌社(印)	野田様	家庭雑誌3～14号代金56銭領収	紙	1	
1366	13	〔算用書上〕	(明治中後期)			野田・坂梨・征矢野為替につき	継紙	1	
1366	14	〔算用書上〕	(明治中後期)			野田・征矢野為替につき	継紙	1	
1367		〔書簡〕	(明治中後期)11月21	三池郡原村　宮本新太郎	博多石田屋ニテ　野田卯太郎	瀬高一件の日程の件ほか	切紙	1	封筒あり
1368		〔書簡〕	明治36年1月20日	三井物産長崎支店　伊沢良立(長崎市大浦三番地)	渡瀬　岩田村　野田様	貝嶋・麻生の帰県の予定の報告、1月20日付伊沢宛野田電報写、同日野田宛伊沢電報写付	綴	1	罫紙1枚・電報写2枚書類留(針)綴。封筒あり
1369		〔書簡〕	(明治27年)7月20日	十時弥(山門郡城内村)	野田卯太郎様(三池郡大牟田町三池紡績会社)	高畑省耕園にて開会につき出席願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1370		締約証書　謄本	明治24年3月9日	筑後国三池郡岩田村大字岩津　野田利三郎(印)、同郡同村　野田岩蔵(印)ほか7名		野田喜代治へ家督相続につき	書綴(罫紙)	1	封筒あり。封筒上書「野田喜代次ニ係ル締約証ノ謄本入　明治廿四年三月卅日調

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1371		〔書簡〕	(明治20年代)2月29日	秀知(高輪北町五拾弐番地 小林秀知)	卯太郎様(芝区南佐久間町弐丁目 旅館信濃屋ニテ 野田卯太郎)	小野家永続の件ほか	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1372		〔書簡〕	(明治中後期)12月26日	正久(松田正久)	野田学兄(野田卯太郎)	昨日は甚だ失敬申上げし事、御閑暇あらば来訪願い	切紙	1	封筒あり
1373		〔書簡〕	(明治25年)5月14日	岡田(京橋区滝山町十番地 岡田孤鹿)	野田様(芝区南佐久間町信濃屋 野田卯太郎)	綿花輸入税廃止問題、地価修正税率軽減など第3回議会の状況	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1374		〔書簡〕	(明治中後期)5月28日	上田安三郎(神田区駿河台袋町八番地井田□□方坂梨米吉)	野田卯太郎様、小野吾一郎様	晩餐招待につき来訪願い	継紙	1	封筒あり。封筒差出人は東京神田区坂梨米吉
1375		〔封筒〕	(明治27年12月29日)	久留米紡績株式 榊直矢(印)	三池郡大牟田町三池紡績株式会社 永江純一様		封筒	1	年月日は消印
1376		〔封筒〕	(明治中後期)	三池郡大牟田町 三池紡績会社 永江純一	東京市日本橋区駿河町 三井礦山合資会社 益田孝殿		封筒	1	
1377		〔書簡〕	(明治大正期)12月27	昇	永江純一	明年度用当用日記1冊進呈	継紙	1	封筒あり
1378	1	〔書付〕	(明治大正期)		福岡県三池郡大牟田町 三池紡績株式会社	魚市場敷金60円請取	継紙	1	1378-1～2封筒一括。封筒上書「魚市場約定書草按 余米書付 今村権吉分」
1378	2	〔書付〕	(明治大正期)			今村権吉分米1斗余書上	罫紙	1	
1379		〔電報〕	(大正5年5月10日)	タイキウ局タムラ	ニシコモンマチ ノダウタロウ(西小門町 野田卯太郎)	株式の件につき問合せ	電報	1	
1380		銀行集会所倶楽部会員氏名	大正4年6月末日			朝鮮銀行・第一銀行京城支店ほかにつき	紙	1	謄写刷り
1381		〔書簡〕	(明治大正期)12月3日	野口忠太郎	野田卯太郎様	加津佐架橋、山門郡国県道用石材、下里村道路、横須村南部よりの道路の件	罫紙(4枚)	1	
1382	1	〔委任状〕	(明治大正期)	三池郡江浦村七百八拾七番地 永江純一ほか4名		笹林3筆買受につき	罫紙	1	付紙1枚同折(付紙朱書「之レハ笹林買入ニ付永江願ニ依ル委任状」)
1382	2	〔連名書〕	(明治大正期)	三池郡江浦村七百八拾七番地 永江純一ほか4名			罫紙	1	付紙1枚同折(付紙朱書「之レハ笹林買入ニ付双方使宜ニヨリ連名書ヲ造ル(下略)」
1383		〔電報〕	(明治中後期)11月22日	ミイケギンコウデバリシヨニテヤマトグンイイヲミヨウ イインチウ(三池銀行出張所山門郡)	ハカタハシグチマチ イシダヤ方 ノダウタロウ(橋口町石田屋方 野田卯太郎)	紙面趣不安心、イインクル郡長止め置け(シメンオモムキフアンシンイインクルグンチヨウトドメヲケ)	電報	1	封筒あり
1384		〔書簡〕	(明治)21年11月29日	樺島与三郎(筑後国三池郡稲村)	野田卯太郎様(福岡県博多橋口町石田屋届 三池郡県会議	郡長更迭の件、三池炭坑関係ほか、11月26日付団琢磨宛書簡写	継紙	1	包紙あり。年は包紙消印
1385		〔封筒〕	(明治大正期)		野田卯太郎様		封筒	1	1385～1396紙縒一括
1386		〔綿花統計表〕	(明治26年頃)			輸入綿花一覧表、紡績錘数ほか各年増加表ほか	紙	1	印刷
1387	1	証	明治27年10月22日	門司港 石田組本店 止宿係(印)	上様	茶料20銭受取	紙	1	1387-1～5封筒一括(三池土木合資会社 野口忠太郎より野田卯太郎宛)

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1387	2	証	明治27年10月22日	門司港　石田組本店　止宿係(印)	上様	御賄料20銭請取	紙	1	
1387	3	〔覚書〕	(明治27年頃)			航路拡張、販路拡張につき方針書	切紙	1	
1387	4	〔書付〕	(明治27年頃)			金融多少緩漫、利息書上ほか	切紙	1	
1387	5	〔断簡〕	(明治27年頃)				断簡	1	俊作ほか人名書上1枚、書状3点分断簡
1388	1	〔葉書〕	(明治)27年10月23日	三池郡岩田村　野田シケ	大阪市中ノ島五丁目後藤方ニテ　野田卯太郎殿	三男秀作の病状は安定して居る事	葉書	1	1388-1～3封筒一括(山門郡上瀬高町伊原文吉より三池紡績会社野田卯太郎宛)
1388	2	〔葉書〕	(明治27年頃)10月24日	大阪市東区伏見町弐丁目二拾番屋敷　大日本綿糸紡績同業連合会事務所	西区江戸堀北通三丁目　三池紡績会社出張所ニテ　野田卯太郎殿	請願委員会開催につき案内	葉書	1	
1388	3	〔書簡〕	明治27年10月23日	伊原文吉	野田卯太郎殿	就職斡旋依頼	罫紙	1	
1389	1	〔電報〕	(明治)27年10月27日	ミイケホウセキカフシキカイシヤ(三池紡績株式会社)	ナカノシマ五□コトウカタ　ノタウタロウ(中之島　野田卯太	秀作死去の事(シウサクシシキョシタ)	電報	1	1389-1～4封筒一括。封筒上書「電信
1389	2	〔電報〕	(明治)27年10月26日	ミイケグンイワタムラ　ノタシユンサク(三池郡岩田村　野田秀	ナカノシマゴトウ方　ノタウタロ(中之島　野田卯太郎)	病状悪化の事(イタミワルイシラス)	電報	1	
1389	3	〔電報〕	(明治)27年10月27日	シナカワ　□テンヤ□　マスタ(品川)	ヲサカ　ミイケホウセキカイシヤシテン　ノタウタロウ(大阪三池紡績会社支店　野田卯太郎)	来訪日時問合せほか(イツクルシユハンキユイキヤウモヨクムカカ)	電報	1	
1389	4	〔電報〕	(明治)27年10月27日	ヲムタ丁　ムラタノブヲ(大牟田町)	ナカノシマコトウカタ　ノタウタロウ(中之島　野田卯太郎)	今朝8時死んだ(ケサハチジシンダ)	電報	1	
1390		〔葉書〕	(明治)27年10月16日	三池郡岩田村　野田志げ	三池郡大牟田紡績内　野田卯太郎様	とめ病状悪しきにつき大阪出張見合わ願い	葉書	1	年は消印
1391		〔調査書〕	(明治中後期)			熊本県玉名郡へ輸出の物品一覧、各村の戸数調、新道開通による経済効果の予想など	綴	1	記3枚・書付1枚紙縒綴
1392	1	〔通知〕	明治27年9月14日	第一課(印・「三池郡第一課」)	野田委員殿	照会につき三池郡の田畑反別数書上	罫紙	1	1392-1～2封筒一括。封筒上書「調書
1392	2	〔調査書〕	明治27年8月23日			三池紡績会社1ヶ年収益ほか	罫紙	1	
1393	1	〔履歴書〕	明治27年10月15日	熊本県熊本市北千反畑町八拾六番地　士族　荒木円次			罫紙	1	1393-1～3封筒一括
1393	2	〔履歴書〕	明治27年10月15日	熊本県熊本市北千反畑町八拾六番地　士族　荒木円次		自由党員の事ほか	罫紙	1	
1393	3	〔書簡〕	(明治27年)10月15日	荒木円次	野田卯太郎様(福岡県三池郡大牟田町)	就職斡旋依頼	継紙	1	
1394		〔書簡〕	(明治27年)10月14日	団琢磨(東京京橋区山城丁山城軒)	野田様(福岡県筑後国三池郡大牟田三池紡績会社　野田卯太郎)	三井組内組織変動、団鉱山専務就任、その他連絡	継紙	1	年は封筒消印
1395		〔封筒〕							
1395	1	公証取消願	明治14年3月	筑后国三池郡岩田村字岩津六百七拾三番地　野田茂平次(印)ほか2名		字山ノ浦田2反余書入証書につき	綴	1	取消願1通・書入証書1通紙縒綴。1395-1～2封筒一括。封筒上書「野田茂平次古証書入」
1395	2	旧公証取消願	(明治中後期)	福岡県三池郡岩田村大字岩津　山下喜五郎ほか2名		字前田田1反余書入証書につき	綴	1	取消願1通・書入証書1通紙縒綴

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1396		証	明治27年7月27日	福岡県三池郡大牟田町　三池紡績株式会社(印)	野田卯太郎殿	株式払込金300円領収	紙	1	封筒あり。封筒上書「紡績払入請取書入廿七年七月」
1397		〔大谷炭坑来歴〕	明治27年10月			大谷石炭坑請負営業などにつき	書綴(罫紙)	1	1397～1422紙縒一括
1398		命令書	明治27年10月4日	福岡県知事岩崎小六郎(印)	三池郡銀水村　板井真澄ほか47名	海面埋立願い認可につき埋立区域・工期など	書綴(罫紙)	1	
1399		〔書簡〕	(明治23年)2月8日	熊本新聞編集局(印)	野田卯太郎殿	福岡県下新再撰県会議員氏名・党派一覧取調べ通知願い	罫紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1400		〔書簡〕	明治23年2月13日	村田(遠賀郡芦屋町　村田吉景)	野田老兄(三池郡大牟田銀行出張所　野田卯太郎)	出福の予定、県議会の件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1401		〔封筒〕	(明治23年2月15日)	博多橋口町石田　永江純一	三池郡大牟田町三池銀行出張所　野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印
1402		〔書簡〕	(明治中後期)2月14日			親族の件につき面談願い	切紙	1	
1403	1	〔書簡〕	(明治23年)2月12日	純一(博多橋口町石田ヨリ　永江純一)	野田卯太郎殿(三池郡大牟田町三池銀行出張所)	林・大庭・不破・吉田と面会、岡田などの三州倶楽部破壊策に対する方策を立てる必要あり	継紙	1	1403-1～2封筒一括。年は封筒消印
1403	2	〔書簡〕	(明治23年)2月14日	宮川又三	野田、永江両仁兄(野田卯太郎、永江純一)	貴地・山門郡競争甚だしき事、各郡の戦争推察に任す、先日の一件にいつき数名の印鑑を取る事は困難な事ほか	切紙	1	
1404	1	国民新聞特別切符	(明治23年)	東京市京橋区日吉町四番地国民新聞社		講読割引	紙	1	1404-1～2封筒一括
1404	2	〔書簡〕	明治23年	国民新聞社		特別割引切符送付の事	紙	1	
1405		〔書簡〕	(明治中後期)3月14日	団琢磨	野田様(三池銀行　野田卯太郎)	夕飯招待につき来訪願い	切紙	1	封筒あり
1406		〔書簡〕	(明治23年)3月5日	村田吉景(遠賀郡芦屋港)	野田卯太郎殿・永江純一殿(大牟田銀水町)	議員選挙の結果の回復策、三州倶楽部への対応ほかについて	継紙	1	封筒あり
1407		〔書簡〕	(明治中後期)3月6日	大村(大村務)	永江君、野田君(大牟田村銀行　野田卯太郎)	議員総会などあるにつき明日・明後日には出社致す事ほか	継紙	1	封筒あり
1408		〔書簡〕	(明治23年)3月11日	村田(東京日本橋区ヒモノ町筑後鉄道会社出張所　村田吉景)	野田老兄	鉄道の件につき本日より上京の事、この度の失敗につき三州倶楽部入会は見合せの方針となる事ほか	切紙(2枚)	1	
1409		〔電報〕	明治23年1月27日	ヤマトグンシロウチ　ユウコレヨシ(柳川　由布惟義)	大牟田　ノダウタロウ(野田卯太郎)	明日早く来い(アスハヤクキタレ)	電報	1	封筒あり
1410		〔書簡〕	(明治中後期)1月19日	由布惟義	野田賢兄	三井粉炭場売(カ)相談の件は永江氏へも依頼の事ほか	切紙	1	
1411		〔書簡〕	(明治中後期)15日	団	野田様	加藤氏巡視後に拙宅へ招待致すにつき来訪願い	継紙	1	
1412		〔電報〕	明治23年1月13日	ヤナカワ　ユウコレヨシ(柳川由布惟義)	大牟田町　ノダウタロウ(野田卯太郎)	明日来訪願い(アスゼヒコイ、ヘンシ)	電報	1	封筒あり
1413		〔案内状〕	明治23年2月28日	元下里村里道開設委員惣代下村春雄、森竹次郎、森時三	椎崎千之殿(福岡県博多橋口町石田屋ニテ　野田卯太郎)	里道開道式開催につき案内	切紙	1	封筒あり
1414		〔書簡〕	明治22年9月11日	上海三井物産会社　上田安三郎(印)	三池　野田宇太郎様	油絞機械雛型1台送付の事	罫紙	1	
1415		〔書簡〕	(明治中後期)3月12日	森竹次郎	野田殿	談話会の欠席届	切紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1416		〔書簡〕	(明治中後期)24日	坂牧	野田卯太郎様	議員人名及びその主義、改進保守、大同・非大同、三州倶楽部・玄洋社・筑前協会など区別し報知願い	継紙	1	
1417		〔書簡〕	(明治中後期)2月27日	前田下学	野田卯太郎君	改進党敗北になり気の毒の事ほか	罫紙	1	
1418		〔書簡〕	(明治中後期)3月14日	円仏(カ)浅三	野田閣下	当村炭坑社へ就職斡旋依頼	継紙	1	
1419	1	〔書簡〕	(明治)23年3月5日	箕浦晴海(福岡市通り丁八十一番地)	野田卯太郎様	鉱地選定取調べの状況報告	継紙	1	1419-1～3封筒一括
1419	2	〔鞍手郡鶴田村炭坑概況〕	(明治23年)			炭礦位置并区域、炭層尺度、運搬ノ便否ほか	罫紙	1	
1419	3	〔書簡〕	(明治)23年2月16日	箕浦晴海(印)	永松閑殿、野田卯太郎殿	炭坑地の調査結果	罫紙	1	
1420		〔書簡〕	(明治中後期)3月7日	団琢磨	野田様(銀行　野田卯太郎)	面会依頼	継紙	1	封筒あり
1421		〔書簡〕	(明治中後期)3月16日	宮本	水野様	御茶会誘い	切紙	1	封筒あり
1422		〔書簡〕	(明治23年)2月5日	藤井書記(印)(第一課)	野田卯太郎殿	県会議員当選書類送付の事	切紙	1	封筒あり。年は消印
1423		〔書簡〕	(明治39年)1月7日	原長門(熊本県病院外部第一棟第三号室)	野田御内様(福岡県三池郡岩田村　野田四郎太)	病気見舞いに対する礼状	切紙	1	封筒あり。年は消印
1424		〔封筒〕	(明治38年9月15日)	越後長岡長町二〇　浦口たつ	筑后国三池郡岩田村岩津　野田瀧の様		封筒	1	年月日は消印
1425		〔褒状〕	明治38年3月31日	福岡県知事従四位勲三等　河島醇(印)	野田タキノ	明治37～38年戦役の際に救兵費50銭寄附につき	罫紙	1	
1426		〔書簡〕	(明治38年頃)1月1日	寿子	瀧乃・梅乃様	正月の近況報告	継紙	1	前欠
1427		〔書簡〕	(明治38年頃)9月22日	寿子	たきのさま	姉達への近況報告、病状につき伺いほか	継紙	1	
1428		〔書簡〕	(明治38年頃)9月3日	小宮総太郎	愛するたきの様	季子の嫁入一件、笹尾との縁談不成立の件ほか	継紙	1	
1429		〔書簡〕	(明治38年頃)12月10日	卯ヨリ(在京　野田卯太郎)	愛子どの(筑後三池郡岩田村野田四郎太)	俳額送付の件ほか着京後の近況報告	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1430		〔葉書〕	(明治38年10月19日)	三池郡加納四ツ山社宅　松本	三池郡岩津　野田多きの様	御無沙汰の詫びと挨拶など	葉書	1	年月日は消印
1431		〔葉書〕	(明治38年11月11日)	おほむたまち　峯子	三池郡岩田村岩津　野田瀧乃	贈品の御礼	葉書	1	
1432		〔葉書〕	(明治38年)8月26日	京都より　池田寿	三池郡岩田村岩津　野田たきの様	病気見舞い、病状伺い	葉書	1	年は消印
1433		〔書簡〕	(明治38年)4月17日	光(大牟田町　福井光)	多きのさま(三池郡岩田村大字岩津　野田多きの)	愛国婦人会への入会の件、岡山孤児院の幻燈会の件ほか	継紙	1	封筒あり。年は消印
1434		〔書簡〕	(明治38年)4月27日	福井菊三郎(大阪東区高麗橋二丁目一番地　三井物産合名会社大阪支店)	野田卯太郎様(福岡県三池郡岩田村)	総会委任状受取の事	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1435	1	〔書簡〕	(明治38年)5月20日	てる(熊本市内坪井一二七奥たく)	三池のおばさん方へ(筑後三池郡岩田村　野田瀧乃様、梅乃様)	新生児てる子退院につき報告	継紙	1	1435-1～2封筒一括。年は封筒消印
1435	2	〔書簡〕	(明治38年)5月20日	たく	たきの様、梅の様	近況報告、手紙の返事ほか	切紙	1	
1436		〔書簡〕	(明治38年)12月7日	寿子(京都第二中学校々宅池田寿)	瀧乃様、梅乃様(筑後三池郡岩田村)	産後の近況報告、四条教会での結婚式の件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1437		〔書簡〕	(明治38年)12月10日	峯子(おほむたまち　坂口峯子)	瀧乃、梅野様(三池郡岩田村字岩津にて　野田瀧乃)	同窓会の件につき相談	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1438		〔書簡〕	(明治38年頃)11月26日	あきは(あしの花ちるさと　弟ヨリ)	野田様(岩津の里　野田姉さまへ)	井上蛤月君の入営送別会の件ほか	切紙(2枚)	1	封筒あり
1439		〔葉書〕	明治38年11月3日	三池郡幹事郡幹事部長　東きせ子(印)	三池郡岩田村大字岩津　愛国婦人会　幹事野田タキ子殿	婦人会開催につき案内	葉書	1	
1440		〔封筒〕			野田瀧乃	歌数首同封			

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1440	1	〔詩歌書上〕	(明治38年頃)12月20日	にしの窓(峯子ほか)	野田姉さま(いわた 野田瀧乃)		切紙	1	1440-1～2封筒あり
1440	2	〔短冊綴〕	(明治38年頃)			和歌2首、俳句1句書上	綴	1	切紙(短冊)3枚綴
1441	1	〔書簡〕	(明治38年頃)7月26日	瀧乃(野田瀧乃)	井上つね子様、同さへ子様	旧師梶原氏主筆の新聞「家庭」の見本送付につき講読依頼ほか	切紙	1	
1441	2	〔書簡〕	(明治38年頃)7月24日	寿	たきのさま	同窓生の再婚話の件ほか	継紙	1	
1442		〔書簡〕	(明治38年頃)26日	しげる	たきの姉様	雑誌「黒潮」の記事への感想	継紙	1	
1443		〔書簡〕	(明治38年12月)	越后長岡二〇 浦口たつ	筑后三池郡岩田村岩津 野田たきの	当地教会の模様ほか	罫紙(7枚)	1	封筒あり。
1444		〔書簡〕	(明治38年)1月2日	沢村重雄(大阪北区西野田中江町一八四)	野田瀧野様(福岡県三池郡岩田村)	年頭挨拶と九州行きに関する問い合わせ	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1445		〔封筒〕	(明治38年2月)26日	下要第四中隊 森しげる	福岡県三池郡岩田村岩津 野田たきの様		封筒	1	年月は消印
1446		〔葉書〕	(明治38年)2月19日	手鎌村 井上□	三池郡岩田村大字岩津 野田瀧乃子、姉上様	西内氏来訪なき事、聖話を聞き度事ほか	葉書	1	年は消印
1447		〔葉書〕	(明治38年1月)10日	下関要塞砲兵聯隊第四中隊見習士官 森繁	福岡県三池郡岩田村岩津 野田たきの様	年頭挨拶、「黒潮」閲覧願いほか	葉書	1	年月は消印
1448		〔書簡〕	(明治38年)1月28日	ひさ(京都第二中学校々宅池田寿)	瀧乃さま、梅乃さま(筑後国三池郡岩田村 野田瀧乃)	家庭生活や信仰の問題など近況報告	切紙(5枚)	1	封筒あり(年は封筒消印)
1449		〔書簡〕	(明治37年)10月19日	竹子(大牟田下里七百五拾番地 松本竹)	多きの(三池郡岩田村大字いわつ 野田多きの)	秋期同窓会開催につき案内	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1450		〔封筒〕	(明治38年1月29日)	越后長岡長町二〇 浦口たつ	筑后三池郡岩田村 野田たきの様		封筒	1	年月日は消印
1451		〔書簡〕	(明治38年2月7日)	小宮総太郎(在京城后□廿四聯隊第一大隊第二中隊)	野田瀧乃様(福岡県三池郡岩田村岩津)	軍隊生活の近況、婦人協会・女学校での演説会の件、今後神州の舞台は婦人問題と宗教問題の事ほか	封筒	1	年月日は封筒消印
1452		〔書簡〕	明治38年8月10日	たつヨリ(越后長岡長町二〇浦口多つ)	なつかしき 姉君江(筑后三池郡岩田村岩津 野田たきの)	東京より綱島健吉氏来訪の件ほか近況報告	罫紙(5枚)	1	封筒あり
1453		〔書簡〕	(明治38年)8月5日	寿(京都第二中学校々宅 池田寿)	瀧乃さま(筑後三池郡岩田村野田たきの)	西内師の親切の件、信仰問題など	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1454		〔書簡〕	(明治38年8月1日)	西内天行(福岡橋口町)	野田瀧乃様(三池郡岩田村)	手紙による悩みへの返答、信仰問題など	継紙	1	封筒あり。年月日は封筒消印
1455		〔葉書〕	(明治38年8月14日)	京都より 池田寿	筑後三池郡岩田村 野田たきの様	病気見舞み、京都鉄道の観月納涼列車などについて	葉書	1	年月日は消印
1456		〔葉書〕	(明治38年頃)12月31日	京都市府立大二中学校々宅池田喜雄、松岡寿子	福岡県三池郡岩田村 野田瀧の様、同梅の様	年頭挨拶、結婚成約につき挨拶	葉書	1	月日は消印
1457		〔書簡〕	征露卅八年四月十九日	韓国ニ於て 小宮総太郎	野田たきの	各婦人会などの恤兵品を楽しみにして居る事、観世音様など信仰につ	継紙	1	
1458		〔書簡〕	(明治38年頃)7月2日	竹子	たきの子様	見合い相手の様子、家屋の状態などほか	切紙(3枚)	1	
1459		〔葉書〕	(明治38年3月24日)	京都より 寿子	筑後三池郡岩田村 野田瀧乃様	病気見舞み、答案の結果についてほか	葉書	1	年月日は消印
1460		〔書簡〕	(明治38年頃)	西内天行(福岡市橋口町八八)	野田瀧乃様(三池郡岩田村)	吉田氏の人物評価、信仰などについて	継紙	1	
1461		〔書簡〕	(明治38年頃)18日	達ヨリ、勇ヨリ	愛する姉君江、おばちやん	長岡での生活・住居などについて	継紙	1	
1462		〔書簡〕	明治38年4月29日	浦口たつ(越后長岡長町二〇)	野田たきの(筑後三池郡岩田村岩津)	越後での生活近況、宗教状況など	罫紙(7枚)	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1463		〔書簡〕	(明治38年7月)27日	たつヨリ(越后長岡長町　浦口たつ)	愛する姉君江(筑后三池郡岩田村岩津　野田たきの)	筑後の水害につき見舞い、結婚についての意見など近況報告	継紙	1	封筒あり。年月は封筒消印
1464		〔書簡〕	(明治37年)	西内天行(福岡市天神町十七松岡方)	野田瀧の(三池郡岩田村野田卯太郎内)	行き違いを謝す、日露戦争はキリスト教的文明の発達した日本が勝つのが当然の事ほか	継紙	1	年は封筒消印
1465		〔書簡〕	(明治38年頃)8月7日	虹窓(開邨　秋葉虹窓)	姉上君へ(岩田の里　野田瀧乃)	書中見舞い、俳句3句ほか書上	切紙(2枚)	1	
1466	1	〔書簡〕	(明治38年)8月5日	小宮総太郎(韓国)	野田たきの(福岡県三池郡岩田村岩津)	姉の婚嫁の件、男女問題と信仰についてほか	継紙	1	1466-1～2封筒一括。封筒虫損甚し
1466	2	〔書簡〕	(明治38年)9月15日	妹ヨリ	愛する瀧の姉江	病気見舞いほか	継紙	1	
1467		〔封筒〕	(明治25年頃)	三池□舘	永江純一様		封筒	1	「佐賀屋の広告」の裏使用。1467～1510紙縒一括
1468		〔書簡〕	(明治26年1月23日)	熊本　同盟店仮事務所原田店	三池紡績　永江純一	封筒のみ			
1468	1	〔市場略図〕				魚市場・野菜市場の配置図	紙	1	神戸市海岸通り百崎俊雄宛封筒の裏使用。1468-1～5封筒一括(熊本市紺屋町同盟店仮事務所原田店より三池紡績会社永江純一宛)
1468	2	〔葉書〕	(明治25年)11月5日	板井真澄	三池郡大牟田町　野田卯太郎殿、永江純一殿	土木会社にて委員会開催につき案内	葉書	1	年は消印
1468	3	〔電報〕	(明治25年12月3日)	大牟田町　永江純一	東京芝区南佐久間町　信濃屋野田卯太郎	「ケンチヨウサンセイイサイフミ」とあり	電報	1	
1468	4	熊本新聞第四千三百五号附録	(明治25年)10月3日	熊本市中唐人町十一番地　熊本新聞社		穀類相場ほか熊本物価書上	紙	1	
1468	5-1	〔書簡〕	明治25年9月	川野如天	野田卯太郎殿、永江純一殿	細川子爵鶴城学舘を設立につき案内	紙	1	1468-5-1～5包紙一括(三池郡役所第二課宛)
1468	5-2	〔封筒〕	(明治25年頃)		団琢磨様		封筒	1	
1468	5-3	〔封筒〕	(明治25年頃)		神戸市　百崎俊雄殿		封筒	1	
1468	5-4	〔封筒〕	(明治25年頃)	従福岡県三池郡大牟田町　野田卯太郎(印)	熊本県芦北郡日奈久村柳屋ニ而　永江純一様		封筒	1	
1468	5-5	〔封筒〕	(明治25年頃)	渡瀬駅　河野修造	三池郡大牟田町　野田卯太郎様		封筒	1	
1469		〔電報〕	(明治25年頃)	三池紡績会社　大村務、永江純一	東京兜町　三井物産会社　益田孝、上田安三郎	「二〇ヒダリ五〇三キ二〇〇シバイタノム」とあり	電報	1	
1470		〔電報〕	(明治25年12月13日)	ヤツシロヨリ　ナカムラ　フクジロ(八代)	センバトギヤ方　ナガエシュンイチ(永江純一)	「イマギキニカエル」とあり	電報	1	
1471		〔包紙〕	(明治25年頃)			上書「御胸紐」	包紙	1	
1472	1	〔通知〕	明治26年1月23日	三池郡大牟田町　大牟田活版会社、野田速水	永江純一殿	株主総会開催につき案内	切紙	1	1472-1～2封筒一括
1472	2	〔賞与通知〕	(明治26年頃)	会社	某	雛型	切紙	1	後欠
1473		熊本新聞第四千三百十五号附録	明治25年10月20日	熊本市中唐人町十一番地　熊本新聞社		穀類相場など熊本物価書上	切紙	1	
1474		〔電報〕	明治25年11月29日	トウケイヨリ　ノタ(東京　野田)	ミイケホウセキニテ　ナガエジュンイチ(三池紡績　永江純	何も宜しく頼む(ナニモヨロシクタノム)	電報	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1475		〔書簡〕	(明治25年頃)11月11日	原田店	永江様(永江純一)	洋十六年ほか糸相場について	継紙	1	封筒あり
1476		〔覚書〕	(明治25年頃)			魚市場落成後の検査手続きについ	継紙	1	
1477		〔封筒〕	(明治25年11月9日)	下妻郡水田村　城崎新太郎	三池郡大牟田町新道橋際　永江純一殿		封筒	1	年月日は消印
1478		熊本新聞印刷革新の儀に付謹告	明治25年10月14日	熊本新聞社	三池郡大牟田町　野田卯太郎様	臨時休刊につき通知	葉書	1	
1479		〔書簡〕	(明治25年頃)11月23日	「マル・ワ」店	永江様		封筒	1	
1480		〔書簡〕	(明治25年頃)	宮村平次郎	永江様		封筒	1	
1481		〔電報〕	明治25年11月12日	ヤナガワ　オオムラツトム(柳川大村務)	センバトギヤ　ヲカモトブヘイ方ナガエジウンイチ(永江純一)	二番にて行く(ニバンニテイク)	電報	1	
1482		〔電報〕	明治25年11月11日	ヲヲムタシテンニテ　ジヨウサキシンタロ(大牟田支店　城崎新太郎)	センバ　トギヤニテ　ナガエジユンイチ(永江純一)	明日何番帰る(アスナンバニカエル)	電報	1	
1483		〔電報〕	明治25年11月12日	ミイケホウセキカイシヤ(三池紡績会社)	センバ　トギヤヲカモトブヘイ方ナガエジユンイチ(永江純一)	内海塩田の件(キヨノデンホニテナイカイエデンホシタミ十ツニタトヘンキ	電報	1	
1484		〔売渡契約〕	(明治25年頃)	(三池紡績会社)		年間綿糸売渡し量につき契約	切紙	1	案文
1485		〔封筒〕	(明治26年1月3日)	三池郡渡瀬駅　南部忠文	三池郡江浦村　永江純一様		封筒	1	年月日は消印
1486		〔書簡〕	(明治25年頃)12月23日	村尾(村尾信雄)	野田様(野田卯太郎)	医室新築落成につき案内	切紙	1	
1487		〔書簡〕	(明治25年頃)	きさ	永江純一様		封筒	1	
1488		〔書簡〕	(明治25年頃)	川畑ニ而　安本五三郎	野田卯太郎殿		封筒	1	
1489		〔封筒〕	(明治26年2月1日)		三池郡大牟田町　野田卯太郎殿		封筒	1	新聞切抜を使用。帯紙か
1490		〔葉書〕	(明治26年)2月9日	板井真澄	三池郡大牟田町　永江純一殿	土木会社委員会開催につき案内	葉書	1	年は消印
1491		〔書簡〕	明治26年1月1日		筑後国三池郡大牟田町　野田卯太郎様		封筒	1	年は消印
1492		〔葉書〕	(明治26年)1月	新嘉波　福井菊三郎	日本福岡県三池　野田卯太郎様	年頭挨拶	葉書	1	年は消印
1493		〔書簡〕	(明治26年頃)1月11日	古閑(自由新聞社)	永江大兄(研屋ニ而)	先日饗応への御礼	継紙	1	封筒あり
1494		〔書簡〕	(明治26年1月11日)		日本三池大牟田　永江純一様		封筒	1	年月日は消印
1495		〔書簡〕	(明治26年1月11日)	久留米市米屋町　山下教介	県下三池郡大牟田町　永江純一殿		封筒	1	年月日は消印
1496		〔通札〕	(明治26年頃)			上書「通札請元」	切紙	10	包紙あり。包紙上書「請元太田巳之吉」
1497		〔書簡〕	(明治26年頃)1月11日	田中賢道(新屋敷町水道橋二百二十五番地)	永江純一殿(伝馬町研尾)	明朝訪問の事	継紙	1	封筒あり
1498	1	〔書簡〕	(明治26年頃)	中村福次郎	研尾ニて　永江純一様		封筒	1	
1498	2	〔書簡〕	(明治26年頃)	福家店	永江様		封筒	1	
1499		美当軍談入場券	(明治26年頃)				切紙	4	
1500		〔書簡〕	(明治25年12月28日)	岡山県岡山市大字花畑　岡山紡績会社	筑後大牟田　三池紡績会社御中		封筒	1	
1501		〔葉書〕	明治26年1月1日	野田卯太郎		年頭挨拶、未投函	葉書	1	
1502		〔通知〕	(明治)26年1月24日	福岡日日新聞社	三池郡大牟田ニ而　永江純一	株主総会開催につき案内	葉書	1	
1503		〔『平等』第3号〕	(明治26年頃)	福岡県三池郡大牟田町役場	野田卯太郎	第6頁(雑録・立花宗茂公)のみ	切紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1504		〔書簡〕	(明治26年)7月6日	笠井啓(山口県長門国厚狭郡小野田 小野田セメント製造株式会社)	野田卯太郎様(福岡県下筑後国三池紡績会社ニテ)	先日訪問の御礼	継紙	1	封筒あり
1505		〔書簡〕	(明治26年6月6日)	玉川村ヨリ 平山実顕	大牟田町ニテ 野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印
1506		〔通知〕	(明治26年頃)8月2日	三池土木会社(印)	野田卯太郎殿	臨時重役会開催につき案内	罫紙	1	封筒あり
1507		広告	明治25年10月31日	熊本県教育義済会		熊本美当一調学校寄附興行の案内	切紙	5	
1508	1	〔封筒〕	(明治26年6月12日)	長崎市五島町 長崎委託売買会社	筑後国三池郡大牟田町 三池紡績会社		封筒	1	1508-2を封入
1508	2	〔書簡〕	(明治26年頃)6月14日	久留米市通町八番地 山下教介	三池大牟田町 野田卯太郎様		封筒	1	
1509	1	〔書簡〕	(明治26年6月)25日	肥后八代本町支店 高岡嘉七	福岡県大牟田郡三池町 三池紡績会社御中		封筒	1	1509-2、3を封入
1509	2	〔書簡〕	(明治26年頃)	甲斐田□□	永江様		封筒	1	
1509	3	〔書簡〕	(明治26年6月4日)	南高来郡小浜村千歳屋五郎二方 堤藤蔵	筑後三池郡大牟田町 三池紡績会社 永江純一様		封筒	1	
1510	1	〔封筒〕	(明治26年3月28日)		三池 永江様		封筒	1	1510-1～9封筒一括
1510	2	〔封筒〕	(明治26年頃)		永江純一様		封筒	1	
1510	3	〔封筒〕	(明治26年1月4日)		福岡県三池郡江浦村 永江純一殿		封筒	1	年月日は消印
1510	4	〔書簡〕	(明治26年頃)4月12日	岩津 松尾とみ	野田卯太郎様	残額20円払い込み依頼	切紙	1	封筒あり
1510	5	〔書付〕	(明治26年頃)			愚息永江純一肥前小浜行きにつき留守中の出来事書上	継紙	1	
1510	6	〔書付〕	(明治26年頃)			紡績株1180円ほか株・地所書上	継紙	1	
1510	7	〔葉書〕	(明治26年)1月18日	東京々橋区宗十郎町紅木や岡田狐鹿	福岡県三池郡大牟田町 永江純一様	今後数日間の政況の報道のため新聞紙送付	葉書	1	年は消印
1510	8	〔名刺〕	(明治26年頃)	永江純一			名刺	2	白紙の名刺1枚を含
1510	9	受領証	明治26年1月3日	熊本市洗馬壱丁目研屋事 岡本武平	上様	御茶代1円受取	紙	1	
1511		〔書簡〕	(明治26年)8月15日	大村務、永江純一(福岡県三池郡大牟田町 三池紡績会社)	野田卯太郎様(東京芝区南佐久間町旅人宿信濃屋方)	旧株・新株引き受け状況、新株申し込み4000株の事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。1511～1529紙縒一括
1512		〔書簡〕	(明治29年)5月25日	孝(益田孝)	野田卯太郎様(筑後三池大牟田)	松方伯の輸出入港方針、大隈伯の外交政策などについて	継紙	1	前欠。封筒あり。年は封筒消印
1513 (閲覧不可)		〔書簡〕	(明治29年頃)		野田卯太郎様		断簡	1	封筒あり。虫損のため開封不可
1514 (閲覧不可)		〔書簡〕	(明治29年頃)	三井物産会社 竹田貞松	野田卯太郎様		断簡	1	封筒あり。虫損のため開封不可
1515		〔電報〕	(明治29年)11月2日	ハカタフナゴシテツトウシムシヨミヤ(博多船越鉄道事務所)	ナカノシマ五 ゴトウカタ ノダウタロウ(中之島 野田卯太	近日行く(キンジツユク)	電報	1	
1516		〔電報〕	(明治29年)10月19日	セキカワラヨリ ミヤギ	ヲサカナカノシマ五 ゴトウカタノタウタロウ(大阪中之島 野田卯太郎)	明日そちらに到着(アスソノチニツク)	電報	1	
1517		〔電報〕	(明治29年)11月1日	ナカサキ一八キンコウ マツダゲンゴロ(長崎十八銀行)	ナカノシマ五 コトウカタ ノダウタロウ(中之島 野田卯太	依頼の事わからぬ(デンミタヲタノミノコトワカラヌ)	電報	1	
1518		〔書簡〕	(明治29年頃)9月19日	一郎	野田俊兄	別紙辞任書の承諾につき取り計らい願い	継紙	1	
1519		証	明治(29年頃)	久留米市三本松町 上野茂平	御客様	御茶代77銭受取	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1520		〔書簡〕	明治29年10月25日	車輌会社仮工場　弥永功(名古屋市古渡町六十六番戸　株式会社鉄道車輌製造所)	野田卯太郎殿(福岡県三池郡大牟田町紡績会社内)	脚気につき神戸税関辞職の事、当社の事業についてほか	罫紙	1	封筒あり
1521		〔封筒〕	(明治29年10月29日)	福岡県福岡市東中洲町共進舘内　船越鉄道創立事務所　小川久四郎	大阪東区伏見町二丁目二十番屋敷　大日本綿糸ボブ席聯合会事務所ニ而　野田卯太郎		封筒	1	年月日は消印
1522		明治廿九年九月六日委員会議件並報告	明治29年9月6日				切紙	1	
1523		〔営業利益計算書〕	(明治29年頃)			製糸高1050個余分、利益金11791円余	罫紙	1	
1524	1	〔書簡〕	(明治29年10月1日)	実業人傑伝編輯所(印)(東京牛込箪笥町)	野田老台(福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎)	履歴書・写真送付依頼	継紙	1	1524-1～2封筒一括。年月日は封筒消
1524	2	実業人傑伝続刊に就て	明治29年5月	東京牛込区箪笥町十番地　実業人傑伝編輯所			切紙	1	
1525		〔書簡〕	(明治29年)9月25日	坎一(東京日本橋区河岸福家方　宮城坎一)	野田君(福岡県筑後国三池郡大牟田町　野田卯太郎)	鉄道会社重役へ就任希望につき引立て依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1526		〔書簡〕	明治29年9月26日	三井物産合名会社　器械掛(印・「吉冨」)	野田卯太郎様(筑後国三池郡大牟田三池紡績株式会社)	人物照会の返答への礼状	罫紙	1	封筒あり
1527		〔通知〕	(明治29年)10月27日	船越鉄道株式会社創立事務所(印)	野田卯太郎殿(三池郡大牟田町紡績会社)	臨時委員会開催につき案内	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1528		〔書簡〕	(明治29年頃)10月27日	丑野□造(神戸吉田新田紡績、上海)	野田卯太郎様(福岡県大牟田三池紡績□□取締役)	当地の工場建設の進捗状況についてほか	罫紙	1	封筒あり
1529		〔収支計算書〕	(明治29年9月頃)			線路予測費ほか	書綴	1	
1530	1	〔書簡〕	(明治24年頃11月)21日	孝(益田孝)	野田卯太郎様(南佐久間町信濃屋ニ而)	三池紡績手形取引延期につき延期証書の件ほか	継紙	1	1530-1～2封筒一括。1530～1548紙縒
1530	2	〔書簡〕	(明治24年頃)11月21日	田中茂兵衛	益田孝様	三池紡績手形取引来る25年3月まで延期の事	継紙	1	前欠
1531	1	〔書簡〕	(明治28年11月)17日	岸伸吉(市内麻布区三河台町十六番地小島方)	野田卯太郎様(市内下谷区和泉橋詰帝国医科大学第二医院表病室ニテ入院福岡県人)	病気見舞い、原稿起草につき面会願いほか	継紙	1	1531-1～5封筒一括
1531	2	〔葉書〕	(明治28年11月11日)	同麻布区三河台町十六番地小島方ニ而　栗原代　岸伸吉	府下市内芝区南佐久間町二丁目信濃屋方　野田卯太郎様	通商論原稿送付の事、起草料などにつき問合せ	葉書	1	年月日は消印
1531	3	〔葉書〕	(明治28年11月16日)	麻布区三河台こしま方　岸伸吉	市内芝区南佐久間町二丁目旅人宿信濃屋ニ而　野田卯太	征矢野君よりの申達につき面談願い	葉書	1	年月日は消印
1531	4	〔葉書〕	(明治28年11月17日)	筑後三池郡大牟田町　野口商店　野口忠太郎	東京芝区南佐久間町二丁目信濃屋ニテ　野田卯太郎様	病気見舞い	葉書	1	年は消印
1531	5	〔葉書〕	(明治28年)	麻布区三河台町十六番番地こしま方　岸伸吉	市内下谷区和泉橋詰帝国医科大学第二医院病室ニ而福岡県人　野田卯太郎様	原稿送付の事、栗原氏と協議の件につき回報願い	葉書	1	年月日は消印
1532		〔書簡〕	(明治28年)4月3日	山門郡柳河城内村　吉田孫一郎(印)	三池郡大牟田町紡績会社ニテ　野田卯太郎殿	念書の趣了承の事、朝鮮への旅行後に面会願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1533		〔書簡〕	(明治28年)12月9日	取締役(福岡県三池郡大牟田町　三池紡績株式会社　大村務)	野田卯太郎様(東京芝区南佐久間町弐丁目信濃屋)	快気祝い、臨時総会議案披見願い、増株旧株割当の三井家引受の件につき益田氏より来書の事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1534		所得金高届	明治27年4月30日	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎(印)	三池郡長宮本五三郎様	株式利益配当金ほか1399円余書上	罫紙	1	封筒あり。封筒上書「廿七年度　所得税届書入」

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1535	1	〔葉書〕				小生昨夜到着の事、未送信	葉書	1	1535-1～5封筒一括（大阪大日本綿糸同業組合聯合会事務所より大牟田町三池紡績会社宛）
1535	2	〔電報〕	（明治28年）5月10日	クマモトシンヤシキマチ千三七六番地　タナカカケンドウ（熊本新屋敷町　田中賢道）	モジイシダカタ　ノダウタロウ（門司　野田卯太郎）	大牟田より帰着の事（オムタニユキカエリタ）	電報	1	
1535	3	〔電報〕	（明治28年）5月14日	ミイケグンオムタマチ　イタイマスミ（三池郡大牟田町　板井真澄）	ニシクヱトキタ三　ミイケホウセキカイシヤ　シツテフテン　ノタウタロ（西区江戸北　三池紡績会社出張店　野田卯太郎）	郡民を代表して本営へ祝賀依頼（グンミンヲダイヒヤウシテホンエイエシクガタノム）	電報	1	
1535	4	〔電報〕	（明治28年）5月15日	ヲヲムタマチ　イタイマスミ（大牟田町　板井真澄）	ミイケホウセキカイシヤ　シツテウシヨ　ノタウタロ（三池紡績会社出張所　野田卯太郎）	総督内には発電済につき本営に祝賀依頼（サウトクナイニダイジンニワハツデンスミ、ホンエイニシクガタノ	電報	1	
1535	5	〔電報〕	（明治28年）5月22日	ヲサカ　ヲヲカワマチ　ミヤギカンイチ（大阪　宮城坎一）	トイヤマチ五ジヨ　サカ□マスヤシテンニテ　ノダウタロウ（京都問屋町五条　野田卯太郎）	万屋に土産購入の事（ヨロツヤニフミヤツタ）	電報	1	
1536		〔書簡〕	（明治28年）4月6日	大村（筑後三池郡大牟田　大村務）	野田様（門司港石田平吉方　野田卯太郎）	飯田へ催促の件について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1537		〔書簡〕	明治26年7月20日	森常演（山門郡富原村大字三山）	野田卯太郎様（三池郡大牟田町）	武藤氏・板井真澄氏より金20円借用の件につき周旋願い	切紙	1	
1538	1	〔書簡〕	（明治20年代頃）5月22日	猪一郎（万屋　徳富猪一郎）	野田大兄（問屋町五条下ル柳屋支店　野田卯太郎）	今夜一泊来訪願い	継紙	1	1538-1～2封筒一括
1538	2	〔書簡〕	（明治20年代頃5月）22日	蘇峰（徳富猪一郎）	野田大兄	ただ今到着につき直ちに来訪願い	切紙	1	
1539	1	〔書簡〕	（明治20年代頃）6月22日	野口忠太郎	野田卯太郎様	炭礦線車道敷地の件につき地主らの談合の件	切紙	1	封筒あり。1539-1～2一纏り
1539	2	〔封筒〕	（明治20年代頃6月）			上書「野田　金六円　慰労金」	封筒	1	
1540		〔書簡〕	（明治20年代頃）4月8日	民介（河村民介）	野口兄（野口忠太郎）	長崎行きに有明丸乗船の旨、団氏より通報ある事、有明丸の運行状況について	継紙	1	封筒あり
1541	1	〔通知〕	明治23年4月22日	三池郡大牟田町　三池紡績会社	野口卯太郎殿（三池郡岩田村ノ岩津）	本社株式第4回払込につき通知	切紙	1	封筒あり。虫損甚し。後欠。1541-1～2封筒一括（野口忠太郎より野田卯太郎宛）
1541	2	〔電報封筒〕		鹿児島　永江純一	大牟田村　野田卯太郎		封筒	1	
1542		〔書簡〕	（明治28年）5月4日	団琢磨（東京日本橋区駿河町三井礦山会社）	野田卯太郎（福岡県筑後国三池郡大牟田町三池紡績会社ニ而）	京都での会合の計画は困難の事、金子も農商務大臣留主中につき出京できざる事ほか	継紙	1	封筒あり
1543	1	〔書簡〕	（明治28年4月）5日	大村（筑後三池郡大牟田　大村務）	野田様（門司港旅人宿石田屋　野田卯太郎）	土産品蔬菜類は取り寄せ依頼中の事ほか	継紙	1	1543-1～3封筒一括。年月は封筒消印
1543	2	〔新聞切抜〕	（明治28年頃）			日清戦争戦勝の軍歌ほか	新聞切抜	1	
1543	3	〔新聞切抜〕	（明治28年頃）			『仏教通俗講義』の販売広告ほか	新聞切抜	1	
1544	1	〔書簡〕	明治28年5月16日	解傭軍夫救護会々長　近衛篤麿（印）	野田卯太郎殿（福岡県三池郡岩田村岩津）	当会病院拡張のため賛助願い	紙	1	1544-1～2封筒一括

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1544	2	解傭軍夫救護会設立ノ要旨	明治28年2月	解傭軍夫救護会々長　公爵近衛篤麿(印)、同副会長　長与専斎、理事3名ほか			紙	1	
1545		〔書簡〕	(明治22年)5月24日	永江純一(三池郡江浦村)	野田卯太郎殿(三池郡大牟田町三池銀行出張所)	田代での談判の経過について	罫紙	1	封筒あり。年は消印
1546		〔封筒〕	(明治20年代頃)	三池紡績会社　堤藤蔵	永江純一様		封筒	1	
1547	1	〔名刺〕	(明治20年代頃)	徳富猪一郎			名刺	1	1547-1～10封筒一括(大倉警部より野田卯太郎宛)。封筒上書「新聞切抜入」
1547	2	〔新聞切抜〕	(明治20年代頃)			「米国綿花輸送の発達」ほか	新聞切抜	1	
1547	3	船中取運賃受取証	(明治)28年4月11日	日本郵船株式会社　顕益丸事ム長　森勝次郎(印)	野田殿	金24円余受取	紙	1	
1547	4	〔葉書〕	明治27年12月21日	東京市京橋区日吉町四番地国民新聞社	筑後国大牟田町　野田卯太郎殿	1ヶ年分講読料4円余払込願い	葉書	1	
1547	5	〔名刺〕	(明治20年代頃)	三池郡岩田村　野田卯太郎			名刺	1	
1547	6	〔名刺〕	(明治20年代頃)	久良知重敏代理　守永竹蔵			名刺	1	
1547	7	〔旅券〕	(明治26年)	福岡県門司警察署証明	福岡県三池郡岩田村三池紡績株式会社取締　野田卯太郎		切紙	1	裏朱印「山口県」
1547	8	〔葉書〕	(明治28年4月5日)	三池郡江ノ浦　荻原斗一	門司駅石田屋止宿　野田卯太郎様	荷物送達の件につき依頼	葉書	1	年月日は消印
1547	9	〔書簡〕	(明治20年代頃)4月9日	大倉門司警察署長(印・「大倉周之介」)	野田卯太郎殿	志波氏に対する証明書送付の事	切紙	1	
1547	10	〔書簡〕	(明治20年代頃)4月9日	門司警察署	石田屋　野田卯太郎殿	証明書下附のため志波三九郎の原籍詳細御申出願い	切紙	1	
1548	1	〔書簡〕	(明治28年)2月27日	中村靖(肥前唐津旧城内　唐津興業鉄道株式会社創立事	野田卯太郎様(福岡県大牟田町三池紡績株式会社)	鉄道につき尽力願い、鉄道局鉄道費予算調べ送付の事	切紙	1	1548-1～10封筒一括
1548	2	〔書簡〕	(明治28年)2月23日	野田卯太郎	海妻兄	戦争終結に伴う経済変動に備え三池紡績第二工場の操業開始を期に増資を計画中につき株主との協議	継紙	1	
1548	3	〔葉書〕	(明治28年2月28日)	門司港　石田組回漕店	三池紡績会社　野田卯太郎様	広島・尾道・神戸行き船便の照会への回答	葉書	1	年月日は消印
1548	4	〔電報〕	(明治28年)2月26日	スルカ丁　ミツイコウサンコウメイカイシヤ　マスダ　ダン(駿河町三井鉱山合名会社　益田	ミイケホウセキカイシヤ　ノダウタロ(三池紡績会社　野田卯太郎)	幌内石炭などについて(マヌテタ(ムメタテ)ユセブチ(ミナト)マレヂヌケセレシリニツシナワフ、暗号文)	電報	1	
1548	5	〔電報〕	(明治28年)2月27日	カブトテウ　ミツイフツサン　マスダ(兜町三井物産　益田)	ミツイホウセキカイシヤ　オホムラツトム(三池紡績会社　大村	出張相談の依頼、暗号文	電報	1	
1548	6	〔電報〕	(明治28年)2月28日	ソウシウロウマチ九バンチ　スガヌママサノリ(菅沼政経)	ヲヲムタマチ　ミイケホウセキカイシヤ　ノダウタロウ(大牟田町三池紡績会社　野田卯太郎)	輸入港は未決定の事ほか(ミタユニウコウノコトキマラヌスグツゴウシテコイ)	電報	1	
1548	7	〔電報〕	(明治28年)2月28日	トウケイニホンバシスルカ丁　ミツイコウザン　マスダタカシ　ダンタクマ(東京日本橋駿河丁三井鉱山　益田孝　団琢磨)	ミイケホウセキカイシヤ　ノダウタロウ(三池紡績会社　野田卯太郎)	新規暗号にて発電の事(ブッサンシンキアンゴウニテカケタ)	電報	1	
1549		〔書簡〕	明治24年11月15日	堤藤蔵(印)(筑後三池)	野田卯太郎様(東京市芝区佐久間町信濃屋止宿)	大牟田次年次の余米3俵は蓮尾彦次郎へ預けし事ほか	書綴(罫紙)	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1550		〔書簡〕	(明治24年)11月16日	永江純一(三池郡大牟田町)	野田卯太郎(東京芝区南佐久間町信濃屋信介方)	約束手形期限延長の事、金融の都合により綿花買い入れ断念せし事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1551		〔書簡〕	(明治24年)12月15日	黒田峰松(下谷坂町十一番地高野方宿)	野田卯太郎殿(芝南佐久間町二丁目信濃屋)	三池紡績の方につき周旋依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1552		〔書簡〕	(明治)24年11月11日	貞嗣(筑後三池郡大牟田町字下里　横山貞嗣)	野田大人(東京市芝区南佐久間町弐丁目信濃屋信助方留置キ　野田卯太郎)	船舶の件は湾内汽船会社重役梅浦氏へ斡旋方依頼せし事	継紙	1	封筒あり
1553	1	記	(明治)25年1月	向坂	野田君	釘代・左官手間賃ほか6円余書上	罫紙	1	1533-1～7封筒一括。向坂黙爾宛三池集治鑑会計課の封筒
1553	2	記	(明治24年)旧12月27日	吉造(印)	向坂御内	大工4人代金1円余請取	切紙	1	1533-2～7紙縒一括
1553	3	証	(明治)24年12月21日	畳屋　房太郎(印)	向阪殿	七通畳2枚代金56銭受取	罫紙	1	
1553	4	証	(明治)24年12月20日	金冨猪太郎(印)	向坂様	中継表6枚ほか代金1円余受取	罫紙	1	
1553	5	記	(明治24年)12月22日	八木店(印)	上様	品代43銭受取	切紙	1	
1553	6	記	(明治)24年旧11月19日	石樋　木屋(印)	上様	二間小割4本ほか代金94銭書上	切紙	1	
1553	7	記	(明治24年)12月11日	大牟田町　西山釘店(印・「三池郡大牟田字名本町鉄店」)	上様	四イチ釘100匁ほか代金5銭余受取	継紙	1	
1554		〔書簡〕	(明治24年頃)11月27日	三池物産会社金庫掛(印)	野田様(信濃屋方　野田卯太郎)	約束手形1万6,000円分振出の件につき	継紙	1	封筒あり
1555		〔書簡〕	(明治24年11月21日)	三池郡岩田村大字岩津　野田志希子	東京芝区南佐久間町信濃屋ニテ　野田卯太郎様	永江様より金8円相談の件について	罫紙	1	封筒あり。年月日は封筒消印
1556	1	〔書簡〕	明治24年11月24日	三井物産外国品掛　端善次郎(印)	信濃屋ニ而　三池紡績会社野田卯太郎殿	借入金延期の件につき三井銀行よりの回答を別紙封入の事	罫紙	1	1556-1～2封筒一括
1556	2	〔書簡〕	明治24年11月28日	三井物産会社勘定方(印)	芝区佐久間町信濃屋ニテ　三池紡績会社員　野田卯太郎殿	別紙の通り三池紡績会社へ書簡送付の事	罫紙	1	
1557		〔書簡〕	(明治24年)11月19日	永江(福岡県三池郡大牟田町三池紡績会社　永江純一)	野田兄(東京芝区南佐久間町信濃屋　野田卯太郎)	本社内へ敷設予定の軽便鉄道用レール買入の件につき照会	切紙	1	封筒あり
1558		〔書簡〕	(明治24年)11月24日	家永豊吉(牛込区市ヶ谷柳町弐拾八番地)	野田愛兄(芝区南佐久間町二丁目信濃屋　野田卯太郎)	明後日大隈伯訪問への同道願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1559		〔書簡〕	(明治24年頃)12月1日	とよきち	野田兄	若津米穀市場設立願書は福岡県会の承諾を経て農商務省へ送達につき至急取計い願い	継紙	1	
1560		〔書簡〕	(明治24年頃)	堤藤蔵	野田卯太郎様	夜学校敷地料へ次年次余米を引当の件、綿の水気を見る機械の取調べの件ほか	書綴(罫紙)	1	三池紡績会社罫紙使用
1561		〔書簡〕	(明治24年)3月14日	(家永)豊吉	由布経義、野田卯太郎、富安保太郎	陸奥大臣は県治に関する我輩の意見に賛成の事、安場など代遷せしむる件、柳川地方の運動方針の件	継紙	1	封筒あり(山川郡川北村富安保太郎より大牟田町野田卯太郎
1562		〔書簡〕	明治24年11月18日	兵庫県川辺郡　尼崎紡績会社米沢善行	野田卯太郎殿(東京芝区南佐久間町信濃屋方止宿　三池紡績会社取締役)	過日弊社訪問の御礼、いずれ菊池氏共々面会致す事ほか	罫紙	1	封筒あり
1563		〔書簡〕	(明治24年頃)12月3日	虎四郎、孝	野田宇太郎様、河野修造様、永江猪十郎様	芝湖月楼閣での宴席につき案内	切紙	1	
1564		〔書簡〕	(明治24年頃)11月28日	永江一	野田兄	三角地所は炭置場などには不適当なれども買入れ置く事、団も委細承知の事	継紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1565		〔書簡〕	(明治24年)12月5日	板井真澄(福岡県三池郡銀水村)	野田卯太郎様(東京市芝区信濃屋信助方止宿)	高ノ巣鉱山の試掘出願につき農商務大臣などへ働きかけ依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1566		〔書簡〕	(明治24年頃)13日	岡田令高(水明館)	谷川、田邨、小松原、野田、田邨各台下(西紺屋町十七番地大日本紡績聯合会事務所)	今日の会では野田君より星氏への申し入れが最も肝要の事ほか	継紙	1	封筒あり
1567		〔書簡〕	(明治)24年11月10日	貞嗣(筑後三池郡大牟田町字下里　横山貞嗣)	梅浦精一(東京市京橋木挽町九丁目拾壱番地)	野田の紹介状、船舶の件につき周旋願い	切紙	1	封筒あり
1568		〔書簡〕	(明治24年頃)2月28日	谷川達海	野田様(野田卯太郎)	岡田氏へ今日のクラブでの御論を伝えし事、前の話は取り消すにつき御承知置き願い	継紙	1	封筒あり
1569		〔書簡〕	(明治24年頃)20日	(益田)孝	野田卯太郎様	近日面会依頼、三井銀行の件、上海より綿花代金受取の件ほか	継紙	1	
1570		〔書簡〕	(明治25年)3月28日	淡輪信一(柳河農事御試験場官)	野田卯太郎(三池郡岩田村字岩津)	武藤氏へ示談の件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1571		〔書簡〕	明治27年1月30日	隈部活水(印)(大坂西成郡難波邨木本鉄工所ヨリ)	野田卯太郎様(福岡県筑后国三池紡績会社ニテ)	上坂より木本鉄工所へ入場するまで御世話の御礼、三池紡績荷造機械の完成日は未定の事	継紙	1	封筒あり
1572		〔書簡〕	(明治20年代頃)8月15日	余田(托森田暦蔵氏　余田末人)	野田大兄(大牟田町　野田卯太郎)	炭坑社への就職斡旋につき依頼	切紙	1	
1573		〔書簡〕	(明治27年)4月18日	正久(東京芝区神谷町十八番地　松田正久)	野田様、永江様(福岡県三池郡大牟田町紡績所ニ而)	紡績所の件は郷里の者へ説諭せし事、小城郡長ほか見学に参るべき事、吾党九州議員13人に達し面白き運動も出来る事、板翁は得意過ぎて苦慮し居る事	継紙	1	年は封筒消印
1574		〔書簡〕	(明治26年)8月1日	富安保太郎(山門郡川北村)	野田卯太郎殿(三池郡大牟田町)	御上京前に会いたいが当方病気のため困難の事	罫紙	1	封筒あり
1575		〔書簡〕	(明治26年)7月29日	森信夫(博多橋口石田屋)	野田卯太郎殿(筑後国三池郡三池紡績会社ニ而)	病気のため出社できざる事、若津の株券の件は照会済の事、博多商船会社廃止の件につき伺いほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1576		〔書簡〕	(明治26年)7月29日	征矢野半弥(福岡小烏馬場二番地)	野田卯太郎、永江純一様(三池郡大牟田町)	自由党出席の九州委員会にて在東京九州倶楽部の名義を以て旧来の民党論を談判すべき事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1577		〔書簡〕	(明治20年代頃)10月30日	永相義夫	野田様	就職斡旋につき依頼	継紙	1	封筒あり
1578		〔電報〕	明治25年9月20日	ハカタハシグチイシタヤカタモリシノブ(博多橋口石田屋方森信夫)	ミイケグンヲヲムタマチ　ノダウタロ(三池郡大牟田町　野田卯太郎)	至急おいで頼む(スグヲイテタノム)	電報	1	
1579		〔書簡〕	(明治20年代頃)4月21日	団琢磨	野田君(紡績会社内　野田卯太郎)	昨日御帰社の由、面会依頼	切紙	1	封筒あり
1580		〔書簡〕	(明治20年代頃)4月10日	田中賢道(熊本市新屋敷町百九十八番地)	永江純一殿、野田卯太郎殿(大牟田町三池紡績会社)	中村氏の炭山の件につき友人武藤修一を紹介致す事	継紙	1	封筒あり。封筒上書に「託武藤修一君」と
1581		〔書簡〕	(明治27年)4月4日	阿部充家(熊本ニテ)	野田愛兄(筑後三池郡大牟田)	急遽出発にて面会できず残念の事、政界の事は種々錯雑すれども虚心担懐に処するが肝要の事ほか	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1582		〔書簡〕	(明治26年)8月1日	福岡日日新聞社(印)	野田卯太郎様(三池郡大牟田町)	野田氏ほか常議員会欠席のため重要な会社組織上の件評決できざる事、次回会議の日取につき照会	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1583		〔書簡〕	(明治20年代頃)7月11日	琢磨(団琢磨)	野田卯太郎様	明日面会できず残念、東京より益田氏が来訪の予定	継紙	1	封筒あり
1584		〔書簡〕	明治26年1月2日	宇佐利七(佐賀東松浦郡厳木村大字岩屋池田市五郎殿炭坑安の浦谷)	野田卯太郎様(福岡県三池郡三池町)	昨年7月頃お世話の御礼、11月より当地の炭坑にて働いている事	罫紙	1	封筒あり
1585		〔書簡〕	(明治26年頃)4月12日	三池銀行出張所	野田卯太郎殿	元利3125円余につき新証書分ほか差引残金書上	継紙	1	封筒あり
1586		〔書簡〕	(明治27年1月)30日	征矢野半弥、庄野金十郎	野田卯太郎様(三池郡大牟田町)	総選挙の打合せもあるにつき来月の新聞社株主総会へ出席願い	罫紙	1	封筒あり。年月は封筒消印
1587	1	〔覚書〕	(明治25年7月11日)			「町村自治の事、教育の事、衛生の事、勧業の事、矢部川并ニ飯江川改修の事」とあり	切紙	1	1587-1～3封筒一括(福岡日日新聞より大牟田町野田卯太郎
1587	2	〔委任状〕	明治25年7月			三池紡績株主総会につき、未記入	切紙	1	
1587	3	〔封筒〕	(明治25年7月23日)	三池郡役所	三池郡岩田村　野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印
1588		〔書簡〕	(明治25年)旧6月22日	緑村大字清水　福山徳太郎	野田卯太郎殿(三池郡岩田村大字岩津)	辛子8俵分差出すにつき差引不足金御知らせ願い	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1589		〔書簡〕	(明治20年代頃)7月18日	堤藤蔵(福岡県三池郡大牟田町三池紡績会社)	野田卯太郎様	熊本中村福次郎氏金700円持参につき残金1500円余の取り扱いに関し指示願い	継紙	1	封筒あり
1590		〔書簡〕	(明治25年)7月23日	冨安保太郎(山門郡川北村)	野田卯太郎殿(三池郡大牟田町)	残り株のうち20株ほど割当願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1591		〔書簡〕	(明治20年代頃)7月25日	余田	野田兄	稲苗の植え付けなどの件につき回答	切紙	1	
1592		〔書簡〕	(明治20年代頃)7月31日	小野隆基	野田君、森君(野田卯太郎、森時三郎)	本日船木屋へ同伴できざる事	切紙	1	封筒あり
1593		〔書簡〕	(明治20年代頃)7月23日	永江慎一	三池紡績会社　野田卯太郎雅兄	矢部川改修工事の件は各村協議の上その筋へ請願書提出の予定	切紙	1	封筒あり
1594		〔書簡〕	(明治20年代頃)7月18日	吉原(東松浦郡鬼塚村字和多田ヨリ　吉原政道)	野田賢台(三池紡績会社　野田卯太郎)	本山□太郎氏の三池紡績への採用依頼	切紙	1	封筒あり
1595		〔書簡〕	(明治25年7月26日)	久留米赤松社ヨリ　三谷有信	三池郡大牟田三池紡績会社大村務様、永江純一様、野田卯太郎様	東京職工学校卒業生村上弥一郎の三池紡績への採用依頼	切紙	1	封筒あり。後欠。年月日は封筒消印
1596		〔書簡〕	(明治25年)7月26日	奈須義質、桧前捨次郎(熊本市洗馬一丁目)	野田卯太郎様(筑後三池郡大牟田紡績会社)	東亜学館寄付募集の件について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1597		〔書簡〕	(明治25年)6月22日	中村祐興(東京府王子村官舎)	野田賢台(福岡県下筑後国三池郡大牟田駅　野田卯太郎)	荒牧子供など知人の紹介	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1598		〔書簡〕	(明治27年)4月19日	則元由庸(長崎市興善寺)	野田先生(福岡県三池郡大牟田　野田卯太郎)	不在の謝罪ほか	継紙(罫紙)	1	封筒あり。年は封筒消印
1599		〔封筒〕	(明治大正期)	(野田卯太郎)		上書「要書入　大塊」	封筒	1	1599～1613紐一括
1600	1	大正三年九月中支払一覧表	大正3年9月			賄費ほか計444円余書上	罫紙	1	1600-1～6封筒一括。封筒上書「東京及三池計算書入」
1600	2	普請入費大別	(大正3年頃)			材木屋瓦屋払ほか代金722円余書	罫紙	1	裏墨書「岩津」
1600	3	〔6月分収支計算書〕	(大正3年頃)			俊作旅費ほか	罫紙	1	
1600	4	〔7月分収支計算書〕	(大正3年頃)			俊作分洋服代ほか	罫紙	1	
1600	5	大正三年十月中支出一覧	大正3年10月			戸別割第3期ほか計450円余書上	罫紙	1	
1600	6	大正参年十月分収支計算表(東京の家)	大正3年10月			副食物費ほか	罫紙	1	

史料番号		表題	年月日	作 成 者	宛 先	内容	形態	数量	備考
1601	1	記	(大正5年頃)			大しま綿入2枚ほか代金1円余受取	切紙	1	1601-1～18封筒一括。封筒上書「一月領収書入」
1601	2	受取証	大正5年1月31日	京城旭町二丁目　朝鮮雑誌社(印)	野田卯太郎殿	雑誌朝鮮及満洲1月分代金25銭受取	紙	1	
1601	3	〔領収書〕	(大正5年)1月31日	青木堂(印)(京城南大門通三丁目　朝鮮総督府・同駐剳軍司令部・李王職御用達)	野田殿、栗内	葉巻代金2円余領収	紙	1	
1601	4	送附証	大正4年12月12日	京城西小門通　西崎商会貯炭場	野田邸殿	撫順塊炭につき	紙	1	
1601	5	領収証	大正(5年)1月1日	電灯会社(京城電気株式会社)		電球代20銭領収	紙	1	電灯球其他引換証の裏使用
1601	6	計算書	大正5年1月7日	朝鮮京城本町一丁目　津村兄弟商会(印)	上様	エキスほか代金3円余領収	紙	1	
1601	7	郵便物受領証	(大正)5年1月7日	(京城大平通郵便局)	西小門町　野田卯太郎	大牟田町三井三池炭坑社宅藤村箴宛書留受領	紙	1	
1601	8	郵便物受領証	(大正)5年1月7日	(京城大平通郵便局)	西小門町七五　野田卯太郎	東京麻布区材木町加藤とめ子宛書留受領	紙	1	
1601	9	証	大正4年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　堂文堂(印)	野田殿	国民新聞代金1月分33銭領収	紙	1	
1601	10	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	大阪毎日新聞代金1月分55銭領収	紙	1	
1601	11	証	大正4年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	福岡日日新聞代金1月分40銭領収	紙	1	
1601	12	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	京城日報代金1月分50銭領収	紙	1	
1601	13	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	大阪朝日新聞代金1月分55銭領収	紙	1	
1601	14	証	大正4年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	時事新報代金1月分50銭領収	紙	1	
1601	15	記	大正5年1月	京城西小門通　西門組	野田殿	代金55銭受取	紙	1	
1601	16	記	大正5年1月20日	京城大和町二丁目　石炭・薪炭商　横田商店	西　野田殿	石炭・煉炭代金5円余受取	紙	1	
1601	17	領収書	大正5年2月	京城桜井町五十七番戸　漢城衛生社	野田家殿	煙突掃除料95銭領収	紙	1	
1601	18-1	受領証	大正5年2月1日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正4年12月分電灯料2円余領収	紙	1	1601-18-1～3糊付一括。1601-18-1～6同折
1601	18-2	受領証	大正5年2月1日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正4年12月分電灯料13円余領収	紙	1	
1601	18-3	受領証	大正5年2月1日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正4年12月分瓦斯代1円余領収	紙	1	
1601	18-4	受領証	大正5年2月1日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正5年1月分電灯料15円余領収	紙	1	
1601	18-5	受領証	大正5年2月1日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正5年1月分電灯料2円余領収	紙	1	1601-4、5糊付一括
1601	18-6	受領証	大正5年2月1日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正5年1月分瓦斯代4円余領収	紙	1	
1602	1	証	大正4年11月30日	朝鮮京城南大門通三丁目　丁子屋支店洋服部(印)　受領者(印・「鈴木」)	野田様	代金25円領収	紙	1	1602-1～14封筒一括。封筒上書「十一月分　受領証入」
1602	2-1	郵便物受領証	(大正)4年10月1日	(京城大平通郵便局)	西小門町七五　野田卯太郎	福岡市博多私立病院大石繁雄宛書留受領	紙	1	1602-1～2の間に切り取り線あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1602	2-2	郵便物受領証	(大正)4年10月1日	(京城大平通郵便局)	西小門町七五　野田卯太郎	福岡市博多三井銀行福岡支店宛書留受領	紙	1	
1602	3	領収証	大正4年11月23日	京城太平通二丁目　朝鮮公論社	野田殿	雑誌代半年分1円余領収	紙	1	
1602	4	記	(大正4年)11月7日	京城本町一丁目　江戸川(印)	西小門内　野田様	蒲焼4人前代金2円領収	紙	1	
1602	5	受取証	大正4年11月	京城旭町二丁目　朝鮮雑誌社(印)	野田卯太郎殿	雑誌朝鮮及満洲11月分50銭受取	紙	1	
1602	6	〔領収書〕	大正4年11月25日	京城　銀行集会所(印)	野田卯太郎殿	11月分会費3円受領	紙	1	
1602	7	領収証書	大正4年11月26日	朝鮮総督府医院収入官吏　書記　吉田弥五右衛門(印)	野田卯太郎納	米代89銭領収	紙	1	
1602	8	〔請求書〕	大正4年11月21日	京城南大門通　丁子屋洋服店	西小門内東拓　野田様	引廻マント1枚ほか代金25円書上	紙	1	
1602	9	記	大正4年11月20日	京城大和町二丁目　石炭・薪炭商　吉田商店	西　野田様	石炭代2円余受取	紙	1	
1602	10	領収証	大正4年12月	漢城衛生社(印)	野田家殿	煙突掃除料20銭領収	紙	1	
1602	11	記	大正4年10月	京城旭町壱丁目　「カネ・イ」前田商店	野田様	さわらほか魚代77銭余受取	紙	1	
1602	12-1	領収証書	大正4年12月8日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	10月分量水器使用料80銭領収	紙	1	1602-12-1～2同折
1602	12-2	領収証書	大正4年12月8日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	10月分計量給水料4円余領収	紙	1	
1602	13	証	大正4年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	時事新報代11月分50銭領収	紙	1	
1602	14	領収証	大正4年11月28日	朝鮮新聞京城販売部(印)	野田殿	朝鮮新聞代11月分45銭領収	紙	1	
1602	15-1	領収証	大正(4)年	京城日報市内専売店　町田新聞部	野田殿	国民新聞11月分33銭領収	紙	1	1602-15-1～5同折
1602	15-2	領収証	大正4年	大阪朝日新聞特約販売店　町田新聞部	野田殿	大阪朝日新聞11月分55銭領収	紙	1	
1602	15-3	領収証	大正4年	大阪毎日新聞特約販売店　町田新聞部	野田殿	大阪毎日新聞11月分55銭領収	紙	1	
1602	15-4	領収証	大正4年	福岡日日新聞特約販売店　町田新聞部	野田殿	福岡日日新聞11月分40銭領収	紙	1	
1602	15-5	領収証	大正(4)年	京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	京城日報11月分50銭領収	紙	1	
1603	1	〔領収書〕	大正11年2月末日	北部塔洞公園内　カフェーバゴダ、京城大門通二丁目　朝鮮総督府・朝鮮総督府・同駐剳軍司令部・李王職御用達	野田殿	4人分洋食代6円余受取	紙	1	1603-1～19封筒一括。封筒上書「二月三月分　領収書入」
1603	2	領収証書	(大正)5年3月15日	京城太平通郵便出納員(印)	東洋拓殖株式会社納	2月分市外通話料1円余領収	紙	1	
1603	3	計算書	大正5年3月20日	京城大和町弐丁目　石炭薪炭商　「マル・ヨ」横田商店	野田様	石炭代2円余領収	紙	1	
1603	4	領収証	大正5年4月	漢城衛生社(印)	野田家殿	3月分煙突掃除料40銭領収	紙	1	
1603	5	受領証	大正5年	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正5年3月分瓦斯代2円余領収	紙	1	
1603	6	記	大正5年3月	京城西小門通　西門組(印)	野田様	光代門パコダ公園内青木堂出張所迄ほか代金45銭受取	紙	1	
1603	7	記	大正5年2月	京城西小門通　西門組	野田様	浦尾旅館廻り東拓迄渡し料ほか代金4円余受取	紙	1	
1603	8	計算書	大正5年2月25日切	京城大和町弐丁目　石炭薪炭商　「マル・ヨ」横田商店	野田様	石炭代金2円余受取	紙	1	
1603	9	領収証書	大正5年3月3日	京城本金庫	野田卯太郎納	1月分計量給水料3円余領収	紙	1	
1603	10-1	受領証	大正5年	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正5年2月分瓦斯代2円余領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1603	10-2	受領証	大正5年	日韓瓦斯電気株式会社(印・「京城電気株式会社京城支	野田卯太郎殿	大正5年2月分電灯料13円余領収	紙	1	
1603	10-3	受領証		日韓瓦斯電気株式会社(印・「京城電気株式会社京城支	野田卯太郎殿	大正5年2月分電灯料2円余領収	紙	1	
1603	11	領収証	大正5年2月27日	朝鮮新聞販売部(印)	野田殿	朝鮮新聞代45銭領収	紙	1	
1603	12	御勘定書	大正5年3月5日	宇治松北園製茶販売　茶商宇治園　明石(印)	野田様	青柳1斤ほか御茶代91銭領収	紙	1	
1603	13	領収証	大正5年3月	漢城衛生社(印)	野田家殿	2月分煙突掃除料30銭領収	紙	1	
1603	14-1	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	国民新聞2月分33銭領収	紙	1	1603-14～18同折
1603	14-2	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	大阪毎日新聞代2月分55銭領収	紙	1	
1603	14-3	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	京城日報代2月分50銭領収	紙	1	
1603	15-1	証	大正4年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	大阪朝日新聞代2月分55銭領収	紙	1	
1603	15-2	証	大正4年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	福岡日日新聞代2月分40銭領収	紙	1	
1603	16-1	証	大正4年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	福岡日日新聞代3月分40銭領収	紙	1	
1603	16-2	証	大正4年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	時事新報代3月分50銭領収	紙	1	
1603	17	証	(大正5年頃)	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	時事新報代2月分50銭領収	紙	1	
1603	18-1	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	京城日報代3月分50銭領収	紙	1	
1603	18-2	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	大阪朝日新聞代55銭領収	紙	1	
1603	18-3	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	大阪毎日新聞代3月分55銭領収	紙	1	
1603	18-4	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	国民新聞代3月分33銭領収	紙	1	
1603	19-1	受領証	大正5年	日韓瓦斯電気株式会社(印・「京城電気株式会社京城支	野田卯太郎殿	大正5年3月分電灯料16円余領収	紙	1	1603-19-1～2同折
1603	19-2	受領証	大正5年	日韓瓦斯電気株式会社(印・「京城電気株式会社京城支	野田卯太郎殿	大正5年3月分電灯料2円余領収	紙	1	
1604	1	領収証書	大正4年10月14日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	8月分計量給水料4円領収	紙	1	1604-1～22封筒一括。封筒上書「大正四年九月分　領収証
1604	2	領収証書	大正4年10月14日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	8月分量水器使用料80銭領収	紙	1	
1604	3	領収証	大正4年9月10日	東洋拓殖株式会社秘書室　書記　神長均(印)	野田副総裁殿	総督府坂出技師送別会々費5円領収	罫紙	1	
1604	4	証	大正4年9月28日	岡山孤児院(印)	野田卯太郎殿	大正4年分賛助金1円領収	紙	1	
1604	5	記	大正4年9月	京城西小門通　西門組(印)	野田様	南大門へ使い代金15銭受取	紙	1	
1604	6	〔領収書〕	大正4年9月23日	青木堂(印)(京城南大門通三丁目　朝鮮総督府・同駐剳軍司令部・李王職御用達)	西小門　野田殿	ミルクほか代金1円余領収	紙	1	
1604	7	領収証	大正9月9月30日	京城若草町寺前　三輪島三郎	野田家様	9月煙突掃除料20銭領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1604	8	受取証	大正4年9月30日	京城旭町二丁目　朝鮮雑誌社(印)	野田卯太郎殿	雑誌朝鮮及満洲9月分代金25銭受取	紙	1	
1604	9	記	大正4年9月末日	京城旭町壱丁目「カネ・イ」前田商店	野田様	刺身ほか魚代1円余受取	紙	1	
1604	10	記	大正4年9月	京城明治町一丁目　綿類・蚊帳・呉服・太物卸商　唐川呉服店	野田様	晒し2反ほか代金3円余請取	紙	1	
1604	11-1	領収証	大正4年10月1日	京城南大門駅前　内国通運株式会社　京城支店(印)	野田卯太郎殿	九州送り梨4個運賃2円余領収	紙	1	1604-11-1～2同折
1604	11-2	領収証	大正4年10月1日	京城南大門駅前　内国通運株式会社　京城支店(印)	野田卯太郎殿	東京有賀様行き運輸賃2円余領収	紙	1	
1604	12	証	大正4年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	時事新報代9月分50銭領収	紙	1	
1604	13	領収証	大正4年9月29日	朝鮮新聞京城販売部(印)	野田殿	朝鮮新聞代金9月分45銭領収	紙	1	1604-13～17同折
1604	14	領収証	大正4年	京城日報市内専売店　町田新聞部	野田殿	国民新聞9月分33銭領収	紙	1	
1604	15	領収証	大正4年	福岡日日新聞特約販売店　町田新聞部	野田殿	福岡日日新聞9月分40銭領収	紙	1	
1604	16	領収証	大正4年	大阪毎日新聞特約販売店　町田新聞部	町田殿	大阪毎日新聞9月分55銭領収	紙	1	
1604	17-1	領収証	大正4年	大阪朝日新聞特約販売店　町田新聞部	町田殿	大阪朝日新聞9月分55銭領収	紙	1	1604-17-1～2同折
1604	17-2	領収証	大正(4)年	京城日報市内専売店　町田新聞部	町田殿	京城日報9月分50銭領収	紙	1	
1604	18	証	大正(4年頃)	京城南大門通二丁目　朝鮮新聞支社	西小門町社宅　野田卯太郎殿	東洋美術展覧会名誉会員費10円領収	紙	1	
1604	19	朝鮮総督府鉄道局　各種料金収入切符	大正4年9月9日	南大門駅	野田卯太郎殿	熊本海苔6個関税38銭につき	紙	1	
1604	20	〔領収書〕	大正4年9月27日	京城銀行集会所(印)	野田卯太郎殿	9月分会費3円領収	紙	1	
1604	21-1	朝鮮総督府鉄道局　小荷物切手	大正4年9月16日	南大門駅小荷物掛	野田卯太郎	西園寺公爵宛炭酸水箱入1個代金2円余	紙	1	1604-21-1～2同折
1604	21-2	朝鮮総督府鉄道局　小荷物切符	大正4年9月11日	南大門駅小荷物掛(印・「西村」)	西小門町　野田卯太郎	東京麻布区林町29加藤とめ子宛酢瓶箱入り1個代金2円余	紙	1	
1604	22	郵便物受領証	(大正)4年9月12日	(京城大平通郵便局)	西小門　野田	東京麻布材木町加藤とめ宛小包受	紙	1	
1605	1	記	大正4年6月末日	代　魚徳(印・「京城旭町壱丁目・「カネ・イ」・前田商店」)	野田様	鯛ほか魚代1円余書上	紙	1	1605-1～35封筒一括。封筒上書「大正四年七月　領収証
1605	2	〔受取書〕	(大正4年7月)	儀六	野田様	会社送迎ほか7月分代金8円受取	継紙	1	
1605	3	〔領収書〕	大正4年7月24日	青木堂(印)(朝鮮総督府・朝鮮総督府・同駐剳軍司令部・李王職御用達)	野田殿	アイスクリーム4個代金60銭領収	紙	1	1605-3～4同折
1605	4	〔領収書〕	大正4年7月24日	青木堂(印)(朝鮮総督府・朝鮮総督府・同駐剳軍司令部・李王職御用達)	野田殿	パイナップルほか代金9円余領収	紙	1	
1605	5	記	大正4年7月31日	京城明治町弐丁目　綿類・蚊帳・呉服商　唐川呉服店	本宅　西小　野田様	晒し1反ほか代金2円余領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1605	6	記	大正4年7月17日	京城大平通り一丁目　文武官礼服・総督府制服・各種洋服・諸官衙御用達　三井洋服店、店主三井松次郎(印)	野田殿	洋服三ツ揃直し代4円余領収	紙	1	
1605	7	受取証	大正4年8月9日	京城旭町二丁目　朝鮮雑誌社(印)	野田卯太郎殿	雑誌朝鮮及満洲8月分25銭受取	紙	1	
1605	8	領収証	大正4年7月	漢城衛生社(印)	野田家殿	煙突掃除料6月分20銭領収	紙	1	1605-8～16同折
1605	9	領収証	大正4年7月31日	漢城衛生社(印)	野田家殿	煙突掃除料7月分20銭領収	紙	1	
1605	10	証	大正(4)年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	時事新報代7月分50銭領収	紙	1	
1605	11	領収証	大正4年	大阪朝日特約販売店　町田新聞部(印)	野田殿	大阪朝日7月分55銭領収	紙	1	
1605	12	領収証	大正4年	大阪毎日専売店　町田新聞部(印)	野田殿	大阪毎日7月分55銭領収	紙	1	
1605	13	領収証	大正4年	京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	京城日報7月分50銭領収	紙	1	
1605	14	領収証	大正4年	朝鮮新聞特約販売店　町田新聞部(印)	野田殿	朝鮮新聞7月分45銭領収	紙	1	
1605	15	〔領収証〕	大正4年	京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	国民新聞7月分33銭領収	紙	1	
1605	16	〔領収証〕	大正4年	京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	福岡日日新聞7月分40銭領収	紙	1	
1605	17	請求及領収証	大正4年7月8日	朝鮮総督府鉄道局　京城朝鮮ホテル主任(印)	野田卯太郎殿	昼食3人前・ビール2本ほか代金6円余につき	罫紙	1	
1605	18	領収証	大正4年8月4日	日韓瓦斯電気株式会社電灯課(印)	野田殿	電球1個ほか代金78銭領収	紙	1	
1605	19	郵便物受領証	(大正)4年7月22日	(京城大平通郵便局)	京城西小門　野田卯太郎	福岡県三池郡岩田村　松野多喜八宛書留受領	紙	1	
1605	20	郵便物受領証	(大正)4年7月2□日	(京城大平通郵便局)	西小門　野田卯太郎	福岡県大原田町三井倶楽部永江純一宛小包受領	紙	1	
1605	21	受取証	大正4年7月	京城旭町二丁目　朝鮮雑誌社(印)	野田卯太郎殿	雑誌朝鮮及満洲7月分25銭受取	紙	1	
1605	22	〔請求書〕	(大正4年)7月12日	朝鮮京城三井物産株式会社京城支店　雑貨掛(印・「天	野田様執事御中	内用エキス4個代金8円請求	切紙	1	
1605	23	記	大正4年7月9日	総督府各官衙御用　伊東組	拓　野田様	会社より2人引賃4円余領収	継紙	1	
1605	24	記	(大正4年)7月5日	木村修竹道(印)	野田様	汲古先生書一行物表装代7円領収	継紙	1	
1605	25	通関伝票	大正4年6月29日	南大門駅保税貨物取扱所(印・「安田」)		福岡駅より人力車本体1個につき	紙	1	1605-25～26同折
1605	26	通関伝票	大正4年6月29日	南大門駅保税貨物取扱所(印・「安田」)		福岡駅より人力車車輪1個につき	紙	1	
1605	27	計算書	大正4年7月6日	京城南大門駅前　税関貨物取扱人 「マル・中」中村運送店通関部	野田卯太郎様	人力車1台配達賃ほか代金領収	紙	1	
1605	28	郵便物受領証	(大正)4年7月8日	(京城大平通郵便局)	野田卯太郎	大牟田町三池銀行黒田取締役宛郵便物受領	紙	1	
1605	29	記	大正(4)年7月6日	中村運送店	野田様	人力車2個送付の事	紙	1	
1605	30	記	(大正4年)7月21日	京城本町一丁目　江戸丸(印)	西小門　野田様	蒲焼代金50銭領収	紙	1	
1605	31-1	郵便物受領証	(大正)4年7月24日	(京城大平通郵便局)	西小門　野田留主宅	奉天駅気付野田卯太郎宛書留受領	紙	1	1605-1～2一纏り

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1605	31-2	郵便物受領証	(大正)4年7月25日	(京城大平通郵便局)	西小門　野田宅	奉天駅気付野田卯太郎宛小包受領	紙	1	
1605	32	郵便物受領証	大正4年6月末日	京城本町三丁目三十八番地 東京魁新聞社朝鮮総支社	野田卯太郎殿	半年分新聞代1円余領収	紙	1	
1605	33	郵便物受領証	(大正)4年7月12日	(郵便局)	孔北門　野田卯太郎	福岡県山北郡山川村水野澄治宛小包受領	紙	1	
1605	34	郵便物受領証	(大正)4年7月13日	(京城大平通郵便局)	西小門町　野田卯太郎	福岡県浮羽郡吉井町矢野友吉宛小包受領	紙	1	
1605	35	郵便物受領証	(大正)4年7月13日	(京城大平通郵便局)	西小門町　野田卯太郎	福岡県田主丸町林田守隆宛小包受	紙	1	
1606	1～35	〔領収証〕				大正5年4･5月分			
1606	1	記	大正5年6月1日	京城西小門通　西門組(印)	野田様方	龍山送り賃70銭受取	紙	1	1606-1～35封筒一括。封筒上書「大正五年四五二ヶ月分受取証入」
1606	2	計算書	大正5年5月20日	京城大和町弐丁目　石炭薪炭商　「マル･ヨ」 横田商会	野田様	石炭代金2円余受取	紙	1	
1606	3	記	大正5年6月5日	京城宇治園　明石	野田様	青柳1個代金56銭領収	紙	1	
1606	4	領収証	大正5年5月31日	朝鮮新聞販売部(印)	野田殿	朝鮮新聞代金5月分45銭領収	紙	1	1606-4～10同折
1606	5	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	京城日報代5月分50銭領収	紙	1	
1606	6	証	大正3年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	大阪朝日新聞代5月分50銭領収	紙	1	
1606	7	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	大阪毎日新聞代5月分55銭領収	紙	1	
1606	8	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	時事新報代5月分50銭領収	紙	1	
1606	9	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	国民新聞代5月分33銭領収	紙	1	
1606	10	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	福岡日日新報代5月分40銭領収	紙	1	
1606	11	領収証	大正5年6月	漢城衛生社(印)	野田殿	5月分煙筒掃除料30銭領収	紙	1	1606-11、12同折
1606	12	領収証	大正5年5月	漢城衛生社(印)	野田殿	4月分煙筒掃除料20銭領収	紙	1	
1606	13	領収証書	大正5年6月5日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	4月分計量給水料4円余領収	紙	1	
1606	14	記	大正5年4月9日	総督府各官衙御用　伊東組	野田様	会社より総督府など迄2人曳き代金80銭領収	紙	1	
1606	15	証	大正4年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	大阪朝日新聞代4月分55銭領収	紙	1	
1606	16	証	大正5年4月20日	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	福岡日日新報代4月分40銭領収	紙	1	
1606	17	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	国民新聞代4月分33銭領収	紙	1	
1606	18	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	時事新報代4月分50銭領収	紙	1	
1606	19	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	京城日報代4月分50銭領収	紙	1	
1606	20	領収証	大正5年4月30日	朝鮮新聞販売部(印)	野田殿	朝鮮新聞代金4月分45銭領収	紙	1	
1606	21	証	大正5年		野田殿	大阪毎日代4月分55銭領収	紙	1	
1606	22	受領証	大正5年5月6日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	4月分電灯料2円余領収	紙	1	1606-22～24同折
1606	23	受領証	大正5年5月6日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	4月分電灯料13円余領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1606	24	受領証	大正5年5月6日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	4月分瓦斯代4円余領収	紙	1	
1606	25	証	(大正5年頃)4月25日	京城太平通二丁目四ツ角　東京生ゆば　更科支店(印)	野田殿	さしみ1人前代金15銭領収	紙	1	
1606	26	計算書	大正5年4月20日	京城大和町弐丁目　石炭薪炭商「マル･ヨ」横田商店	西小門町　野田様	石炭代金4円余受取	紙	1	
1606	27-1	受取証	大正5年4月	京城旭町二丁目　朝鮮雑誌社(印)	野田卯太郎殿	雑誌朝鮮及満洲4月分35銭領収	紙	1	1606-27-1～2同折
1606	27-2	受取証	大正5年3月	京城旭町二丁目　朝鮮雑誌社(印)	野田卯太郎殿	雑誌朝鮮及満洲3月分25銭領収	紙	1	
1606	28	証	(大正5年頃)5月12日	京城太平通二丁目四ツ角　東京生ゆば　更科支店(印)	野田殿	ざる3人前代金24銭領収	紙	1	
1606	29	記	(大正5年頃)	京城本町一丁目　江戸川(印)	西小門町　野田様	蒲焼4人前代金2円領収	紙	1	
1606	30	御勘定書	大正5年5月5日	宇治松北園製茶販売　茶商宇治園	拓　野田様	青柳1斤半代金84銭領収	紙	1	1606-1～2同折
1606	31	御勘定書	大正5年4月4日	宇治松北園製茶販売　茶商宇治園　明石(印)	西小町　野田様	青柳1斤半代金84銭領収	紙	1	
1606	32-1	受領証	大正5年	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	5月分電灯料13円余領収	紙	1	1606-32、33同折
1606	32-2	受領証	大正5年	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	5月分電灯料2円余領収	紙	1	
1606	33	受領証	大正5年	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	5月分瓦斯代3円余領収	紙	1	
1606	34	有料電灯球其他引換証	大正5年5月24日	西小門東拓舎宅　野田(印)	京城電気株式会社御中	電灯球8個ほか受取	紙	1	
1606	35	請求書	大正5年	京城電気株式会社(印)	東拓社宅　野田殿	5月中引換電球ほか代金20銭請求	紙	1	受領証付
1607	1～92	〔領収証〕				大正5年1月分領収証入			
1607	1	記	大正5年3月1日	京城府明治町弐丁目　帳簿製造活版印刷　大海堂(印･「犬飼」)	野田様	礼状160枚ほか代金2円余領収	紙	1	貼紙1点あり(郵税2円余秘書室にて立替につき)。1607-1～92袋一括。袋上書「大正五年一月ヨ□　諸々ノ領収入」
1607	2	十二月分給水料内訳書	(大正5年)			給水料3円余につき	紙	1	
1607	3	領収証書	大正5年1月6日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	12月分計量給水料3円余領収	紙	1	
1607	4	領収証	(大正)5年1月26日	京城学校組合金庫(株式会社京城銀行)	野田卯太郎納	学校組合費第4期戸別割85銭領収	紙	1	
1607	5	郵便物配達証明書	大正4年12月17日	大牟田郵便局(印)	(野田卯太郎)	三池銀行黒田専務取締役宛の郵便物につき	紙	1	
1607	6	領収証書	大正4年12月24日	朝鮮総督府医院収入官吏　書記　吉田弥五右衛門	野田卯太郎納	薬価ほか1円余領収	紙	1	
1607	7	領収証書	大正5年8月19日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	7月分計量給水料3円余領収	紙	1	
1607	8	会費領収証	大正5年9月19日	経済研究会　会計主任(印･「中島」)	野田卯太郎殿	9月分1円受取	紙	1	1607-8、9同折
1607	9	実業之満鮮社領収証	大正5年1月25日	京城吉野町一ノ九一　実業之満鮮社(印)	野田卯太郎殿	1年分代金3円領収	紙	1	
1607	10	郵便物受領証	(大正)5年5月22日	(京城明治町郵便局)	西小町　野田卯太郎	東京市日本橋区三井銀行支配人宛書留受領	紙	1	
1607	11	小為替金領収証	(大正)5年3月1日	(京城明治町郵便局)		金5円受領	紙	1	
1607	12	〔領収書〕	大正5年8月28日	京城　銀行集会所(印)	東洋拓殖会社　野田卯太郎様	8月分会費3円領収	紙	1	1607-12～18同折
1607	13	証	大正5年8月21日	経済研究会　会計主任(印･「中島」)	野田卯太郎殿	7･8月分会費2円受取	紙	1	
1607	14	〔領収書〕	大正5年	京城　銀行集会所(印)	東洋拓殖会社　野田卯太郎様	7月分会費3円領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1607	15	領収証	大正5年8月19日	明治神宮奉賛会朝鮮支部	野田卯太郎殿	明治神宮奉賛会献金70円領収	紙	1	
1607	16	小為替金領収証	(大正)5年9月2日	(京城明治町郵便局)		金5円領収、長晴人香典につき	紙	1	
1607	17	〔領収書〕	大正5年2月29日	京城　銀行集会所(印)	東洋拓殖会社　野田卯太郎様	竹内氏送別会費4円余領収	紙	1	
1607	18	〔領収書〕	大正5年3月27日	京城　銀行集会所(印)	東洋拓殖株式会社　野田卯太郎殿	3月分会費3円領収	紙	1	
1607	19	領収証	(大正)4年10月26日	学校組合金庫(株式会社京城銀行)	野田卯太郎殿	学校組合費第2期戸別割85銭領収	紙	1	1607-19～23書類留綴(クリップ・除去済)
1607	20	領収証	(大正4年頃)10月15日	殖産課　秋山真男(印)	野田副総裁閣下	洋梨4個ほか代金13円領収	罫紙	1	
1607	21	受領証	大正4年10月25日	金融部　石上達平(印)	野田卯太郎様	朝鮮事業者大会々費5円領収	罫紙	1	東洋拓殖株式会社罫紙使用
1607	22	拾月分　留主宅経費	(大正4年10月)			京城電気会社電灯料ほか180円余書上	罫紙	1	
1607	23	拾月分報酬収支内訳書	(大正4年10月)			報酬預り金総額1016円余につき	罫紙	1	
1607	24	小為替金受領証書	(大正)4年11月26日	(京城鐘路郵便局)		金3円余受領	紙	1	1607-24～29書類留綴(クリップ・除去済)
1607	25	領収証	大正4年11月26日	殖産課　秋山真男(印)	野田副総裁邸御内	支那白菜5樽分12円領収	罫紙	1	
1607	26	受領証	大正4年11月	仁川東山農場　森田須磨吉(印)	野田様	苹果55個ほか代金2円余領収	罫紙	1	
1607	27	請求書	大正4年11月13日	京城南大門外　「マル・京」河村組運送店	東洋拓殖会社殿　集金掛(印・「金村」)	生果1個運搬費25銭受領	紙	1	
1607	28	拾壱月分(副総裁邸経費)	(大正4年11月)			水道費ほか計金87円余書上	罫紙	1	
1607	29	〔11月分報酬収支内訳書〕	(大正4年11月)			報酬1016円余につき	罫紙	1	
1607	30	証	大正5年1月17日	古城海法(印)	野田卯太郎殿	天満宮御寄附30円領収	紙	1	
1607	31	小為替金受領証書	(大正)5年2月2日	(京城明治町郵便局)		熊本市伊藤保之送り金10円受領	紙	1	1607-31～34同折
1607	32	郵便物受領証	(大正)5年1月20日	(京城明治町郵便局)	東拓大塊	東京麻布区材木町加藤とめ子宛書留受領	紙	1	
1607	33	郵便物受領証	(大正)5年3月3日	(京城明治町郵便局)	西小町　野田卯太郎	相州鎌倉東慶寺釈宗演老師宛書状受領	紙	1	
1607	34	小為替金受領証書	(大正)5年3月3日	(京城明治町郵便局)		金10円受領	紙	1	
1607	35	領収証書	大正5年6月22日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	5月分計量給水料3円余領収	紙	1	
1607	36	〔領収書〕	(大正5年5月)	京城　銀行集会所(印)	東洋拓殖会社　野田卯太郎様	5月分会費3円領収	紙	1	
1607	37	〔領収書〕	大正5年2月25日	京城　銀行集会所(印)	野田卯太郎殿	2月分会費3円領収	紙	1	
1607	38	領収証書	大正5年9月25日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	8月分計量給水料3円余領収	紙	1	
1607	39	証	大正5年9月	無門会幹事(印・「大村」)	野田卯太郎殿	8・9両月分会費1円余受取	紙	1	
1607	40	請求及領収証	大正5年9月25日	朝鮮総督府鉄道局　京城朝鮮ホテル主任(印)	東拓　野田副総裁殿	79円余につき	罫紙	1	
1607	41	〔領収書綴〕	1916年9月10～22日	朝鮮ホテル	東拓　野田様	晩餐料ほか57円余ほか	綴	1	領収書4通書類留(針)綴)
1607	42	【欠番】							
1607	43	郵便物受領証	(大正)5年3月1日	(京城明治町郵便局)	京城西小町　野田卯太郎	福岡柏木勘八郎宛書留受領	紙	1	
1607	44-1	御旅行中諸費精算書	(大正5年)			安井立替分ほか67円余書上	罫紙	1	東洋拓殖株式会社罫紙使用。1607-44～51紙縒綴、クリップの錆跡あり
1607	44-2	御旅行中諸費明細書	(大正5年)			土城駅前休憩茶代ほか67円余書上	罫紙	1	東洋拓殖株式会社罫紙使用
1607	45	領収証	大正5年4月5日	土城　馬車屋(拇印)		金1円余領収	切紙	1	
1607	46	領収証	(大正5年)	延白郡碧欄渡　松岡乙松(印)		金1円領収	罫紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1607	47	記	大正5年4月6日	黄海道延安　丸山旅舘	上様	宿泊料ほか代金2円余領収	紙	1	
1607	48	記	大正5年4月6日	黄海道延安　丸山旅舘	上様	茶代ほか代金7円領収	紙	1	
1607	49	記	大正5年4月6日	黄海道海州南本町　笹屋旅舘(印)	副総裁様	宿泊料ほか代金2円余領収39円余領収	紙	1	
1607	50	記	(大正5年)4月7日	京義線沙里院　高等旅舘宮本旅舘	上様	御中食料3人分2円余受取	紙	1	
1607	51	記	(大正)5年4月7日	京義線沙里院本川橋詰　高等旅舘　宮本舘	上様	御茶料ほか7円領収	紙	1	
1607	52	領収証書	(大正)5年9月14日	京城明治町郵便局出納員　朝鮮総督府郵便所長柴田亀次郎院	東洋拓殖株式会社納	8月分市外通話料1円余領収	紙	1	
1607	53	現金受領証書	大正5年9月14日	下関市東南部町　日本之関門発行所　瞬報社出版部(印)	野田卯太郎殿	『日本之関門』1ヶ年分1円余領収	紙	1	郵便局付紙1点あり(返送につき)
1607	54	〔領収書〕	大正5年5月末日	京城南大門通三丁目　朝鮮総督府・同駐箚郡司令部・李王職御用達　青木堂	野田殿	洋食代21人分36円余受取	紙	1	
1607	55	郵便物受領証	(大正)5年5月26日	(京城明治町郵便局)	西小門　野田卯太郎	東京麻布区加藤留子宛書留受領	紙	1	
1607	56	郵便物受領証	(大正)5年5月22日	(京城明治町郵便局)	西小門　野田卯太郎	三池郡三川町字川尻浜武文治宛書留受領	紙	1	
1607	57	〔領収書〕	大正5年4月27日	京城　銀行集会所(印)	東洋拓殖会社　野田卯太郎様	4月分会費3円領収	紙	1	
1607	58	記	大正5年4月	京城府明治町弐丁目　帳簿製造活版印刷　大海堂(印)	東　野田様	名刺400枚代金2円余領収	紙	1	
1607	59	郵便物受領証	(大正)5年8月15日	(京城明治町郵便局)	京城西小門町　野田卯太郎様	東京芝区三田二丁目慶應義塾監局宛書留受領	紙	1	
1607	60	郵便物受領証	(大正)5年8月5日	(京城明治町郵便局)	京城西小門町　野田大塊	東京々橋区日吉町国民新聞社阿部鶴之輔宛郵便物受領	紙	1	
1607	61	記	(大正5年)9月30日	千代本院	東　野田様	御料理12人分ほか代金67円余領収	切紙	1	
1607	62	通常為替金受領書	(大正)5年10月9日	(京城明治町郵便局)		20円受領、九州時事品川信建宛	紙	1	
1607	63	小為替金受領書	(大正)5年10月11日	(京城明治町郵便局)		金2円受領	紙	1	
1607	64	領収証	大正5年9月12日	大連伊勢町八号地　満鮮実業社	野田副総裁殿	講読金1ヶ年分3円余領収	紙	1	
1607	65	郵便物受領証	(大正)5年8月9日	(京城大平通郵便局)	京城　野田卯太郎	福岡市福日新聞社猪俣為次宛書留受領	紙	1	
1607	66	郵便物受領証	(大正)5年7月27日	(京城明治町郵便局)	京城西小門　野田卯太郎	福岡市博多　三井銀行福岡支店長宛書留受領	紙	1	
1607	67	通常為替金受領証書	(大正)5年8月15日	(京城明治町郵便局)		金50円受領、慶応義塾監局宛送り	紙	1	1607-67～69同折
1607	68	小為替金受領証書	(大正)5年8月9日	(京城明治町郵便局)		金5円受領、荒尾香典につき	紙	1	
1607	69	小為替金受領証書	(大正)5年8月12日	(京城明治町郵便局)		金5円受領	紙	1	
1607	70	領収証	大正5年7月26日	財団法人海南慈善会々計主任　理事　亀井長太郎(印)	野田卯太郎殿	義捐金1円領収	紙	1	
1607	71	謝状	大正5年7月	財団法人海南慈善会(印)	野田卯太郎殿	義捐金1円につき	紙	1	
1607	72	郵便物受領証	(大正)5年9月30日	(京城明治町郵便局)	西小門　野田卯太郎	福岡県山口郡城内村葬儀係宛書留受領	紙	1	
1607	73	記	(大正5年)9月30日	喜久家(印)	野田様	御料理14人分ほか代金24円余領収	紙	1	1607-73、74同折
1607	74	記	(大正5年)9月30日	喜久家(印)	野田様	御料理4人前ほか代金2円余領収	紙	1	
1607	75	領収証	大正5年9月19日	全州本町四丁目　山本自動車部(印)		全州まで貸切自動車費9円受領	罫紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1607	76	〔領収書〕	大正5年9月28日	京城　銀行集会所(印)	東洋拓殖会社　野田卯太郎様(印)	9月分会費3円領収	紙	1	1607-76、77同折
1607	77	小為替金受領証書	(大正)5年9月30日	(京城大平通郵便局)		金5円受領	紙	1	
1607	78	郵便物受領証	(大正)5年3月9日	(京城明治町郵便局)	東拓　野田卯太郎	東京麻布区材木町加藤虎之助宛書留受領	紙	1	
1607	79	記	大正4年6月	医局	野田副総裁殿	6月分金82銭書上	紙	1	
1607	80	郵便物受領証	(大正)5年5月6日	(京城明治町郵便局)	西小門　野田大塊	直方町直方時事新聞社宛書留受領	紙	1	
1607	81	小為替金受領証書	(大正)5年5月6日	(京城明治町郵便局)		金10円受領	紙	1	
1607	82	郵便物受領証	(大正)5年3月24日	(京城明治町郵便局)	京城　野田卯太郎	京都府下嵯峨天竜寺宛郵便物受領	紙	1	
1607	83	郵便物受領証	(大正)5年6月30日	(京城明治町郵便局)	西小門　野田卯太郎	日本橋区駿河町三井銀行支配人宛書留受領	紙	1	
1607	84	領収書	大正4年12月17日	千代本(印)	野田□□様	画会々費10円領収	罫紙	1	
1607	85	領収証	大正4年6月10日	門司市久保町　九州公論社(印)	野田卯太郎殿	広告料金10円領収	切紙	1	
1607	86	領収記	(大正5年頃)5月5日	花月(印・「阿比留」)	野田様	金3円領収	罫紙	1	
1607	87	振替貯金払込金受領証	(大正)5年2月7日	(京城明治町郵便局)	京城　野田卯太郎	森永次郎口座へ金3円振込につき	切紙	1	
1607	88	郵便物受領証	(大正)5年1月17日	(京城明治町郵便局)	西小門　野田卯太郎	福岡市庄町筑紫史談会宛書留受領	紙	1	
1607	89	小為替金受領証書	(大正)5年1月17日	(京城明治町郵便局)		金5円受領	紙	1	1607-89～91同折
1607	90	〔領収書〕	大正5年1月25日	京城　銀行集会所(印)	野田卯太郎殿	勝田主計氏歓迎会費6円領収	紙	1	
1607	91	〔領収書〕	大正5年1月25日	京城　銀行集会所(印)	野田卯太郎殿	1月分会費3円領収	紙	1	
1607	92	領収証	大正5年5月27日	京城本町二丁目　計量器械・文房具・運動具商　堺谷計三郎(印)	野田様	画仙紙10枚代金1円余領収	切紙	1	
1607	93-1	〔封筒〕	(大正5年3月16日)	京都嵯峨　天竜寺(印)	東京麻布区材木町二九　野田卯太郎殿		封筒	1	1607-2～4入り。年月日は消印
1607	93-2	臨済録会日割	(大正5年3月)				紙	1	
1607	93-3	小為替金受領証書	(大正)5年3月24日	(京城鐘路郵便局)		金10円受領	紙	1	
1607	93-4	〔案内状〕	大正5年3月	天竜寺	野田卯太郎殿	故峨山和尚十七回忌斎会開催につ	紙	1	
1607	94	〔封筒〕	(大正4年12月)			上書「大正四年十二月領収証入」	封筒	1	1607-95～102入り
1607	95	領収証	大正4年12月29日	京城府旭町一丁目　小林医院(印)	野田卯太郎殿	御礼金5円領収	紙	1	
1607	96	郵便物配達証明書	(大正)4年12月22日	福岡郵便局	朝鮮京城西小門町七五　野田卯太郎殿	橋口町栄屋旅舘宛書留につき	紙	1	
1607	97	郵便物配達証明書	(大正)4年12月22日	福岡郵便局	朝鮮京城西小門町七五　野田卯太郎殿	福日新聞社菊竹博文宛書留につき	紙	1	
1607	98	郵便物配達証明書	(大正)4年12月26日	長春郵便局	京城西小門町七五　野田卯太郎殿	野田俊作宛書留につき	紙	1	
1607	99	領収証	大正4年12月27日	京城太平通壱丁目　合資会社京城日報社代理部		年鑑1部ほか代金95銭領収	紙	1	
1607	100	現金受領証書	大正4年12月23日	備中国吉備郡真金村　千光庵毛利湛然(印)(禅世界社　毛利暉一郎)	朝鮮京城西小門町　野田卯太郎殿	賛助金1円領収	紙	1	郵便局付紙1点あり(主人不在につき)
1607	101	郵便物配達証明書	(大正)4年12月26日	麻布郵便局	京城西小門町　野田卯太郎殿	材木町二九加藤留子宛郵便物につ	紙	1	
1607	102	〔領収書〕	(大正4年12月)	京城神社社務所(印・「平井」)		神饌料2円領収	紙	1	
1608	1	郵便物受領証	(大正)5年8月10日	(京城大平通郵便局)	野田卯太郎	東京麻布区材木町二九加藤留子宛小包(朝鮮人形)受領	紙	1	1608-1～2同折。1608-1～39封筒一括。封筒上書「大正五八月　領収証入」

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1608	2	郵便物受領証	(大正)5年7月20日	(京城大平通郵便局)	西小門　野田卯太郎	博多三井銀行福岡支店支配人宛書留受領	紙	1	
1608	3	郵便物受領証	(大正)5年7月23日	(京城大平通郵便局)	西小門　野田卯太郎	大坂西区江戸堀一ノ五〇朝鮮綿業会社々長宛書留受領	紙	1	
1608	4	受取証	大正5年9月28日	京城旭町二丁目　朝鮮雑誌社	野田卯太郎殿	雑誌朝鮮及満洲9月分25銭受取	紙	1	
1608	5	記	大正5年8月22日	立花執事(印)	野田殿	鮎数尾受取	紙	1	
1608	6	〔領収書〕	大正5年9月13日	京城本町一丁目　平田商店	御上様	湯飲10個ほか代金3円余領収	紙	1	
1608	7	郵便物受領証	(大正)5年8月13日	(京城大平通郵便局)	西小門町七五　野田卯太郎	大牟田町三池銀行黒田取締役宛書留受領	紙	1	
1608	8	八月分計算書	(大正5年)8月	(野田卯太郎)		瓦斯会社ほか諸支払い140円余書	罫紙	1	
1608	9	郵便物受領証	(大正)5年9月22日	(京城大平通郵便局)	野田卯太郎	大邱八雲町田村権蔵宛書留受領	紙	1	
1608	10	領収証	(大正5年)8月30日	京城南山町一丁目　夫婦寿司	上様	金70銭受領	紙	1	
1608	11	請求書	大正5年8月末日	朝鮮京城本町弐丁目　各国時計美術品商　田中兄弟時計商会	西小門　野田殿	英国製銀時計総直しほか代金2円請求	紙	1	
1608	12	領収証	大正5年9月	朝鮮京城本町二丁目百八番地　各国時計・美術品商　田中兄弟時計商会(印)	野田殿	懐中時計修理料2円領収	紙	1	
1608	13	領収証	大正5年9月6日	京城南大門駅前　内国通運株式会社　京城支店(印)	野田卯太郎殿	金2円余領収	紙	1	
1608	14	領収証	大正5年9月6日	京城南大門駅前　内国通運株式会社　京城支店(印)	野田卯太郎殿	金2円余領収	紙	1	
1608	15	郵便物配達証明書	(大正)5年8月18日	三田郵便局	京城西小門町　野田卯太郎殿	三田慶応塾監局宛書状につき	紙	1	
1608	16	記	大正5年8月19日	朝鮮京城本町二丁目　山本旅舘(印)	石橋様	買物代取替ほか代金4円余領収	切紙	1	1608-16～18書類留(針2本・除去済)綴
1608	17	記	大正5年8月19日	朝鮮京城本町二丁目　山本旅舘(印)	石橋様	氷代ほか代金4円余書上	切紙	1	
1608	18	〔記〕	(大正5年8月19日)	(朝鮮京城本町二丁目山本旅館)	(石橋)	御酒代15銭ほか書上	切紙	1	1608-17の2枚目
1608	19	請求領収証	大正5年8月25日	京城電気株式会社(印)	東拓舎宅　野田卯太郎殿	電扇取付手数料50銭領収	紙	1	1608-19、20書類留(クリップ・除去済)綴
1608	20	受領証	大正5年8月25日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	8月分電扇料9円余領収	紙	1	
1608	21	請求書	大正5年8月	京城電気株式会社(印)	西小門　東拓舎宅　野田卯太郎殿	8月分電扇料9円余領収	紙	1	
1608	22	郵便物受領証	(大正)5年8月25日	(京城大平通郵便局)	西小門七五　野田卯太郎	大邱八雲町田村権蔵宛書留受領	紙	1	
1608	23	郵便物受領証	(大正)5年4月13日	(京城大平通郵便局)	西小門七五　野田卯太郎	三池郡岩田村松野多喜乃宛書留受	紙	1	
1608	24	〔領収書〕	大正5年8月31日	京城塔洞公園内　カフェーパゴダ、京城大門通二丁目　朝鮮総督府・朝鮮総督府・同駐剳軍司令部・李王職御用達		洋食代4人分7円余書上	紙	1	
1608	25	記	(大正)5年9月4日	喜久家(印)	野田様	井出様送別会御会費8円余領収	紙	1	
1608	26	〔領収書〕	大正5年9月4日	李忠甲(拇印)		炭10俵代金5円余受取	切紙	1	
1608	27	領収証	大正5年8月13日	京城南大門駅前　内国通運株式会社　京城支店(印)	東洋拓殖会社　野田殿	直方送り分1円余領収	紙	1	1608-27、28糊付一括
1608	28	請求書	大正5年8月2日	内国通運株式会社　京城通店(印)	東洋拓殖会社　野田殿	直方町貝島大助宛苹菓箱入31斤運賃ほか1円余請求	紙	1	
1608	29	朝鮮総督府鉄道局　各種料金収入切符	大正5年8月13日	東大門駅　岡本	野田卯太郎殿	人吉66号宛生鮎105斤関税45銭につき	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1608	30	郵便物受領証	(大正)5年8月17日	(京城大平通郵便局)	西小門町七五　野田卯太郎	福岡市農工銀行緒方頭取宛書留受	紙	1	
1608	31	〔通知〕	大正5年7月27日	福岡市須崎土手町二十七番地　株式会社福岡県農工銀行	株主殿	大正5年前半期利益分配金受取につき	紙	1	
1608	32	郵便物配達証明書	(大正)5年8月8日	京橋郵便局	京城西小門　野田大塊殿	国民新聞社阿部鶴之輔宛郵便物につき	紙	1	
1608	33	証	大正5年7月30日	京城本町一丁目　和洋紙・諸帳簿・文房具・諸印刷　北内商店(印)	上様	扇12本代金1円余領収	紙	1	
1608	34	郵便物受領証	(大正)5年8月2日	(京城大平通郵便局)	西小門町七五　野田卯太郎	東京麻布区材木町二九加藤留子宛書留受領	紙	1	
1608	35	〔領収書〕	大正5年7月30日	京城南大門通二丁目　御印章木版・ゴム印彫刻・御名刺印刷万祥堂印房(印)		朱肉代金1円余領収	紙	1	
1608	36	受取証	大正5年8月	京城旭町二丁目　朝鮮雑誌社(印)	野田卯太郎殿	雑誌朝鮮及満洲8月分25銭受取	紙	1	
1608	37	計[　　](算書)	大正5年8月[　]	朝鮮京城本町一丁目　津村兄弟商会(印)		品代80銭領収	紙	1	
1608	38	記	大正5年8月9日	朝鮮鍾路大広橋　内外国紙物及和洋文房諸具商　金聖煥	野田卯太郎座下	画筆紙100枚代金3円書上	紙	1	
1608	39	〔領収書〕		京城塔洞公園内　カフェーパゴダ、京城大門通二丁目　朝鮮総督府・朝鮮総督府・同駐剳軍司令部・李王職御用達	野田殿	洋食代3人分4円余受取	紙	1	
1609	1～44	〔領収証〕				大正4年1～4月分領収証入			
1609	1	〔領収書〕	大正(3)年12月25日	京城本町二丁□　大阪屋号書店	東拓　野田様	『膠州湾』代金2円余領収	紙	1	1609-1～44封筒一括。封筒上書「領収証　大正四年自壱月至四月」
1609	2	証	大正4年4月3日	京城黄金町壱丁目(羽衣町角)　岩田写真舘	西小門町　野田様	大判21枚ほか27円余領収	紙	1	
1609	3	領収証	大正4年4月25日	福岡県大和郡城内村大字本町　柳河新報社内　渡辺村男	野田卯太郎殿	『邪馬台国探見記』1冊予約代ほか64銭領収	紙	1	
1609	4	郵便物受領証	(大正)4年4月3日	(京城郵便局)	西小門　野田大塊	福岡県大門郡大和村字島枡永弥三郎宛小包受領	紙	1	1609-4～7同折
1609	5	郵便物受領証	(大正)4年3月1日	(京城郵便局)	西小門町　野田留主宅	福岡市橋口町栄屋野田卯太郎宛郵便物受領	紙	1	
1609	6	郵便物受領証	(大正)4年4月20日	(京城大平通郵便局)	西小門　野田卯太郎	東京市日本橋区日吉町国民新聞社会計部主任宛書留受領	紙	1	
1609	7	郵便物受領証	(大正)4年2月16日	(京城郵便局)	京城西小門町　野田	東京麻布区材木町加藤留子宛小包受領	紙	1	
1609	8	記	(大正3年)12月末	服部商店　代人□永(印)	□□様	金5円余請取	紙	1	
1609	9	郵便物受領証	(大正)4年2月14日	西小門　野田卯太郎	西小門　野田卯太郎	福岡県三潴郡大川町吉原正隆宛書留受領	紙	1	
1609	10	郵便物受領証	(大正)4年2月28日	(京城大平通郵便局)	朝鮮　野田より	福岡県福岡市栄屋旅舘野田卯太郎宛小包受領	紙	1	
1609	11	郵便物受領証	(大正)4年1月16日	(京城郵便局)	西小門　野田	三池郡岩田村野田卯太郎宛小包受	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作 成 者	宛 先	内容	形態	数量	備考
1609	12	領収証	大正4年2月19日	京城本町五丁目三十九番地 満鮮倶楽部朝鮮支部 右扱人 (印・「楠木」)	野田殿	雑誌代2ヶ月分40銭領収	紙	1	1609-12～36同折
1609	13	領収証	大正4年2月	漢城衛生社(印)	野田家殿	1月分煙突掃除料40銭領収	紙	1	
1609	14	領収証	大正3年12月	漢城衛生社(印)	野田家殿	12月分煙突掃除料30銭領収	紙	1	
1609	15	証	大正4年2月23日	竜山駅前 書籍・雑誌・諸新聞大売捌所 山田新聞部(印)	野田卯太郎殿	新聞代2月分1円余領収	紙	1	
1609	16	証	大正4年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	時事新報代3月分50銭領収	紙	1	
1609	17	証	大正4年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	時事新報代4月分50銭領収	紙	1	
1609	18	領収証	大正4年5月1日	漢城衛生社(印)	野田家殿	4月分煙突掃除料30銭領収	紙	1	
1609	19	領収証	大正3年5月1日	京城本町四丁目 京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	大阪毎日4月分50銭領収	紙	1	
1609	20	領収証	大正3年5月1日	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	朝鮮新報4月分45銭領収	紙	1	
1609	21	領収証	大正3年5月1日	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	福日4月分40銭領収	紙	1	
1609	22	領収証	大正3年5月1日	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	万朝報4月分30銭領収	紙	1	
1609	23	領収証	大正3年5月1日	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	国民新聞4月分33銭領収	紙	1	
1609	24	領収証	大正3年5月1日	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	大阪毎日4月分55銭領収	紙	1	
1609	25	領収証	大正3年5月1日	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	大阪朝日4月分55銭領収	紙	1	
1609	26-1	証	大正4年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	東時代2月分50銭領収	紙	1	
1609	26-2	証	大正4年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	東京時事新報1月分50銭領収	紙	1	
1609	27	領収証	大正3年2月27日	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	大阪毎日2月分55銭領収	紙	1	
1609	28	領収証	大正3年2月27日	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	大阪朝日2月分55銭領収	紙	1	
1609	29	領収証	大正3年2月27日	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	福日2月分40銭領収	紙	1	
1609	30	領収証	大正3年2月27日	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	万朝報2月分30銭領収	紙	1	
1609	31	領収証	大正3年2月27日	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	国民新聞2月分33銭領収	紙	1	
1609	32	領収証	大正3年2月27日	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	京城日報2月分50銭領収	紙	1	
1609	33	領収証	大正3年2月27日	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	朝新2月分45銭領収	紙	1	
1609	34	領収証	大正3年	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	京城日報1月分50銭領収	紙	1	
1609	35	領収証	大正3年	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	大阪朝日1月分55銭領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1609	36	領収証	大正3年	京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	大阪毎日1月分55銭領収	紙	1	
1609	37	領収証書	大正4年5月28日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	4月分計量給水料4円余領収	紙	1	1609-37～39同折
1609	38	領収証書	大正4年5月28日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	4月分量水器使用料80銭領収	紙	1	
1609	39	領収証	大正4年5月28日	京城学校組合金庫(京城銀	野田卯太郎殿	学校組合費第1期戸別割85銭領収	紙	1	
1609	40	〔領収書〕	大正4年4月21日	青木堂　鈴本(印)(京城大門通二丁目　朝鮮総督府・朝鮮総督府・同駐劄軍司令部・李王職御用達)	野田卯太郎殿	ビスケットほか代金1円余領収	紙	1	1609-40～43同折
1609	41	〔領収書〕	大正4年4月21日	青木堂　鈴本(印)(京城大門通二丁目　朝鮮総督府・朝鮮総督府・同駐劄軍司令部・李王職御用達)	野田殿	カフェーライオン料理代24円余領収	紙(2枚)	1	
1609	42	〔領収書〕	大正4年5月3日	青木堂　久保田、カフェーライオン　江口房次郎(京城大門通二丁目　朝鮮総督府・朝鮮総督府・同駐劄軍司令部・李王職御用達)	野田殿	料理代ほか代金26円余領収	紙(2枚)	1	
1609	43	〔領収書〕	大正4年4月	京城本町二丁目　宮内省御用達　キリンビール販売元　株式会社明治屋　京城支店	西小門　野田卯太郎様	ロンドレスほか代金5円余領収	紙	1	
1609	44	記	(大正4年頃)2日切	前田	野田様	鯛代金70銭受取	切紙	1	
1609	45	〔通知〕	大正4年3月	朝鮮総督府司税局専売課	東洋拓殖会社　野田卯太郎殿	紅蔘尾2斤代金13円請求	切紙	1	
1610	1	六月分計算書	(大正5年頃)	(野田卯太郎)		石田雑貨店・女中2人分ほか代金72円余書上	罫紙	1	1610-1～36封筒一括。封筒上書「八月九月領収書」
1610	2	〔7月分計算書〕	(大正5年頃)	(野田卯太郎)		青木堂・女中ほか代金141円余書上	罫紙	1	
1610	3	九月分計算書	(大正5年頃)	(野田卯太郎)		石田雑・女中ほか代金126円余書上	罫紙	1	
1610	4	記	大正5年10月2日	京城　宇治園　明石	拓　野田様	雲峰半斤代金1円領収	紙	1	1610-4～19同折
1610	5	記	大正5年10月2日	京城本町二丁目百三番地(天真楼下)　京染悉皆商　永井支店　小田長三郎	野田様	友仙ほか代金85銭受取	紙	1	
1610	6	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	国民新聞代9月分33銭領収	紙	1	
1610	7	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	福岡日日新聞代9月分40銭領収	紙	1	
1610	8	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	京城日報代9月分50銭領収	紙	1	
1610	9	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	東京時事新報代9月分50銭領収	紙	1	
1610	10	証	大正5年	京城大漢門前　合名会社　盛文堂(印)	野田殿	大阪朝日新聞代9月分55銭領収	紙	1	
1610	11	証	大正5年	京城大漢門前　合名会社　盛文堂(印)	野田殿	大阪毎日新聞代9月分55銭領収	紙	1	
1610	12	領収証	大正5年9月30日	朝鮮新聞販売部(印)	野田殿	朝鮮新聞9月分45銭領収	紙	1	
1610	13	受領証	大正5年9月30日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	9月分電灯料2円余領収	紙	1	1610-13～16書類留(針・除去済)綴
1610	14	受領証	大正5年9月30日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	9月分電灯料13円余領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1610	15	受領証	大正5年9月30日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎	9月分瓦斯代2円余領収	紙	1	
1610	16	受領証	大正5年9月30日	京城電気株式会社	野田卯太郎殿	8月分引換電球ほか代金20銭領収	紙	1	
1610	17	記	大正(5)年9月29日	京城本町一丁目　江戸川(印)	西小門町　野田殿	上井4ほか代金10円余領収	紙	1	
1610	18	記	大正5年9月末日	京城北米倉町一丁目　白米清酒・味噌醤油・食料雑貨商「カネ・ト」井町商店(印)	野田様	酒正宗4升代金3円余領収	紙	1	
1610	19	領収証	大正5年10月	漢城衛生社(印)	野田殿	9月分煙突掃除料30銭領収	紙	1	
1610	20	〔8月計算書〕	(大正5年)8月	(野田卯太郎)		瓦斯会社・女中ほか代金140円余書	罫紙	1	1610-20～25同折
1610	21	計算書	大正5年8月20日	京城大和町弐丁目　石炭薪炭商　「マル・ヨ」横田商店	西　野田様	石炭6代金4円余受取	紙	1	
1610	22	請求書	大正5年8月30日	京城南大門外　「ヤマ・カ」亀山商店	野田様	品代2円余領収	紙	1	
1610	23-1	記	大正5年7月	京城西小門通　西門組	野田様	南大門送り代金18銭書上	紙	1	
1610	23-2	記	大正5年8月	京城西小門通　西門組(印)	野田様	麻浦送り50銭書上	紙	1	
1610	24	記	大正(5)年8月21日	京城本町一丁目　江戸川(印)	西小門内　野田殿	井ほか代金12円余領収	紙	1	
1610	25	記	大正5年9月1日	京城　宇治園　明石	野田様	青柳1斤ほか代金2円余領収	紙	1	
1610	26	受領証	大正5年9月1日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	8月分電灯料2円余領収	紙	1	1610-26～36書類留(針・除去済)綴
1610	27	受領証	大正5年9月1日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	8月分瓦斯代金2円余領収	紙	1	
1610	28	受領証	大正5年9月1日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	8月分電灯料13円余領収	紙	1	
1610	29	領収証	大正5年5月31日	朝鮮新聞販売部(印)	野田殿	朝鮮新聞8月分45銭領収	紙	1	
1610	30	領収証	大正5年9月	漢城衛生社(印)	野田殿	8月分煙突掃除料30銭領収	紙	1	
1610	31	証	大正5年	京城大漢門前　合名会社　盛文堂(印)	野田殿	京城日報代8月分50銭	紙	1	
1610	32	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	福岡日日新聞代8月分40銭領収	紙	1	
1610	33	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	国民新聞代8月分33銭領収	紙	1	
1610	34	証	大正5年	京城大漢門前　合名会社　盛文堂(印)	野田卯太郎殿	東京時事新報代8月分50銭領収	紙	1	
1610	35	証	大正5年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	大阪毎日新聞代8月分55銭領収	紙	1	
1610	36	証	大正5年	京城大漢門前　合名会社　盛文堂(印)	野田殿	大阪朝日新聞代8月分55銭領収	紙	1	
1611	1～93	〔領収証〕			京城　野田卯太郎	大正3年9～12月			
1611	1	記	大正3年9月3日	京城本町一丁目　平田商店	西小門内宿舎　野田様	品代4円余請取	紙	1	1611-1～3同折。1611-1～93封筒一括。封筒上書「領収証　大正三年自九月至十二月」
1611	2	領収証書	(大正)3年9月22日	京城郵便局分任出納官吏　朝鮮総督府□信書記三宅□三郎(印)	東洋拓殖会社納	8月分市外通話料1円余領収	紙	1	
1611	3	記	大正3年9月30日	京城本町一丁目郵便局前　本城屋菓子舗	野田卯太郎様	キラメルほか代金40銭書上	紙	1	
1611	4	領収証書	大正3年9月30日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	8月分計量給水料4円余領収	紙	1	1611-4、5書類留(針・除去済)綴。1611-4～14同折

史料番号		表題	年月日	作 成 者	宛 先	内容	形態	数量	備考
1611	5	領収証書	大正3年9月30日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	8月分量水器使用料80銭領収	紙	1	
1611	6-1	証	大正(3)年10月22日	本町弐丁目　岩松堂(印)	西小門七十六番地　野田様	『清国税関制度』・『手鑑銀行実務』代金1円余領収	紙	1	
1611	6-2	記	(大正3年)10月7日	江戸川(印)	西小門内　のだ様	蒲焼8代金4円領収	紙	1	
1611	7	領収証書	大正3年10月30日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	9月分計量給水料4円領収	紙	1	1611-7～10書類留(針・除去済)綴
1611	8	領収証書	大正3年10月30日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	9月分量水器使用料80銭領収	紙	1	
1611	9	記	(大正3年)11月8日	江戸川(印・「京城本町二丁目」)	野田様	蒲焼4代金2円領収	紙	1	
1611	10	証	大正3年12月7日	京城南大門通弐丁目　加藤東次郎	上殿	スリ硝子1枚代金25銭領収	紙	1	
1611	11	領収証書	大正3年11月28日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	10月分量水器使用料80銭領収	紙	1	1611-11、12書類留(針・除去済)綴
1611	12	領収証書	大正3年11月28日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	10月分計量給水料4円領収	紙	1	
1611	13	領収証書	(大正)3年12月15日	京城明治町郵便所推移党員朝鮮総督府郵便所長柴田亀次郎(印)	東洋拓殖会社納	11月分市外通話料1円余領収	紙	1	
1611	14	記	大正3年12月30日	京城旭町壱丁目　小林医院会計(印)	浜武誠治殿	薬価4円余領収	紙	1	
1611	15	領収証	大正3年12月	漢城衛生社(印)	野田家殿	11月分煙突掃除料40銭領収	紙	1	1611-15～69同折
1611	16	領収証	大正3年11月	漢城衛生社(印)	野田家殿	10月分煙突掃除料10銭領収	紙	1	
1611	17	請求書	大正3年9月	日韓瓦斯電気株式会社(印)	西小門東拓社宅　野田卯太郎殿	9月分電扇料5円領収	紙	1	
1611	18	領収証	大正3年10月	漢城衛生社(印)	野田家殿	9月分煙突掃除料50銭領収	紙	1	
1611	19	領収証	大正3年9月	漢城衛生社(印)	野田家殿	8月分煙突掃除料30銭領収	紙	1	
1611	20	領収証	大正3年9月30日	京城学校組合金庫(株式会社京城銀行)	野田卯太郎殿	学校組合費第2期戸別割85銭領収	紙	1	
1611	21	証	大正3年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	時事新報代9月分50銭領収	紙	1	
1611	22	領収証	大正3年9月30日	京城日報市内専売所　町田新聞部(印)	野田殿	万朝報9月分30銭領収	紙	1	
1611	23	領収証	大正3年9月30日	京城本町四丁目　京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	新聞代9月分45銭領収	紙	1	
1611	24	領収証	大正3年9月30日	京城本町四丁目　京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	福岡日日新聞9月分40銭領収	紙	1	
1611	25	領収証	大正3年9月30日	京城本町四丁目　京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	国民新聞9月分33銭領収	紙	1	
1611	26	領収証	大正3年9月30日	京城本町四丁目　京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	大阪朝日9月分55銭領収	紙	1	
1611	27	領収証	大正3年9月30日	京城本町四丁目　京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	大阪毎日9月分55銭領収	紙	1	
1611	28	領収証	大正3年9月30日	京城本町四丁目　京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	京城日報9月分50銭領収	紙	1	
1611	29	郵便物受領証	(大正)3年9月[　]	(京城太平通郵便局)	浜武誠治	佐世保宮地町きん子宛小包(書籍)受領	紙	1	
1611	30	郵便物受領証	(大正)3年9月9日	(京城郵便局)	西小門　野田留主宅	東京麻布区材木町二九野田卯太郎宛郵便物受領	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1611	31	証	大正3年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	時事新報代8月分50銭領収	紙	1	
1611	32	通常為替金受領証	(大正)3年10月3日	(京城太平通郵便局)		金10円領収	紙	1	
1611	33	大正3年11月期計算書	大正3年11月	朝鮮京城本町二丁目 巌松堂販売店	東拓会社 野田殿	『行政法大意』ほか代金1円余領収	紙	1	
1611	34	大正3年11月期計算書	大正3年11月	朝鮮京城本町二丁目 巌松堂販売店	西小門 野田殿	『満洲委任統治』ほか代金4円余領収	紙	1	
1611	35	領収証	大正3年	京城本町四丁目 京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	万朝報10月分代金30銭領収	紙	1	
1611	36	郵便物受領証	(大正)3年10月28日	(京城太平通郵便局)	西小門町七五 野田卯太郎	福岡県山門郡山川村水野澄治宛小包受領	紙	1	
1611	37	証	大正3年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	時事新報代10月分50銭領収	紙	1	
1611	38	領収証	大正3年	京城本町四丁目 京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	新聞代金10月分45銭領収	紙	1	
1611	39	領収証	大正3年	京城本町四丁目 京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	福日新聞10月分40銭領収	紙	1	
1611	40	領収証	大正3年	京城本町四丁目 京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	国民新聞10月分33銭領収	紙	1	
1611	41	領収証	大正3年	京城本町四丁目 京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	京城日報10月分50銭領収	紙	1	
1611	42	領収証	大正3年	京城本町四丁目 京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	大阪毎日10月分55銭領収	紙	1	
1611	43	領収証	大正3年	京城本町四丁目 京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	大阪毎日10月分55銭領収	紙	1	
1611	44	領収証	大正3年10月30日	京城学校組合金庫(株式会社京城銀行)	野田卯太郎殿	学校組合費第3期85円領収	紙	1	
1611	45	送状	大正3年10月21日	京城永楽町三丁目赤門池 加藤支店	野田殿	石炭1叺代金85銭につき	紙	1	
1611	46	受領証	大正3年10月14日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	9月分電扇料5円領収	紙	1	
1611	47	郵便物受領証	(大正)3年10月26日	(京城郵便局)	西小門町 野田卯太郎	福岡県若松市石崎敏治宛書留受領	紙	1	
1611	48	郵便物受領証	(大正)3年10月26日	(京城郵便局)	西小門七五 野田卯太郎	東京京橋日吉町国民新聞社会計部徳富社長宛書留受領	紙	1	
1611	49	大正3年10月期計算書	大正3年10月	朝鮮京城本町二丁目 巌松堂販売店	西正門七十五号 野田殿	『自然主義□』代金43銭領収	紙	1	
1611	50	通常為替金受領証書	(大正)3年10月26日	(京城郵便局)		金10円受領	紙	1	
1611	51	送状	大正(3)年	京城永楽町三丁目赤門通 加藤支店	野田殿	石炭代金85銭につき	紙	1	
1611	52	領収証	大正3年	京城本町四丁目 京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	大阪毎日11月分55銭領収	紙	1	
1611	53	領収証	大正3年	京城本町四丁目 京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	大阪朝日11月分55銭領収	紙	1	
1611	54-1	領収証	大正3年	京城本町四丁目 京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	京城日報11月分50銭領収	紙	1	
1611	54-2	領収証	大正3年	京城本町四丁目 京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	福岡日日新聞11月分40銭領収	紙	1	
1611	55	領収証	大正3年	京城本町四丁目 京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	朝鮮新聞11月分45銭領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1611	56	領収証	大正3年	京城本町四丁目　京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	国民新聞11月分33銭領収	紙	1	
1611	57-1	領収証	大正3年	京城本町四丁目　京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	万朝報11月分30銭領収	紙	1	
1611	57-2	証	大正3年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	東京時事新報代50銭領収	紙	1	
1611	58	送状	大正3年	京城永楽三丁目赤門通　加藤支店	野田殿	石炭代金1円余につき	紙	1	
1611	59	証	大正3年11月21日	龍山駅前　書籍・雑誌・諸新聞大売捌所　山田新聞部	野田卯太郎殿	満日新聞代11月分46銭領収	紙	1	
1611	60	記	大正3年10月	医局	野田邸　金殿	10月分8銭受領	紙	1	1611-60～64紙縒綴
1611	61	記	大正3年8月	医局	野田邸　浜武誠治殿	7・8月分5円余受領	紙	1	
1611	62	記	大正3年8月	医局	野田邸　前田みつ殿	8月分1円余受領	紙	1	
1611	63	記	大正3年9月	医局	野田邸　金殿	9月分25銭受領	紙	1	
1611	64	記	大正3年10月	医局	野田邸　浜武殿	金25銭受領	紙	1	
1611	65	領収証	大正3年	京城本町四丁目　京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	国民新聞ほか12月分35銭領収	紙	1	
1611	66	領収証	大正3年	京城本町四丁目　京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	福日新聞12月分13銭領収	紙	1	
1611	67	領収証	大正3年	京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	京城日報12月分50銭領収	紙	1	
1611	68	領収証	大正3年	京城日報市内専売所　町田新聞部(印)	野田大塊殿	大阪毎日12月分55銭領収	紙	1	
1611	69	領収証	大正3年	京城日報市内専売所　町田新聞部(印)	野田殿	大阪朝日12月分55銭領収	紙	1	
1611	70	受領証	大正3年9月25日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	太平町一丁目社宅　野田卯太郎殿	8月分電灯料2円余領収	紙	1	1611-70～99同折
1611	71	受領証	大正3年9月8日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	太平町一丁目　野田卯太郎殿	8月分電灯料14円余領収	紙	1	
1611	72	受領証	大正4年2月3日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正3年12月分電灯料13円領収、請求書付	紙	1	
1611	73	受領証	大正4年2月3日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正3年12月分電灯料2円余領収、請求書付	紙	1	
1611	74	受領証	大正4年2月3日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正3年11月分電灯料14円余領収、請求書付	紙	1	
1611	75	受領証	大正4年2月3日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正3年11月分電灯料2円余領収、請求書付	紙	1	
1611	76	受領証	大正4年2月3日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正3年10月分電灯料14円余領収、請求書付	紙	1	
1611	77	受領証	大正4年2月3日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正3年10月分電灯料2円余領収、瀬請求書付	紙	1	
1611	78	受領証	大正4年2月3日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正3年9月分電灯料14円余領収、請求書付	紙	1	
1611	79	受領証	大正4年2月3日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正3年9月分電灯料2円余領収、請求書付	紙	1	
1611	80	電灯料引換証	大正3年10月30日	西小門町七十五　野田卯太郎(印)	日韓瓦斯電気株式会社御中	電灯球5個ほか受取	紙	1	1611-80、81書類留(針・除去済)綴
1611	81	領収証	大正4年2月3日	京城鐘路　日韓瓦斯電気株式会社	西小門町　野田卯太郎殿	10月中引換電球代金90銭領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1611	82	請求領収証	大正4年2月3日	京城本町　日韓瓦斯電気株式会社(印)	西小門東拓舎宅　野田殿	ラセン管3尺ほか代金75銭領収	紙	1	
1611	83-1	受領証	大正4年2月3日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	11月分瓦斯代1円余領収、請求書	紙	1	1611-83、84書類留
1611	83-2-1	請求書	大正3年12月	日韓瓦斯電気株式会社(印)	西小門町　野田卯太郎殿	ガス代金ほか3円余請求	紙	1	1611-83-2-1～2書類留(針)綴
1611	83-2-2	受領証	大正4年2月3日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	西小門町　野田卯太郎殿	瓦斯代3円余領収	紙	1	
1611	84-1	受領証	大正4年2月3日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正3年10月分瓦斯代1円余領収、請求書付	紙	1	
1611	84-2-1	請求書	大正3年9月	日韓瓦斯電気株式会社(印)	西小門町　野田卯太郎殿	瓦斯代金ほか1円余請求	紙	1	1611-84-2-1～2書類留(針)綴
1611	84-2-2	受領証	大正4年2月3日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正3年9月分瓦斯代1円余領収	紙	1	
1611	84-3	受領証	大正3年9月28日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	8月分瓦斯代金1円余領収、請求書	紙	1	
1611	84-4	受領証	大正3年9月28日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	8月分電扇料4円余領収、請求書付	紙	1	
1611	85	計算書	大正(3)年12月頃	京城南大門通弐丁目　牛肉・豚肉・鶏肉商　石田屋本店　店主森田久助	西小門　野田殿	ロースほか代金2円余領収	紙	1	
1611	86	御勘定書	大正3年12月31日	京城本町二丁目　三越呉服店出張所	野田様	品代5円余領収	紙	1	
1611	87	記	大正3年11月31日	京城寿町一丁目　和洋雑貨「イリヤマ・ト」森仕立商店	野田様	本場紺袷法被ほか代金5円余受取	紙	1	
1611	88	記	大正(3)年12月31日	京城永楽町二丁目　薪炭商　炭安事　加藤支店	東拓社宅　野田殿	石炭代金1円余領収	紙	1	
1611	89	御勘定書	大正3年9月20日	朝鮮京城本町二　欧米雑貨・洋酒食料品・洋煙草類・其他直輸入商　辻屋	野田邸殿	足袋ほか代金4円余領収	紙	1	
1611	90	記	大正3年10月10日	東京　巌松堂書店　京城販売店(印)	西正門七十六番地　野田様	『倉庫税関』1部ほか代金3円余領収	罫紙	1	
1611	91	記	大正3年10月9日	東京　巌松堂書店　京城販売店(印)	西小門七十六番地　野田様	『巴奈馬運河』1部代金2円余領収	罫紙	1	
1611	92	記	大正3年9月末日	京城本町一丁目　平田商店	野田様	ブリキ落入ほか代金2円余受取	紙	1	
1611	93	領収証	大正3年8月28日	京城本町二丁目　巴城舘(印)	野田様	会席14人前代金35円領収	罫紙	1	
1611	94	記	(大正)3年10月7日	前田	野田様	鯛ほか代金1円余受取	切紙	1	
1611	95	計算書	大正3年11月16日	京城古市町三十三番戸(南大門駅前)「マル・近」近藤運送店(印)	野田卯太郎様	鯛味噌漬け1個配達料ほか1円余領収	紙	1	
1611	96	配達貨物伝票	(大正3年)11月16日	南大門駅前「マル・近」近藤運送店	野田殿	鯛味噌漬け1個につき	紙	1	
1611	97	領収証書	大正3年11月13日	仁川支金庫(印)	野田、川添三次納	朝鮮総督府関税3円余領収	紙	1	
1611	98	証	大正3年11月4日	京城　巴城舘(印)	野田様	金32円余領収	紙	1	
1611	99	記	大正3年10月24日	朝鮮京城本町三丁目九番地　金波旅舘(印・「平田」)	野田様	三食付4日分ほか代金9円余領収	紙	1	
1612	1	領収証書	大正4年2月26日	京城府出納吏　朝鮮総督府書記　太田虎吉(印)	野田卯太郎納	大正3年度営業税18円余領収	紙	1	1612-1～12一纏り
1612	2	キ	大正4年2月20日	朝鮮京城本町壱丁目　天佑堂器械部		品代1個80銭請取	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1612	3	記	大正4年4月16日	京城本町一丁目　調剤薬房　山岸天佑堂(印)	野田様	生石灰代金70銭受取	紙	1	
1612	4	領収証書	大正4年5月1日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	3月分計量給水料3円余領収	紙	1	
1612	5	領収証書	大正4年4月2日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	3月分量水器使用料80銭領収	紙	1	
1612	6	領収証	大正4年2月3日	京城学校組合金庫(株式会社京城銀行)	野田卯太郎殿	学校組合費第4期85円領収	紙	1	
1612	7	領収証書	大正4年2月3日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	12月分計量給水料4円余領収	紙	1	
1612	8	領収証書	大正4年2月3日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	12月分量水器使用料80銭領収	紙	1	1612-8～10書類留(針・除去済)綴
1612	9	領収証書	大正4年2月3日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	11月分量水器使用料80銭領収	紙	1	
1612	10	領収証書	大正4年2月3日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	11月分計量給水料4円余領収	紙	1	
1612	11	領収証書	大正4年2月27日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	1月分量水器使用料80銭領収	紙	1	
1612	12	領収証書	大正4年2月27日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	1月分計量給水料80銭領収	紙	1	
1613	1～36	〔領収書〕			京城　野田卯太郎	11月分受領証入			
1613	1	記	大正4年4月22日	京城本町弐、八七　千代本	野田旦那様	倉富様送別会会費5円領収	罫紙	1	1613-1～一纏り
1613	2	御勘定書	(大正4年)4月末日	京城本町二丁目　茶及茶器　青青園(印・「倉田」)	西小門　野田様	青柳2斤代金1円余領収	紙	1	
1613	3	〔苹果送付先書上〕	(大正4年頃)			貝嶋氏・立花伯ほか3名分につき運賃など書上	罫紙	1	
1613	4	記	大正4年5月1日	朝鮮京城太平町壱丁目　元祖食パン　「イリヤマ・ア」相川兄弟商会	野田様	4月分パン代5円余領収	紙	1	
1613	5	御勘定書	大正4年4月20日	朝鮮京城本町二　欧米雑貨・洋酒食料品・洋煙草類・其他直輸入商　辻屋	西小門　野田女中殿	人参飴3ほか代金2円余受領	紙	1	
1613	6	〔請求書〕	大正3年12月22日	内国通運株式会社京城支店長　菅谷駒之助	東洋拓殖会社　殖産課御中	浮羽郡田主丸町林田守隆殿ほか送り苹果90斤の着地関税1円余につき	罫紙	1	
1613	7	〔請求書〕	大正3年12月18日	内国通運株式会社京城支店長　菅谷駒之助	東洋拓殖会社御中	福岡県山川郡立花伯爵邸送り苹果37斤の着地関税80銭につき	罫紙	1	
1613	8	受領証	大正3年12月	京城南大門駅前　内国通運株式会社京城支店(印)	野田卯太郎様	福岡県立花伯爵ほか3名送り苹果運搬賃・関税8円余受領	罫紙	1	
1613	9	受領証	大正3年12月10日	蠶島出張所　販売係	副総裁野田宇太郎殿	倭錦100個代金2円余受領	罫紙	1	
1613	10	請求書	大正3年12月10日	蠶島出張所		倭錦5箱代金7円余請求	罫紙	1	
1613	11	鉄道院著払貨物収入切符	大正3年12月2日	矢部川駅	「マル・通」殿	関税立替80銭につき	紙	1	書類留(針・除去済)
1613	12	〔領収書〕	大正4年4月9日	朝鮮京城旭町壱丁目　小間物化粧品・メリヤス類雑貨商　「マル・山」山本繁治郎商店	上殿	男羽織紐1個代金1円余領収	紙	1	
1613	13	計算書	大正4年4月31日	朝鮮京城本町一丁目　電気機械販売工事請負　越田電気商会	野田殿	鈴コード断線切直し代金5円書上	紙	1	
1613	14	記	大正4年4月30日	京城永楽町二丁目　薪炭商　炭安事加藤支店	西小門　野田様	石炭代金2円余領収	紙	1	
1613	15	〔領収書〕	大正4年3月31日	京城　青木堂階上　カフェーライオン(京城南大門通三丁目　朝鮮総督府・同駐劄軍司令部・李王職御用達)		2月・3月中御料理代22円余領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1613	16	〔領収書〕	大正4年4月1日	京城本町二丁目　宮内省御用達　キリンビール販売元　株式会社明治屋京城支店	野田卯太郎様	ハムほか代金7円余受取	紙	1	
1613	17	領収証	大正4年2月17日	京城長谷川町一丁目　朝鮮新聞支社院	野田卯太郎殿	特号広告料14円領収	紙	1	
1613	18	記	大正4年4月6日	石田屋本店　大川(印)	野田様	2･3月分牛肉代4円領収	罫紙	1	
1613	19-1	〔書簡〕	(大正4年)			立花伯･貝島氏などへ蠻島農場産苹果送付につき品代･関税など通知	罫紙	1	
1613	19-2	苹果代金	(大正4年)	殖産課　秋山真易(印)	野田副総裁殿	貝島氏ほか送り代金1円余受取	罫紙	1	
1613	19-3	〔苹果代金ほか書上〕	(大正4年)			貝島氏ほか送り苹果代ほか合計20円余書上	罫紙	1	
1613	20	請求書	大正4年1月20日	京城南大門通三丁目青木堂隣　商号　石田屋本店事　森田久助商店	西小　野田様	ロース80匁ほか代金2円余領収	紙	1	
1614	1-1	〔名刺〕	(大正期)	佐賀新聞社　三好勝一			名刺	1	1614-1-1～21封筒一括。封筒上書「各地方人士ノ名刺入」。1614-1～8封筒一括。封筒上書「名刺入」。1614～1632紙
1614	1-2	〔名刺〕	(大正期)	慶尚北道大邱慈恵医院長　陸軍二等軍医正　正六位勲三等功五級　松本繁正			名刺	1	
1614	1-3	〔名刺〕	(大正期)	江原道財務部長　朝鮮総督府道事務官　矢島音次			名刺	1	
1614	1-4	〔名刺〕	(大正期)	釜山商業会議所　書記長　森田福太郎			名刺	1	
1614	1-5	〔名刺〕	(大正期)	熊本市東唐人町八番地　迫源次郎(印)	野田卯太郎殿	「武尾禎蔵氏御引見奉願候」と墨書あり	名刺	1	
1614	1-6	〔名刺〕	(大正期)	京城太平町一丁目　日本電報通信　朝鮮公論　記者　金井寛三			名刺	1	
1614	1-7	〔名刺〕	(大正期)	浅海浩		「保険会社員」と墨書あり	名刺	1	
1614	1-8	〔名刺〕	(大正期)	忠南舒川郡板山面吉山里二統四戸　張河栄		「本社ノ農監」と墨書あり	名刺	1	
1614	1-9	〔名刺〕	(大正期)	吉田秀			名刺	1	
1614	1-10	〔名刺〕	(大正期)	群山府東面紙谷里　文烱魯		「本社ノ農監」と墨書あり	名刺	1	
1614	1-11	〔名刺〕	(大正期)	仁川港本町通　仁川商業会議所会頭　奥田貞次郎			名刺	1	
1614	1-12	〔名刺〕	(大正期)	臨時朝鮮派遣歩兵第二聯隊長　陸軍歩兵大佐　高木錬吉			名刺	1	
1614	1-13	〔名刺〕	(大正期)	市原薫			名刺	1	
1614	1-14	〔名刺〕	(大正期)	朝鮮総督府郡守　朴栄喆		「益山郡郡守」と墨書あり	名刺	1	
1614	1-15	〔名刺〕	(大正期)	大邱府在勤　朝鮮総督府府尹竹崎六次郎			名刺	1	
1614	1-16	〔名刺〕	(大正期)	鎮海湾重砲兵大隊副官　陸軍砲兵中尉　春田捨蔵			名刺	1	
1614	1-17	〔名刺〕	(大正期)	大崎邦太郎			名刺	1	

史料番号		表題	年月日	作 成 者	宛 先	内容	形態	数量	備考
1614	1-18	〔名刺〕	(大正期)	東京市麹町区三年町弐番地 樋上専治郎			名刺	1	
1614	1-19	〔名刺〕	(大正期)	全羅北道全堤支店　石川県農業株式会社取締役　北尾栄太郎		「本人病気ニ付名刺ヲ托シ提出シタル分」と墨書あり	名刺	1	
1614	1-20	〔名刺〕	(大正期)	南鮮日報社　田中貢			名刺	1	
1614	1-21	〔名刺〕	(大正期)	江景　武藤鎮康			名刺	1	
1614	2-1	〔名刺〕	(大正期)	鳥越農場　高木文太			名刺	1	1614-2-1～11封筒一括。封筒上書「全羅南道　羅州」。東洋拓殖株式会社の封筒使
1614	2-2	〔名刺〕	(大正期)	松汀里学校組合管理者　堀野信吉			名刺	1	
1614	2-3	〔名刺〕	(大正期)	富依義允			名刺	1	
1614	2-4	〔名刺〕	(大正期)	工学士　黒板伝作			名刺	1	
1614	2-5	〔名刺〕	(大正期)	羅州　藤井泰秀			名刺	1	
1614	2-6	〔名刺〕	(大正期)	羅州　小磯実			名刺	1	
1614	2-7	〔名刺〕	(大正期)	全羅南道羅州　山口米太郎		裏に俳句2句書上	名刺	1	
1614	2-8	〔名刺〕	(大正期)	羅州　実岡半次			名刺	1	
1614	2-9	〔名刺〕	(大正期)	全南羅州　森田勝次			名刺	1	
1614	2-10	〔名刺〕	(大正期)	羅州錦城町　緒方荘蔵			名刺	1	
1614	2-11	〔名刺〕	(大正期)	羅州藤屋旅舘　山口三郎			名刺	1	
1614	3-1	〔名刺〕	(大正期)	古賀只平			名刺	1	1614-3-1～17封筒一括。封筒上書「全羅北道　全州」。東洋拓殖株式会社の封筒使
1614	3-2	〔名刺〕	(大正期)	全羅北道警務部勤務　朝鮮総督府警部　岩崎信平			名刺	1	
1614	3-3	〔名刺〕	(大正期)	朝鮮総督府判事　三矢正革			名刺	1	
1614	3-4	〔名刺〕	(大正期)	朝鮮総督府判事　大谷信夫			名刺	1	
1614	3-5	〔名刺〕	(大正期)	全州北門内裁判所官舎　光州地方法院全州支庁　朝鮮総督府判事　田所次助			名刺	1	
1614	3-6	〔名刺〕	(大正期)	全州　陸軍憲兵少佐　朝鮮総督府警務部長　伊東四郎			名刺	1	
1614	3-7	〔名刺〕	(大正期)	全羅北道財務部長　朝鮮総督府事務官　和気弥七郎			名刺	1	
1614	3-8	〔名刺〕	(大正期)	全州憲兵隊附　陸軍二等主計　澄山幹夫			名刺	1	
1614	3-9	〔名刺〕	(大正期)	朝鮮総督府事務官　平井三男			名刺	1	
1614	3-10	〔名刺〕	(大正期)	東洋拓殖株式会社　全堤出張所在勤　書記　西田友信			名刺	1	
1614	3-11	〔名刺〕	(大正期)	全羅北道在勤(種苗場勤務)　朝鮮総督府道技手　鈴木信太郎			名刺	1	
1614	3-12	〔名刺〕	(大正期)	全羅北道警務部勤務　朝鮮総督府警部　茂義孫			名刺	1	
1614	3-13	〔名刺〕	(大正期)	朝鮮総督府判事　李弘鍾			名刺	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1614	3-14	〔名刺〕	(大正期)	光州地方法院全州支庁　朝鮮総督府判事　井上文司			名刺	1	
1614	3-15	〔名刺〕	(大正期)	光州地方法院全州支庁　監督書記　岡田春次			名刺	1	
1614	3-16	〔名刺〕	(大正期)	全羅北道在勤　朝鮮総督府道技師　立花通年			名刺	1	
1614	3-17	〔名刺〕	(大正期)	福岡県人会幹事　三輪直幹			名刺	1	
1614	4-1	〔名刺〕	(大正期)	群山府尹　天野喜之助			名刺	1	1614-4-1～5封筒一括。封筒上書「全羅北道群山」
1614	4-2	〔名刺〕	(大正期)	全羅北道群山警察署長　朝鮮総督府警視　原龍橘			名刺	1	
1614	4-3	〔名刺〕	(大正期)	群山日報社長　高洲規			名刺	1	
1614	4-4	〔名刺〕	(大正期)	群山　朝鮮銀行　仙波正太郎			名刺	1	
1614	4-5	〔名刺〕	(大正期)	群山府　阪上貞信			名刺	1	
1614	5-1	〔名刺〕	(大正期)	木浦新報　主筆　長野虎太郎			名刺	1	1614-5-1～18封筒一括。封筒上書「全羅南道木浦」。東洋拓殖株式会社の封筒使
1614	5-2	〔名刺〕	(大正期)	木浦商業会議所書記長　中田孝之介			名刺	1	
1614	5-3	〔名刺〕	(大正期)	木浦支場　朝鮮総督府勧業模範場技師　三原新三			名刺	1	
1614	5-4	〔名刺〕	(大正期)	木浦府尹　橋本豊太郎			名刺	1	
1614	5-5	〔名刺〕	(大正期)	朝鮮銀行木浦出張所長　泉末治			名刺	1	
1614	5-6	〔名刺〕	(大正期)	光州地方法院木浦支庁　朝鮮総督府検事　杉村逸楼			名刺	1	
1614	5-7	〔名刺〕	(大正期)	朝鮮木浦　福田有造			名刺	1	
1614	5-8	〔名刺〕	(大正期)	朝鮮実業株式会社木浦支店長　富家幸太郎			名刺	1	
1614	5-9	〔名刺〕	(大正期)	朝鮮郵船株式会社木浦出張所長　鵜飼恒三郎			名刺	1	
1614	5-10	〔名刺〕	(大正期)	木浦郵便局長　朝鮮総督府逓信事務官補　岩城竹治			名刺	1	
1614	5-11	〔名刺〕	(大正期)	朝鮮興業株式会社木浦管理所　所長　目黒銀次			名刺	1	
1614	5-12	〔名刺〕	(大正期)	朝鮮木浦　天平綿業株式会社泉貞次郎			名刺	1	
1614	5-13	〔名刺〕	(大正期)	木浦支場在勤　朝鮮総督府勧業模範場書記　陸軍三等主計正八位勲五等　柳準蔵			名刺	1	
1614	5-14	〔名刺〕	(大正期)	朝鮮綿業株式会社木浦支店支店長　本田正			名刺	1	
1614	5-15	〔名刺〕	(大正期)	木浦判事　杉村逸楼			名刺	1	
1614	5-16	〔名刺〕	(大正期)	木浦商業会議所　副会頭　村上直助			名刺	1	

史料番号		表題	年月日	作 成 者	宛　先	内容	形態	数量	備考
1614	5-17	〔名刺〕	(大正期)	木浦　朝鮮総督府判事　大谷信夫			名刺	1	
1614	5-18	〔名刺〕	(大正期)	藤森利兵衛			名刺	1	
1614	6-1	〔名刺〕	(大正期)	朝鮮栄山浦　製図測量土地紹介　甲斐原茂			名刺	1	1614-6-1～13封筒一括。封筒上書「全羅南道栄山浦」。東洋拓殖株式会社の封筒
1614	6-2	〔名刺〕	(大正期)	福岡県山門郡三橋村　綿貫裔吉			名刺	1	
1614	6-3	〔名刺〕	(大正期)	福岡県浮羽郡水分村　二宮吾郎、庄次郎			名刺	1	
1614	6-4	〔名刺〕	(大正期)	全羅南道栄山浦、福岡県八女郡白木村　高橋璋二			名刺	1	
1614	6-5	〔名刺〕	(大正期)	全南栄山浦　立花親義(原籍福岡県柳河)			名刺	1	
1614	6-6	〔名刺〕	(大正期)	福岡県御津郡一宮村(朝鮮全羅南道栄山浦)　黒住猪太郎			名刺	1	
1614	6-7	〔名刺〕	(大正期)	木浦新報社　羅州栄山浦支局主任　橋迫潔			名刺	1	
1614	6-8	〔名刺〕	(大正期)	朝鮮栄山浦　商工会長　繰綿組合長　河野喜三郎			名刺	1	
1614	6-9	〔名刺〕	(大正期)	龍江義信			名刺	1	
1614	6-10	〔名刺〕	(大正期)	朝鮮栄山浦　杉本恒五郎			名刺	1	
1614	6-11	〔名刺〕	(大正期)	栄山浦憲兵分隊長　陸軍憲兵中尉　朝鮮総督府警視　藤井泰秀			名刺	1	
1614	6-12	〔名刺〕	(大正期)	株式会社光州農工銀行　栄山浦支店長　阿部正孝			名刺	1	
1614	6-13	〔名刺〕	(大正期)	浦上正孝			名刺	1	
1614	7-1	〔名刺〕	(大正期)	馬山京町弐丁目　各国銘茶海産物荒物雑貨商「マル・イ」北川久吉			名刺	1	1614-7-1～5封筒一括。封筒上書「慶尚南道馬山」。東洋拓殖株式会社の封筒使
1614	7-2	〔名刺〕	(大正期)	朝鮮馬山　望月旅舘主　高森熊一			名刺	1	
1614	7-3	〔名刺〕	(大正期)5月13日	利光寅三郎	笹井郡長様	副総裁殿来訪につき招待の御礼	名刺	1	
1614	7-4	〔名刺〕	(大正期)	東洋拓殖株式会社馬山出張所長　笠井建次郎		裏鉛筆書「李＝(人偏＋營)秀」	名刺	1	
1614	7-5	〔名刺〕	(大正期)	馬山警察署長　朝鮮総督府警視　安田勝実			名刺	1	
1614	8-1	〔名刺〕	(大正期)	株式会社光州農工銀行　支配人　豊田明敬			名刺	1	1614-8-1～12封筒一括。封筒上書「全羅南道光州」。東洋拓殖株式会社の封筒使
1614	8-2	〔名刺〕	(大正期)	光州郡在勤　朝鮮総督府郡書記　倉品益太郎			名刺	1	
1614	8-3	〔名刺〕	(大正期)	全羅南道光州郡在勤　朝鮮総督府郡書記　酒井修一			名刺	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1614	8-4	〔名刺〕	(大正期)	全羅南道在勤 朝鮮総督府道書記 原田長太郎			名刺	1	
1614	8-5	〔名刺〕	(大正期)	全羅南道光州警察署長 朝鮮総督府警部 中西清吉			名刺	1	
1614	8-6	〔名刺〕	(大正期)	全羅南道在勤 朝鮮総督府道技師 林駒生			名刺	1	
1614	8-7	〔名刺〕	(大正期)	全羅南道内務部長 朝鮮総督府事務官 佐藤重治			名刺	1	
1614	8-8	〔名刺〕	(大正期)	光州憲兵隊長 全羅南道警務部長 陸軍憲兵少佐 朝鮮総督府警務部長 浦野丈蔵			名刺	1	
1614	8-9	〔名刺〕	(大正期)	木浦新報光州支社監督 大坂毎日新聞通信員 鹿野秀三			名刺	1	
1614	8-10	〔名刺〕	(大正期)	光州日報社 北村友一郎			名刺	1	
1614	8-11	〔名刺〕	(大正期)	株式会社光州農工銀行 銀行長 金衡玉			名刺	1	
1614	8-12	〔名刺〕	(大正期)	株式会社光州農工銀行 取締役 朴鳳柱			名刺	1	
1615	1	〔書簡〕	(大正4年頃)2月7日	永江純一(東京芝公園五号地立憲政友会本部)	野田老兄(東洋拓殖会社 野田卯太郎)	永井源治紹介状(朝鮮施政満5年博覧会のため渡鮮につき)	継紙	1	1615-1～3封筒一括
1615	2	〔名刺〕	(大正4年頃)	衆議院書記官長 林田亀太郎	野田副総裁閣下	「永井源治氏持参」と墨書あり	名刺	1	
1615	3	〔名刺〕	(大正4年頃)	麻布区永坂町卅七番地 二源商会主 永井源治			名刺	1	
1616		〔書簡〕	大正5年10月23日	岡田良平	野田卯太郎殿(朝鮮京城)	文部大臣就任祝辞への御礼	切紙	1	封筒あり
1617	1	〔領収書〕	大正4年10月22日	京城 青木堂階上 カフェーライオン(京城南大門通三丁目朝鮮総督府・同駐剳軍司令部・李王職御用達)	東拓 野田殿	御料理代55銭領収	紙	1	1617-1～40封筒一括。封筒上書「十月分 受取入」
1617	2	〔領収書〕	(大正4年)10月20日	京城南大門通三丁目 朝鮮総督府・同駐剳軍司令部・李王職御用達 青木堂	西小 野田殿	ビスケットほか代金21円余領収	紙	1	
1617	3	〔領収証〕	(大正4年)	日韓瓦斯電気株式会社(印)	東拓舎宅 西小門内町七五番地 野田卯太郎殿	9月中引換電球代金30銭領収	紙	1	
1617	4	〔領収証〕	大正4年10月31日	京城若草町寺町 三輪島三郎(印)	野田様	10月分煙突掃除料40銭領収	紙	1	
1617	5	証	大正(4)年	京城東四軒町 岡野牧場(印)	野田様	牛乳3合代金21銭領収	紙	1	
1617	6	受取証	大正4年10月	京城旭町二丁目 朝鮮雑誌社(印)	野田卯太郎殿	『雑誌朝鮮及満洲』10月分25銭受取	紙	1	
1617	7	証	大正4年10月16日	恵愛看護婦会	野田殿	金12円余受取	紙	1	
1617	8	仕切書	大正4年10月31日	京城 中村支店 「マル・ヱ」下川栄次郎商店	野田様	酒1升代金70銭領収	紙	1	
1617	9	領収証書	大正4年11月4日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	9月分量水器使用料80銭領収	紙	1	
1617	10	領収証書	大正4年11月4日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	9月分計量給水料4円余領収	紙	1	
1617	11	領収証書	大正4年9月2日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	7月分計量給水料3円余領収	紙	1	
1617	12	領収証書	大正4年9月2日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	7月分量水器使用料80銭領収	紙	1	
1617	13	受取証	大正4年9月1日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	大正4年夏分電扇料14円余領収	紙	1	
1617	14	記	大正4年10月	京城西小門通 西門組(印)	野田様	寿町へ使いほか代金5円余受取	紙(2枚)	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1617	15	郵便物受領証	(大正)4年10月21日	(京城太平通郵便局)	京城西小門通 野田(印)	三池郡岩田村野田卯太郎宛小包受	紙	1	
1617	16	郵便物受領証	(大正)4年10月26日	(京城太平通郵便局)	京城 野田	東京麻布区材木町29加藤とめ子宛小包受領	紙	1	
1617	17	〔領収書〕	大正4年10月27日	京城 銀行集会所(印)	野田卯太郎殿	10月分会費3円受領	紙	1	
1617	18	証	(大正4年)10月26日	京城太平通二丁目四ツ角 東京生そば 更科支店(印)	野田殿	さしみ1人前15銭領収	紙	1	
1617	19	郵便物受領証	(大正)4年10月17日	(京城太平通郵便局)	京城西小門通七五 野田卯太郎	三池郡岩田村松野たきの宛書留受領	紙	1	
1617	20	記	(大正4年)10月19日	京城本町一丁目 江戸川(印)	西小門内 拓舎宅 野田様	蒲焼1人前50銭領収	紙	1	
1617	21	記	(大正4年)10月16日	京城本町一丁目 江戸川(印)	西小門 野田様	蒲焼1人前50銭領収	紙	1	
1617	22	証	(大正4年)10月15日	京城太平通二丁目四ツ角 東京生そば 更科支店(印)	野田殿	さしみ1人前15銭領収	紙	1	
1617	23	領収証	大正4年10月15日	京城花園町 鮮満実業機関雑誌 新天地社(印)	野田卯太郎殿	9･10月分雑誌代50銭領収	紙	1	
1617	24	計算書	大正(4)年	京城黄金町二丁目 中込商店(印)(硝子板ペンキ類)	野田副総裁宅様	マリ尺2寸余2枚ほか代金1円余受取	紙	1	
1617	25	証	(大正4年)10月5日	京城太平通二丁目四ツ角 東京生そば 更科支店(印)	野田殿	さしみ3人前ほか代金1円余領収	紙	1	
1617	26	証	(大正4年)10月8日	京城太平通二丁目四ツ角 東京生そば 更科支店(印)	西小門 野田殿	吸物2人前ほか代金60銭領収	紙	1	
1617	27	証	(大正4年)10月8日	京城太平通二丁目四ツ角 東京生そば 更科支店(印)	野田殿	さしみ3人前代金1円余領収	紙	1	
1617	28	記	(大正4年)10月10日	京城本町一丁目 江戸川(印)	西小門内 野田様	蒲焼2人前代金1円領収	紙	1	
1617	29	記	大正4年10月6日	京城本町一丁目 調剤薬房 山岸天佑堂(印)	西小門通り 野田様	品代5円余領収	紙	1	
1617	30	証	大正4年10月5日	角南支店(印)	上殿	白足袋9文2足代52銭領収	紙	1	
1617	31	領収証	大正4年10月5日	京城本町二丁目 「マル･肥」陶栄支店(印)	上様	楽呑1個9銭領収	紙	1	
1617	32-1	記	大正4年7月29日	京城旭町一丁目 飯泉シャツ	上様	別誂カラーほか代金1円余受取	紙	1	1617-32-1～2同折
1617	32-2	郵便物受領証	(大正)4年9月2日	(京城郵便局)	旭町一ノ一三〇 山崎光代	東京麻布区材木町29野田卯太郎宛小包受領	紙	1	
1617	33	記	(大正4年)10月12日	京城本町一丁目 江戸川(印)	西小門内 野田様	蒲焼2人前代金1円領収	紙	1	
1617	34	記	大正4年11月21日	京城明治町弐丁目 綿類･蚊帳･呉服商 唐川呉服店(印)	西小 野田様	本入袖口2つほか代金6円余領収	紙	1	
1617	35	記	大正4年10月20日	京城大和町二丁目 石炭･薪炭商 横田商店	西小門 野田様	石炭代金2円余受取	紙	1	
1617	36	証	大正4年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	時事新報代10月分50銭領収	紙	1	
1617	37	領収証	大正4年	京城蓬莱町四丁目六十七番地 東亜牧場(印)	野田様	10月分牛乳代金1円余領収	紙	1	
1617	38	領収証	大正4年10月27日	朝鮮新聞京城販売部(印)	野田殿	朝鮮新聞代金10月分45銭領収	紙	1	
1617	39-1	領収証	大正4年	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	国民新聞10月分33銭委領収	紙	1	1617-39-1～5同折
1617	39-2	領収証	大正4年	大阪毎日新聞特約販売店 町田新聞部(印)	野田殿	大阪毎日新聞10月分55銭領収	紙	1	
1617	39-3	領収証	大正4年	福岡日日新聞特約販売店 町田新聞部(印)	野田殿	福岡日日新聞10月分40銭領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1617	39-4	領収証	大正4年	大阪朝日新聞特約販売店 町田新聞部(印)	野田殿	大阪朝日新聞10月分55銭領収	紙	1	
1617	39-5	領収証	大正4年	京城日報市内専売店 町田新聞部(印)	野田殿	京城日報10月分50銭領収	紙	1	
1617	40	領収証	大正4年7月22日	藤川小三郎(印)	金圭鎮様	表装代7円余領収	切紙	1	
1618	1	〔書簡〕	(大正4年)8月14日	河崎武(奉天駅前口号)	野田大人閣下(朝鮮京城拓殖会社 野田卯太郎)	日支交渉の件、落合総領事へ偽名にて送付の書面同封の事ほか	罫紙(16枚)	1	1618-1～2封筒一括
1618	2	〔書簡〕	(大正4年)8月6日	大村龍夫	落合総領事殿	張民政使問題解決まで留任願い	罫紙(9枚)	1	書類留(ステープラー)綴
1619		〔書簡〕	(大正5年)5月15日	中村信雄(福岡県山門郡三橋村棚町)	野田卯太郎閣下(朝鮮京城東洋拓殖会社)	朝鮮小学校教員志望の件	継紙	1	封筒あり
1620		〔書簡〕	(大正期)5月12日	弓削学務課長(総督府)	野田卯太郎殿(京城西小門町)	小学校教員採用の件につき中村信雄の履歴書送付依頼	罫紙	1	封筒あり。朝鮮総督府の罫紙使用
1621		〔封筒〕	大正5年4月3日	東京府下荏原郡大崎町大字上大崎八百〇五番地 河井松之介	朝鮮京城西小門町七十五 野田卯太郎殿		封筒	1	
1622	1	会報	(大正5年5月)	東京市赤坂区溜池町二番地 東亜同文会		東亜同文会春季大会、伊沢修二講演速記録ほか	紙(2枚)	1	1622-1～3封筒一括。年月は封筒消印
1622	2	〔書籍広告〕	(大正5年5月)	東京市赤坂区溜池町二番地 東亜同文会調査編纂部		『改訂支那全図』ほか	紙	1	
1622	3	故山座公使追懐紀念品配布ニ就テ	大正5年4月	於上海客舎 郡島忠次郎謹デ記ス			紙	1	
1623		〔書簡〕	(大正期)5年19日	義信	野田副総裁殿	小作料増徴の件、帰郷願い	継紙	1	
1624		〔俳句〕	(大正期頃)			「花役者巴里の舞台の題は何」など3句書上	継紙	1	
1625		〔書簡〕	(大正5年)5月15日	田村権蔵(大邱八雲町)	野田御尊大人様(京城西小門町 野田卯太郎)	金山関連の借用金につき利子支払い延期願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1626		〔書簡〕	大正5年5月10日	潮恵之輔(内務省地方局)	野田卯太郎殿(朝鮮京城 東洋拓殖株式会社)	府県課へ転任につき挨拶	切紙	1	封筒あり。封筒鉛筆書「五月廿三日挨拶
1627		仲丙石印会規程	(大正5年2月)	東京市下谷区上根岸町百十七番地 仲丙石印会(龍山井出治)	京城西小門内 野田大塊様	小沢仲丙君後援のため石印会設立につき賛助願い、発起者中村不折ほか	紙	1	封筒あり。年月は消印。切紙1枚(印影見本)同封
1628		〔書簡〕	大正5年5月10日	次田大三郎(内務省地方局)	野田卯太郎殿(京城 東洋拓殖株式会社)	地方局拓殖課長へ就任につき挨拶	切紙	1	封筒あり。封筒鉛筆書「五月廿二日挨拶
1629		勧農施設及内地人農業者分布図	(大正初年)			朝鮮半島50万分の1地図	紙	1	印刷
1630	1	論山郡勢一班	(大正5年頃)	東洋拓殖株式会社江景出張所 忠南の山 其理物産 金愛何	忠南公州 東洋拓殖会社 野田副総裁殿		書冊	1	謄写刷り。ステープラー綴。1630-1～3封筒一括。年は封筒消印
1630	2	扶余郡勢一班	(大正5年頃)				書冊	1	謄写刷り。ステープラー綴。年は封筒消
1630	3	扶余名勝旧跡図	(大正5年頃)				紙	1	印刷
1631	1	領収証書	大正5年1月8日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	11月分計量給水料4円余領収	紙	1	1631-1～24封筒一括。封筒上書「十二月 受領書入」
1631	2	領収証書	大正5年1月8日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	11月分量水器使用料80銭領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1631	3	記	大正4年12月30日	京城旭町壱丁目 「カナ・イ」前田商店	野田様	金90銭書上	紙	1	
1631	4	記	大正4年12月	朝鮮京城西小門町九十六番地 内地各種石炭撫順炭・平壌無烟煉炭及粉炭・骸炭安州炭根炭土管直輸入貿易商 西	町内 野田副総裁様	石炭代金2円余受領	紙	1	
1631	5	証	大正4年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	大阪朝日新聞代12月分55銭領収	紙	1	
1631	6	証	大正5年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	大阪毎日新聞代12月分55銭領収	紙	1	
1631	7	証	大正4年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	京城日報代12月分50銭領収	紙	1	
1631	8	証	大正4年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	福岡日日新聞代12月分40銭領収	紙	1	
1631	9	証	大正4年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	国民新聞代12月分33銭領収	紙	1	
1631	10	領収証	大正4年12月22日	朝鮮新聞京城販売部(印)	野田殿	朝鮮新聞代金12月分45銭領収	紙	1	
1631	11	郵便物受領証	(大正)4年12月30日	(京城太平通郵便局)	西小門町七五 野田卯太郎	福岡市新(ママ)日新聞内庄野社長宛書留受領	紙	1	
1631	12	郵便物受領証	(大正)4年12月31日	(京城太平通郵便局)	野田卯太郎	福岡市博多三井銀行福岡支店長宛郵便物受領	紙	1	
1631	13	郵便物受領証	(大正4年)12月17日	(京城太平通郵便局)	西小門七十五 野田卯太郎	福岡市博多三井銀行福岡支店宛書留受領	紙	1	
1631	14	郵便物受領証	(大正)4年12月28日	(京城太平通郵便局)	西小門町 野田	長春駅前野田俊作宛小包受領	紙	1	
1631	15	記	(大正4年)12月30日	西小門 餅や(印)	野田様	米2斗余搗賃1円余受取	継紙	1	
1631	16	領収証	大正4年12月22日	合資会社京城日報社 経理部長 藤野忠助(印)	野田卯太郎殿	年賀用葉書500枚代金7円余領収	罫紙	1	
1631	17	受領書	大正4年12月12日	合資会社京城日報社 経理部長 藤野忠助(印)	野田卯太郎殿	印刷代1円受領	罫紙	1	
1631	18	記	大正4年12月22日	京城南大門通り五丁目 諸官衙御用達 和洋諸紙、文房具、活版、石版、印刷、雨傘、提灯、帳糸、学校用品一式「ヤマ・木」九州屋商店(印)	京城日報様	横封7号300枚代金90銭領収	紙	1	
1631	19	領収証	大正4年12月13日	京城本町一丁目 金物商「チガイヤマ・井」井原京城支店	上殿	品代75銭領収	紙	1	
1631	20	証	(大正4年)12月12日	京城太平通二丁目四ツ角 東京生そば 更科支店(印)	野田殿	さしみ2人前30銭領収	紙	1	
1631	21	郵便物受領証	(大正)4年12月20日	(京城太平通郵便局)	西小門町七十五 野田卯太郎	福岡市橋口町柴屋旅舘宛書留受領	紙	1	郵便物受領証1通付(福岡日日新聞菊竹博之宛書留につき)
1631	22	領収証	大正4年12月31日	京城本町二丁目(寿座向) 太平通名刺舗	野田様	名刺400枚代金3円余領収	紙	1	
1631	23	〔領収書〕	大正4年12月28日	京城 銀行集会所(印)	野田卯太郎殿	12月分会費3円受領	紙	1	
1631	24	領収証	大正4年12月	漢城衛生社(印)	野田家殿	12月煙突掃除料50銭領収	紙	1	
1632	1	第八期(大正四年度)損益計算予想表	大正5年3月28日調	東洋拓殖株式会社			罫紙(8枚)	1	1632-1～2封筒一括。封筒上書「予想

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1632	2	社有小作地租法別面積一覧表	(大正5年3月)	(東洋拓殖株式会社)		大正4年度末分	紙	1	
1633	1	〔書簡〕	大正4年1月26日	国民新聞社会計局(東京市京橋区日吉町二十番地　国民新聞社)	野田大人(朝鮮京城東洋宅可食株式会社副総裁社宅　野田卯太郎)	約束手形返納の事	継紙	1	1633-1～2封筒一括
1633	2	約束手形	大正3年10月29日	東京市京橋区日吉町四番地　民友社々長　徳富猪一郎(印)	野田卯太郎殿	金1500円分	紙	1	
1634		〔書簡〕	大正3年10月23日	国民新聞社会計局(東京市京橋区日吉町二十番地　国民新聞社)	野田大人(朝鮮京城東洋拓殖株式会社副総裁社宅　野田卯太郎)	三井銀行約束手形へ裏書依頼	切紙	1	
1635		〔書簡〕	(大正5年)8月3日	於本部　江藤哲蔵(東京府豊多摩郡渋谷町大字中渋谷四百十四番地)	野田左台(朝鮮京城西小門　野田卯太郎)	政局紛糾の事、本部財政窮乏につき寄附願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1636		〔書簡〕	(大正5年)7月31日	川野庵(肥後人吉林温泉)	野田先生(朝鮮京城西小門通　野田大塊)	依頼により魚樽詰め3貫目送付の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1637	1	〔通知〕	大正5年7月11日	福岡市須崎土手町弐拾七番地　株式会社福岡県農工銀行取締役頭取　緒方道平	株主殿(三池郡岩田村岩津二三　野田卯太郎)	株主総会開催につき案内	切紙	1	1637-1～3封筒一括
1637	2	定款変更按	(大正5年7月11日)	(福岡県農工銀行)			切紙	1	
1637	3	増資新株募集規程	(大正5年7月11日)	(福岡県農工銀行)			切紙	1	
1638	1	〔書簡〕	大正5年7月20日	不二興業株式会社　専務取締役　藤井寛太郎	野田卯太郎殿(京城西小門)	書中見舞い、旅行日程	切紙	1	1638-1～2封筒一括。封筒上書「松野旅程日割入」。1638-1は混入したものか
1638	2	日程	大正5年7月30日	朝鮮京城太平通二丁目　朝鮮公論社、大陸婦人界社	(野田卯太郎)	大田・釜山など旅程書上	切紙	1	
1639		〔書簡〕	(大正5年頃)7月25日	石崎敏行(福岡県若松市)	野田大塊殿(朝鮮京城東洋拓殖会社)	和田喜三郎氏などによる在朝鮮事業の件につき藤井敏平氏を紹介の	継紙	1	封筒上書「藤井敏平氏持参」
1640		〔書簡〕	大正5年7月31日	杉田定一(東京下渋谷三七	野田卯太郎殿(朝鮮京城)	忌明けにつき挨拶	切紙	1	封筒あり
1641	1	〔書簡〕	(大正5年頃)	金圭鎮	大塊先生	相談の件ほか	切紙	1	1641-1～2封筒一括
1641	2	〔書簡〕	(大正5年頃)	金圭鎮	大塊閣下	先刻御揮毫の菊幅を置き忘れの事	切紙	1	
1642		〔書簡〕	(大正5年8月2日)	福岡県三池郡三川町字川尻小字宝ヶ坂　浜武文治	朝鮮京城西小門町七五　野田卯太郎殿	駛馬村道路敷地売却につき駛馬村田2筆分裂事項書上	罫紙	1	年月日は消印
1643		〔書簡〕	大正5年7月30日	松延新三郎(福岡県八女郡黒木町)	野田様(朝鮮京城西小門　野田卯太郎)	ミツヨ戸籍の件につき通知	継紙	1	封筒あり
1644		〔書簡〕	大正5年8月1日	河谷静夫(全北金堤東拓出張所)	野田先生(京城西小門　野田卯太郎)	日常の事務は平易の事ほか近況報告	切紙	1	封筒あり
1645		〔書簡〕	大正5年7月(27日)	宮崎日州新聞社社長　社長兼主筆法学士　野井槙太郎	野田卯太郎殿(朝鮮京城東洋拓殖会社)	本社創刊15周年に際し、記念号へ祝文など依頼	紙	1	封筒あり。日は封筒消印
1646	1	記	大正3年8月4日	京城本町二丁目　日韓書房(印)	野田殿	世界地図代金1円余領収	紙	1	1646-1～58封筒一括。封筒上書「大正三年七月、八月　諸領収証」
1646	2	記	大正3年6月	京城大和町一丁目〕平山牧場牛乳販売部(印)、京城東小門外　平山牧場畜牛部	西小門通　野田殿	6月分牛乳8合代金64銭領収	紙	1	
1646	3	領収証	大正3年	京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	大阪毎日7月分50銭領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1646	4	領収証	大正3年	京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	大阪毎日7月分50銭領収	紙	1	
1646	5	領収証	大正3年	京城日報市内専売部　町田新聞部(印)	野田殿	国民新聞7月分33銭領収	紙	1	
1646	6	領収証	大正3年	京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	京城日報7月分50銭領収	紙	1	
1646	7	領収証	大正3年	京城日報市内専売所　町田新聞部(印)	野田殿	万朝報7月分30銭領収	紙	1	
1646	8	領収証	大正3年	京城日報市内専売所　町田新聞部(印)	野田殿	朝鮮新聞7月分40銭領収	紙	1	
1646	9	領収書	大正3年7月29日	京城本町一丁目六十五番戸三輪商会　戸田春蔵(印)	野田様	金1円余領収	紙	1	
1646	10	領収証書	大正3年7月29日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	6月分量水器使用料80銭領収	紙	1	1646-10、11書類留(針・除去済)綴
1646	11	領収証書	大正3年7月29日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	6月分計量給水量4円余領収	紙	1	
1646	12	領収証	大正3年7月	漢城衛生社(印)	野田家殿	6月分煙突掃除料30銭領収	紙	1	
1646	13	受取証	大正3年7月29日	欧米雑貨洋酒食料品洋館莫類直輸入商　辻屋	野田邸殿	品代22円余領収	紙	1	
1646	14	記	大正3年7月24日	京城本町一丁目　平田商店(印)	西小門内　野田様	茶碗1ほか代金1円余受取	紙	1	
1646	15	証	大正3年7月26日	京城寿町三丁目　正気堂名刺舗(印)	野田様	名刺200枚代金2円余領収	紙	1	
1646	16	記	大正3年7月	京城南大門外御成町　亀山商店	野田様	品代30銭受取	紙	1	
1646	17	キ	(大正3年)7月末	花月(印)	拓　野田様	代金9円余領収	切紙	1	
1646	18	記	大正3年7月31日	京城本町一丁目　平田商店(印)	野田様	すだれ代金3円余受取	紙	1	
1646	19	記	(大正3年)7月31日	喜久家(印)	野田様	巴会々費5円領収	紙	1	
1646	20	記	大正3年7月□日	京城西小門通　石炭各種・平壌無烟炭・平壌無烟煉炭・コークス直輸入貿易商　西崎商会	野田副総裁様	石炭1俵代金85銭受取	紙	1	
1646	21	記	大正3年8月3日	京城本町一丁目　平田商店	上様	会席5人前ほか代金10円余受取	紙	1	
1646	22	記	大正3年8月4日	京城本町一丁目　平田商店(印)	野田殿	よしすだれ4個代金1円余受取	紙	1	
1646	23	記	(大正3年)8月3日	江戸川(印・「京城本町二丁目・江戸川」)	西小門　野田様	蒲焼4人前2円領収	紙	1	
1646	24	振替金貯金払込受領証	(大正)3年8月6日	(京城太平町郵便局)	京城西小門町七五　野田卯太郎	民友社口座宛10円受領	紙	1	
1646	25	〔領収書〕	大正3年8月5日	京城本町二丁目　三越呉服店出張所		品代4円余領収	紙	1	
1646	26	証	大正3年8月7日	京城本町二丁目　赤帽子印舗(印)	野田殿	金2円余受取	紙	1	
1646	27	記	大正3年8月7日	巴城舘(京城平町二丁目　巴城舘ホテル)	野田様	会席30人前代金60円領収	罫紙	1	
1646	28	記	(大正3年)8月7日	江戸川	西小門内　野田様	蒲焼4人前2円領収	紙	1	
1646	29	請求領収証	大正3年8月7日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	西小門町七五　東拓舎宅　野田卯太郎殿	卓上用電扇架費3円領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1646	30	領収証書	(大正)3年8月17日	京城大平町　郵便所出納員(印)	東洋拓殖株式会社納	7月分市外通話料1円余領収	紙	1	
1646	31	記	大正3年7月18日	京城明治町一丁目　綿類・蚊帳・呉服卸商　唐川呉服店	西小　野田様	綿糸ほか1円余領収	紙	1	
1646	32	記	大正3年8月24日	京城本町一丁目　平田商店	上様	灰皿3個ほか代金2円余受取	紙	1	1646-32、33書類留(針)綴
1646	33	記	大正3年8月14日	京城本町一丁目　平田商店	上様	品代4円余受取	紙	1	
1646	34	証	大正3年9月2日	飯塚歯科医院会計(印)	野田卯太郎殿	金2円領収	紙	1	
1646	35	領収証	大正3年9月2日	京城学校組合金庫(株式会社京城銀行)	野田卯太郎納	学校組合費第1期85円領収	紙	1	
1646	36	御勘定書	大正3年8月20日	朝鮮京城本町二　欧米雑貨・洋酒食料品・洋煙草類・其他直輸入商　辻屋	野田邸殿	紙ほか代金11円余領収	紙	1	
1646	37	証	大正3年8月	龍山駅前　官報・諸新聞・諸雑誌大売捌所　山田新聞店(印)	野田殿	毎夕8月分代金23銭領収	紙	1	
1646	38	記	大正3年8月18日	京城明治町一丁目　綿類・蚊帳・呉服卸商　唐川呉服店	西小　野田様	折釘20ほか代金35円余領収	紙	1	
1646	39	領収証書	大正3年9月2日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	7月分計量給水料3円余領収	紙	1	
1646	40	領収証書	大正3年9月2日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	7月分量水器使用料80銭領収	紙	1	
1646	41	領収証	大正3年	京城本町四丁目　京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	万朝報8月分30銭領収	紙	1	
1646	42	領収証	大正3年	京城本町四丁目　京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	国民新聞8月分33銭領収	紙	1	
1646	43	領収証	大正3年	京城本町四丁目　京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	朝鮮新聞8月分41銭領収	紙	1	
1646	44	領収証	大正3年	京城本町四丁目　京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	大阪毎日8月分50銭領収	紙	1	
1646	45	領収証	大正3年	京城本町四丁目　京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	大阪朝日8月分50銭領収	紙	1	
1646	46	領収証	大正3年	京城本町四丁目　京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	京城日報8月分50銭領収	紙	1	
1646	47	御勘定書	(大正3年)8月10日	京城本町四丁目　茶及茶器　青青園	野田殿	青柳2斤代金1円余領収	紙	1	
1646	48	記	大正3年8月17日	京城本町一丁目　平田商店	野田様	洋皿ほか代金8円余請取	紙	1	
1646	49	領収証	大正3年8月27日	京城鐘路　日韓瓦斯電気株式会社(印)	西小門通東拓舎宅　野田卯太郎殿	6月中引換電球代金1円余領収	紙	1	1646-49～55書類留(クリップ・除去済)綴
1646	50	受領証	大正3年8月27日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	西小門東拓舎宅　野田卯太郎殿	瓦斯代金ほか1円余領収	紙	1	
1646	51	受領証	大正3年8月27日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	西小門東拓舎宅　野田卯太郎殿	瓦斯代金ほか1円余領収	紙	1	
1646	52	受領証	大正3年8月27日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	太平町一丁目　野田卯太郎殿	7月分電灯料2円余領収	紙	1	
1646	53	受領証	大正3年8月27日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	太平町一丁目　野田卯太郎殿	7月分電灯料14円余領収	紙	1	
1646	54	受領証	大正3年8月27日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	太平町一丁目　野田卯太郎殿	6月分電灯料2円余領収	紙	1	
1646	55	受領証	大正3年8月27日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	太平町一丁目　野田卯太郎殿	6月分電灯料14円余領収	紙	1	
1646	56	領収証	大正3年8月	漢城衛生社(印)	野田家殿	煙突掃除料30銭領収	紙	1	
1646	57	領収証	大正(3)年8月27日	京城永楽町三丁目　福岡日日新聞支局(印)	野田殿	福岡日日新聞8月分40銭領収	紙	1	
1646	58	郵便物受領証	大正3年8月14日	(京城太平町郵便局)	西小門内　野田卯太郎	長春駅野田俊作宛書留受領	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作 成 者	宛 先	内容	形態	数量	備考
1647	1	計算書	大正5年6月20日	京城大和町弐丁目 石炭薪炭商「マル・ヨ」横田商店	西小門 野田殿	石炭代金2円余受取	紙	1	1647-1～31封筒一括。封筒上書「六月七月分受取入」
1647	2	計算書	大正5年6月20日	京城大和町弐丁目 石炭薪炭商「マル・ヨ」横田商店	野田様	石炭代金2円余受取	紙	1	
1647	3	受領証	大正5年6月	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	6月分瓦斯代金2円余領収	紙	1	
1647	4	受領証	大正5年6月	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	6月分電灯料13円余領収	紙	1	
1647	5	受領証	大正5年6月	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	6月分電灯料2円余領収	紙	1	
1647	6	証	大正5年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	福岡日日新報6月分40銭領収	紙	1	
1647	7	証	大正5年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	国民新聞代6月分33銭領収	紙	1	
1647	8	証	大正5年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	時事新報代6月分50銭領収	紙	1	
1647	9	証	大正5年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	京城日報代6月分50銭領収	紙	1	
1647	10	証	大正5年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	大阪毎日新聞代6月分55銭領収	紙	1	
1647	11	証	大正5年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	大阪朝日新聞代6月分55銭領収	紙	1	
1647	12	領収証	大正5年6月30日	朝鮮新聞販売部(印)	野田殿	朝鮮新聞代金6月分45銭領収	紙	1	
1647	13	領収証	大正5年7月	漢城衛生社(印)	野田殿	6月分煙突掃除料30銭領収	紙	1	
1647	14	記	大正5年6月	京城 宇治園	拓 野田様	番京1斤代金56銭領収	紙	1	
1647	15	請求書	大正(5)年	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	電灯料2円余書上	紙	1	1647-15～17書類留(針・除去済)一括
1647	16	請求書	大正5年7月	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	7月分電灯料3円余書上	紙	1	
1647	17	請求書	大正(5)年	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	電灯料2円余書上	紙	1	
1647	18	領収証	大正5年8月12日	朝鮮新聞販売部(印)	野田殿	朝鮮新聞代金7月分45銭領収	紙	1	
1647	19	領収証	大正5年8月	漢城衛生社(印)	野田殿	7月分煙突掃除料30銭領収	紙	1	
1647	20	証	大正5年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田卯太郎殿	時事新報代7月分領収	紙	1	1647-20～25同折
1647	21	証	大正5年	京城大漢門前 合名会社 盛文堂(印)	野田殿	大阪朝日新聞代7月分55銭領収	紙	1	
1647	22	証	大正5年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	大阪毎日新聞代7月分55銭領収	紙	1	
1647	23	証	大正5年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	国民新聞7月分33銭領収	紙	1	
1647	24	証	大正5年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	福岡日日新聞代7月分40銭領収	紙	1	
1647	25	証	大正5年	京城大漢門前 官報諸新聞大売捌所 盛文堂(印)	野田殿	京城日報代7月分50銭領収	紙	1	
1647	26	受領証	大正5年7月31日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	電灯料2円余領収	紙	1	
1647	27	受領証	大正5年7月31日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	7月分電灯料13円余領収	紙	1	
1647	28	受領証	大正5年7月31日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	7月分電灯料2円余領収	紙	1	
1647	29	証	(大正5年)7月30日	京城太平通二丁目四ツ角 東京生そば 更科支店(印)	野田殿	さしみ代金15銭領収	紙	1	
1647	30	記	大正5年8月5日	京城 宇治園 明石	西 野田様j	青柳1斤ほか代金2円余領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1647	31	〔領収書〕	大正5年8月1日	青木堂(印)(京城大門通二丁目　朝鮮総督府・朝鮮総督府・同駐剳軍司令部・李王職御用	西小門　野田殿	葉巻ほか代金10円余領収	紙	1	
1648	1	記	大正4年8月	京城西小門通　西門組	野田様	代金55銭書上	紙	1	1648-1～36封筒一括。封筒上書「大正四年八月　領収証
1648	2	領収証	大正4年8月31日	京城若草町寺町　三輪島三郎	野田家様	8月分煙突掃除料30銭領収	紙	1	
1648	3	運送状	大正4年8月9日	肥後国熊本停車場　内国通運株式会社熊本支店	朝鮮京城西正門　東洋拓殖副総裁在宅　野田卯太郎殿行	熊本市松谷嘉次郎より千枚引1俵送付につき	紙	1	
1648	4	運賃諸掛金受取証	大正4年8月11日	内国通運株式会社　京城支店(印)	受貨主　野田殿	熊本宗像殿より千枚引1個輸送につき関税など64銭書上	紙	1	
1648	5	領収証書	大正4年8月14日	京城本金庫(印)	野田宅　□谷駒□納	19円領収	紙	1	
1648	6	領収証書	大正4年8月27日	京城郵便局分任出納官吏　朝鮮総督府逓信書記三宅勝三郎(印)	東洋拓殖株式会社納	7月分市外通話料1円余領収	紙	1	
1648	7	領収証書	大正4年8月27日	京城郵便局分任出納官吏　朝鮮総督府逓信書記三宅勝三郎(印)	東洋拓殖株式会社納	7月分市外通話料督促手数料10銭領収	紙	1	
1648	8	督促状	大正4年8月24日	京城郵便局長　朝鮮総督府逓信副事務官　服部正一郎(印)	東洋拓殖株式会社	7月分市外電話料滞納料金1円余ほかにつき	紙	1	
1648	9	小為替金受領証書	(大正)4年8月31日	(京城太平町郵便局)		金3円余受領	紙	1	
1648	10	郵便物受領証	(大正4年)8月16日	(京城太平町郵便局)	野田卯太郎	福岡博多井上方花田安次郎宛小包受領	紙	1	
1648	11	郵便物受領証	(大正)4年8月10日	(京城太平町郵便局)	西小門　野田卯太郎	大邱三ヶ尻忠吾宛郵便物受領	紙	1	
1648	12	朝鮮総督府鉄道局小荷物切符	大正4年8月15日	西大門駅小荷物掛	京城西小門町　野田卯太郎	井上家宛荷物につき	紙	1	
1648	13	朝鮮総督府鉄道局小荷物切符	大正4年8月16日	西大門町小荷物掛	西大門駅　野田卯太郎	益田孝宛林檎袋1個につき	紙	1	
1648	14	記	(大正4年)8月14日	京城本町一丁目　江戸川(印)	西小門内　野田様	蒲焼6人前3円領収	紙	1	
1648	15	郵便物受領証	(大正)4年8月31日	(京城太平町郵便局)	野田卯太郎	福岡県柳河渡辺村男宛書留受領	紙	1	郵便物受領証1通付(野田留主宅より福岡野田卯太郎宛書留につき)
1648	16	仮証	大正4年8月17日	京城府寛勲洞表勲院内居住朝鮮奨産所々長　通信講義録国語界主幹　伊藤伊吉	野田賢台	国語界刊行賛助金3円領収	名刺	1	名刺の裏使用
1648	17	記	大正4年8月20日	京城大和町二丁目　石炭薪炭商　横田商店(印)	西小門　野田様	石炭代金1円余受取	紙	1	
1648	18	計算書	大正4年8月31日	朝鮮京城本町一丁目　津村兄弟商会(印)	野田様	人参飴2個ほか代金3円余領収	紙	1	
1648	19	郵便物受領証	(大正)4年8月11日	(京城太平町郵便局)	野田卯太郎	東京芝公園内原敬宛書留受領	紙	1	
1648	20	郵便物受領証	(大正)4年8月11日	(京城太平町郵便局)	野田卯太郎	大牟田町三池銀行黒田取締役宛書留受領	紙	1	
1648	21	〔名刺〕	(大正4年8月)	三井物産株式会社　天野雄之輔	野田様執事御中	内用エキス送付に関するメモ書きあり	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1648	22	〔領収書〕	大正4年7月31日	銀行集会所　倶楽部　青木堂(京城大門通二丁目　朝鮮総督府・朝鮮総督府・同駐剳軍司令部・李王職御用達)	野田様	火曜会1回代金75銭領収	紙	1	
1648	23	〔領収書〕	大正4年8月31日	青木堂(印・「野本」)(京城大門通二丁目　朝鮮総督府・朝鮮総督府・同駐剳軍司令部・李王職御用達)	野田殿	朝スープほか代金55銭領収	紙	1	
1648	24	〔領収書〕	大正4年8月31日	青木堂(印・「野本」)(京城大門通二丁目　朝鮮総督府・朝鮮総督府・同駐剳軍司令部・李王職御用達)	西小門　野田殿	葉巻ほか代金18円余領収	紙	1	
1648	25	証	大正4年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌所　盛文堂(印)	野田殿	時事新報代8月分50銭領収	紙	1	
1648	26	領収証	大正4年	京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	京城日報8月分50銭領収	紙	1	
1648	27	領収証	大正4年	大阪朝日特約販売店　町田新聞部(印)	野田殿	大阪朝日8月分55銭領収	紙	1	
1648	28	領収証	大正4年	朝鮮新聞特約販売店　町田新聞部(印)	野田殿	朝鮮新聞8月分45銭領収	紙	1	
1648	29	領収証	大正4年	京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	国民新聞8月分33銭領収	紙	1	
1648	30	領収証	大正4年	大阪毎日新聞特約販売店　町田新聞部(印)	野田殿	大阪毎日新聞8月分55銭領収	紙	1	
1648	31	領収証	大正4年	福岡日日特約販売店　町田新聞部(印)	野田殿	福岡日日新聞8月分40銭領収	紙	1	
1648	32	領収証書	大正4年9月6日	京城府金庫	西小門町七五番地　野田卯太郎納	特別戸別税20円余領収	紙	1	
1648	33	記	大正4年8月末日	京城旭町壱丁目　「カネ・イ」前田商店	野田様	鯛代金30銭ほか書上	紙	1	1648-33～35同折
1648	34	記	(大正4年8月)	京城旭町壱丁目　「カネ・イ」前田商店	野田様	鯛代金13銭ほか書上	紙	1	
1648	35	記	大正4年8月28日	京城旭町壱丁目　「カネ・イ」前田商店	野田様	魚代6円余受取	紙	1	
1648	36	〔領収書〕	(大正4年8月)		(野田卯太郎)	南駅送りほか8月分13円領収	罫紙(2枚)	1	紙縒綴
1649	1～17	〔領収証〕			京城　野田卯太郎	大正4年6月領収証			
1649	1	記	大正4年6月	京城西小門通　石炭各種・平壌無烟炭・平壌無烟煉炭・撫順炭直輸入貿易商　西崎商会	野田副総裁様	石炭3俵代金2円余領収	紙	1	1649-1～17封筒一括。封筒上書「領収証　大正四年六月
1649	2	記	大正4年6月30日	京城西小門通　石炭各種・平壌無烟炭・平壌無烟煉炭・撫順炭直輸入貿易商　西崎商会	野田様	石炭3俵代金2円余領収	紙	1	
1649	3	郵便物受領証	(大正)4年6月28日	(京城太平通郵便局)	西小門　野田卯太郎	福岡市博多三井銀行支店長宛書留受領	紙	1	
1649	4	記	(大正4年)6月15日	京城本町一丁目　江戸川(印)	野田様	蒲焼4人前2円領収	紙	1	
1649	5	証	大正4年	京城大漢門前　官報諸新聞大売捌　盛文堂(印)	野田殿	時事新報代6月分50銭領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1649	6	領収証	大正4年6月23日	京城南大門駅前　内国通運株式会社　京城支店(印)	野田卯太郎殿	直方貝島太助行き苹果1個運賃2円余領収	紙	1	
1649	7	領収証	大正4年6月23日	京城南大門駅前　内国通運株式会社　京城支店(印)	野田卯太郎殿	福岡立花伯行き苹果1個運賃1円余領収	紙	1	
1649	8	証	大正4年6月24日	京城南山町三丁目　京城ホテ	西小門　野田様	茶話会費1円余領収	紙	1	
1649	9	領収証	大正4年	京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	京城日報6月分50銭領収	紙	1	
1649	10	領収証	大正4年	朝鮮新聞特約販売店　町田新聞部(印)	野田殿	朝鮮新聞6月分45銭領収	紙	1	
1649	11	領収証	大正4年	京城日報市内専売店　町田新聞部(印)	野田殿	6月分新聞代金33銭領収	紙	1	
1649	12	領収証	大正4年	万朝報特約販売店　町田新聞部(印)	野田殿	万朝報6月分30銭領収	紙	1	
1649	13	領収証	大正4年	福岡日日新聞特約販売店　町田新聞部(印)	野田殿	福岡日日新聞6月分代金40銭領収	紙	1	
1649	14	領収証	大正4年	大阪毎日専売店　町田新聞部(印)	野田殿	大阪毎日6月分55銭領収	紙	1	
1649	15	領収証	大正4年	大阪朝日特約販売店　町田新聞部(印)	野田殿	大阪毎日新聞6月分55銭領収	紙	1	
1649	16	〔領収書〕	大正(4)年6月30日	青木堂(印)(京城大門通二丁目　朝鮮総督府・朝鮮総督府・同駐剳軍司令部・李王職御用	西小門　野田殿	ミルクほか代金13円余領収	紙	1	
1649	17	記	大正4年7月1日	京城明治町弐丁目　綿類・蚊帳・呉服商　唐川呉服店(印)	西小　野田様	鉄無地絽1反代金9円余請取	紙	1	
1650	1～4	〔計算書〕	(大正3年)			大正2年12月計算表入			
1650	1	〔7月分支出総額〕	(大正3年頃7月)	(野田卯太郎)		通信費ほか141円余ほか書上	紙	1	1650-1～4封筒一括。封筒上書「計算
1650	2	大正二年十二月中支払表	(大正2年12月)	(野田卯太郎)		給料ほか376円余書上	紙	1	
1650	3	大正弐年十二月分支払一覧表	(大正2年12月)	(野田卯太郎)		会社給仕及び小僧へ心付ほか376円余書上	紙	1	
1650	4	大正三年十月中支出一覧	(大正3年10月)	(野田卯太郎)		戸別割第2期ほか450円余書上	紙	1	
1651	1	領収証	大正4年6月7日	京城鐘路　日韓瓦斯電気株式会社(印)	西小門町　東拓会社　野田殿	3月分引換電球代金30銭領収	紙	1	1651-1～34封筒一括。封筒上書「電灯瓦斯受取書入」
1651	2	領収証	大正4年	京城鐘路　日韓瓦斯電気株式会社(印)	西小門町東拓舎宅　野田卯太郎殿	8月中引換電球代金4円余領収	紙	1	
1651	3	電球球引換証	大正4年1月16日	東拓舎宅　西小門町七十五番地　野田卯太郎(印)	日韓瓦斯電気株式会社御中	電球球5個ほか代金受取	紙	1	
1651	4	受領証	大正4年7月28日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	3月分瓦斯代2円余領収	紙	1	
1651	5	受領証	大正4年12月31日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	11月分電灯料13円余領収	紙	1	
1651	6	受領証	大正4年12月31日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	11月分瓦斯代2円領収	紙	1	
1651	7	受領証	大正4年12月31日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	11月分電灯料2円余領収	紙	1	
1651	8	受領証	大正4年11月30日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	10月分瓦斯代3円余領収	紙	1	
1651	9	受領証	大正4年11月30日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	10月分電灯料2円余領収	紙	1	
1651	10	受領証	大正4年11月30日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	10月分電灯料16円余領収	紙	1	
1651	11	受領証	大正4年11月1日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	9月分電灯料2円余領収	紙	1	
1651	12	受領証	大正4年11月1日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	9月分電灯料13円余領収	紙	1	
1651	13	受領証	大正4年7月28日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	6月分電灯料13円余領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1651	14	受領証	大正4年7月8日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	6月分電灯料2円余領収	紙	1	
1651	15	受領証	大正4年9月30日	京城電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	9月分瓦斯代3円余領収	紙	1	
1651	16	受領証	大正4年9月30日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	8月分電灯料2円余領収	紙	1	
1651	17	受領証	大正4年8月30日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	8月分電灯料13円余領収	紙	1	
1651	18	受領証	大正4年	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	8月分瓦斯代1円余領収	紙	1	
1651	19	受領証	大正4年9月1日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	7月分電灯料2円余領収	紙	1	
1651	20	受領証	大正4年9月1日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	7月分電灯料13円余領収	紙	1	
1651	21	請求書	大正4年6月7日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	太平町一丁目　野田卯太郎殿	5月分電灯料2円受領	紙	1	
1651	22	受領証	大正4年7月8日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	5月分電灯料13円余領収	紙	1	
1651	23	請求書	大正4年6月7日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	太平町一丁目　野田卯太郎殿	4月分電灯料2円余受領	紙	1	
1651	24	請求書	大正4年6月7日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	太平町一丁目　野田卯太郎殿	4月分電灯料13円余受領	紙	1	
1651	25	請求書	大正4年6月7日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	3月分電灯料2円余受領	紙	1	
1651	26	請求書	大正4年6月7日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	3月分電灯料13円余受領	紙	1	
1651	27	受領証	大正4年4月5日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	2月分電灯料2円余領収	紙	1	
1651	28	受領証	大正4年4月5日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	2月分電灯料14円余領収	紙	1	
1651	29	受領証	大正4年2月3日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	1月分電灯料2円余領収	紙	1	
1651	30	受領証	大正4年2月3日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	1月分電灯料13円余領収	紙	1	
1651	31	受領証	大正4年2月3日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	1月分電灯料3円余領収	紙	1	
1651	32	受領証	大正4年	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	3月分瓦斯代2円余領収	紙	1	
1651	33	請求書	大正4年6月7日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	西小門　野田卯太郎殿	3月分瓦斯代金1円余受領	紙	1	
1651	34	受領証	大正4年4月5日	日韓瓦斯電気株式会社(印)	野田卯太郎殿	2月分瓦斯代3円余領収	紙	1	
1652	1	〔電報〕	(大正5年2月3日)	タイキウ局　タム	ニシコモンマチ　ノダウタロウ(西小門町　野田卯太郎)	受領につきお礼(〇ツキマシタカンシヤスフミ)	紙	1	1652-1～45封筒一括。封筒上書「大正五一月至三月　領収証入」
1652	2	領収証	大正5年4月1日	京城大平通り一丁目　三井洋服店　店主　三井松次郎(印)	野田様	チョキ工料ほか3円余受取	紙	1	
1652	3	記	(大正5年)3月26日	高山、代理　山崎梧	野田様	松葉17把ほか代金10円余受取	切紙	1	
1652	4	記	(大正5年)4月1日	喜久家(印)	野田様	御料理20人前ほか代金62円余領収	紙	1	
1652	5	〔請求書〕	(大正5年)5月5日	京城本町一丁目　日韓書房	西小門　野田殿	中公1冊代金25銭領収	紙	1	
1652	6	郵便物受領証	(大正)5年3月7日	(京城太平通郵便局)	西小門町七五　野田卯太郎	東京麻布区材木町加藤留子宛書留受領	紙	1	
1652	7	証	(大正5年)2月11日	京城太平通二丁目四ツ角　東京生そば　更科支店(印)	野田殿	スイモノ4人前ほか代金1円余領収	紙	1	
1652	8	計算書	大正5年2月29日	東京本町二丁目　村上写真舘	野田様	品代7円余領収	紙	1	
1652	9	〔領収書〕	(大正5年)2月8日	京城西小門町　沢山商会支店洋家具装飾部	野田様	化粧台代金5円領収	紙	1	
1652	10	記	(大正5年)2月8日	巴城舘(印・「京城本町二丁目・巴城舘ホテル」)	野田様	重詰代5円受取	切紙	1	
1652	11	記	大正5年3月21日	京城鍾路大広橋　内外国紙物及和洋文具諸具商　金聖煥	野田卯太郎座下	洋紙10枚ほか代金1円余書上	紙	1	
1652	12	受取証	大正5年2月7日	京城旭町二丁目　朝鮮雑誌社(印)	野田卯太郎殿	『雑誌朝鮮及満洲』2月分25銭受取	紙	1	
1652	13	預リ証	大正5年2月29日	京城太平通り二丁目　各国時計并金属眼鏡類及美術品一式商　向井時計店(印)	野田殿	金フチメガネ1個代金70銭預り	紙	1	
1652	14	当座勘定入金通知書	大正5年2月10日	株式会社三池銀行(印)	野田卯太郎殿	農工銀行配当金53円振込につき	紙	1	
1652	15	郵便物配達証明書	(大正)5年1月6日	(福岡郵便局)		三井銀行宛書留につき	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1652	16	勘定書	大正5年4月9日	京城本町壱丁目　ますや呉服	野田様	銘仙2反代金19円余領収	紙	1	
1652	17	当座勘定入金案内状	大正5年1月24日	東京市日本橋区駿河町一番地　株式会社三井銀行(印)	麻布区材木町七九　野田卯太郎殿	星製茶会社配当18円余につき	紙	1	郵便局付紙1点あり(朝鮮京城拓殖会社へ転送につき)
1652	18	〔書付〕	(大正5年)5月10日	事務室(印)	野田大人	猪原様不在につき事務室にて受取の事	紙	1	
1652	19	郵便物受領証	(大正)5年4月10日	(京城太平通郵便局)	京城西小門　野田卯太郎	全羅北道井邑多羅尾徹宛小包受領	紙	1	
1652	20	領収証	大正5年4月12日	朝鮮総督官舎		筍1籠領収	切紙	1	
1652	21	領収証書	大正5年4月21日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	3月分計量給水料3円余領収	紙	1	
1652	22	領収証	(大正)5年4月21日	京城学校組合金庫(印)	野田卯太郎殿	学校組合費戸別割第1期85円領収	紙	1	
1652	23	証	(大正)5年4月13日	久尾太□(印)	野田様	品代13円受取	切紙	1	
1652	24	郵便物受領証	(大正)5年2月8日	(京城太平郵便局)	西小門町七五　野田卯太郎	大牟田町三池銀行黒田取締役宛書留受領	紙	1	
1652	25	領収証	大正(5)年	朝鮮新聞販売部(印)	野田殿	朝鮮新聞代金3月分45銭領収	紙	1	
1652	26	領収証書	大正5年3月2日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	2月分計量給水料3円余領収	紙	1	
1652	27	勘定書	大正(5)年	京城本町壱丁目　篠崎半助本店(印)	野田殿	封筒100枚代金35銭領収	紙	1	
1652	28	〔領収〕書	大正5年4月16日	京城南大門通五丁目五十九番地　朝鮮勧農株式会社販売部(印)	野田殿	油箱5個代金1円領収	紙	1	
1652	29	郵便物受領証	(大正)5年3月6日	(京城太平通郵便局)	西小門町七五　野田卯太郎	長春野田俊作宛書留受領	紙	1	
1652	30	郵便物受領証	(大正)5年2月14日	(京城明治町郵便局)	西小門　野田卯太郎	満洲長春駅野田俊作宛書留受領	紙	1	
1652	31	郵便物受領証	(大正)5年1月10日	(京城郵便局)	西小門町七五　野田卯太郎	大牟田町三池銀行黒田取締役宛書留受領	紙	1	
1652	32	領収証	大正5年1月9日	京城朝鮮新聞支社(印)	野田卯太郎殿	日文年賀広告料3回分14円余領収	紙	1	
1652	33	領収証	大正5年1月9日	京城朝鮮新聞支社(印)	野田卯太郎殿	鮮文年賀広告料3回分14円余領収	紙	1	
1652	34	郵便物受領証	(大正)5年2月7日	(京城太平通郵便局)	西小門町七五　野田卯太郎	東京芝公園内原敬宛書留受領	紙	1	
1652	35	当座勘定入金通知書	大正5年1月29日	株式会社三池銀行(印)	野田卯太郎殿	三池土木会社振込450円につき	紙	1	
1652	36	領収証	大正5年2月6日	李王職所管美術品製作所(印・「竹岡」)	上殿	画筆5本ほか代金4円余受領	紙	1	
1652	37	記	大正5年2月6日	(印・「津村領収印」)	野田様	風呂甲人参2斤代金1円領収	紙	1	
1652	38	小為替金受領証	(大正)5年1月7日	(京城太平通郵便局)		金5円受領	紙	1	
1652	39	郵便物受領証	(大正)5年1月29日	(京城太平通郵便局)	西小門町七五　野田卯太郎	東京日本橋町島屋旅舘麻生太吉宛書留受領	紙	1	
1652	40	〔領収書〕	(大正5年1月)	京城塔洞公園内　カフェーパゴダ、京城大門通二丁目　朝鮮総督府・朝鮮総督府・同駐剳軍司令部・李王職御用達	野田殿	洋食4人前ほか代金50円余受取	紙	1	
1652	41	〔領収書〕	大正5年1月28日	朝鮮新聞社(印)	野田殿	1月分新聞代45銭領収	紙	1	
1652	42	郵便物受領証	(大正)5年1月21日	(京城太平通郵便局)	西小門町　野田卯太郎	三池郡江ノ浦永江眞郷宛小包受領	紙	1	
1652	43	郵便物受領証	(大正)5年1月12日	(京城太平通郵便局)	京城　野田	鹿児島県加治木村柚木慶三宛人参小包受領	紙	1	
1652	44	領収証	大正(5)年	京城太平通壱丁目　合資会社京城日報社(印)	野田卯太郎殿	京城日報掲載年賀広告料4円余領収	紙	1	
1652	45	勘定書	大正5年1月10日	京城本町壱丁目　篠崎半助本店(印)	上殿	巻紙10本代金2円領収	紙	1	
1653	1～38	〔領収証〕	大正5年		京城・熊本人吉　野田卯太郎	大正5年5月以降領収証入			

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1653	1	証	大正5年	京城南山町三丁目巴城舘上ル　書画骨董並ニ入札扱商　聚古堂　佐々木兆治	野田殿	小石東会々費3円領収	紙	1	1653-1～38封筒一括。封筒上書「大正五年八月以降　領収書入」
1653	2	領収証	大正5年5月9日	京城太平通二丁目　時計及眼鏡貴金属美術工作品商　向井卯一(印)	野田殿	懐中時計修繕代55銭領収	紙	1	
1653	3	記	(大正5年)7月8日	京城本町一丁目　江戸川(印)	西小門　野田様	蒲焼2人前1円領収	紙	1	
1653	4	郵便物受領証	(大正)5年7月8日	(京城太平通郵便局)	西小門　野田卯太郎	大牟田町三池銀行黒田取締役宛書留受領	紙	1	
1653	5	証	大正5年5月26日	朝鮮京城南大門通三丁目　丁子屋支店洋服部(印)　受領者(印・「池田」)	野田様	セビロ三揃代32円領収	紙	1	
1653	6	〔請求書〕	大正5年5月25日	京城南大門通　丁子屋洋服店	野田様	セビロ三揃代32円書上	紙	1	
1653	7	記	(大正5年)6月26日	京城本町一丁目　江戸川(印)	西小門　野田様	鰻丼1人前50銭領収	紙	1	
1653	8	証	(大正5年)6月25日	京城太平通二丁目四ツ角　東京生そば　更科支店	野田殿	親子丼3人前75銭領収	紙	1	
1653	9	送状	(大正5年)	総督府鉄道局承認貨物取扱店　鉄道運輸聯合会加盟店　湖南線井邑駅前　「マル・一」村上運送店	京城西小門　野田卯太郎殿	古阜加藤より干魚箱入1個送付につき	紙	1	
1653	10	小為替金受領証	(大正)5年5月8日	(京城太平通郵便局)		金10円受領	紙	1	
1653	11	郵便物受領証	(大正)5年5月8日	(京城太平通郵便局)	野田卯太郎	三池郡江浦村古賀福太郎宛書留受	紙	1	
1653	12	郵便物受領証	(大正)5年5月7日	(京城太平通郵便局)	西小門町七五　野田卯太郎	東京麻布区材木町二九加藤留子宛書留受領	紙	1	
1653	13	記	大正5年6月8日	肥後人吉林温泉　御旅舘　翠嵐楼(印)	野田閣下様	電報ほか代金28円余書上	紙	1	
1653	14	(欠番)							
1653	15	記	(大正5年)5月31日	喜久家(印)	野田様	御料理9人前ほか代金70円余受取	紙	1	
1653	16	領収証	大正5年4月27日	京城南大門駅前　「マル・京」河村組本店	野田様	鮮魚配達賃12銭領収	紙	1	
1653	17	領収証	大正5年4月	京城大和町一丁目三十五番地　徳田玉龍(印)	野田殿	玉龍金剛百画会第2種1口分15円受領	紙	1	
1653	18	郵便物配達証明書	(大正)5年4月16日	筑後国江浦郵便局	朝鮮京城西小門町　野田卯太郎殿	三池郡岩田村松野たきの宛書留につき	紙	1	
1653	19	郵便物配達証明書	(大正)5年5月29日	麻布郵便局	京城西小門町七五　野田卯太郎殿	材木町二九野田内加藤留子宛書留につき	紙	1	
1653	20	郵便物配達証明書	(大正)5年5月23日	東京中央郵便局	京城西小門　野田卯太郎殿	駿河町三井銀行宛書留につき	紙	1	
1653	21	記	(大正5年)6月29日	京城本町一丁目　江戸川(印)	西小門　野田様	蒲焼5人前2円余領収	紙	1	
1653	22	郵便物受領証	(大正)5年7月16日	(京城太平通郵便局)	西小門七五　野田卯太郎	福岡市博多三井銀行福岡支店長宛書留受領	紙	1	
1653	23	振替貯金払込金受領証	(大正)5年6月23日	(京城明治町郵便局)	京城西小門　野田卯太郎	柳河学友会口座宛10円につき	紙	1	
1653	24	領収証	(大正)5年7月18日	京城学校組合金庫(印)	野田卯太郎殿	学校組合費戸別割第2期85円領収	紙	1	
1653	25	領収証書	大正5年7月18日	京城本金庫(印)	野田卯太郎納	6月分計量給水量3円余領収	紙	1	
1653	26	証	大正5年7月19日	京城本町一丁目　和洋紙・諸帳簿・文房具・諸印刷　北内商店(印)	野田様	巻紙5本ほか代金2円余領収	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1653	27	記	大正5年7月24日	京城鍾路大広橋 内外国紙物及和洋文具諸具商 金聖煥	野田卯太郎座下	品代2円余領収	紙	1	
1653	28	領収書	(大正5年)7月26日	京城工業専門学校(印・「渡辺」)	野田殿	衣服ダンス1個代金16円領収	罫紙	1	
1653	29	〔領収書〕	大正5年6月29日	京城 銀行集会所(印)	東洋拓殖会社 野田卯太郎様	大正5年6月分会費3円領収	紙	1	
1653	30	受取証	大正5年7月17日	京城旭町二丁目 朝鮮雑誌社(印)	野田卯太郎殿	『雑誌朝鮮及満洲』7月分35銭受取	紙	1	
1653	31	記	大正5年7月21日	京城黄金町三丁目三十番地 東京ゴム輸入力車各種製造並ニ修繕各国ゴム最新式空気入タイヤ其他附属品一式販売ゴム製品並地下足袋一切 辻商店事 吉野孝四郎(印)	野田殿	並車輪・梶棒取換ほか代金25円余領収	紙	1	
1653	32	郵便物受領証	(大正)5年5月19日	(京城太平通郵便局)	西小門 野田卯太郎	鹿児島市上ノ竜尾町九二野田四郎太宛古着入り小包受領	紙	1	
1653	33	領収証	大正5年5月28日	京城太平通二丁目 朝鮮公論社(印)	野田殿	雑誌代4月分まで1円余領収	紙	1	
1653	34	郵便物受領証	(大正5年)6月8日	(熊本人吉郵便局)	人吉町林 河野広方 西太郎	東京市芝区原敬宛書留受領	紙	1	
1653	35	記	(大正5年)7月31日	喜久家(印)	野田様	御料理17人前ほか代金74円余領収	紙	1	
1653	36	七月分計算書	(大正5年7月)	(野田卯太郎)		青木堂・女中2人分など141円余分につき	紙	1	
1653	37	郵便物受領証	(大正)5年3月5日	(京城太平郵便局)	西小門町 野田卯太郎	東京市外千駄ヶ谷隠田団琢磨宛書留受領	紙	1	
1653	38	郵便物受領証	(大正)5年5月12日	(京城太平郵便局)	京城 野田	京都相国寺独山老師宛イシタケ入り小包受領	紙	1	
1654	1	領収証	大正5年7月2日	柳河学友会(印)	野田卯太郎殿	大正5年度定期寄附金10円領収	紙	1	1654-1～27封筒一括。封筒上書「大正五年五月分 領収証
1654	2	計算書	大正5年6月4日	(野田卯太郎)		書留・山本表具店ほか合計金16円余につき	紙	1	1654-2～10書類留(針・除去済)一括
1654	3	記	大正5年6月5日	京城明治町一丁目 表具師並ニ材料販売 山本平治(印)	野田様	表具代7円余受取	紙	1	
1654	4	〔領収書〕	大正5年6月5日	京城本町一丁目郵便局前 各国流行靴附属品其他販売 北村商店	飯泉様	靴修理代1円余受取	紙	1	
1654	5	証	大正5年6月14日	秘書室 神長均(印)	野田副総裁殿	石橋参事母逝去につき弔慰金ほか2円余領収	罫紙	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用
1654	6	受取証	大正5年6月	京城旭町二丁目 朝鮮雑誌社(印)	野田卯太郎殿	『雑誌朝鮮及満洲』2ヶ月分50銭領収	紙	1	
1654	7	郵便物受領証	(大正)5年6月10日	(京城太平通郵便局)	西小門町 野田留守宅	福岡市栄屋旅舘野田卯太郎宛衣類2点入り小包受領	紙	1	
1654	8	郵便物受領証	(大正)5年6月4日	(京城太平通郵便局)	西小門町 野田守留(ママ)宅	福岡市栄屋旅舘野田卯太郎宛小包受領	紙	1	
1654	9	郵便物受領証	(大正)5年6月4日	(京城太平通郵便局)	西小門 野田留守宅	福岡市栄屋旅舘野田卯太郎宛小包受領	紙	1	
1654	10	郵便物受領証	(大正)5年6月4日	(京城太平通郵便局)	西小門町 野田留守宅	福岡市栄屋旅舘野田卯太郎宛書留受領	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1654	11	領収証	大正5年9月26日	京城南大門駅前　内国通運株式会社　京城支店(印)	野田卯太郎殿　執事御中	別紙請求書分89円余領収	紙	1	
1654	12	請求書	大正5年9月	京城駅　内国通運株式会社	野田卯太郎御中	福岡野田卯太郎殿行石碑6個分運賃ほか89円余請求	紙	1	
1654	13	〔領収書〕	(大正)5年9月6日	京城本町一丁目　三越呉服出張所雑貨部	(野田卯太郎)	ヂレット替刃1個代金2円余領収	紙	1	
1654	14	〔計算書〕	(大正5年)			特別戸別銭・青木堂4月分ほか27円余につき	紙	1	
1654	15	〔領収書〕	大正5年6月切	京城本町二丁目百三番地　永井支店　京染悉皆商　小田長三郎	野田御内様	名仙絣代金25銭受取	紙	1	1654-15～17書類留(針・除去済)一括
1654	16	証	(大正5年)7月14日	京城太平通二丁目四ツ角　東京生そば　更科支店(印)	野田殿	さしみ1人前15銭領収	紙	1	
1654	17	領収証書	(大正)5年7月13日	西小門町七五番地　野田卯太郎納	京城府金庫	特別戸別銭ほか21円余領収	紙	1	
1654	18	領収証	大正5年6月29日	朝鮮総督府鉄道局　京城朝鮮ホテル主任(印)	野田副総裁殿	昼食2人前ほか代金47円余領収	罫紙	1	
1654	19	領収証	大正5年6月1日	朝鮮総督府鉄道局　京城朝鮮ホテル主任(印)	野田様	別紙請求書分6円領収	紙	1	
1654	20	請求書	大正5年5月25日	朝鮮総督府鉄道局　京城朝鮮ホテル主任	東拓会社　野田様	別紙内訳書分47円余書上	紙	1	
1654	21	〔伝票〕	1916年5月13日	The Chosen Hotel, Chosen Railways、Keijyo	野田	ランチ2人前ほか代金3円余書上	紙	1	1654-21～26書類留(針・除去済)一括
1654	22	〔伝票〕	1916年5月16日	The Chosen Hotel, Chosen Railways、Keijyo	野田様	ディナー9人前ほか代金24円余書上	紙	1	
1654	23	〔伝票〕	1916年5月15日	The Chosen Hotel, Chosen Railways、Keijyo	東拓　野田様	Pall Mall3人前ほか代金2円余書上	紙	1	
1654	24	〔伝票〕	1916年5月15日	The Chosen Hotel, Chosen Railways、Keijyo	野田様	ルーム・チャージ5円余書上	紙	1	
1654	25	〔伝票〕	1916年5月22日	The Chosen Hotel, Chosen Railways、Keijyo	東拓　野田様	ランチ2人前ほか代金3円余書上	紙	1	
1654	26	〔伝票〕	1916年5月23日	The Chosen Hotel, Chosen Railways、Keijyo	野田副総裁	食事代9円余書上	紙	1	
1654	27	請求書	大正(5年)年	朝鮮総督府鉄道局　京城朝鮮ホテル主任	野田様	昼食代ほか47円余請求	紙	1	
1654	28	〔領収書〕	大正5年7月14日	朝鮮元山港　大東舘	野田閣下様	宿泊料ほか25円余領収	折紙	1	1654-28～30書類留(針・除去済)一括
1654	29	〔領収書〕	大正5年7月14日	朝鮮元山旭町二丁目　大東舘(印)	上様	茶料15円領収	紙	1	
1654	30	計算書	大正5年7月15日			南大門・元山間2等汽車賃ほか81円余分につき	切紙	1	
1654	31	証	大正5年7月15日	京城大和町官邸　政務総監邸(印・「山縣執事」)		新聞紙1包受領	切紙	1	
1655	1	大正二年及三年各自一月至四月四ヶ月間ニ本社ニ発送シタル文書件数対照表	(大正3年)	東洋拓殖会社馬山出張所			罫紙	1	1655-1～5封筒一括。封筒上書「必要雑書類入」
1655	2	〔集計表〕	(大正2年頃)	(東洋拓殖株式会社)		明治44年～大正2年、会社貸借対照表	罫紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1655	3-1	財産目録	大正2年度	沙里院出張所(東洋拓殖株式会社)		地所ほか152万5496円余につき	罫紙	1	1655-1～2同折
1655	3-2	損益表	大正2年度	沙里院出張所(東洋拓殖株式会社)		貸付金利息ほか書上	罫紙	1	
1655	4	水利事業ニ就テ	(大正2年頃)			朝鮮での貯水池事業の奨励策などについて	書綴(罫紙)	1	
1655	5	〔履歴書〕	大正3年6月	脇坂健次(印)(福岡市雁林町)			書綴(罫紙)	1	「十時参吉郎紹介」と墨書あり
1656		〔書簡〕	(大正4年)2月21日	枡永弥三郎(福岡県岩田郡大和村)	野田卯三郎殿(朝鮮京城西小門)	上京時に一人旅は危険につき、迎人を差し出す事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1657		〔書簡〕	大正4年2月17日	森一太(全南木浦潮南町壱番地)	野田卯太郎様(京城西小門七十五)	過日訪問の際の無礼につき謝罪	紙	1	封筒あり
1658		〔会社貸付金調書〕	大正3年8月調	(東洋拓殖株式会社貸付課)		貸付金大口小口調(明治42年～大正3年度分)、定期年賦及各年度合計ほか	紙(2枚)	1	封筒あり。封筒上書「東洋拓殖会貸金表及営業費割合表入」
1659	1	〔書簡〕	大正5年6月26日	猪一郎(東京市青山南町六之三十　徳富猪一郎)	大塊大人(朝鮮京城西小門内野田卯太郎)	寺内伯元帥に推任となり、加藤高明・大隈の後継者となること確実との評判の事、非常手段なければ局面の転回は困難の事	継紙	1	1659-1～9封筒一括。封筒上書「野田副総裁殿」
1659	2	〔書簡〕	(大正5年)6月22日	明石元二郎(熊本市外大江村九品寺)	大塊老兄(福岡県大牟田三井倶楽部気附　野田卯太郎)	支那の情勢は予想通り一時小康となる事、観樹老人の公案について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1659	3	〔書簡〕	大正5年6月3日	元之助(大阪府東成鶴橋町猪飼野　福本元之助)	野田老台(朝鮮京城　野田卯太郎)	今回当選につき挨拶、総会前の準備の件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1659	4	〔書画〕	(大正5年頃)				切紙	1	封筒あり。封筒上書「松永明府」
1659	5-1	〔書簡〕	大正5年7月6日	たきの(福岡県三池郡岩田村松野たきの)	御尊父様(京城西小門七五野田卯太郎)	竹崎健次氏の就職斡旋願い、履歴書同封の事	継紙	1	1659-5-1～2封筒一括
1659	5-2	〔履歴書〕	(大正5年頃)	竹崎律次(熊本市古新屋敷			切紙	1	
1659	6	〔俳句〕	(大正5年頃)			立花第19師団長を迎う、寺内総督の送迎会にてほか	継紙	1	
1659	7	〔履歴書〕	(大正5年頃)	森揆一(福岡県大和郡瀬高			切紙	1	
1659	8	〔採鉱出願書〕	(大正5年頃)	出願人　長里国太郎、笠原寛美		忠北堤川郡槐谷鉱山のタングステン鉱水鉛鉱につき	罫紙	1	
1659	9	〔書簡〕	大正5年6月23日	釜山日報社　真継雲山(朝鮮釜山弁天町三丁目)	野田先生(京城東洋拓殖会社副総裁官舎　野田卯太郎)	東莱温泉での講演を弊紙に所載の事、東拓総裁に牟田口元学の噂ある事	継紙	1	封筒あり
1660	1	〔書簡〕	(大正5年頃)	無佛(朝鮮京城太平通一丁目合資会社京城日報社)	大塊老居士	子順和吉の書画送付の事	切紙	1	封筒あり。書画1枚同封。1660-1～6封筒一括。封筒上書「野田副総裁殿　御執
1660	2-1	〔書簡〕	(大正5年)4月21日	古田(群山大和町一　古田こま)	野田様(京城西小門七十五番地　野田宇太郎)	森との別れの件につき相談	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。1660-1～2封筒一括。封筒上書「古田来翰入」
1660	2-2-1	〔書簡〕	(大正5年)4月		(古田こま)	別れの件につき	紙	1	1660-2-1～3封筒一括(群山大和町古田こまより京城野田卯太郎宛)。年は封筒消

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1660	2-2-2	〔書簡〕	(大正5年)	(古田こま)		朝の一時間の模様ほか	紙	1	
1660	2-2-3	〔書簡〕	(大正5年)	(古田こま)		和歌3首ほか	紙	1	
1660	3	〔書簡〕	(大正5年)2月23日	明石元二郎(大牟田三井倶楽部より)	野田賢兄(朝鮮京城東拓社宅 野田卯太郎)	三井倶楽部に宿泊の事、支那四国余州を拓殖すべき事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1660	4	〔書簡〕	(大正5年頃)4月11日	元田肇	野田老台(朝鮮京城 野田副総裁)	原総裁九州巡回、大分県速水郡日巻修吉紹介	継紙	1	封筒あり。日巻修吉の名刺1枚同封
1660	5	〔書簡〕	(大正5年)2月2日	敬(東京芝公園 原敬)	野田老台(朝鮮京城小西門 野田卯太郎)	拓殖補助金の件は同志会反対の事、政府は山県出京にて直ぐには判明せざる事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1660	6	〔書簡〕	大正5年4月8日	白水淡(龍山駅前太陽館)	野田副総裁殿(京城東洋拓殖会社)	新任挨拶の折、面会できず残念	継紙	1	封筒あり
1661	1	覚	(大正5年頃)			朝鮮での灌漑事業につき建言	継紙	1	1661-1～2封筒一括。封筒上書「堯(カ)」見書 要書入
1661	2	覚	(大正5年頃)			朝鮮での灌漑事業につき建言、1661-1の案文	継紙	1	
1662		〔書簡〕	(大正5年頃)8月23日	山本条太郎(東京市赤坂区新坂町四十三番地)	野田老兄(京城 野田卯太郎)	満蒙発展につき大隈・武富蔵相らと会談、飯岡政□氏紹介	継紙	1	前欠。封筒あり
1663		〔書簡〕	(大正5年)7月10日	黒田純蔵(大牟田町三池銀行)	野田卯太郎様(朝鮮京城西小門七五番地)	銀行配当金は株主総会終了後直ちに振込の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1664		〔封筒〕	(大正5年6月21日)	東京市赤坂区新坂町四十三番地 山本条太郎	朝鮮京城西小門 野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印
1665		俳画 第二年第四巻	大正5年7月1日				紙	1	
1666		〔書簡〕	(大正5年頃)6月3日	小野貴郎(東京市小石川区小向日台町一丁目十)	野田老台(朝鮮京城東洋拓殖会社 野田卯太郎)	森揆一の貴社採用につき依頼	継紙	1	
1667	1	〔通知〕	大正5年5月8日	財団法人淑明女子高等普通学校 理事渕澤能恵(印)	評議員 野田卯太郎殿	第5回評議員会開催につき案内	罫紙	1	1667-1～3封筒一括
1667	2	〔書簡〕	大正5年5月6日	財団法人淑明女子高等普通学校 理事渕澤能恵(印)	野田卯太郎殿	評議員就任依頼、役員名簿付	罫紙(2枚)	1	紙縒綴
1667	3	第五回評議員会書類	大正5年5月	財団法人淑明女子高等普通学校		評議事項、学校概況ほか	書冊	1	
1668	1～2	〔書簡〕	大正3年9月30日	大邱 田村権蔵	京城 野田卯太郎	図面送付、図面			
1668	1	〔書簡〕	大正3年9月30日	田村権蔵(大邱府)	野田尊台(京城西小門町七十五番地 野田卯太郎)	御下命の図面送付の事	罫紙	1	1688-1～2封筒一括
1668	2	金鉱々区実測図	大正3年7月27日～8月	福岡県筑紫郡二日市町九百五十五番地 出願人 谷祐雄		忠清北道永同郡上村面分、6千分の1地図	切紙	3	
1669		〔書簡〕	(大正4年)12月18日	東京麻布 虎之助(東京麻布区材木町二十九 加藤虎之	父上様(朝鮮京城西小門 野田卯太郎)	公正証作成のため印鑑証明書送付願い、新聞社・武藤電鉄の書類の件	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1670		大正四年度東京宅家計表	(大正5年)				書冊(罫紙)	1	
1671		〔書簡〕	大正5年1月1日	松尾彦七(豊後別府温泉場旅館若松屋)	野田卯太郎様(朝鮮拓殖局)	年賀状	切紙	1	封筒一括。1671～1708ビニール紐一括
1672		〔書簡〕	大正5年1月1日	貞包平三郎、井上道生ほか11名(水原出張所所員一同)	野田卯太郎閣下(京城西小門町)	年賀状	切紙	1	封筒あり
1673		〔書簡〕	大正5年1月1日	桂力三、佐藤謙治(忠清南道江景)	野田卯太郎閣下(京城西小門内)	年賀状	切紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1674		〔書簡〕	大正丙辰(5)年元旦	古阜水利組合設立総代　大森吾郎吉、北尾栄太郎(全北古阜・金堤)	野田卯太郎殿(京城西小門内)	年賀状	切紙	1	封筒あり
1675		〔書簡〕	大正5年1月元旦	京城本町二　巴城館ホテル	野田卯太郎様(京城西小門	年賀状	切紙	1	封筒あり
1676		〔書簡〕	大正5年1月1日	土木局釜山出張所　小柳厚	京城西小門　野田卯太郎殿	年賀状	切紙	1	封筒あり
1677		〔書簡〕	大正5年元旦	松本哲(平壌府本町)	京城西小門町　野田卯太郎	年賀状	切紙	1	封筒あり
1678		〔書簡〕	大正5年1月1日	沙里院　綿谷政次	京城西小門七五　野田卯太郎様	年賀状	切紙	1	封筒あり
1679		〔書簡〕	大正5年1月1日	都渡千三郎(元山東拓出張所)	野田卯太郎閣下(京城西小門町)	年賀状	切紙	1	封筒あり
1680		〔書簡〕	大正5年1月1日	志岐信太郎(京城日之出町十三)	野田卯太郎殿(京城西小門通り)	年賀状	切紙	1	封筒あり
1681		〔書簡〕	大正5年1月1日	延間訪太郎(釜山)	野田大人(京城府)	年賀状	切紙	1	封筒あり
1682		〔書簡〕	(大正5年)1月1日	義喬(大邱　安東義喬)	野田老台(京城西小門通　野田卯太郎閣下)	年賀状	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1683		〔書簡〕	大正5年正月元旦	誠治(大牟田町不知火町宮木新太郎方　浜武誠治)	野田卯太郎様(朝鮮京城西小門町)	年賀状、工場勤務など近況報告	継紙	1	封筒あり
1684		〔書簡〕	大正5年1月1日	北川久吉　外一同(高山京町二丁目)	野田卯太郎殿(京城西小門七十五)	年賀状	切紙	1	封筒あり
1685		〔書簡〕	(大正4年)12月30日	程三郎(金南栄山浦　肥田程三郎)	野田卯太郎様(京城西小門通)	年末年始の挨拶	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1686	1	〔書簡〕	大正5年1月元旦	伊豆修善寺温泉旅館　菊屋修治	野田卯太郎様(東京市麻布区材木町)	年賀状	切紙	1	1686-1～2封筒一括
1686	2	〔広告〕	(大正5年1月)	(伊豆修善寺温泉旅館)		温泉旅館設備など	紙	1	
1687		〔書簡〕	大正5年1月1日	下関　古林真太郎(下関市新地町官舎第三)	野田御大人様(東京市麻布区材木町　野田卯太郎)	年賀状	切紙	1	封筒あり。封筒に付紙あり(朝鮮京城西小門へ転送につき)
1688		〔書簡〕	(大正5年)1月5日	梅崎米治(東京市深川区古石場町十五番地)	野田副総裁閣下(朝鮮京城)	年賀状	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1689		〔書簡〕	(大正5年1月)5日	桂力三(金北金堤出張中)	野田副総裁閣下(京城薫金町東拓)	今回昇給につき礼状	継紙	1	封筒あり。年月は消印
1690		〔書簡〕	丙辰(大正5年)元旦	平壌東拓出張所　堀内順一	野田卯太郎様(京城西小門町七五)	年賀状	継紙	1	封筒あり
1691		〔書簡〕	(大正5年)1月8日	国友重広(南満州鉄道株式会社)	野田卯太郎様(朝鮮京城)	当方予定の資金準備も整い、近々正式に満鉄辞任の手続き終え、神戸へ移る予定	罫紙	1	南満洲鉄道株式会社の罫紙使用。封筒あり。年は封筒消印
1692		〔書簡〕	大正5年1月1日	石橋崎太郎(遠賀郡折尾村)	野田大塊大人(東京市麻布竹井町二六　野田卯太郎)	年賀状	紙	1	封筒あり
1693		〔書簡〕	大正5年1月1日	佐藤利生(福島県安積郡郡山小林区署官舎)	野田卯太郎様(東京市麻布区材木町)	年賀状	切紙	1	封筒あり
1694		〔書簡〕	大正5年1月1日	福田増兵衛(釜山福田町)	野田卯太郎殿(東京市麻布	年賀状	切紙	1	封筒あり
1695		〔書簡〕	大正5年1月元旦	臨益水利組合組合長　組合長藤井寛太郎、副組合長　川崎藤太郎	野田副総裁殿(京城東洋拓殖会社)	年賀状	切紙	1	封筒あり
1696		〔書簡〕	(大正5年)1月1日	大邱出張所　松永文治郎	野田副総裁閣下(京城東洋拓殖株式会社)	年賀状	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1697		〔書簡〕	大正5年1月1日	柳屋旅館(平壌山平町)	野田卯太郎様(京城東洋拓殖会社)	年賀状	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1698		〔書簡〕	大正5年元旦	森田とく(朝鮮三浪津駅構内鉄道旅館もりた家)	野田様(京城東洋拓殖会社野田卯太郎)	年賀状	切紙	1	封筒あり
1699		〔書簡〕	(大正5年)1月元旦	大邱出張所　阿部松太郎	野田卯太郎殿(京城東洋拓殖株式会社)	年賀状	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1700		〔書簡〕	大正5年1月元旦	海谷津留次(神田区一ツ橋通町十二番地)	野田卯太郎殿(麻布区六本木材木町弐拾九番地)	年賀状	継紙	1	封筒あり
1701		〔書簡〕	大正5年1月1日	馬山出張所　笹井健次郎ほか14名(慶南馬山東拓出張所)	野田卯太郎様(京城西小門町七五)	年賀状	切紙	1	封筒あり
1702		〔書簡〕	大正5年1月1日	全羅北道　李斗璜ほか5名	野田卯太郎殿(東洋拓殖会	年賀状	切紙	1	封筒あり
1703		〔書簡〕	大正5年正月元旦	吉田一徳、仝コト(京畿道江華郡庁内)	御家内様(京城西小門町　総裁野田閣下)	年賀状	切紙	1	封筒あり
1704		〔書簡〕	大正5年1月1日	金堤出張所　湯浅秀富ほか13名(職員一同)	副総裁野田卯太郎殿	年賀状	切紙	1	封筒あり
1705		〔書簡〕	大正5年正月元旦	元山出張所　都渡千三郎　外所員一同	野田卯太郎殿(京城東拓会社)	年賀状	切紙	1	封筒あり
1706		〔書簡〕	大正5年1月1日	伊藤嘉明(沖縄県名護)	野田卯太郎殿(東京麻布区狸穴町五九)	年賀状	切紙	1	封筒あり。封筒に郵便局付紙あり(材木町へ転送につき)
1707		〔書簡〕	(大正5年)正月9日	児玉秀雄(東京)	野田閣下(朝鮮京城東拓社宅野田卯太郎)	寒中見舞い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1708		〔書簡〕	大正5年1月元旦	長谷川銈五郎(神戸市中山手通二丁目外十二号)	野田卯太郎様(東京市麻布材木町宮林町)	年賀状	切紙	1	封筒あり。封筒に郵便局付紙あり(材木町へ転送につき)
1709		〔書簡〕	(大正5年)5月10日	権蔵(大邱八雲町　田村権蔵)	野田尊大人様(京城西小門町野田卯太郎)	中川湊ほか20名出資の新会社へ重石出願権を譲り渡しの件、飯田精一・頭山など出資分の件ほか	継紙	1	封筒あり。1709～1718紙紐一括
1710		〔書簡〕	(大正5年)2月8日	権蔵(大邱府　田村権蔵)	野田尊台(京城西小門町　野田卯太郎)	重石山売却の件について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1711		〔書簡〕	(大正5年)2月9日	権蔵(大邱府八雲町　田村権蔵)	野田御尊台(京城西小門町野田卯太郎)	重石の件は私より中央試験場及び九州大学より重石との確表を得たるも、田村技師に依れば三井より総督府へ依頼分と同様ならば重石にあら	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1712		記	大正5年3月23日	堤一夫(印)	野田卯太郎殿	金50円借用	切紙	1	封筒あり。封筒上書「堤一夫領収書入」
1713		〔書簡〕	(大正5年)5月14日	権蔵(大邱八雲町　田村権蔵)	野田尊大人様(京城西小門町野田卯太郎)	堤一夫は借銭のため夜逃げして大邱に参る、病状回復せざる事、金山の実地視察依頼、重石の現況につき報知願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1714		〔書簡〕	(大正5年)4月15日	権蔵(大邱病院　田村権蔵)	野田尊台(京城西小門町　野田卯太郎)	病は快方に向かいつつあり、第三鉱区近くに良好なる鉱脈あるにつき鉱区増減出願につき協力願い	継紙	1	封筒あり
1715		〔書簡〕	(大正5年頃)3月9日	権蔵(大邱府　田村権蔵)	野田尊大人様(野田卯太郎)	金200円受取、当初資金として1万円拝領につき部下一同事業に打ち込み居ること、第二重石山民有地買収については1日4,000円の利益が見込まれるが如何すべきか問合せ	継紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1716		〔書簡〕	(大正5年頃)3月8日	権蔵(田村権蔵)	野田尊大人様	300円については実に閉口につき宜しく願いたきこと、石炭山は不慣れなるが100円にて出願すれば何の手数も要せざること	継紙	1	
1717		〔書簡〕	大正5年3月25日	田村権蔵(大邱府八雲町)	野田尊大人様(京城西小門町 野田卯太郎)	田村名義及び子息俊作と連名で出願の金銀鉱、重石鉱の鉱区図面、願書及び見本送付のこと	罫紙(2枚)	1	第弐報国鉱山事務所用箋使用。封筒あり
1718		〔書簡〕	(大正5年)3月5日	権蔵(大邱府八雲町　田村権蔵)	野田尊大人様(京城西小門 野田卯太郎)	芙江駅南北5鉱区につき尊命により現地忠州清安地方など検分中のところ、第四鉱区にて調査中止とのことなるが有望ならば是非とも出願し	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1719		〔袋〕	(大正5年頃)			上書「雑書入」	袋	1	1720～1750の袋。1719～1750紐一括
1720		〔名刺〕	(大正4年4月4日)	陸軍中将　本郷房太郎(旅順第十七師団司令部)	野田老台(朝鮮京城東拓会社 野田卯太郎)	書簡の御礼ほか	名刺	1	封筒あり。年月日は消印
1721	1	〔添書〕	(大正5年5月)	(朝鮮総督府官房秘書課)	(野田卯太郎)	晩餐会出席につき返答依頼	紙	1	1721-1～5封筒一括。封筒鉛筆書「五十八日請書発送済」
1721	2	〔添書〕	(大正5年5月)	(朝鮮総督府官房秘書課)	(野田卯太郎)	服装の注意書き	紙	1	
1721	3	〔案内状〕	大正5年5月17日	朝鮮総督伯爵　寺内正毅	野田副総裁殿	5月18日晩餐会への招待状	紙	1	
1721	4	〔献立表〕	大正5年5月3日	(朝鮮総督府)		龍山総督官邸の献立表	紙	1	
1721	5	〔献立表〕	大正5年5月5日	(朝鮮総督府)		龍山総督官邸の5月5日晩餐の献立	紙	1	
1722	1	〔賞状〕	大正3年8月19日	朝鮮総督陸軍大将従二位勲一等功一級伯爵寺内正毅	福岡県平民　野田卯太郎	農事改良費寄附につき木杯1個下賜	紙	1	1722-1～2一纏り
1722	2	〔書状〕	大正3年12月17日	光州郡守(印)	東洋拓殖会社副総裁　野田卯太郎殿	賞状・木杯送付につき	切紙	1	
1723	1	中村副検査官注意事項	大正4年6月1日	(東洋拓殖株式会社)		珍島における関慶事件の地所資産など東拓会社に関する監査事項	書綴(罫紙)	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用。1723-1～2封筒一括。封筒上書「検査官之注意書類等希望書入」
1723	2	第七回定時株主総会ニ於ケル株主希望事項	(大正4年頃)	(東洋拓殖株式会社)			罫紙	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用
1724		〔書簡〕	大正4年8月16日	高田早苗(東京市小石川区関口町二百番地)	野田卯太郎殿(朝鮮京城黄金町)	任官祝詞への御礼	切紙	1	封筒あり
1725		〔鶏林十三道長官名簿〕	(大正前期)	(東洋拓殖株式会社)		京畿道・檜垣直右ほか	罫紙	1	封筒あり。封筒上書「鶏林十三道長官名簿入」
1726		履歴書	大正4年4月	東京市深川区富吉町八番地 島田方　山田慶三郎(印)			書綴(罫紙)	1	
1727	1	〔利益勘定対照表ほか〕	大正5年2月15日	(東洋拓殖株式会社)		利益・損失・当期純益金の大正3年度・同4年度の対照表	書綴(罫紙)	1	1727-1～4封筒一括。封筒上書「調書入　三月」
1727	2	社有地面積及価格表	大正5年2月29日	(東洋拓殖株式会社)		帝国議会説明材料として作成のもの	罫紙	1	
1727	3	〔施設費書上〕	(大正5年頃)	(東洋拓殖株式会社)		明治43年から大正4年までの教育施設補助金高・衛生施設支出高につ	罫紙(2枚)	1	書類留(クリップ)綴
1727	4	移民の日鮮結婚	(大正5年頃)	(東洋拓殖株式会社)			罫紙(3枚)	1	書類留(クリップ・除去済)綴

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1728		信託業に関する卑見	大正3年10月3日	村田俊彦			書冊(罫紙)	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用
1729		第三十七回議会閉会後衆議院公報　第五号	大正5年8月21日	衆議院	京城東洋拓殖会社　野田卯太郎殿		紙	1	封筒あり
1730		移住地選定に就て	(大正前期)	(東洋拓殖株式会社)			書綴(罫紙)	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用。封筒あり。封筒上書「移住地選定ニ就テ　副総裁」
1731		本社及出張所経費一覧表(大正弐年度)	大正2年度	(東洋拓殖株式会社)			罫紙	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用。封筒あり。封筒上書「経費調書入」
1732		〔書簡〕	大正3年7月20日	国民新聞社会計課(東京京橋区日吉町二十番地)	野田大人(朝鮮京城東洋拓殖株式会社　野田卯太郎)	三井銀行支払約束手形へ裏書依頼	継紙	1	封筒あり
1733		〔電報〕	(大正5年5月21日)	発信人　イ(児玉総務局長)	野田卯太郎	東拓委員井上と会見、東京株主と打ち合せほか	綴	1	朝鮮総督府罫紙1枚・電報3枚紙縒綴。封筒あり
1734		〔書簡〕	大正4年5月31日	赤松治郎(筑前国直方町　貝島鉱業株式会社)	野田卯太郎殿(朝鮮京城東洋拓殖会社内)	知人増田耕吉の朝鮮での就職斡旋依頼	切紙	1	封筒あり
1735	1	溜池ノ造成ト水車ノ利用	(大正5年頃)	(東洋拓殖株式会社)			罫紙(2枚)	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用。1735-1～3封筒一括。封筒上書「黄海道視察　要書入」
1735	2	第六回定時株主総会ニ於ケル株主希望事項	(大正5年頃)	(東洋拓殖株式会社)		第7回定時株主総会分も含む	罫紙(2枚)	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用。書類留(針・除去済)綴
1735	3	黄海道方面視察概要	(大正5年頃)	(東洋拓殖株式会社)			書冊(罫紙)	2	東洋拓殖株式会社の罫紙使用
1736	1	〔第1～4回移民現在数ほか移民関係一覧表〕	大正3年3月末	(東洋拓殖株式会社)			罫紙	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用。1736-1～2一纏り
1736	2	殖民費統計	大正3年4月25日	(東洋拓殖株式会社経理課)		明治42年度～大正2年度まで	罫紙	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用
1737		履歴書	(大正前期)	京城北部桂洞衛生実行事務所宿舎武藤寿一方　池田勳旭(印)			書綴(罫紙)	1	
1738		〔書簡〕	(大正3年)7月21日	大塊(野田卯太郎)	日野□□	灌漑事業に関する新聞投書への回答	継紙	1	封筒あり。封筒上書「治水云々ニ付　京城日報へ答タル書面
1739	1	株主総会招集通知書	大正4年6月10日	朝鮮棉業株式会社　取締役社長谷口房蔵(大阪市西区江戸堀南通一丁目五十番地)	株主野田卯太郎殿(東京市麻布区材木町二九)	議案、開会日時など	切紙	1	1739-1～2封筒一括
1739	2	〔株主総会資料〕	(大正4年6月)	朝鮮棉業株式会社		貸借対照表・第9期損益計算書ほか	紙	1	
1740		〔書簡〕	(大正4年)5月25日	島徳蔵(大阪市東区高麗橋五丁目)	野田様(朝鮮京城東洋拓殖会社　野田副総裁)	井上氏の奔走により問題解決の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1741	1	総裁演説大要	(大正5年)	(東洋拓殖株式会社)		第7回定時株主総会につき	綴	1	紙3枚書類留(針・除去済)綴。1741-1～8封筒一括。封筒上書「東京電信入」
1741	2	〔電報〕	(大正4年)5月13日	ケイセウタイヘイ局セイヂ(京城太平局)	ナカノシマ二ハナヤリヨカン ノダウタロ(中之島 野田卯太	小野氏より相談ほか(ヲノシヨリソウダンウクオサシヅヲカウ)	電報	1	
1741	3	〔電報〕	(大正4年)5月6日	ギンザ局カト(銀座局)	ナカノシマ ハナヤリヨカン ノダウタロ(中之島 野田卯太	明日朝そちらへ行く(アスアサ八チソノチユク)	電報	1	
1741	4	〔電報〕	(大正4年)5月6日	コウカモン局ヨシワラ	ナカノシマ ハナヤリヨカンナイノダウタロウ(中之島 野田卯太郎)	8日朝出発の予定(八ヒアサシツタツノヨテイ)	電報	1	
1741	5	〔電報〕	(大正4年)5月6日	テウシユン局(長春局)	ヲサカナカノシマ二テウメ ハナヤリヨカンカタ ノダウタロウ(大阪中之島 野田卯太郎)	今日一般人引き揚げの命下るほか(ケフ一パンシミンヒキアゲノメイクダルフジハタラキオルユヘアンシンコ	電報	1	
1741	6	〔電報〕	(大正4年)5月7日	アヲヤマタカギマチ局テラウチ(寺内)	ナカノシマ ハナヤリヨカン ノダウタロウ(中之島 野田卯太	時局関係上神戸行きを取止む(ジキョクノカンケイゼウコウベユキヲトリ	電報	1	
1741	7	〔電報〕	(大正4年)5月10日	ケイセウメイヂマチ局ハ(京城明治町局)	イワタムライワヅ三三 ノダウタロウ(岩田村岩津 野田卯太	児玉伯来訪予定について(コタマハクハ一七ヒカ一八ヒニタタルルハヅ)	電報	1	
1741	8	〔電報〕	(大正4年)5月16日	シハサクラダ局ホ(芝桜田局)	ケイセウトウヨウタクシヨクカイシヤ ノダフクゾウサイ(京城東洋拓殖会社 野田副総裁)	昨夜着京(サクヤチヤクキヨウ)	電報	1	
1742		内鮮人親睦会	大正4年4月13日	発企人 石塚英蔵ほか7名		日時・会場・予定会員人名など書上	切紙	1	
1743		〔復命書ほか〕	大正3年8月6日	吉光宗太郎	野田卯太郎	京城の不動産物件取調べの命に対する復命書と付属資料			
1743	1	〔宅地調査書〕	(大正3年8月)	京城黄金町一丁目六十二番地 増田政夫(印)		京城府鳳翼洞12番地、同38番地につき	罫紙	1	1743-1～4封筒・書類留(針、クリップ・除去済)一括。封筒上書「取調書在中
1743	2	〔宅地図〕	(大正3年8月)			京城府鳳翼洞につき	切紙	1	
1743	3	〔宅地図〕	(大正3年8月)				罫紙	1	1743-3、4書類留(針・除去済)綴
1743	4	復命書	大正3年8月6日	吉永宗太郎(印)	野田副総裁閣下	宅地調査報告	罫紙(3枚)	1	
1744		〔書付〕	大正4年3月末日	(印・「笹岡」)		貸付金7万8165円余の利息書上	罫紙	1	
1745		〔書簡〕	(大正4年)5月23日	条太郎(東京市赤坂区新坂町四十三番地 山本条太郎)	大塊翁(朝鮮京城東洋拓殖会社 野田卯太郎)	島徳蔵氏上京、満蒙方針の事	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1746	1	〔出張礼状関係書類〕	(大正5年2月)	野田卯太郎ほか		礼状雛形、御出張中歓迎者芳名ほか	綴	1	東洋拓殖株式会社罫紙使用。礼状2通・名簿1通書類留(クリップ)綴。1746-1～3封筒一括。封筒上書「地方旅行費目録入并ニ礼状名簿入」
1746	2	自大正五年二月十四日至大正五年二月二十四日御出張中経費精算書	(大正5年2月)	(東洋拓殖株式会社)		晋州・馬山・大邱分ほか	書冊(罫紙)	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用
1746	3	〔領収書綴〕	大正5年2月14～24日	朝鮮慶南晋州旭町 望月旅舘(印)ほか	野田御旦那様ほか	宿泊費など出張費につき	綴	1	領収書など25通書類留(針)綴

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1747	1	〔書簡〕	大正4年6月25日	吉川康馬(印)(京城府和泉町百六拾四番地)	副総裁野田卯太郎殿(京城府西小門町七拾五番地)	東洋拓殖会社へ採用願い	書綴(罫紙)	1	1474-1～2封筒一括
1747	2	履歴書	(大正4年6月)	朝鮮京城府和泉町百六拾四番地　吉川康馬			書綴(罫紙)	1	
1748		大正水利組合ニ関スル調査経過日誌	大正4年	(大正水利組合調査委員)			書綴	1	書類留(ステープラー)綴。封筒あり。封筒上書「大正水利組合調査経過報告御手許ニ御留置を
1749		〔書簡〕	大正4年12月19日	東京市京橋区南鍋町一ノ一九州日報社東京支社	野田宇太郎(麻布材木町二九)	年賀広告掲載依頼	紙	1	封筒あり
1750		〔書簡〕	(大正4年)9月13日	井上勝之助	野田卯太郎殿	井上馨葬送への御配慮につき御礼	切紙	1	
1751	1	〔書簡〕	(大正4年)11月25日	井上生(東洋拓殖株式会社理事井上孝哉)	野田様(福岡市栄屋旅舘　野田卯太郎)	東京の総裁へ法律案送付の事、同件につき荒井長官ほかと評議願い	継紙	1	1751-1～7封筒一括
1751	2	〔書簡〕	大正4年11月25日	理事　井上孝哉	副総裁　野田卯太郎閣下	満蒙発展並びに補給金問題に関する総督府詮議につき報告、吉原総裁滞京の事	罫紙	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用
1751	3	〔書簡〕	大正4年11月25日	理事　井上孝哉	総裁　吉原三郎閣下	満蒙発展並びに補給金問題に関する総督府詮議につき報告	書綴(罫紙)	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用
1751	4	〔移住計画書〕	(大正4年11月)	(東洋拓殖株式会社)		移住民貸付地ノ準備、移住民戸数及年度割ほか	書綴(罫紙)	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用
1751	5	東洋拓殖株式会社法中改正案	(大正4年11月)	(東洋拓殖株式会社)			書綴(罫紙)	1	書類留(ステープラー)綴
1751	6	東洋拓殖株式会社法　東洋拓殖株式会社定款	(明治43年5月)	(東洋拓殖株式会社)			紙	1	印刷
1751	7	自大正五年度至大正十四年度　利益金分配予想表	(大正4年11月)	(東洋拓殖株式会社)		事業別利廻表付	紙	1	
1752		〔葉書〕	大正4年4月27日	中野正剛(マルセイユ)	朝鮮京城東拓会社　野田卯太郎殿	マルセイユに到着の事、一寸踏み出せば少しく納得する所もある事ほか	絵葉書	1	絵葉書表題「MARSELLE. -La Rue de la Ré publique- LL.」
1753	1	〔書簡〕	(大正3年)8月1日	国民新聞社会計部(東京市京橋区日吉町二十番地)	野田大人	約束手形書換相済むにつき旧約手返送の事	継紙	1	年は封筒消印。1753-1～2封筒一括
1753	2	約束手形	大正3年5月7日	東京市京橋区日吉町四番地民有社々長　徳富猪一郎(印)	野田卯太郎殿	金2500円につき	紙	1	
1754		〔書簡〕	(大正4年)6月24日	元二郎(東京赤坂檜町三番地明石元二郎)	野田大兄(朝鮮京城東拓会社野田卯太郎)	欧州情勢、古関唯助の貴社採用につき依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1755	1-1	〔書簡〕	(大正5年8月)	朝鮮京城大和町一丁目四八番地　朝鮮写真通信社	野田卯太郎様	朝鮮師団創設記念号の賛助員へ申込み依頼	切紙	1	封筒1755-1-1～3封筒一括。1755-1～12封筒一括。封筒上書「雑書類入」
1755	1-2	朝鮮写真画報特別号「朝鮮師団創設記念号」発行に就て	大正5年8月	京城大和町一丁目四十八番地　朝鮮写真通信社　社長安藤静ほか7名		朝鮮師団創設記念号に賛助員を依頼	紙	1	印刷
1755	1-3	発行要旨	(大正5年8月)	(朝鮮写真通信社)			紙	1	印刷
1755	2	〔鉱山書上〕	(大正5年頃)			砂金・長渕郡9万余坪ほか	罫紙	1	
1755	3	〔名刺〕	(大正5年8月22日)	第十師団長　陸軍中将　尾野実信	京城東洋拓殖会社　野田卯太郎殿	名刺に「御礼」とあり	名刺	1	封筒あり。年月日は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1755	4	医学科・化学科設立趣意書	大正5年8月	慶応義塾(慶応義塾社頭 福澤一太郎ほか1名)	麻布区材木町二九 野田卯太郎様		紙	1	印刷。封筒あり
1755	5	〔名刺〕	(大正5年頃)	京城黄金町三丁目 湖南日報京城支店長 寺尾正章			名刺	1	
1755	6	〔葉書〕	大正5年10月3日	(寺内)正毅	朝鮮京城東拓副総裁 野田卯太郎殿	進退困厄、茅屋に篭居の事	絵葉書	1	絵葉書表題「朝鮮総督府始政六周年紀念」。工場写真あり
1755	7	〔書簡〕	大正5年10月17日	湯浅秀富	野田副総裁殿	昇給の御礼	罫紙	1	封筒あり
1755	8	〔書簡〕	(大正5年頃)9月17日	大谷尊由	野田卯太郎殿(京城)	服部春陽画伯の紹介	罫紙	1	封筒あり
1755	9	〔書簡〕	(大正5年)8月26日	山本達雄(東京麹町区上二番町)	野田副総裁殿(朝鮮京城東拓野田卯太郎)	同郷の井村実採用依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒あり
1755	10	〔書簡〕	大正5年	蓬莱生命保険相互会社 取締役社長 太田清蔵		社業革新の事、委任状の返送依頼	切紙	1	印刷
1755	11	〔書簡〕	大正5年8月21日	牛島栄次郎(福岡県八女郡光友村)	野田卯太郎様(朝鮮京城東洋拓殖会社)	星野金山の件につき持株分24円送付の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1755	12	〔書簡〕	大正5年9月27日	三井物産会社 三井文蔵(印)(東京市日本橋区駿河町壱番地)	東洋拓殖会社 野田卯太郎殿(朝鮮京城)	渡辺専次郎葬儀の件につき、電報1通付	綴	1	罫紙1枚・電報1枚書類留(針・除去済)綴。封筒あり
1756		収納事務改善ニ関スル意見及通牒案	大正4年5月20日	検査課参事 木原正義(東洋拓殖株式会社)		屋外収納事務などへ特別賞与を与える事ほか	書冊(罫紙)	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用
1757		〔書簡〕	(大正4年)3月10日	吉田秀雄(札幌中島公園壱番地)	野田卯太郎様(朝鮮東洋拓殖会社)	曽我農場の土地問題に関する北海道庁長官との交渉につき依頼	罫紙(2枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
1758		〔書簡〕	(大正4年)5月20日	小佐々俊家(筑前国柳河)	野田卯太郎殿(朝鮮京城拓殖会社)	長崎県宮崎幹氏朝鮮へ移住につき紹介	継紙	1	封筒あり
1759		〔書簡〕	大正4年立春	猪(東京日吉町国民新聞社徳富猪一郎)	大塊仁兄大人(野田卯太郎)	工学士松山君海州方面へ赴任につき紹介	継紙	1	封筒あり
1760		〔書簡〕	大正4年8月7日	中村雄次郎(湯浅会社)	野田副総裁殿(朝鮮東洋拓殖会社)	当地訪問の御礼	継紙	1	封筒あり
1761	1	履歴書	大正4年12月	京城蓬莱町四丁目弐百七拾弐番地 福島県平民 澤田清之助(印)			書綴(罫紙)	1	1762-1～5封筒一括。封筒上書「大正四年 諸履歴書入」
1761	2	履歴書	大正4年1月5日	滋賀県大津市松本参百参拾参番屋敷 士族 北村季彦			書綴(罫紙)	1	「奥紹介」と墨書あり
1761	3	履歴書	大正4年12月30日	福岡県山門郡大和村大字鷹ノ尾二百番地 田中武一(印)	朝鮮京城東洋拓殖会社ニテ野田卯太郎殿		書綴(罫紙)	1	封筒あり
1762	1	〔書簡〕	大正4年7月6日	赤十字社朝鮮本部総長 山縣伊三郎(印)	野田卯太郎殿	赤十字社朝鮮本部評議員就任依頼	罫紙	1	日本赤十字社朝鮮本部の罫紙使用。1762-1～5封筒一括
1762	2	〔嘱託状〕	大正4年7月1日	日本赤十字社総裁 載仁親王(印)	野田卯太郎氏	赤十字社朝鮮本部評議員を嘱託す	紙	1	
1762	3	〔日本赤十字社資料〕	大正3年11月	京城倭城壱 日本赤十字社朝鮮本部		定款、条例、朝鮮本部規則ほか	紙	1	印刷
1762	4	〔書簡〕	(大正4年)7月18日	永江純一(福岡県大牟田町)	野田老兄(朝鮮京城東洋拓殖会社 野田卯太郎)	腎臓炎にて議会終了後帰県し療養中の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1762	5-1	〔書簡〕	(大正4年)7月15日	権藤卯蔵(安奉線南攻 廟児溝銭山)	野田閣下(朝鮮拓殖会社 野田卯太郎)	生活困難につき御引立て願い	継紙	1	1762-5-1～2封筒一括。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1762	5-2	履歴書	大正4年7月15日	福岡県三井郡立石村大字松崎九百五十三番地　権藤卯蔵(印)			罫紙(2枚)	1	
1763	1	〔書簡〕	(大正5年)7月29日	内山田生(北海道庁　内山田三郎)	野田御老台(朝鮮京城東洋拓殖会社　野田卯太郎)	暑中見舞い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。1763-1～9封筒一括。封筒上書「来信入」
1763	2	〔書簡〕	(大正5年)8月5日	志賀熊蔵(慶南晋州)	野田卯太郎殿(京城東拓会社官舎)	就職の斡旋依頼	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1763	3	〔封筒〕	(大正5年7月16日)	大田　緒方多賀雄	京城東拓会社　野田卯太郎殿	「御礼」と墨書あり	封筒	1	年月日は消印
1763	4-1	〔書簡〕	(大正5年)7月13日	神崎秀一(慶南昌原郡内西面)	野田卯太郎様(朝鮮京城東洋拓殖株式会社)	古閑寿吉の就職斡旋依頼	切紙	1	1763-4-1～2封筒一括
1763	4-2	略履歴	大正5年4月25日	熊本県平民　古閑寿吉(印)			罫紙	1	
1763	5	〔書簡〕	(大正5年)8月6日	貝島太助(福岡県鞍手郡直方町外百合野)	野田卯太郎様(朝鮮京城東洋拓殖会社)	病状の事、贈物の御礼	継紙	1	封筒あり
1763	6	朝鮮瓦斯電気株式会社ノ件	大正5年6月26日	釜山府大庁町二丁目　商業興信所釜山出張所	村田俊彦殿	資本金、積立金、設立経緯など	罫紙(4枚)	1	書類留(針・除去済)綴。封筒あり
1763	7	〔書簡〕	(大正5年)7月14日	小林正直(門司市柳橋通り三井物産門司支店)	野田卯太郎殿(京城東洋拓殖株式会社)	杵島炭積場事務所移転問題は佐賀県南里代議士ほか会見により解決	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1763	8	〔書簡〕	大正5年8月9日	久原鉱業株式会社　鎮南浦精錬所　広瀬孫三郎	野田卯太郎様(京城東洋拓殖株式会社)	暑中見舞い	切紙	1	封筒あり
1763	9	〔書簡〕	大正5年8月	野口六郎(福岡県小倉市大阪町　株式会社十七銀行支店	野田卯太郎様(朝鮮京城東洋拓殖株式会社)	暑中見舞い	切紙	1	封筒あり
1764	1	調書	(明治37年)			九州製油株式会社の財政状況などにつき	書冊	1	印刷。1764-1～8封筒一括。封筒上書「九油会社調査書入卅八年一月」
1764	2	明治卅七年上半期　調査書	(明治37年)			九州製油会社の明治37年上半期収支などにつき	書冊(罫紙)	1	九州製油株式会社の罫紙使用
1764	3	〔金銭書上〕	(明治37年頃)			太田清1,000円ほか、役員の収入に関する調査か	罫紙	1	九州製油株式会社の罫紙使用
1764	4	記	(明治37年頃)			大坂油売買ほか西尾社員関係費7600円分書上、朱書「是ハ監査役ヨリ西尾社員取調方参考」	罫紙	1	九州製油株式会社の罫紙使用
1764	5	記	(明治37年頃)			借越尻2万41円余ほか書上、朱書「富安三郎貸借表」	罫紙(3枚)	1	書類留(針)綴。九州製油株式会社の罫紙使用
1764	6	記	(明治37年頃)			重役委任問題費2万5,000円、復旧工事などに関する会計報告	罫紙(2枚)	1	書類留(針)綴。九州製油株式会社用箋使用
1764	7	七十株主県左吉取調子書	(明治37年頃)			会社債権など取調べ	紙	1	
1764	8	七十株主県左吉取調子書	(明治37年頃)			帳簿上下突合整理すべき費目書上	紙	1	
1765		〔三池銀行関係書類綴〕	明治20年8月～同23年10月	永松閑ほか	三池銀行ほか	委任状、材木・石炭など預証、小作証書ほか	綴	1	
1766		〔書簡〕	(明治21年)9月13日	小林秀知(東京芝区佐久間町二丁目十八番地信濃屋新助方)	野田宇太郎様(筑後国三池大牟田土木会社)	農商務省における諮問会の傍聴の件について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。1766～1779紙縒一括

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1767		〔書簡〕	(明治22年5月)17日	秀知(東京高輪北町　小林秀知)	卯太郎様(福岡県筑後三池土木会社　野田卯太郎)	現状での入社株式姓名など通知願い、築港論の進捗状況などほか	継紙	1	封筒あり。年月は封筒消印
1768	1	〔書簡〕	(明治20年代頃)24日	小林秀知	永江・野田殿(野田卯太郎・野口忠太郎)	高橋新吉門司へ出張の事	継紙	1	1768-1～3封筒一括
1768	2	〔書簡〕	(明治20年代頃)1日	小林秀知	野田卯太郎様	吉田書記官と面会の件について	切紙	1	
1768	3	〔書簡〕	(明治20年代頃)3月2日	小林秀知	野田卯太郎殿	昨日角力興行は雨天につき今日に順延の事	継紙	1	
1769		〔電報〕	(明治22年カ)2月25日	ミイケグンヨコスムラ　ミイケドボククワイシヤ(三池土木会社)	クマモトコメヤマチ一　キノクニヤニテ　ノダウタロウドノ(熊本米屋町1　野田卯太郎)	「キアキナイデキンソノチニカイカタイガイカカ」	電報	1	封筒あり。封筒鉛筆書「M22」
1770	1	〔書簡〕	(明治22年カ)4月10日	正五位伯爵立花寛治	野田卯太郎殿	中山試験場にて宴会挙行につき案内	切紙	1	1770-1～2封筒一括。封筒鉛筆書
1770	2-1	〔書簡〕	(明治22年カ)4月18日	立花親信	野田卯太郎殿(三池江ノ浦銀行ニテ)	彼の一大問題の願主の件につき小野隆基と種恭殿へ相談の事	切紙	1	封筒あり
1771		〔電報〕	明治22年4月24日	ヤナガワ　タチバナチカノブ(柳川　立花親信)	ヲヲムタマチ　ミイケギンコウニテ　ナガエジユンイチ(大牟田三池銀行ニテ　永江純一・野田卯太郎)	野田卯太郎重役の件について(ノダウタロヂウヤクケン三〇カブニテイカン)	電報	1	封筒あり。封筒鉛筆書「M22」
1772		〔電報〕	明治22年4月24日	シバミナミサクママチ四タノヤダン(芝区南佐久間町　団)	ヲヲムタミイケギンコウ　ノダ(大牟田三池銀行　野田)	「ヒフンイツヲクリヌカ」	電報	1	封筒あり。封筒鉛筆書「M22」
1773		〔電報〕	明治22年4月20日	ヤナガワ　タカムク(柳川高椋)	ヲヲムタマチ　ドボクカイシヤノダウタロウ(大牟田町土木会社　野田卯太郎)	明日は差し支えあり(アスワサシツカエアル)	電報	1	封筒あり。封筒鉛筆書「M22」
1774		〔封筒〕	(明治22年カ)	柳川　大村務、森しのぶ	大牟田土木会社　野田卯太郎、永江純一		封筒	1	封筒鉛筆書「M22」
1775		〔電報〕	明治22年5月17日	タカナワキタマチ　コハヤシ(高輪北町　小林)	ドホクカイシヤ　ノダウタロ(土木会社　野田卯太郎)	手紙感謝、熊本学校のその見込みあるなら任す(テカミシヤスクマモトカツコウノソノミコミアルナラマカセル)	電報	1	
1776	1	〔書簡〕	(明治21年)2月29日	小林秀知	野田卯太郎・野田忠太郎殿	椎崎千之案内の件は通知漏れの事	継紙	1	1776-1～2封筒一括。封筒鉛筆書
1776	2	〔書簡〕	(明治)21年3月1日	小林秀知	野田卯太郎殿	角力興行順延のこと	継紙	1	
1777		〔電報〕	明治20年9月22日	フクヲカテンジンノチヨウ　キシダホツミカタ　ソヤノハンヤ・ナカムラコウスケ(福岡天神町征矢野半弥・中村耕助)	ミイケグンヲホムタキンコウ　ノダウタロウナガエジユンイチ(三池郡大牟田銀行　野田卯太郎・永江純一)	一人多田との同行依頼(ヒトリタダトドウコウタノムコタエマツ)	電報	1	封筒あり。封筒鉛筆書「M20」
1778		〔電報〕	明治22年4月9日	クマモトコメヤ　カイサイニツポウシヤ(熊本米屋　海西日報社)	ミイケクンヲオムタ　ミイケキンコウシユツテウテン　ノタウタロウ(三池銀行大牟田支店　野田卯太郎)	明日タカセに居るほか(アスタカセニオルジキタンセヨ)	電報	1	封筒あり。封筒鉛筆書「M22」
1779		〔電報〕	明治22年5月7日	カフトマチ　ミツイフツサン　マスダ(兜町三井物産　益田孝)	ミイケタンコウシヤ　ヤマタ(三池炭坑社)	水谷給金は50円で宜しいと思う(ミズタニキウキン(ワアアロトノタサ))	電報	1	封筒あり(東京小林秀知より三池土木会社野田卯太郎宛)。封筒鉛筆書「M22」
1780	1	〔封筒〕	大正4年12月			上書「三井銀行并ニ三池議員公其他決算通知書入　大正四年十二	封筒	1	1780-2～12の封筒
1780	2	〔通知〕	大正4年12月13日	東京市日本橋区駿河町一番地　株式会社三井銀行(印)	野田卯太郎殿	残高並びに利息通知	切紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1780	3	〔通知〕	大正5年1月4日	三井銀行福岡支店(印・「中橋」)(福岡市中土居町拾番地ノ壱)	野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門町七五)	金1,000円の当座勘定入金につき通知、当座勘定入金通知書1通付	罫紙	1	罫紙1枚・紙1枚書類留(針・除去済)綴。封筒あり
1780	4	〔葉書〕	大正4年12月31日	九州製油株式会社　社長　村上義太郎	三池郡岩田村岩津　野田卯太郎様	株主通常総会開催につき通知	葉書	1	印刷
1780	5-1	〔書簡〕	(大正5年)1月26日	三池銀行	野田様(朝鮮京城西小門　野田卯太郎)	金80円の当座勘定入金通知	継紙	1	1780-5-1～2封筒一括
1780	5-2	当座勘定入金通知書	大正5年1月26日	株式会社三井銀行(印)	野田卯太郎殿	三池銀行配当金80円につき	紙	1	
1780	6	〔通知〕	大正5年6月19日	株式会社三井銀行福岡支店(印)(東京市日本橋区駿河町壱番地)	野田卯太郎様(麻布区材木町二十九番地)	残高並びに利息通知	紙	1	通知。封筒あり
1780	7-1	〔通知〕	大正5年1月2日	株式会社三池銀行　取締役頭取　永江純一(福岡県三池郡大牟田町)	株主殿(岩田村　野田卯太郎)	定時株主総会開催につき通知	切紙	1	印刷。1780-7-1～2封筒一括
1780	7-2	第五十九期　自大正四年七月一日至大正四年十二月三十一日　計算書	(大正5年1月)	(三池銀行)		貸借対照表、損益計算書	切紙	1	印刷
1780	8	〔通知〕	大正4年12月13日	株式会社三池銀行福岡支店(印)	野田卯太郎殿	残高並びに利息通知	紙	1	印刷
1780	9	〔通知〕	大正4年12月27日	株式会社三井銀行本店営業部(印・「山東」)(東京市日本橋区駿河町壱番地)	野田卯太郎殿(麻布区材木町廿九)	野田俊作名義東京電灯配当金60円入金につき、当座入金受取証1通付	罫紙	1	罫紙1枚・紙1枚書類留(針・除去済)綴。封筒あり
1780	10	〔通知〕	大正5年6月19日	東京市日本橋区駿河町一番地　株式会社三井銀行(印)	野田卯太郎殿(東京市麻布区材木町)	残高並びに利息通知	切紙	1	印刷。封筒あり
1780	11	〔通知〕	大正4年12月4日	株式会社三井銀行(印)	野田卯太郎殿(三池郡岩田	残高並びに利息通知	切紙	1	印刷。封筒あり
1780	12	〔通知〕	大正4年12月20日	三池銀行福岡支店(印)	野田卯太郎殿(朝鮮京城西小門町七五)	南満鉄道株式会社配当金64円入金につき、当座勘定入金通知書1通付	罫紙	1	罫紙1枚・紙1枚書類留(針・除去済)綴。封筒あり
1781	1	〔通知〕	明治41年12月10日	株式会社三池銀行(印)	野田卯太郎殿(三池郡岩田	貸越利息金70円余振込願い	切紙	1	1781-1～2封筒一括
1781	2	〔葉書〕	明治41年12月2日	株式会社三池銀行	岩田村　野田卯太郎殿	当行増資につき証拠金ほか払込依	葉書	1	印刷
1782		通知書	明治42年1月15日	株式会社三井銀行(印)(福岡県三池郡大牟田町)	野田卯太郎殿(東京市芝区琴平町信濃屋支店方)	土木会社配当金450円入帳につき	紙	1	封筒あり
1783		〔書簡〕	(明治)35年8月3日	株式会社百三十銀行　頭取　松本重太郎(大阪市高麗橋三丁目)	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田邨)	弊行臨時休業時の御配慮の御礼、開店挨拶	継紙	1	封筒あり
1784		〔書簡〕	(明治39年)10月5日	野口忠太郎(福岡県三池郡大牟田町)	野田老台(東京芝区琴平町信濃屋支店ニテ　野田卯太郎)	土木株の代金の入金済み、満鉄株式申込みの件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1785		〔封筒〕	明治38年1月			九州製油株式会社関係の往復電報			
1785	1	〔電報〕	(明治)38年1月26日	ハカタ局九ユヂユヤクヂウ(博多局九油重役長)	シウギイン　ノダウタロウ(衆議院　野田卯太郎)	返電につき依頼(デンミタカスグヘンタノム)	電報	1	1785-1～10封筒一括。封筒上書「九油会社との往復電信入卅八年一月」
1785	2	〔電報〕	(明治38年)1月12日	ハカタ局ムラカミ(博多局村上)	イワタムラ　ノダウタロウ(岩田村　野田卯太郎)	金500円負担につき(キミノフタン九〇〇エンガヒシヨウタイタノムヘン)	電報	1	返電写しあり(シヨウタクデキカね・・・)
1785	3	〔書簡〕	明治38年1月24日	村上義太郎(筑前博多九州製油株式会社)	野田卯太郎殿(東京麹町区□□衆議院内)	負担金700円の出金依頼ほか	罫紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1785	4	〔電報〕	(明治38年1月)	(野田卯太郎)	フクオカシハカタ　九ユカイシヤニテ　ムラカミ(福岡市博多九油会社ニテ村上)	不承諾の件につき帰県時に面談すべき事(ボクシヨウダクセズトモキミノジンリヨクニテイカガトモマトマルヘシイツレキケンノウエメンダンスベシ)	電報	1	未送信
1785	5	〔電報〕	(明治38年)1月26日	ハカタ局ムラカミ(博多局村上)	コトヒラテウ　シナノヤシテン　ノダウタロウ(琴平町信濃屋支店野田卯太郎)	500円負担願い(五〇〇エンゼヒゴフタンナケレハマトマリツカヌヘン)	電報	1	返電写しあり(五〇〇エトノコトミタシヨダクデキヌ・・・)
1785	6	〔電報〕	(明治)38年1月26日	ハカタ局ムラカミ(博多局村上)	シウギインニテ　ノダウタロウ(衆議院ニテ野田卯太郎)	君承諾せねば破談の事(キミシヨタクセねハコトヤブルルシラセヲク)	電報	1	
1785	7	〔電報〕	(明治38年)1月28日	フクオカ局カワノ(福岡局)	コトヒラチヨシナノヤシテン　ノタウタロウ(琴平町信濃屋支店野田卯太郎)	500円負担せねば総会不成立の事ほか(アスソヲクワイ五〇〇エンフタンクダサラねハホカハナシコワレルコマルスクへ)	電報	1	返電写しあり(ミタヤマクチモリタニキケ)
1785	8	〔電報〕	(明治)38年1月28日	フクヲカ局モリタ(福岡局)	シハコトヒラテウ　シナノヤシテン　ノタウタロ(芝琴平町信濃屋支店　野田卯太郎)	カワノ大困りの事(カワノヲヲコマリシヲル)	電報	1	返電写しあり(カワノメイワクトアレバ一コウスルソノテイドシラセタノ
1785	9	〔電報〕	(明治)38年1月27日	ハカタ局九ユムラ(博多局九油村上)	シウギイン　ノタウタロウ(衆議院　野田卯太郎)	500円負担なければ破談の事(キミ五〇〇エンダサねバコトヤブルイカガヘン)	電報	1	
1785	10	〔電報〕	(明治)38年1月25日	九ユジウヤクチウ(九油重役長)	コトヒラテウシイナノヤシテン　ノダウタロウ(琴平町信濃屋支店野田卯太郎)	村上より掛合の件につき返電依頼(ムラカミヨリカケアイノケンアスキメルスグヘンタノム)	電報	1	
1786		〔書簡〕	(明治30年)	塩屋茂平(久留米市三本松町四十四番地　上野茂平)	野田卯太郎様	つつじ代価取調べの件	罫紙(4枚)	1	
1787	1	〔慰労状〕	明治34年1月23日	株式会社福岡農工銀行　頭取緒方道平	野田卯太郎殿	当銀行設立以来取締役にて尽力につき慰労金200円贈呈	切紙	1	1787-1～3封筒一括。封筒上書「農工銀行三池土木会社慰労状并ニ計算書入卅四年五月調査□」
1787	2	謝状	明治34年1月	三池土木会社　専務取締役野口忠太郎(印)	元取締役　野田卯太郎殿	取締役辞任につき慰労金100円贈呈	切紙	1	
1787	3	〔算用書〕	(明治34年5月頃)			利益配当・慰労金ほか339円余につ	切紙	1	
1788		〔通知〕	明治41年9月3日	合名会社三井銀行　本店営業部長(印)(東京市日本橋駿河町壱番地)	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村)	台湾製糖会社配当金182円余入金につき	罫紙	1	封筒あり
1789		〔書簡〕	(明治期頃)5月15日	野口忠太郎(印)	野田卯太郎殿(三池銀行)	山口注文のセメント100樽着荷につき代金395円三井銀行為替などにて送金願い	継紙	1	
1790		〔書簡〕	(明治期頃)4月24日	堤(三池銀行出張所　堤藤蔵)	野田君(三池郡岩田村　野田卯太郎)	別紙1封送付の事、御電報は野口氏封切りの事	継紙	1	封筒あり
1791		〔書簡〕	(明治期頃)	三池郡町村組合役場	三池紡績会社社長　大村務殿		封筒	1	
1792	1	通知書	明治42年2月1日	株式会社三池銀行(印)(福岡県三池郡大牟田町)	野田卯太郎殿(東京市芝区琴平町信濃屋支店内)	1,000円入金につき	紙	1	1792-1～2封筒一括
1792	2	通知書	明治42年2月1日	株式会社三池銀行(印)(福岡県三池郡大牟田町)	野田卯太郎殿(東京市芝区琴平町信濃屋支店内)	47円余入金につき	紙	1	
1793		〔通知〕	明治36年7月3日	九州製油株式会社社長　富安保太郎	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	定時総会など開催につき	葉書	1	印刷
1794		〔通知〕	(明治)26年5月18日	三池銀行大牟田出張所(印)	取締　永江純一殿	重役会議開催につき	罫紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1795		〔書簡〕	(明治)26年7月22日	松岡進士	永江様、野田様(柳川町字中町大和屋ニ而永江純一、野田卯太郎)	海面埋立調査費決算書の件	継紙	1	封筒あり
1796		〔書簡〕	(明治37年)12月4日	山口恒太郎	征矢野老台、野田老台(東京芝区烏森吾妻屋　征矢野半弥)	会社欠損の重役負担分2万9千円と決定致す事、重役負担分に富安君の財産を提供する事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1797		〔書簡〕	乙巳(明治38年)元旦	百三十銀行頭取　安田善三郎(大阪)	野田卯太郎殿(豊前国行橋)	年頭挨拶	継紙	1	封筒あり
1798		〔電報〕	(明治38年)1月19日	チクゴヨシイ局ヨシ井　ハテ(筑後吉井局)	シハクサクマテウ　シナノヤシテン　ノタウタロウ(芝区佐久間町信濃屋支店　野田卯太郎)	久留米の件につき急ぎ許可願い(クルメシガイセントクキョコガイシマニシレイナシイソギキョカアルヨウタノムゴツゴウシテハジヨヲヨシテモヨロシ)	電報	1	
1799		〔書簡〕	(明治21年11月22日)	三池郡大牟田　森時三郎	博多中島町石田屋　野田卯太郎殿	裁縫会社貸付分ほか1036円余の不息分の件ほか	罫紙	1	三池銀行の罫紙使用。封筒あり。年月日は封筒消印
1800	1	〔通知〕	明治37年6月30日	三池郡大牟田町　株式会社三池銀行　取締役頭取　永江純		定時株主総会開催につき	切紙	1	印刷。1800-1～4封筒一纏り
1800	2	明治卅七年六月卅日損益	明治37年6月30日	株式会社三池銀行			切紙	1	印刷
1800	3	明治三十七年六月三十日貸借対照表	明治37年6月30日	株式会社三池銀行			切紙	1	印刷
1800	4	利益金配当案	(明治37年6月30日)	(三池銀行)			切紙	1	印刷
1801	1	〔書簡〕	(大正4年)1月28日	三池土木会社(福岡県三池郡大牟田町)	野田卯太郎殿(三池郡岩田村)	新株第1回払込領収証送付の事	罫紙	1	1801-1～2封筒一括
1801	2	新株第壱回払込金領収証	大正4年1月16日	三池土木株式会社(印)	野田卯太郎殿	新株式60株の第1回払込金1500円領収	紙	1	
1802		第十八回事業報告	大正4年1月	三池土木株式会社	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	大正3年1月～12月分	書冊	1	印刷。封筒あり
1803		〔封筒〕	(明治大正期)	福岡県三池郡大牟田町　三池土木株式会社		上書「取締日当　金壱円在中」	封筒	1	
1804		〔葉書〕	明治37年6月15日	筑後大牟田町九州肥料株式会社　専務取締役　坂井真澄	岩田村　野田卯太郎殿	当会社任意解散の件につき通知	葉書	1	印刷
1805	1	〔覚書〕	(明治38年頃)			鉱業法改正ほか主なる法律案、事後承諾の件など書上	継紙	1	1805-1～2封筒一括。封筒上書「直方報道演説の用(カ)書入」1805～1808紙縒
1805	2	政友　第五十七号　第二十一議会報告書	明治38年3月25日	立憲政友会発行			書冊	1	印刷
1806		〔演説原稿〕	(明治38年頃6月2日)				継紙	1	封筒あり。封筒上書「対馬海峡海戦祝捷会則岩田村ニ於テの演説原稿入　六月二
1807	1	〔演説草稿〕	(明治37・38年)			仏教関係集会での演説原稿	書綴	1	1807-1～2封筒一括。封筒上書「三池郡倉永村演説草稿入卅八年五月」。封筒裏墨書「野田四郎太」
1807	2	〔演説草稿〕	(明治38年)			日露戦争後の日本国家について外の演説原稿	書綴	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1808		〔電報〕	(明治)38年5月30日	カイグン局　山本海軍大臣	フクオカシ　ノダウタロウ(福岡市　野田卯太郎)	祝電の礼状(シユクデンカンシヤカイグンタイシン)	電報	1	封筒あり。封筒上書「対馬海峡海戦祝捷電信ニ対スル山本海軍大臣之返信入　卅八年五月廿九日」
1809		〔書簡〕	5月30日	野村久一郎	野田卯太郎	野田実夫氏海辺坑区分の件			
1810		〔書簡〕	(明治36年)11月8日	淳(浮羽郡福富村　菊竹淳)	野田様(三池郡岩田村　野田卯太郎)	福日就職につき斡旋依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。1810～1823紙縒一括
1811		〔書簡〕	(明治36年)6月24日	多田作兵衛(朝倉郡栗田村)	野田賢兄(筑後三池郡岩田村野田卯太郎)	我が政友会も随分困難にて草臥れ申す事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1812		〔書簡〕	(明治36年)11月11日	古野惣助(鞍手郡笠松村)	野田卯太郎様(福岡県三池郡岩田村)	面会希望につき上京予定など伺い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1813		〔書簡〕	(明治36年)10月29日	金子(福岡県鞍手郡直方町貝島鉱業合名会社　金子隈三	野田兄(筑後三池郡岩田村野田卯太郎)	貴族院の選挙運動の件について	継紙	1	封筒あり。年は封筒あり
1814		〔書簡〕	(明治後期)5月16日	守隆(久留米御原町　林田守隆)	卯太郎様(三池郡岩田　野田卯太郎)	伊藤侯・桂伯へ取り次ぎ依頼	継紙	1	封筒あり
1815	1	〔書簡〕	(明治36年)11月11日	森田正路	野田大兄(三池郡岩田村　野田卯太郎)	小切手50円の領収証送付、支部会計年度についてほか	継紙	1	1815-1～2封筒一括。年は封筒消印
1815	2	領収証	明治36年11月11日	立憲政友会福岡県支部　森田正路(印)	野田卯太郎殿	明治35年度分支部費50円領収	罫紙	1	
1816		〔書簡〕	(明治37年)5月12日	青柳修一(鞍手郡)	野田大雅(県下三池郡　野田卯太郎)	先日旅館訪問の件、書面の御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1817		〔書簡〕	(明治37年)5月13日	岸川理一(八女郡大渕村)	野田卯太郎様(三池郡三池町野田卯太郎)	面会のため在宅時日につき伺い	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1818		〔書簡〕	(明治37年)11月4日	野村久一郎(東京市芝区橘本郷町十二番地)	野田卯太郎様(福岡県三池郡岩田村)	海辺坑区の件につき面談願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1819		〔書簡〕	(明治後期)11月11日	武藤	野田貴兄	森氏との面談の件、八代松行方知らずの事ほか	継紙	1	封筒あり
1820		〔書簡〕	(明治36年)11月10日	宮崎庄太郎(東京神田錦町三丁目九番地美豊館内)	野田卯太郎様(福岡県三池郡岩田村)	熊本大会出席留守中にて残念の事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1821		〔書簡〕	(明治38年)6月6日	門司市長田代郁彦	野田代議士殿(福岡県三池郡野田卯太郎)	当市へ糧秣廠派出所設置決定につき御尽力の御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1822		〔書簡〕	(明治41年)5月5日	渋沢栄一(東京兜町)	野田卯太郎様(福岡県三池)	久留米六一銀行より第一銀行へ取引申入の件は当地金融繁忙につき出来ざる事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1823		〔書簡〕	明治37年7月16日	若松町長　蒲瀬瀧千(福岡県遠賀郡)	野田卯太郎殿(東京市芝区琴平町信濃屋支店)	百三十銀行臨時休業の際の尽力感謝	切紙	1	封筒あり
1824		〔書簡〕	(明治36年)9月9日	義雄(韓国釜山大池方　日下義雄)	野田卯太郎老兄(日本福岡県三池郡岩田)	韓国鉄道問題につき内田山伯も大奮発の事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1825		〔書簡〕	(明治期)12月19日	樺山資義、折田兼至、奥田直之助	岡田孤鹿殿、由布惟義殿、立花信近殿、野田卯太郎殿	九州総会会期希望につき照会	継紙	1	
1826	1	第四号議案勧業会費予算	(明治期)				書綴(罫紙)	1	1826-1～6一纏り
1826	2	〔通達〕	明治23年3月19日	岩津村外三ヶ村戸長役場(印)		町村用掛の選定の件につき	綴	1	
1826	3	記	(明治期)3月12日	佐々木高	野田宇太郎殿	過日拝借の戦国策巻5に50銭札1枚あるにつき送付の事	切紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1826	4	勧業会々則認可伺	明治18年8月3日	勧業会々頭　野田卯太郎(印)	福岡県令岸良俊介殿	三池郡勧業会会則決議につき認可願い	罫紙	1	
1826	5	第三号議案	明治17年10月			衛生委員給ほか予算金19円計上の事、及び議案説明	罫紙(2枚)	1	
1826	6	第五号議案	(明治期)			議会関係費予算35円1銭5厘及び議案説明	書綴(罫紙)	1	
1827		〔書簡〕	(明治28年)11月18日	吉田(福岡県筑後城内村　吉田孫一郎)	野田兄(東京芝区佐久間町信濃屋　野田卯太郎)	病気見舞い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1828		〔書簡〕	(明治)22年2月12日	東京市京橋区尾張町壱丁目壱番地林方ヨリ　園田熊太郎	野田卯太郎様、中島厚様(福岡県上妻郡吉田村)	当地大同団結の評判、自治・改進両党の動向、憲法発布式の景況など	切紙(2枚)	1	封筒あり
1829		〔書簡〕	(明治22年)5月25日	森川儀平、築地貞俊、堀田道春(熊本県玉名郡川治村)	永江純一殿、野田卯太郎殿(福岡県三池大牟田)	当地選挙応援感謝、選挙後の党員状況	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1830		〔書簡〕	5月16日	阿部充家	永江純一・野田卯太郎様(大牟田駅)	選挙応援依頼	切紙	1	封筒あり
1831		〔書簡〕	(明治27年)1月29日	祐準(東京駿河台　曽我祐準)	野田兄(筑後三池郡大牟田紡績会社ニ而　野田卯太郎)	自由党の選挙形勢について、第6区候補者へ立花親信・吉田孫十郎を擁立する件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1832		〔追而書〕		源輔	卯太郎殿	九州本舎へ印鑑改正届提出依頼	罫紙	1	
1833		〔通知〕	(明治)22年3月25日	三池郡第一課印	戸長御中	正誤表送付、庶第543号	罫紙	1	
1834		〔書簡〕	(明治期)9月26日	松田正定(久留米市京町)	野田卯太郎様(三池郡大牟田)	由布林蔵ほか5名被告事件につき弁護承諾の事	継紙	1	封筒あり
1835		〔書簡〕	(明治25年)8月16日	茂(博多石田平吉方　山中茂)	野田老口(県下筑後三池郡大牟田　野田卯太郎)	同志の運動につき協議の件、電灯会社創立の件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1836		〔人名書上〕	(明治期)			水野・坂井ほか28名	切紙	1	
1837		〔書簡〕	(明治21年)9月16日	岡田(博多下土居町廿三番地寓　岡田孤鹿)	永江様、野田様(三池郡大牟田駅三池銀行出張所ニテ)	多田・古賀上京の上、後藤伯が此方の説を容れざる時は帰県致す事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1838		めさまし新聞附録　第八十八号	明治27年3月4日	東京市京橋区山下町十八番地　めさまし新聞社		総選挙当選者一覧	切紙	1	印刷
1839		〔書簡〕	(明治36・37年カ)3月10日	育造(大岡育造)	野田大兄(野田卯太郎)	政友会諸氏の尽力により再選につき御礼	切紙	1	
1840		〔封筒〕	明治32年7月7日	大阪市西区江戸堀北通一丁目十五番番屋敷　憲政党関西出張所	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿		封筒	1	
1841	1	〔書簡〕	(明治期)5月17日	宗像政(川登村荒木軍次郎方)	野田卯太郎仁兄(大牟田駅三池銀行出張所)	県会補欠選挙戦につき応援依頼	継紙	1	1841-1～3封筒一括
1841	2	〔書簡〕	(明治期)			選挙戦応援依頼	継紙	1	後欠
1841	3	〔書簡〕	(明治期)5月20日			500点差にて落選の事、高田ほか帰途に就きたる事	罫紙	1	
1842		〔書簡〕	(明治27年)12月25日	林田守隆(浮羽郡田主丸町)	野田卯太郎様(東京芝区琴平町信濃屋支店)	戦局終局の見込み、戦後の帝国経営の件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1843		〔書簡〕	9月30日	杭州より　横井時雄(清国浙江省)	野田卯太郎様	帰国までの旅程、便船などの都合により総裁の九州大会出席は困難の	切紙	1	封筒あり
1844	1	〔書簡〕	明治26年6月3日	村長関一郎(江浦村役場)	永江純一殿(大牟田紡績会社)	所得税調査委員選挙告示、投票用紙送付	罫紙	1	1844-1～3封筒一括
1844	2	〔告示〕	明治26年5月27日	三池郡長宮本五三郎		本郡所得税調査委員選挙につき	切紙	1	印刷
1844	3	〔投票用紙〕	明治26年6月			三池郡所得税調査委員につき	切紙	1	印刷
1845		質屋取締法中改正之義ニ付請願	明治38年	三井郡節原村大字櫛原　渡辺賢五郎	三池郡岩田村　野田卯太郎殿		書冊(罫紙)	1	封筒あり。1845～1874紐一括

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1846	1	〔書簡〕	明治39年10月13日	石田篤麿ほか32名(興風会)	野田卯太郎殿(三池郡岩田村)	黒田侯爵会長との内諾も得て興風会発会式挙行致すにつき賛同願い	切紙	1	印刷。1846-1～3封筒一括
1846	2	興風会趣旨	(明治39年)			教育勅語の聖旨を顕彰し、国民の反正に努力せんとする云々	切紙	1	印刷
1846	3	興風会々則	(明治39年)				切紙	1	印刷
1847		〔書簡〕	(明治40年9月28日)	福岡県山門郡柳河町　坂本久寿	東京芝区琴平町信濃屋支店野田卯太郎殿	樟樹下渡しの件につき御尽力の代議士4名へ差し上げる金員を各郡で分担協定の所、八女郡より異議ありて未決の事、本郡にては別紙為替券150円分を差し上げの事	継紙	1	封筒あり。年月日は封筒消印
1848	1	〔書簡〕	(明治38年)9月9日	古賀巳之吉、跡部万蔵、小柳初次、松尾兆一、永松初平(福岡県三池郡大牟田町　三池魚類売買株式会社)	三池郡岩田村　野田卯太郎	魚類商況も良好、昨年9月新規契約の満期に当たり各問屋との契約も成立のところ、正木彦右衛門ら数名逆意にて魚市場設立の動きあるため	罫紙(3枚)	1	1848-1～2封筒一括
1848	2	〔電報〕	(明治38年9月)	ノダ(野田)	ヤメグンフクシママチ　タナカケイスケ(八女郡福島町)	今すぐ纏まりつかぬ事(ヤマトイマスグコレトイフマトマリツカヌ)	電報	1	
1849		〔書簡〕	(明治39年)10月13日	義一(東京市芝区西久保井手町二十一番地　秋岡義一)	野田政兄(福岡県三池郡岩田村岩津　野田卯太郎)	熊本県の補欠選挙につき報知願い、栗原ほか2氏は来る16日出発、横井(時)氏は11日に帰京のこと、帰京の途次名古屋の横井(甚)氏へも	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1850	1	〔書簡〕	(明治40年)10月14日	京都直記(福岡県三池郡役所内)	野田卯太郎殿(東京府芝区琴平町信濃屋届)	矢部川増水に関る調査費贈与の件は別紙配当の通り三潴郡の担当にて同郡より取り纏め貴下へ送金致す	切紙(2枚)	1	1850-1～3紙縒・封筒一括。年は封筒消印
1850	2	郡配当額調	(明治40年10月)			八女・三潴・山門・三池4郡の配当額1,000円書上	罫紙	1	
1850	3	三潴郡ヨリ照会写	明治39年12月13日	三潴郡役所	三池郡役所御中	矢部川増水に関る調査費追加金58円余送金依頼、土第1070号	罫紙	1	
1851		〔書簡〕	(明治37年)12月28日	鞍手郡呉服商組合　直方事務所委員　谷弥平　外一同	野田卯太郎殿(東京芝区琴平町信濃屋支店御止宿)	織物税の件につき御高慮の御礼、織物税につき県下同業者集会・協議すれども妙案なき事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1852	1	〔書簡〕	明治38年1月24日	衆議院議長　松田正久、衆議院副議長　箕浦勝人(帝国海事協会理事長　男爵有地品之	芝琴平町信濃屋支店方　野田卯太郎殿	公報広告欄掲載の陸海軍傷病兵慰問品寄付の件につき賛同願い	紙	1	印刷。1852-1～3封筒一括
1852	2	第二十一回帝国議会衆議院公報　第三十六号	明治38年1月26日	衆議院			紙	1	印刷
1852	3	帝国義勇艦隊建設趣旨及要綱	明治37年11月	東京市麹町区内幸町壱丁目五番地　帝国海事協会			紙	1	印刷
1853		〔書簡〕	(明治37年)12月26日	筑前直方古町　庄野与助	野田卯太郎様(東京市芝区琴平町信濃屋支店)	議会開会となり塩専売について醤油業界に不安ある事、塩専売の施行月日などにつき照会	継紙	1	虫損あり。封筒あり。年は封筒消印
1854		〔書簡〕	(明治期)12月10日	徳富猪一郎(氷川町五)	野田卯太郎様(佐久間町信濃屋)	福原志馬雄の紹介	継紙	1	封筒あり
1855		〔書簡〕	(明治22年)5月25日	徳富生(国民之友発行所　京橋区日吉町廿番地　民友社　徳富猪一郎)	野田卯太郎様(筑後国大牟田町)	登記の一件は一論を試みる事、大同団結は詰まるところ自由党再興か、貴九州にては貴下尽力により福岡佐賀などで吾人同主義と同化を希望する事、黒田内閣も遠からず変動あるべき事	罫紙(2枚)	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1856		〔書簡〕	明治28年3月8日	故山崎羔三郎君　鞍手郡直方葬儀事務所	福岡県会副議長　野田卯太郎殿(三池郡大牟田町)	忠死者故通訳官山崎羔三郎の葬儀日取りにつき通知	切紙	1	印刷。虫損あり。封筒あり
1857	1	衆議院議員当選証書	明治35年8月26日	福岡県知事　深野一三(印)	三池郡岩田村大字岩津弐拾参番地　野田卯太郎	福岡県郡部選挙区に於て衆議院議員に当選の事	紙	1	1857-1～2封筒一括。封筒上書「明治三十五、六年当選状
1857	2	衆議院議員当選証書	明治36年3月16日	福岡県知事　河島醇	福岡県三池郡岩田村大字岩津二十三番地ノ壱　野田卯太	福岡県郡部選挙区に於て衆議院議員に当選の事	紙	1	
1858		〔書簡〕	(明治37年)5月2日	麻生太吉(嘉穂郡立岩)	野田卯太郎様(福岡県三池郡岩田村)	貴族院議員推挙の件は島越は見込み立たざる事、井上伯の御内命如何ともなし得ざるため貝島君を政友会代議士諸君より推挙すれば穏当	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1859		〔書簡〕	明治37年12月31日	遠賀郡織物組合中　芦屋町山鹿村総代　小田伊平(印)	代議士　野田卯太郎殿(芝区信濃屋支店　政友会本部)	今議会提出の織物課税法案に対し同業者中に不満あるにつき当局者へ働き掛け願い	継紙	1	封筒あり
1860		〔書簡〕	(明治37年12月27日)	門司市長　田代郁彦	東京芝区琴平町旅舘信濃屋方ニテ　衆議院議員　野田卯太郎殿	当市へ糧秣廠派出所設置決定につき御尽力の御礼	紙	1	封筒あり。虫損のため開封不可
1861		〔書簡〕	(明治20年頃)2月7日	野田喜一郎(東京専門学校)	野田卯太郎殿(福岡県筑後国三池郡岩津村)	社会進化論・英米契約法ほか依頼の書籍代価につき返答、政治情勢に関する所感、在柳中の書籍購入費の余剰金の件ほか	罫紙(3枚)	1	封筒あり
1862		〔書簡〕	(明治26年)7月23日	古閑(熊本市魚屋町三丁め九州自由新聞社　古閑義明)	永江大兄、野田大兄(筑後三池郡大牟田町　永江純一)	熊本紡績会社の件は表面上は新聞紙上のごとくなれど裏面は整わざる	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1863		〔書簡〕	(明治37・38年カ)12月2日	馨	卯太郎様(野田卯太郎)	松田大岡などへの熟談の件につき至急着手されたき事、総理へは連絡済みにて総理より政友・進歩両党へ申し込む事	継紙	1	封筒あり
1864		〔書簡〕	(明治26年)7月24日	阿部(東京　阿部充家)	永江・野田両大兄(筑後三池郡大牟田　野田卯太郎、永江純一)	自由党の九州遊説に対し時期尚早論もあり、九州の一致共同が必要の事など	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1865		〔書簡〕	(明治)22年9月12日	安部勝(三池郡倉永村)	野田卯太郎学兄(三池郡大牟田町三池土木会社)	筑前地方の反対党の強勢侮りがたく何卒尽力願いたき事、永江支那行きの事	罫紙	1	封筒あり
1866		〔書簡〕	(明治26年)7月20日	古閑(熊本市魚町三丁め　九州自由新聞社　古閑義明)	永江賢台(三池郡大牟田紡績会社ニ而　永江純一)	松尾などと密談、発起人躍起となり重役選出、明日社長推挙の事	罫紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1867	1	〔書簡〕	明治26年6月23日	自由党本部(印)(東京市芝区)	永江純一殿(福岡県三池郡江浦村)	機関誌自由を自由新聞と改題、政務調査のため選挙干渉後の弊害など照会	紙	1	印刷。1867-1～2封筒一括
1867	2	〔葉書〕	(明治26年)6月6日	東京芝公園　自由党々報局	福岡県三池郡三池村　永江純一殿	党報代金計算の結果不足分72銭の催促	葉書	1	印刷。年は消印
1868		〔書簡〕	明治26年6月29日	福岡日日新聞社　　宮城坎一	永江純一様(三池郡大牟田町)	本日の福陵新報に板井真澄身上に関し容易ならざる記事あり、事実相違ならば明らかにしたく意見を乞う	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1869		〔書簡〕	(明治26年)7月13日	松田正定(久留米市京町)	永江純一(三池郡大牟田町)	近況報告、三井物産会社の事件の交渉結果の件、贈物の御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1870		〔書簡〕	(明治26年)5月17日	京都(三池郡飯江村　京都主記)	永江純一(三池郡大牟田町)	本村は今回の一条より真正なる自治の発達あり、県郡吏の圧制干渉は迷惑の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1871		〔書簡〕	(明治)26年7月14日	三池銀行　大牟田出張所(印)	永江純一殿	種々協議を要する事件あり、本月16日当出張所にて重役会開設の事	罫紙	1	封筒あり
1872		〔書簡〕	(明治27年5月)22日	四郎(藤田四郎)	野田君(南佐間町信濃屋方野田卯太郎)	銀行は大蔵省主管の事、御依頼なれば大蔵省に問い合わす事	罫紙	1	農商務省の罫紙使用。封筒あり。年月は封筒消印
1873		〔封筒〕	(明治期)	衆議院予算委員室　長谷場純孝	芝佐久間町信濃屋にて　野田卯太郎殿	「傍聴券入」と墨書あり	封筒	1	
1874		〔書簡〕	(明治期)19日	団	野田賢台	益田氏出福の時刻につき品川に電話せし事、立花伯よりも電話ある事	継紙	1	
1875	1-1	〔通知〕	明治37年1月6日	鐘淵紡績株式会社一六一三鐘淵紡績株式会社　専務取締役　朝吹英二	福岡県三池郡岩田村字岩津野田卯太郎殿	株主総会開催につき案内	切紙	1	印刷。1875-1～2封筒一括。1875-1～2一纏り
1875	1-2	定款変更議案	(明治37年1月6日)	(鐘淵紡績株式会社)			切紙	1	印刷
1875	2-1	〔寺院由来書〕	(明治26年頃)	宇治黄檗山門前　大田多兵衛版		近世期木版刷りか	切紙	1	印刷。1875-2-1～3封筒一括。封筒上書「宇治行書類入」
1875	2-2	〔勧進書〕	明治26年6月	宇治黄檗山万福寺			紙	1	印刷
1875	2-3	〔案内状〕	明治27年6月13日		野田卯太郎	鐘淵紡績株式会社専務取締役朝吹英二、同支配人武藤山治両氏の晩餐案内状	紙	1	印刷
1876	1	〔通知〕	明治36年1月20日	東京府南葛飾郡隅田村千六百十二番地　鐘淵紡績株式会	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿	第32回定期株主総会決議報告	葉書	1	印刷。1876-1～2一纏り
1876	2-1	〔株券領収証〕	明治35年	株主	鐘淵紡績株式会社　専務取締役　朝吹英二殿	未記入	切紙	1	印刷。1876-2-1～2封筒一括
1876	2-2	〔通知〕	明治35年10月27日	東京府南葛飾郡隅田村　鐘淵紡績株式会社	旧九州紡績株式会社株式殿	会社合併につき旧九州紡績会社株券の引換交換について	切紙	1	印刷
1877	1	〔通知〕	(明治40年)2月21日	柳川区裁判所　三池出張所(印)	三池郡岩田村岩津二十五番地ノ一　野田卯太郎殿	鐘淵紡績株式会社へ畑6畝余所有権移転登記済みにつき	葉書	1	年は消印
1877	2	〔書簡〕	(明治38年)10月9日	黒田純蔵(福岡県三池郡大牟田町　株式会社三池銀行)	野田卯太郎様(東京芝区琴平町　信濃屋)	京釜鉄道株利息金振込の事、鐘淵株券の売却の件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1878		請書	明治32年10月26日	三沢信一(印)	九州紡績株式会社御中	本社倉庫係長兼久留米工場申付けにつき	切紙	1	封筒あり。虫損あり
1879		〔書簡〕	(明治37年)11月30日	福井菊三郎(大阪市東区高麗橋二丁目一番地　三井物産合名会社大阪支店)	野田卯太郎様(東京芝区琴平町一三番地　信濃屋支店)	九州セメント会社の件に対する井上伯の意向取調べにつき依頼	継紙	1	封筒あり。1879～1905紙縒一括
1880		〔名刺〕	(明治29年1月5日)	三井高保(東京麹町区上二番地)	福岡県三池郡大牟田町　野田卯太郎様	「恭賀新禧」と墨書あり	名刺	1	封筒あり。年月日は封筒消印
1881		〔書簡〕	(明治26年)5月17日	山中茂(清国上海三井物産会社)	永江純一殿、野田卯太郎殿(日本福岡県三池郡大牟田)	中国での香港等における会社の事業、香港支店長内田氏の件につい	継紙	1	封筒あり。年は消印
1882		〔案内状〕	(明治)28年5月16日	日本綿花株式会社、三井物産合名会社	野田卯太郎様	連合大会開催につき案内	紙	1	封筒あり
1883		〔葉書〕	(明治26年)5月30日	香港三井　内田精	三池　永江純一様(大牟田町三池)	5月27日に着任したことの案内	葉書	1	年は消印
1884		〔書簡〕	(明治28年)12月1日	上田安三郎(芝区三田一丁目四十三)	野田卯太郎様(芝区南佐久間町信濃屋ニテ)	退院祝い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1885		〔書簡〕	明治29年1月1日	長崎三井物産合名会社出張店　竹田貞松	野田卯太郎様(筑后国三池郡大牟田町三池紡績株式会社)	年頭挨拶	切紙	1	印刷。封筒あり
1886		〔書付〕	(明治期)	三井物産合名会社三池出張		年頭挨拶	切紙	1	印刷

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1887		〔書簡〕	(明治期)4月22日	□[　](団琢磨カ)	野田様	明朝拙宅まで来訪願い	継紙	1	虫損あり
1888		〔書簡〕	(明治)26年5月15日	上海三井　内田精	永江様(福岡県筑后三池郡大牟田町　永江純一)	父親病気のため帰朝する事、帰途訪問出来ざる事ほか	継紙	1	封筒あり
1889		〔封筒〕	(明治28年5月4日)	益田孝	三池大牟田三池紡績会社　野田卯太郎様		封筒	1	年月日は消印
1890	1	〔書簡〕	(明治期)11月16日	団琢磨	大村様、野田様(大村務、野田卯太郎)	約定書の保証人署名などの件、小野君へ案内状差立ての件ほか	継紙	1	1890-1～2封筒一括
1890	2	〔図面〕	(明治期)				切紙(4枚)	1	
1891		〔封筒〕	(明治期)	三池三井炭坑事務所　団琢磨	野田卯太郎様		封筒	1	
1892		〔書簡〕	(明治期)6(5カ)月3日	団琢磨	野田様(三池銀行　野田卯太郎)	夜須道路の件、鉄道敷地の取り纏めにつき尽力願い	継紙	1	封筒あり
1893		〔書簡〕	11月17日	団琢磨	大村・野田両大人(大村務、野田卯太郎)	午後来訪の有無につき照会、小野君へ案内状送付の件	切紙	1	封筒あり
1894		〔書簡〕	2月5日	琢磨(団琢磨)	野田様(野田卯太郎)	彼の件につき早速送付するよう益田氏へ申し遣わせ共、未到着につき取り計らい願い	継紙	1	封筒あり
1895		〔書簡〕	(明治38年)6月3日	琢磨(東京赤坂区丹後丁十七番地　団琢磨)	野田老台(福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎)	海面鉱区の件は何れの方面よりも聞知する処なき事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1896		〔書簡〕	(明治20年代)6月24日	団(団琢磨)	野田様(野田卯太郎)	地所の件の成行につき問合せ	切紙	1	封筒あり
1897		〔書簡〕	(明治22年カ)27日	団琢磨	野田卯太郎殿(銀行)	福岡より帰着につき通知	継紙	1	封筒あり。封筒鉛筆書「M22年」
1898		〔書簡〕	(明治26年カ)5月24日	団琢磨	永江純一殿	水野旧町長の出京につき町会の決議促進に尽力願い、玉川村長平山氏の件	継紙	1	封筒あり。封筒鉛筆書「M26年？」
1899		〔書簡〕	(明治24年)7月14日	団琢磨	野田様(野田卯太郎)	三菱所有の炭坑調査の一部結果報告、長崎・肥前・筑前ほか炭坑・出炭高など書上	継紙	1	封筒あり。封筒鉛筆書「M24年」
1900		〔書簡〕	(明治28年カ)	孝(益田孝)	野田卯太郎様	以前申し上げの人物に昨日面会、随分見込みあるにつき会社にて面会願い	継紙	1	封筒あり。封筒鉛筆書「M28?」
1901		〔書簡〕	(明治38年頃)1月20日	益田孝	野田卯太郎様(芝区琴平町十三番地　信濃屋方)	会合日取りにつき通知、森本・栗原・江原・永江氏にも案内済みの事、岡崎邦輔氏も同意につき案内致す事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1902		〔書簡〕	(明治28年カ)5月4日	孝(益田孝)	野田卯太郎様(佐久間町信濃屋方ニ而)	九州鉄道線路敷設の構想について	継紙	1	封筒あり。封筒鉛筆書「M28?」
1903		〔書簡〕	(明治37年)6月23日	琢磨(東京赤坂丹後丁十七団琢磨)	野田老台(福岡県筑後国三池郡岩田村　野田卯太郎)	玄海の大椿事につき全国至る処の問題となる事、此上は旅順を片付けるほかはなき事など	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1904		〔請求書〕	(明治期)6月5日	しなの屋(信濃屋)	野田様	車代・御使い代34銭請取	切紙	1	
1905		〔書簡〕	(明治27年)5月16日	田中賢道、金森通倫(東京市京橋区南槙町五番地　森林金	益田孝殿(品川御殿山)	野田氏へ坑木の件を問合せの事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1906	1	〔書簡〕	(明治期)1月21日	益田孝	永江純一殿	亡母法会につき粗茶進呈	切紙	1	1906-1～2封筒一括。1906～1914紙縒
1906	2	〔書簡〕	(明治期)1月20日	島田純一	永江純一殿	断簡、案内状カ	切紙	1	前欠
1907		〔書簡〕	(明治27年カ)12月13日	孝(益田孝)	野田卯太郎(佐久間町信濃屋ニ而)	出発延期の事ほか	継紙	1	封筒あり。封筒鉛筆書「M27?」

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1908		〔書簡〕	(明治27年カ)12月18日	孝(御殿山　益田孝)	野田老台(野田卯太郎)	餞別の品物差上の事ほか	継紙	1	封筒あり。封筒鉛筆書「M27?」
1909		〔書簡〕	(明治28年カ)	益田孝	信濃屋　野田卯太郎様		封筒	1	封筒あり。封筒鉛筆「M28」
1910		〔書簡〕	(明治27年カ)11月25日	孝(駿河町三井銀行　益田孝)	野田卯太郎様(佐久間町芝区信濃屋ニ而)	大村君・永江君より書状・計算表到来の事、試算表は未着の事、貴社の件につき相談のため銀行へ立ち寄り願い	切紙	1	封筒あり
1911		〔封筒〕	(明治)24年12月23日	東京三井物産会社　益田孝	三池大牟田町　三池紡績会社野田卯太郎様	封筒のみ	封筒	1	年月日は消印
1912		〔書簡〕	(明治27年)12月15日	団琢磨(筑後大牟田町)	野田老台(博多橋口石田屋ニ而　野田卯太郎)	坑木取調書・海面埋立図面到来の事、杭木の件につき金森通倫と面会についてほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1913		〔書簡〕	(明治27年カ)12月15日	団琢磨	野田君(野田卯太郎)	坑木の件などに関し面会のため出福・上京延期願い	継紙	1	封筒あり
1914		〔書簡〕	(明治28年)12月10日	孝(益田孝)	野田卯太郎様(南佐久間町信濃屋)	渡辺大臣へ渋沢と共に陳述、今度は決定の様子の事、特別輸入港の件は考案中、栗原・松田氏との面会予定について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1915		〔電報〕	明治25年8月25日	フクオカハシクチマチ　ヤマモトヨシスケ(福岡橋口町)	ヲヲムタマチ　ミイケホウセキクワイシヤ(大牟田町　三池紡績会社)	博多・久留米・熊本より29日に延期請求	電報	1	1915～1930紙縒一括
1916		〔書簡〕	(明治期)1月17日	三池紡績会社(野田卯太郎)	山門郡城内村　由布惟義様	製糸製造の件について	切紙	1	封筒あり
1917		〔書簡〕	(明治24年カ)24日	有吉	永江様(永江純一)	延滞金利子及び運賃について	継紙	1	封筒あり
1918		〔書簡〕	明治24年12月31日	大阪市東区伏見町弐丁目弐拾番屋敷　大日本綿糸紡績同業聯合会	筑后国三池大牟田町三池紡績会社　野田卯太郎様	同連合会理事岡田令高墓地埋葬の通知	切紙	1	印刷。封筒あり
1919		〔電報〕	明治25年11月4日	クマモトセンバワタヤ　カワノシウゾウ(熊本船場綿屋　河野修	ハシクチマチイシダヤ　ノダウタロウ(橋口町石田屋　野田卯	明日来る(アスクルオレ)	電報	1	
1920		〔封筒〕	(明治期)	三池紡績会社　堤藤蔵	永江純一様		封筒	1	
1921	1	〔電報〕	明治24年11月12日	□チ　ツボイマツヤ　マシユゼン	ヲヲムタ　ナカエジユンイチ(大牟田　永江純一)	「イマタワカラヌ」	電報	1	1921-1～4同折
1921	2	〔電報〕	明治24年12月6日	フクオカハカタイシタヤヨリ　テルヲカシンシ(福岡博多石田屋ヨリ)	ヲヲムタマチ　ボウセキカイシヤニテ　ナガエジユンイチ(大牟田町紡績会社　永江純一)	「ドホクコンナンアスハヤクキタル」	電報	1	
1921	3	〔電報〕	明治24年12月11日	ミイケホウセキ会社(三池紡績会社)	ハシクチマチ　イシダヤカタナガエジユンイチ(橋口町石田屋方　永江純一)	帰着日の問合せ(イツカエルカヘンシ)	電報	1	
1921	4	〔電報〕	明治24年12月26日	ミイケボウセキカイシヤ(三池紡績会社)	ハシクチマチイシダヤニテ　ナガエ(橋口町石田屋ニテ　永	帰着日の問合せ(三バンカエルカヘン)	電報	1	
1922		〔書簡〕	(明治期)			松炭の件、小林利佐殿の貴社株式配当の件ほか	切紙	1	後欠
1923		〔電報〕	(明治)27年10月7日	イママチミドリヤ　ナガエジユン一(永江純一)	ミイケグンヲヲムタマチ　ノダウタロ(三池郡大牟田町　野田卯太郎)	「リクヘイチイフヲセンリヨウセリトホオアリ」とあり	電報	1	
1924		〔書簡〕	明治29年12月25日	千田一十郎	野田卯太郎様	東京硝子株式会社へ電球など注文依頼ほか	継紙	1	
1925	1	〔書簡〕	(明治24年)	富安保太郎	永江純一様、野田卯太郎様	打合せにつき照会	切紙	1	1925-1～12封筒一括

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1925	2	〔書簡〕	(明治24年)			仰せの通り竹原信二郎へ辞令書送付の事	切紙	1	後欠
1925	3	〔記〕	(明治24年)8月24日	(印・「三池紡績会社庶務掛」)	永江様	別紙武内由章氏第9回払込分へ調印願い	切紙	1	
1925	4	〔葉書〕	(明治24年)8月15日	博多　下澤善四郎	三池郡江浦村　永江純一様、大村務様	開業式まで集会延期の事	葉書	1	郵便局付紙1枚あり(大牟田郵便局へ転送につき)。年は消印
1925	5	〔葉書〕	(明治)24年8月18日	柳河クラフ	三池郡大牟田町　永江純一殿、野田卯太郎殿	集会開催につき通知	葉書	1	
1925	6	〔葉書〕	(明治24年)8月19日	博多中嶋町　林峯介	三池郡大牟田町　永江純一殿	妻死去につき通知	葉書	1	年は消印
1925	7	〔葉書〕	明治24年8月24日	関一郎	三池紡績会社　永江純一殿	集会日時につき照会	葉書	1	
1925	8	〔葉書〕	(明治24年)8月25日	高瀬より　阿部充家	筑后三池郡大牟田駅　野田卯太郎様	訪問予定変更の事	葉書	1	年は消印
1925	9	〔電報〕	明治24年6月8日	ミイケヲムタ　モリトキサフロウ(三池大牟田　森時三郎)	モシミチ□イシタミセ　ナカエシユンイチ(石田店　永江純	タナカ来訪の事ほか(ジヨウカイタナカキタアスソノチエクル)	電報	1	
1925	10	〔電報〕	明治24年8月3日	柳川局		「ヤメニタノム」とあり	電報	1	前欠
1925	11	〔電報〕	明治24年9月1日	フクヲカニチニチシンブンシヤソヤノ(福岡日日新聞社　征矢野)	ヲムタ　ナカエジユンイチ(大牟田　永江純一)	明日常会開催につき通知(アスゼウギインカイスシユツセキアレ)	電報	1	
1925	12	〔名刺〕	(明治24年)	松永久吾			名刺	1	
1926		〔書簡〕	(明治期)			弊社用署物品注文の件、「三池紡績会社取締　松田正久」とあり	切紙	1	案文
1927	1	浪華新聞附録　第二百二十九号	明治20年5月18日			堂島定期米など諸相場掲載	切紙	1	印刷
1927	2	熊本新聞第四千七十五号附録	明治25年1月8日			穀類など諸相場掲載	切紙	1	印刷
1928		〔書簡〕	(明治24年)11月12日	中村福次郎(印)(熊本市河原町)	永江純一様(三池郡大牟田町紡績会社)	貴社入札欠席の事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1929		〔封筒〕	(明治期)	大牟田町木屋新村佐一郎方セ古盈広(印)		上書「三池紡績会社　第五号　棉袋の相書在中」	封筒	1	
1930		〔書簡〕	明治31年10月5日	三池銀行(印)(福岡県三池郡大牟田町)	野田卯太郎様(三池郡岩田村岩津)	29年8月付借入金2,100円返済請求	罫紙	1	
1931		〔書簡〕	(明治27年)5月23日	大村務(筑後三池郡大牟田町)	野田様(芝区南佐久間町信濃屋　野田卯太郎)	綿糸輸出税・特別輸出港両問題の審議状況	継紙	1	
1932	1	〔書簡〕	(明治27年)5月17日	大村務(筑後国三池郡大牟田町三池紡績会社)	野田様(東京芝区南佐久間町信濃屋　野田卯太郎)	工事進捗状況について、岩瀬相談の件ほか	継紙	1	1932-1～2封筒一括。年は封筒消印
1932	2	〔書簡〕	(明治27年)4月12日	後藤　店幾松(印)	野田御主人様	時計・耐火煉瓦などのこと	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1933		〔書簡〕	(明治27年)5月16日	永江純一(三池紡績会社)	野田卯太郎様(東京市芝区南佐久間町信濃屋ニて)	大工設計・倉庫設計など工事進捗状況について、三井物産・炭鉱社間の電話設置手続きにつき逓信省へ問合せ願いほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1934		〔書簡〕	(明治27年)5月12日	操(筑後三池大牟田町　小滝操)	卯太郎様(東京芝区南佐久間町弐丁目旅亭信濃屋方ニテ野田卯太郎)	煙突雷除け一式注文の件、耐火煉瓦の代価の件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1935		〔書簡〕	(明治27年)5月9日	高栄□□□(福岡県三池郡大牟田町　三池紡績会社)	野田取締殿(東京芝区南佐久間町信濃屋止宿　三池紡績会社取締　野田卯太郎)	長崎での懇親会の領収証送付	継紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1936		〔書簡〕	(明治27年)6月8日	大村務(筑後三池郡大牟田町三池紡績株式会社取締役)	野田様(大阪府西区江戸堀北通り□丁目　三池紡績出張店野田卯太郎)	久留米紡績の件、帰郷の節政況を聞きたき事	継紙	1	封筒あり
1937		〔書簡〕	(明治27年)6月15日	俊雄(神戸栄町五丁目五拾八番邸　百崎俊雄)	野田様(大阪中ノ島五丁目後藤旅館　野田卯太郎)	兵庫県五二会本部創立開会式につき訪問出来ざる事ほか	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1938		〔書簡〕	(明治27年)5月31日	延次郎(筑後三池郡大牟田町三池紡績株式会社　岩瀬延次郎)	野田様(東京市芝区南佐久間町信濃屋　野田卯太郎)	避雷針注文につき銅針金の長さなどについて、避雷針の図あり	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1939	1	〔書簡〕	(明治27年)4月30日	永江純一(中ノ島五丁目後藤方)	野田大兄(福岡県三池郡大牟田町　野田卯太郎)	神戸にて百崎に面会の事、燐寸製造所の職工見習いの件、江戸堀にて家普請の事	継紙	1	1939-1～2封筒一括。年は封筒消印
1939	2	〔書簡〕	(明治27年)5月2日	黒崎村　望月義平	三池郡岩田村　野田卯太郎殿	県会議員当選を祝す	葉書	1	年は消印
1940		〔書簡〕	(明治27年)5月17日	永江(三池紡績株式会社　永江純一)	野田兄(東京市芝区南佐久間町信濃屋ニて　野田卯太郎)	機関士へ就職希望の中村国俊の件、間野初三郎解雇の件	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1941	1	〔領収証〕	(明治27年5月)11日	後藤(印・「大阪中之島五丁目・後藤・環竜館」)	野田殿	状袋・巻紙ほか代金2円余請取	継紙	1	1941-1～4封筒一括。封筒表上書「野田卯太郎様御返事　政経拝」。同裏上書「明治廿七年五月十一日　大日本綿糸紡績同業連合会」
1941	2	〔領収証〕	(明治27年5月)11日	後藤店　幾松(印)	野田卯太郎殿	家根杉手数料1円受取	継紙	1	
1941	3	〔書簡〕	(明治27年)5月11日	卯太郎(野田卯太郎)	菅沼老兄(菅沼政経)	本日梅田出発の予定の事	継紙	1	
1941	4	証	明治27年5月11日	大阪市北区中之島五丁目六拾六番屋敷　各国御定宿汽船取扱所　後藤環龍館(印)	御三人様	御茶料1円ほか受取	紙	1	
1942		〔書簡〕	(明治27年)5月5日	藤原(東京早稲田　藤原熊五郎)	野田老台(大分県三池紡績会社　野田卯太郎)	状況予定の紹介、実業家へ紹介願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1943		〔書簡〕	(明治27年)5月30日	永江純一(三池紡績株式会社)	野田兄(東京市芝区南佐久間町信濃屋　野田卯太郎)	煉瓦と海面の件、土木会社の事にて野口は河野の銅山の関係し奔走し居る事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1944		〔書簡〕	明治27年5月23日	三井紡績会社大阪出張店(印・「黒田」)(黒田峰松)	野田卯太郎様(東京芝区南佐久間町信濃屋)	鉛板値段の件、耐火煉瓦送付の件	罫紙(2枚)	1	封筒あり
1945		〔書簡〕	(明治43年)7月26日	野田能任(大阪市南区内安堂寺町二丁目　守山又三)	野田卯太郎様(筑後三池郡岩田村)	金65円受取	罫紙	1	守山便箋使用。封筒あり
1946		〔書簡〕	(明治期)1月3日	守山又三(熊本県下益城郡河江村)	野田卯太郎様(福岡県三池郡岩田村)	内田雄蔵と協議の事、市を選挙区にするのは反対の事	継紙	1	封筒あり
1947		〔書簡〕	(明治期)24日	又三	野田先生	山田邦彦宿所の事	継紙	1	
1948		〔書簡〕	(明治43年)7月23日	守山又三(大阪市南区内安堂寺町二丁目)	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿	箕面株・国民新聞社手形の件つき御礼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1949		〔感謝状〕	明治29年4月29日	大日本綿糸紡績同業聯合会委員長　佐伯勢一郎	三池紡績株式会社取締役　野田卯太郎殿	輸入綿花関税免除に尽力につき	継紙	1	封筒あり。1949～1961紐一括
1950		〔書簡〕	(明治29年)1月8日	黒田峰松(大阪)	野田卯太郎様(筑後三池郡大牟田町　三池紡績会社)	東華紡績払込金の件、博多紡績新設の件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1951	1	〔電報〕	(明治29年)2月5日	サカモトマチ　マスタタカシ(益田孝)	ミイケホウセキ　ノダウタロウ(三池紡績　野田卯太郎)	「ミナカワルトヲモウ」とあり	電報	1	1951-1～2封筒一括
1951	2	〔書簡〕	(明治29年)1月25日	昇(寺島昇)	野田様(野田卯太郎)	入用綿花買い入れにつき相談願い	継紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1952		〔書簡〕	(明治29年)1月25日	忠吾(山門郡柳川町　三ケ尻忠吾)	野田賢台(三池郡大牟田町野田卯太郎)	台湾行きの件につき斡旋依頼、東京・夏門など戦況についてほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1953	1	確受証	明治29年6月30日	株式会社三池銀行(印)	岩田村　野田卯太郎殿(三池紡績株式会社)	貸付金利子200円受取	紙	1	1953-1～6封筒一括。封筒上書「三池銀行払込受取証　同行ヱ返納金受取証入七月卅日」
1953	2	確受証	明治29年7月2日	株式会社三池銀行	(三池紡績株式会社　野田卯太郎)	貸付金利子80円余受取	紙	1	
1953	3	確受証	明治29年7月2日	株式会社三池銀行	(三池紡績株式会社　野田卯太郎)	貸金利子251円余受取	紙	1	
1953	4	確受証	明治29年7月31日	株式会社三池銀行	岩田村　野田卯太郎殿(三池紡績株式会社)	貸付元金の内、金500円受取	紙	1	
1953	5	確受証	明治29年12月21日	株式会社三池銀行	野田卯太郎殿(三池紡績株式会社)	29年12月切り利子89円余受取貸付	紙	1	
1953	6	キ	(明治29年)	三池銀行	野田卯太郎様	7月より8月まで元利2,290円算用書	継紙	1	
1954		〔書簡〕	(明治)29年1月25日	松岡進士	野田卯太郎様	紡績会社専務就任につき祝賀、御社の繰糸下受の件	継紙	1	
1955		〔書簡〕	(明治期)1月30日	昇(辛島昇)	野田様	黒田氏より神戸安売り品希望の別電ある事、上海器械繰りと長崎買入れの値段比較の件ほか	継紙	1	
1956		〔書簡〕	(明治31年)10月12日	黒田純蔵(福岡県三池郡大牟田町　株式会社三池銀行)	野田卯太郎様(三池郡岩田村)	貸付金2,300円の担保として紡績株35株など預り、担保株式の評価額について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1957		〔書簡〕	(明治38年)10月29日	荻野芳蔵(東京市芝区愛宕公園愛宕舘内綿花栽培協会)	野田理事殿(福岡県三池郡岩田村野田卯太郎)	金2,000円受取、理事会決定報告、評議会開会期日につき照会	罫紙(2枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
1958	1	〔書簡〕	(明治38年)10月12日	荻野芳蔵(東京市芝区愛宕公園愛宕舘内綿花栽培協会)	野田賢台(福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎)	韓国各地綿の花試作状況報告、韓国在留邦民は政友会総裁の演説を歓迎し居る事	罫紙(2枚)	1	1958-1～4封筒一括。年は封筒消印
1958	2	決議録	(明治38年)	(綿花栽培協会)		会頭推薦の件、韓人を会員とする件	罫紙	1	
1958	3	〔書簡〕	(明治38年)9月15日	荻野芳蔵(綿花栽培協会)	野田卯太郎殿	別紙事務報告と決議録送付の件、訪韓の件	罫紙	1	
1958	4	事務報告	(明治38年)	(綿花栽培協会)		綿繰機械備付の件、木浦に事務所新築など	罫紙(2枚)	1	
1959		〔書簡〕	(明治期)7月25日	小野隆基	紡績会社　大村務様、□重役御中	大風の見舞い	継紙	1	封筒あり
1960		〔書簡〕	(明治期)2月4日	小野隆基	紡績会社　取締役御中	本日の会議は流会の事、明日の会議につき委任状送付の事	切紙	1	封筒あり
1961		〔書簡〕	(明治期)8月2日	武内美代吉(三潴郡青木村)	野田老台(三池大牟田　野田卯太郎)	蒸気水揚機械調達の件につき津城広助出張の事	切紙	1	封筒あり
1962		〔書簡〕	(明治期)11月17日	芳三郎(手鎌村　岩井芳三郎)	野田大人(三池紡績会社ニ而野田卯太郎)	当村奥国恒次郎の就職斡旋依頼	継紙	1	封筒あり
1963		〔書簡〕	(明治期)7月10日	大村(大村務)	野田君(野田卯太郎)	14日繰合出来るか問合せ	継紙	1	封筒あり
1964		〔書簡〕	(明治期)28日	黒田	野田尊台(野田卯太郎)	日本鉄道の件につき菊地より書状到来の事、曽我氏には9歩まで受合の事ほか	継紙	1	
1965		〔書簡〕	(明治期)9月4日	政経(菅沼政経)	野田君(野田卯太郎)	紡績職工傭替の件ほか	継紙	1	虫損あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1966		〔封筒〕	(明治期)	福岡県三池郡大牟田町　三池紡績会社			封筒	1	
1967		〔書簡〕	(明治27年)11月22日	小田部栄(印)(福岡県三池郡大牟田町　三池紡績株式会	野田卯太郎様(福岡市橋口町石田屋ニテ)	荷造場の進捗状況の件	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1968		〔書簡〕	明治27年2月22日	隈部活水(大阪府西成郡難波村中之渡シ宮之東シ　木津幸助方)	野田卯太郎殿(福岡県筑後国三池郡三池紡績会社内)	図引機械など購入援助依頼	継紙	1	封筒あり
1969		〔封筒〕	(明治27年カ)			封筒上書「永江純一　金弐円八拾八銭　旧株金六拾円ニ対スル分(下	封筒	1	
1970	1	確受証	明治27年3月13日	株式会社三池銀行　大牟田支店(印)	三池郡岩田村　野田卯太郎殿、同郡江ノ浦　永江純一殿	第3号貸付金650円ほか受取	紙	1	1970-1～2封筒一括。封筒上書「三池銀行受取証并ニ目録
1970	2	〔金銭書上〕	(明治27年3月)	(三池銀行)		元利金2723円余書上	罫紙	1	
1971		〔金銭書上〕	(明治20年代頃)	(三池紡績会社)		株配当金900円につき算用書上	罫紙	1	「廿六年七月迄ノ分」と墨書あり。包紙として使用か。1971～1985紐一括
1972	1	〔付紙〕	(明治24年7月4日)	(筑後江ノ浦郵便局)		大牟田局へ転送の事	切紙	1	1972-1～4封筒一括
1972	2	〔通知〕	明治24年7月4日	福岡県三池郡大牟田町　三池紡績会社	野田卯太郎殿	第9回払込1株につき金2円50銭宛の事	切紙	1	印刷
1972	3	〔通知〕	明治24年7月4日	三池紡績会社社長　大村務	野田卯太郎殿	定式株主総会開催につき案内	切紙	1	印刷
1972	4	〔委任状〕	明治24年7月	(三池紡績会社)		定式株主総会権限につき	切紙	1	印刷。未記入
1973		〔書簡〕	(明治20年代頃)	板井真澄	野田卯太郎殿	内田精の紡績会社就職斡旋依頼	罫紙	1	封筒あり
1974		〔書簡〕	(明治20年代頃)4月25日	炭鉱事務所書記　菊池武信(三井三池炭鉱事務所)	三池紡績社　重役御中	団・林の所得金高届けのため貴社新旧株歩合につき照会	罫紙	1	封筒あり
1975		〔書簡〕	(明治24年)8月6日	三井物産会社　端善次郎(福岡県三池郡大牟田町　三池紡績会社　永江純一)	三池紡績会社　野田卯太郎様(肥後国櫛木温泉ニテ)	工場機械導入の件につき回答、写し	罫紙(2枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
1976		〔案文〕		(三池紡績株式会社)		綿花買入の件につき	罫紙	1	三池紡績株式会社の罫紙使用
1977		〔反別地価など書上〕		(三池紡績会社)		大牟田・下里・稲荷分につき字地番・反別・地価・地租書上	書綴	1	三池紡績株式会社の罫紙使用
1978		〔書簡〕	明治29年1月29日	島田純一(印)	野田卯太郎殿	藤木秀次郎罷役につき採用に差支えなき事	罫紙	1	三井三池炭鉱事務所の罫紙使用
1979	1	書留郵便物受取証	(明治27年カ)8月25日	(大牟田郵便局)	大牟田町三池紡績株式会社野田卯太郎	東京三井鉱山合名会社益田孝宛書留につき	紙	1	1979-1～5一纏り
1979	2	書留郵便物受取証	(明治)27年1月18日	(大牟田郵便局)	三池大牟田町　三池紡績株式会社	東京明治火災保険株式会社宛書留につき	紙	1	
1979	3	書留郵便物受取証	(明治)27年8月24日	(大牟田郵便局)	大牟田町　野田卯太郎	東京国民新聞社栗原武三太宛書留につき	紙	1	
1979	4	受領証書	(明治)27年7月9日	大牟田郵便電信局		為替金1円領収	紙	1	
1979	5	受領証書	(明治)27年8月24日	大牟田郵便電信局	野田卯太郎	東京国民新聞社栗原武三太宛為替金3円領収	紙	1	
1980		証	明治25年3月25日	大日本紡績連合会(印)	三池紡績会社御中	月報代金領収証	紙	2	
1981		電報受取証	明治25年4月25日	(大阪川口郵便局)	大阪　野田卯太郎	大牟田永江純一宛電報につき	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1982		〔電報〕	明治25年11月7日	ケウハシク三〇ケンホリ三サンハンチ　タイニホンメンシホウソキレンコウカイシユツテウシヨスガヌママサツネ（京橋区　大日本綿糸紡績聯合会　菅沼政	ヲヲムタ町　ミイケホウセキカイシヤ　ノダウタロウ（大牟田町三池紡績会社　野田卯太郎）	上京の時大阪事務所に寄れ（ジヨキヨノトキヲヲサカジムシヨニヨレ）	電報	1	
1983	1	〔電報〕	（明治22）年10月21日	シンハシ局（団琢磨カ）	ヲムタ　ミイケホウセキクワイシヤ　ノダウタロ（大牟田三池紡績会社　野田卯太郎）	出立出来ざる事ほか（ツキスエマタワライケジハジメマデワシュッタツデキヌキミコノチニイツクルツモリカダ	電報	1	
1983	2	〔電報〕	（明治）22年10月21日	ヲサカ局	ヲムタマチ　ミイケホウニテ　ノダ（大牟田三池紡績　野田）	営業規則今日送った（エイギヨウキソクキヨオクリタ）	電報	1	
1984	1	〔電報〕	（明治）26年7月26日	シナカワゴテンヤマ　マスダ（品川）	ヲウムタ　ミイケホウセキ　ノダウタロウ（大牟田三池紡績　野田卯太郎）	「機会後レタ社債六ツカシ、併新株券10万円迄三井銀行引受ル、并ニ抵当貸金スベシ」とあり	電報	1	
1984	2	〔電報〕	（明治）26年5月28日	シナカワコテイタヤマ　マスダ	ミイケホウセキカイシヤ　ノダウタロウ（三池紡績会社　野田卯太郎）	電信の趣承知の事ほか（ホタイヒキカタヲヒヨコカ、暗号文）	電報	1	
1985		熊本新聞第四千三百九十四号附録	明治26年2月1日			穀類相場など熊本物価	切紙	1	印刷
1986		〔書簡〕	（明治25年）10月26日	有田直之助（鹿児島市鹿児島新聞社）	野田卯太郎殿（福岡県三池郡大牟田町）	御申越の件は当地にて信用ある商人の藤安氏に相談致す事ほか	継紙	1	封筒あり。年は消印
1987	1	〔書簡〕	（明治25年）6月8日	大村務（福岡県三池郡大牟田町紡績会社）	野田卯太郎様（東京芝区南佐久間町信濃屋）	会社営業は糸捌け悪しく700有余俵の残高になる事、上海為替の件ほ	継紙	1	1987-1～2封筒一括。年は封筒消印
1987	2	〔書簡〕	明治25年6月2日	上海三井物産会社支店	三池紡績会社御中	水濡綿花一件につき保証取扱いなどについて	書綴（罫紙）	1	
1988		〔書簡〕	（明治24年）5月7日	龍蔵（博多橋口町石田ヨリ　佐藤龍蔵）	野田大兄、永江大兄（三池郡大牟田銀行ニテ　野田卯太郎、永江純一）	御地新設の高等小学校裁縫教師に梶原政子女史の就職斡旋願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1989		〔書簡〕	（明治24年）6月25日	加藤正誼（小石川春日町）	野田卯太郎様（芝区佐久間町信濃屋）	印度地方の紡績事業を調査せし佐野常樹子と町田元漢口領事を紹介致す事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1990		〔書簡〕	（明治23年）5月14日	永江純一（柳川町大和屋）	野田卯太郎殿（三池郡大牟田町）	吉田・大村・立花寛正・由布・岡田・立花らと昨夜会合、大牟田にて風斗・森と面会予定の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1991		〔書簡〕	（明治期）4月1日	富文（神原富文）	野田賢台（大牟田村土橋三池銀行　野田卯太郎）	紡績株の件につき熱望者多く47～8万円の申入ある事ほか	継紙	1	封筒あり
1992		〔書簡〕	（明治22年カ）23日	種次郎（印）	野田老台	博多出張店より紡績株について再三書面で申し込んでいる事、山根氏へ1,000株加入の件問合せの事ほ	継紙	1	
1993		〔書簡〕	（明治期）2月3日	□□	服部様	株数の件は野田卯太郎氏に任せてあるにつき同氏へ懇談願い	切紙	1	
1994		〔書簡〕	（明治22年）5日	神原（神原富文）	野田君、森君（森時三郎、野田卯太郎）	紡績会社創立につき本日知恩社にて発起人総会開催の事	継紙	1	封筒あり
1995		〔書簡〕	（明治22年）5月21日	神吉秀成（福岡市船町）	永江純一様、野田卯太郎様（三池郡大牟田駅）	三池紡績の株式引受の件、同志社大学捐金送付の事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
1996	1	〔書簡〕	（明治22年カ）4月22日	小林	野田殿（野田卯太郎）	後刻山根同行致すにつき承知願い	切紙	1	1996-1～2封筒一括
1996	2	紡績株申込人名	（明治22年カ）4月22日	山本繁太郎		申込株数と申込人書上	書綴（罫紙）	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
1997	1	〔書簡〕	(明治22年)4月2日	永江純一	野田卯太郎殿	本日出柳し大村氏らより賛成を得し事、組合集会の開催につき郡衙連へ連絡願い	罫紙	1	三池銀行の罫紙使用。1997-1～2封筒一括。年は封筒消印
1997	2	印鑑証明証	明治22年4月5日	筑后国三池郡岩津村廿三番地ノ一　野田卯太郎(印)	戸長篠沢駿殿	奥書あり(戸長代理筆算生日巻常蔵)	罫紙	1	
1998		〔電報〕	明治22年5月6日	ミツイフツサン　マスダタカシ(三井物産　益田孝)	ヲウムタ　ノタウタロウ　ナガヱシンイチ(大牟田　野田卯太郎永江純一)	迅速の御創立を祝す(ジンソクノゴソウリツヲシユクス)	電報	1	封筒あり
1999	1	〔書簡〕	(明治22年)5月21日	大村(柳川瀬高町第九六国立銀行　大村務)	永江様、野田様	山門郡各株主は柳川・三池両銀行にて株金払込の事	継紙	1	1999-1～2封筒一括。年は封筒消印
1999	2	〔書簡〕	(明治22年)5月21日	柳川瀬高町　大村務	野田君、森君(三池郡大牟田町三池銀行支店　野田卯太郎、森時三郎)	長崎薬師寺某より株式申込の事	切紙	1	
2000		〔書簡〕	(明治26年)8月2日	福岡日日新聞社(印)	永江純一様(三池郡大牟田町)	株主総会終了の広告出稿依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2001		〔書簡〕	(明治26年)7月28日	井上友次郎(熊本市新屋敷町)	野田・永江老兄(筑后三池郡大牟田　野田卯太郎、永江純	紡績会社株式につき価格など照会	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2002		〔書簡〕	(明治26年)7月22日	岡茂平(久留米市)	永江純一様(三池郡大牟田町)	久留米惣会の模様、筑前での貸金担当者につき照会	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2003		〔書簡〕	(明治26年)7月13日	上田安三郎(東京兜町五番地三井物産合名会社)	野田卯太郎様(筑後国三池大牟田町三池紡績会社ニ而)	増錘・増株の件、10万円社債の件など尽力致す事、倫敦の件は渡辺専次郎へ相談せし事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2004		〔書簡〕	(明治26年)7月14日	政経(東京日本橋区数寄屋町平野てつ方　菅沼政経)	野田君(福岡県筑後国三池郡大牟田町三池紡績会社　野田卯太郎)	貴社増錘の件、タター氏と日本郵船会社の会合の件ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2005		〔書簡〕	(明治26年)7月25日	松延忠次(上妻郡福島町)	永江純一様、野田卯太郎様(三池郡大牟田町紡績会社)	東一安氏来訪の件、事業の協議のため次回総会には必ず出席する事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2006		〔書簡〕	(明治26年カ)1月31日	岡部政世	永江純一様、野田卯太郎様	紡績会社向けに紡績販売申入れ	継紙	1	封筒あり
2007		〔書簡〕	(明治26年)7月11日	政経(東京市日本橋区数寄屋町　しまやてつ方　菅沼政雄)	野田卯太郎様(福岡県筑後国大牟田町　三池紡績会社)	増錘につき建築・紡器機関の見積り、為替相場変動により増錘の確実なる予算は困難の事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2008		〔書簡〕	(明治期)10月22日	三井銀行　中井茂三郎	野田卯太郎様(三池紡績会	当地方の調書送付依頼	継紙	1	封筒あり
2009		〔書簡〕	(明治26年カ)8月4日	卯三郎(福岡県下筑後国三池郡大牟田町　三井物産合名会社出張店　香月卯三郎)	永江様	長崎税関へブローチ直段20円支払いの件につき照会	切紙	1	封筒あり
2010		〔書簡〕	(明治26年)7月31日	井上友次郎(熊本市新屋敷町)	永江高兄(筑后三池郡大牟田町　永江純一)	株式売買につき周旋依頼	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2011		〔書簡〕	(明治26年カ)7月1日	大津卯吉	永江純一様	和造糸25個出荷依頼	罫紙(2枚)	1	大津商店の罫紙使用。封筒あり
2012		〔書簡〕	(明治26年)8月22日	永江純一、大村務(印)(福岡県三池郡大牟田町　三池紡績会社)	野田卯太郎殿(東京市芝区南佐久間町信濃屋)	技手雇入の件、県庁へ定款再提出の事、定款印刷の件ほか	罫紙(2枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
2013		〔書簡〕	(明治38年)6月2日	貝島太助(鞍手郡直方町)	野田卯太郎殿(三池郡岩田村)	製鉄所二瀬炭坑開坑につきボーリング試掘場所など問合せ	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。2013～2041紙縒一括
2014	1	〔書簡〕	(明治28年頃)11月18日	小野隆基	野田卯太郎様	御先に帰県につき今般の入費及び大谷炭受け方の件について	継紙	1	2014-1～4封筒一括

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2014	2	〔書簡〕	(明治28年頃)12月18日	小野(隆基)	野田君	御見舞として麁品料2円進呈の事	切紙	1	
2014	3	記	(明治28年頃)	(小野隆基)		大谷坑採炭に関する島田氏問答大意	書綴(罫紙)	1	
2014	4	記	(明治28年頃)	(小野隆基)		大谷坑採炭期限・炭価などについて	書綴(罫紙)	1	
2015		〔書簡〕	(明治37年6月)21日	石黒(岡山市大字西中山下弁護士石黒涵一郎事務所)	野田老兄(福岡県三池炭坑ニ於て 野田卯太郎)	満州開発問題について上京中政友諸氏と面会、松田翁同意の事、満州炭坑に関し露国動向について	継紙	1	封筒あり。年月は封筒消印
2016		〔書簡〕	(明治26年)8月17日	三池紡績会社 森信夫	東京芝区南佐久間町信濃屋 野田卯太郎	十時雄三郎の通知あれども上京せざること、十時・益田孝動向	継紙	1	封筒あり
2017		〔書簡〕	(明治28年カ)11月15日	三池石炭合資会社(福岡県三池郡大牟田町)	野田卯太郎様	病気見舞い	継紙	1	封筒あり
2018		〔書簡〕	(明治36年カ)8月23日	山中立木	野田賢台(野田卯太郎)	三池郡石炭鉱区の件につき親類服部利明紹介	継紙	1	封筒あり
2019		〔書簡〕	(明治39年)5月5日	牛島(筑後八女郡星野村星野金鉱合資会社 牛島栄次郎)	野田老台(三池郡岩田村 野田卯太郎)	本月末決算報告の件につき総会開催、出席依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2020	1	〔書簡〕	(明治28年)11月27日	小野隆基(福岡県筑後国三池郡三池町)	野田卯太郎殿(東京芝区南佐久間町信濃屋ニテ)	明日御先に帰県の事、大谷坑炭受け方などの件、品川その他の動向及び増株に大株主異存なき事	継紙	1	2020-1～2封筒一括。年は封筒消印
2020	2	〔書簡〕	(明治28年)11月27日	小野(隆基)	野田君(野田卯太郎)	貴兄不時病患につき旅費準備金残り森へ渡したる事	継紙	1	
2021	1	〔書簡〕	(明治37年)6月29日	野田(筑後三池郡岩田村 野田卯太郎)	河原老台(佐賀県西松浦郡大河内村 河原茂輔)	別紙図面送付の事、一覧の上返却願いほか	切紙	1	2021-1～3封筒一括
2021	2	平山鉱区調	(明治37年)			鉱区上層炭採掘権一覧表	紙	1	
2021	3	平山鉱区関係図	(明治37年)				継紙	1	
2022		〔書簡〕	(明治□6年12月4日)	柳川 大村務	東京芝区南佐久間町二丁目信濃屋 野田卯太郎様		紙	1	虫損につき開封不可。封筒あり。年月日は封筒消印
2023		〔書簡〕	(明治28年)12月10日	銑三郎(牛込区大久保余[ ]九十二番地 立花銑三郎)	野田様(芝区南佐久間町信[ ] 野田卯太郎)	退院祝い、在宅の有無につき問合せ	継紙	1	封筒あり。封筒虫損甚し。年は封筒消印
2024		〔書簡〕	(明治28年)11月5日	林英吉(筑後三池郡大牟田町)	野田賢兄(東京芝区南佐久間町信濃屋 野田卯太郎)	退院祝いほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2025	1	〔書簡〕	(明治期)11日	前田下学(十二番地 近藤内)	野田賢台(信濃屋ニ而 野田卯太郎)	明日中帰県につき本夕参上のこと	継紙	1	2025-1～2封筒一括
2025	2	〔書簡〕	(明治期)11日	前田(下学)	野田賢兄(野田卯太郎)	明日訪問の件、病後見舞い	継紙	1	
2026		〔封筒〕	(明治期)	徳富猪一郎	野田卯太郎様	脇書「用事新聞」	封筒	1	
2027		〔書簡〕	(明治27年)12月5日	津田守彦(東中洲船越鉄道事務所)	野田卯太郎殿(東京芝区南佐久間町信濃屋)	退院祝い、合併交渉につき豊前・唐津など発起人の様子について、鉄道敷設の件など	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2028		〔書簡〕	(明治28年)12月4日	十時一郎(福岡県山門郡城内村)	野田卯太郎様(東京市芝区南佐久間町信濃屋)	退院祝いほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2029		〔書簡〕	(明治28年)12月(11日)	西原熊蔵(福岡県三池郡大牟田町大字横須)	野田卯太郎殿(東京市芝区南佐久間町信濃屋)	病状伺い	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2030		〔書簡〕	(明治28年)12月8日	しげ(筑後国三池郡岩田村字岩津 野田俊作)	卯太郎様(東京芝区南佐久間町信濃屋 野田卯太郎)	家族近況、恵比須祭礼は快気祝いとして行いし事	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2031		〔書簡〕	(明治28年)12月10日	祐典(王子村官舎 中村祐典)	野田賢台(相州三浦郡逗子養神亭 野田卯太郎)	快気祝いほか	継紙	1	虫損甚し。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2032		〔書簡〕	明治28年12月5日	大阪市西区江戸堀上通一丁目第三十八番邸　東華紡績株式会社創立事務所(印)	三池紡績株式会社　野田卯太郎殿	東華紡績株式会社発起につき300株引受けにつき照会、同会社目論見書付属	紙	1	印刷。封筒あり
2033		〔書簡〕	(明治28年)12月3日	上野弥太郎(福岡県早良郡鳥飼村)	野田賢兄(東京芝区南佐久間町信濃屋本店　野田卯太郎)	快気祝い、鉄道株引受申込の人気高き事、博多湾内実測費地方税より支出の件	継紙	1	封筒あり
2034		〔書簡〕	(明治期)12月11日	孝(益田孝)	野田老兄(野田卯太郎)	別紙品川よりの手紙送付	切紙	1	
2035		〔書簡〕	(明治29年頃)12月9日	(徳富)猪一郎	野田老台(野田卯太郎)	国民之友好評のため西洋人向け雑誌発行計画中につき協力依頼	継紙	1	
2036		〔書簡〕	(明治期)9月26日	是松右三郎	野田様(野田卯太郎)	鉄道収出予算の件につき門司へ出張の事、当地景況は津田君より聞取り願いほか	継紙	1	封筒あり
2037		〔電報〕	(明治)28年12月8日	ミイケホウセキトリシマリヤク(三池紡績取締役)	ミナミサクマテウ　シナノヤ　ノダウタロウ(南佐久間町信濃屋野田卯太郎)	臨時会日程の件(ジンジカイ二一ニチ)	電報	1	
2038		〔電報〕	(明治)28年12月10日	フクオカケンミイケミイケマチヲノダカモト(福岡県三池三池町)	ミナミサクマテウ　シナノヤ　ノダウタロウ)(南佐久間町信濃屋　野田卯太郎)	島田と面談の件(シヌダニハナシタツカウヨシイサイテカミ)	電報	1	
2039		〔電報〕	(明治)28年12月11日	ハカタナカシママチ　コレマツカタ　ミヤキ(博多中島町　宮城)	ミナミサクマテウ二シナノヤニテ　ノダウタロウ(南佐久間町信濃屋　野田卯太郎)	イシマル技師の船越線検査に尽力頼む(イシマルギシフナコシセンモケンサスルヨウジンリヨクタノムヘンマ	電報	1	
2040		〔電報〕	(明治)28年12月10日	フクヲオカハカタヒカシナカズフナコシテツドウジムシヨ　ミヤギカンイチ　ヲコヲキウヒヨ(博多東中洲船越鉄道事務所　宮城坎一、小河久四郎)	ミナミサックマテウ二、四、シナノヤ　ノダウタロウ(南佐久間町信濃屋　野田卯太郎)	イシマル技師九州出張の由、船越検査の件照会(イシマルギシ九シウシユツチヨウメイゼラレシトノコトフナコシテツドウモケンサセラレルタメカイツゴロクルカヘン)	電報	1	
2041		〔電報〕	(明治)28年12月11日	ハカタヒガシナカヅフナコシテツドウ　ソオウリツジムシヨ(博多東中洲　船越鉄道創立事務	ミナミサクマテウ　シナノヤカタノダウタロ(南佐久間町信濃屋野田卯太郎)	書類送付の件(イニンハヤクヲクレ)	電報	1	
2042	1	記	(明治29年)12月29日	堺店(印)	上	5寸土管20本代金2円余受取	切紙	1	2042-1～4封筒・紙縒一括。封筒上書「魚市場修繕目録入　卅年三月入」。2042～2063紐一括
2042	2	記	(明治30年)1月21日	上野金物店(印)	上様	カスカイ1貫460目代金58銭余受取	継紙	1	
2042	3	キ	(明治30年)2月12日	大工三代吉	正木殿	大工1人半代金51銭請取	切紙	1	
2042	4	記	(明治)29年7月1日	正木(印・「三池郡大牟田魚市場」)	野田様	鯛1貫70匁ほか代金1円余受取	切紙	1	
2043		〔書簡〕	(明治期)	二郎(矢野二郎)	正名君(芝公園第十四号　前田正名)	三池紡績野田卯太郎の紹介状	継紙	1	
2044		〔封筒〕		森時三郎	野田卯太郎様		封筒	1	
2045	1	〔封筒〕	(明治24年12月5日)	牛込区市ヶ谷柳町弐拾五番家永豊吉　久留米　倉八常雄	芝区南佐久間町信濃屋ニ而野田卯太郎様		封筒	1	2045-1～3封筒一括(久留米倉八幸雄より大牟田町野田卯太郎・永江純一宛)
2045	2	〔封筒〕	(明治25年)1月22日	熊本市新屋敷水道端壱番丁三百七番地　木原千楯	福岡県三池郡大牟田町土木会社ニ而　野田卯太郎殿		封筒	1	年は消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2045	3	〔封筒〕	(明治24・25年頃)	岡山県岡山市　岡田狐鹿	山門郡城内村　岡田孤鹿様、十時一郎様		封筒	1	
2046		〔書簡〕	(明治期)	筑後三池郡大牟田　野田卯太郎	肥後国玉名郡井手村字タクラ余田末人様		封筒	1	
2047	1	〔封筒〕	(明治24年頃)	猿渡達夫	永江純一様	脇書「御案内」	封筒	1	2047-1～13一纏り
2047	2	〔封筒〕	(明治24年頃)	猿渡達夫	野田卯太郎様	脇書「御案内」	封筒	1	
2047	3	〔封筒〕	(明治24年頃)	川崎紋兵衛	大牟田町ニテ　野田卯太郎様		封筒	1	
2047	4	〔封筒〕	(明治24年頃)	村上忠吉	野田卯太郎様		封筒	1	
2047	5	〔封筒〕	(明治24年10月14日)	倉永村　松岡進士	大牟田町三池土木会社内ニ而　永江純一殿、野田卯太郎		封筒	1	年月日は消印
2047	6	〔封筒〕	(明治24年頃)	上田村ヨリ　野田速水	大牟田町紡績会社　永江純一殿		封筒	1	
2047	7	〔封筒〕	(明治24年10月18日)	福岡日日新聞社　征矢野寿	三池郡大牟田　永江純一殿		封筒	1	年月日は消印
2047	8	〔封筒〕	(明治24年頃)	板井真澄	永江純一様、野田卯太郎様		封筒	1	
2047	9	〔封筒〕	(明治24年頃)	野口忠太郎	永江純一様、野田卯太郎様	脇書「御案内」	封筒	1	
2047	10	〔封筒〕	(明治24年10月27日)	下瀬高町　阿部松之助、古賀	三池郡大牟田町紡績会社ニテ　野田卯太郎殿		封筒	1	
2047	11	〔封筒〕	(明治24年頃)10月16日	村尾信雄	野田卯太郎様		封筒	1	
2047	12	〔封筒〕	(明治24年)9月13日	久留米市原古賀町百六十十番地　倉八常雄	三池郡大牟田町　三池紡績会社　野田卯太郎様		封筒	1	年は消印
2047	13	〔封筒〕	(明治24年頃)	森時三郎	野田卯太郎様		封筒	1	
2048		〔広告〕	(明治期)	山城屋		肥後名産朝鮮飴の広告	切紙	1	印刷
2049		〔新聞切抜等〕	(明治25年頃)			熊本新聞切抜数点、博多町長野嘉平名刺1点あり	新聞切抜など	1	封筒あり(森時三郎より野田宛)
2050		〔お年玉袋〕	(明治期)	(印・「熊本市[　]競商□岩本店」)			袋	1	
2051		〔葉書〕	(明治32年4月11日)	長崎西彼杵浦上五百四十三番地熊野方　野田瀧純	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎様	狂犬病治療のため長崎に到着の事	葉書	1	年月日は消印
2052		〔書簡〕	(明治31年)1月元日	岡部新太郎	筑后国三池郡岩津村　野田卯太郎様	年頭挨拶	紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2053		〔書簡〕	(明治期)12月25日	古閑(九州自由新聞社　古閑義明)	永江台兄(大牟田駅　永江純一)	かつて熟談の一件に関し社員松間差し出すにつき援助依頼	切紙	1	封筒あり
2054		〔封筒〕	(明治25年1月1日)	久留米市日吉町八十八番地森崎元記	三池郡大牟田町　□(永)江純一殿		封筒	1	年月日は消印
2055		〔封筒〕	(明治期)12月16日	肥前島原桜町橋口通　堀部房治郎(米屋)	永江純一様		封筒	1	
2056		〔封筒〕	(明治24年11月22日)	熊本市米屋町九州自由新聞社　古閑義明	福岡県大牟田町　永江純一殿	封筒のみ	封筒	1	年月日は消印
2057		〔書簡〕	(明治24年)11月27日	熊本市米屋町壱丁目九州自由新聞社　古閑義明	福岡橋口町石田屋　永江純一殿	若津へ設置の件に関する書面へ記名・調印願い	切紙	1	封筒あり
2058		〔書簡〕	(明治期)	小野隆基	□田紡績会社　大村務殿		封筒	1	
2059		〔書簡〕	(明治期)10月23日	野田俊作	永江先生	入学の件など近況報告	継紙	1	
2060		〔請求書〕	(明治期)			大鯛511貫30目代金259円余ほか書上	罫紙	1	
2061		四月中計算表	(明治期)			4月分619円余ほか書上	書綴(罫紙)	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2062		〔書簡〕	明治26年7月	福陵新報社主監　中島勝義（福岡市博多中島町六十一番	野田卯太郎殿（三池郡岩田村）	福陵新報社博多中島町に移転につき移転式の案内	切紙	1	印刷。封筒あり
2063		〔封筒〕	（明治大正期）			未記入	封筒	1	
2064		〔書簡〕	（明治期）8月16日	大迫（福岡県三池郡大牟田町九州肥料株式会社）	野田様	第4区より当選報知書の未着の件、第4区選挙長より職業直接国税額など取調中との回報ある事	継紙	1	封筒あり。2064～2067紐一括
2065		〔書簡〕	（明治期）1月2日	野田卯太郎	征矢野兄	衆議院解散につき各区に自党員当選のため尽力願い、面会のため羽飯塚和泉鉄泉場まで来訪願い	継紙	1	
2066	1	〔電報〕	明治25年2月9日	ヤナカワ局　ヤナカワクラブ	ナカエジユンイチ（永江純一）	明日二番よりやれ（アスニバンヨリヤ	電報	1	2066-1～9同折
2066	2	〔電報〕	明治25年2月9日	ヤナカワヨリ　ノダ（柳川　野田）	ヲヲムタマチ　ナカエジウンイチ（大牟田町　永江純一）	「イマケツキマダヲル」とあり	電報	1	
2066	3	〔電報〕	明治25年2月7日	ヤナガワ　イエナガ（柳川　家永）	ヲムタ　ノダウタロウ　ナガエジウンイチ（大牟田　野田卯太郎永江純一）	都合を付け直ぐ来い（ツコウヲツケスグコイ）	電報	1	
2066	4	〔電報〕	明治25年1月30日	トウケイ　ウシコメイチカヤヤナギギテウ二五　イエナガトヨキチ（東京牛込市ヶ谷　家永豊	ヲヲムタニテ　ノダウタロウ　ナガエシユンイチ（大牟田　野田卯太郎、永江純一）	明日発つ、三日に着く（アスタツミツカニツク）	電報	1	
2066	5	〔電報〕	明治25年2月3日	モジ　イエナガトヨ（門司　家永豊吉）	ヲヲムタ　ノダウタロウ　ナガエジウンイチ（大牟田　野田卯太郎、永江純一）	4時ヤヘカワに着く（ヨジヤヘカワニツク）	電報	1	
2066	6	〔電報〕	明治25年1月24日	ヤツシロホンマチ　ヲビヤヨリモリトキサフロウ（八代　森時三	ヲヲムタマチ　ナガエジユンイチ（大牟田町　永江純一）	明日総会頼む（アスソウクカイタノム）	電報	1	
2066	7	〔電報〕	明治25年2月6日	ヤナカワ　イエナガ（柳川　家永）	ヲムタ　ノダウタロウ　ナガエジウンイチ（大牟田　野田卯太郎、永江純一）	二番にて来る（ニバンニテクル）	電報	1	
2066	8	〔電報〕	明治24年10月4日	シマハラムラ　ニシムラ　シツマ	ヲムタマチ　ホウセキカイシヤウチ　ナガエジユンイチ（大牟田町　紡績会社　永江純一）	相場急ぐ返事（サウバイソグヘン）	電報	1	
2066	9	〔電報〕	明治25年2月1日	クマモトケンタマナクンタカセマチ　イチハラヤ　トクドミイイチロ（熊本県球磨郡高瀬町　徳富猪一郎）	ミイケ　フクオカケンヲムタボウセキカイシヤ　ノダウタロウ（大牟田　三池紡績会社　野田卯太郎）	明日一番にて来い（アスーバンニテコイ）	電報	1	
2067		〔書簡〕	（明治27年）10月11日	倉田敏助（仁川各国居留地）	野田卯太郎様（三池）	対朝鮮に関する政策について	継紙	1	封筒あり
2068		〔領収証〕	明治27年6月9日	川口郵便電信支局長鈴木忠正（印）（大阪）		為替金1円余領収	紙	1	2068～2075紙縒一括
2069		〔書簡〕	（明治27年）5月31日	蒲原熊五郎（早稲田）	野田宇太郎様（芝区佐久間町二丁め信濃屋ニテ）	兼ねて懇願の件につき依頼	継紙	1	封筒あり
2070	1	証	明治27年5月11日	大阪市北区中之島五丁目六拾六番屋敷　各国御定宿汽船取扱所　後藤　環龍舘（印）	野田様	御茶料1円ほか受取	紙	1	2070-1～10封筒一括。封筒上書「請取証入」
2070	2	領収証	明治27年5月28日	東京神田区駿河台南甲賀町拾九番地　渡辺良斎　会計掛	野田卯太郎殿	義歯代金8円領収	紙	1	
2070	3	証	明治27年6月4日	東京市芝区桜田備前町　「マル・幸」紙商　香寿堂　矢田朝次郎（印）	野田様	御名紙100枚代金23銭請取	切紙	1	
2070	4	記	（明治27年）5月18日	佐野屋　仁兵衛（印）	野田様	目倉嶋足袋5足代金1円余請取	切紙	1	
2070	5	記	（明治27年）5月11日	新屋　与吉	上	汽車より人力代ほか代金1円余受取	切紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2070	6	証	(明治)27年5月10日	大阪中之島五丁目　後藤玉城(印)	野田卯太郎殿	手数料2円請取	切紙	1	後藤環龍舘用紙使用
2070	7	記	明治27年6月8日	京都五条大橋東詰　旅舘ますや吉五郎	上様	御宿料ほか代金1円余請取	切紙	1	
2070	8	証	明治27年5月18日	岡本菊三郎(印・「芝区桜川町一番地・時計商・岡本店印」)	上	銀鍍金時計針直し代25銭請取	切紙	1	
2070	9	証	(明治27年)6月7日	開一新講社定宿　京都五条大はし東づめ　ますや吉五郎	貴客様	御茶料30銭受取	紙	1	
2070	10	記	(明治27年)5月30日	□□屋　元治朗	上	めいせん羽織仕立代18銭請取	切紙	1	
2071	1	記	(明治27年)6月4日	しなの屋(印)	野田様	電信使いほか代金3円余請取	継紙	1	2071-1～8封筒一括。封筒上書「廿七年五月ヨリ六迄　目六入　上京中の書類」
2071	2	記	(明治27年)6月6日	しなの屋(印)	野田様	呉服屋立替ほか代金8円余請取	継紙	1	
2071	3	記	(明治27年)6月5日	しなの屋(印)	野田様	5月分自由新聞ほか代金3円余請取	継紙	1	
2071	4	記	(明治27年)5月28日	しなのや　新助(印)	野田様	時計なおし代ほか代金1円請取	切紙	1	
2071	5	記	(明治27年)6月2日	しなのや　新吉(印)	野田様	チジミシヤツ1枚ほか代金21円余請	継紙	1	
2071	6	記	(明治27年)6月5日	越後屋　直吉(印・「芝区南佐久間町壱丁目・金銭受取・越	上様	柳合利1個ほか代金1円余請取	継紙	1	
2071	7	記	(明治27年)5月30日	しなの屋(印・「芝区南佐久間町二丁目・信新」)	野田様	巻紙ほか代金25円余請取	継紙	1	
2071	8	記	(明治27年)6月16日	後藤(印・「大阪中之島五丁目・環龍館・後藤」)	野田様	車代ほか5円余受取	継紙	1	
2072		〔書簡〕	(明治27年)12月17日	永井峰松(三池郡開村)	野田卯太郎様(福岡市博多川端町石田屋内ニテ)	就職周旋依頼	継紙	1	封筒あり
2073		征清幻灯演説会資金募集趣意書	明治27年11月	前東京絵入自由新聞記者　近藤鉄(博多行町万利方)	福岡県会議事堂ニテ　野田卯太郎殿		切紙	1	印刷。封筒あり
2074		〔書簡〕	(明治27年)11月12日	永吉小弟(小倉補充大隊第一中隊第三室　永吉当太郎)	野田賢台(大牟田ニ於テ　野田卯太郎)	兵員補欠として出征予定の事、此度の戦争につき朝鮮・中国などへの所	切紙 継紙	1	封筒あり
2075		〔封筒〕	(明治27年11月19日)	東京京橋区弥衛町七番地　帝国財政革新会	福岡県三池紡績株式会社　野田卯太郎様		封筒	1	年月日は消印
2076		〔書簡〕	(明治期)	熊本市洗西馬一丁目　奈須義質	筑後三池郡　大牟田紡績会社野田卯太郎、永江純一殿		封筒	1	
2077		〔通知〕	(明治)24年10月24日	三池郡第二課(印)	勧業委員　野田卯太郎殿	農産物芸品等共進会開催につき参観誘導依頼、農第三三八号	罫紙	1	
2078	1	〔書簡〕	(明治期)4月15日	門司石炭商組合　頭取安川敬一郎	野田卯太郎様	市制祝賀会開催につき案内	切紙	1	2078-1～2一纏り
2078	2	〔葉書〕	(明治期)			未使用	葉書	1	
2079		〔書簡〕	(明治)25年1月6日	河波荒次郎	野田宇太郎殿、永江純一殿	海老名禅正説教会案内	継紙	1	封筒あり
2080		〔書簡〕	(明治期)10月31日	純一(永江純一)	小田部様	面会申込み	継紙	1	虫損あり。封筒あり
2081		〔封筒〕	(明治期)	立花等	永江純一様		封筒	1	
2082	1	〔名刺〕	(明治期)	関勇平(河原町　中村福次郎)	洗馬ニ而　永江純一様		名刺	1	封筒あり(河原町中村福次郎より洗馬研屋永江純一宛)
2082	2	〔名刺〕	(明治期)	津吉太郎			名刺	1	
2083		〔書簡〕	(明治24年)12月24日	古閑(九州日日新聞社　古閑義明)	永江台兄(福岡県三池郡大牟田町　永江純一)	兼ねて嘆願の一件につき依頼、活字の件につき活版舎へ紹介願い	切紙	1	封筒あり。年は封筒消印

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2084		〔書簡〕	(明治期)7月3日	岩田村　山下教介	三池紡績会社ニテ　野田卯太郎様	彼の件につき河野修造君へ示談願い	継紙	1	封筒あり
2085		〔書簡〕	(明治27年カ)10月19日	小野(小野隆基)	野田様(野田卯太郎殿)	採炭の承諾期間につき益田・団へ相談依頼	継紙	1	封筒あり
2086		〔書簡〕	(明治27年カ)6月4日	鉱山会社益田使　岩成	野田様	立花との鎌倉行きに同道依頼	継紙	1	
2087		〔封筒〕	(明治期)	三池紡績会社	野田卯太郎殿		封筒	1	2087～2097紙縒一括
2088		〔封筒〕	(明治期)	駛馬村役場	野田卯太郎殿		封筒	1	
2089		〔封筒〕	(明治期)			「小田原成運」、「津村銕太郎」など墨書あり、未使用	封筒	1	
2090		〔書簡〕	(明治期)7月9日	津村鉄太郎	水野・野田様(水野澄治・野田卯太郎様)	帰宅通知	継紙	1	封筒あり
2091		〔封筒〕	(明治期)	福岡県三池　野田卯太郎	東京麹町平川町四丁目　三番地三橋ニ而　林英吉様		封筒	1	
2092		〔封筒〕	(明治期)		大村務		封筒	1	
2093		〔封筒〕	(明治期)	森三郎	野田卯太郎様		封筒	1	
2094		〔封筒〕	(明治期)	野田卯太郎	水野様		封筒	1	
2095		〔封筒〕	(明治期)	岩瀬	野田様		封筒	1	
2096		〔封筒〕	(明治24年度)	三池土木会社	野田卯太郎殿	「廿四年度取締日当」と上書あり	封筒	1	
2097	1	〔書簡〕	(明治期)	しける(岩津　野田しける)	野田卯太(大牟田町　野田卯太郎)	御前様上京悲しく思う事	罫紙	1	2097-1～2封筒一括
2097	2	〔袋〕	(明治期)	大阪市順慶町二丁目　帯谷宗兵衛		小袖綿商標印刷	袋	1	虫損あり
2098		〔通知〕	明治31年7月2日	株式会社三池銀行		株主総会開催につき案内	切紙	1	印刷。2098～2108紙縒一括
2099		〔通知〕	明治31年7月3日	九州倉庫株式会社		総会開催につき案内	切紙	1	印刷。委任状付(未記入)
2100	1	〔通知〕	明治31年7月20日	西海鉄道創立事務所	野田卯太郎殿	別紙決議につき	切紙	1	印刷。2100-1～2一纏り
2100	2	決議書	明治31年7月20日	西海鉄道創立委員	野田卯太郎殿	西海鉄道敷設発起否決につき	切紙	1	印刷
2101		〔通知〕	明治30年11月25日	福岡県農工銀行設立委員長入佐清静	設立委員　野田卯太郎様	福岡市での株式配賦方につき岡部委員の意見などについて	紙	1	印刷
2102		委任状	明治31年7月16日		(三池銀行)	三池銀行株主総会につき案内	切紙	1	印刷。未記入
2103		〔通知〕	明治26年7月3日	若津倉庫会社(印)	岩田村　野田卯太郎殿	株主総会開催につき案内	切紙	1	印刷
2104		〔通知〕	明治32年1月4日	九州倉庫株式会社		株主総会開催につき案内	切紙	1	印刷
2105		〔書簡〕	明治39年10月14日	赤松梅吉(東京市浅草区永住町九八、勝又方)	野田卯太郎様(福岡県三池郡岩田村)	満鉄に不採用につき貴下・佐木正蔵氏設立の門司船渠会社の事務に採用斡旋願い	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2106		〔通知〕	明治38年10月28日	阪鶴鉄道株式会社社長　田艇吉	野田卯太郎殿(東京芝区琴平町信濃屋支店ニテ)	株主総会開催につき案内	紙	1	印刷。封筒あり
2107	1	送金状	明治38年5月29日	九州鉄道株式会社経理課	野田卯太郎殿	新株証拠金誤戻し5円送付	切紙	1	2107-1～2一纏り
2107	2	〔地所書上〕	(明治期)			字ヱつる田1反余ほか	継紙	1	
2108		〔書簡〕	明治30年7月16日	東京赤坂　団琢磨(東京赤坂区丹後丁十七)	野田老台(福岡県筑後国三池郡大牟田町　三池紡績会社野田卯太郎)	船越鉄道当務者に宮城氏選任は不都合の事ほか	継紙	1	封筒あり
2109		〔包紙〕	(明治期)	箕面有馬電気軌道株式会社		慰労金1500円分、包紙のみ	包紙	1	
2110	1	〔書簡〕	明治38年11月4日	阪鶴鉄道株式会社　田艇吉	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村)	東海道本線・阪鶴線の鉄道事故につき報告	紙	1	印刷。2110-1～2封筒一括
2110	2	重役会議案	(明治)38年10月30日	(阪鶴鉄道株式会社)		第二橋立丸新造の件につき	紙	1	印刷

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2111		〔書簡〕	明治38年7月31日	艇吉(兵庫県川辺郡川西村ノ内寺畑村 阪鶴鉄道株式会社 田艇吉)	野田老台(筑後国三池郡岩田村 野田卯太郎)	株主会・重役会の模様	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2112	1	〔書簡〕	明治40年9月29日	筑後軌道株式会社	野田卯太郎殿	乗車券1枚進呈の事	切紙	1	2112-1～2封筒一括。封筒上書「筑後鉄道乗車券入 久留米吉井間」
2112	2	〔乗車券〕	明治40年10月1日	筑後軌道株式会社(印)	野田卯太郎殿	明治41年3月末日まで	紙	1	
2113	1	〔書簡〕	(明治40年)2月18日	筑後軌道株式会社 太田耕次郎	野田卯太郎様(東京市芝区琴平町信濃屋支店)	二車連結願いの件につき尽力願い	罫紙	1	筑後馬車鉄道株式会社の罫紙使用。2113-1、J4672封筒
2113	2	二車聯結運転願	明治40年12月24日	福岡県浮羽郡吉井町 筑後軌道株式会社 常務取締役太田耕次郎	内務大臣原敬殿		罫紙	1	筑後馬車鉄道株式会社の罫紙使用
2114	1	〔書簡〕	(明治期)6月2日	能原	野田君、森君	警察署新築寄付金引渡しの件につ	切紙	1	2114-1～2封筒一括
2114	2	〔書簡〕	(明治)6月2日	大牟田派出所	深井銀行大牟田支店御中	九州鉄道会社会計課振出分132円持参依頼	切紙	1	
2115		運輸収入概算報告	明治38年10月	兵庫県川辺郡川西村ノ内寺畑村 阪鶴鉄道株式会社	福岡県三池郡岩田村 野田卯太郎殿		紙	1	封筒あり
2116	1	〔葉書〕	(明治)41年5月25日	麹町区一番地七 新庄頼三(南満州鉄道株式会社)	市内芝区琴平町十三、信濃屋方 野田卯太郎様	領収証受取	葉書	1	2116-1～2封筒一括
2116	2	記	明治41年5月25日	南満洲鉄道株式会社(印)		新庄氏宛封書1通領収	切紙	1	
2117		貸借対照表	明治41年10月31日	箕面有馬電気軌道株式会社(大阪市北区堂島浜通弐丁目弐番地)	福岡県三池郡岩田村大字岩津二十三 野田卯太郎殿		罫紙	1	封筒あり
2118	1	〔葉書〕	明治42年4月14日	阪鶴鉄道株式会社専務清算人 田艇吉	福岡県三池郡岩田村大字岩津 野田卯太郎	株主総会開催につき通知	葉書	1	印刷。2118-1～2封筒一括
2118	2	〔書簡〕	明治42年4月12日	阪鶴鉄道株式会社専務清算人 田艇吉	(岩田村 野田卯太郎)	政府買収概算公債利子の分配について	紙	1	印刷
2119		貸借対照表	明治42年1月31日	箕面有馬電気軌道株式会社(大阪市北区堂島浜通弐丁目弐番地)	福岡県三池郡岩田村岩津 野田卯太郎殿		罫紙	1	封筒あり
2120		第参回定時株主総会及臨時総会通知書	明治42年4月7日	大阪市北区堂島浜通弐丁目弐番地 箕面有馬電気軌道株式会社 岩下清周	株主 野田しげ殿(福岡県三池郡岩田村大字岩津二三)	財産目録、貸借対照表など	紙	1	印刷。封筒あり
2121		〔書簡〕	明治42年4月7日	大阪市北区堂島浜通弐丁目弐番地 箕面有馬電気軌道株式会社 岩下清周	株主 野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村大字岩津二三)	財産目録、貸借対照表など	紙	1	印刷。封筒あり
2122	1	〔書簡〕	明治38年11月14日	田艇吉(兵庫県川辺郡川西村ノ内寺畑村 阪鶴鉄道株式会社事務所)	野田卯太郎様(福岡県三池郡岩田村)	舞鶴開港につき尽力乞う、神崎線衝突事故の件は好都合に処理できた事	継紙	1	2122-1～2封筒一括
2122	2	舞鶴開港ノ義ニ付建議	明治38年11月10日	阪鶴鉄道株式会社 社長 田艇吉	大蔵大臣男爵 曽根荒助殿		書綴	1	印刷
2123		運輸収入概算報告 明治三十八年九月上旬分	明治38年9月	兵庫県川辺郡川西村ノ内寺畑村 阪鶴鉄道株式会社事務所	福岡県三池郡岩田村 野田卯太郎殿	乗車人員・貨物噸数ほか	切紙	1	封筒あり。2123～2147紙縒一括
2124		書留郵便物受領証	明治37年2月12日	(筑後江ノ浦郵便局)	岩田村 野田卯太郎	九鉄仙石社長・久留米六一銀行三谷顕蔵宛書留につき	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2125		差入証	明治37年9月28日	野田卯太郎	三井物産合名会社 代表社員社長三井八郎次郎殿	阪鶴鉄道株式会社株式500株の名義書換につき	切紙	1	封筒あり。封筒上書「対三井物産会社関係 坂鶴鉄道ニ関スル書類入」
2126	1	〔書簡〕	(明治38年)4月25日	野田(福岡県三池郡岩田村大字岩津 野田卯太郎)	田阪鶴鉄道会社長殿(田艇吉)	咽喉病再発につき総会欠席の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2126	2	〔総会資料〕	明治38年4月	阪鶴鉄道株式会社		臨時総会議案、貸借対照表など	綴	1	紙5枚書類留(針・除去済)綴
2127		〔株主総会決議報告〕	明治37年10月15日	阪鶴鉄道株式会社取締役理事 田艇吉(兵庫県川辺郡川西村ノ内寺畑村)	福岡県三池郡岩田村大字岩津 野田卯太郎様	定款変更の件ほか	紙	1	印刷。封筒あり
2128	1	〔株主総会決議報告〕	明治37年10月27日	阪鶴鉄道株式会社社長 田艇吉	福岡県三池郡岩出(ママ)村野田卯太郎様	明治37年上半期計算書・損益勘定ほか	紙	1	印刷。2128-1～2封筒一括
2128	2	〔書簡〕	明治37年10月27日	阪鶴鉄道株式会社社長 田艇吉	(岩田村 野田卯太郎)	利益配当金受取の件	紙	1	印刷
2129	1	〔書簡〕	明治37年12月14日	社長 田艇吉(兵庫県川辺郡川西村ノ内寺畑村 阪鶴鉄道株式会社事務所)	重役 野田卯太郎殿(東京市芝琴ノ平一三、信濃屋支店)	列車事故につき重役会開催の事	紙	1	2129-1～2封筒一括
2129	2	〔総会資料〕	(明治37年12月)	(阪鶴鉄道株式会社)		8日谷川駅での事故報告書	綴	1	紙4枚書類留(針・除去済)綴
2130	1	重役会議案	明治37年12月20日	阪鶴鉄道株式会社社長 田艇吉	東京芝区琴平町十三信濃屋支店 野田卯太郎	列車遭難者弔慰の件ほか	綴	1	紙2枚書類留(針・除去済)綴
2130	2	運輸収入概算報告 明治三十七年十一月上旬分	明治37年11月	(阪鶴鉄道株式会社)	(東京信濃屋 野田卯太郎)		紙	1	
2130	3	運輸収入概算報告 明治三十七年十二月上旬分	明治37年12月	(阪鶴鉄道株式会社)	(東京信濃屋 野田卯太郎)		紙	1	
2131	1	〔書簡〕	(明治37年)11月4日	艇吉(兵庫県川辺郡川西村ノ内寺畑村 阪鶴鉄道株式会社事務所 田艇吉)	野田老台(福岡県三池郡岩田村 野田卯太郎)	当社監査役当選の件、舞鶴線視察へ来臨願い	継紙	1	2131-1～2封筒一括
2131	2	〔書簡〕	明治37年11月4日	社長 田艇吉	重役 野田卯太郎殿	舞鶴線視察の件	紙	1	印刷
2132		舞鶴線貸借契約書要領	(明治37年10月)	(阪鶴鉄道株式会社)			書綴(罫紙)	1	阪鶴鉄道株式会社の罫紙使用
2133	1	〔書簡〕	明治37年11月26日	社長 田艇吉(阪鶴鉄道株式会社)	重役 野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村大字岩津)	舞鶴宮津連絡汽船橋立丸の運行状況などの件	紙	1	印刷。2133-1～2封筒一括
2133	2	運輸収入概算報告 明治三十七年十一月中旬分	明治37年11月	(阪鶴鉄道株式会社)	(岩田村 野田卯太郎)		紙	1	
2134	1	〔書簡〕	11月18日	田艇吉(阪鶴鉄道株式会社社長)	野田卯太郎様(福岡県三池郡岩田村ノ内大字岩津)	官線舞鶴線借用の件につき契約要領など別紙差上の事	継紙	1	2134-1～2封筒一括
2134	2	運輸収入概算報告 明治三十七年十一月下旬分	明治37年11月	(阪鶴鉄道株式会社)	(岩田村 野田卯太郎)		紙	1	
2135		〔書簡〕	明治37年12月8日	阪鶴鉄道株式会社 社長 田艇吉	野田卯太郎殿(三池郡岩田村大字岩津)	列車事故報告	紙	1	印刷。封筒あり
2136		〔舞鶴線借用料算定方法〕	(明治37年頃)	阪鶴鉄道株式会社	福岡県三池郡岩田村 野田卯太郎		書綴(罫紙)	1	
2137		〔書簡〕	(明治期)6月6日	野田	仁尾専売局長殿	八女郡木下治郎の煙草元売捌出願の件につき依頼	継紙	1	
2138		〔書簡〕	(明治期)28日	石黒涵一郎	野田卯太郎様	鞍手郡笠松村の鉱区を貝島氏に売却したいので紹介頼む	継紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2139	1	〔書簡〕	明治38年8月23日	社長　田艇吉(兵庫県川辺郡川西村ノ内寺畑村　阪鶴鉄道株式会社事務所)	重役　野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田邨)	重役会開催につき通知	紙	1	印刷。2139-1～4封筒一括
2139	2	(重役会)議案	明治38年8月28日	(阪鶴鉄道株式会社)	(岩田村　野田卯太郎)	枕木増加の件、船舶明細書ほか	綴	1	紙3枚書類留(針・除去済)綴
2139	3	報告	(明治38年8月)	(阪鶴鉄道株式会社)	(岩田村　野田卯太郎)	本線営業の概況ほか	綴	1	紙2枚書類留(針・除去済)綴
2139	4	重役会議案	(明治38年8月)	(阪鶴鉄道株式会社)	(岩田村　野田卯太郎)	航海補助命令事項の件ほか	綴	1	紙3枚書類留(針・除去済)綴
2140		電報送達紙	(明治37年)10月27日	タカラツカ局　デツ(兵庫県川辺郡川西村ノ内寺畑村　阪鶴鉄道株式会社)	ミイケグンイワタムラ　アザイワツ　ノダウタロウ(三池郡岩田村野田卯太郎)	監査役当選の通知(ケウソウカイニテカンサヤクニゴトウセンナリタゴセウダクネゴウ)	電報	1	封筒あり。封筒上書「阪鶴鉄道　重役当選電信入」
2141	1	〔書簡〕	明治37年10月28日	阪鶴鉄道株式会社社長　田艇吉(印)	野田卯太郎殿	監査役へ就任依頼	罫紙	1	2141-1～2封筒一括。封筒上書「阪鶴鉄道監査役当選通知書及承諾書扣入　明治卅七年十月」
2141	2	承諾書扣へ	明治37年10月31日	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎印	阪鶴鉄道株式会社社長　田艇吉殿	監査役当選承諾の事	罫紙	1	
2142	1	〔総会決議報告〕	明治38年4月28日	阪鶴鉄道株式会社社長　田艇吉(兵庫県川辺郡川西村ノ内寺畑村)	福岡県三池郡岩田村大字岩津　野田卯太郎様	第18回定時総会につき	紙	1	印刷。2142-1～2封筒一括
2142	2	〔書簡〕	明治38年4月28日	阪鶴鉄道株式会社社長　田艇吉	(岩田村　野田卯太郎)	利益配当金受取について	紙	1	印刷
2143		写	(明治)39年2月28日	島徳商店	野田卯太郎様	貸越担保として阪鶴鉄道株150株預りの事	罫紙	1	封筒あり。封筒上書「阪鶴株式ニ関スル要用書入」
2144		運輸収入概算報告　明治三十八年八月上旬分	明治38年8月	兵庫県川辺郡川西村ノ内寺畑村　阪鶴鉄道株式会社事務所	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿		罫紙	1	封筒あり
2145	1	〔通知〕	明治38年4月14日	阪鶴鉄道株式会社々長　田艇吉(兵庫県川辺郡川西村ノ内寺畑村)	福岡県三池郡□(岩)田村大字岩津　野田卯太郎様	株主総会開催につき案内、貸借対照表など総会資料付	紙	1	印刷。2145-1～2封筒一括
2145	2	委任状	明治38年4月			株主総会につき	葉書	1	未記入
2146	1	重役会議案	明治39年4月28日	阪鶴鉄道株式会社社長　田艇吉	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿	寄附金の件ほか	紙	1	2146-1～2封筒一括
2146	2	〔総会議案〕	(明治39年4月)	(阪鶴鉄道株式会社)	(岩田村　野田卯太郎)	利益金分配に関する件ほか	紙	1	
2147	1	重役会議案	明治38年4月28日	阪鶴鉄道株式会社	野田卯太郎	貨車新造の件ほか	綴	1	紙2枚書類留(針・除去済)綴。2147-1～3封筒一括
2147	2	〔書簡〕	明治38年4月29日	阪鶴鉄道株式会社　社長　田艇吉(印)	野田卯太郎殿	監査役に当選につき承諾依頼	罫紙	1	阪鶴鉄道株式会社の罫紙使用
2147	3	〔書簡〕	(明治38年)4月29日	田艇吉(兵庫県川辺郡川西村ノ内寺畑村　阪鶴鉄道株式会社事務所)	野田老台(福岡県三池郡岩田村岩津　野田卯太郎殿)	飯田君清国より帰還の事、重役・監査役選挙の件ほか	継紙	1	
2148		〔書簡〕	(明治41年)10月4日	古野尚雄(大阪市北区堂島浜通り二丁め二番地　大阪箕面有馬電鉄社内)	野田卯太郎様(福岡県三池郡岩田村大字岩津)	御紹介の速水氏に面接し採用せし事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。2148～2180紙縒一括

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2149		第弐回定時株主総会及臨時株主総会通知書	明治41年10月3日	大阪市北区堂島浜通弐番地 箕面有馬電気軌道株主会社 専務取締役　小林一三	株主　野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村大字岩津)	財産目録・貸借対照表ほか	紙	1	印刷。封筒あり
2150		第弐回定時株主総会及臨時株主総会通知書	明治41年10月3日	大阪市北区堂島浜通弐番地 箕面有馬電気軌道株主会社 専務取締役　小林一三	株主　野田しげ殿(福岡県三池郡岩田村大字)	財産目録・貸借対照表ほか	紙	1	印刷。封筒あり
2151		〔封筒〕	明治41年5月4日	大阪市北区堂島浜通弐丁目弐番地　箕面有馬電気軌道出張所　小林一三	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎様		封筒	1	
2152		〔資産負債表・4月分総経費明細表〕	明治41年5月4日	大阪市北区堂島浜通弐丁目弐番地　箕面有馬電気軌道株式会社出張所	福岡県三池郡岩田村字岩津二三　野田卯太郎殿	資産負債表及び総経費明細表	綴	1	罫紙2枚書類留(針・除去済)綴
2153		第弐回報告書　自明治四拾壱年四月壱日至明治四拾壱年九月参拾日	明治41年9月30日	箕面有馬電気軌道株式会社(大阪市北区堂島浜通弐丁目弐番地)	福岡県三池郡岩田村大字岩津　野田卯太郎殿		書冊	1	印刷。通知1点(総会決議報告)挟込あり。封筒あり
2154	1	株式会社博多冷蔵庫　創立趣意書・目論見書・収支予算書・定款	(明治40年)8月27日	博多冷蔵庫株式会社創立事務所	岩田村　野田卯太郎		書冊	1	印刷。2154-1～3封筒一括
2154	2	株式申込証	明治40年	申込人	株式会社博多冷蔵庫発起人御中		切紙	2	印刷。未記入
2154	3	〔印鑑届け〕	明治(40年)	(株式会社博多冷蔵庫)			紙	1	未記入
2155	1	〔通知〕	明治40年9月11日	箕面有馬電気株式会社創立事務所　小林一三代(印・「上	野田卯太郎殿(東京芝区信濃屋方)	株式払込期日延期につき	罫紙	1	2155-1～2封筒一括
2155	2	〔通知〕	明治40年9月11日	大阪市東区高麗橋壱丁目壱番地　箕面有馬電気軌道株式会社創立委員長　田艇吉	銀行御中	第1回株式払込期日延期につき	罫紙	1	
2156		〔封筒〕	(明治40年11月1日)	大阪市東区高麗橋壱丁目壱番地　箕面有馬電気軌道株式会社	福岡県三池郡岩田村岩津二三番地　野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印
2157		〔通知〕	明治40年10月4日	箕面有馬電気軌道株式会社発起人　創立委員長　田艇吉	野田しけ殿(福岡県三池郡岩田村)	当会社創立総会開催につき案内	切紙	1	封筒あり
2158		〔封筒〕	(明治40年10月23日)	大阪市東区高麗橋壱丁目壱番地　箕面有馬電気軌道株式会社	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿		封筒	1	年月日は消印
2159	1	〔通知〕	明治40年10月19日	箕面有馬電気軌道株式会社(大阪市東区高麗橋壱丁目)	株主殿		紙	1	印刷。2159-1～3封筒一括
2159	2	資産負債表	明治40年10月18日	箕面有馬電気軌道株式会社			紙	1	印刷
2159	3	箕面有馬電気軌道株式会社株主名簿	(明治40年10月)	(箕面有馬電気軌道株式会社)			紙	1	印刷
2160	1	〔通知〕	明治40年8月15日	大阪市東区高麗橋壱丁目壱番地　箕面有馬電気軌道株式会社創立事務所(印・「上林」)	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村　野田しけ)	各株主・関係先へ別紙の通り通知の事	罫紙	1	2160-1～2封筒一括
2160	2	〔書簡〕	明治40年8月15日	箕面有馬電気軌道株式会社創立委員長　田艇吉		会社の早期設立のため株式払込願い、第1期線計画案ほか	紙	1	印刷。2171、2173と同文
2161	1	資産負債表	明治40年12月31日	箕面有馬電気軌道株式会社	福岡県三池郡岩田村岩津二三　野田卯太郎殿		紙	1	印刷。2161-1～2封筒一括
2161	2	経費明細表	明治40年12月31日	箕面有馬電気軌道株式会社	(岩田村　野田卯太郎)		紙	1	印刷

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2162	1	〔書簡〕	明治40年8月24日	小林一三代(印・「上林」)(大阪市東区高麗橋壱丁目壱番地　箕面有馬電気軌道株式会社創立事務所)	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村)	第1回株式払込みにつき約束手形の期日・日歩など取り決めの事	罫紙	1	2162-1～2封筒一括
2162	2	〔書簡〕	明治40年8月26日	小林一三(印)	野田卯太郎殿	貴殿約束手形1万円の担保として箕面有馬電気軌道株式会社株式1000株受取	罫紙	1	
2163	1	〔書簡〕	(明治41年)6月19日	守山(大阪市南区内安堂寺町二丁目　守山又三)	芝区琴平町信濃屋支店　野田卯太郎殿	北浜銀行利息計算書を送付の事、この件に関し岩下に注意せし事	継紙	1	2163-1～2封筒一括
2163	2	割引勘定書	明治41年6月18日	株式会社北浜銀行(印・「鶴山」)	野田様		紙	1	
2164	1	〔通知〕	明治41年4月21日	守山又三(大阪市東区横堀一丁目廿七番地　藤本清兵衛)	野田卯太郎様(三池郡岩田村)	北浜銀行手形引替につき前期手形返戻しの事	罫紙	1	2164-1～2封筒一括
2164	2	為替手形	明治41年2月4日	野田卯太郎(印)	野田卯太郎殿	金1万3000円、支払地大阪市北浜銀行	紙	1	
2165	1	〔通知〕	明治41年5月10日	阪鶴鉄道株式会社専務清算人　田艇吉	福岡県三池郡岩田村大字岩津廿三番地　野田卯太郎様	監査役改選につき通知	紙	1	印刷。2165-1～2封筒一括
2165	2	〔通知〕	明治41年5月9日	阪鶴鉄道株式会社専務清算人　田艇吉		政府買収概算公債利子配分について	紙	1	印刷
2166		受証	明治41年5月31日	福岡県三池郡岩田村大字岩津二十三番地ノ一　勲四等野田卯太郎(印)	福岡県知事　寺原長輝殿	衆議院議員当選証書につき	罫紙	1	
2167	1	資産負債表	明治41年7月31日	箕面有馬電気軌道株式会社	福岡県三池郡岩田村大字岩津二十三番　野田卯太郎殿		罫紙	1	2167-1～2封筒一括
2167	2	総係費明細表・工事監督費明細表	(明治41年7月)	(箕面有馬電気軌道株式会社)			罫紙	1	
2168	1	手形案内状	明治41年4月1日	大阪市東区北浜三丁目　株式会社北浜銀行(印)	野田卯太郎殿	手形1万3000円につき	紙	1	2168-1～2封筒一括。封筒上書「北浜割引料金目録入」
2168	2	記	(明治41年4月)	(北浜銀行)	(野田卯太郎)	為替手形1万3000円につき日歩算用書上	罫紙	1	
2169	1	〔通知〕	(明治41年)4月25日	箕面有馬電気軌道株式会社専務取締役　小林一三	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村二十三番地)	当会社発起人への慰労金贈与の件	罫紙	1	2169-1～2封筒一括
2169	2	〔通知〕	(明治41年)	箕面有馬電気軌道株式会社専務　取締役　小林一三	株主　殿	株主総会開催につき案内	紙	1	印刷
2170	1	〔書簡〕	明治41年6月17日	箕面有馬電気軌道株式会社専務取締役　小林一三(印)	野田卯太郎殿(東京市芝区琴平町信濃屋方)	鈴木久次郎ほか2名の会社発起人への株式申込証拠金取戻請求訴訟事件は示談とする事	罫紙	1	2170-1～2封筒一括
2170	2	〔書簡〕	明治41年6月17日	箕面有馬電気軌道株式会社専務　取締役　小林一三(印)	監査役可　野田卯太郎殿	同社発起人への株式申込証拠金取戻請求訴訟事件は示談とする事	罫紙	1	
2171		〔書簡〕	明治40年8月15日	箕面有馬電気軌道株式会社創立委員長　田艇吉(大阪市東区高麗橋壱丁目壱番地)	福岡県三池郡岩田村　野田しけ殿	会社の早期設立のため株式払込願い、第1期線計画案ほか	紙	1	印刷。封筒あり。2160-2、2173と同文
2172		〔通知〕	明治40年8月6日	大阪市東区高麗橋壱丁目壱番地　箕面有馬電気軌道株式会社発起人創立委員長　田艇	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村)	当会社第1回払込金につき期日・取扱銀行など通知	紙	1	印刷。封筒あり
2173		〔書簡〕	明治40年8月15日	箕面有馬電気軌道株式会社創立委員長　田艇吉	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎殿	会社の早期設立のため株式払込願い、第1期線計画案ほか	紙	1	印刷。封筒あり。2160-2、2171と同文

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2174	1	箕面有馬電気軌道株式会社株主名簿	(明治40年10月)	(箕面有馬電気軌道株式会社)			紙	2	印刷。2174-1～5封筒一括。封筒上書「箕面有馬電気軌道株式会社創立総会報告書并ニ定款及株主名簿入　四十年十月
2174	2	箕面有馬電気鉄道特許状及命令書	(明治40年10月)	(箕面有馬電気軌道株式会社)		箕面有馬電気鉄道特許状及び命令書	書冊	1	印刷
2174	3	資産負債表	明治40年10月18日	箕面有馬電気軌道株式会社発起人			紙	2	印刷
2174	4	箕面有馬電気鉄道株式会社定款	明治39年12月22日	発起人　土居通夫、野田卯太郎ほか5名			紙	2	印刷。朱書訂正あり
2174	5	〔通知〕	(明治40年10月)	小林一三	野田卯太郎殿	創立総会決議事項につき	罫紙	1	箕面有馬電気軌道株式会社創立事務所の罫紙使用。印刷
2175	1	〔通知〕	明治41年6月1日	専務取締役　小林一三(印)(大阪市北区堂島浜通弐丁目弐番地　箕面有馬電気軌道株式会社出張所)	監査役　野田卯太郎殿(東京市芝区琴平町信濃屋方ニテ)	重役会議決議事項につき	罫紙(3枚)	1	2175-1～2封筒一括
2175	2	資産負債表・総係費明細表	明治41年5月31日	(箕面有馬電気軌道株式会		資産負債表	罫紙	1	
2176	1	委任状	明治41年4月30日	野田シケ(印)		箕面有馬電気軌道株式会社株配当金受取の件	罫紙	1	2176-1～4封筒一括。封筒上書「四十年五月八日　箕面有馬電気軌道株式会社取締小林君書簡則要用書類入」
2176	2	〔書簡〕	(明治41年5月)	小林一三	守山様(守山又三)	野田様委任状は不要につき返却依頼	罫紙(2枚)	1	箕面電気軌道株式会社の罫紙使用
2176	3	〔書簡〕	明治41年5月4日	小林一三	野田老台(野田卯太郎)	委任状不要につき守山を通して返却の件	罫紙(2枚)	1	箕面電気軌道株式会社の罫紙使用
2176	4	〔書簡〕	(明治41年)5月4日	守山又三	野田卯太郎	小林一三氏より別紙送達につき回付の事	切紙	1	
2177	1	〔通知〕	明治40年8月6日	箕面有馬電気軌道株式会社発起人創立委員長　田艇吉	野田卯太郎殿(福岡県三池郡岩田村字岩津)	第1回払込金につき期限・取扱銀行など通知	紙	1	印刷。2177-1～2封筒一括
2177	2	〔書簡〕	明治40年8月5日	小林一三(印)	野田卯太郎殿	当会社申請の大阪市内の電気鉄道延長願が市参事会で可決につき至急株式の払込依頼	罫紙	1	箕面有馬電気鉄道創立事務所の罫紙使用。朱書訂正あり
2178		〔書簡〕	明治41年2月20日	箕面有馬電気軌道株式会社専務取締役　小林一三(大阪市東区高麗橋壱丁目壱番地)	監査役　野田卯太郎殿(東京芝区琴平町信濃屋方)	作業順序案により第1期工事など進行中の事ほか	綴	1	罫紙6枚綴。封筒あり
2179	1	経費明細表	(明治41年2月1日)	箕面有馬電気軌道株式会社(大阪市東区高麗橋壱丁目壱			罫紙	1	印刷。2179-1～3封筒一括
2179	2	資産負債表	明治41年1月31日	箕面有馬電気軌道株式会社			罫紙	1	
2179	3	〔書簡〕	明治41年2月4日	箕面有馬電気軌道株式会社専務取締役　小林一三	野田卯太郎殿	箕面有馬電気鉄道発起人への訴訟事件に関し別紙委任状へ調印願い	罫紙	1	裏墨書「二月四日委任状逓送」
2180	1	第壱回定時株主総会及臨時株主総会通知書	明治41年4月10日	大阪市北区堂島浜通弐丁目弐番地　箕面有馬電気軌道株式会社専務取締役　小林一三	株主　野田卯太郎殿	財産目録・貸借対照表など付	紙	1	印刷。2180-1～9封筒一括

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2180	2	〔名刺〕	(明治41年4月)	衆議院議員　野田卯太郎			名刺	1	
2180	3	〔通知〕	明治41年4月6日	箕面有馬電気軌道株式会社専務取締役　小林一三(印)	監査役　野田卯太郎殿	重役会開催につき案内、重役会議案付	綴	1	罫紙3枚書類留(針・除去済)綴
2180	4	〔書簡〕	明治40年11月19日	大阪市東区高麗橋壱丁口壱番地　箕面有馬電気軌道株式会社出張所	野田卯太郎殿	当会社延長線(阪神京阪連絡線)出願の件は大阪府庁へ差出の事、延長線図面送付の事	罫紙	1	
2180	5	箕面有馬電気軌道延長線路平面図	(明治40年11)			縮尺1万分の1	紙	1	印刷
2180	6	資産負債表・総係費明細表	明治41年3月31日	箕面有馬電気軌道株式会社(印・「小林」)			罫紙	1	
2180	7	記	(明治期)2月4日	義一	野田様	小切手1万1590円余分送付の事	継紙	1	
2180	8	資産負債表・経費明細表	明治40年11月30日	箕面有馬電気軌道株式会社(印・「小林」)(大阪市東区高麗橋壱丁目壱番地)	東京市芝区琴平町信濃屋方野田卯太郎殿		綴	1	罫紙2枚書類留(針・除去済)綴。封筒あり
2180	9	〔書簡〕	明治40年11月13日	大阪市東区高麗橋壱丁目壱番地　箕面有馬電気軌道株式会社出張所　小林一三	野田卯太郎殿	箕面有馬電気鉄道発起人への訴訟事件について	罫紙	1	
2181	1	九州鉄道株式会社定時株主総会決議要領	明治38年10月27日	九州鉄道株式会社(門司市)	株主御中(三池郡岩田村二三野田卯太郎殿)		切紙	1	印刷。2181-1～4封筒一括。2181～2184紙縒一括
2181	2	〔通知〕	明治38年10月30日	阪鶴鉄道株式会社社長　田艇吉	(岩田村　野田卯太郎)	第19回定時総会議案などにつき	紙	1	印刷
2181	3	〔通知〕	明治38年10月30日	阪鶴鉄道株式会社社長　田艇吉	(岩田村　野田卯太郎)	配当金分配につき	紙	1	印刷
2181	4	〔通知〕	明治38年10月27日	九州鉄道株式会社(門司市)	(岩田村　野田卯太郎)	株主総会決議事項につき	切紙	1	印刷
2182		〔通知〕	明治37年9月1日	九州鉄道株式会社(門司市)	株主　殿(福岡県三池郡岩田村二三　野田卯太郎殿)	株式払込につき	切紙	1	印刷。封筒あり。封筒裏墨書「十一月四日払込の事」
2183	1	〔通知〕	明治40年10月28日	九州鉄道株式会社清算事務所	株主　殿(福岡県門司市　九州鉄道株式会社清算事務所)	総会決議事項につき	切紙	1	2183-1～2封筒一括
2183	2	九州鉄道株式会社株主総会決議要領	明治40年10月28日	九州鉄道株式会社清算事務所	株主御中(福岡県三池郡岩田村二三　野田卯太郎)		切紙	1	印刷
2184		〔通知〕	明治40年2月25日	九州鉄道株式会社	株主　殿(福岡県三池郡岩田村二三　野田卯太郎)	株式払込につき	切紙	1	封筒あり
2185	1	〔通知〕	明治38年4月27日	九州鉄道株式会社	株主　殿	利益配当方法につき	切紙	1	印刷。2185-1～13封筒一括。封筒上書「九鉄新株申込ニ関スル書類入　卅八年五月」。2185～2204
2185	2	〔通知〕	明治37年4月28日	九州鉄道株式会社	株主　殿	株主総会決議の件、利益配当金の	切紙	1	印刷
2185	3	九州鉄道株式会社定時臨時株主総会決議要領	明治38年4月27日	九州鉄道株式会社	株主御中		切紙	1	印刷
2185	4	〔通知〕	明治38年4月11日	九州鉄道株式会社社長　仙石貢	株主　殿	第23回定時株主総会など開催につき	切紙	1	印刷
2185	5	〔書簡〕	明治38年5月1日	福岡市博多下対馬小路　住友銀行博多支店	野田卯太郎殿	九鉄新株申込証拠金領収証送付の事	罫紙	1	
2185	6	九州鉄道株式会社定時臨時株主総会決議要領	明治37年4月27日	九州鉄道株式会社社長　仙石貢	株主御中		切紙	1	印刷

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2185	7	〔書簡〕	(明治37・38年)			所有地の家屋保存登記受取に関する件	罫紙	1	
2185	8	〔書簡〕	明治38年5月16日	九州鉄道株式会社　総務課株式係	野田卯太郎殿	別紙申込書一通訂正漏れあるにつき修正依頼	罫紙	1	
2185	9	〔通知〕	明治38年3月8日	京釜鉄道株式会社総裁　古市公威		定時総会開催につき	切紙	1	印刷
2185	10	〔通知〕	明治38年3月	九州鉄道株式会社	株主　殿	新株募集決定、申込方法について	切紙	1	印刷
2185	11	第三十三回定時株主総会議案	明治38年4月27日	九州鉄道株式会社		財産目録・貸借対照表ほか	紙	1	印刷
2185	12	〔通知〕	(明治37・38年)	九州鉄道株式会社総務課(印)	野田卯太郎殿	新株引受申込証の株数訂正の件につき	紙	1	印刷
2185	13	〔書簡〕	明治38年5月5日	門司市　九州鉄道株式会社(印)	野田卯太郎殿	新株払込の払過金につき照会	罫紙	1	
2186		〔書簡〕	明治39年5月28日	新藤(門司市大久保　新藤保太郎)	野田賢台(筑後国三池郡渡瀬村　野田卯太郎)	門司ドックの件につき鹿毛氏ほかとの会合予定について	罫紙(3枚)	1	門司造船所用箋使用。封筒あり
2187		〔書簡〕	(明治38年)5月26日	保太郎、実(佐世保ツルヤ旅館　　富安保太郎、佐藤実)	野田老兄(福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎)	用船米山丸の都合により出帆延期の事	継紙	1	封筒あり
2188	1	〔通知〕	明治42年4月	九州鉄道株式会社清算事務所(福岡県門司市)	株主　殿(三池郡岩田村　野田卯太郎)	利子分配の件につき	切紙	1	印刷。2188-1～2封筒一括
2188	2	利子分配金計算書	明治42年4月15日	専務清算人　仙石貢、清算人安川敬一郎ほか7名、監査役伊丹弥太郎ほか2名			切紙	1	印刷
2189		〔通知〕	明治39年5月28日	株式会社三池銀行(印)	野田卯太郎殿	貸越金利息変更につき	切紙	1	印刷
2190		〔書簡〕	(明治期)1月25日	三池郡岩田村　野田卯太郎	九鉄株式会社　仙石社長御中(仙石貢)	十七銀行より柳川銀行へ配当金受取を変更致し度につき照会	継紙	1	封筒あり。封筒上書「九鉄ニ関スル書類入」
2191		〔覚書〕	明治40年2月22日	野田、由布、中村、富安、矢加部		熊本代議士の増水工事につき協議の件ほか	継紙	1	封筒あり。封筒上書「矢部川ニ付在京中協議セシ事項」
2192		〔書簡〕	明治39年11月22日	福岡日日新聞社(印・「福岡県福岡市福岡天神丁九十五番地」)	野田卯太郎殿	増資金500円銀行小切手受取につき領収証送付の事	綴	1	罫紙2枚糊付綴。証1通付(小切手500円領収)。封筒あり。封筒上書「福日新聞払込領収証入　三池銀行
2193		〔書簡〕	(明治38年)6月5日	小林重威(福岡県庁　小林事務官)	野田老台(三池郡岩田村　代議士野田卯太郎)	八女郡における異論の鎮撫策について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2194	1	〔通知〕	明治38年1月	日銀西部支店　大牟田派出所	岩田村　野田卯太郎殿	国債50円1枚引換につき	紙	1	2194-1～2同折
2194	2	〔通知〕	明治38年6月5日	三池銀行内　日銀西部支店大牟田派出所	岩田村　野田卯太郎殿	国債引換につき	紙	1	
2195		〔辞令〕	明治42年1月14日	内閣	勲四等　野田卯太郎(東京市芝区琴平町十三番地　信濃屋支店方)	東洋拓殖株式会社設立委員被免	紙	1	封筒あり。封筒上書「四十二年一月十四日　東洋拓殖会社設立委員被免辞令　内
2196		〔書簡〕	(明治40年4月)13日	義一(東京日本橋区駿河町壱番地　三井物産合名会社　飯田義一)	野田様(福岡県三池郡岩田村野田卯太郎)	箕面電気株の申込延期の件	継紙	1	封筒あり。年月は封筒消印
2197		〔書簡〕	明治41年5月8日	福岡日日新聞社(福岡市)	野田卯太郎様(三池郡岩田	新聞掲載のため写真1枚送付願い	切紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2198		新株式引受申込証	明治38年(5月)	福岡県三池郡岩田村大字岩津廿三番地　野田卯太郎	九州鉄道株式会社々長　仙石貢殿	九鉄新株57株につき	切紙	1	印刷。封筒あり(門司市九州鉄道株式会社より岩田村野田卯太郎宛)。封筒裏上書「新株申込用紙入」
2199	1	欧米漫遊送別会大牟田の諸君出席名簿	(明治)42年6月15日				長帳	1	2199-1～2封筒一括。封筒上書「大牟田送別会人名簿入付鳥巣君の俳句」
2199	2	〔俳句〕	(明治42年6月15日)	鳥巣(憲治)	大塊雅兄(野田卯太郎)		罫紙	1	三池郡大牟田町役場の罫紙使用
2200	1	〔電報〕	(明治40年)12月29日	アヲイテウ局　クシハラ	ムメダヒサゴヤカタ　ノダウタロ(大阪梅田　野田卯太郎)	書留出した(カキドメダシタ)	電報	1	2200-1～5封筒一括。封筒上書「俊作送金受取書入」
2200	2	郵便物受領証	(明治41年)1月4日	(筑後渡瀬郵便局)	福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎	鹿児島市長田町野田俊作宛書留につき	紙	1	
2200	3	〔代銭書上〕	明治40年12月1日	博多麹屋町　高田弘陽堂	相川殿	衣装かがみ16点ほか代金7円余書	紙	1	
2200	4	〔代銭書上〕	明治40年12月1日	博多麹屋町　高田弘陽堂	相川殿	『武士道』5冊ほか市会分19円余書	紙	1	
2200	5	通常為替金受領証書	明治41年1月4日	(渡瀬郵便局)		鹿児島竪馬場局宛為替金25円領収	紙	1	
2201	1	〔通知〕	明治37年10月12日	九州鉄道株式会社社長　仙石貢(門司市)	株主　殿(福岡県三池郡岩田村二三　野田卯太郎)	株主総会開催につき	切紙	1	印刷。2201-1～3封筒一括
2201	2	第三十二回定時株主総会議案	明治37年10月27日	(門司市　九州鉄道株式会社)			切紙	1	印刷
2201	3	臨時株主総会議案	明治37年10月27日	(門司市　九州鉄道株式会社)			切紙(2枚)	1	印刷
2202		〔書簡〕	明治36年10月31日	九州鉄道株式会社経理課	野田卯太郎殿(筑後国三池郡岩田村　野田卯太郎)	上半期配当金280円小切手にて送付の事	切紙	1	封筒あり
2203	1	〔通知〕	明治36年2月25日	京釜鉄道株式会社		株主総会開催につき	切紙	1	印刷。2203-1～3同
2203	2	明治三十五年下半期利子配当金通知書	明治36年2月25日	京都市京橋区山城町九番地京釜鉄道株式会社			切紙	1	印刷
2203	3	第三回自明治三十五年七月一日至同年十二月卅一日事業報告書	明治36年2月25日	京釜鉄道株式会社　取締役会長　渋沢栄一ほか8名、監査役大江卓ほか3名			書綴	1	印刷
2204		〔書簡〕	(明治42年)4月22日	三井物産合名会社大阪支店集金掛(印)(大阪市東区高麗橋二丁目一番地)	野田卯太郎様(福岡県三池郡岩田村字岩津)	阪鶴鉄道株配当金121円余送付の事	罫紙	1	封筒あり
2205		鉄道工費予算標準	明治27年3月	鉄道局		工費算定基準につき	書冊(罫紙)	1	封筒あり。封筒上書「要用書類入」
2206	1	〔書簡〕	(明治期)11月14日	福岡市　野田卯太郎	農商務省　近藤殿(近藤秀次郎)	椛島・渡辺と協議の上別紙の通り決定の事、紙背に三池東関間の道路につき覚書あり	継紙	1	破れあり。2006-1～5封筒一括
2206	2	〔書簡〕	(明治期)11月14日	野田卯太郎	近藤秀次郎	椛島・渡辺と協議の上別紙の通り決定の事	切紙	1	
2206	3	〔書簡案文〕	(明治期11月4日)	(野田卯太郎)	(近藤秀次郎)	椛島・渡辺と協議の上別紙の通り評定の事	継紙	1	
2206	4	〔書簡案文〕	(明治期11月4日)	(野田卯太郎)	(近藤秀次郎)	当地にて協議の上別紙の通り評定の事	継紙	1	破れあり
2206	5	田方の害	(明治期)			旱害凡1割7分ほか書上	切紙	1	破れあり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2207		佐賀佐世保及唐津筑後鉄道関係図	(明治期)			九州期成線・予定線など	紙	1	
2208	1	〔書簡〕	明治28年11月28日	松延忠次(印)(福岡県上妻郡福島町)	野田卯太郎様(東京市芝区南佐久間町)	船越鉄道創業願いの件につき御礼、筑後鉄道の準備につき援助依頼、飯田健太郎の紹介	罫紙(3枚)	1	2208-1～2封筒一括。2208～2212紙縒一括
2208	2	履歴書	明治28年12月16日	福岡県筑後国上妻郡福島町飯田健太郎(印)			罫紙(2枚)	1	
2209		〔通知〕	(明治28年)11月20日	船越鉄道株式会社創立事務所(印)(福岡県福岡市東中洲二百六番地)	信濃屋　野田卯太郎	委員会の議事報告につき	罫紙(3枚)	1	封筒あり。年は封筒消印
2210		〔書簡〕	(明治28年)3月12日	立花(福岡県筑后国山門郡城内村　立花寛正)	野田君(東京市芝区南佐久間町弐丁目信濃屋)	従四位公藍綬章拝受の件につき御礼、筑後鉄道につき益田・団との協議の件、大牟田より直線にて唐津に到る鉄道建設を希望する事ほか	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2211		〔書簡〕	(明治28年)11月14日	小河久四郎(福岡県那珂郡住吉)	野田老台(東京芝区琴平町二丁目信濃屋方支店宮津順一君　野田卯太郎)	病気見舞い、船越鉄道の件は宮津氏より絶えず報知ある事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2212		〔書簡〕	(明治39年)10月(14日)	下川惇(東京市上野公園　東京音楽学校)	野田卯太郎先生(福岡県三池郡岩田村)	平井作業局長官と面談の事、鉄道買収後の職員採用の件について	継紙	1	封筒あり。年日は封筒消印
2213		〔書簡〕	(明治42年)6月25日	野田(東京市芝区琴平町信濃屋支店　野田卯太郎)	西園寺公爵閣下(神奈川県大磯　西園寺公望)	28日出京、29日敦賀出帆の事、大磯訪問の件について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印。軸装・木箱付
2214		〔書簡〕	(明治44年)5月3日	正久(東京麻布笄町　松田正久)	野田大塊貴下(福岡県三池郡岩田　野田卯太郎)	原氏も本日出発につき渡鮮は同船の事、急ぎ上京希望の事	継紙	1	封筒あり
2215	1	〔封筒〕	(明治45年)5月8日	原敬	野田幹事長殿		封筒	1	2215-2を封入
2215	2	〔書簡〕	(明治45年)5月8日	岡山にて　奥繁三郎	原閣下(東京芝区芝公園　原敬殿)	各地選挙運動状況(滋賀・奈良・大阪・兵庫・岡山・香川)について	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2216		〔書簡〕	(明治後期・大正期)1月21日	公望(西園寺公望)	野田幹事長(野田卯太郎)	停会につき医師の勧告もあるため沼津へ行く事、松田・原両氏へ沼津行き伝言依頼	継紙	1	封筒あり
2217	1	〔書簡〕	(大正2年)2月21日	尾崎(東京府荏原郡品川町二百二拾五番地　尾崎行雄)	野田幹事長殿(芝公園政友会本部　野田卯太郎)	別紙辞表郵送の事	継紙	1	2217-1～2封筒一括。年は封筒消印
2217	2	辞表	大正2年2月19日	尾崎行雄(印)	立憲政友会総裁　公爵西園寺公望殿	院内総務辞退の事	罫紙	1	
2218		〔書簡〕	(大正4年1月14日)	栽松(四谷　大石正巳)	野田老古錐(市内麻布区材木町　野田卯太郎)	書簡の御礼、漢詩の批評	継紙	1	封筒あり。年月日は封筒消印
2219		〔書簡〕	(大正7年)8月15日	敬(盛岡市古川端　原敬)	野田老台(東京麻布材木町二九　野田卯太郎)	米価問題につき政府へ忠告の件、各地騒動につき大会中止せし事、首相も困却中の事	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2220		〔書簡〕	(大正9年)8月7日	敬(相州腰越　原敬)	野田老兄(東京木挽町官舎野田卯太郎)	政府と離れては不便につき政務調査会長へ就任依頼	継紙	1	封筒あり。年は封筒消印
2221		〔書簡〕	大正4年12月30日	猪(東京日吉町　国民新聞社徳富猪一郎)	大塊仁兄大人(京城西小門内野田卯太郎)	渡鮮の阿部氏へ援助依頼、大隈重信悪運強き事ほか	継紙	1	封筒あり
2222		〔書簡〕	大正5年11月2日	猪(京城日報社　徳富猪一郎)	大塊仁兄(福岡市橋口町栄屋野田卯太郎)	京城に不在につき残念の事、馬関山陽ホテルにて来会願い	継紙	1	封筒あり
2223		〔書簡〕	大正乙卯(4)年11月11日	猪(京都万屋　徳富)	大塊大人(熊本県人吉林温泉野田卯太郎)	形勢次第により上京依頼	継紙	1	封筒あり
2224		〔書簡〕	大正4年12月29日	猪(東京青山南町六之三十徳富猪一郎)	大塊仁兄(京城西小門内　野田卯太郎)	近日済州島から印材を得るにつき雅印謹呈致す事ほか	継紙	1	封筒あり

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2225		〔書簡〕	大正乙卯(4)年11月2日	猪(東京日吉町　国民新聞社　徳富猪一郎)	野田大人(福岡県三池郡岩田村　野田卯太郎)	山県有朋・平田東助に面会、諸事予定のごとく進行の事、京都宿舎の住所書上	継紙	1	封筒あり
2226		〔書簡〕	大正4年9月27日	猪(東京日吉町　国民新聞社　徳富猪一郎)	大塊先生(京城西小門　野田卯太郎)	後藤新平渡鮮につき委細同氏より聴取願い	継紙	1	封筒あり
2227		明治廿七年々始状送付扣	明治27年	野田卯太郎			書冊	1	
2228	1	〔人名簿〕	(明治期)			上京同志社小野英二郎ほか	綴	1	書綴2冊紙縒綴。三池紡績会社の罫紙使
2228	2	〔人名簿〕	(明治期)			玉名郡石井隆業ほか11名分	切紙	1	2228-1に挟込
2228	3	〔人名簿〕	(明治期)			筑前早良郡戸川直之ほか10名分	切紙	1	2228-1に挟込
2229		明治廿四年一月年始ノ祝儀可致人名簿	明治24年1月	野田			書冊	1	
2230		〔玉川村・駛馬村・銀水村公職員名簿〕	(昭和4年9月)				書冊	1	
2231		南満洲	(大正4年頃)	(東洋拓殖株式会社)		地理・政治・貨幣金融などについて	書冊	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用。謄写刷り
2232		東部内蒙古	(大正期)	(東洋拓殖株式会社)		地理・政治・金融などについて	書冊	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用。謄写刷り
2233		満蒙ニ於ケル邦人ノ地位	(大正期)	(東洋拓殖株式会社)			書冊	1	東洋拓殖株式会社の罫紙使用。謄写刷り
2234		三池銀国当座小切手用紙	明治22年7月21日～同37年6月20日	株式会社三池銀行		明治保険会社宛金20円余ほか	書冊	1	使用済み
2235		証書	明治39年3月27日	福岡県山門郡立柳河高等女学校長正八位今井退蔵	福岡県平民　野田トメ	本校卒業につき	紙	1	
2236		〔感謝状〕	明治31年3月21日	福岡農工銀行　頭取　緒方道平	農工銀行設立委員　野田卯太郎殿	福岡県農工銀行設立時の尽力に対し慰労金30円贈呈	紙	1	
2237		外出簿		寮　野田とめ			書冊	1	
2238		通信簿		(岩田尋常小学校)	岩田高等小学校第三学年　野田俊作	第3学年	書冊	1	
2239		俊作病気日誌	(明治)30年2月2日	野田氏			書冊	1	
2240		通告表	明治38年度	(岩田尋常小学校)	岩田尋常小学校第三学年　野田四郎太	学業成績表ほか	紙	1	
2241		通信簿	(明治34年度)	(岩田尋常小学校)	岩田高等小学校第二学年　野田トメ		書冊	1	
2242		通信簿	(明治33年度)	(岩田尋常小学校)	岩田高等小学校第一学年　野田とめ		書冊	1	
2243		在学手牒	(明治30年代)	(岩田尋常小学校)	岩田高等小学校生徒　野田四郎太		書冊	1	
2244		試験のできばえ	明治30年3月31日	岩田尋常小学校	三学年　野田俊作		切紙	1	
2245		通告表	明治39年度	(岩田尋常小学校)	岩田尋常小学校第四学年　野田四郎太		紙	1	
2246		通告表	明治35年度	(岩田高等小学校)	第三学年　野田とめ子		書冊	1	
2247		通信簿	(明治36年度)	(岩田高等小学校)	岩田高等小学校第一学年　野田俊作		書冊	1	
2248		在学手牒	(明治40年)	(岩田高等小学校)	岩田高等小学校生徒　野田四郎太	第1学年分	書冊	1	
2249		通告表	明治39年度	(岩田尋常小学校)	岩田尋常小学校第一学年　野田秀助		紙	1	

史料番号		表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	数量	備考
2250		通告表	明治37年度	(岩田尋常小学校)	岩田尋常小学校第二学年　野田四郎太		紙	1	
2251		賞状	明治37年3月	私立麻布中学校長　江原素六(印)	第三年級修業生　野田俊作	品行方正学術優秀につき	紙	1	
2252		賞状	明治41年3月25日	岩田高等小学校長　宮本吉辻(印)	第一学年　野田四郎太	学力優等などにつき	紙	1	
2253		卒業証書	明治33年3月30日	岩田尋常小学校長　利光寅三郎(印)	福岡県平民野田卯太郎女　野田トメ		紙	1	
2254		〔証書〕	明治31年5月25日	岩田高等小学校長　戸次純一(印)	第壱学年　野田俊作	級長を命ず	切紙	1	
2255		修業証書	明治41年3月25日	福岡県三池郡全町村立　岩田高等小学校	福岡県平民　野田四郎太	第1学年修了	紙	1	
2256		修業証書	明治35年3月25日	福岡県三池郡全町村立　岩田高等小学校	福岡県平民卯太郎女　野田トメ	第2学年修了	紙	1	
2257		〔賞状〕	明治30年3月20日	福岡県知事従三位勲三等岩村高俊(印)	三池郡岩田村　野田卯太郎	小学校・避病院建築費として金10円寄付につき	紙	1	
2258		賞状	明治34年3月25日	岩田高等小学校(印)	第一学年　野田トメ	学年中格別勉励につき第二等章授	切紙	1	
2259		賞状	明治40年3月25日	岩田尋常小学校	野田四郎太	学力優等などにつき	切紙	1	
2260		修業証書	明治37年3月25日	福岡県三池郡岩田村立岩田尋常小学校	平民　野田四郎太	第1学年修了	紙	1	
2261		修業証書	明治32年3月30日	福岡県三池郡町村立岩田高等小学校	平民野田卯太郎男　野田俊作	第1学年修了	紙	1	
2262		修業証書	明治34年3月25日	福岡県三池郡全町村立　岩田高等小学校	平民野田卯太郎男　野田俊作	第3学年修了	紙	1	
2263		賞状	明治35年3月24日	岩田高等小学校(印)	第二学年　野田トメ	学年中格別勉励につき第一等賞授	切紙	1	
2264		〔証書〕	明治41年4月10日	岩田高等小学校長　宮本吉辻	野田四郎太	第2学年級長を命ず	切紙	1	
2265		賞状	明治42年3月22日	岩田高等小学校長　宮本吉辻(印)	第二学年　野田四郎太	学力優等などにつき	紙	1	
2266		修業証書	明治36年3月26日	福岡県三池郡全町村立　岩田高等小学校	平民野田卯太郎女　野田トメ	高等小学校第3学年修了	紙	1	
2267		〔証書〕	明治40年5月27日	岩田高等小学校長　安東慧(印)	第壱学年第一学級　野田四郎太	第1学年級長を命ず	切紙	1	
2268		〔証書〕	明治34年4月6日	岩田高等小学校(印)	第二学年　野田トメ	第2学年級長を命ず	切紙	1	
2269		修業証書	明治42年3月22日	福岡県三池郡岩田村外三ヶ村立　岩田高等小学校	福岡平民　野田四郎太	第2学年修了につき	紙	1	
2270		修業証書	明治38年3月24日	福岡県三池郡岩田村立　岩田尋常小学校	平民　野田四郎太	第2学年修了につき	紙	1	
2271		賞状	明治36年3月26日	岩田高等小学校	第三学年　野田トメ	学年中格別勉励につき第二等賞授	切紙	1	
2272		〔証書〕	明治36年4月8日	岩田高等小学校	第四学年　野田トメ	第4学年級長を命ず	切紙	1	
2273		修業証書	明治33年3月28日	福岡県三池郡立岩田高等小学校	福岡県平民卯太郎男　野田俊作	第2学年修了につき	紙	1	
2274		修業証書	明治34年3月25日	福岡県三池郡全町村立　岩田高等小学校	平民野田卯太郎女　野田トメ	第1学年修了につき	紙	1	
2275		修業証書	明治30年3月31日	福岡県三池郡岩田村立　岩田尋常小学校	平民戸主野田卯太郎二男　野田俊作	第3学年につき	切紙	1	
2276		賞状	明治37年3月25日	岩田高等小学校	第四学年　野田トメ	学年中格別勉励につき第三等賞授	紙	1	
2277		修業証書	明治43年3月25日	福岡県三池郡岩田村立　岩田尋常小学校	福岡県平民　野田秀助	第4学年修了につき	紙	1	

史料番号		表題	年月日	作 成 者	宛 先	内容	形態	数量	備考
2278		卒業証書	明治40年3月25日	福岡県三池郡岩田村立 岩田尋常小学校長 利光寅三郎(印)	平民 野田四郎太		紙	1	
2279		修業証書	明治32年3月29日	福岡県三池郡岩田村立 岩田尋常小学校	平民戸主野田卯太郎三女 野田トメ	第3学年	紙	1	
2280		卒業之証	明治39年3月	私立麻布中学校長 江原素六	福岡県平民 野田俊作		紙	1	
2281		〔書簡〕	(大正5年)7月20日	日本セメント株式会社大川工場(福岡県三潴郡大川町)	朝鮮京城 東洋拓殖会社 野田卯太郎	暑中見舞い	紙	1	印刷。封筒あり。年は封筒消印
2282	1	所有地台帳	明治24年1月起	野田		大牟田町大字下里など田畑宅地16筆書上	書冊	1	2282-1～3一纏り
2282	2	記	(明治26年)5月			魚市場建設費271円余書上	罫紙	1	
2282	3	記	(明治26年11月17日)			大牟田の所有家屋、魚市場の件につき覚書	切紙	1	